

地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関する
アンケート調査結果報告書

平成30年6月

青森県健康福祉部健康福祉政策課

目次

調査概要	1
調査結果	
・ 回答者の属性	3
・ 地域とのかかわりについて	9
・ 地域の支え合いについて	29
・ 様々な相談窓口について	76
・ 福祉教育について	103
・ 社会福祉法人や社会福祉協議会との関わりについて	111
・ ボランティア活動について	140
・ 福祉サービスにおける権利擁護について	169
・ 福祉・介護人材の確保育成について	182
・ 外出するときの手段について	208
・ 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方について	221
資料編	
・ 自由回答まとめ	245
・ 調査票	

調査概要

1. 調査の目的

青森県が策定する青森県地域福祉支援計画を着実に進めるため、県民の地域福祉についての意識を調査し、計画推進の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象等

- ・調査実施地域 青森県全域
- ・調査対象 県内在住の20歳以上の県民
- ・調査数 2,000人

市町村名	合計	抽出数
青森市	287,912	432
東津軽郡	23,329	36
青森地域 計	311,241	468
弘前市	174,231	260
黒石市	34,143	52
平川市	31,780	48
中津軽郡・南津軽郡・板柳町	48,426	76
津軽地域 計	288,580	436
五所川原市	55,874	86
つがる市	33,358	52
西津軽郡・北津軽郡	43,630	68
西北五地域 計	132,862	206
十和田市	62,372	96
三沢市	40,166	62
上北郡	73,901	118
上十三地域 計	176,439	276
八戸市	232,680	350
三戸郡・おいらせ町	94,118	148
八戸地域 計	326,798	498
むつ市	58,991	90
下北郡	16,226	26
下北地域 計	75,217	116
合計	1,311,137	2,000
市部 計	1,011,507	1,528
町村部 計	299,630	472

3. 調査方法

郵送法

4. 調査実施期間

平成 29 年 12 月 5 日～12 月 28 日

5. 回収結果

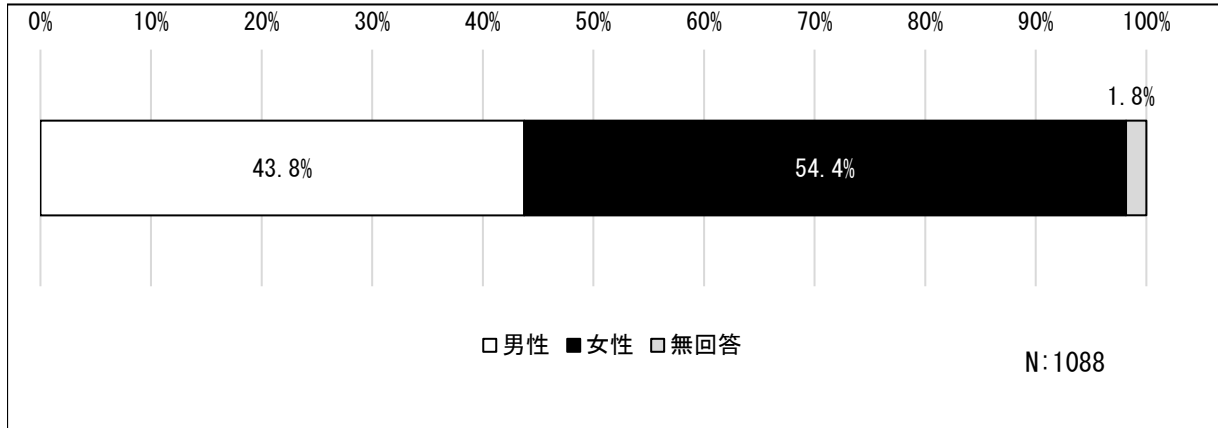
調査票回収総数 1,088 (回収率 54.4%)

以下は、調査結果について、設問ごとに記述する。

< 1 > あなた自身のことについて

問 1. あなたの性別をお答えください。

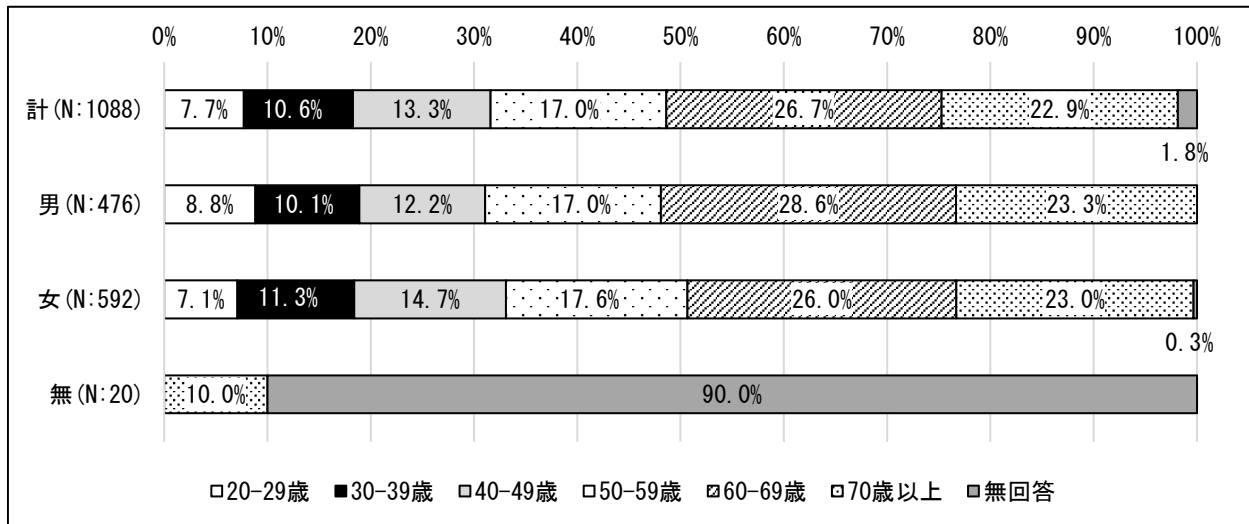
・ 回答者の性別



男女の比率は 4 : 5 である。

問 2. あなたの年齢をお答えください。（平成 29 年 12 月現在）

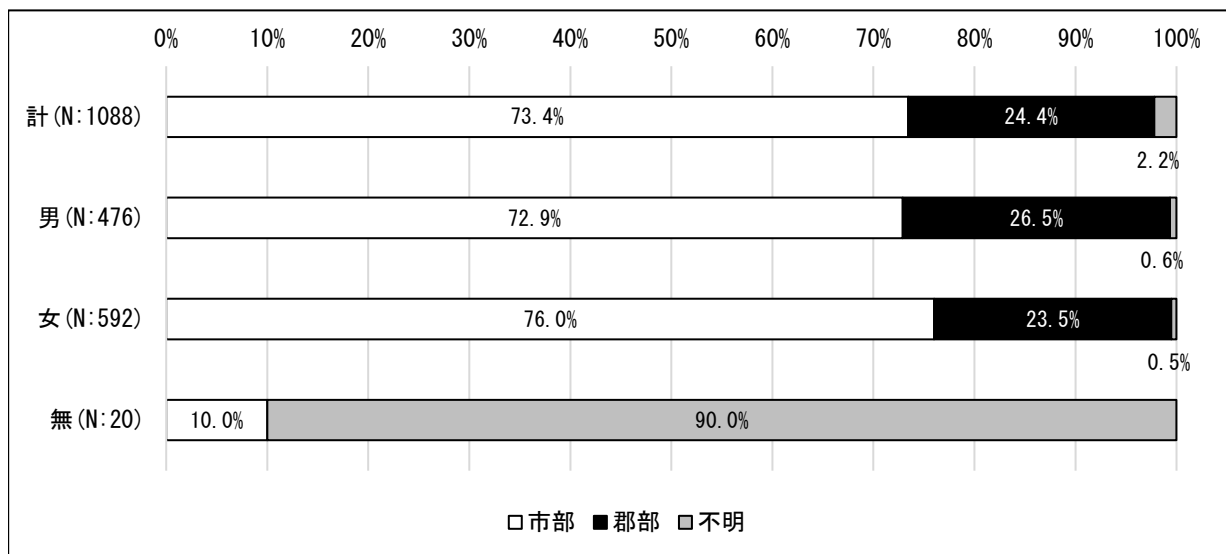
・ 回答者の年齢



回答者の年齢は、20歳代が8%、30歳代が11%、40歳代が13%、50歳代が17%、60歳代が27%、70歳以上が23%となっている。

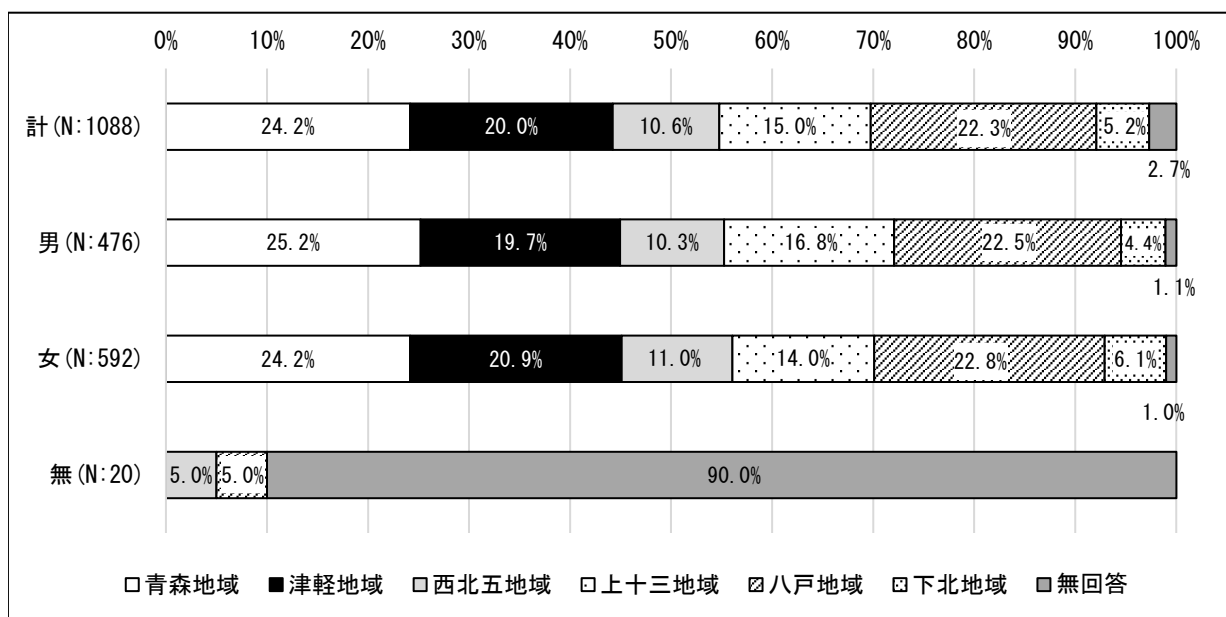
問3. あなたがお住まいの市町村をお答えください。

【市部・郡部別】



市部と郡部の比率は3：1となっている。

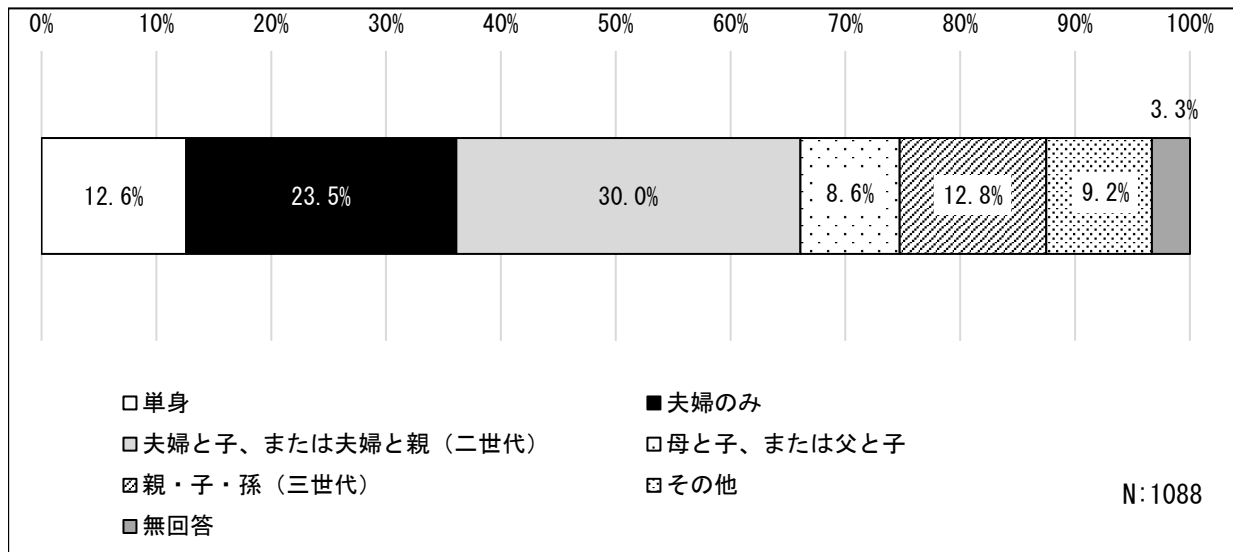
【男女別・地域別】



居住地域は、青森地域が24%、津軽地域が20%、八戸地域が22%、上十三地域が15%、西北五地域が11%、下北地域が5%となっている。

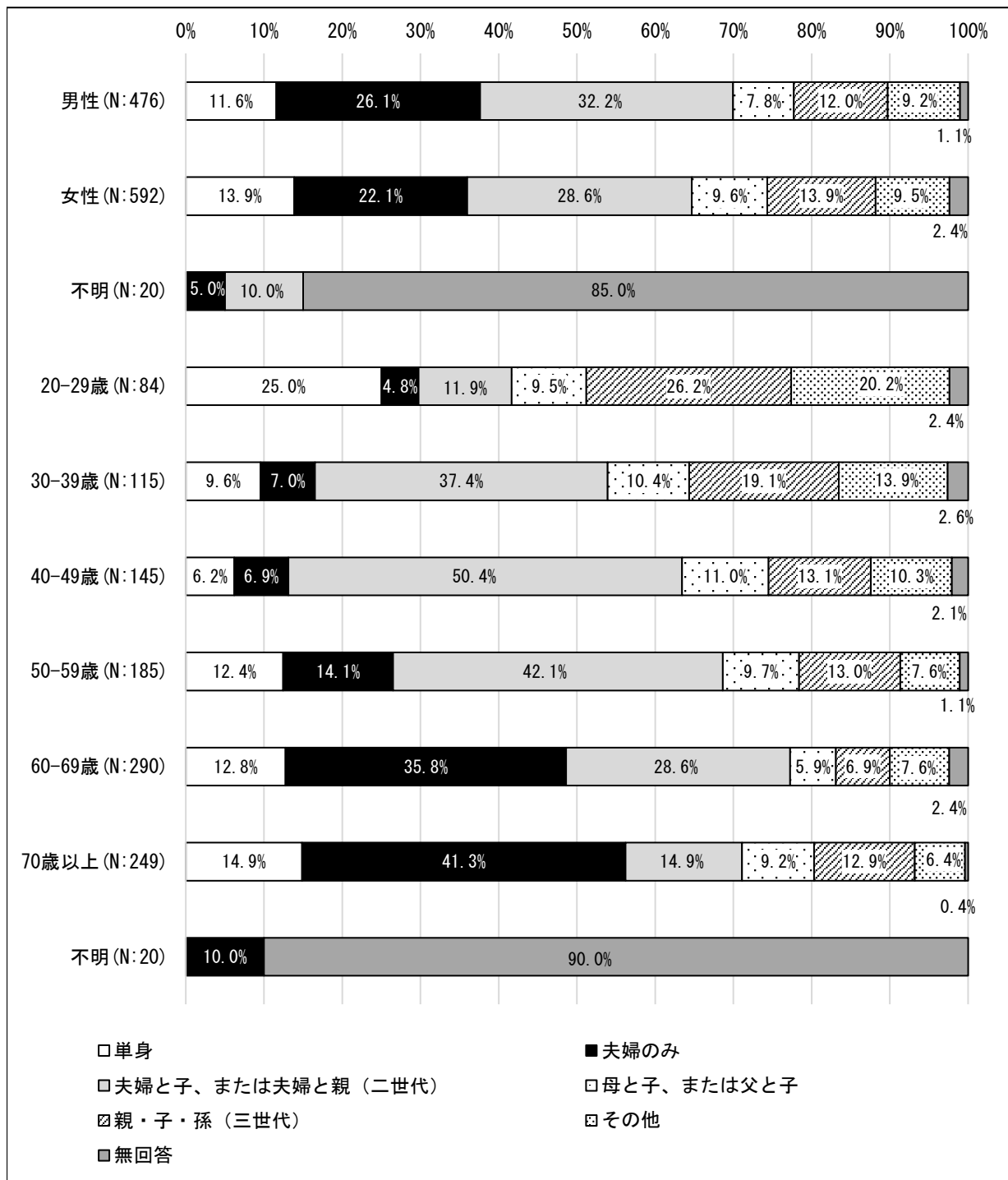
問 4. あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。（1つ）

・ 家族構成



「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が30%と最も大きく、次いで「夫婦のみ」が24%、「单身」、「親・子・孫（三世帯）」が13%となっている

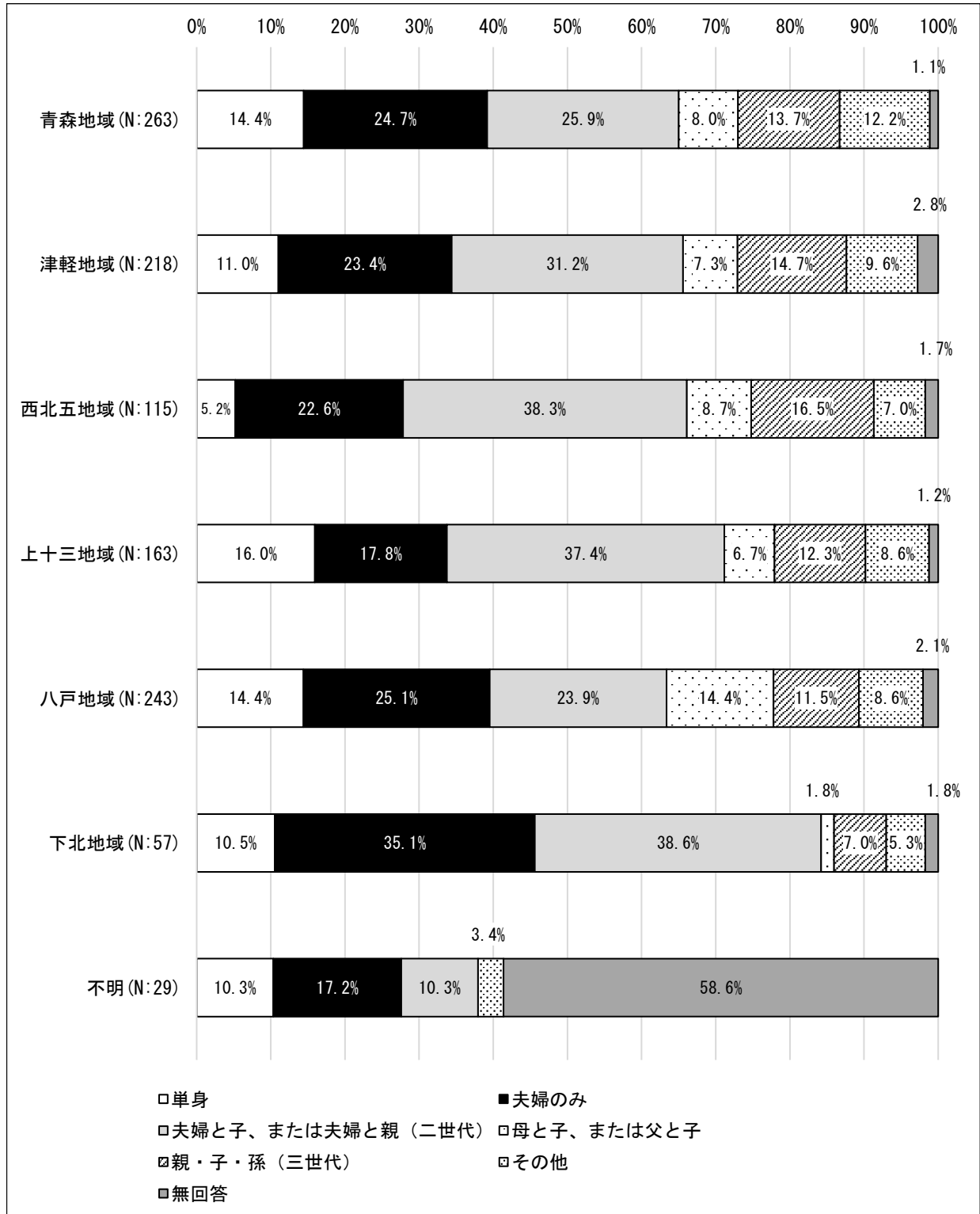
【男女別・年代別】



男女ともに「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が最も大きく、次いで「夫婦のみ」の順となっている。

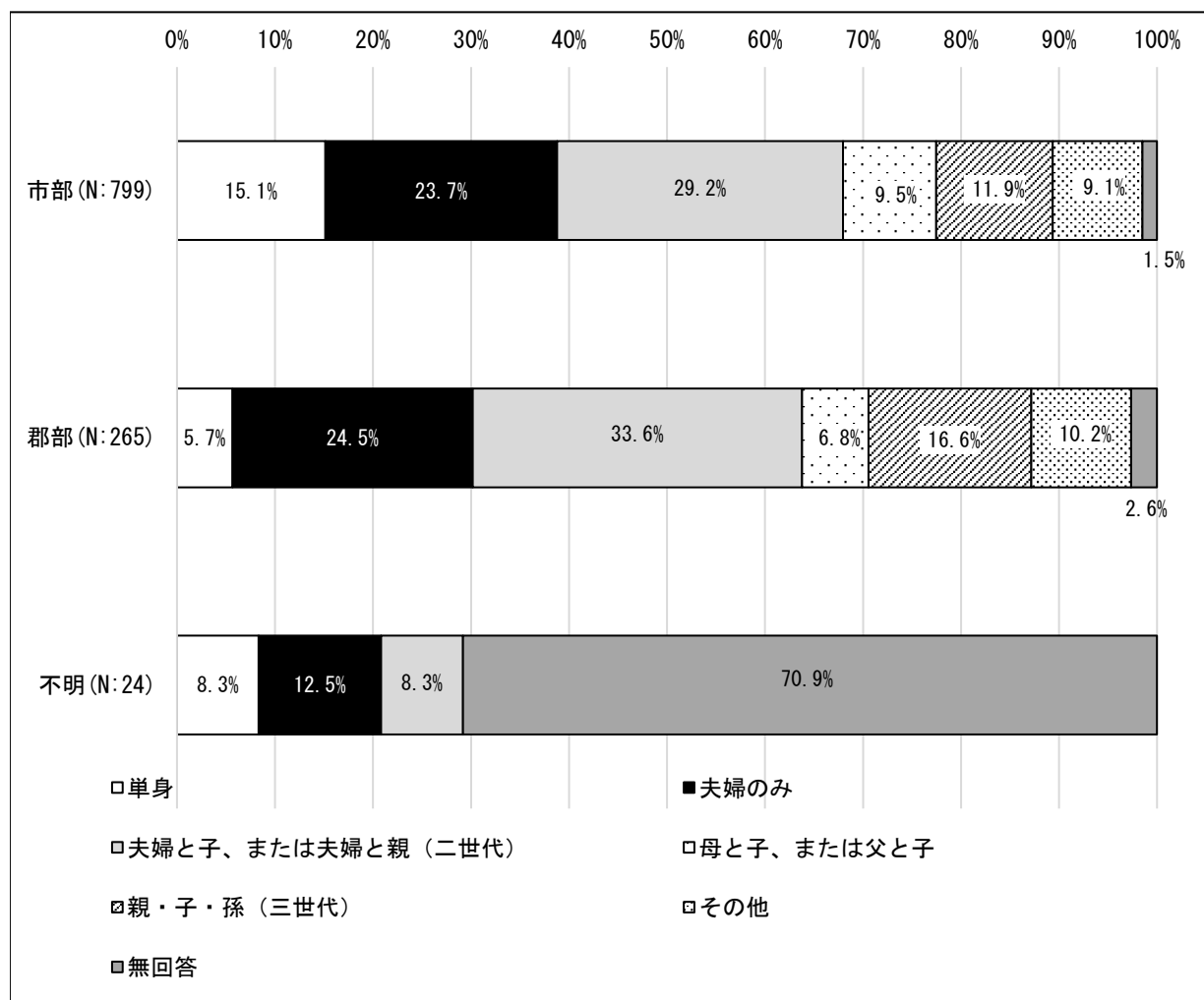
年代別に見ると、60歳代以上では「夫婦のみ」が他の年代より大きくなっている。20歳代では「単身」の割合が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



八戸地域では「夫婦のみ」が、他の地域では「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」がそれぞれ最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「夫婦と子、または夫婦と親（二世）」が最も大きく、次いで「夫婦のみ」、
「親・子・孫（三世）」の順となっている。

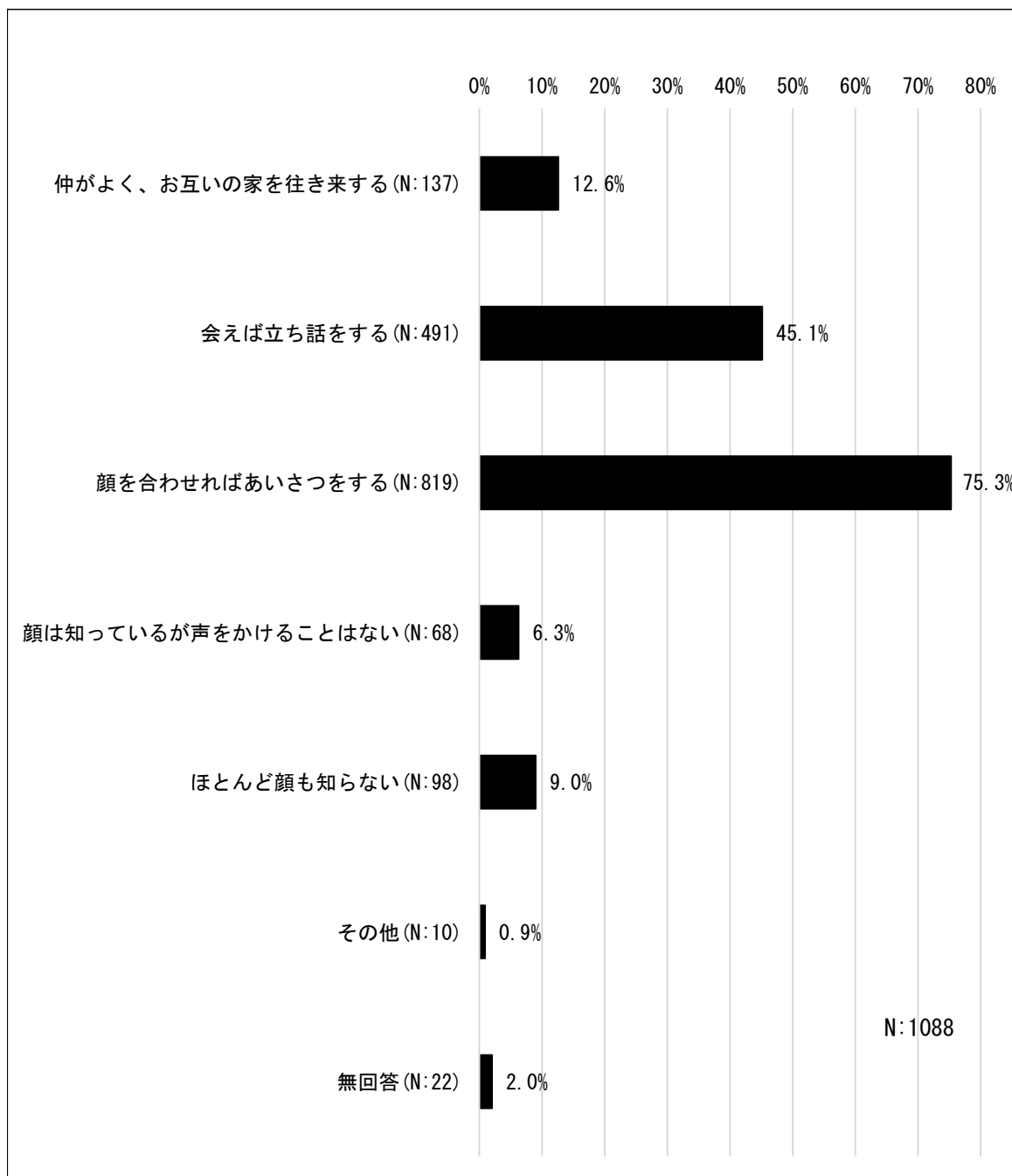
【自由回答より】

- ・夫婦、子、孫、ひ孫4世代
- ・兄弟、姉妹

< 2 > あなたと地域とのかかわりについて

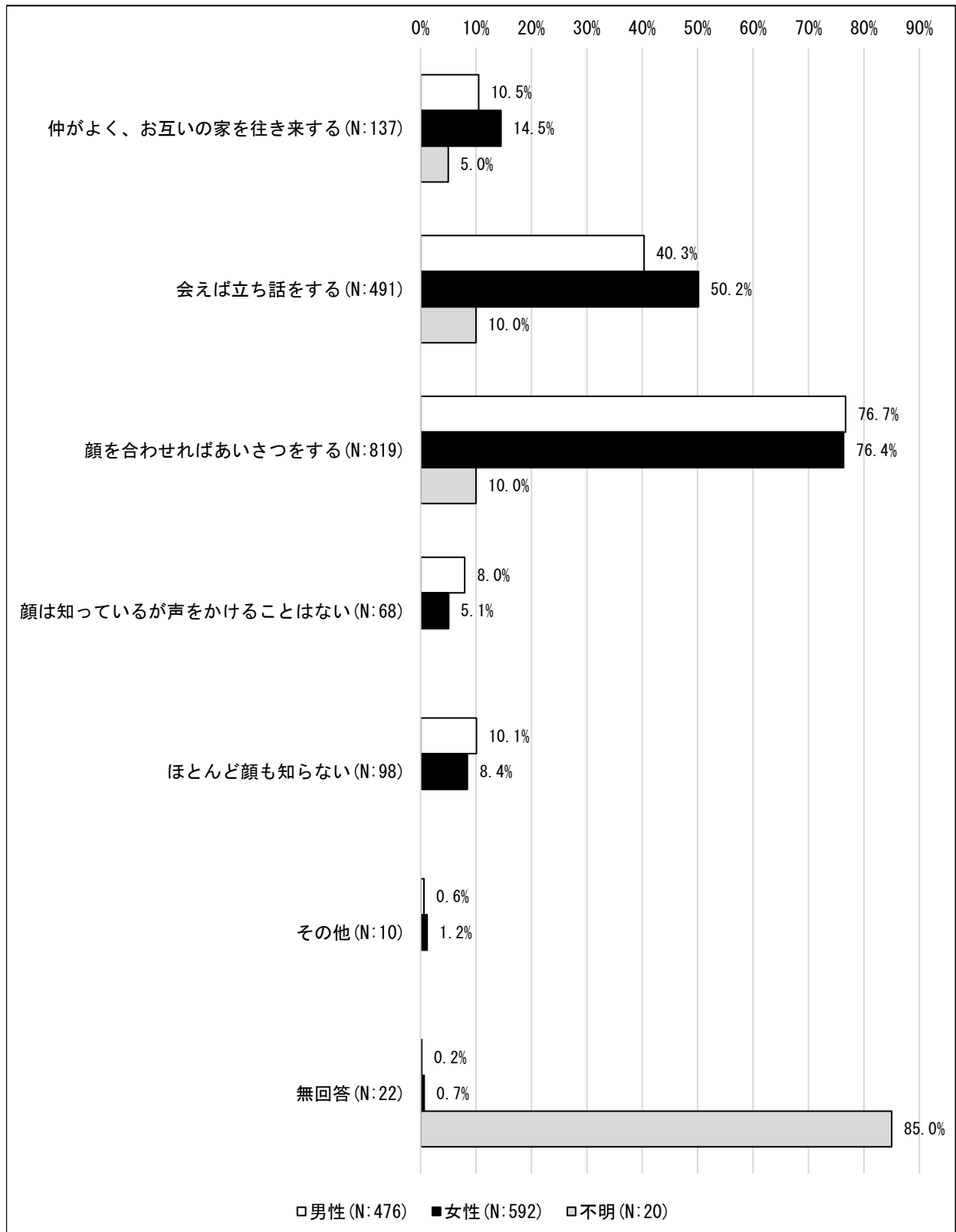
問 5. あなたは、地域の人とどのような付き合いをしていますか。（2つまで）

・ 地域の人との付き合い方



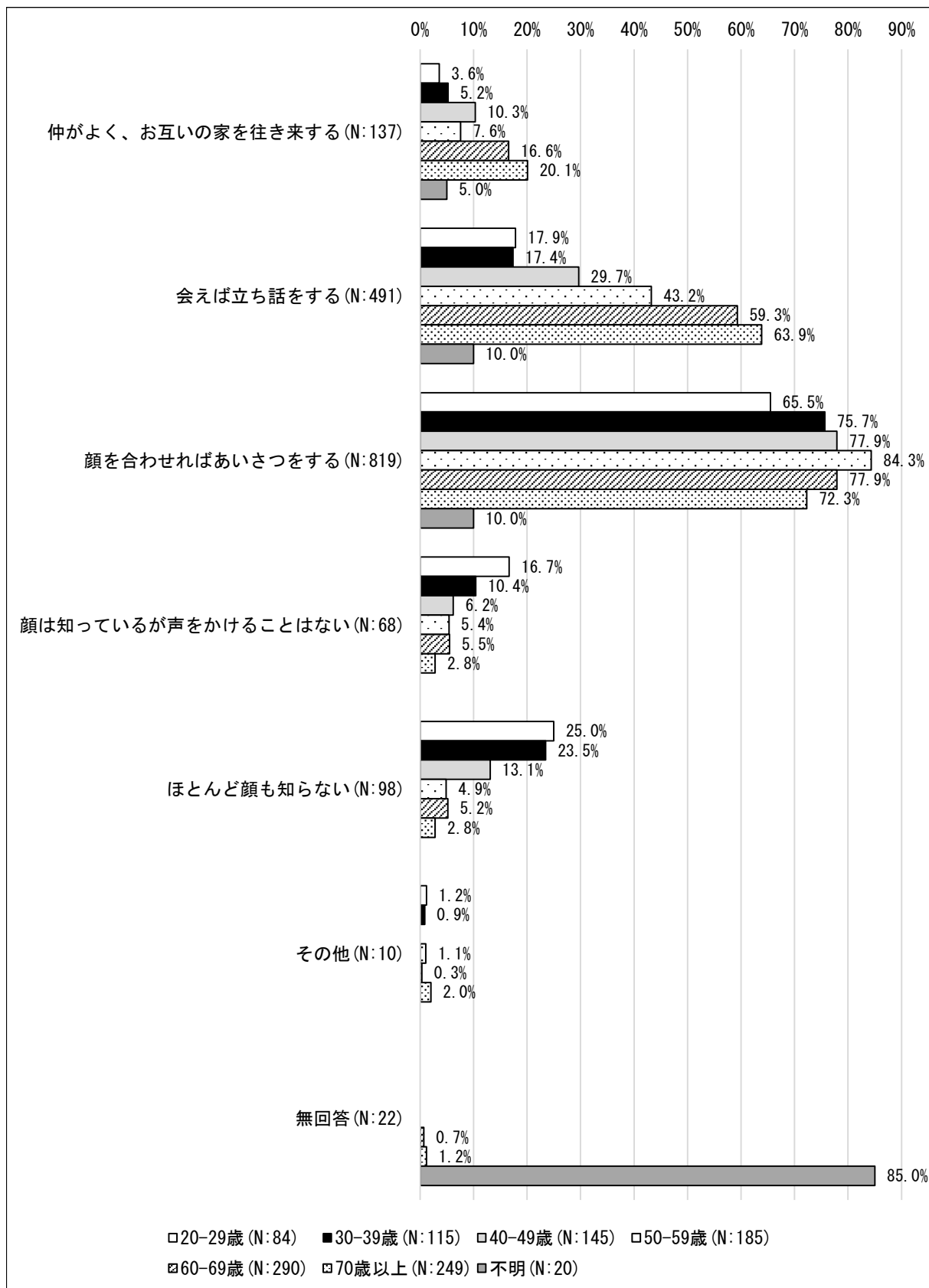
「顔を合わせればあいさつをする」が75%、「会えば立ち話をする」が45%、「仲がよく、お互いの家を行き来する」が13%となっている。

【男女別】



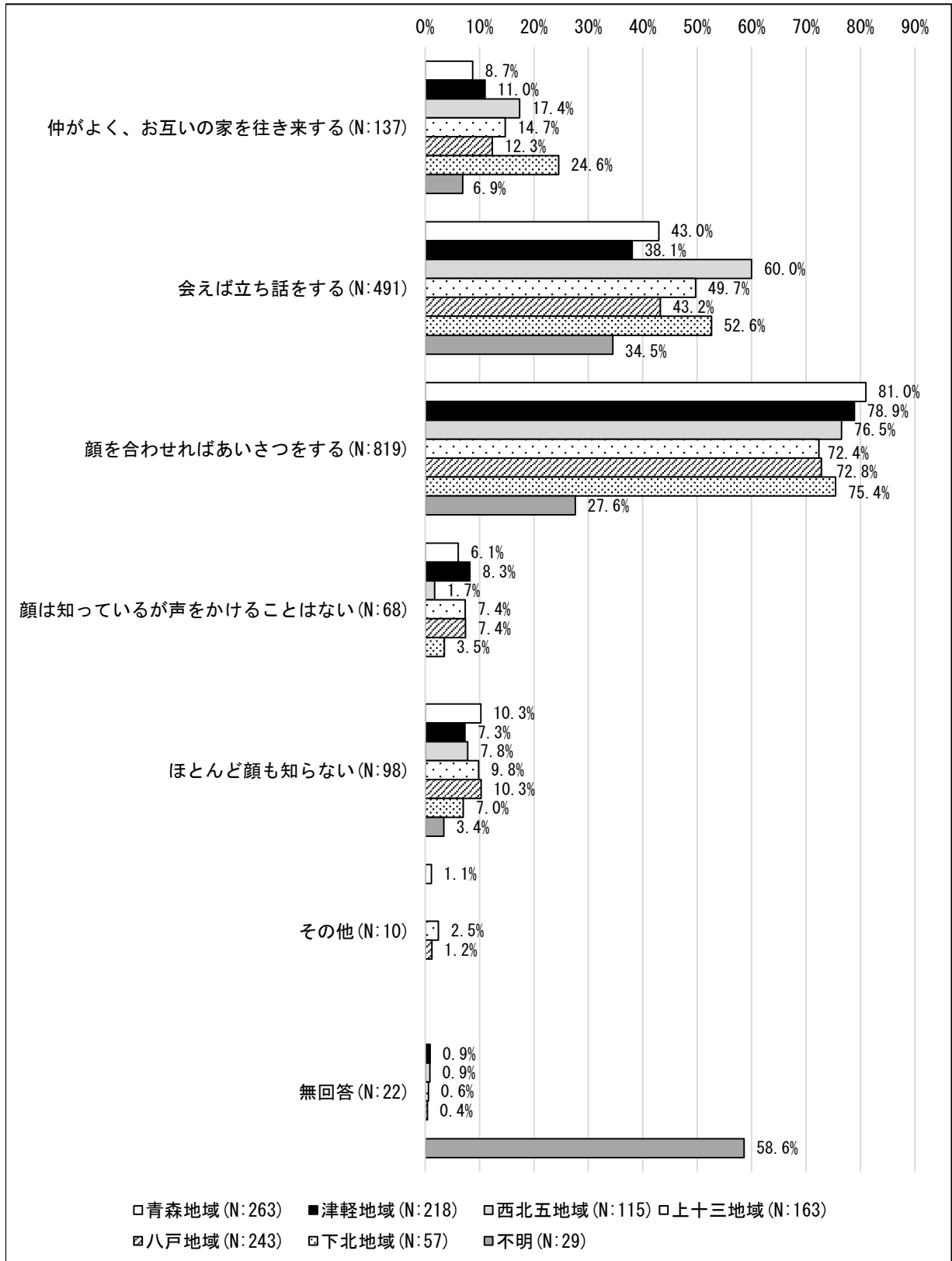
男女ともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きく、次いで「会えば立ち話をする」となっている。

【年代別】



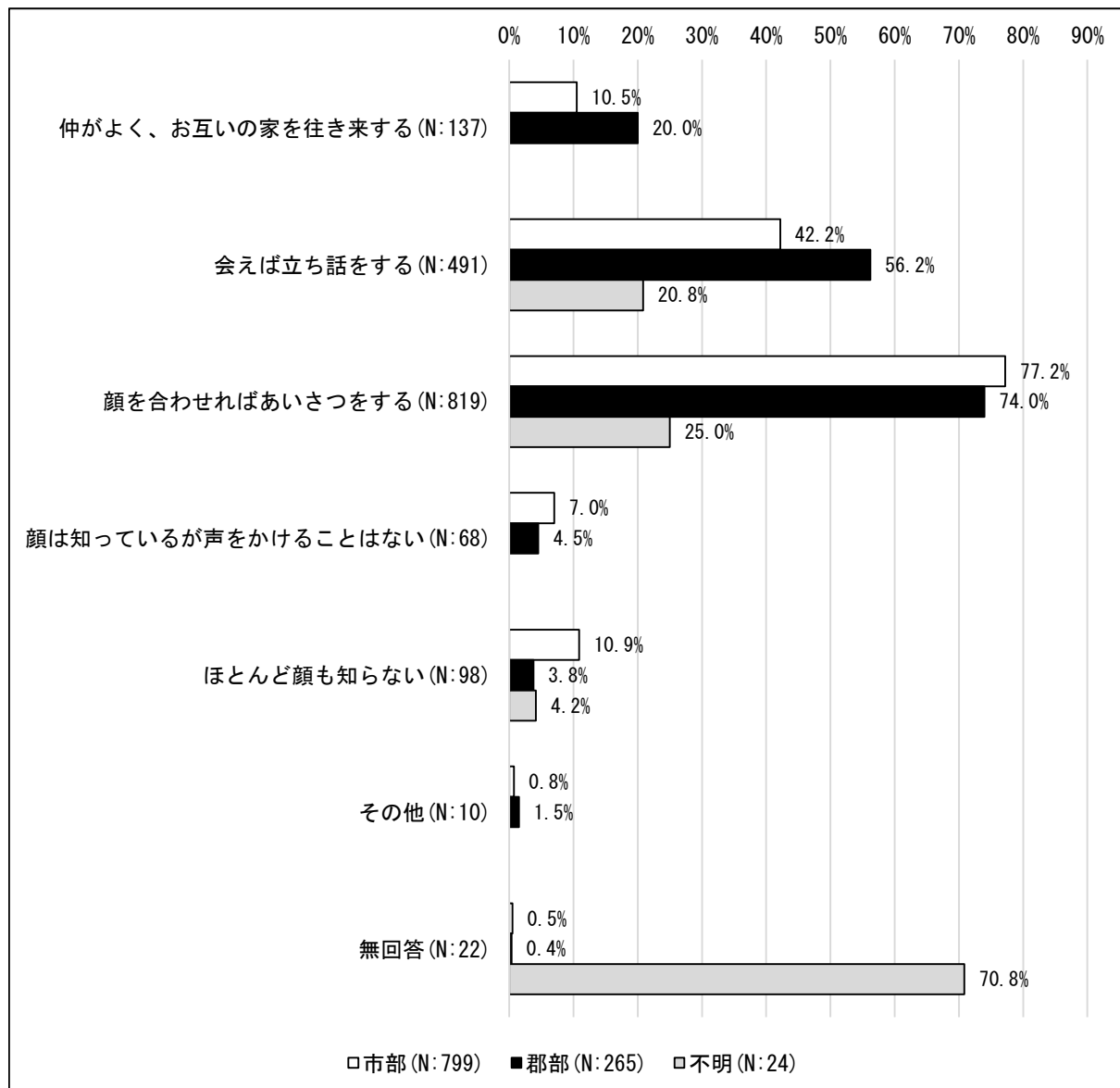
全ての年代で「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きくなっている。50歳代以上では「会えば立ち話をする」が他の年代より大きくなっている。一方20歳代、30歳代では「ほとんど顔も知らない」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きくなっている。西北五地域では「会えば立ち話をする」が他の地域よりも大きくなっている。下北地域では「仲がよく、お互いの家を往き来する」が他の地域よりも大きくなっている。

【市部・郡部別】



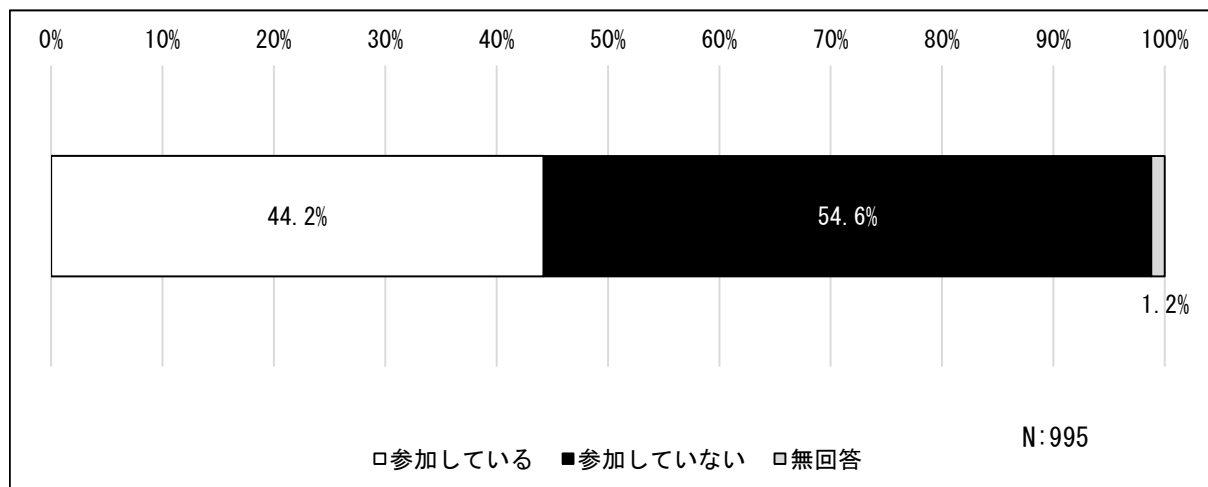
市部・郡部ともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きく、次いで「会えば立ち話をする」となっている。郡部では「仲がよく、お互いの家を行き来する」が市部より大きくなっている。

【自由回答より】

- ・健康体操、ホームのボランティア等での付き合い
- ・接触することがない
- ・会釈だけである

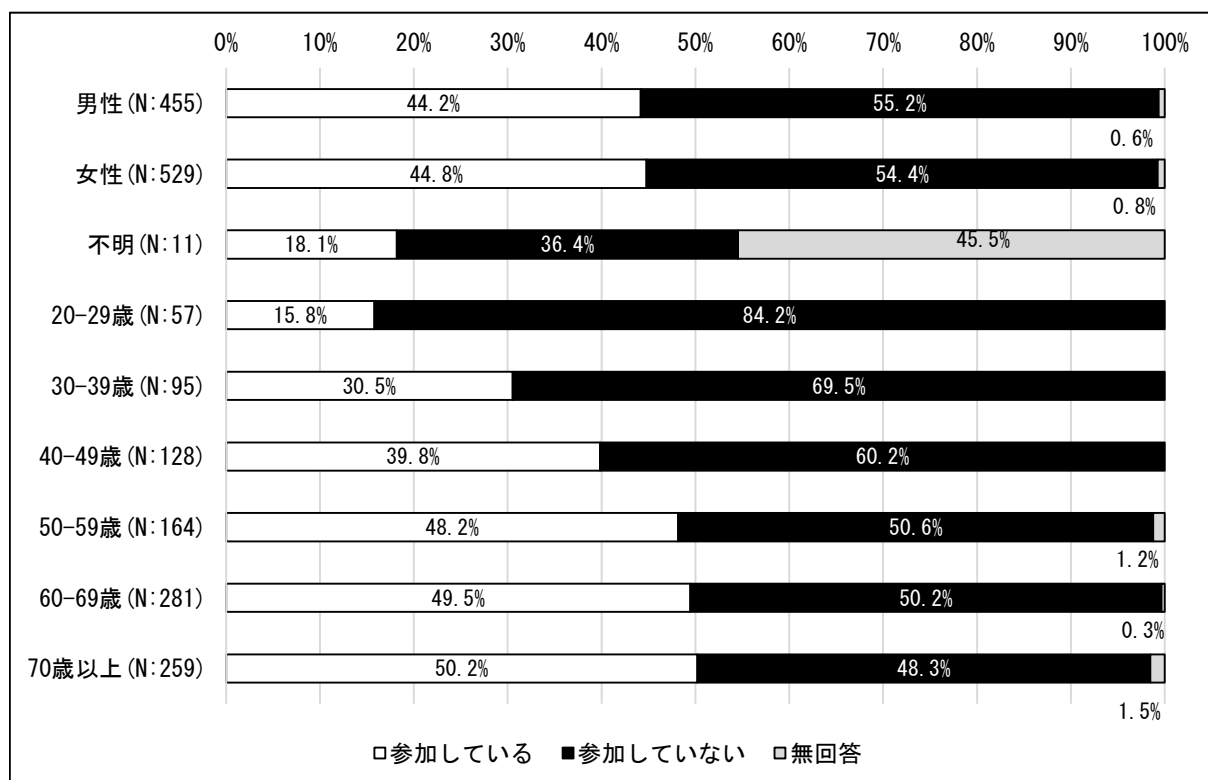
問 6. あなたは地域活動に参加していますか。(1つ)

・地域活動への参加



「参加している」が44%、「参加していない」が55%となっている。

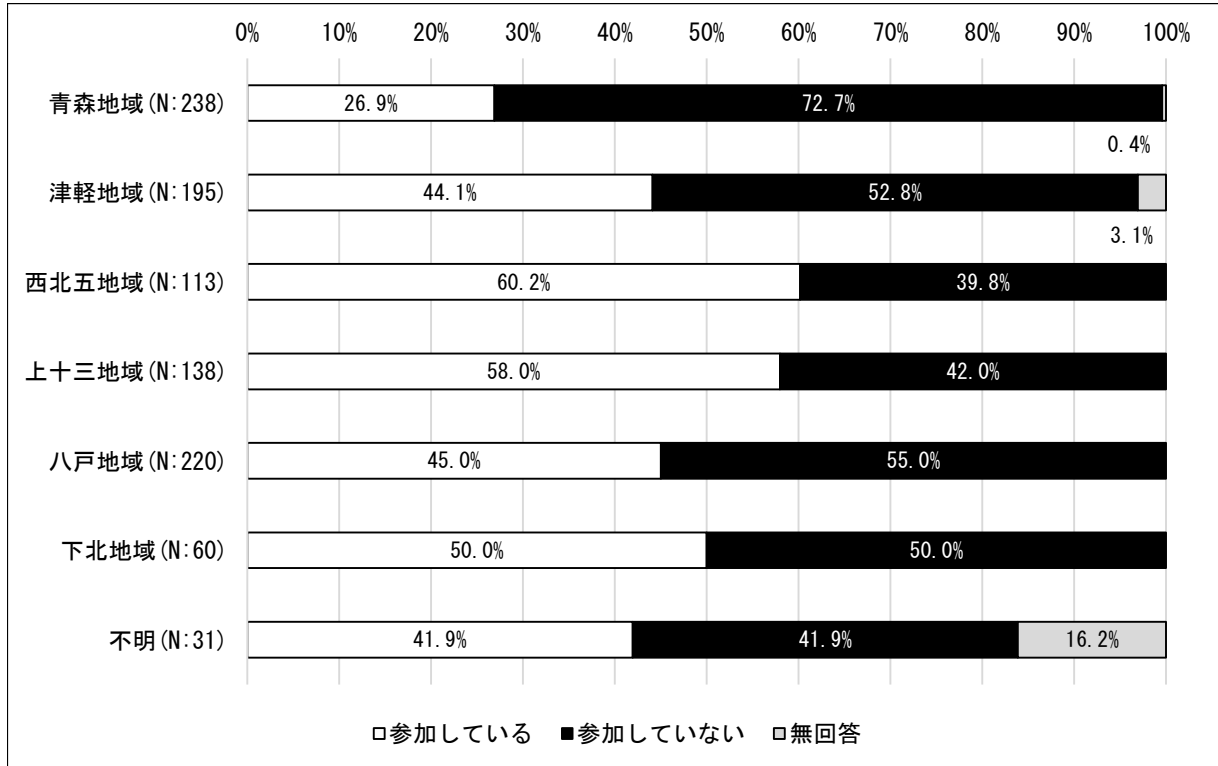
【男女別・年代別】



男女ともに「参加していない」が「参加している」を上回っている。

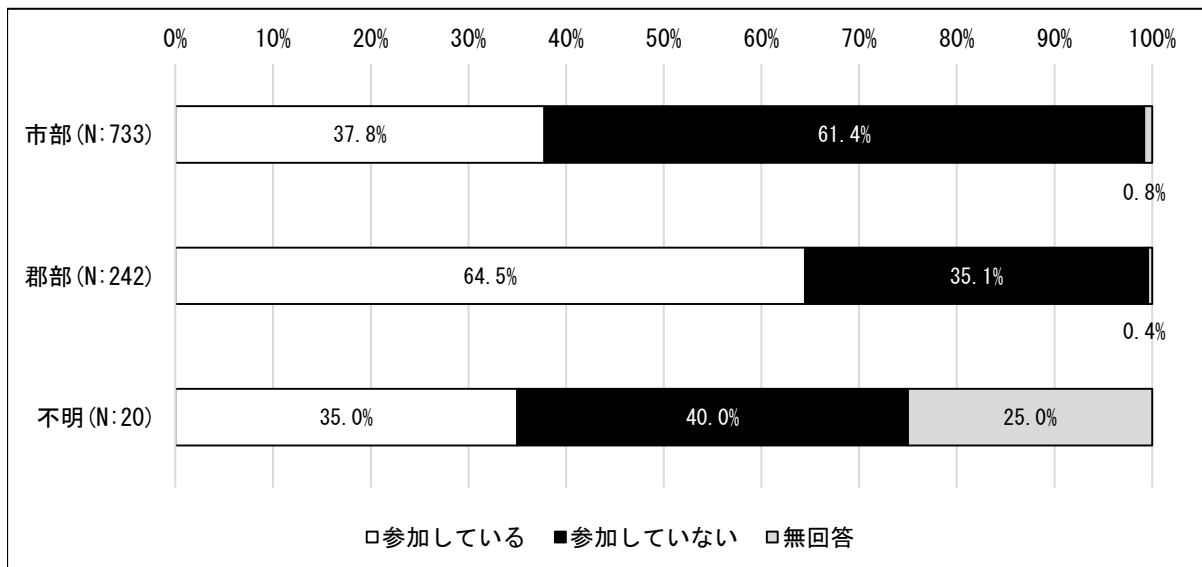
年代が上がるにつれて「参加している」が大きくなっており、70歳以上で最も多くなっている。逆に、年代が下がるにつれて「参加していない」が大きくなっており、20歳代で最も大きくなっている。

【地域別】



西北五地域、上十三地域では「参加している」が「参加していない」を上回り、青森地域、津軽地域、八戸地域では「参加していない」が「参加している」を上回っている。下北地域では「参加している」、「参加していない」が同率となっている。「参加している」は西北五地域が、「参加していない」は青森地域がそれぞれ最も大きくなっている。

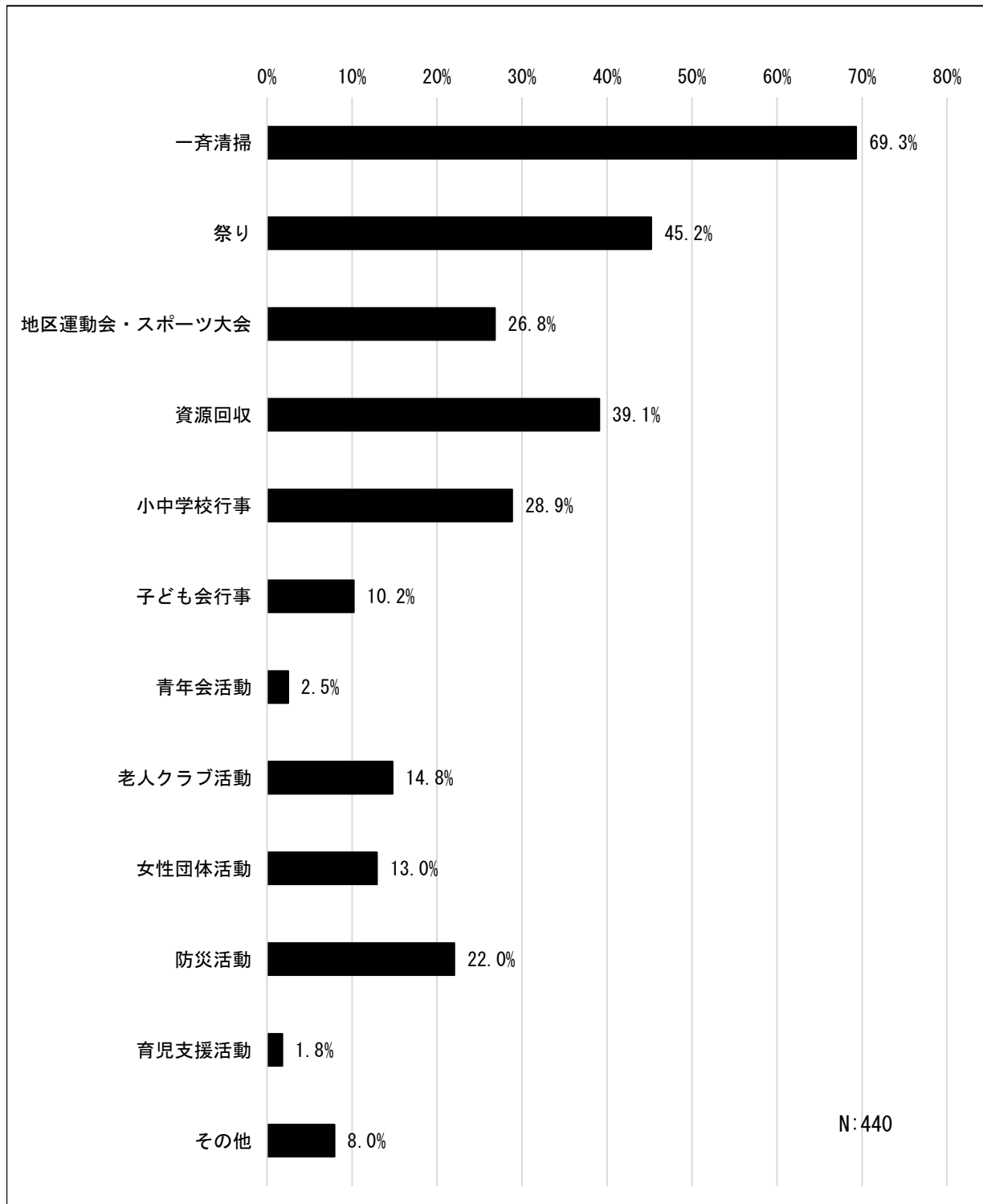
【市部・郡部別】



郡部では「参加している」が「参加していない」を上回り、市部では「参加していない」が「参加している」を上回っている。

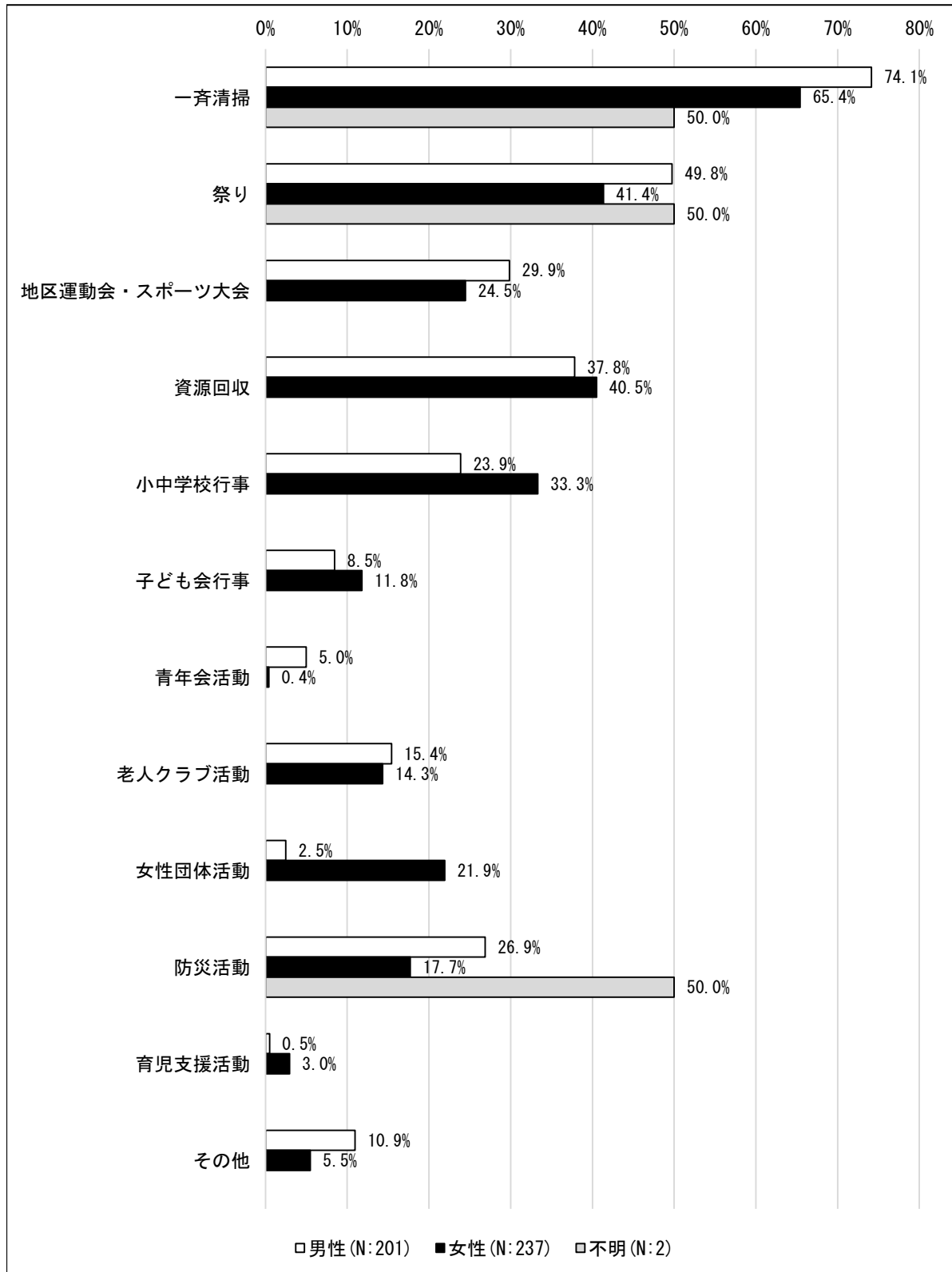
問 6-1. 参加している地域活動（あてはまるものすべて選んでください。）

・参加している地域活動



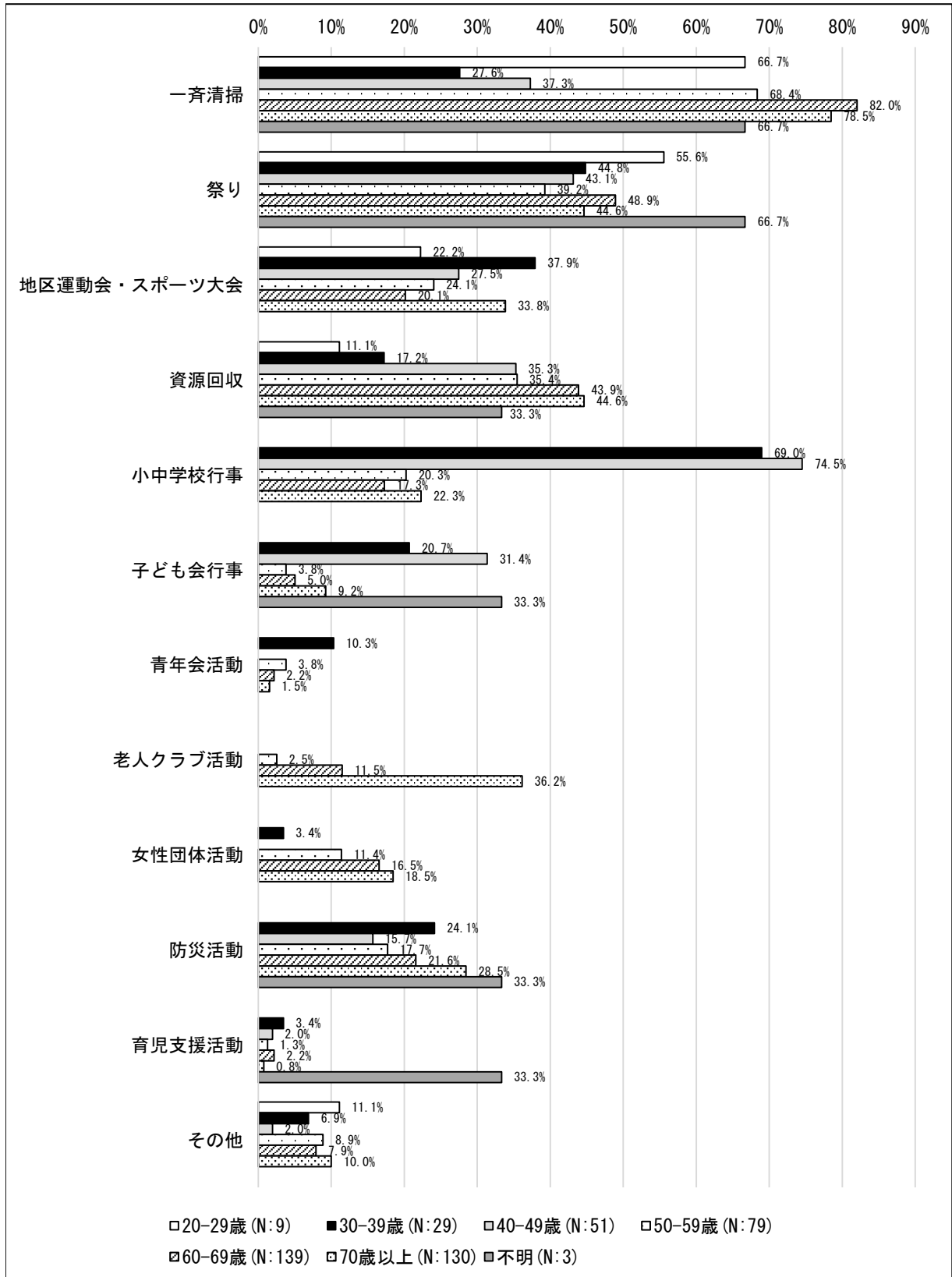
「一斉清掃」が69%、「祭り」が45%、「資源回収」が39%、「小中学校行事」が29%となっている。

【男女別】



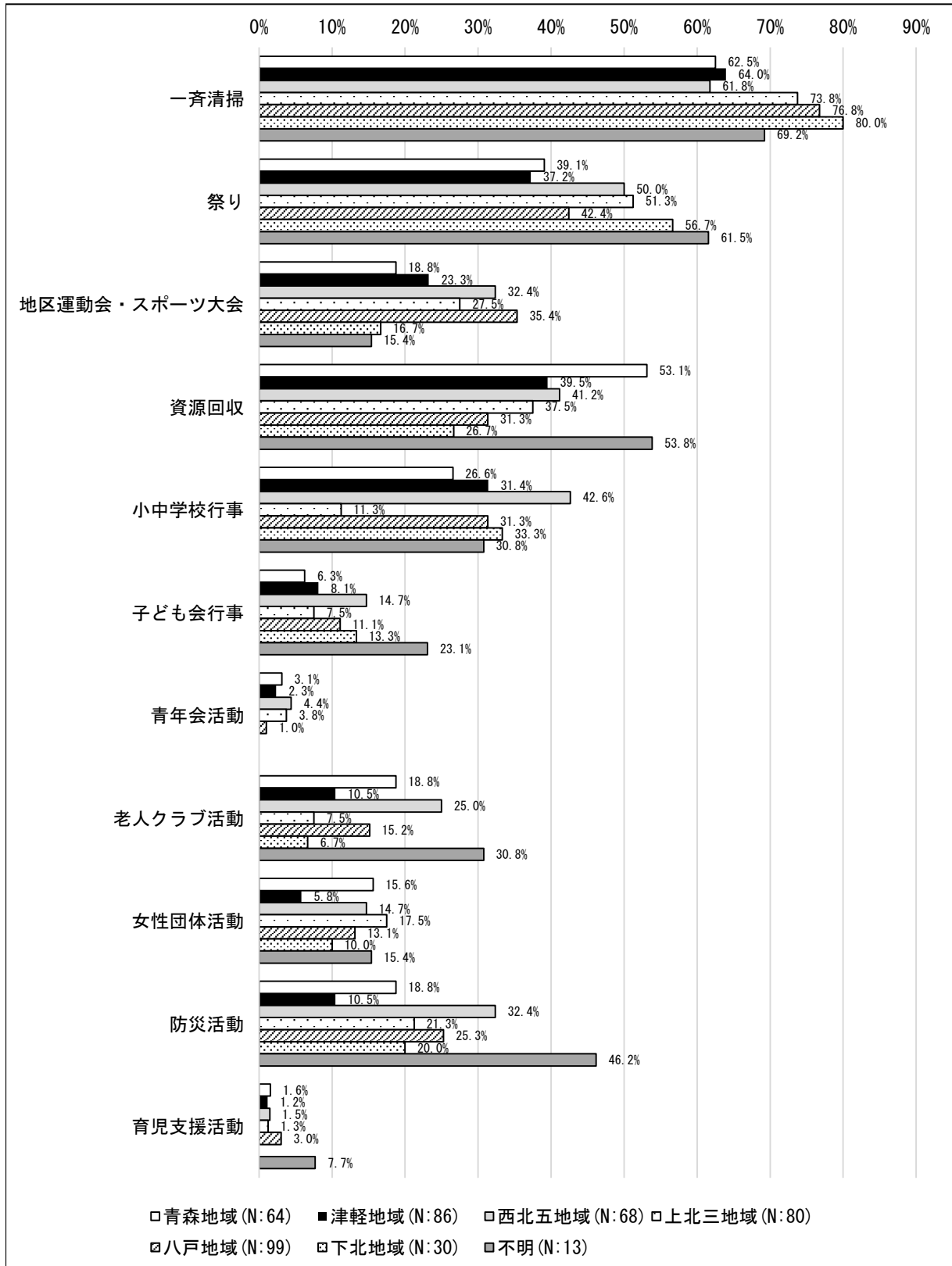
男女ともに、「一斉清掃」が最も大きく、次いで「祭り」、「資源回収」の順となっている。

【年代別】



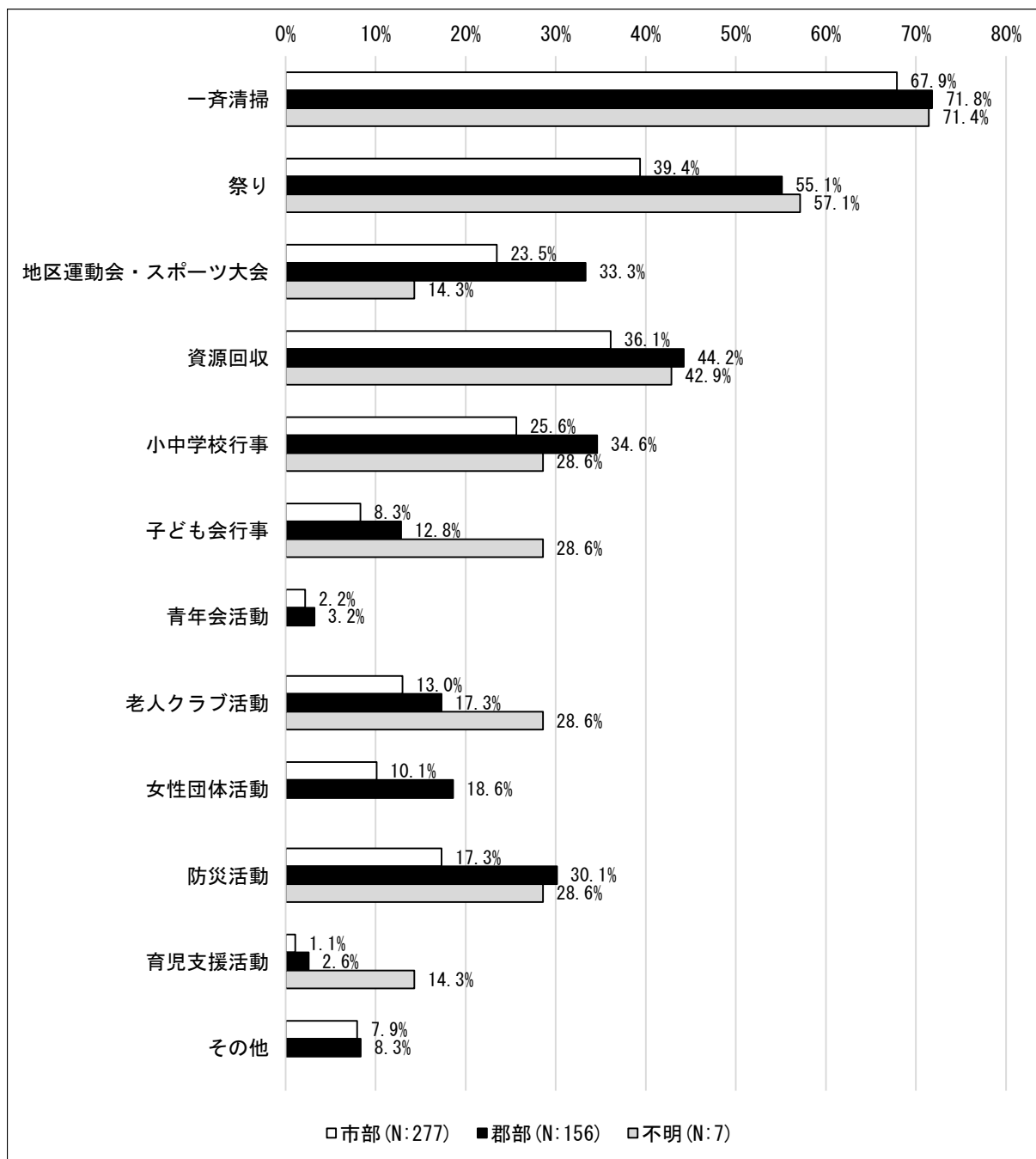
30歳代、40歳代では「小中学校行事」が、他の年代は「一斉清掃」がそれぞれ最も大きくなっている。20歳代では「祭り」が、30歳代、40歳代では「子ども会行事」が、70歳以上では「老人クラブ活動」がそれぞれ他の年代より大きくなっている。「資源回収」は年代が上がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「一斉清掃」が最も大きくなっている。青森地域では「資源回収」が、西北五地域では「小中学校行事」、「老人クラブ活動」、「防災活動」がそれぞれ他の地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



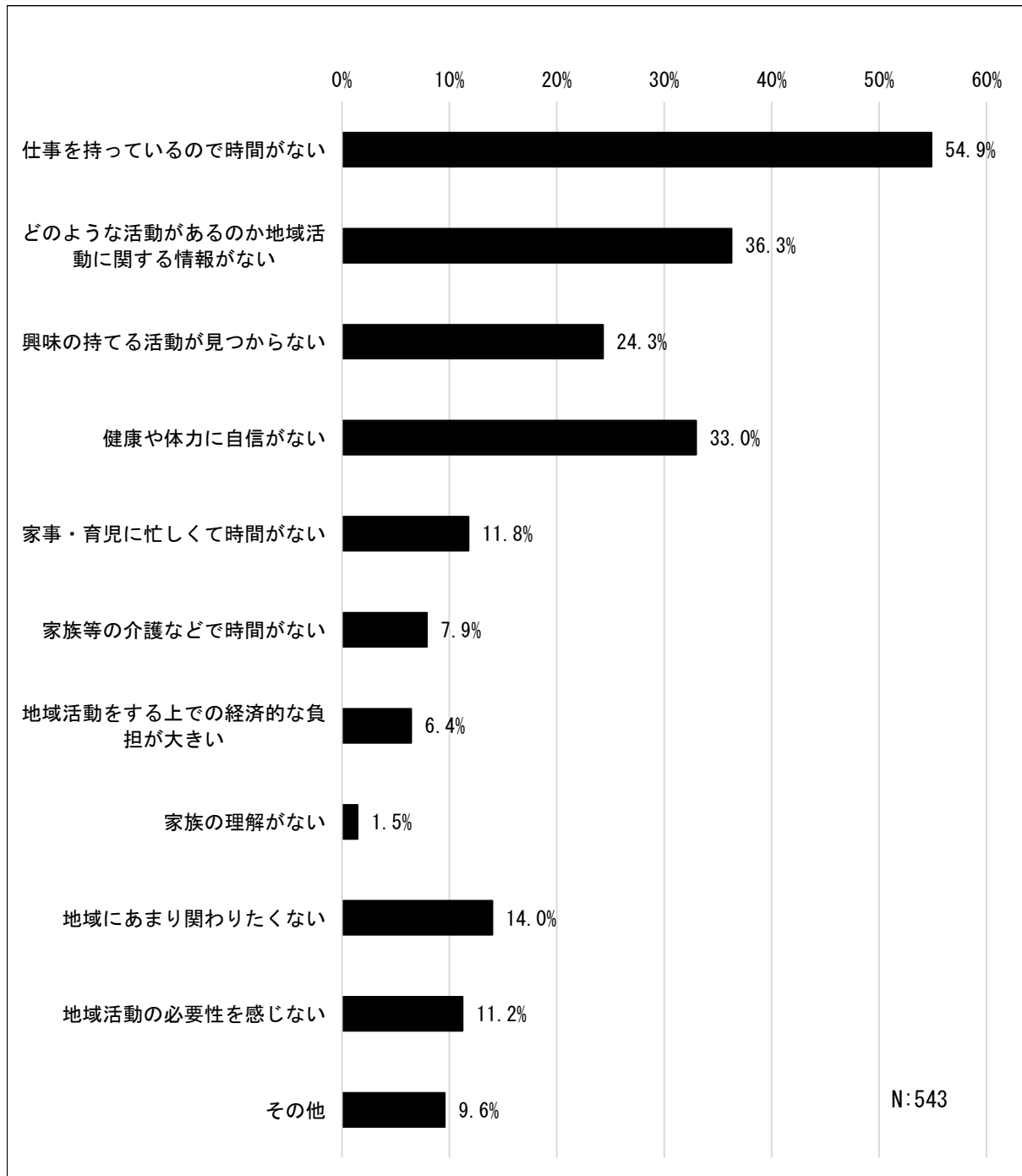
市部・郡部ともに、「一斉清掃」が最も大きく、次いで「祭り」、「資源回収」の順となっている。

【自由回答より】

- ・町内会
- ・防犯活動

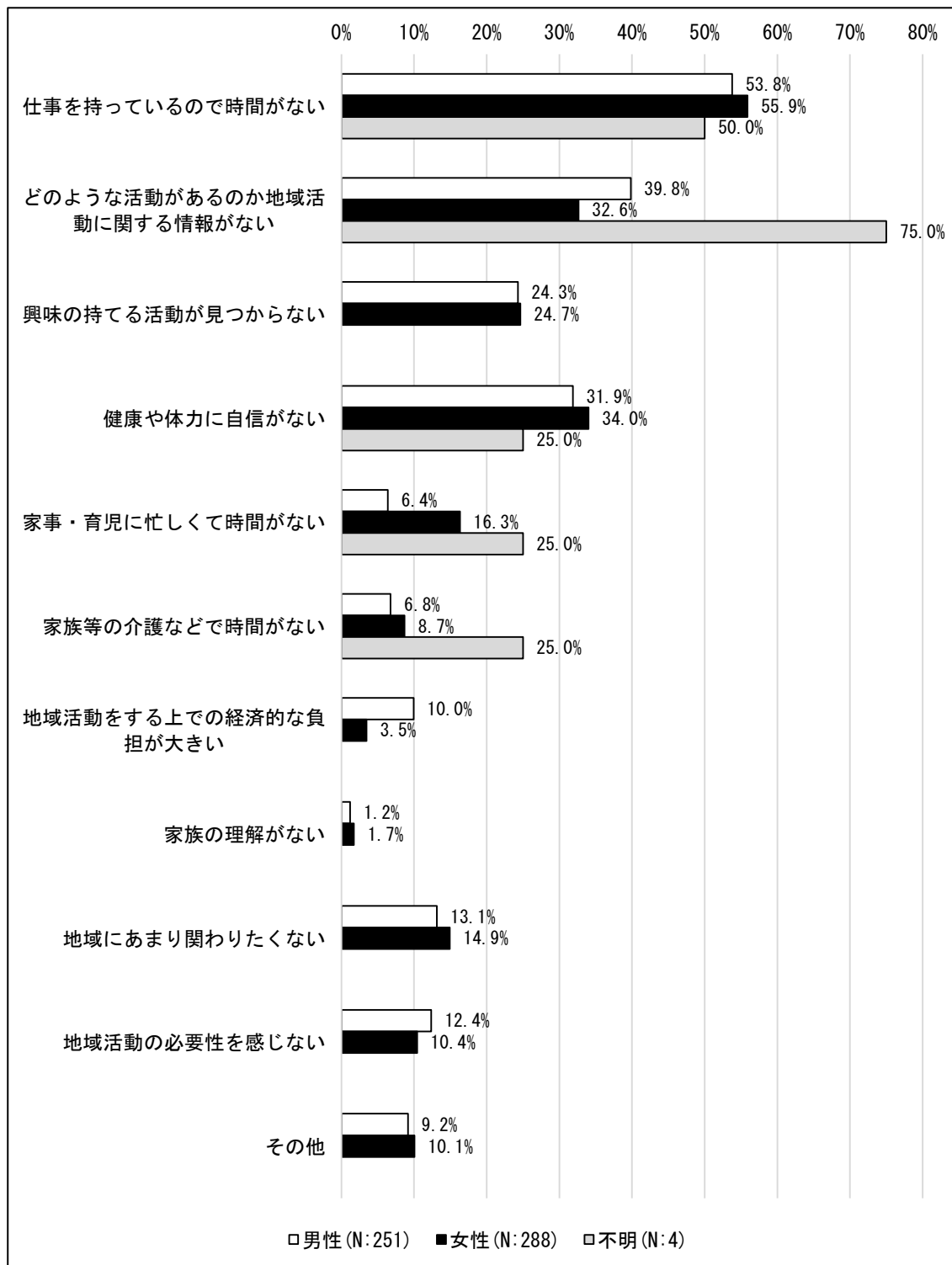
問 6-2. 参加していない理由（3つまで）

・参加していない理由



「仕事を持っているので時間がない」が55%、「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」が36%、「健康や体力に自信がない」が33%の順となっている。

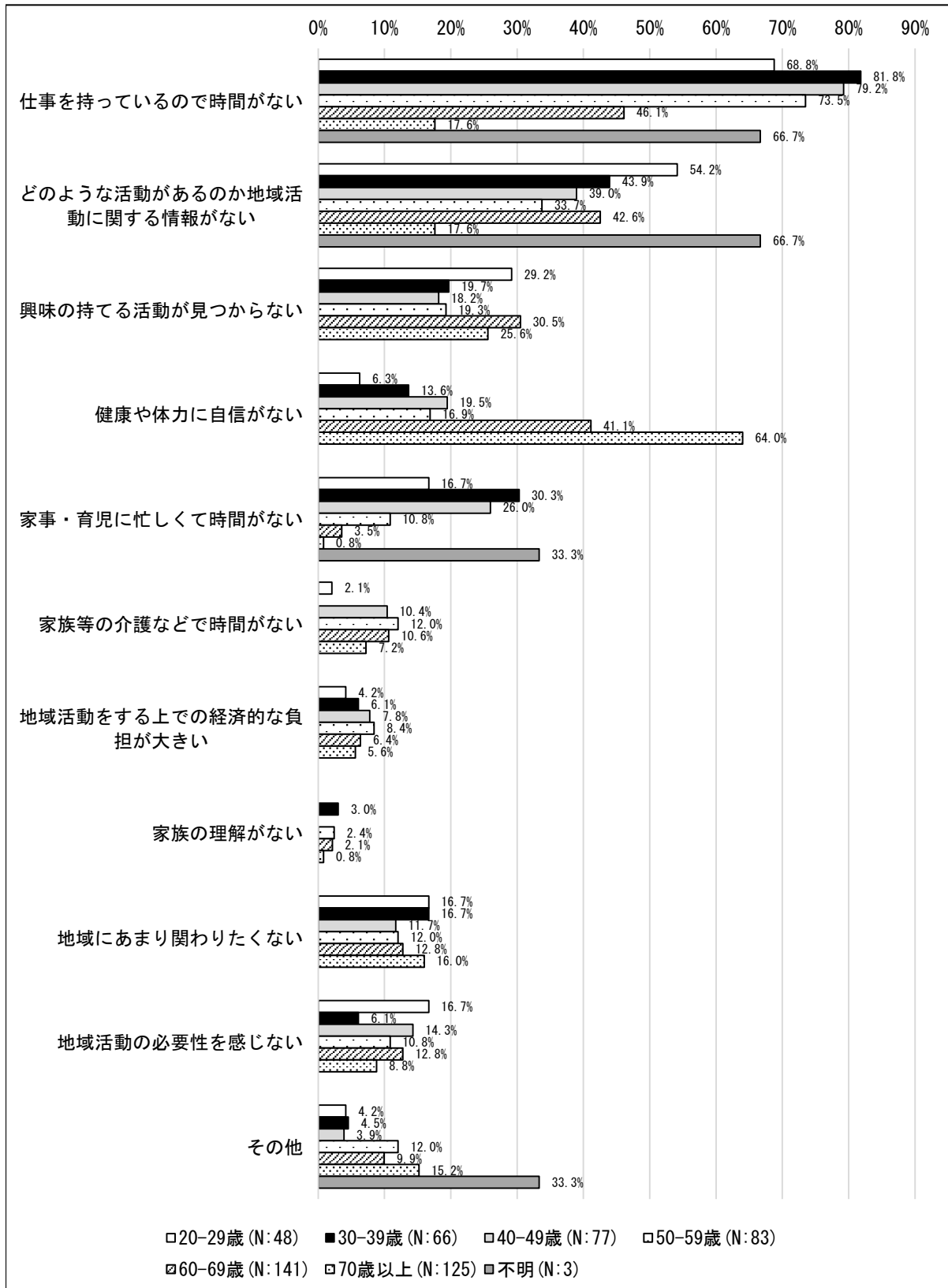
【男女別】



男女ともに「仕事を持っているので時間がない」が最も大きくなっている。

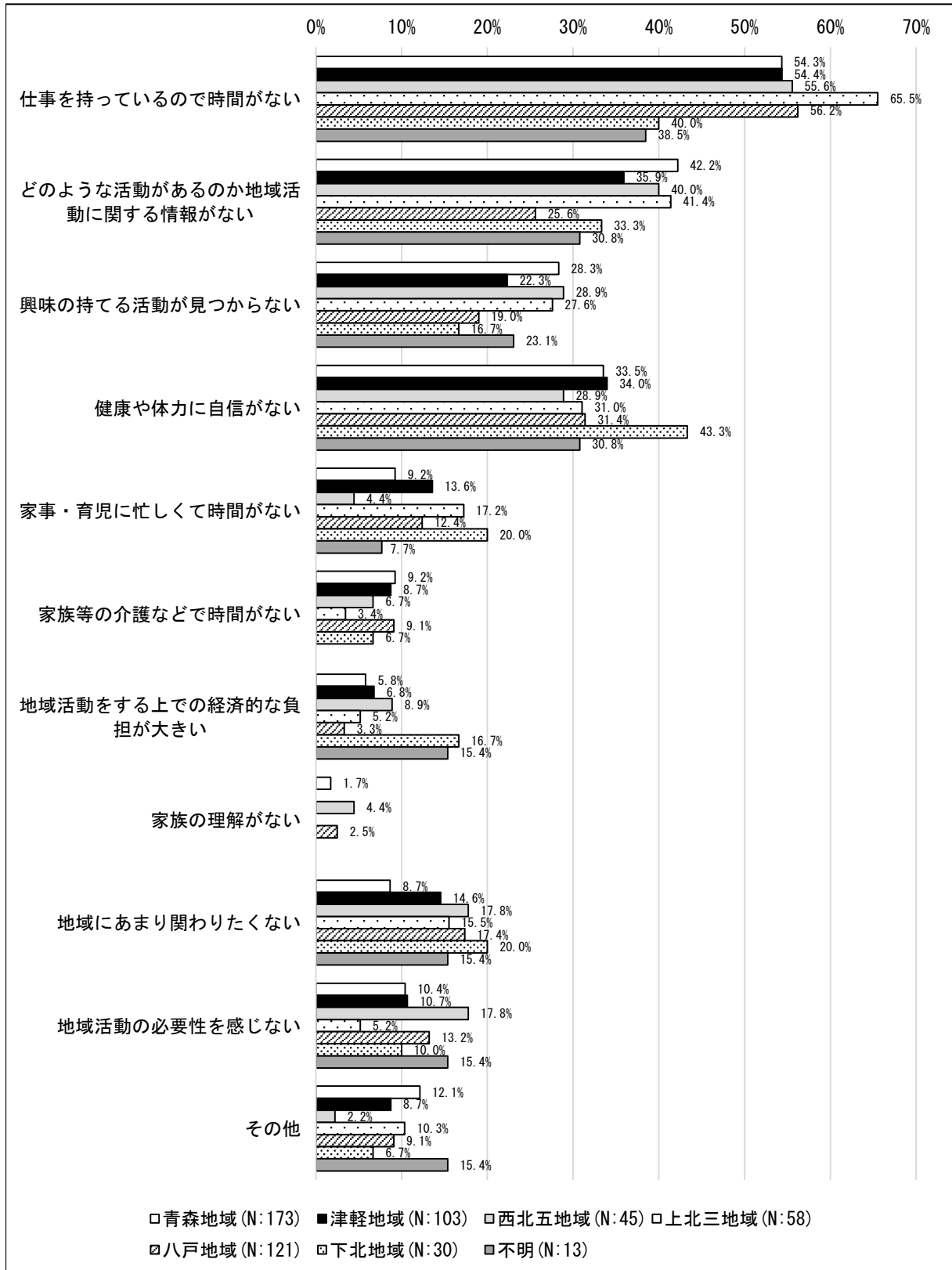
次いで男性では「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「健康や体力に自信がない」の順となっている。女性では「健康や体力に自信がない」、「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」の順となっている。

【年代別】



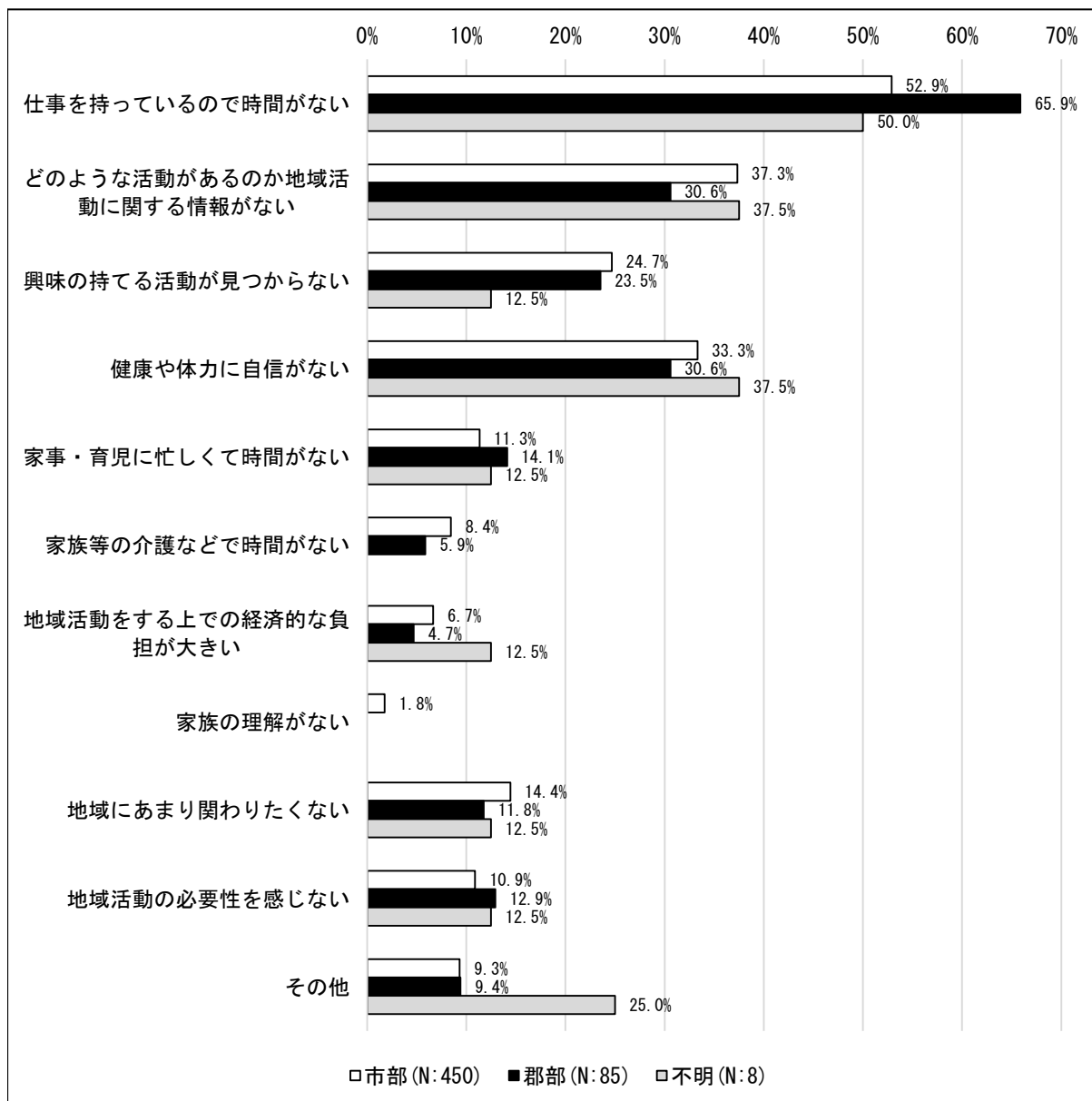
60歳代以下では「仕事を持っているので時間がない」が最も大きく、次いで「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」となっている。70歳以上では「健康や体力に自信がない」が最も大きく、次いで「興味を持てる活動が見つからない」となっている。30歳代、40歳代では「家事・育児に忙しくて時間がない」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



下北地域では「健康や体力に自信がない」が最も大きく、次いで「仕事を持っているので時間がない」となっている。他の地域では「仕事を持っているので時間がない」が最も大きく、次いで八戸地域では「健康や体力に自信がない」、他の地域では「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」となっている。

【市部・郡部別】



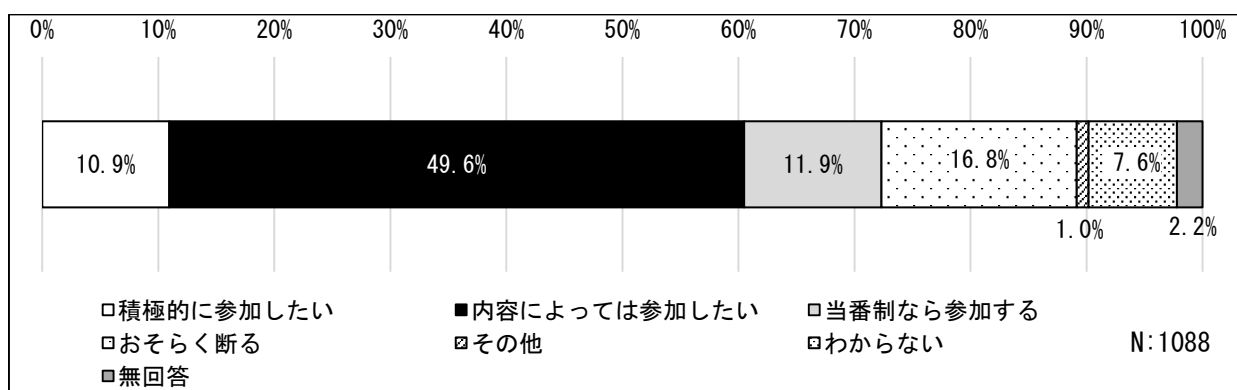
市部・郡部ともに「仕事を持っているので時間がない」が最も大きくなっており、次いで市部では「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「健康や体力に自信がない」の順に、郡部では「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「健康や体力に自信がない」が同率となっている。

【自由回答より】

- ・ 同年代の参加者がいないため
- ・ 引っ越して間もないため地域になじみがない
- ・ 子供が学生の際は参加していた

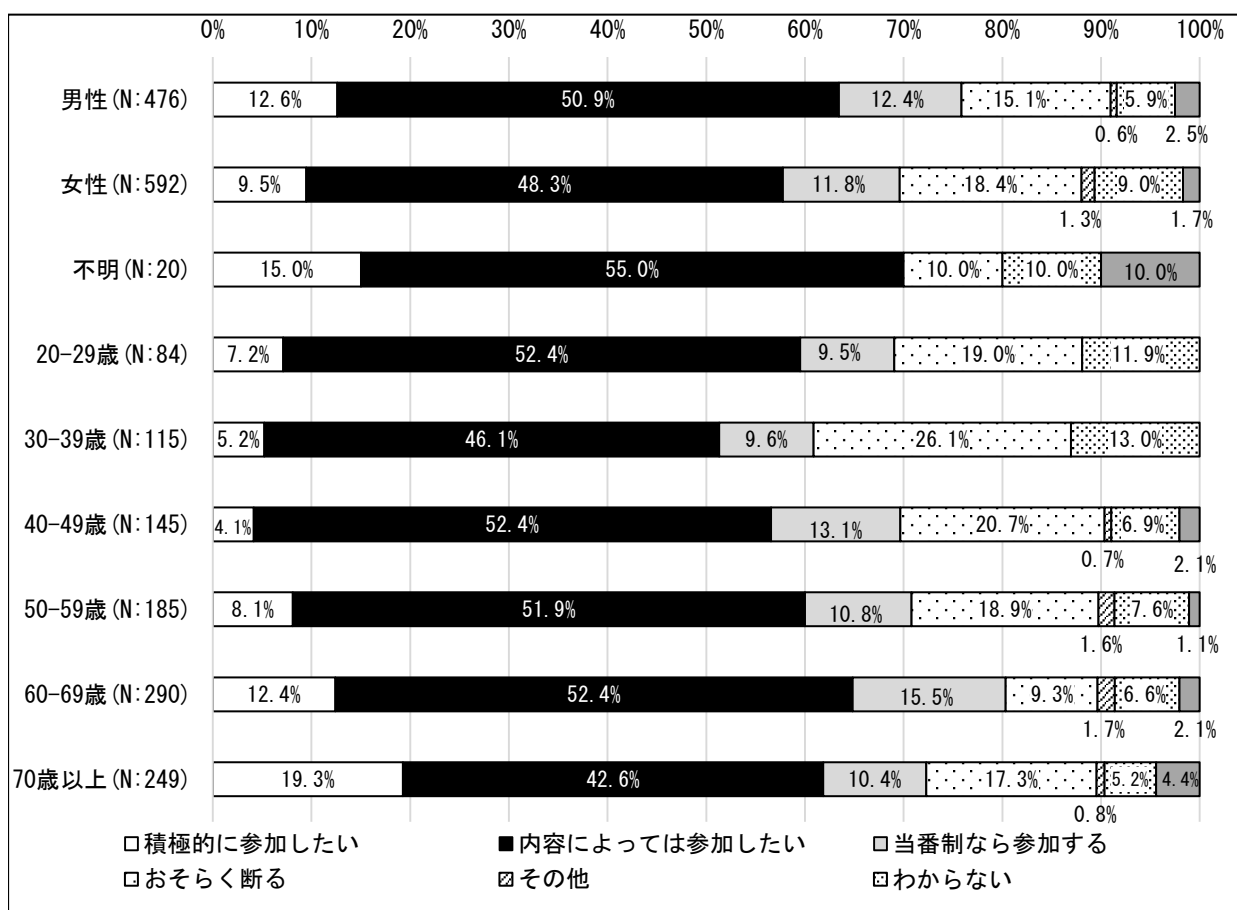
問7. 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどうしますか。（1つ）

・地域活動への参加



「内容によっては参加したい」が50%、「おそらく断る」が17%、「当番制なら参加する」が12%、「積極的に参加したい」が11%となっている。

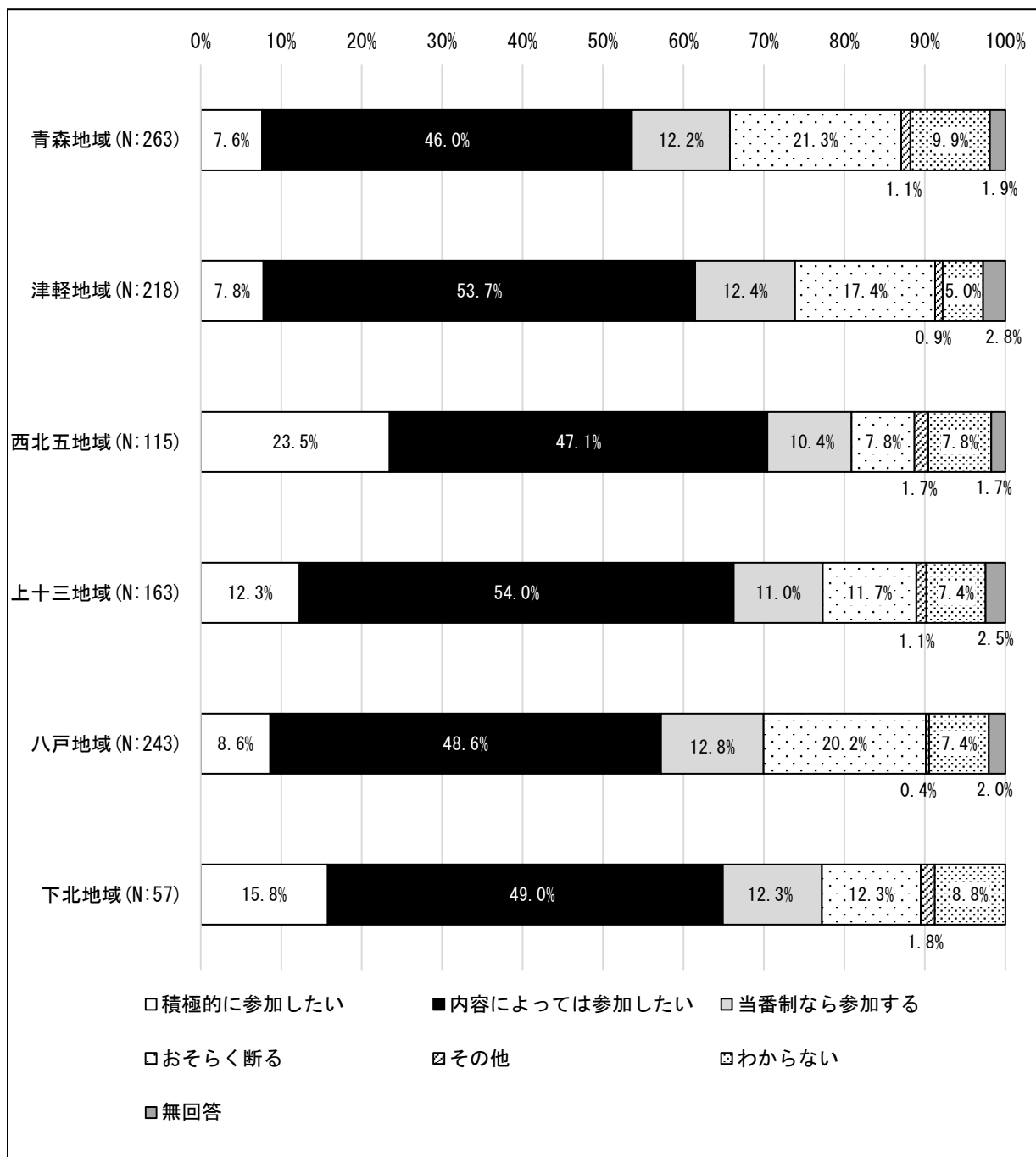
【男女別・年代別】



男女ともに「内容によっては参加したい」が最も大きく、次いで「おそらく断る」の順となっている。

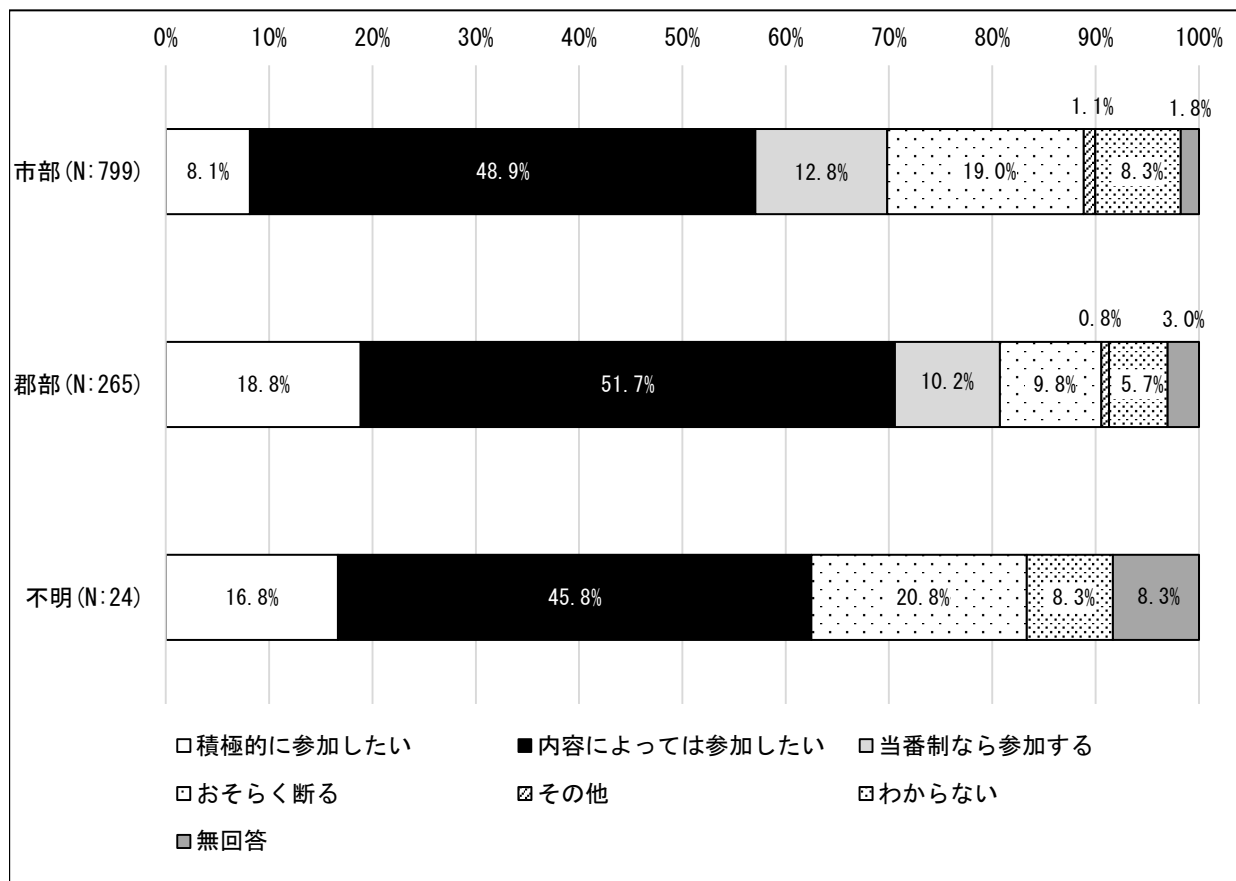
年代別に見ると、全ての年代で「内容によっては参加したい」が最も大きくなっている。30歳代では「おそらく断る」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「内容によっては参加したい」が最も大きくなっている。西北五地域では「積極的に参加したい」が他の地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「内容によっては参加したい」が最も大きくなっている。郡部では、「積極的に参加したい」が市部より大きくなっている。一方、市部では「おそらく断る」が郡部より大きくなっている。

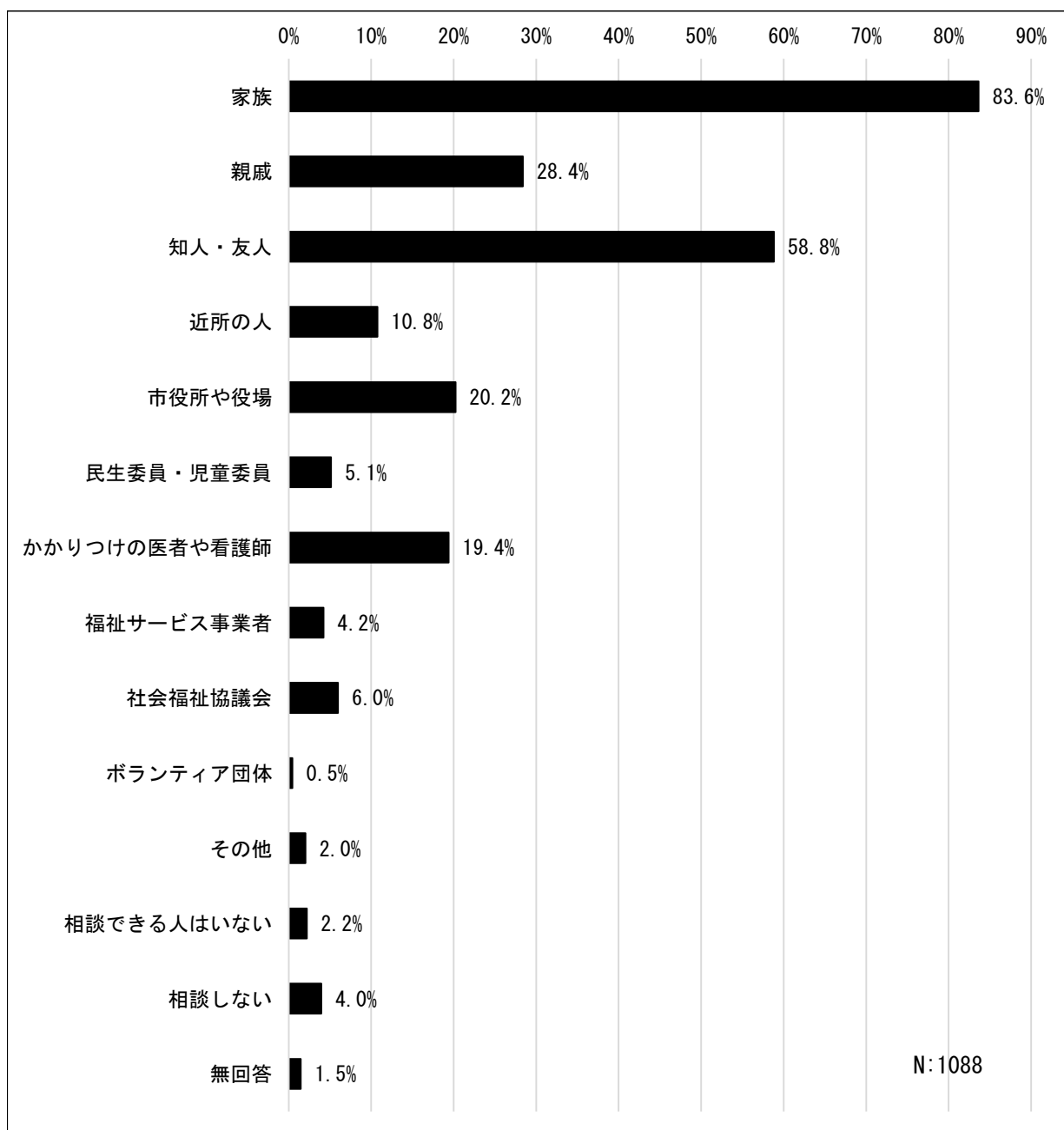
【自由回答より】

- ・ 休日が合えば参加したい
- ・ 時間がとれたら参加したい
- ・ 学校で忙しい

< 3 >地域の支え合いに関するあなたのお考えについて

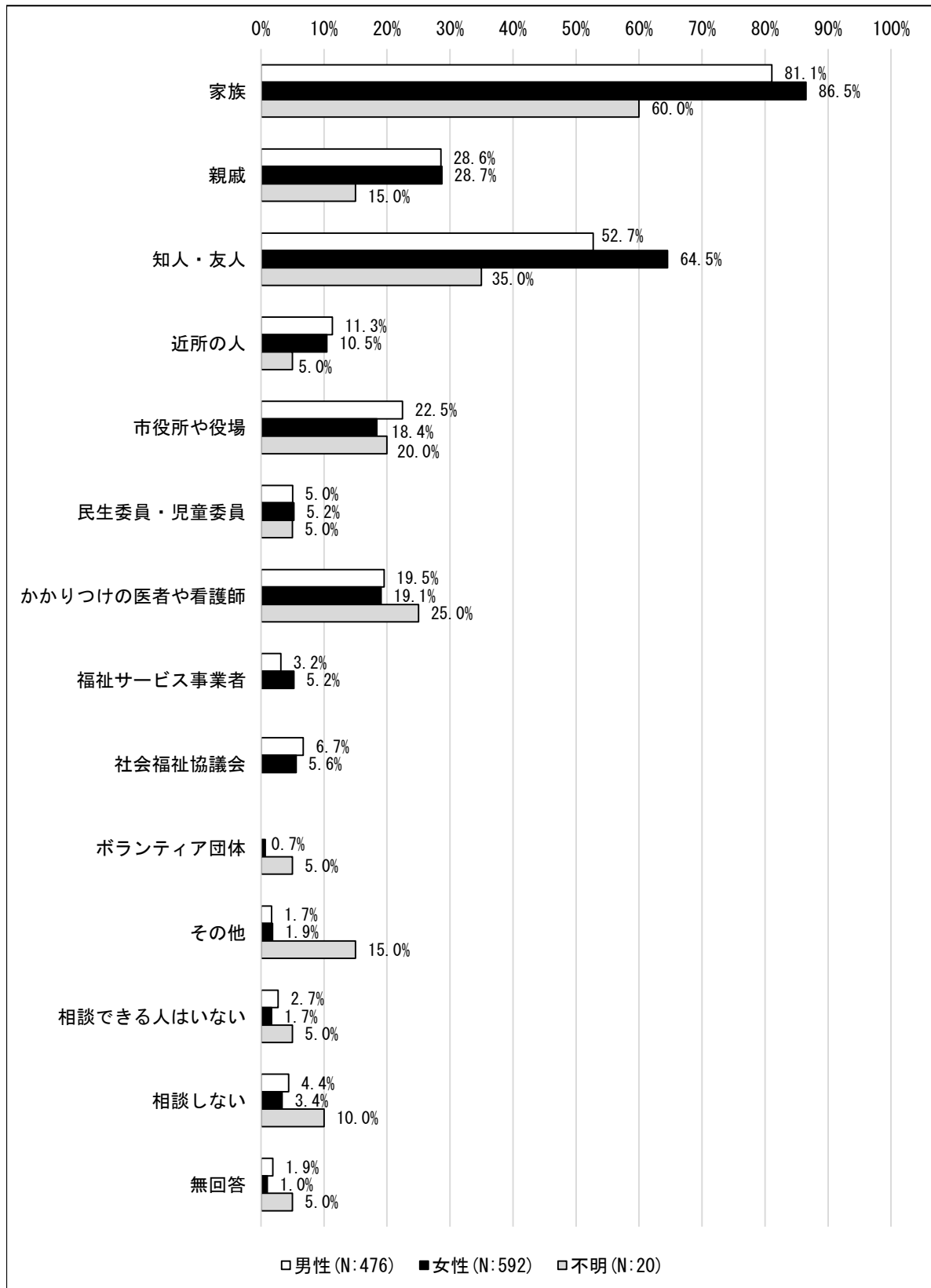
問8. 困っていることや不安なことがあるとき、あなたは誰に相談しますか。
(あてはまるものすべて)

・困っている時や不安なときの相談相手



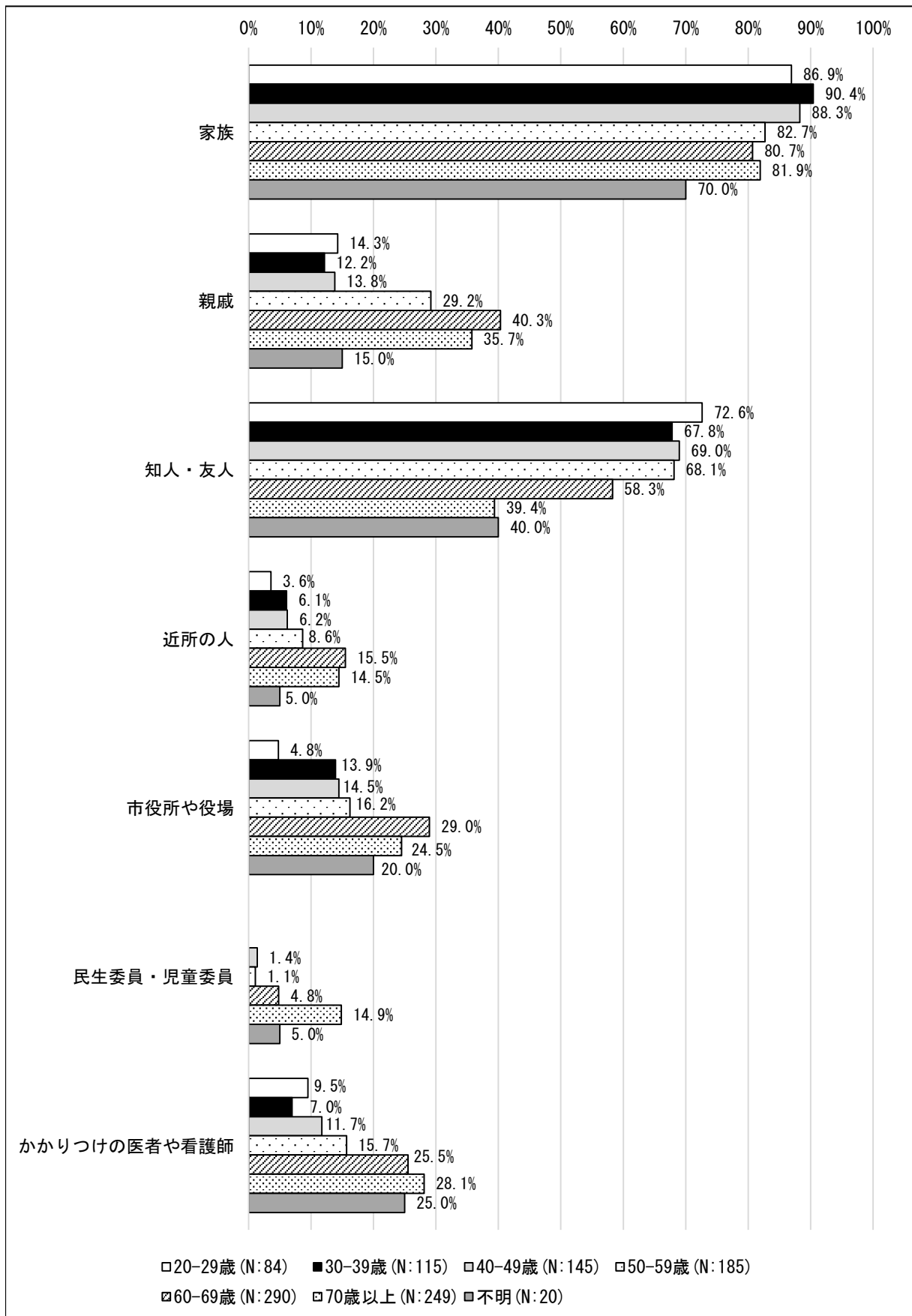
「家族」が84%、「知人・友人」が59%、「親戚」が28%、「市役所や役場」が20%となっている。

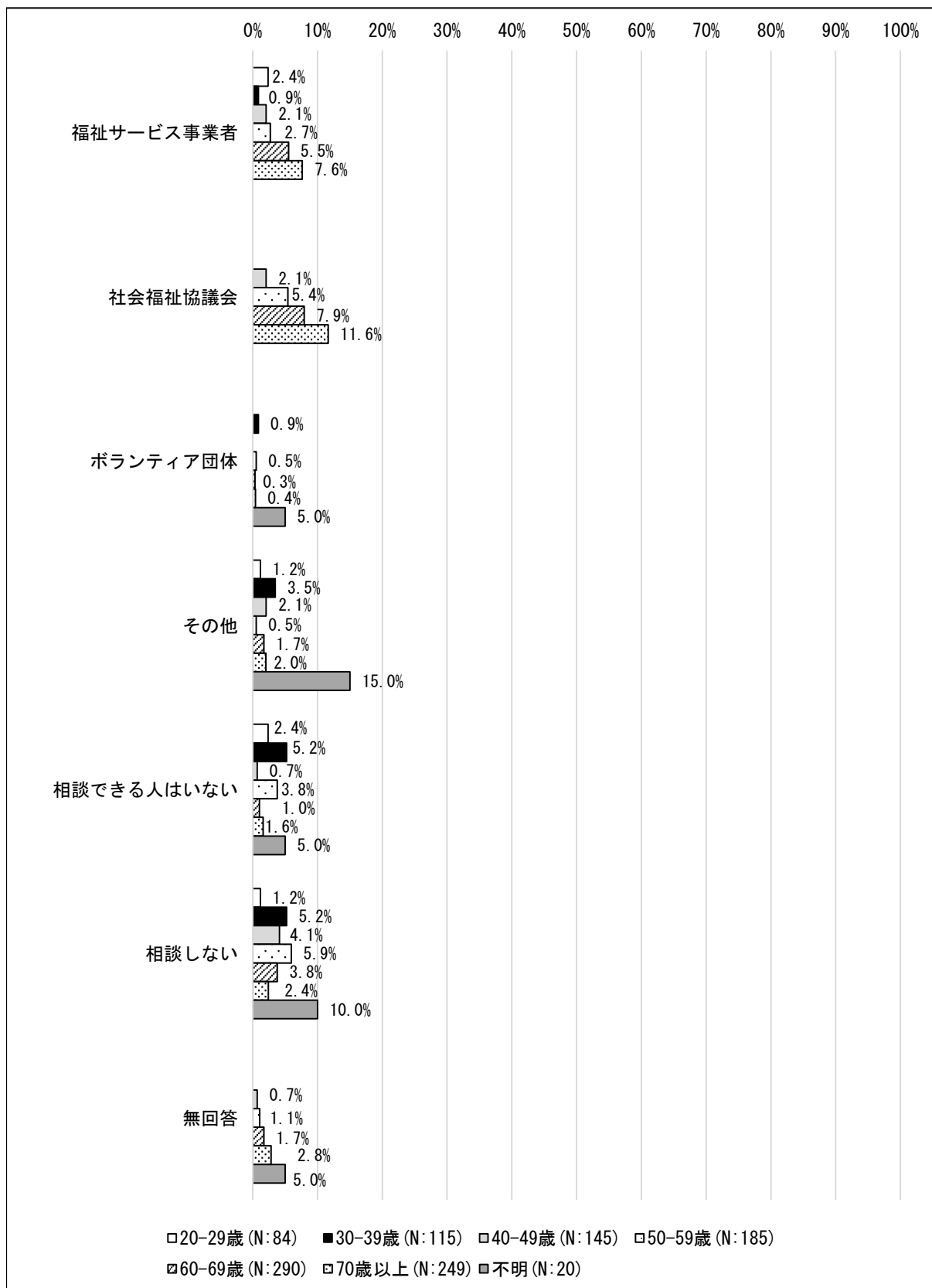
【男女別】



男女ともに「家族」が最も大きく、次いで「知人、友人」、「親戚」の順となっている。

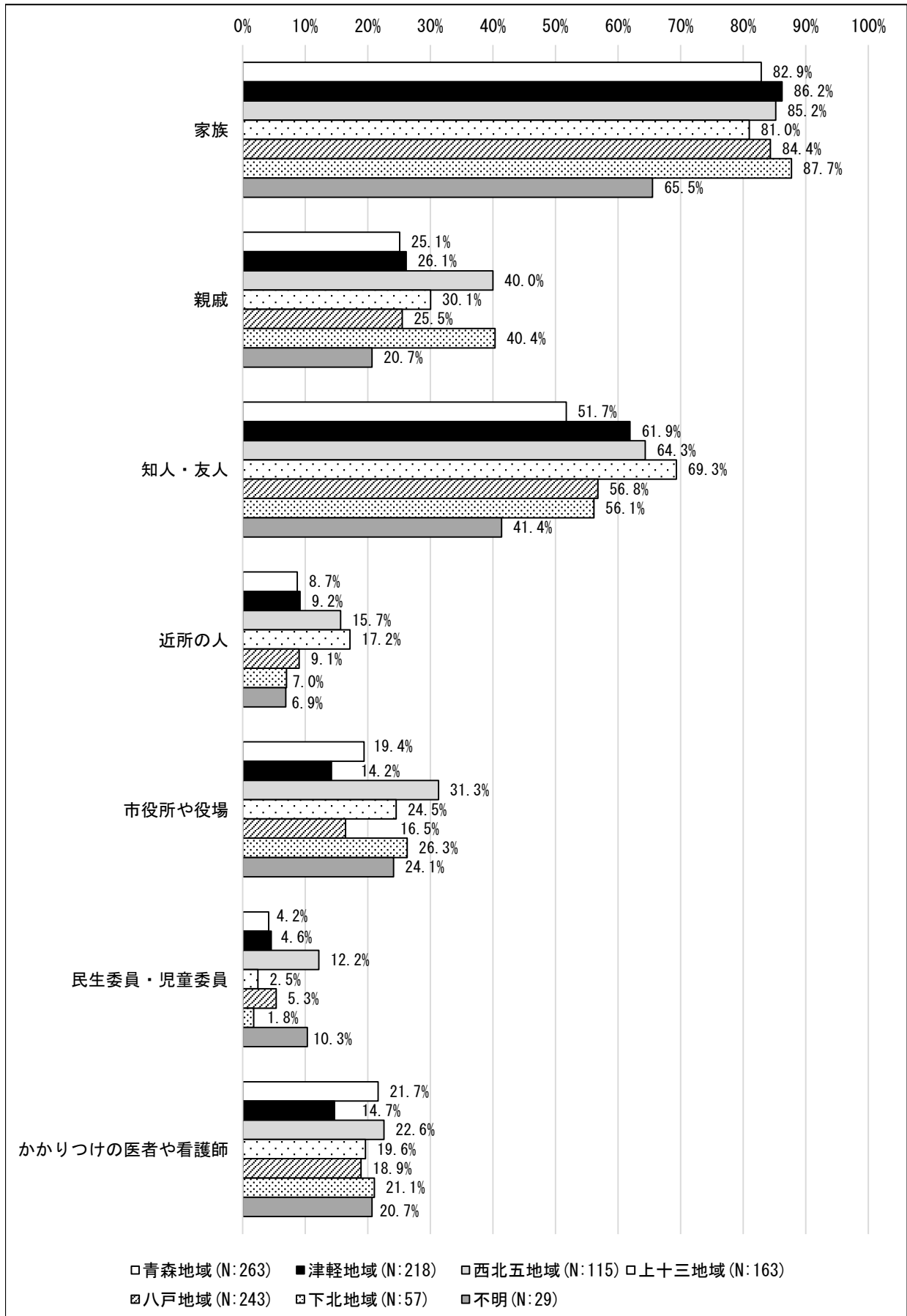
【年代別】

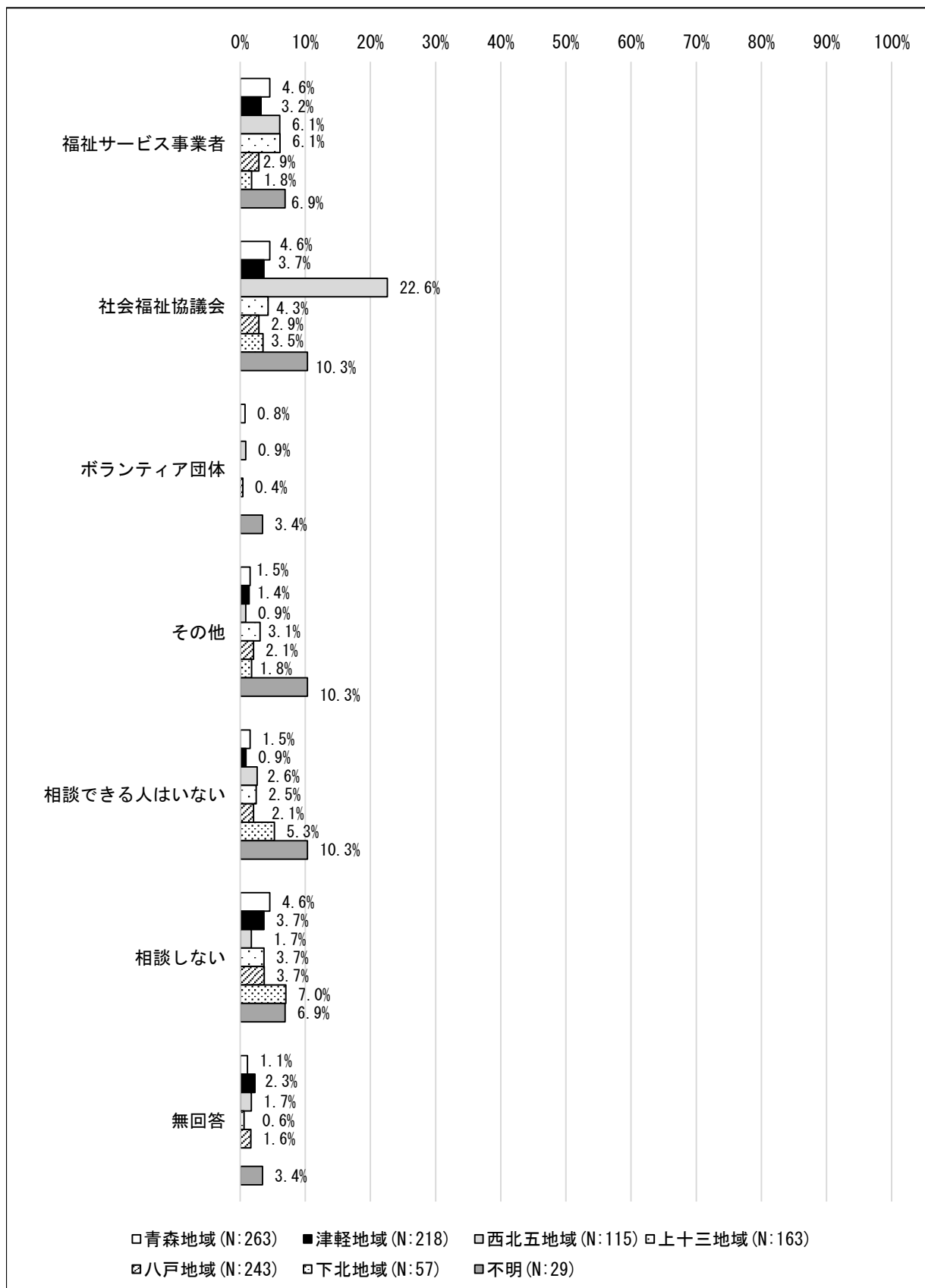




全ての年代で「家族」が最も大きく、次いで「知人、友人」の順となっている。50歳代以上では「親戚」が他の年代より大きくなっている。また、60歳代以上では「市役所や役場」、「かかりつけの医者や看護師」が他の年代より大きくなっている。

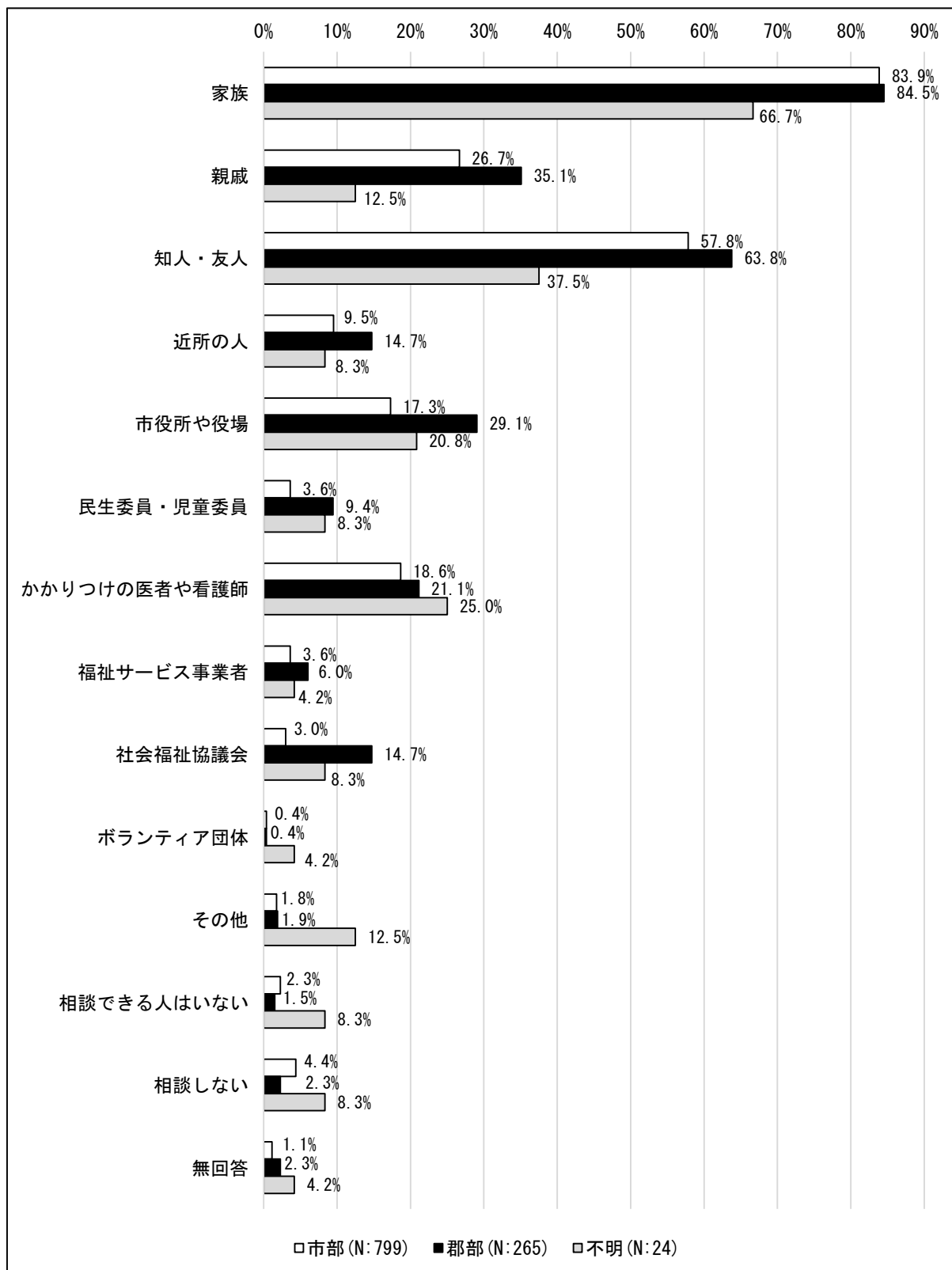
【地域別】





全ての地域で「家族」、「知人・友人」、「親戚」の順に大きく、次いで西北五地域、上十三地域、下北地域では「市役所や役場」、青森地域、津軽地域、八戸地域では「かかりつけの医者や看護師」となっている。

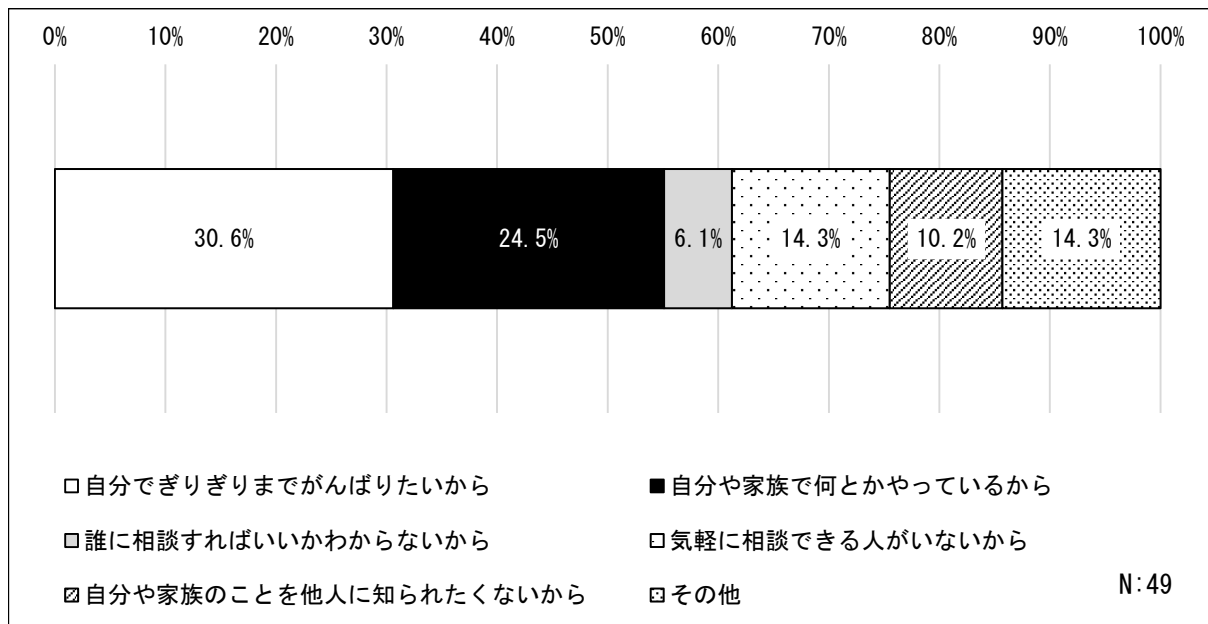
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「家族」が最も大きく、次いで「知人・友人」、「親戚」の順となっている。「市役所や役場」、「社会福祉協議会」は、郡部が市部より大きくなっている。

問 8-1. 問 8 で「⑬ 相談しない」を選んだ方におうかがいします。その理由は何ですか。
(1つ)

・困っている時や不安なときに相談しない理由



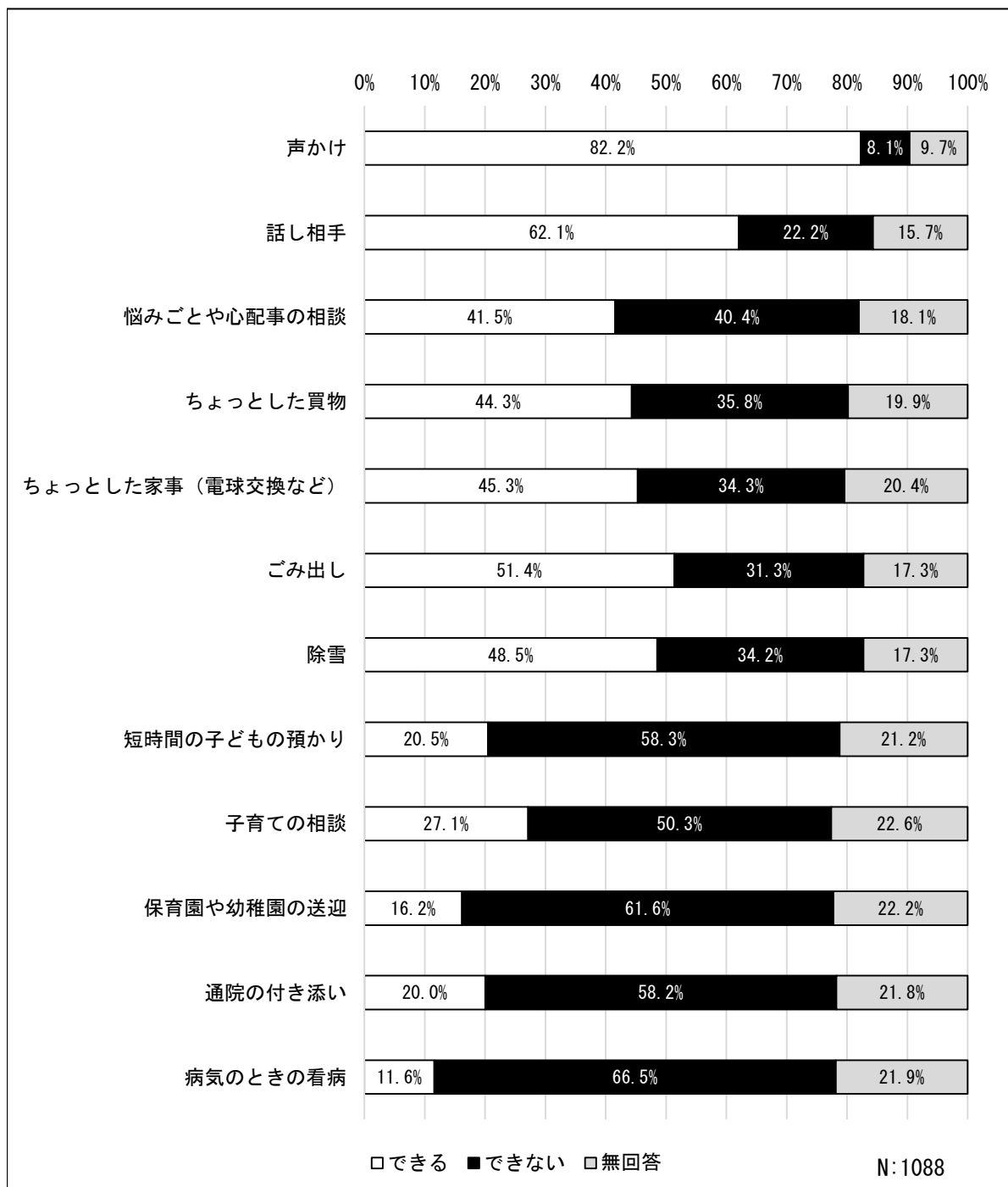
「自分できりぎりまでがんばりたいから」が31%、「自分や家族で何とかやっているから」が25%、「気軽に相談できる人がいないから」が14%となっている。

【自由回答より】

- ・相談したことを他人にしゃべられるから
- ・他人に相談するよりインターネットで困っていることへの対策等を調べて効率よく解決できるから

問 9. 隣近所で困っている人がいる場合に、①あなたが手助けできることは何ですか。また、②隣近所の人に手助けしてほしいことは何ですか。（①について項目ごとに「できる」「できない」のいずれか1つ、②について項目ごとに「してほしい」「いらぬ」のいずれか1つ）

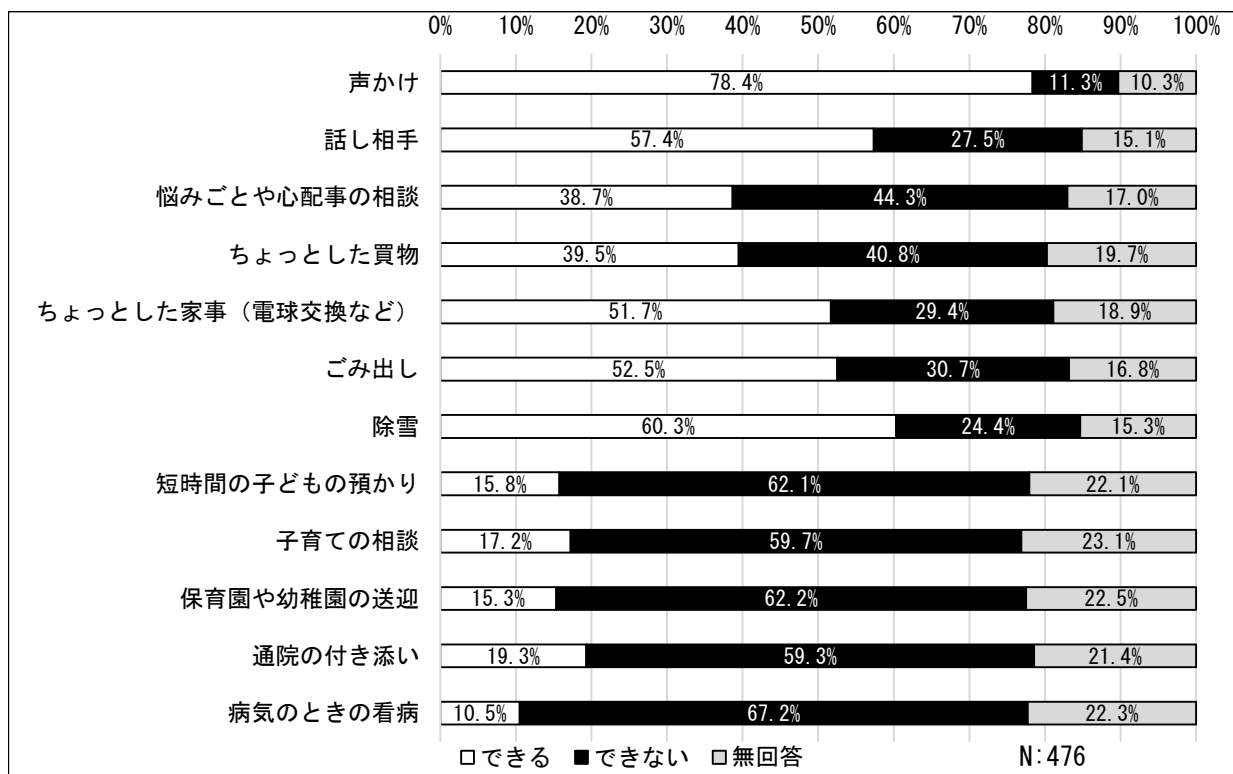
・隣近所で困っている場合（手助けできること）



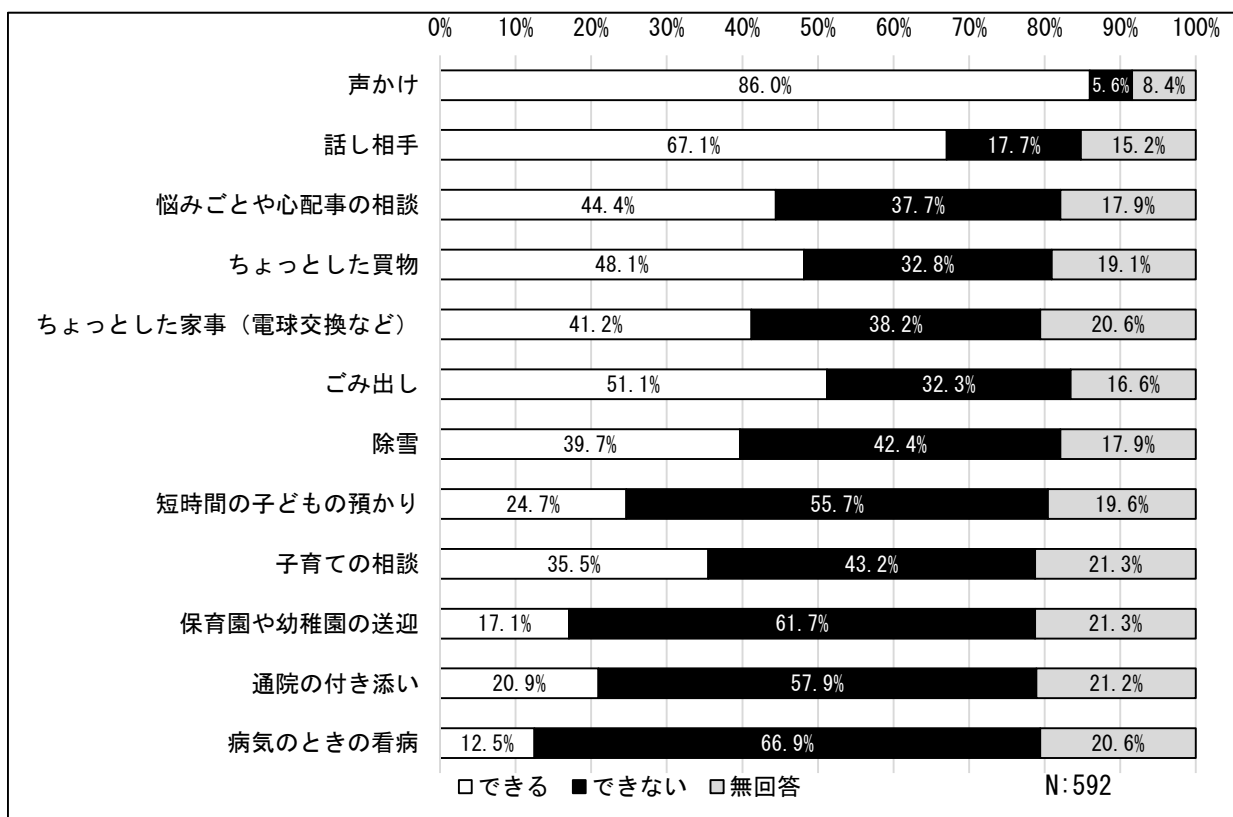
「声かけ」が82%、「話し相手」が62%、「ごみ出し」が51%の順に大きくなっている。「病気ときの看病」、「保育園や幼稚園の送迎」、「通院の付き添い」、「短時間の子どもの預かり」が小さくなっている。

【男女別】（手助けできること）

（男性）



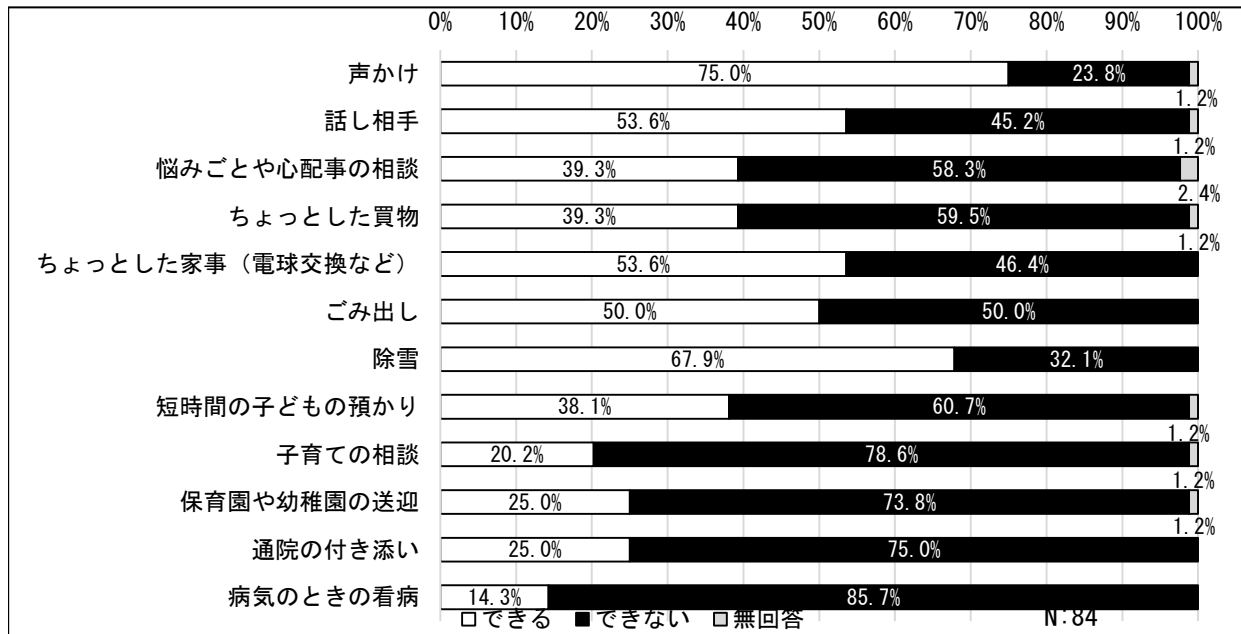
（女性）



男女ともに「声かけ」が最も大きく、次いで男性では「除雪」、「話し相手」、女性では「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

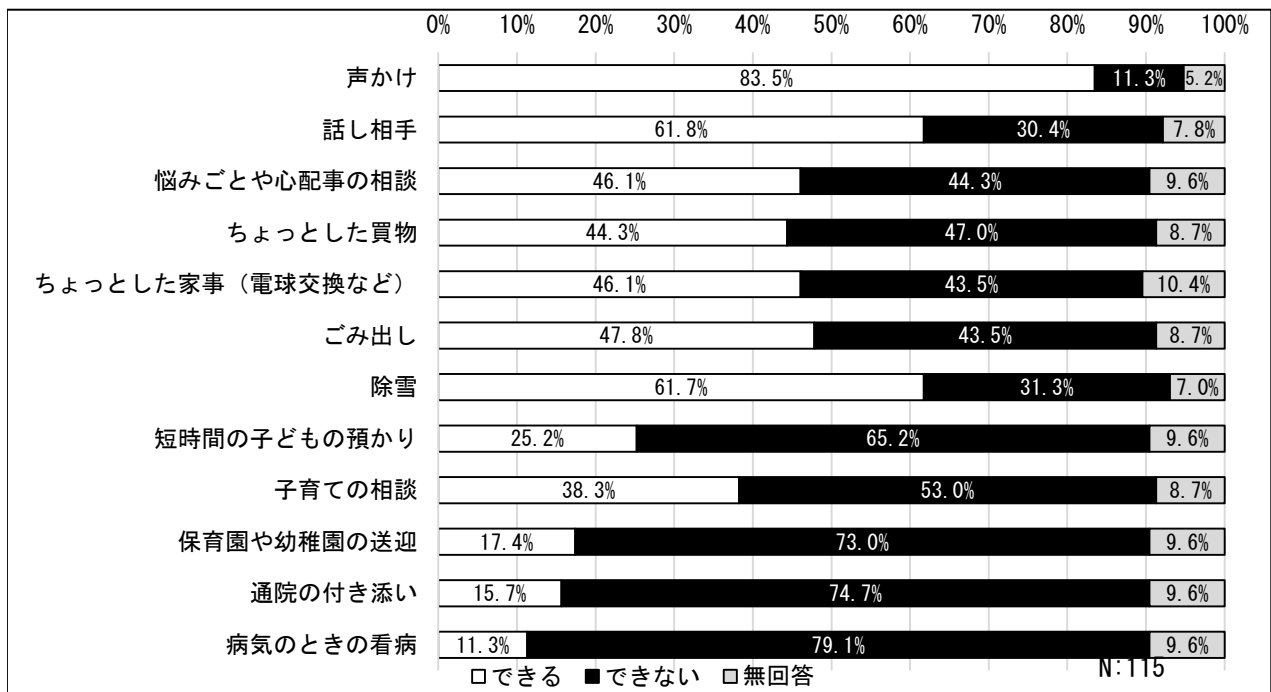
【年代別】（手助けできること）

(20-29 歳)



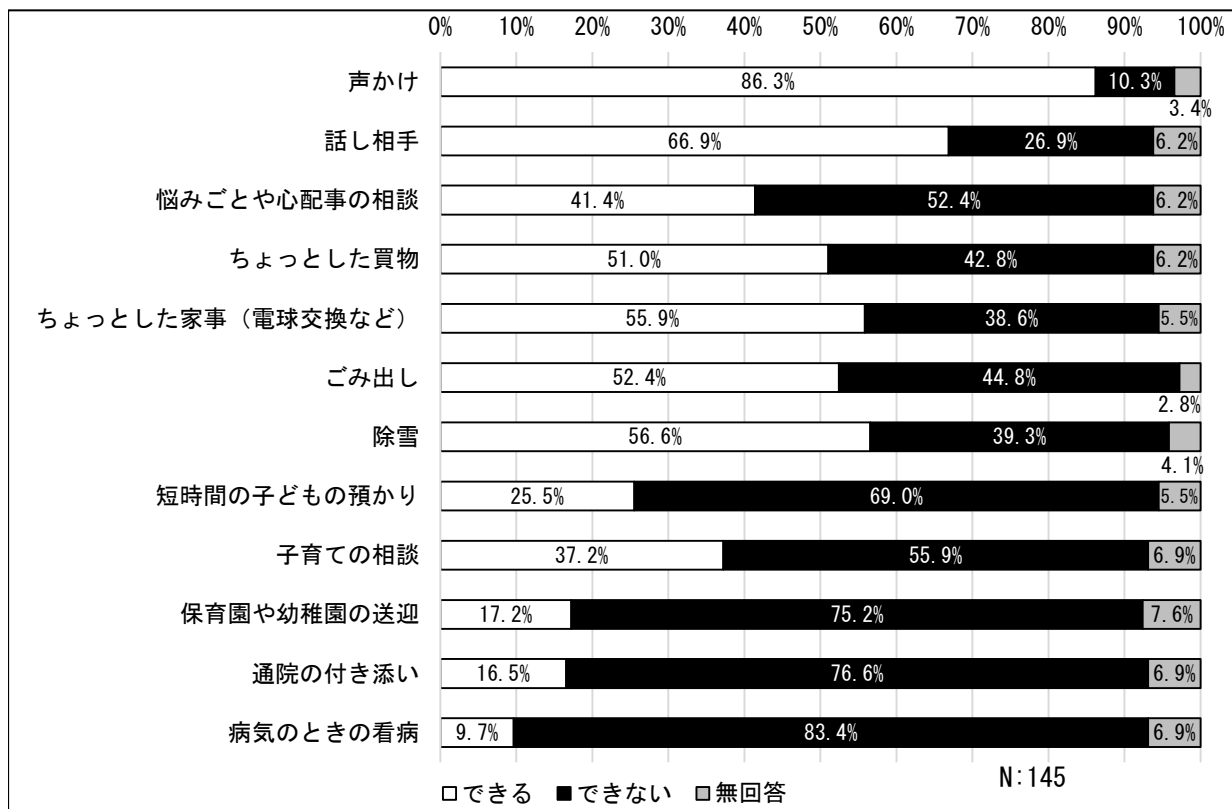
「声かけ」、「除雪」、「話し相手」、「ちょっとした家事（電球交換など）」の順に大きくなっている。「通院の付き添い」が、60 歳代とともに他の年代より大きくなっている。

(30-39 歳)



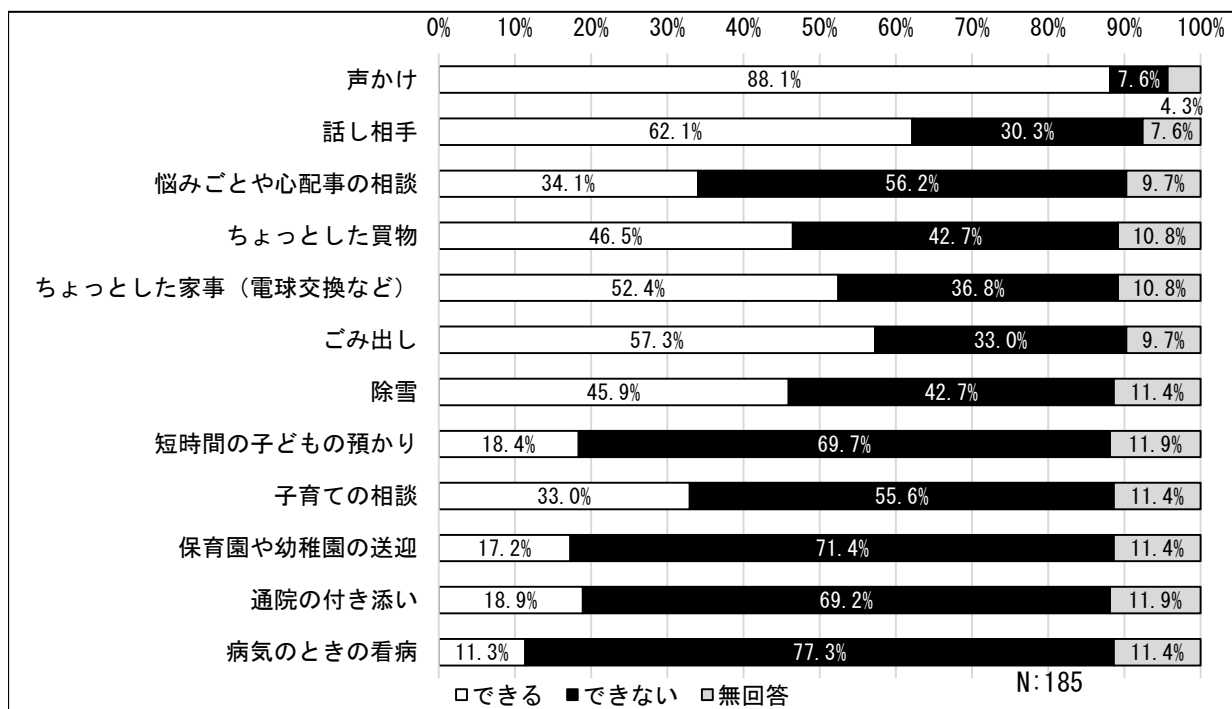
「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっており、「悩みごとや心配事の相談」は「できる」が「できない」を上回っている。「子育ての相談」が、40 歳代、50 歳代とともに他の年代より大きくなっている。

(40-49 歳)



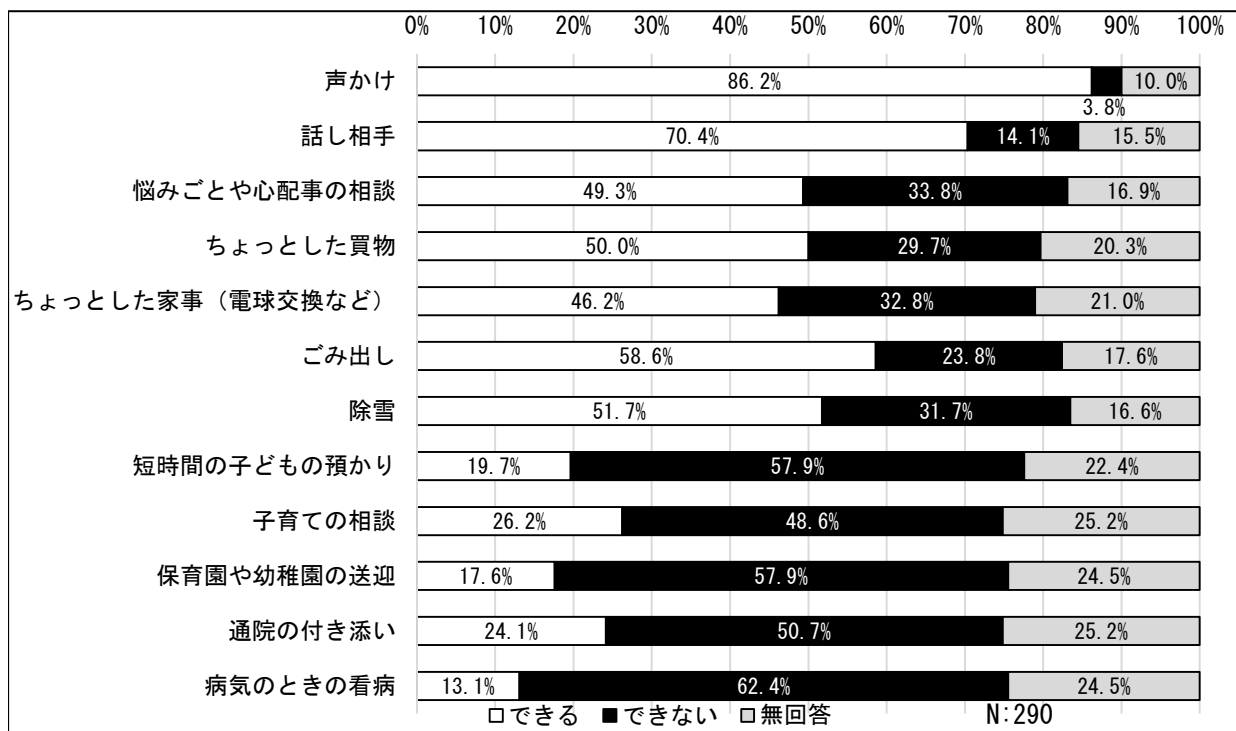
「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっている。「子育ての相談」が、30 歳代、50 歳代とともに他の年代より大きくなっている。

(50-59 歳)



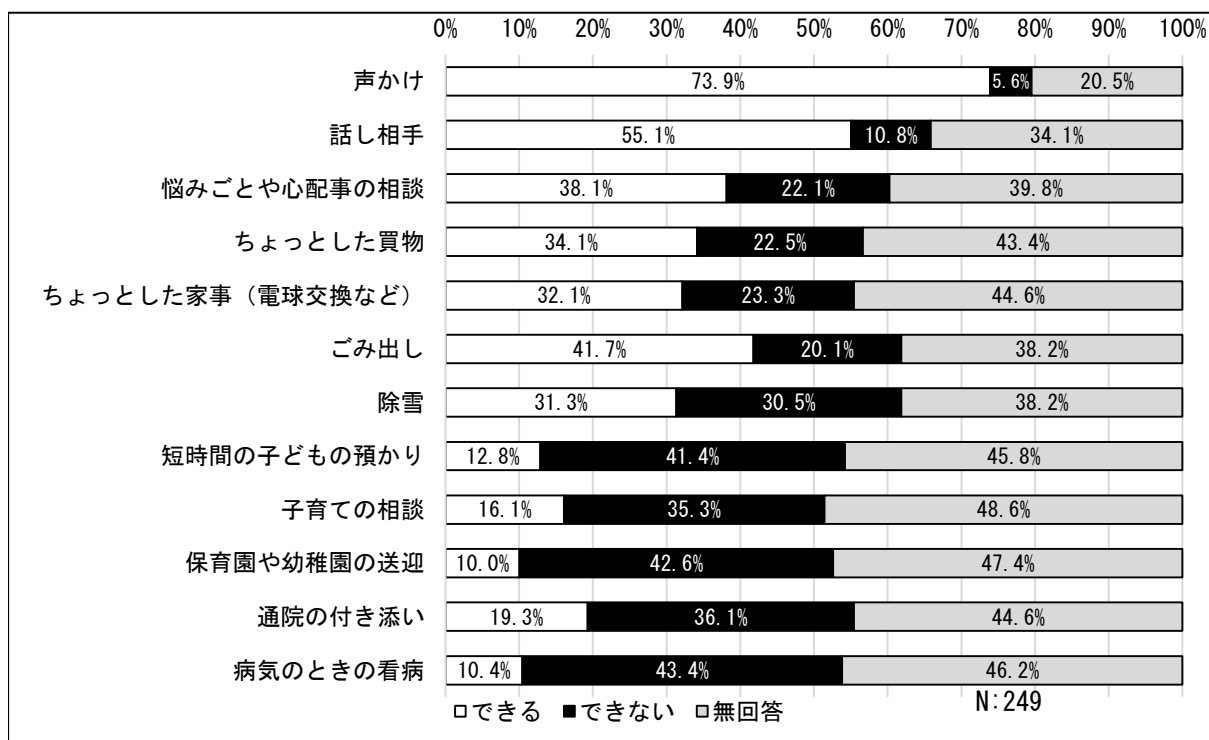
「声かけ」、「話し相手」、「ごみ出し」の順に大きくなっている。「子育ての相談」が、30 歳代、40 歳代とともに他の年代より大きくなっている。

(60-69 歳)



「声かけ」、「話し相手」、「ごみ出し」の順に大きくなっている。「通院の付き添い」が、20歳代とともに他の年代より大きくなっている。

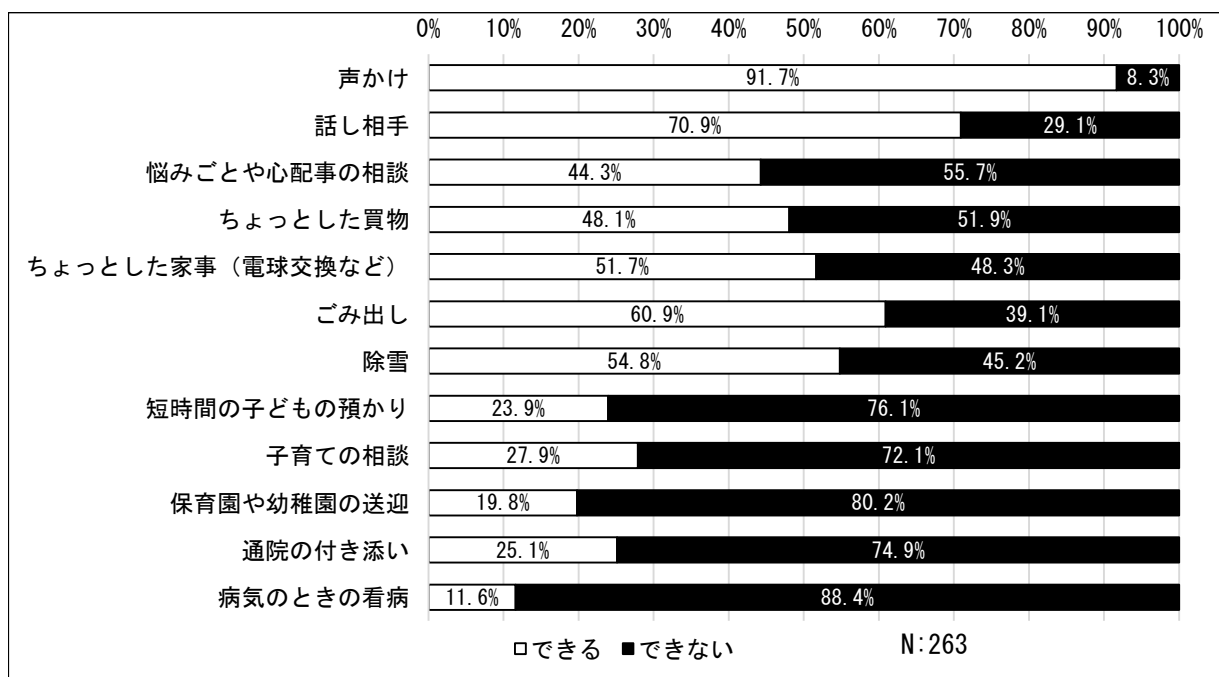
(70 歳以上)



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

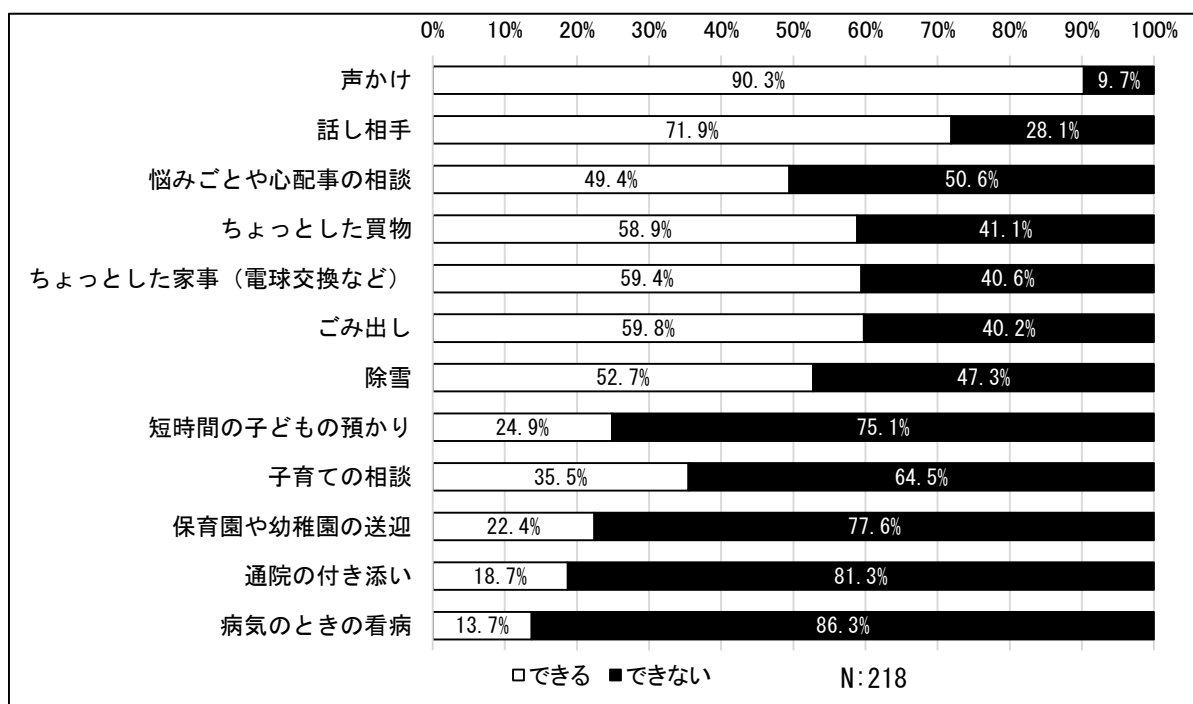
【地域別】（手助けできること）

（青森地域）



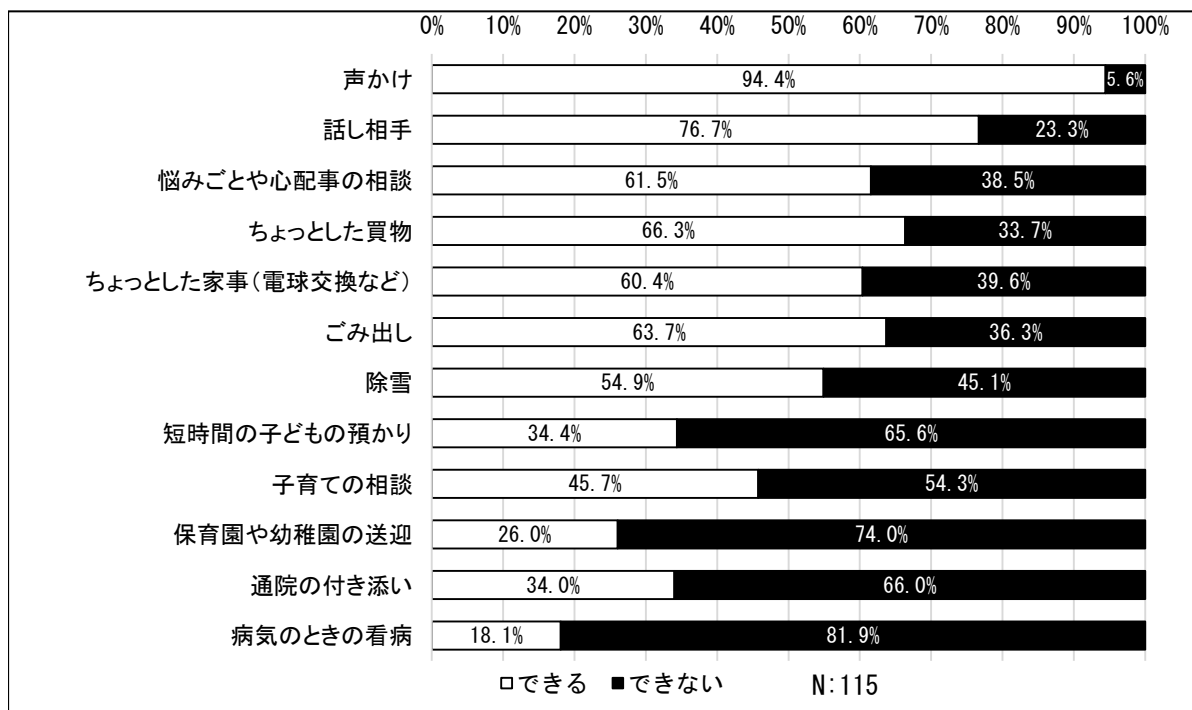
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

（津軽地域）



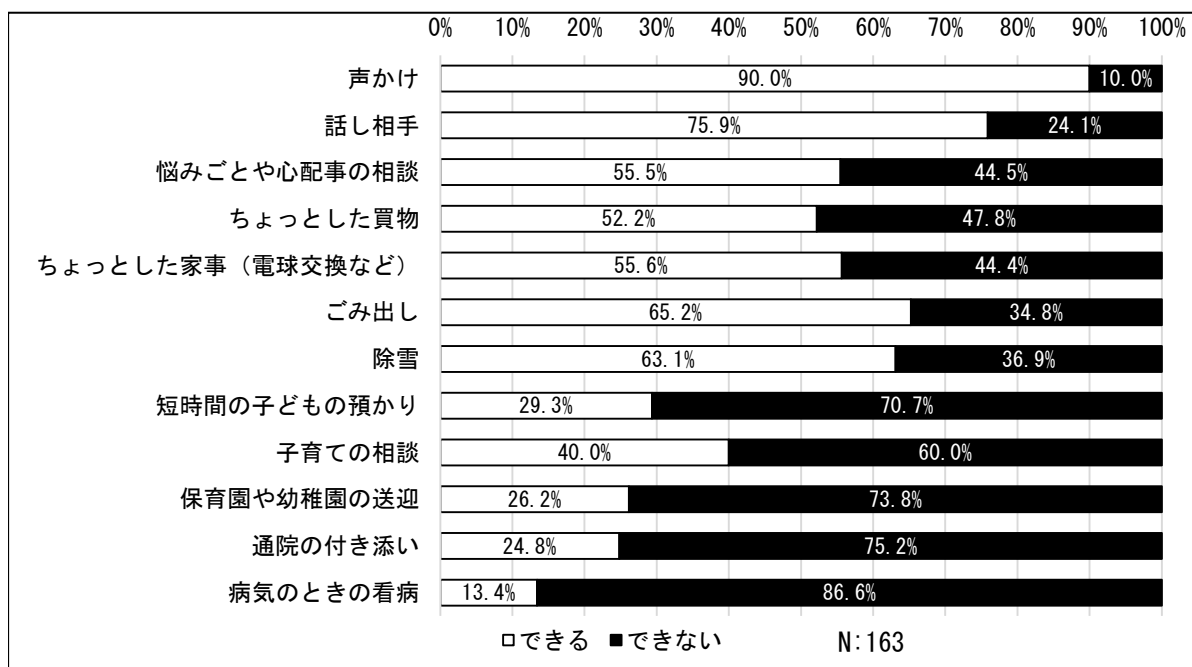
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

(西北五地域)



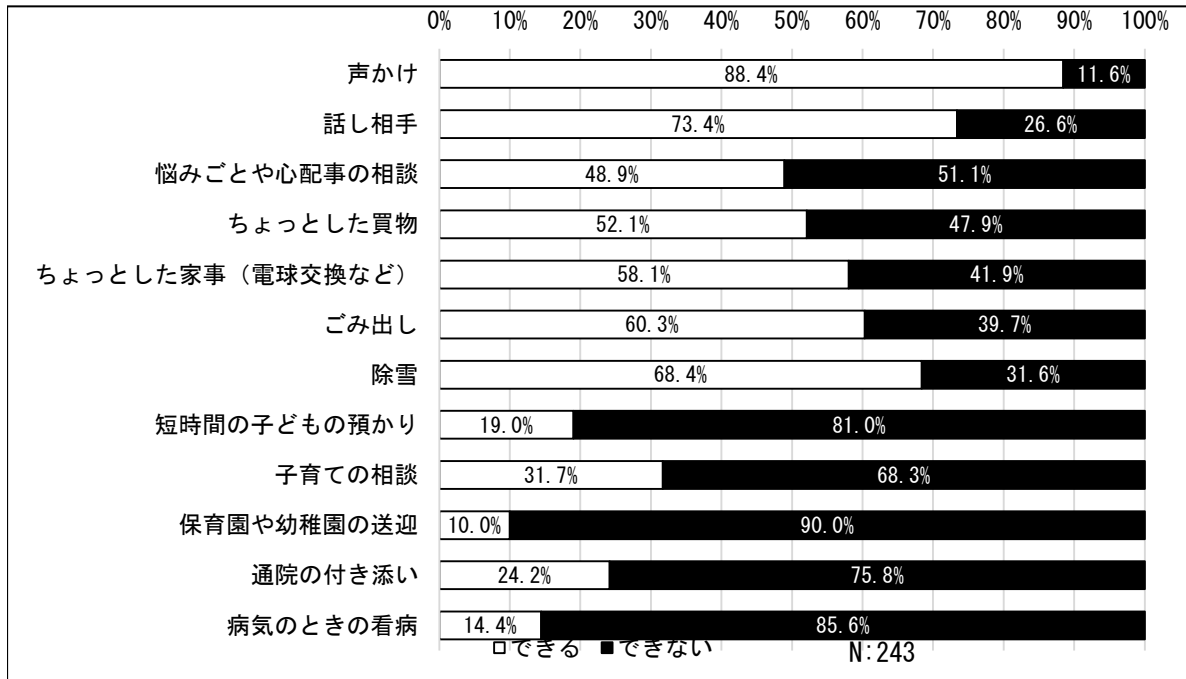
「声かけ」、「話し相手」、「ちょっとした買物」の順に大きくなっている。「悩みごとや心配事の相談」が他の地域より、「子育ての相談」が下北地域とともに他の地域より大きくなっている。

(上十三地域)



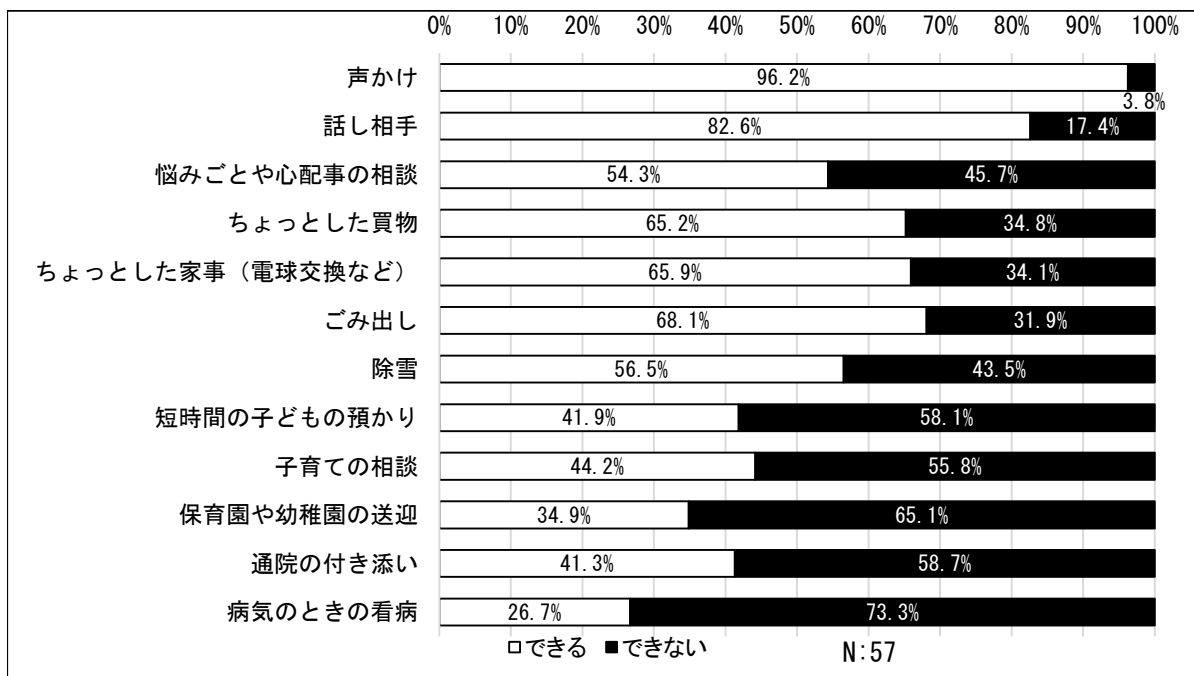
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

(八戸地域)



「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっている。「除雪」が他の地域より大きくなっている。

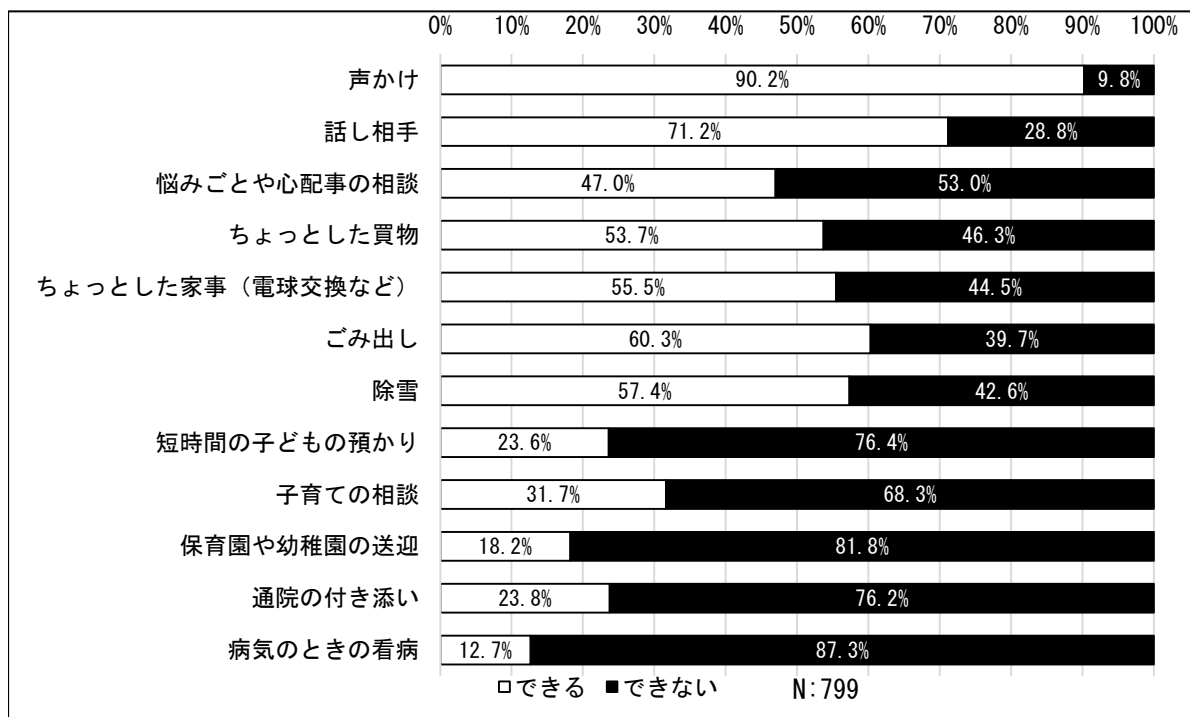
(下北地域)



「声かけ」、「話し相手」、「ごみ出し」の順に大きくなっている。「子育ての相談」が、西北五地域とともに他の地域より大きくなっている。

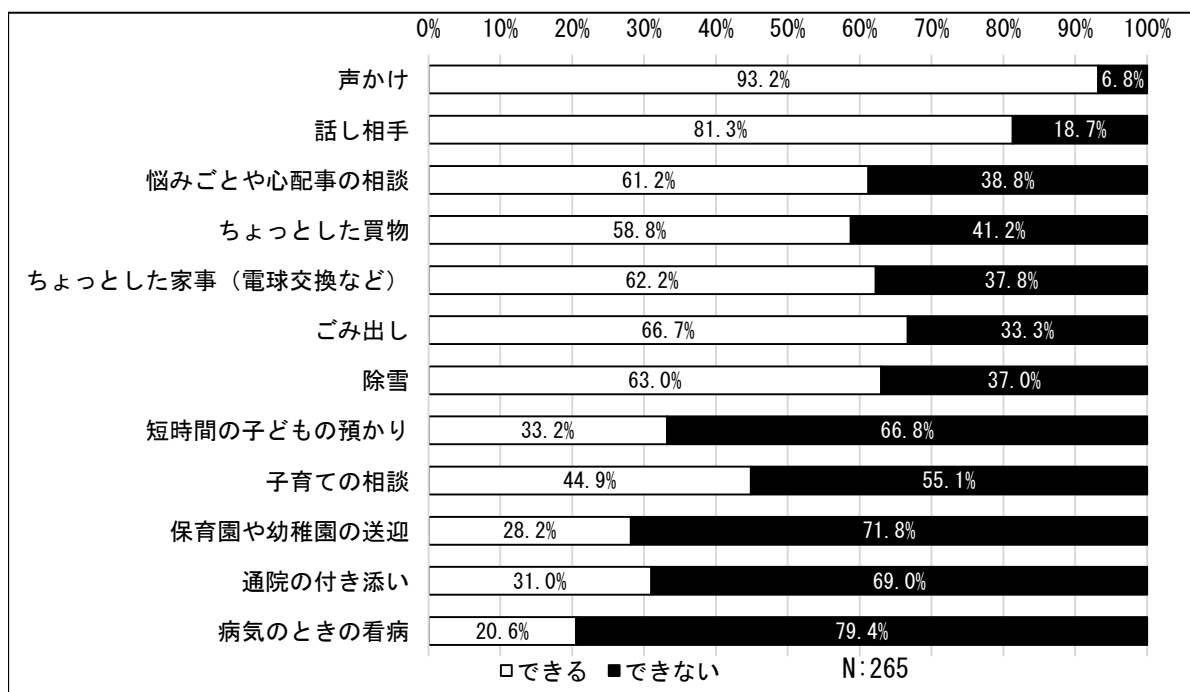
【市部・郡部別】（手助けできること）

（市部）



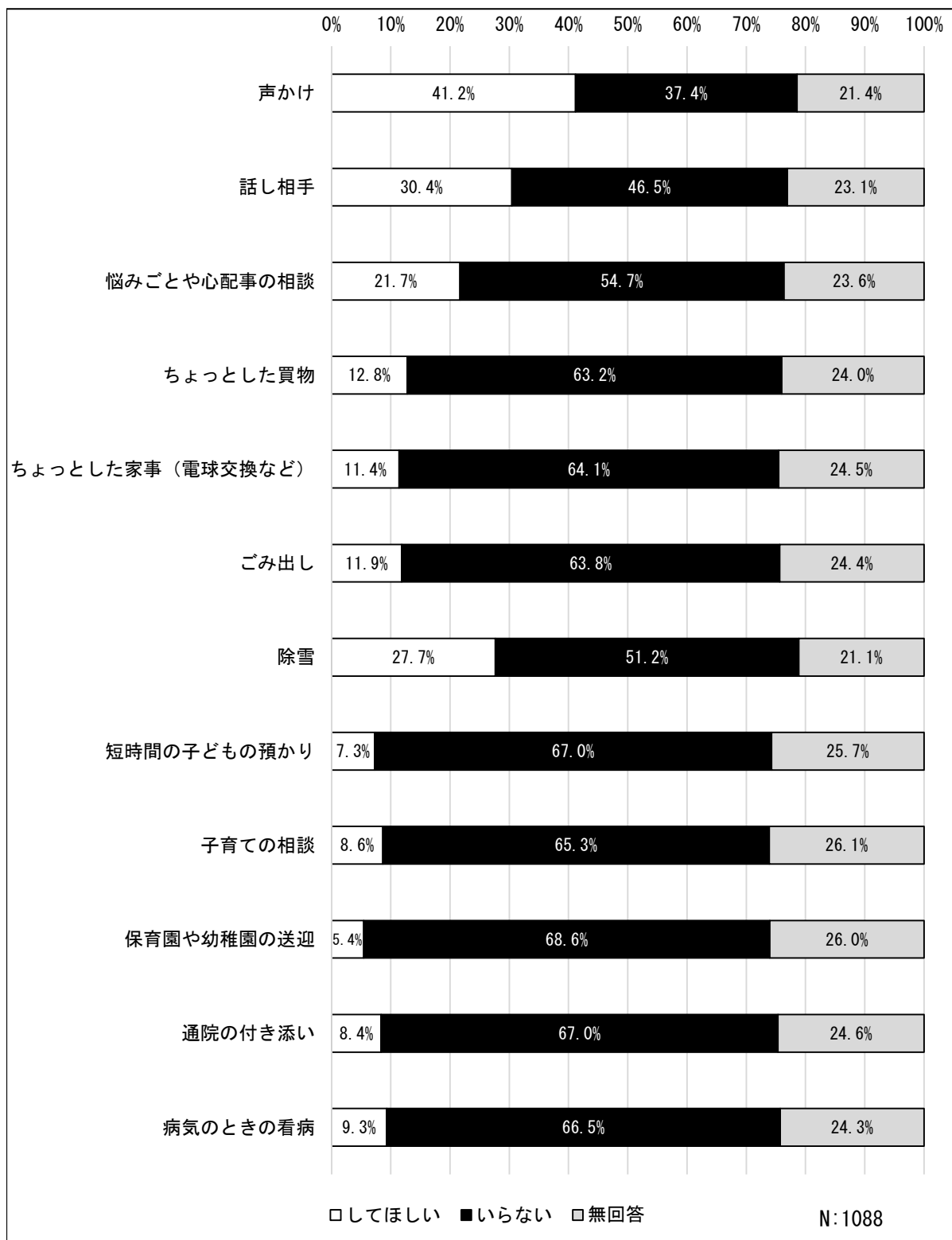
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

（郡部）



「声かけ」、「話し相手」、「ごみ出し」の順に大きくなっている。「話し相手」、「悩みごとや心配事の相談」、「短時間の子どもの預かり」、「子育ての相談」「保育園や幼稚園の送迎」は市部より大きくなっている。

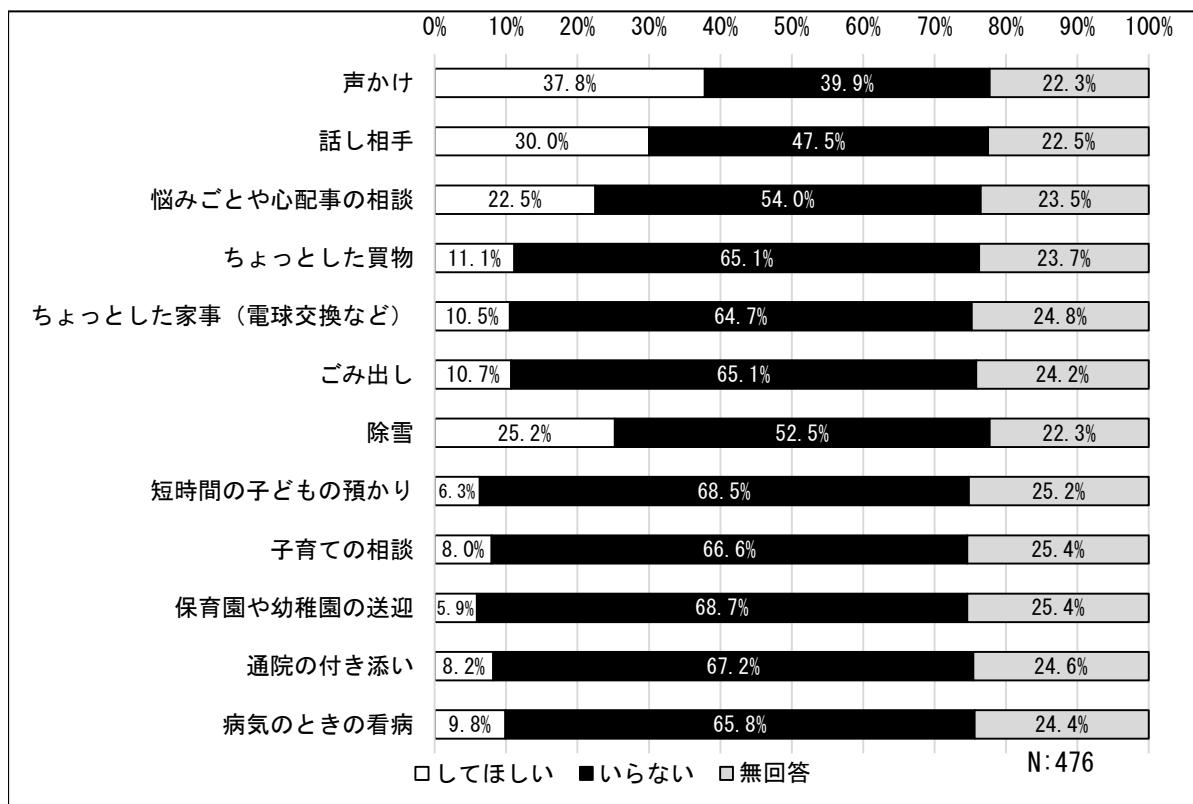
・隣近所で困っている場合（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



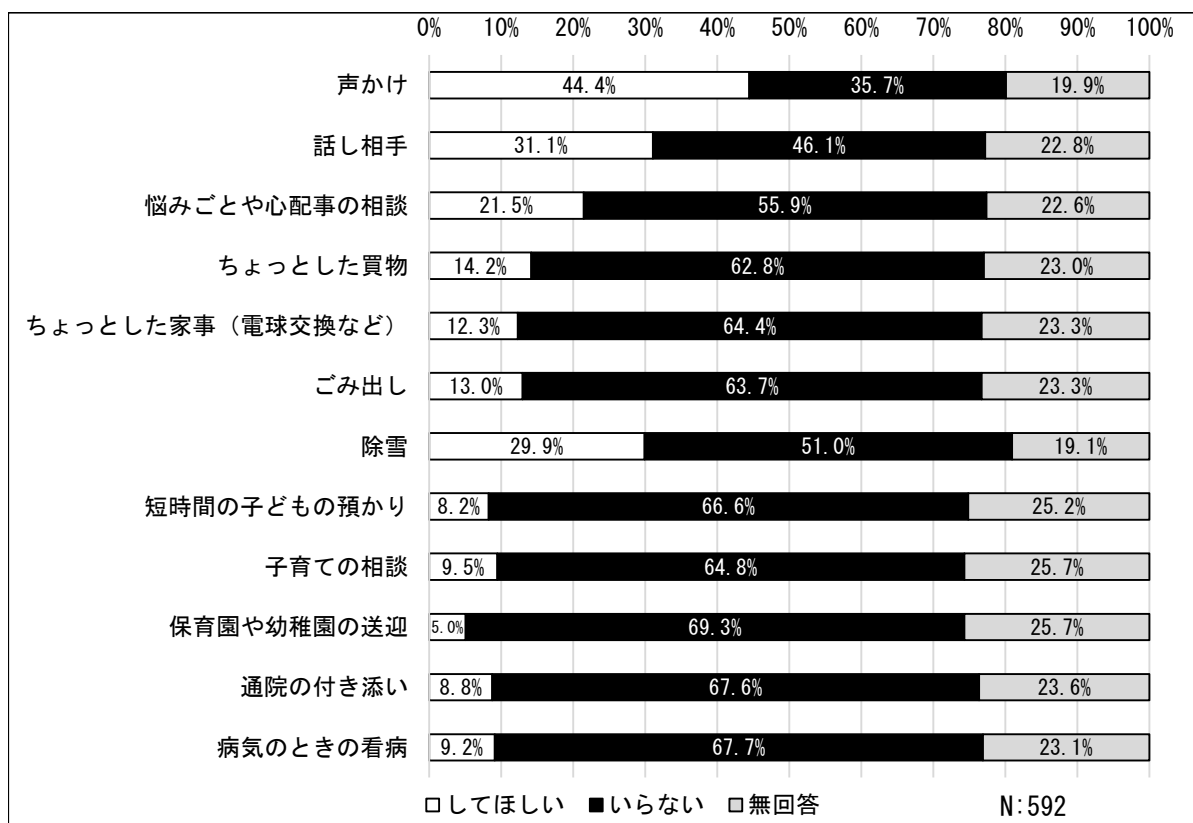
「声かけ」が41%、「話し相手」が30%、「除雪」が28%となっている。一方、「保育園や幼稚園の送迎」、「短時間の子供の預かり」、「通院の付き添い」、「子育ての相談」、「病気のときの看病」が小さくなっている。

【男女別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

（男性）



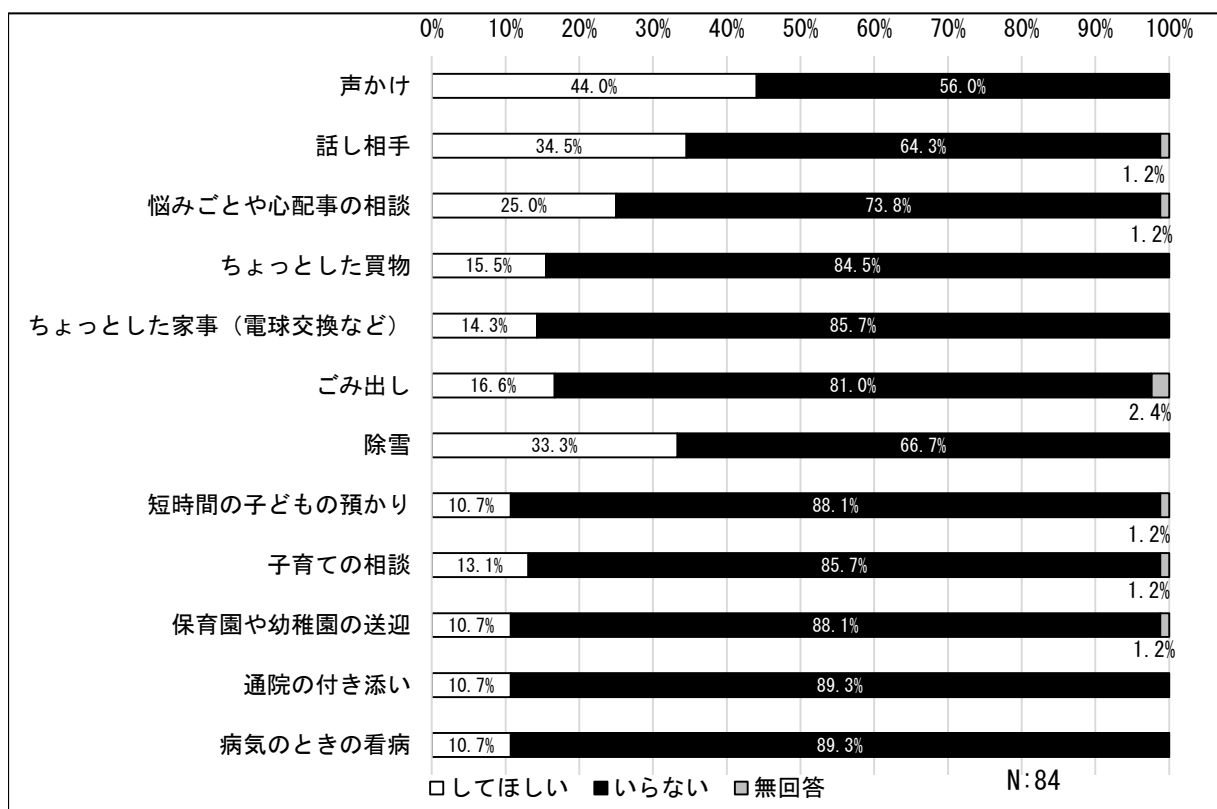
（女性）



男女ともに「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

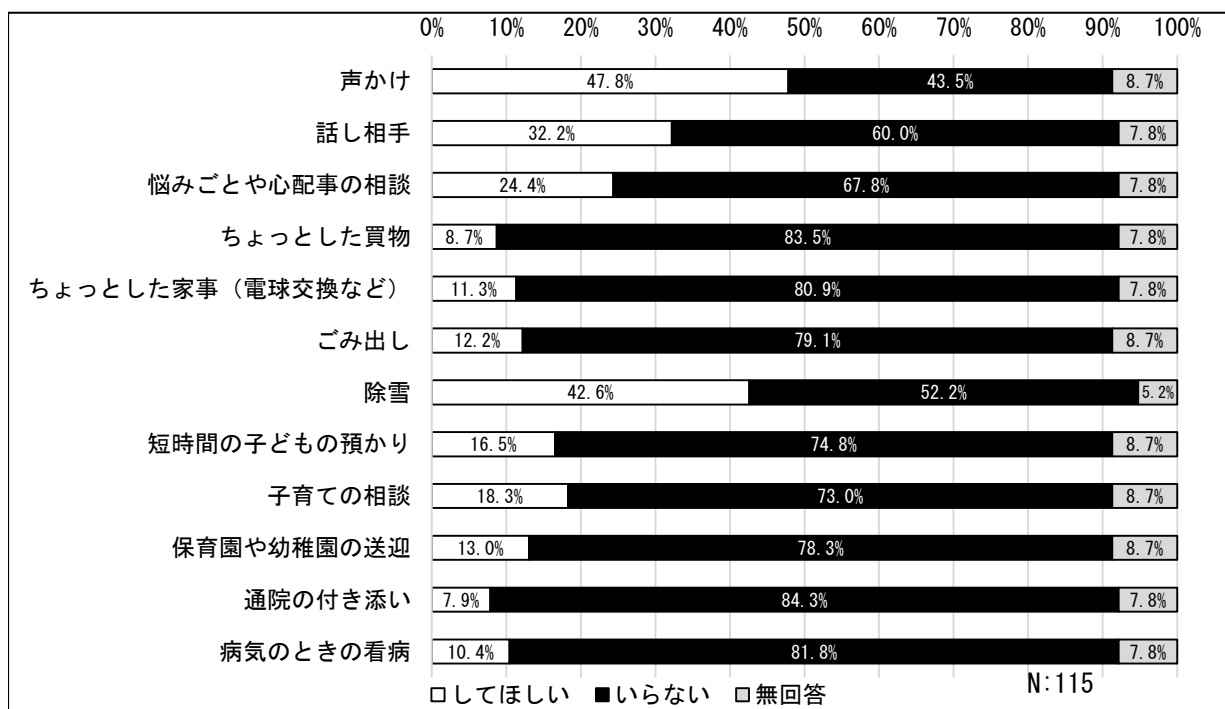
【年代別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

(20-29 歳)



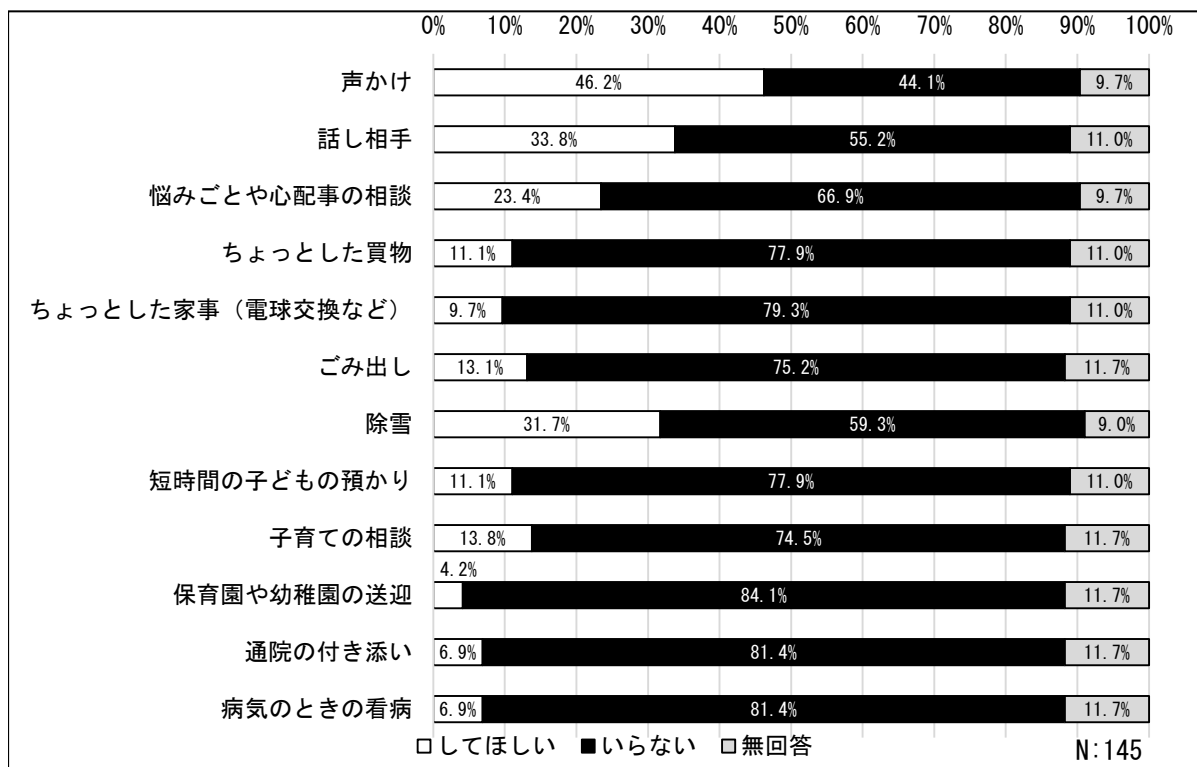
「声かけ」が大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

(30-39 歳)



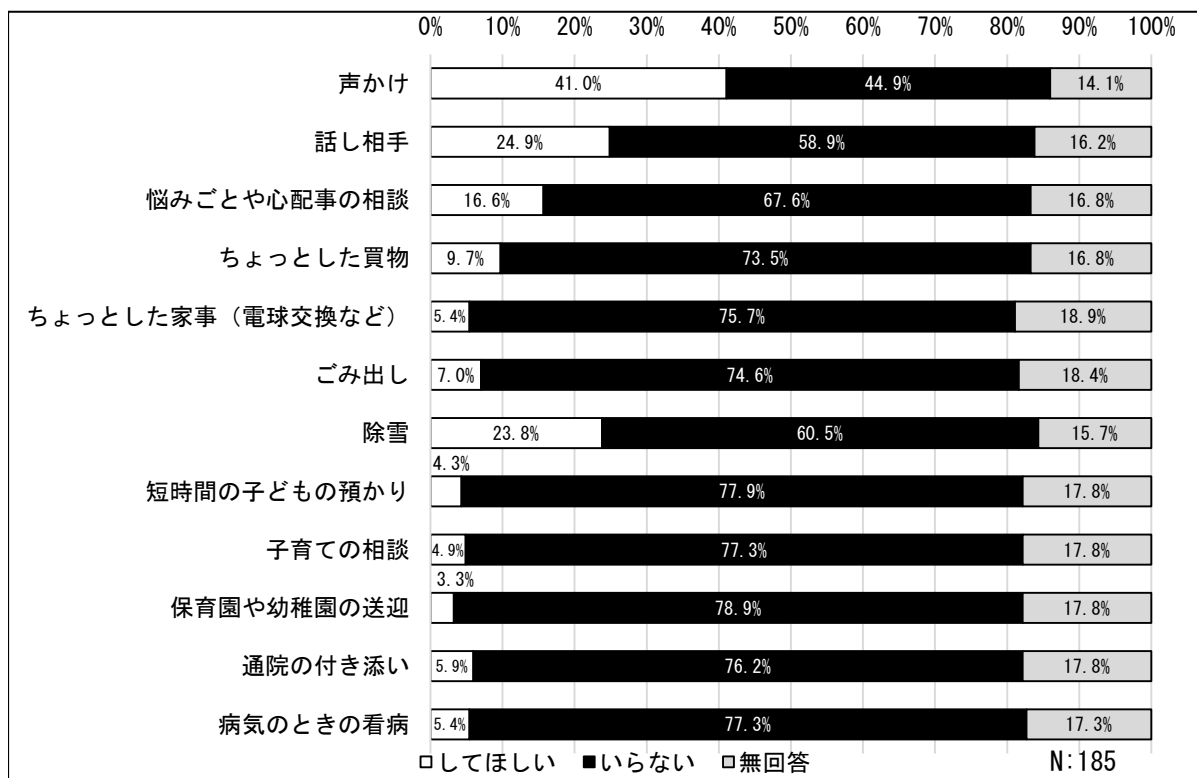
「声かけ」、「除雪」、「話し相手」の順に大きくなっている。「声かけ」は「してほしい」が「いらない」を上回り、「短時間の子供の預かり」「子育ての相談」は他の年代より大きくなっている。

(40-49 歳)



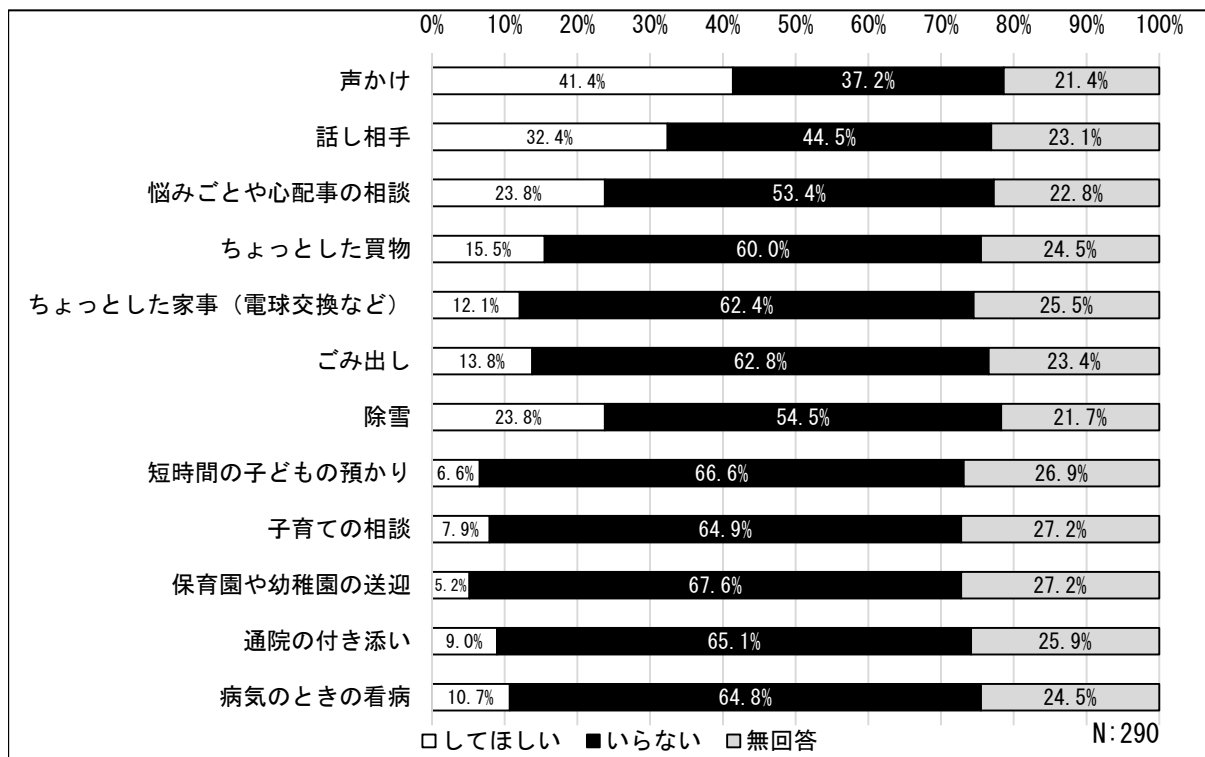
「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっている。「声かけ」は、「してほしい」が「いらない」を上回っている。

(50-59 歳)



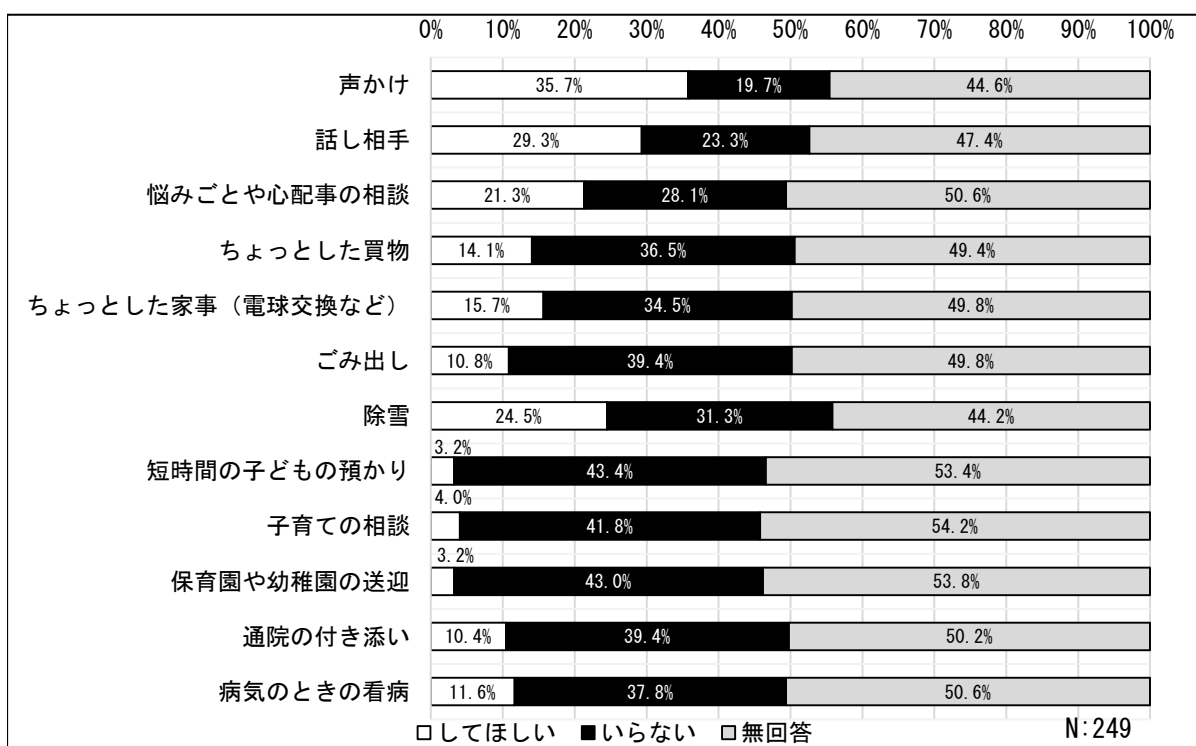
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

(60-69 歳)



「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっている。「声かけ」は、「してほしい」が「いらない」を上回っている。

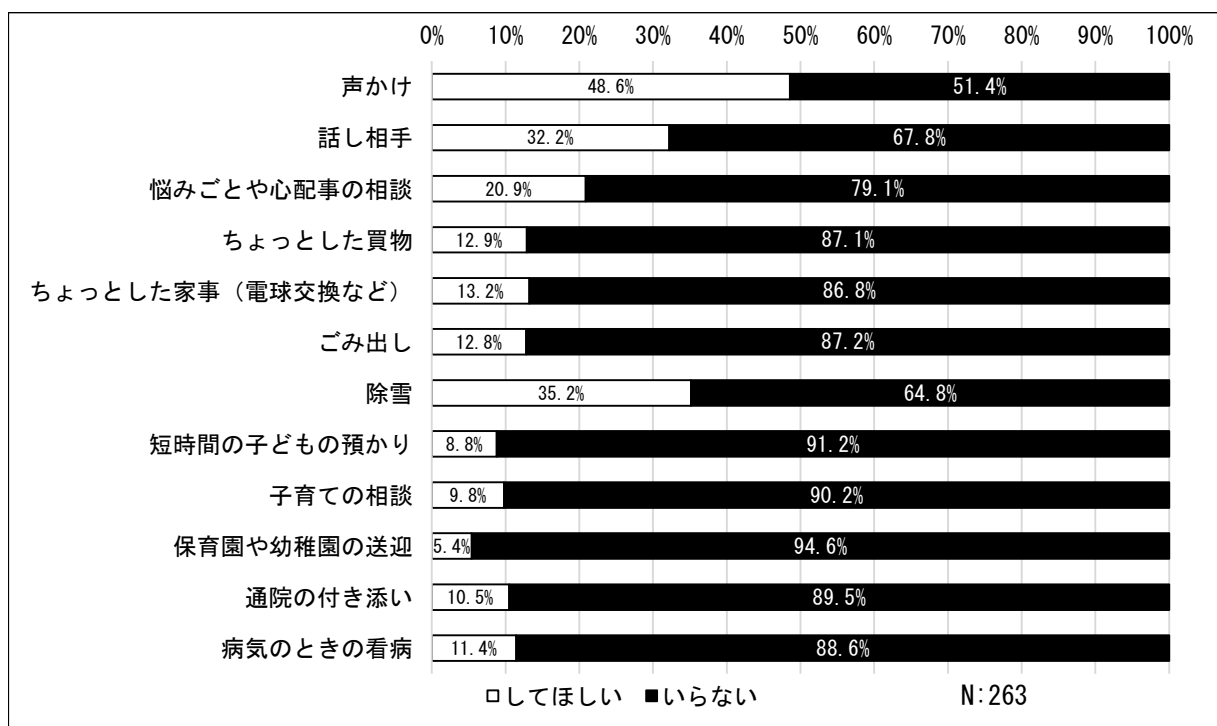
(70 歳以上)



「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっている。「声かけ」「話し相手」は、「してほしい」が「いらない」を上回っている。

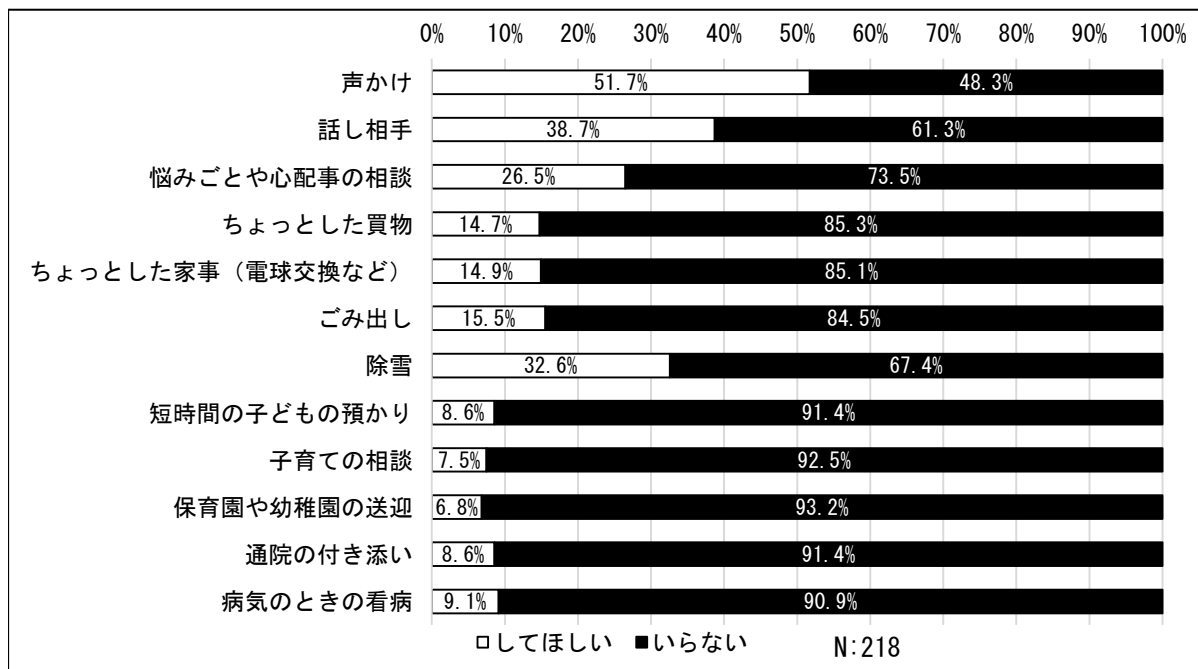
【地域別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

（青森地域）



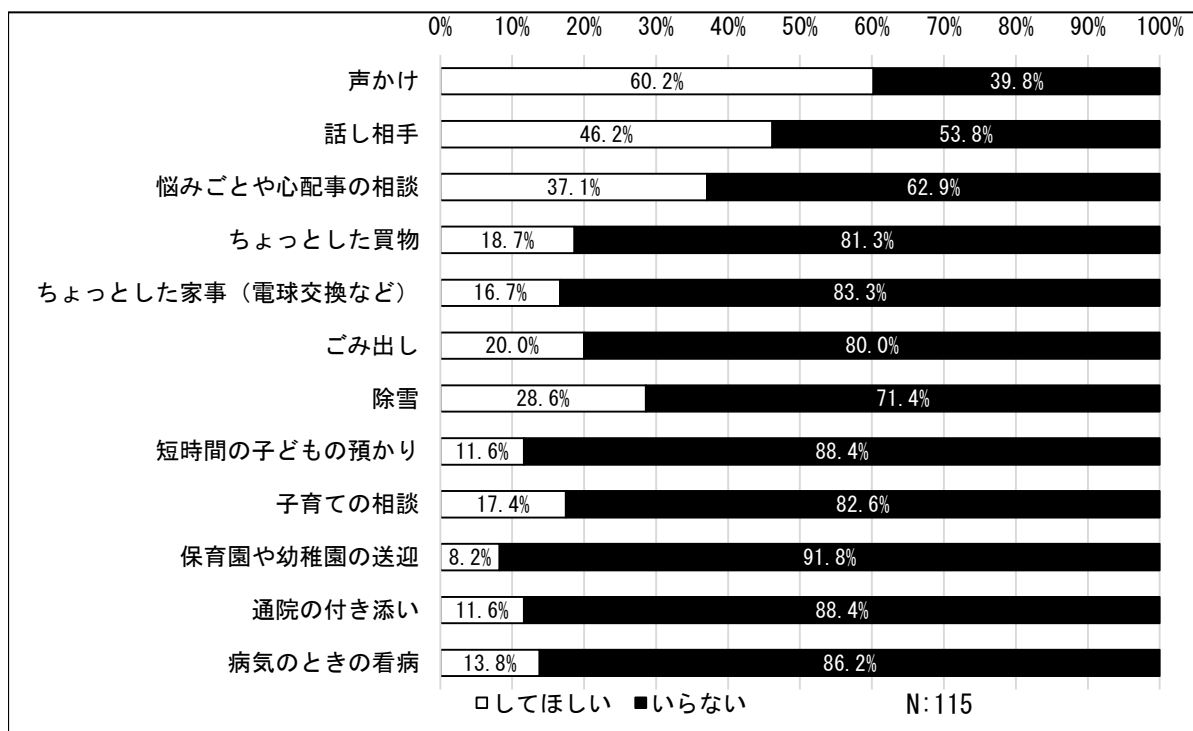
「声かけ」が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

（津軽地域）



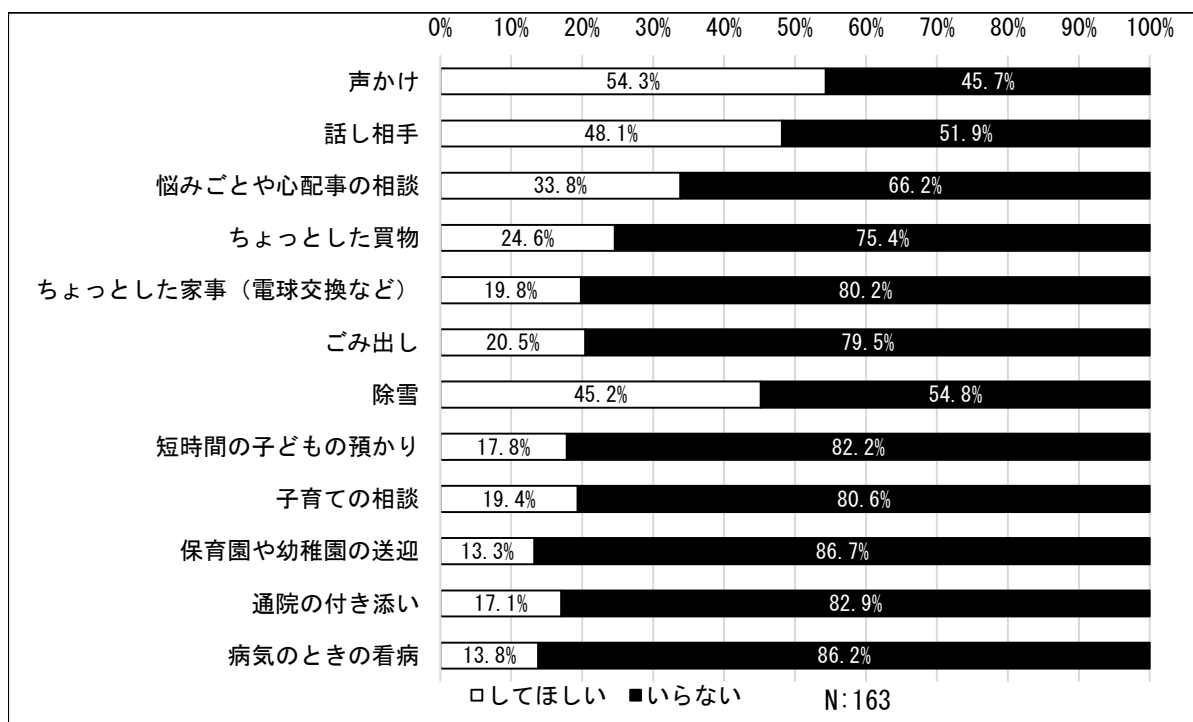
「声かけ」が最も大きく、次いで、「話し相手」、「除雪」の順となっている。

(西北五地域)



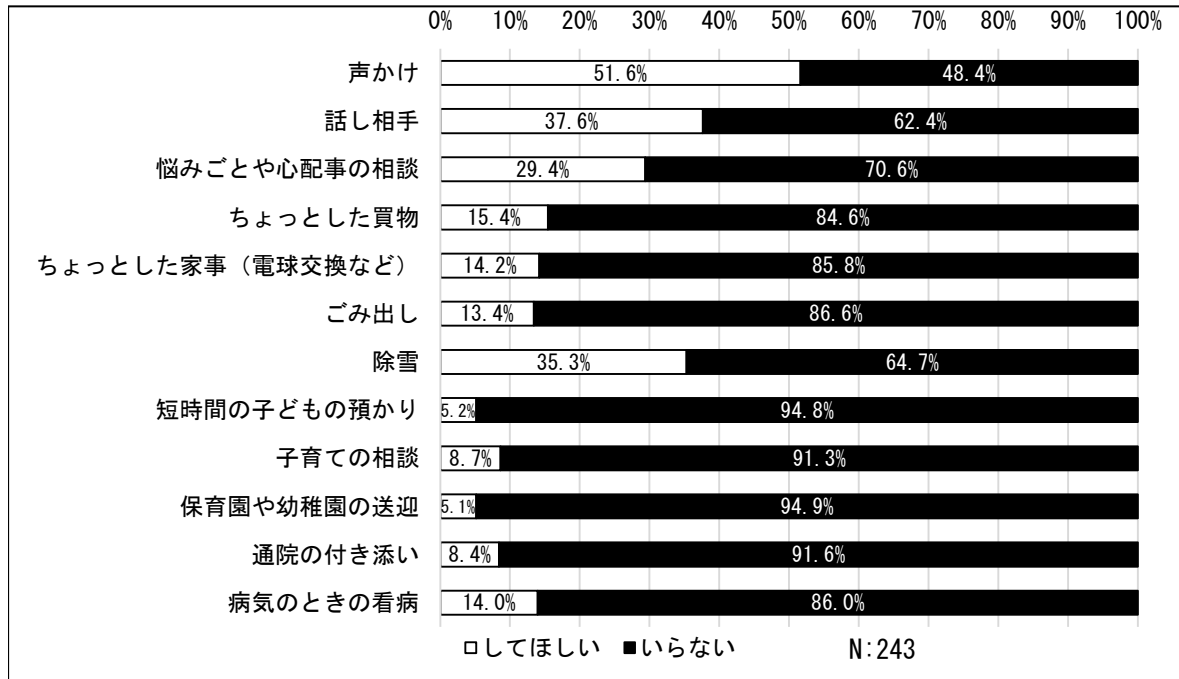
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「悩みごとや心配事の相談」の順となっている。

(上十三地域)



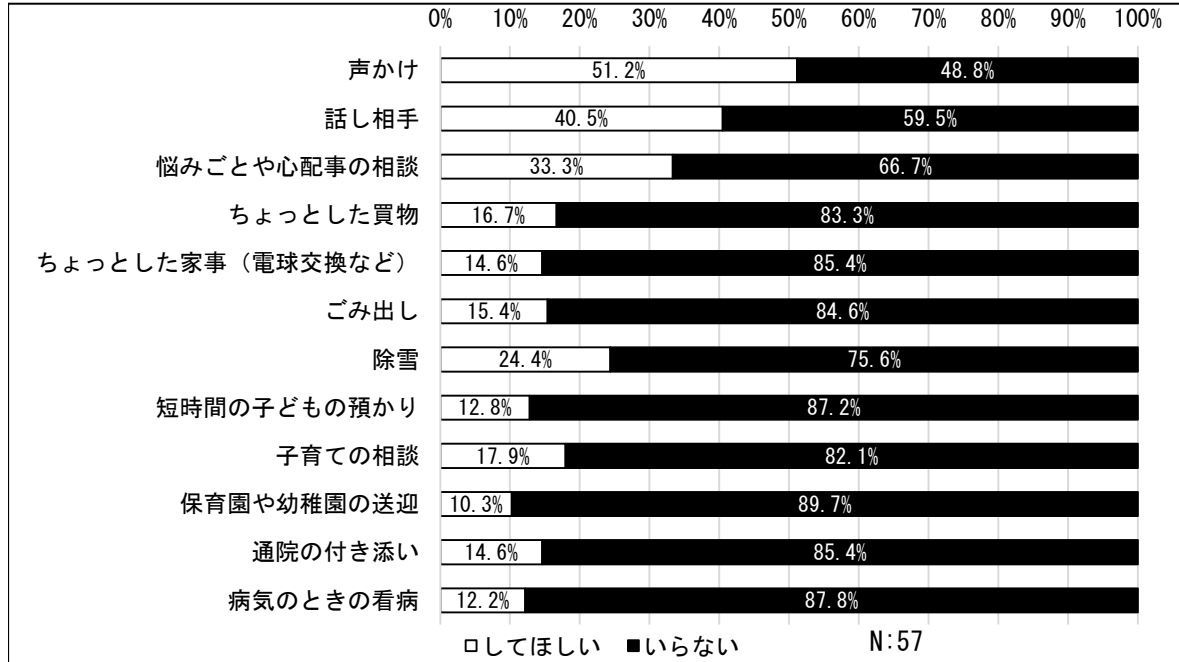
「声かけ」、「話し相手」、「除雪」の順に大きくなっている。「除雪」が、他の地域よりも大きくなっている。

(八戸地域)



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

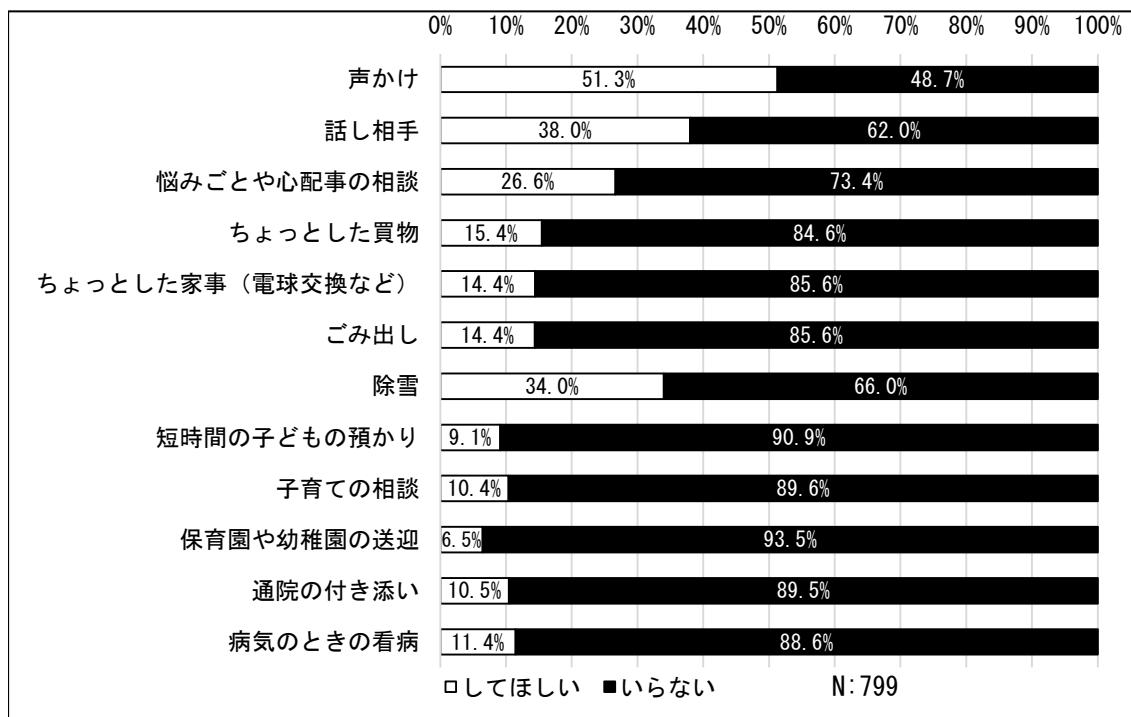
(下北地域)



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「悩みごとや心配事の相談」の順となっている。

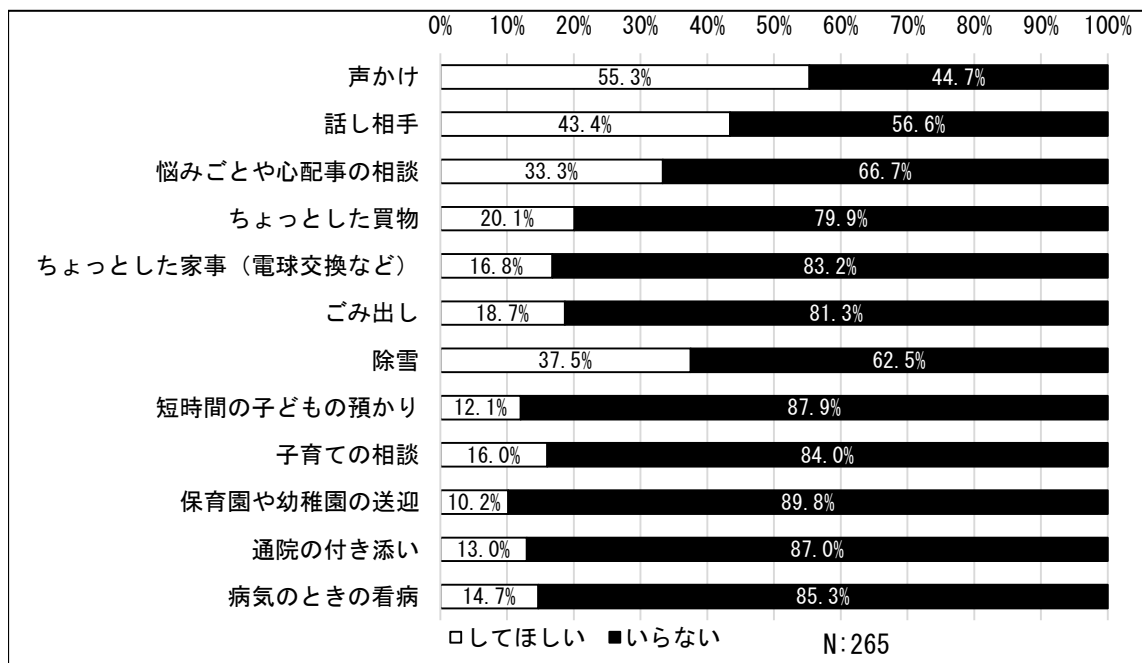
【市部・郡部別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

（市部）



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

（郡部）



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

【自由回答より】（手助けできること）

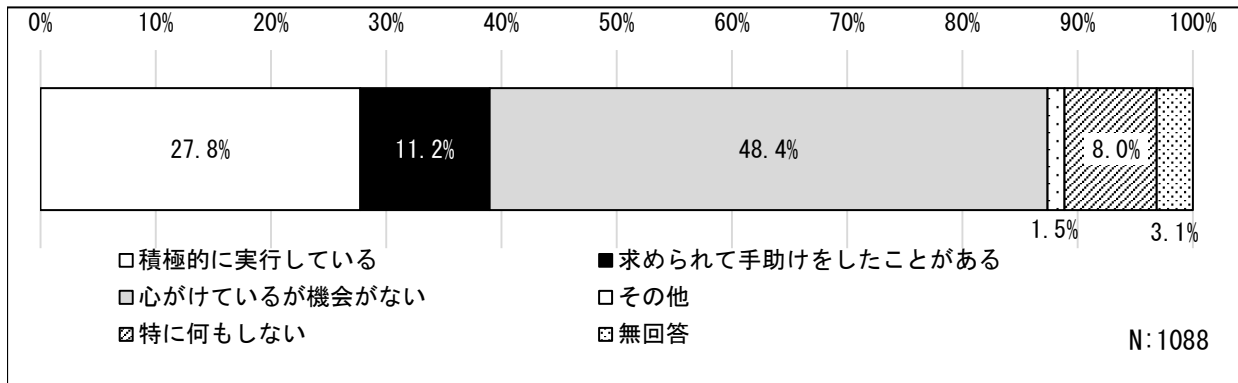
- ・庭木の手入れ、タイヤの交換
- ・買い物や病院に向かうためにバス停で待っている時、自分も同じ方向なら乗せてあげられる
- ・点字の読み書き、インターネットの操作

【自由回答より】（手助けしてほしいこと）

- ・地域の清掃（落ち葉が排水溝にたまったりするのでしてほしい）
- ・畑の草むしり
- ・障害児がいるので、皆さんの見守りに感謝している。災害時に協力してほしい

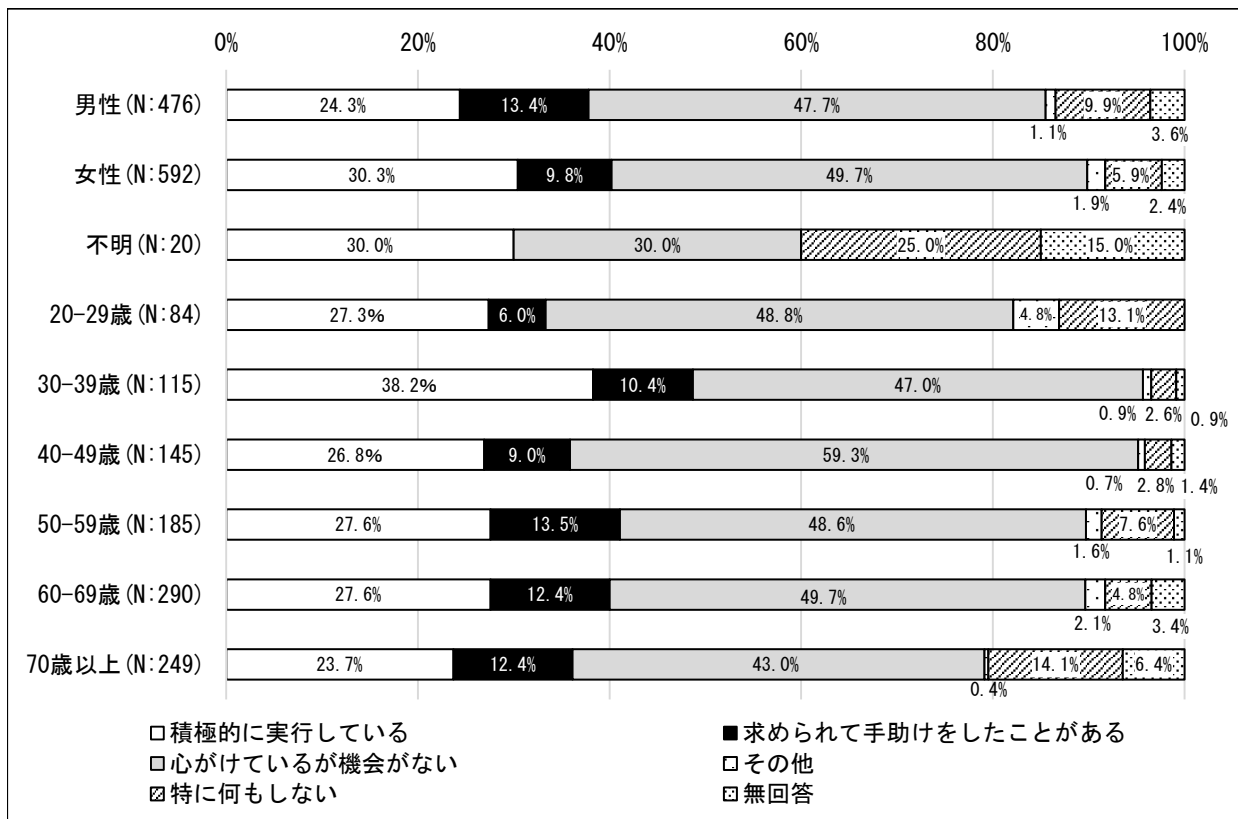
問 10. 町で困っている人を見かけたとき、階段やスロープで車いすを手助けしたり、交差点で手助けしたり、バス・電車で席をゆずるなどの手助けをしていますか。（1つ）

・困っている人への手助け



「心がけているが機会がない」が48%、「積極的に実行している」が28%、「求められて手助けをしたことがある」が11%となっている。

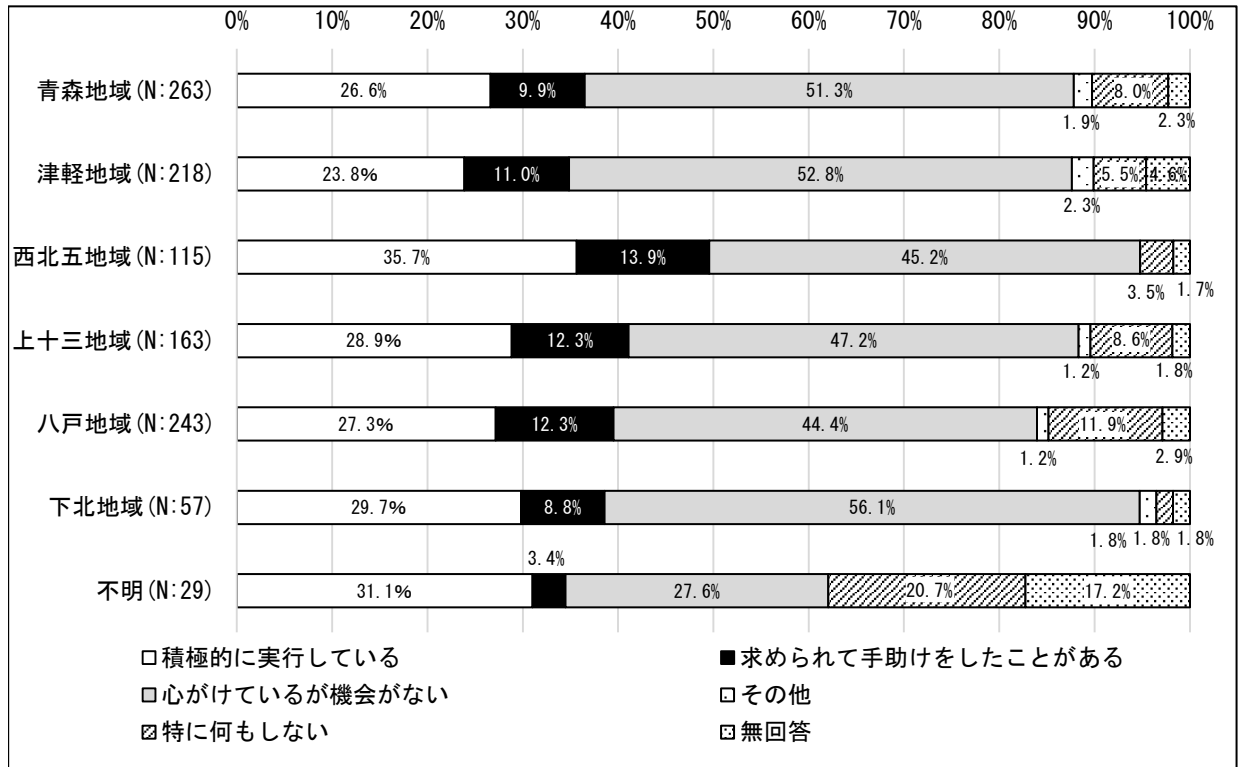
【男女別・年代別】



男女ともに「心がけているが機会がない」が最も大きく、次いで「積極的に実行している」、「求められて手助けをしたことがある」の順となっている。

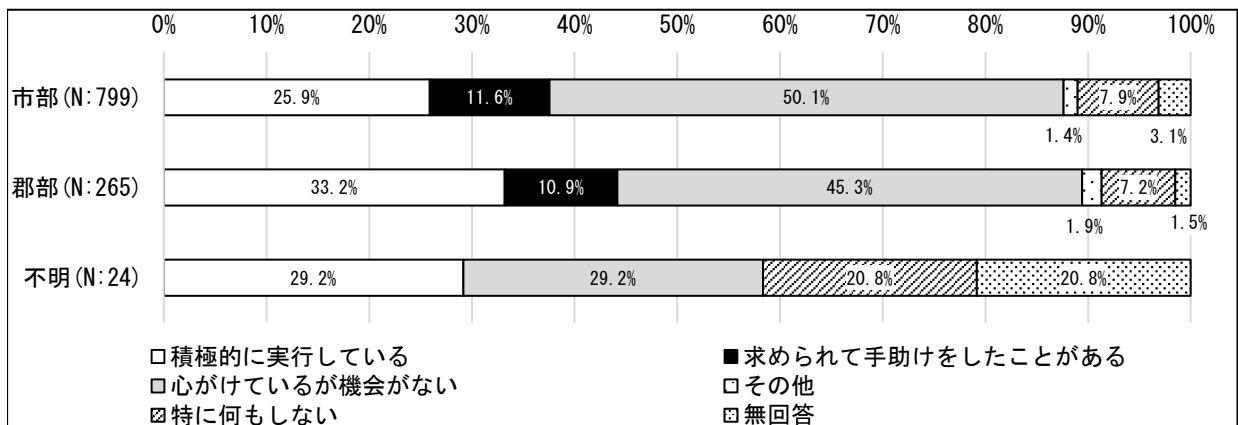
年代別に見ると、40歳代では「心がけているが機会がない」が他の年代より大きくなっている。30歳代では「積極的に実行している」が他の年代より大きくなっている。20歳代、70歳以上では「特になし」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「心がけているが機会がない」が最も大きく、次いで「積極的に実行している」となっている。

【市部・郡部別】



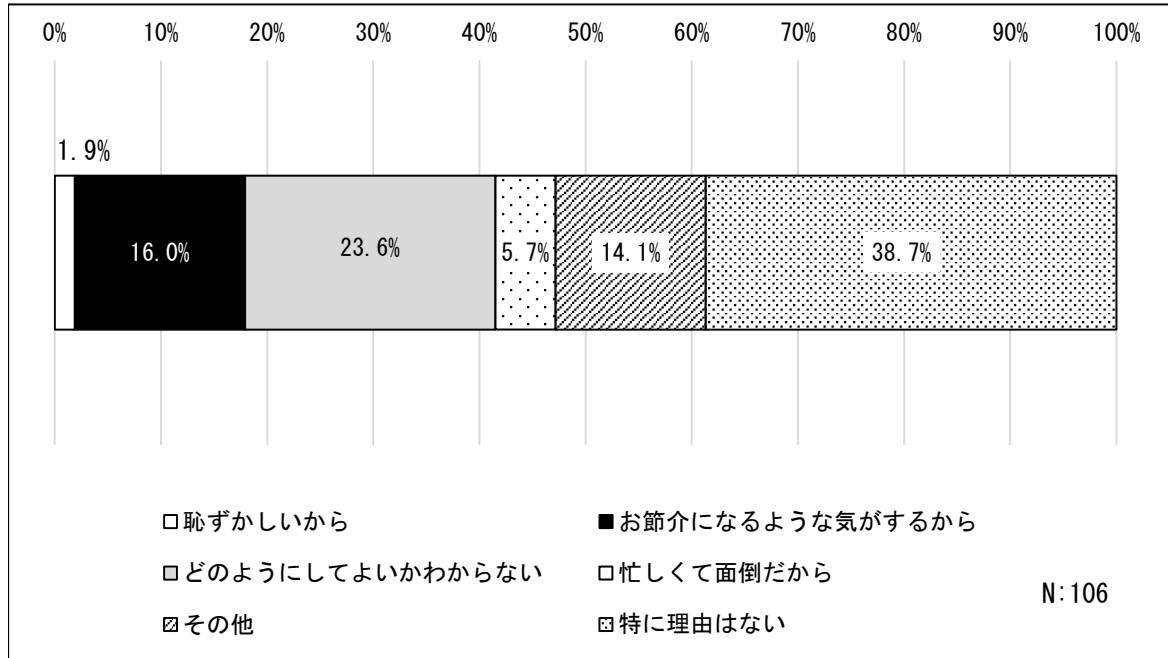
市部・郡部ともに「心がけているが機会がない」が最も大きくなっている。郡部では、「積極的に実行している」が市部より大きくなっている。

【自由回答より】

- ・何回も断られているからしていない
- ・機会があったとして、相手が嫌そうだったら困る。表示マークなど、意思表示があれば、走って駆けつけたい。

問 10-1. 問 10 で「⑤ 特に何もしない」を選んだ方におうかがいします。何もしない理由は何ですか。（1つ）

・困っている人を手助けしない理由



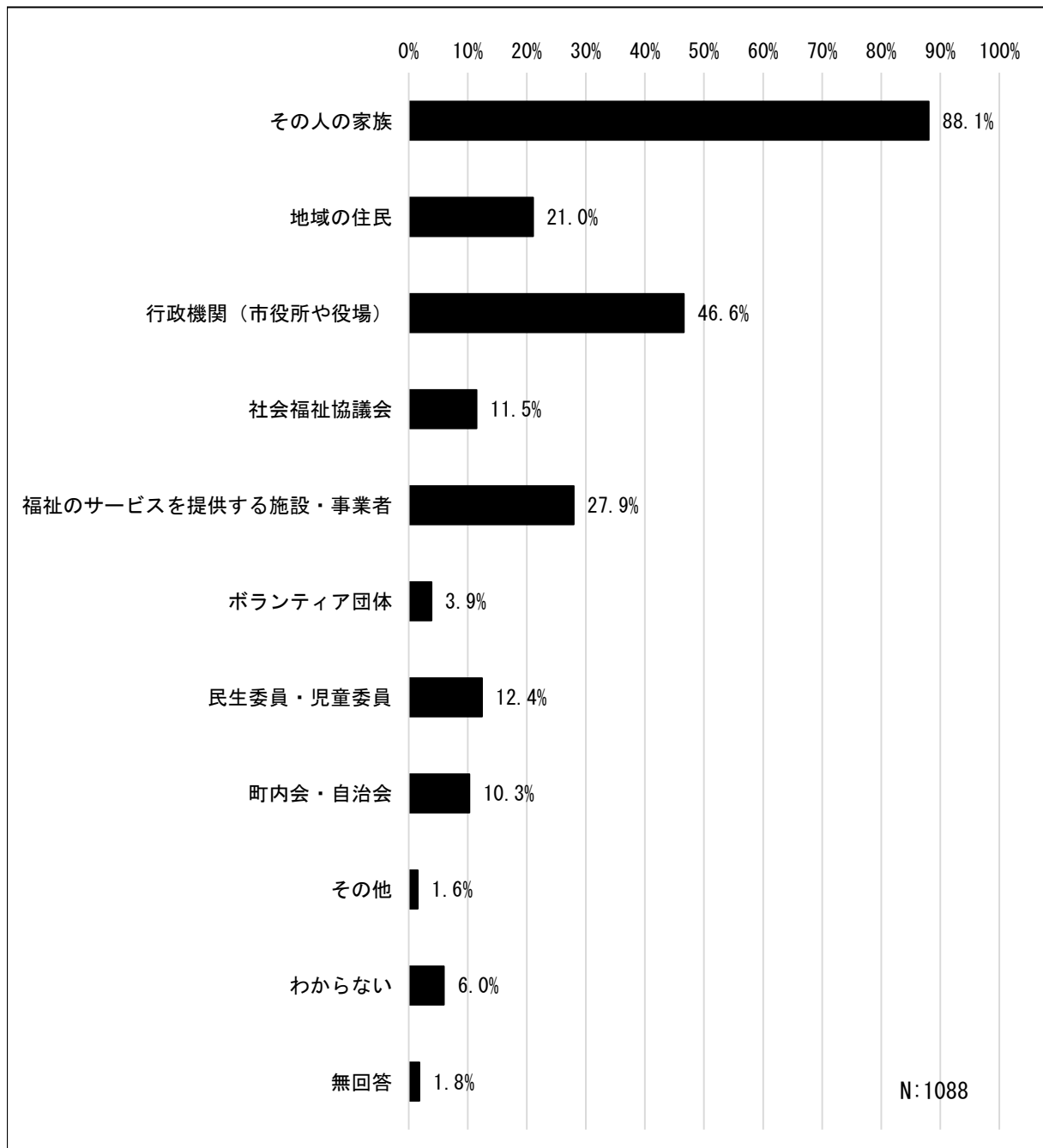
「特に理由はない」が 39%、「どのようにしてよいかわからない」が 24%、「お節介になるような気がするから」が 16%となっている。

【自由回答より】

- ・こっちから声をかけても「大丈夫です」と言われることが多い
- ・自分のことで精一杯
- ・自分も助けてほしい方だから

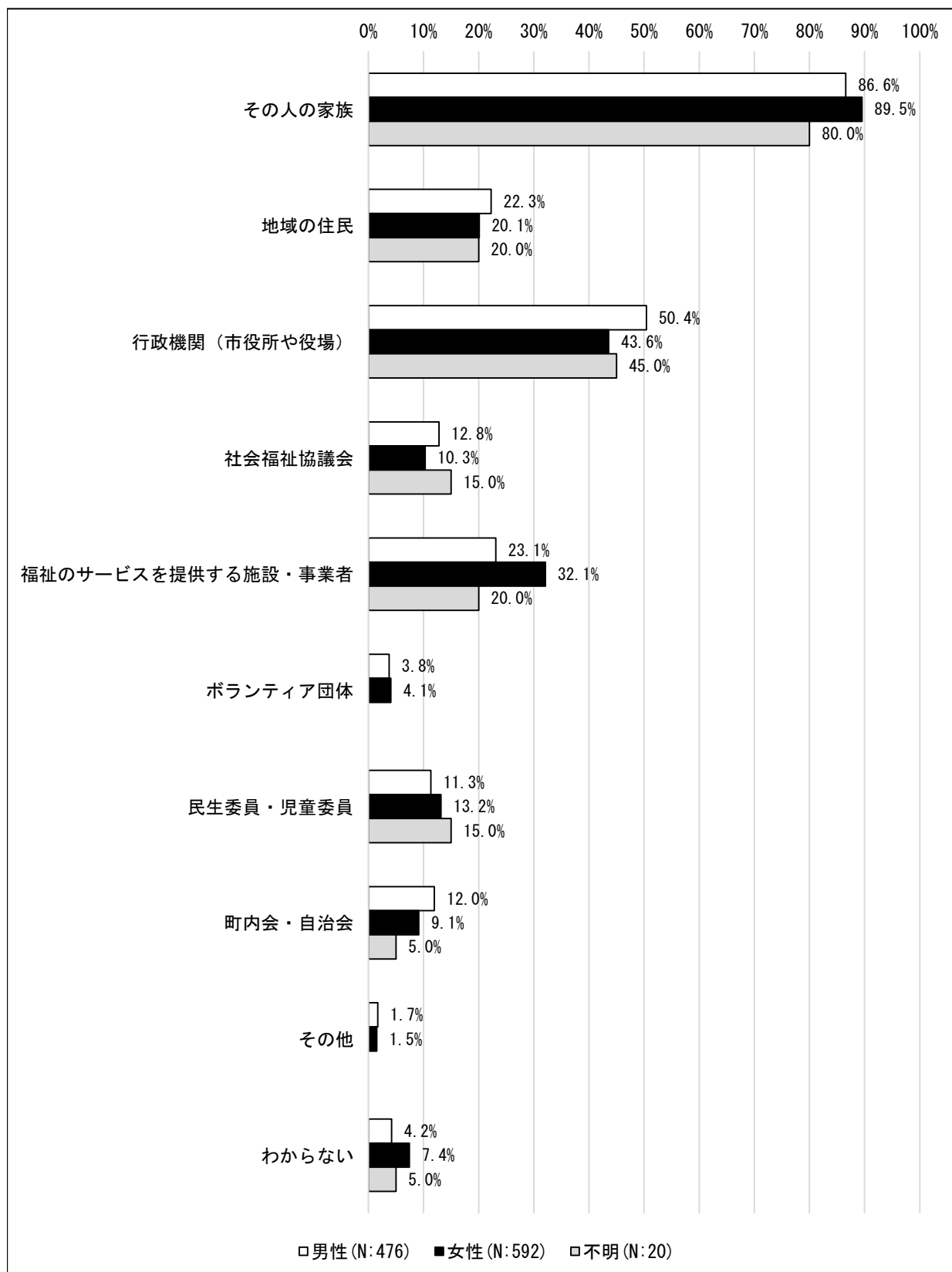
問 11. 日常生活で困ったことが起きた場合、手助けは誰が行うべきだと思いますか。
(3つまで)

・困ったとき手助けすべき人



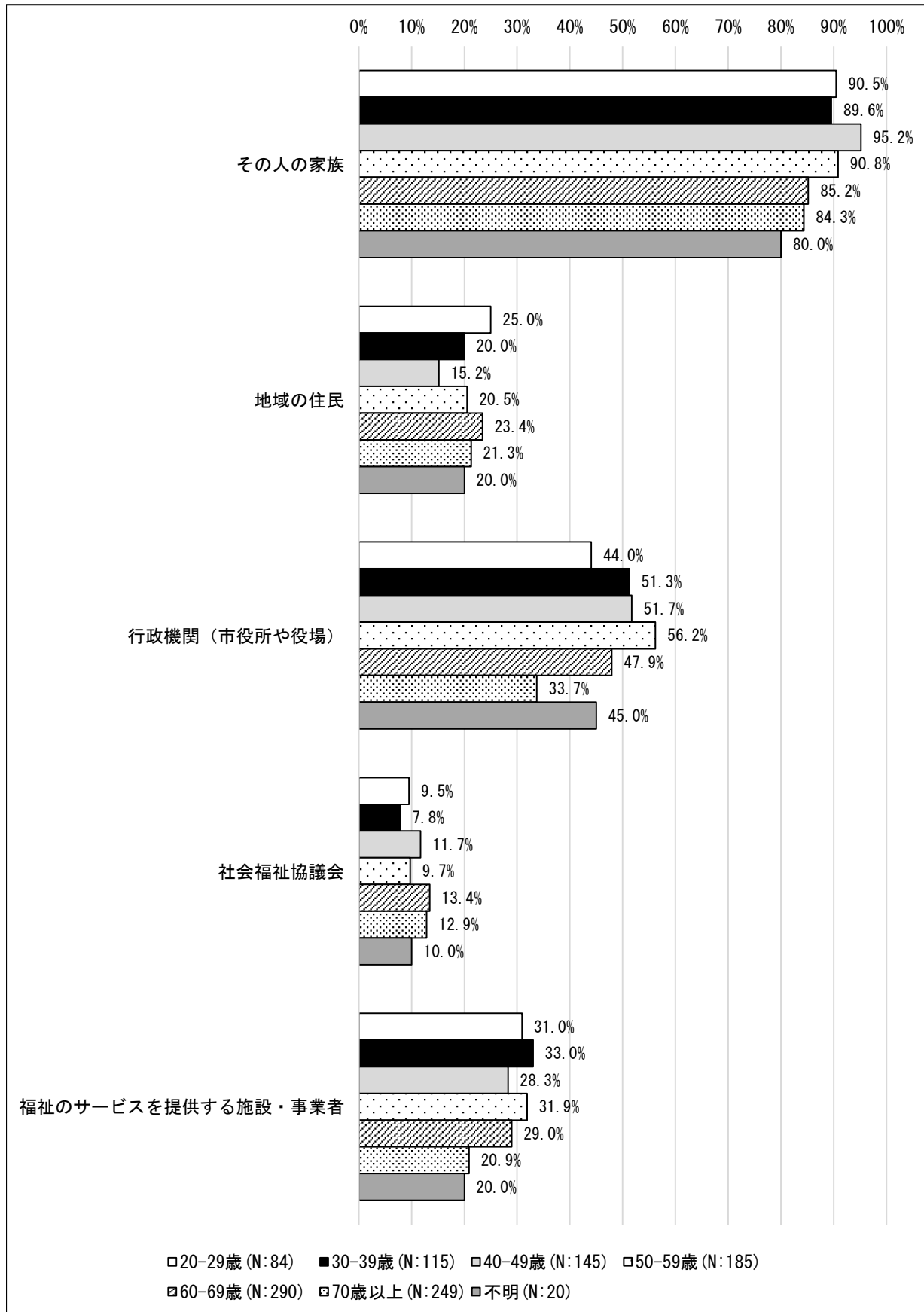
「その人の家族」が88%、「行政機関 (市役所や役場)」が47%、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」が28%、「地域の住民」が21%となっている。

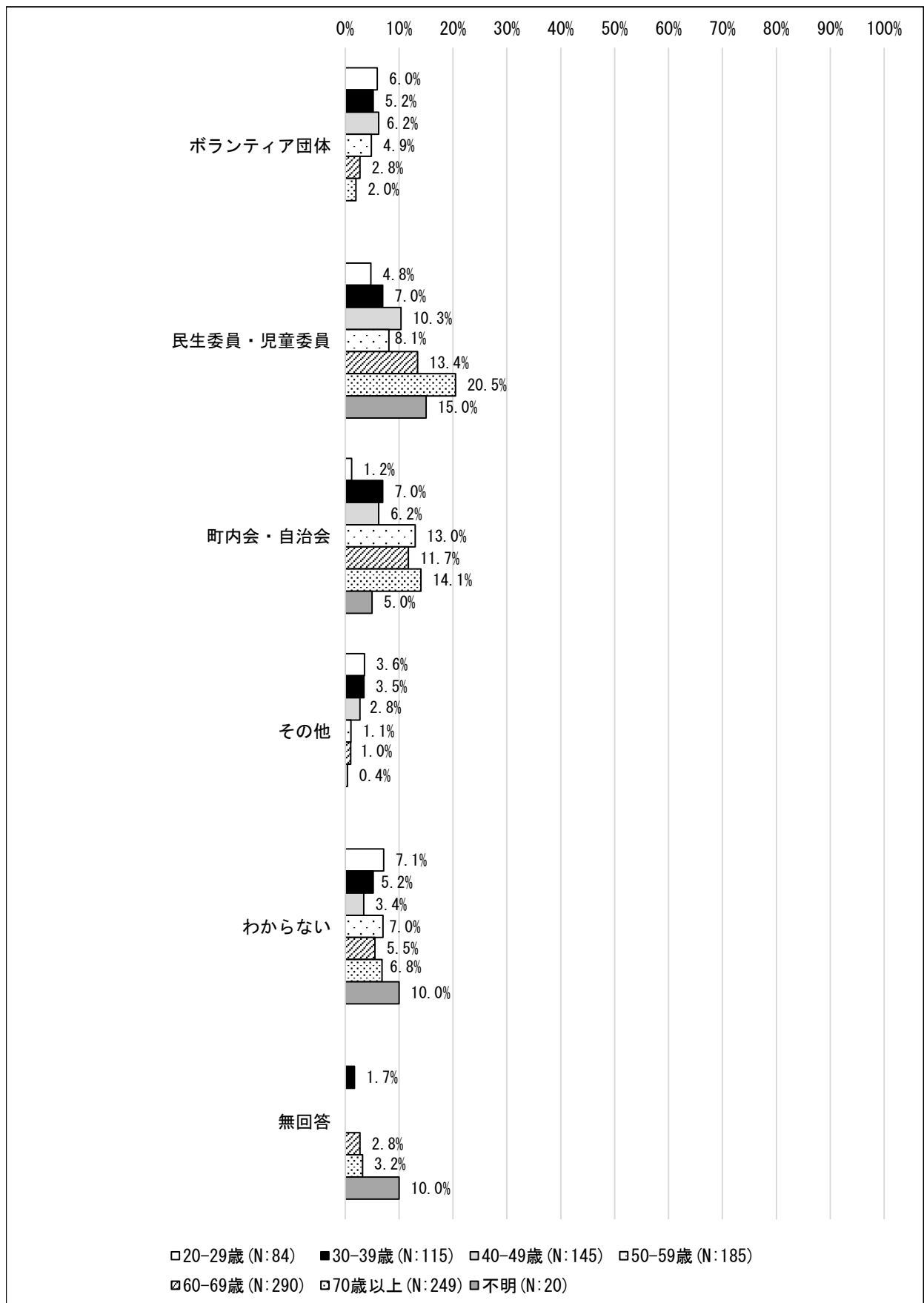
【男女別】



男女ともに「その人の家族」が最も大きく、次いで「行政機関（市役所や役場）」、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「地域の住民」の順となっている。

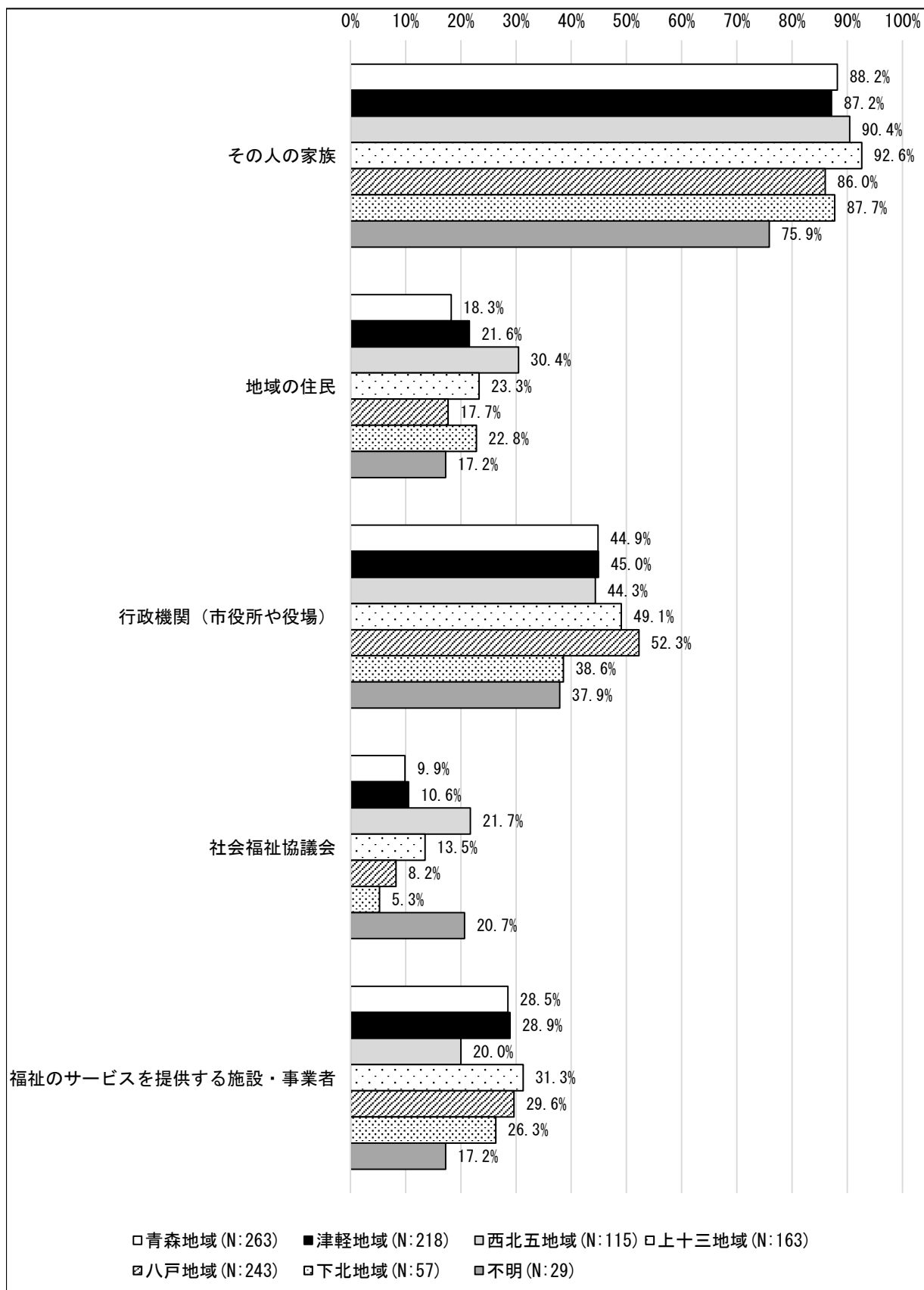
【年代別】

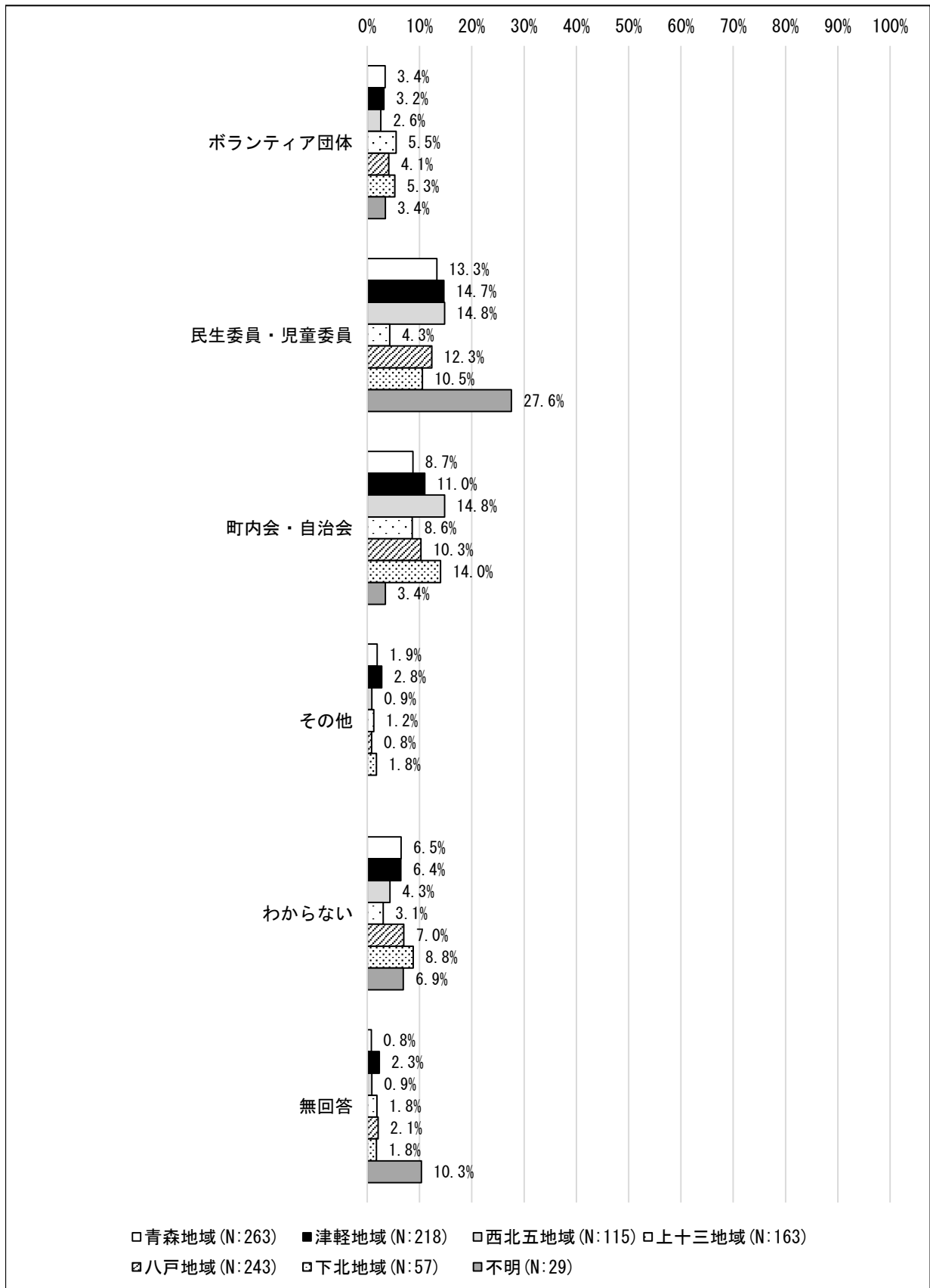




全ての年代で「その人の家族」が最も大きく、次いで概ね「行政機関（市役所や役場）」、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「地域の住民」の順となっている。

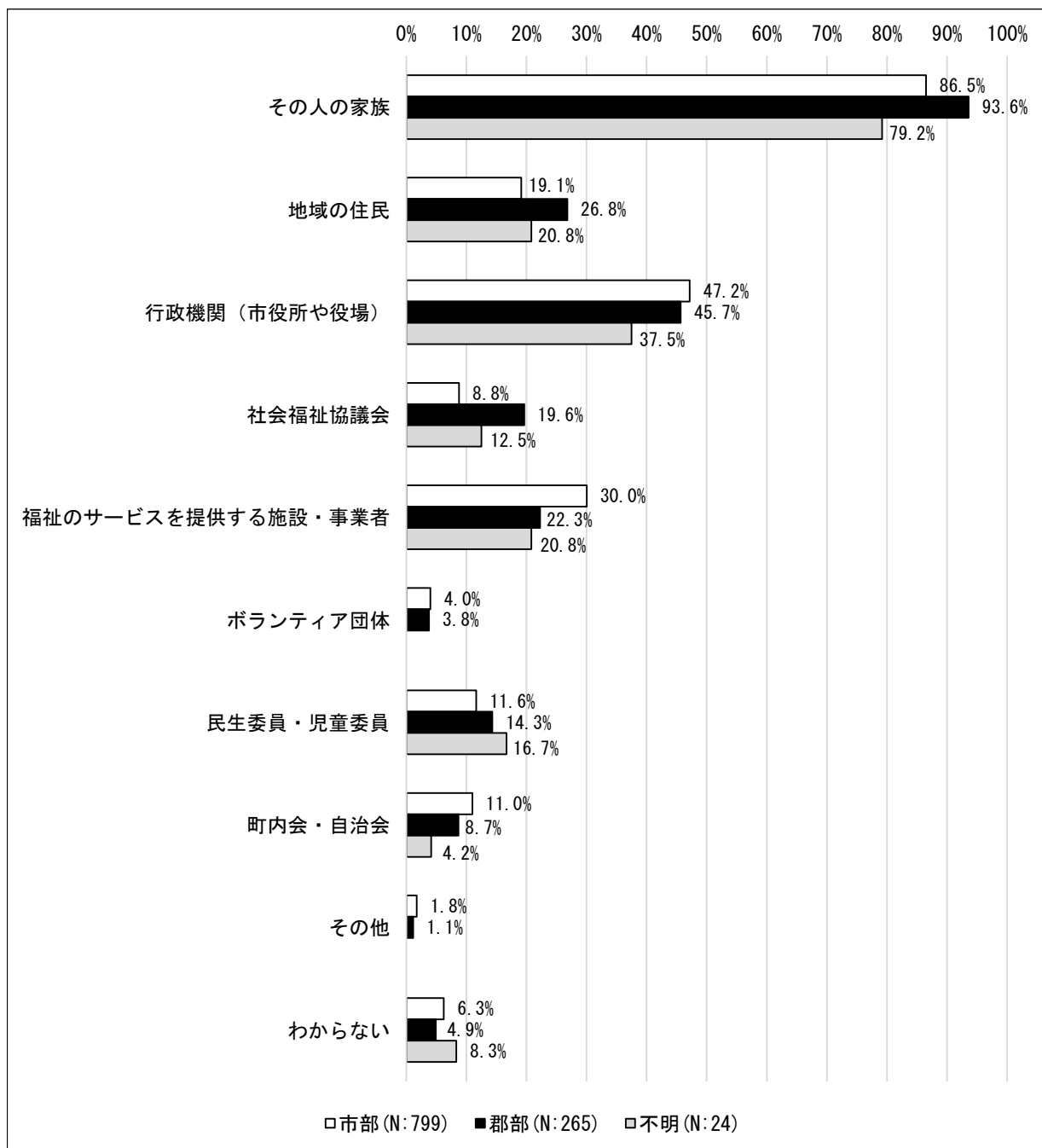
【地域別】





全ての地域で「その人の家族」が最も大きく、次いで概ね「行政機関（市役所や役場）」、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「地域の住民」の順となっている。

【市部・郡部別】



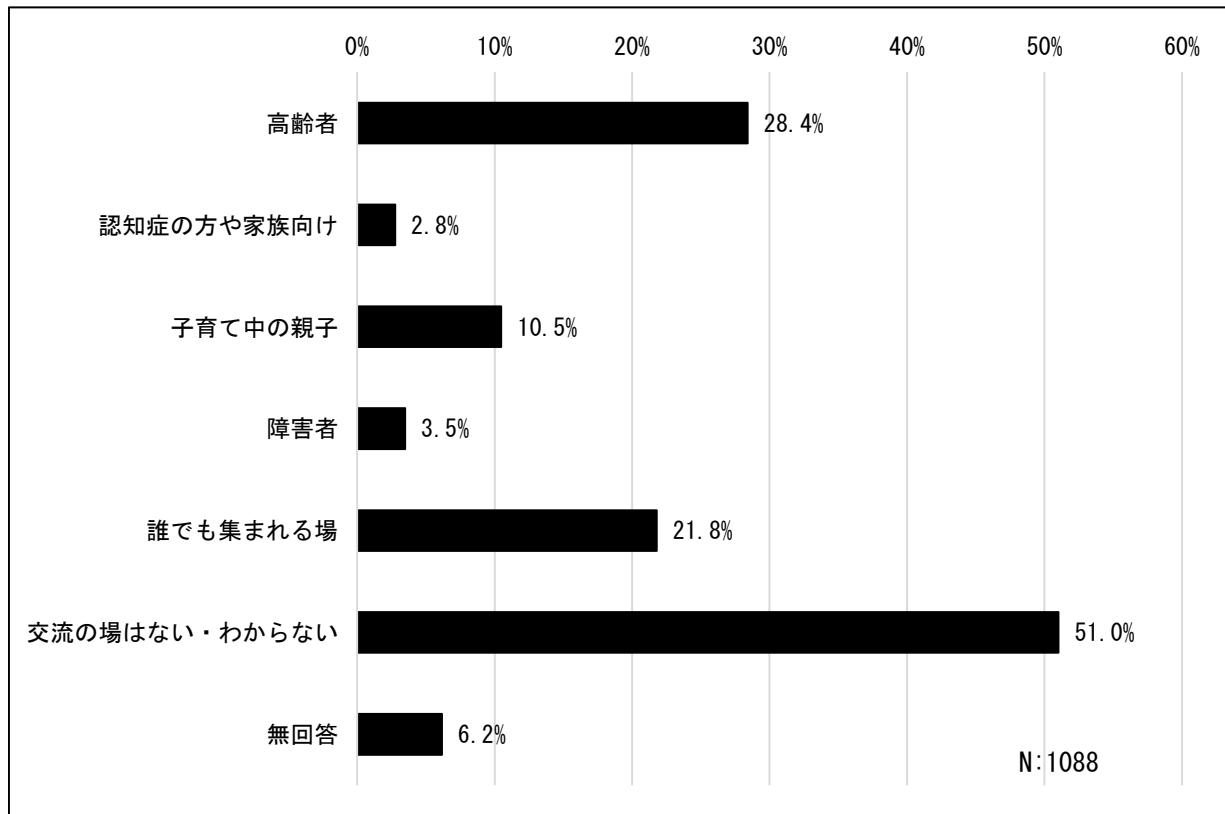
市部・郡部ともに「その人の家族」、「行政機関（市役所や役場）」の順に大きく、次いで市部では「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、郡部では「地域の住民」となっている。

【自由回答より】

- ・ 親戚、友人
- ・ 困っている内容により手助けすべき人が変わると思う
- ・ 状況により異なる。その都度適当な人が行うのが良い。誰が行うべきと決めてかかるのはよくない。適当な人がいない場合に、有料でも受けられるサービスがあると良い。

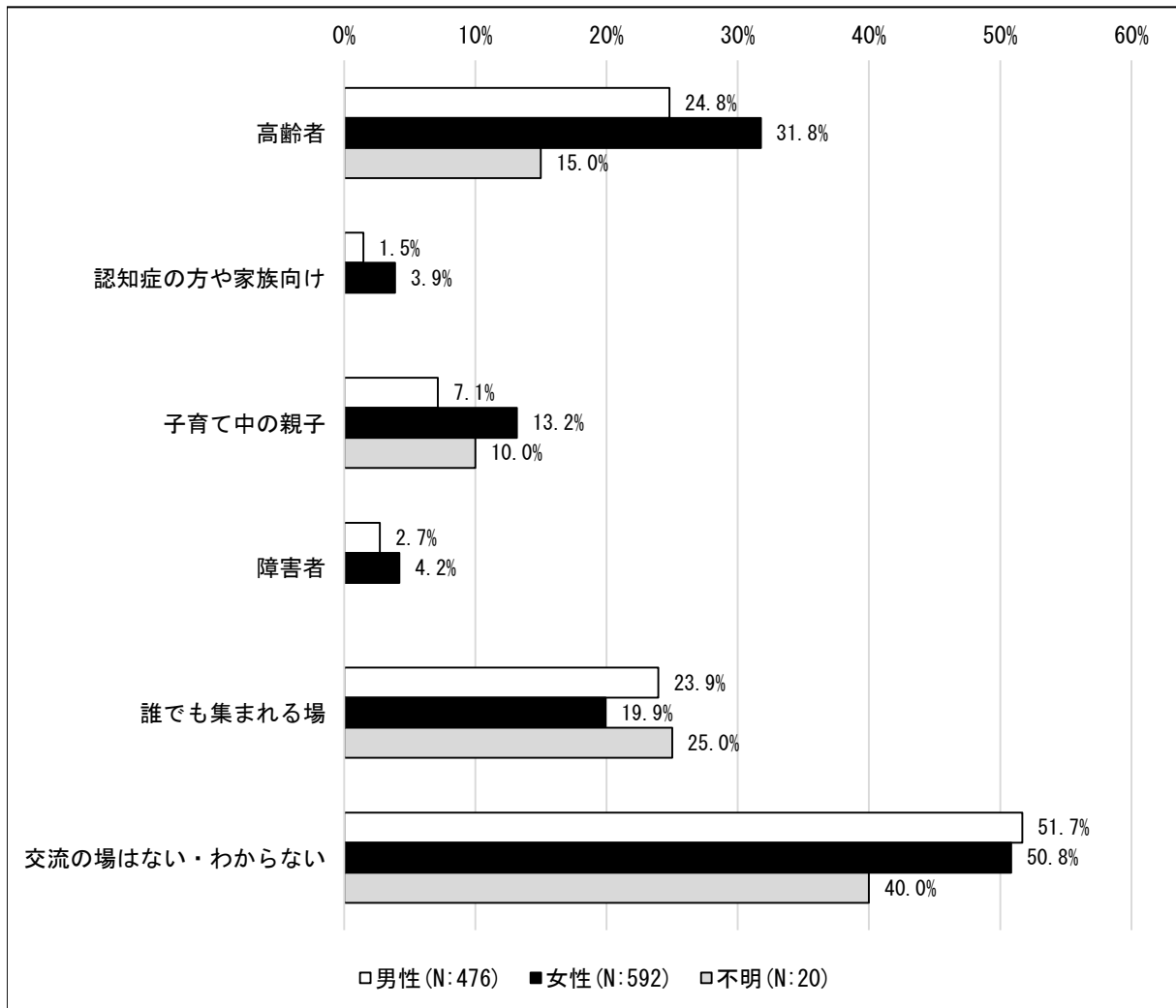
問 12. お住まいの地域に、次のような交流の場がありますか。（当てはまるものすべて）

・地域の交流の場



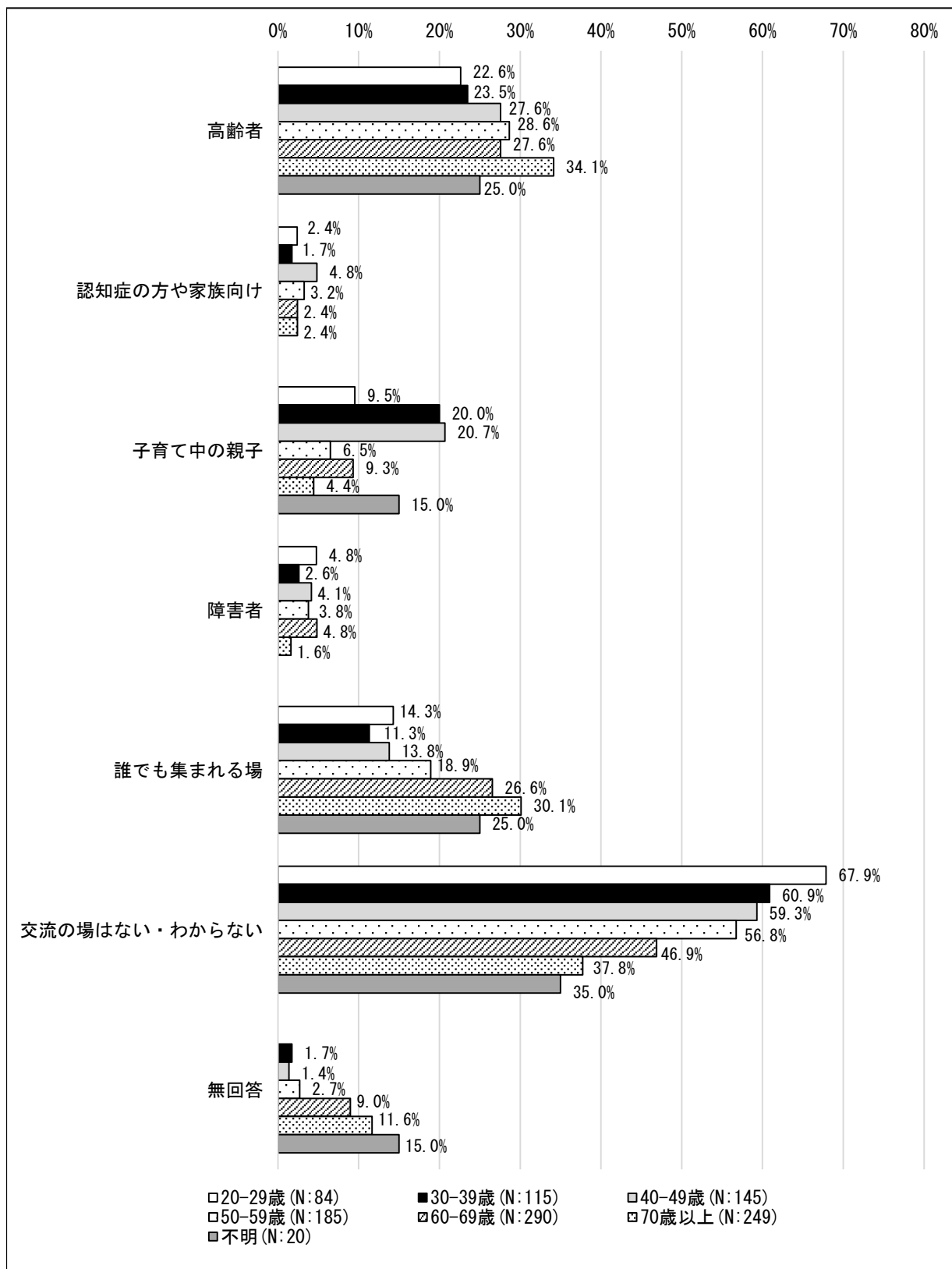
「交流の場はない・わからない」が51%、「高齢者」が28%、「誰でも集まれる場」が22%、「子育て中の親子」が11%となっている。

【男女別】



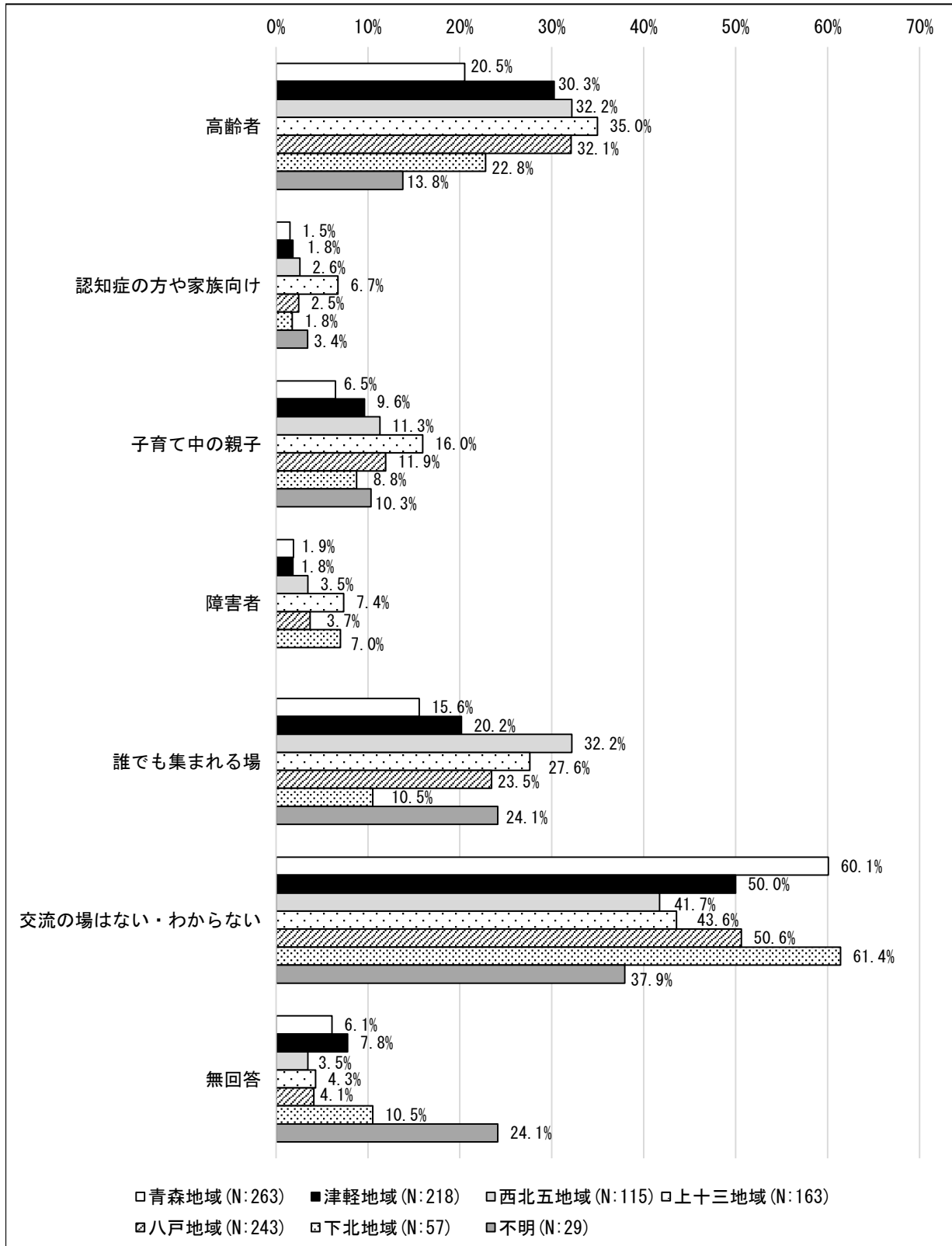
男女ともに「交流の場はない・わからない」が最も大きく、次いで「高齢者」、「誰でも集まれる場」、「子育て中の親子」の順となっている。

【年代別】



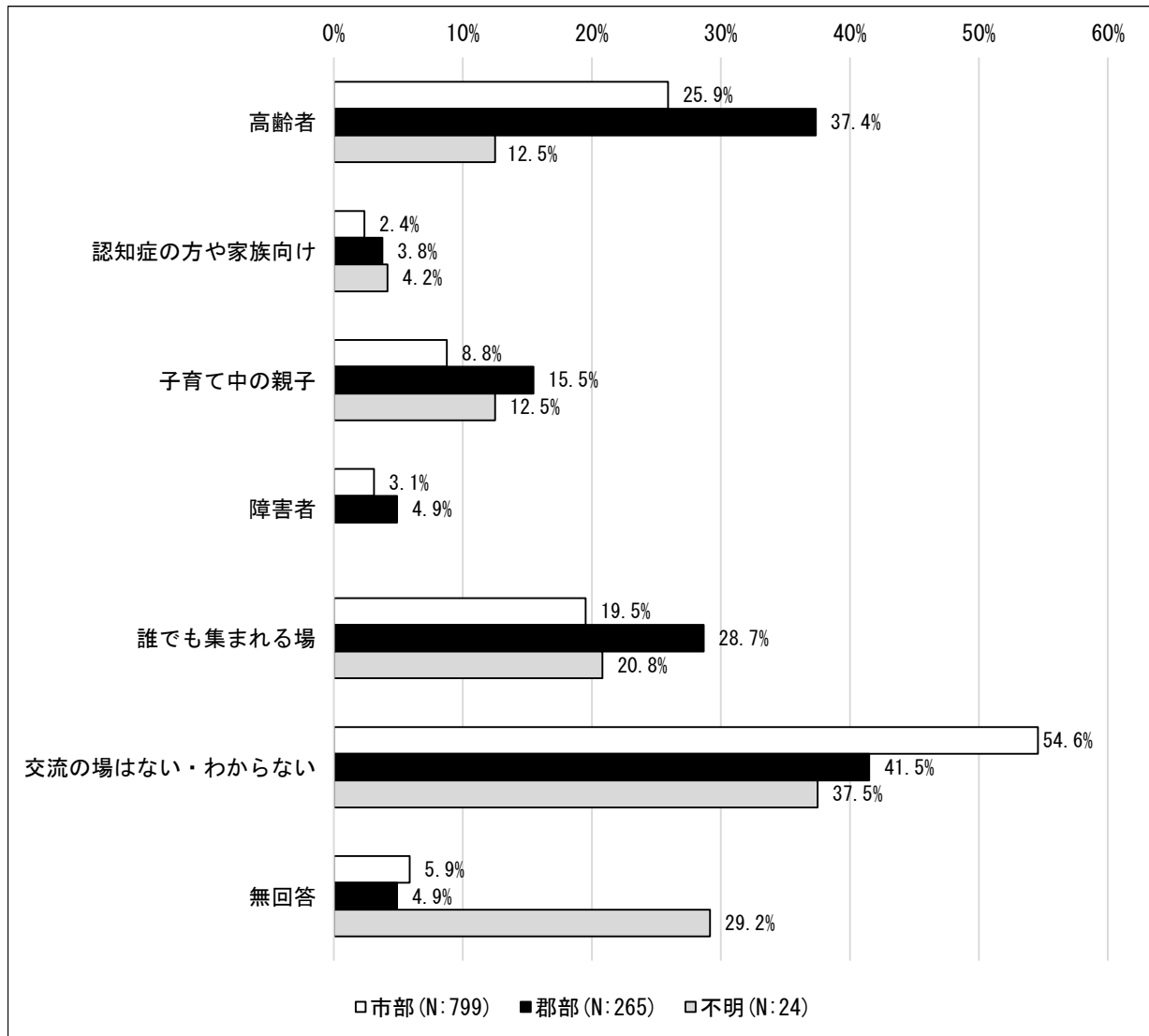
全ての年代で「交流の場はない・わからない」、「高齢者」の順に大きく、次いで20歳代、50歳代以上では「誰でも集まれる場」、30歳代、40歳代では「子育て中の親子」の順となっている。年代が下がるほど「交流の場はない・わからない」が大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「交流の場はない・わからない」が最も大きく、その割合は青森地域、下北地域が他の地域より大きくなっている。上十三地域では「認知症の方や家族向け」、「子育て中の親子」が、西北五地域では「誰でも集まれる場」が、それぞれ他の地域より大きくなっている。

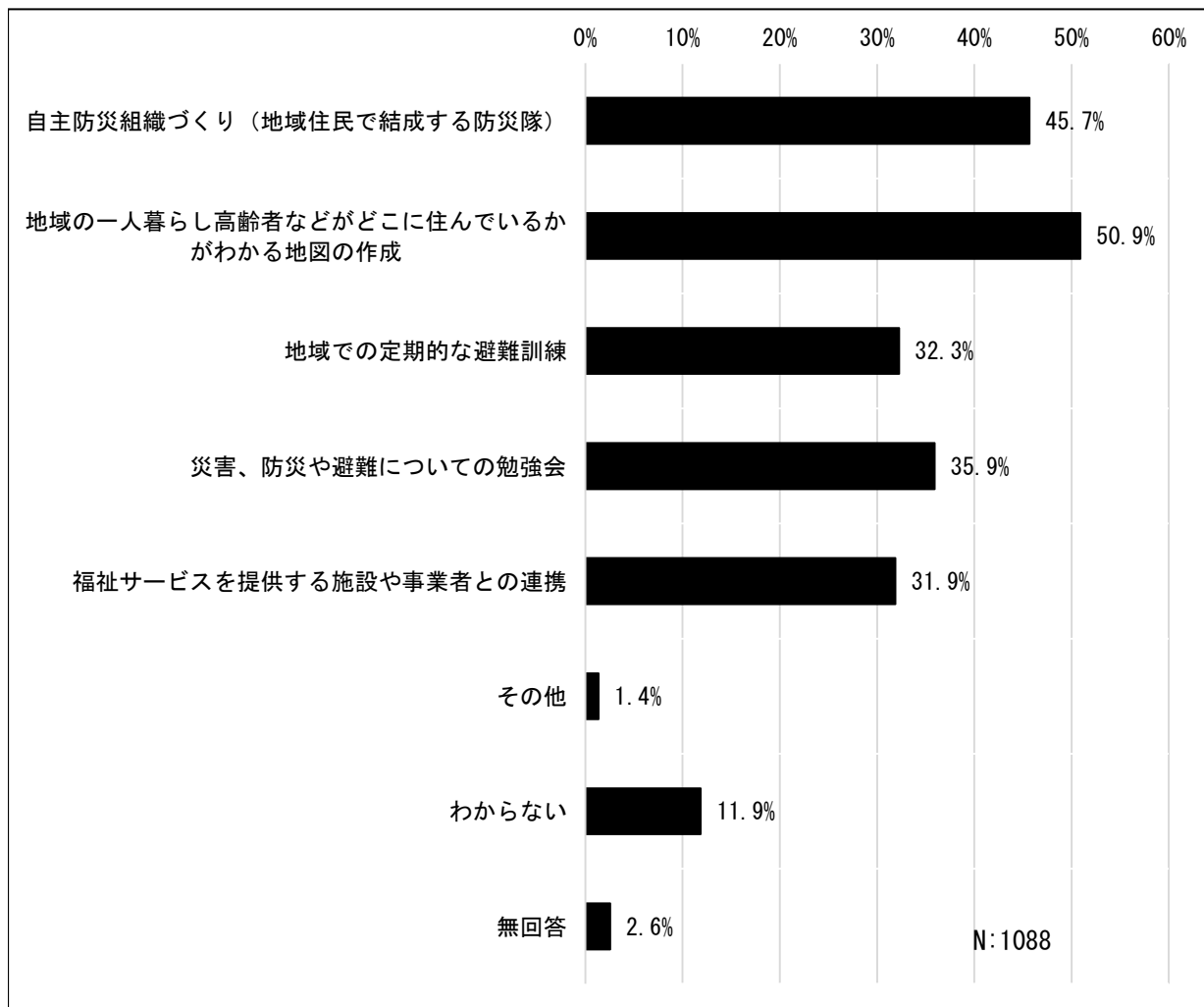
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「交流の場はない・わからない」が最も大きくなっており、その割合は市部が郡部より大きくなっている。郡部は市部より交流の場の認知度が高くなっている。

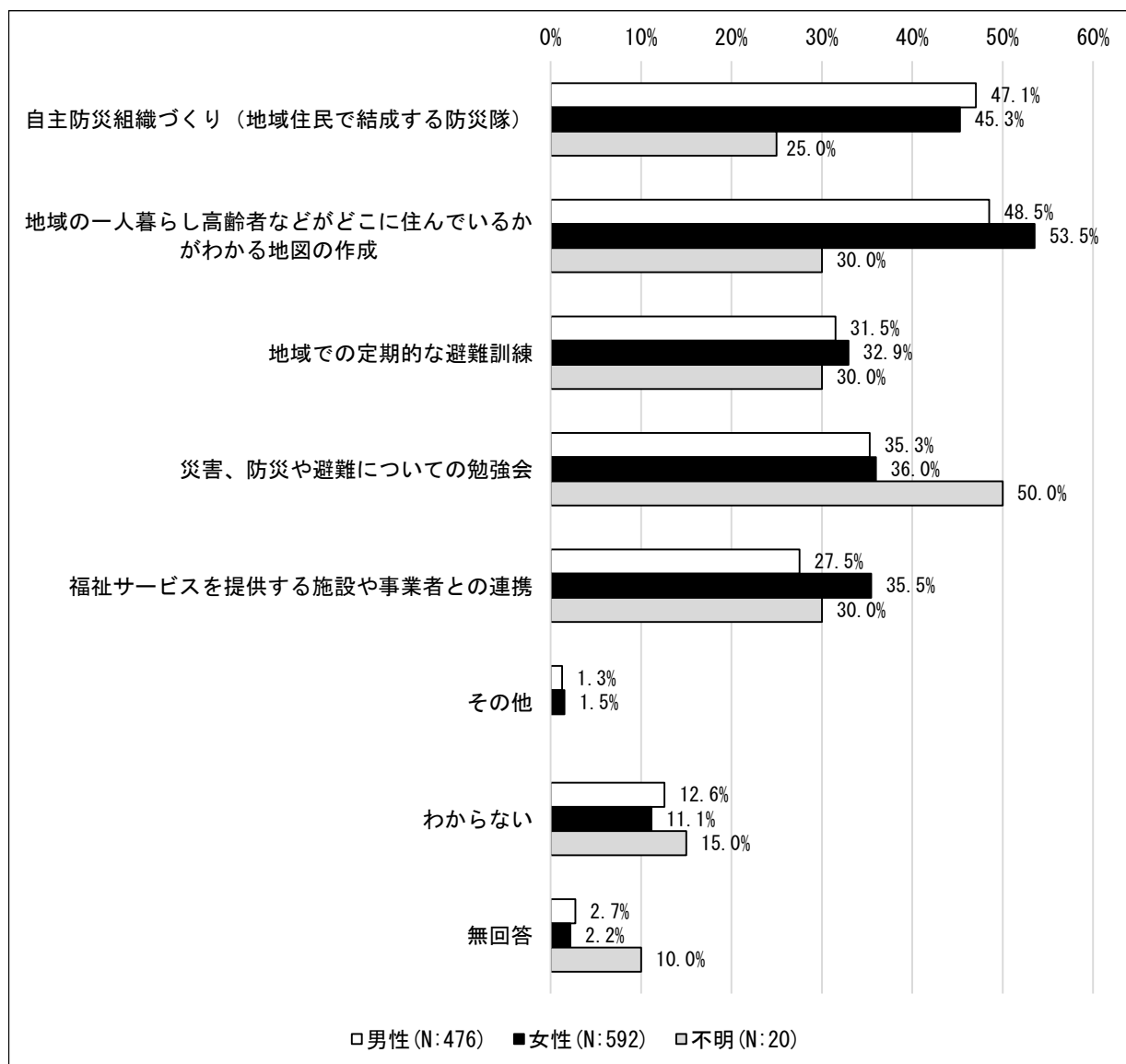
問 13. 災害時に住民が支え合う地域づくりには何が必要だと思いますか。（3つまで）

・災害時に住民が支えあう地域づくり



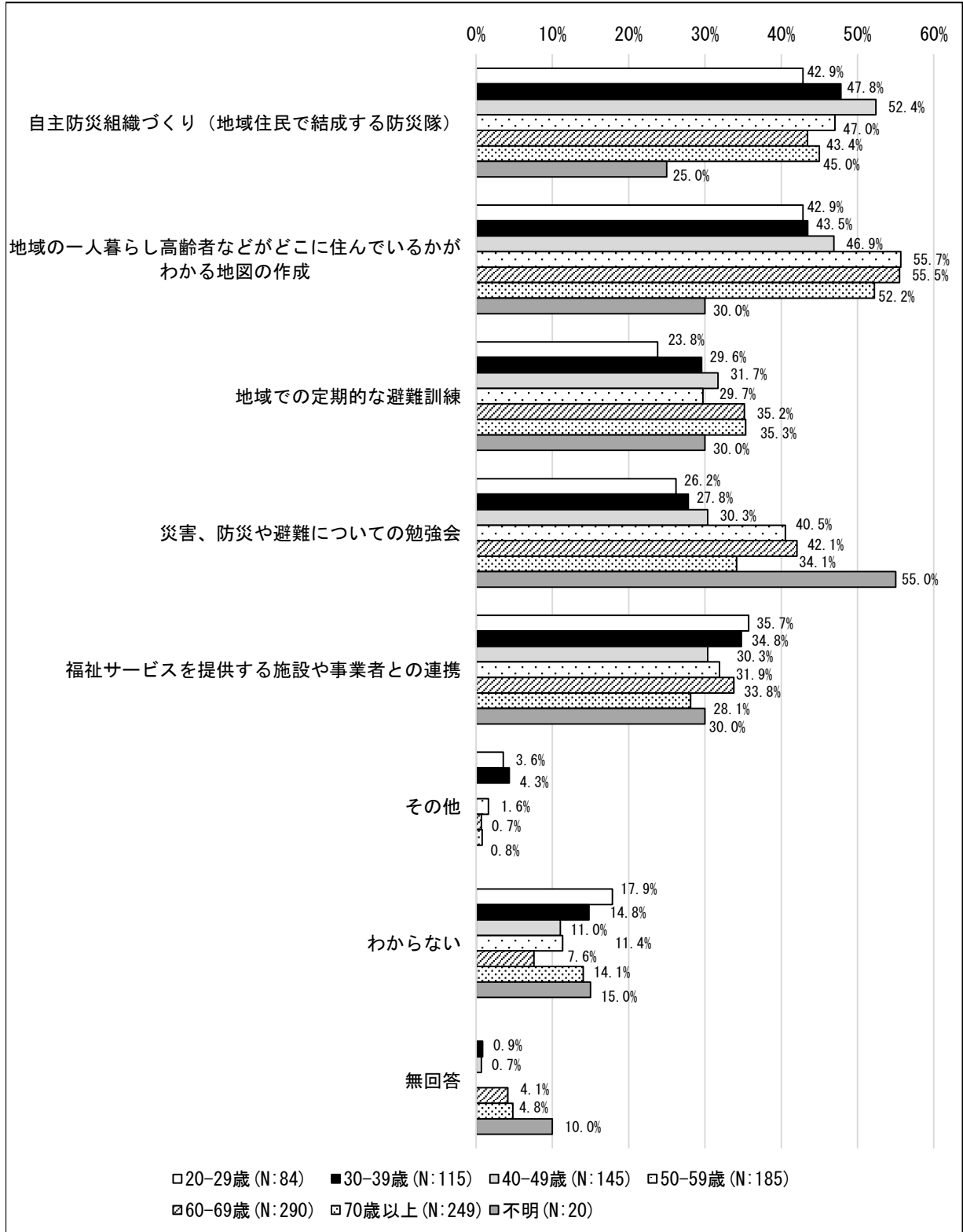
「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が51%、「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」が46%、「災害、防災や避難についての勉強会」が36%、「地域での定期的な避難訓練」、「福祉サービスを提供する施設や事業者との連携」が32%となっている。

【男女別】



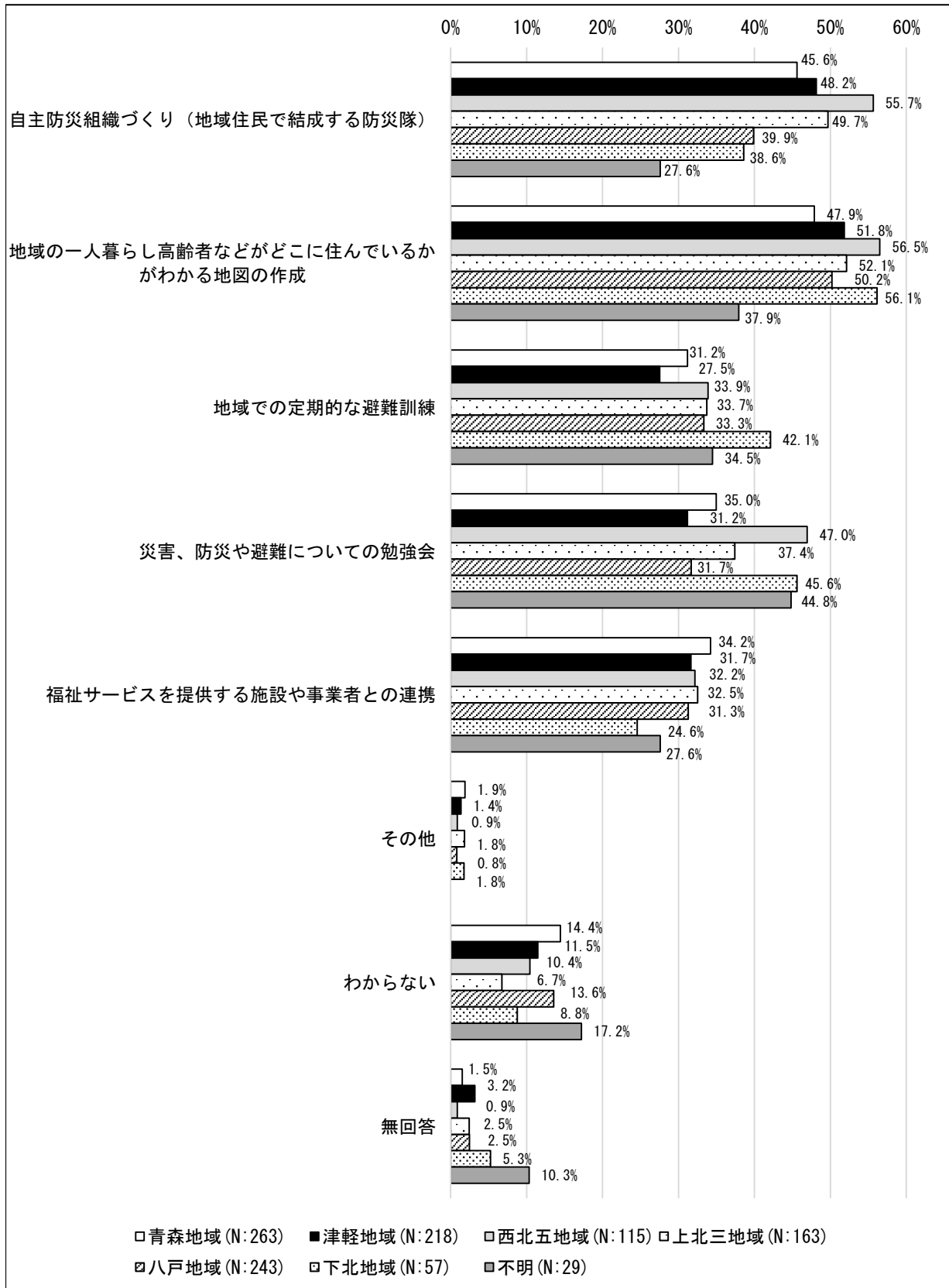
男女ともに「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きく、次いで「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」、「災害、防災や避難についての勉強会」の順となっている。

【年代別】



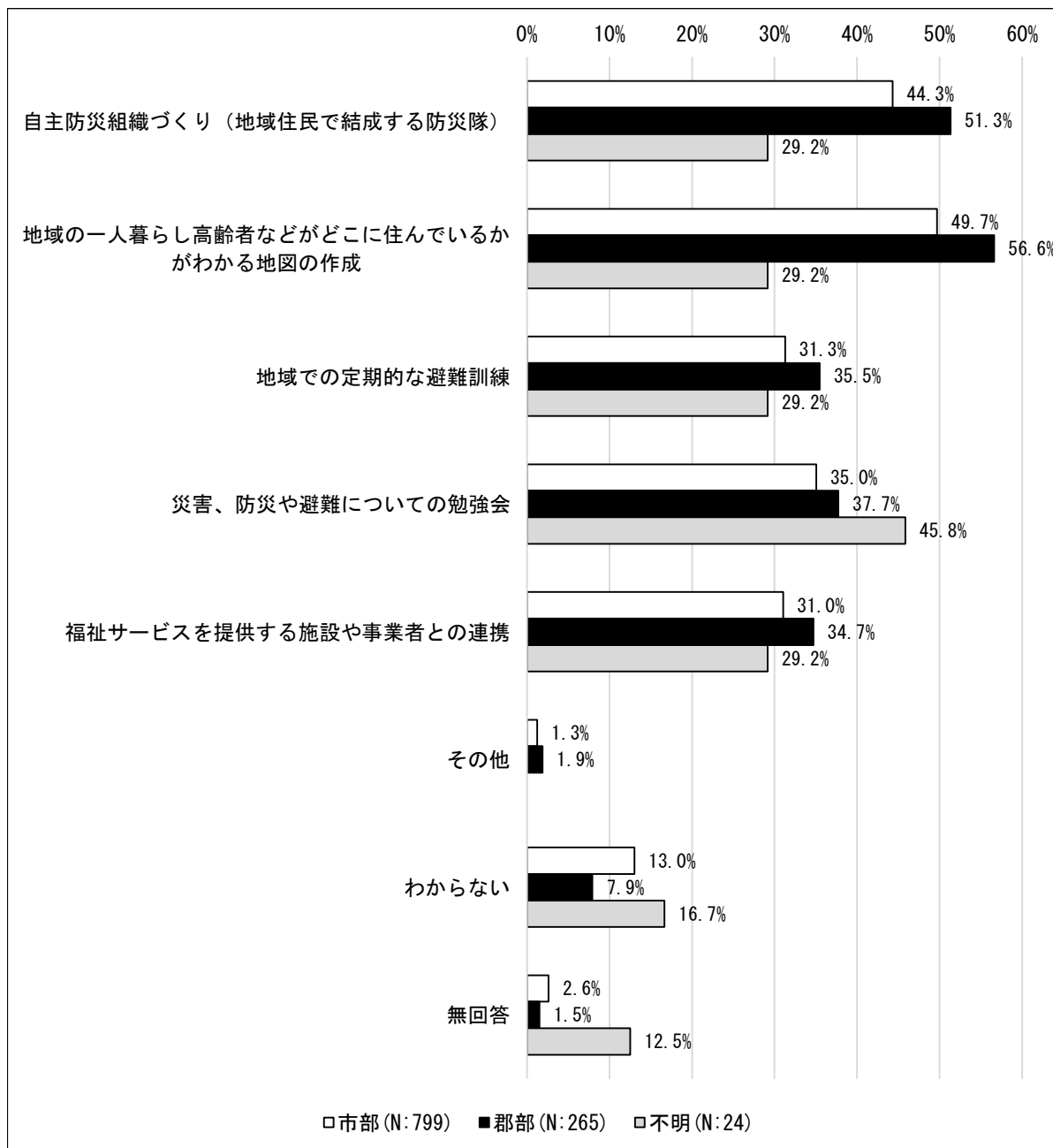
20歳代では「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」、「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きくなっている。30歳代、40歳代では、「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」が最も大きくなっている。50歳代以上では、「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きく、次いで下北地域では「災害、防災や避難についての勉強会」、他の地域では「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」の順となっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きく、次いで「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」、「災害、防災や避難についての勉強会」の順となっている。

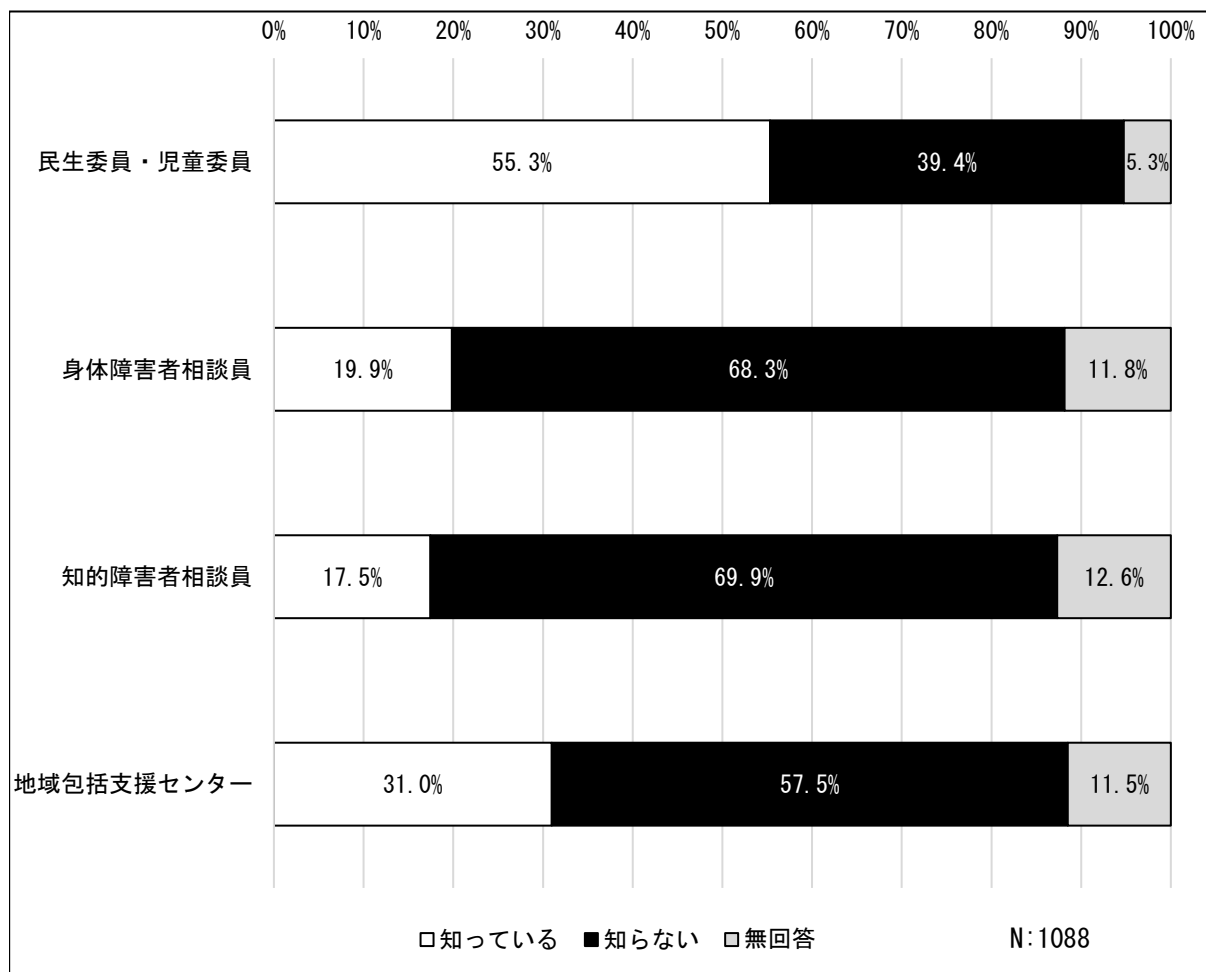
【自由回答より】

- ・まずは一人ひとりの心がけ。自助、公助、共助が大切だと思う。何かで耳にしたり、目にしたら自分で考え調べてみる。地域の地図、避難場所等も覚えておく。
- ・設備の整った施設
- ・普段から会話をしてコミュニケーションをとること

< 4 > 様々な相談窓口について

問 14. 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員、地域包括支援センターの活動内容を知っていますか。（1から4についてそれぞれ1つ）

・ 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員、地域包括支援センターの活動内容

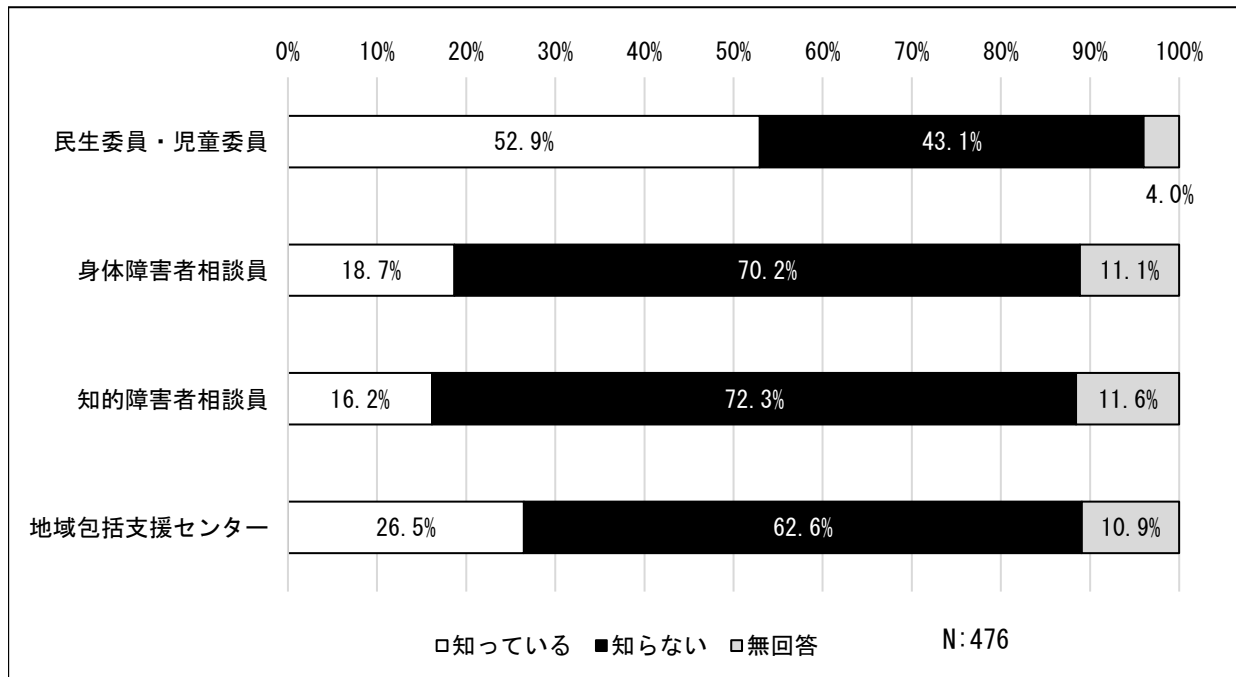


「民生委員・児童委員」は、「知っている」が55%で「知らない」の39%を上回っている。

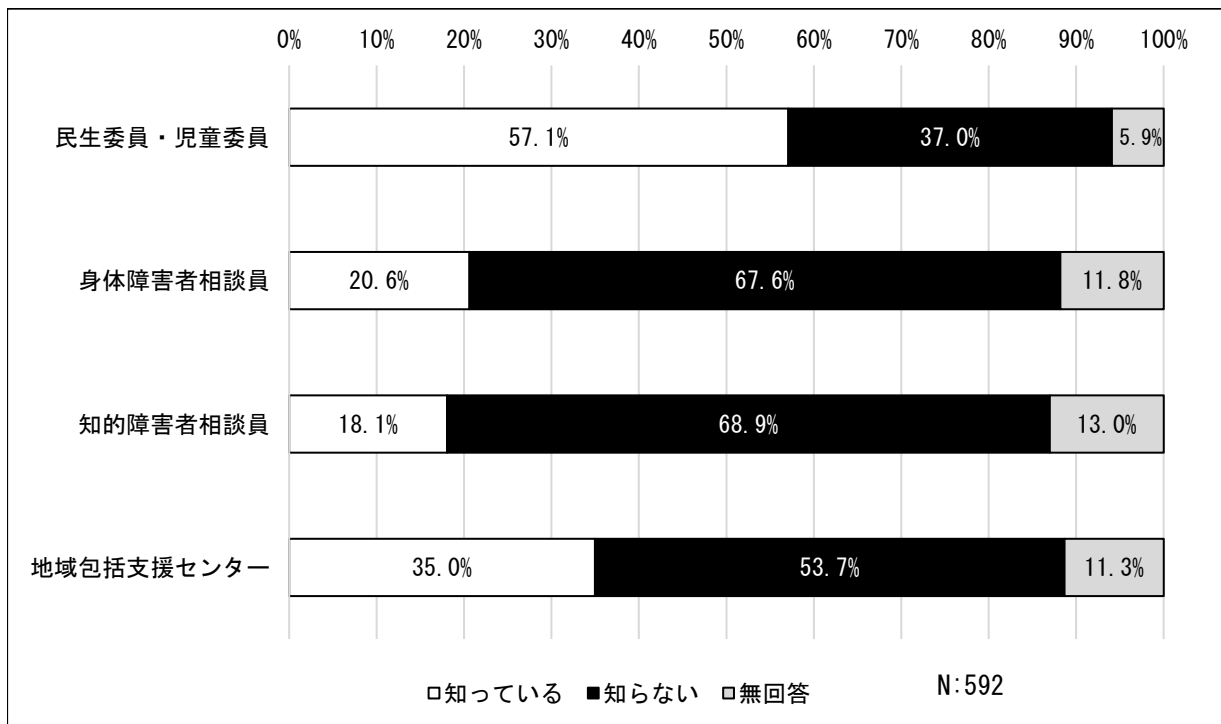
「地域包括支援センター」、「身体障害者相談員」、「知的障害者相談員」は、「知らない」が「知っている」を上回っている。

【男女別】

(男性)



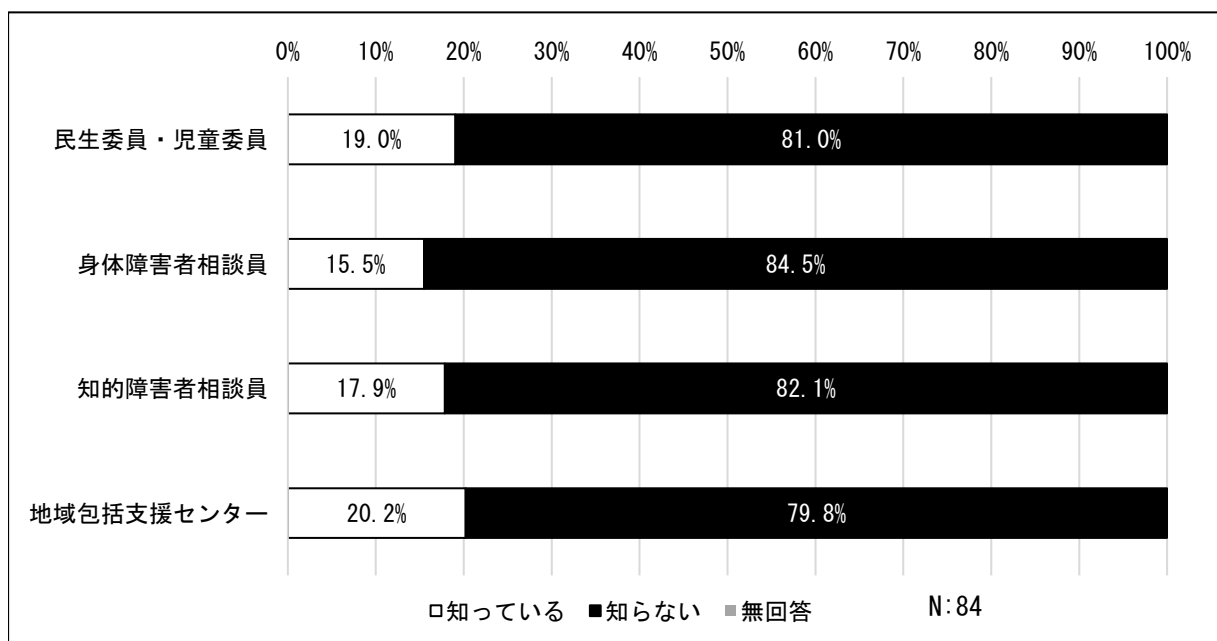
(女性)



男女ともに、「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回り、「地域包括支援センター」、「身体障害者相談員」、「知的障害者相談員」は「知らない」が「知っている」を上回っている。

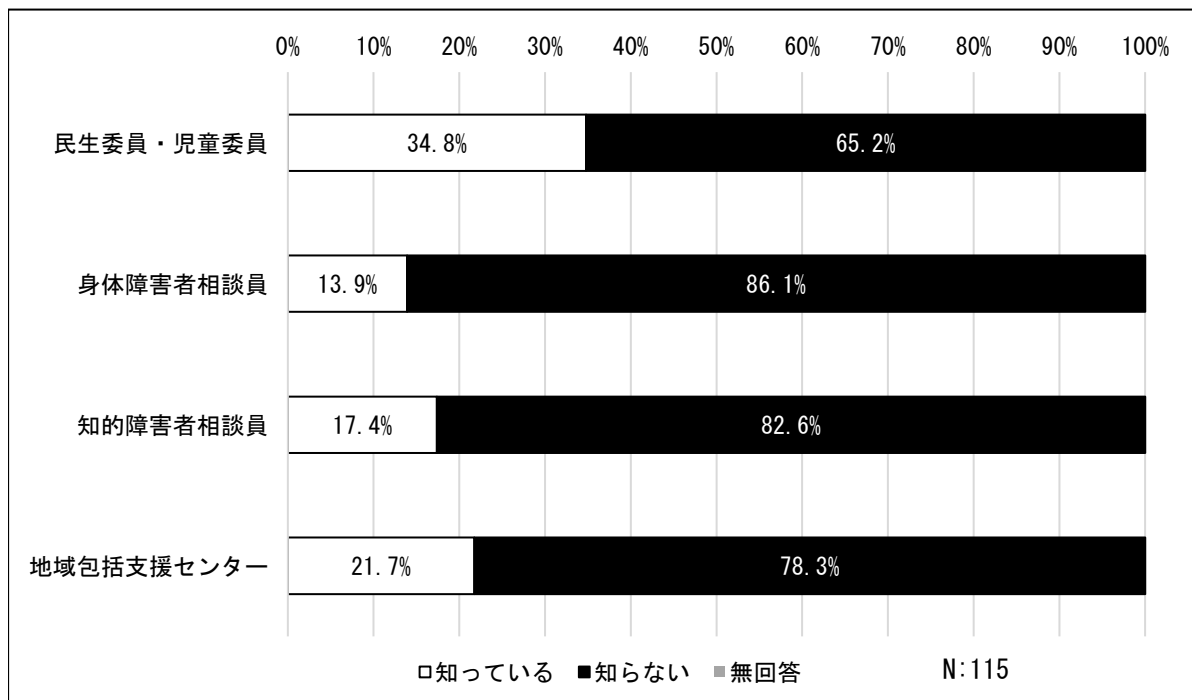
【年代別】

(20-29 歳)



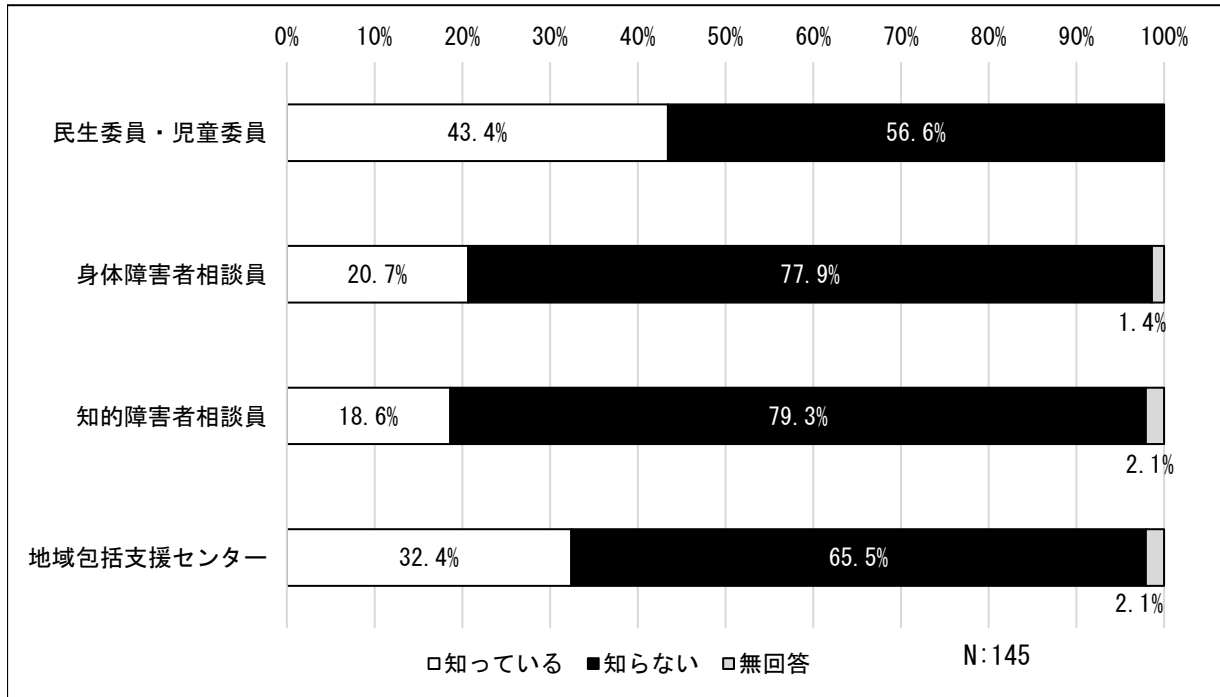
全ての項目で、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(30-39 歳)



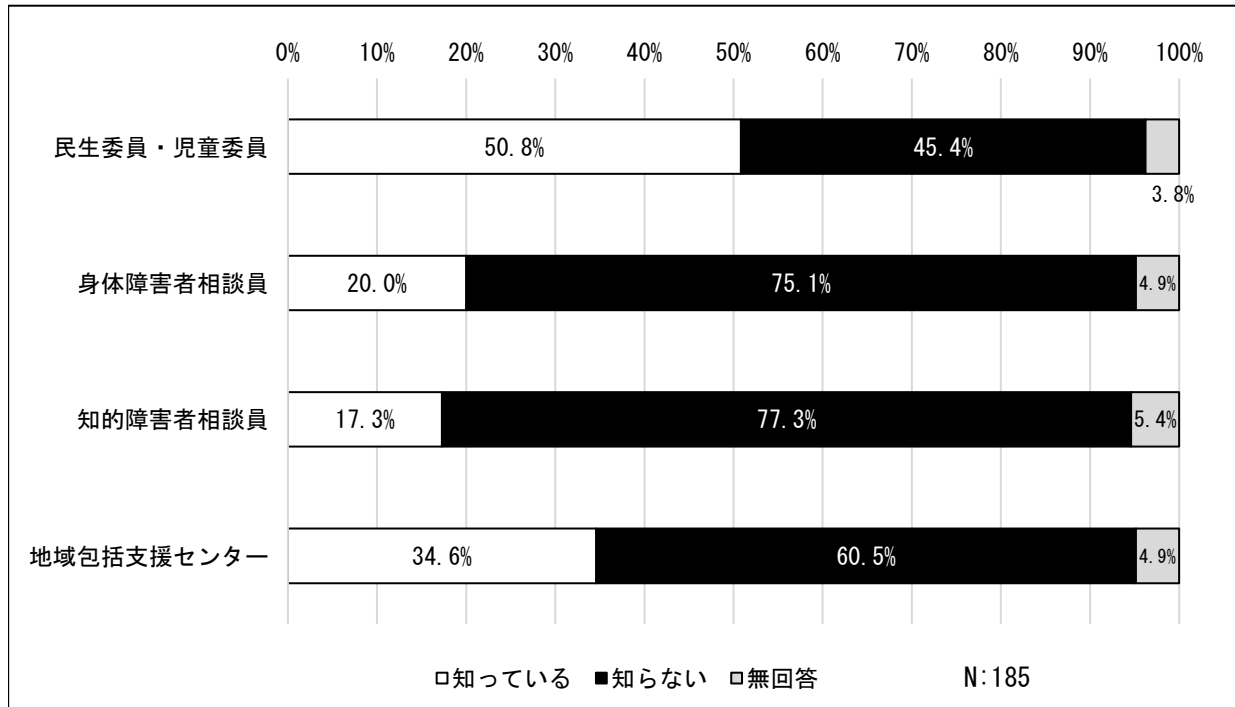
全ての項目で、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(40-49 歳)



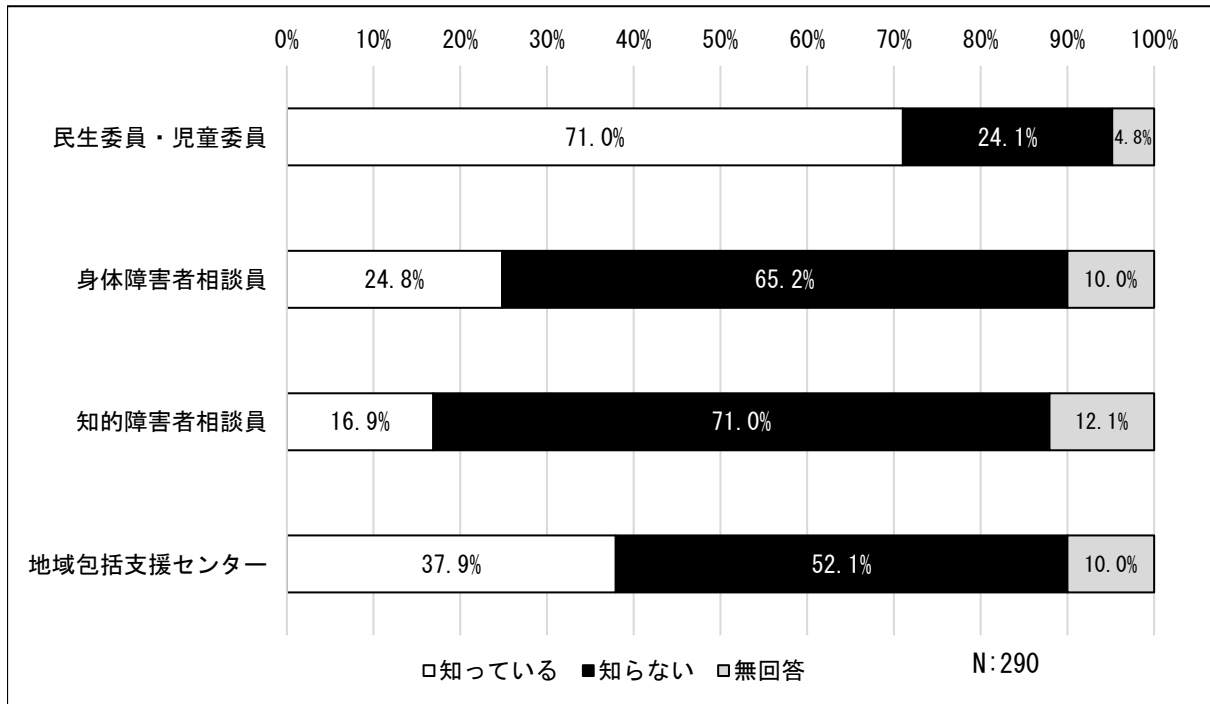
全ての項目で、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(50-59 歳)



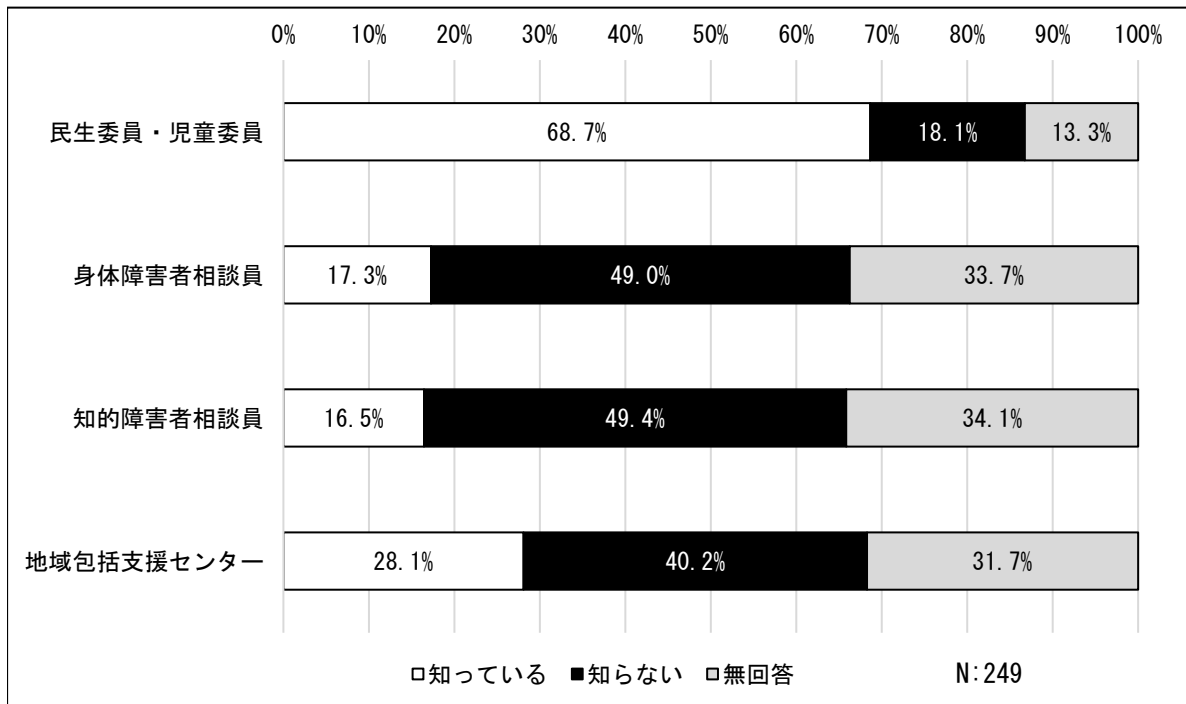
「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(60-69 歳)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

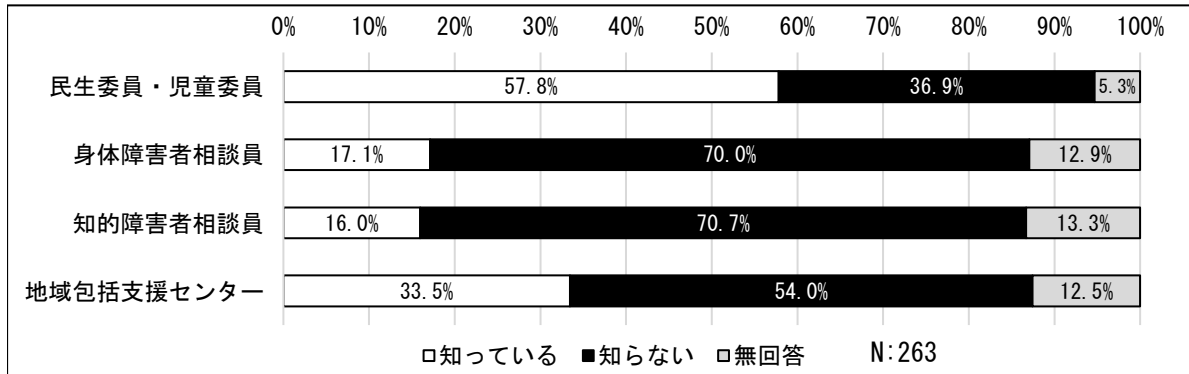
(70 歳以上)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

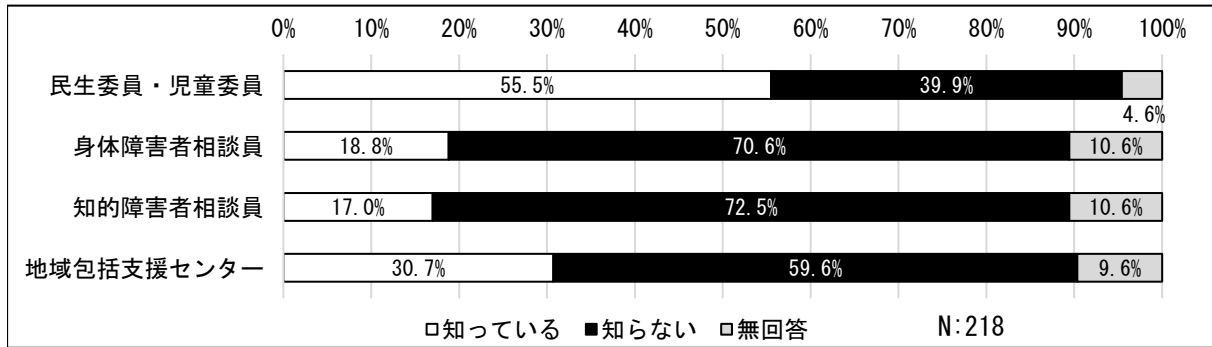
【地域別】

(青森地域)



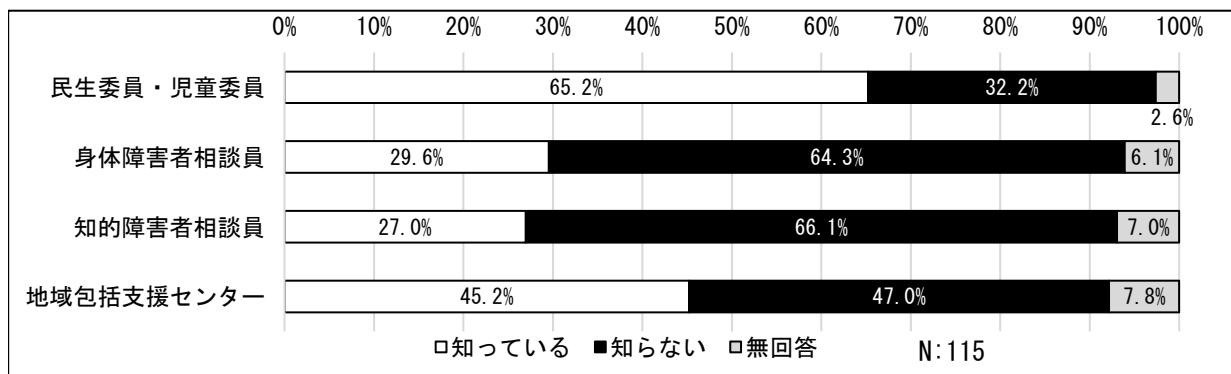
「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(津軽地域)



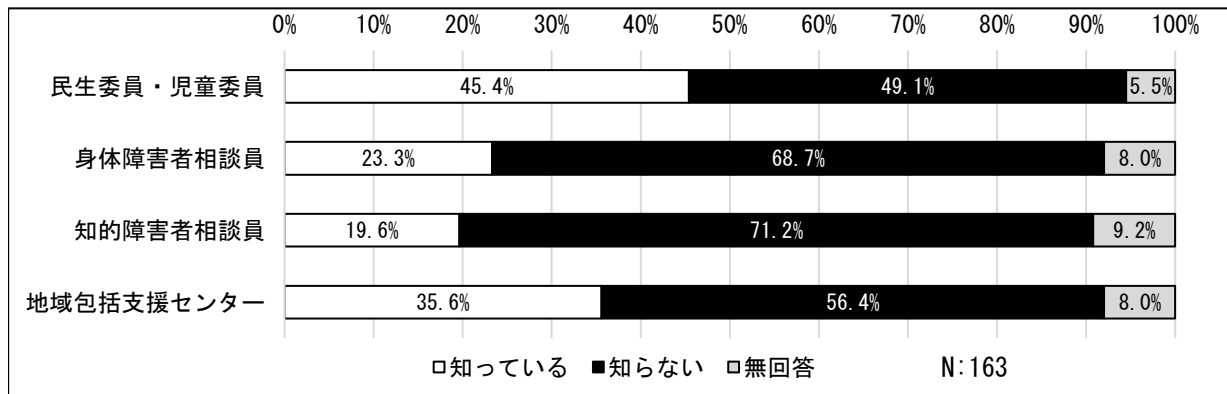
「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(西北五地域)



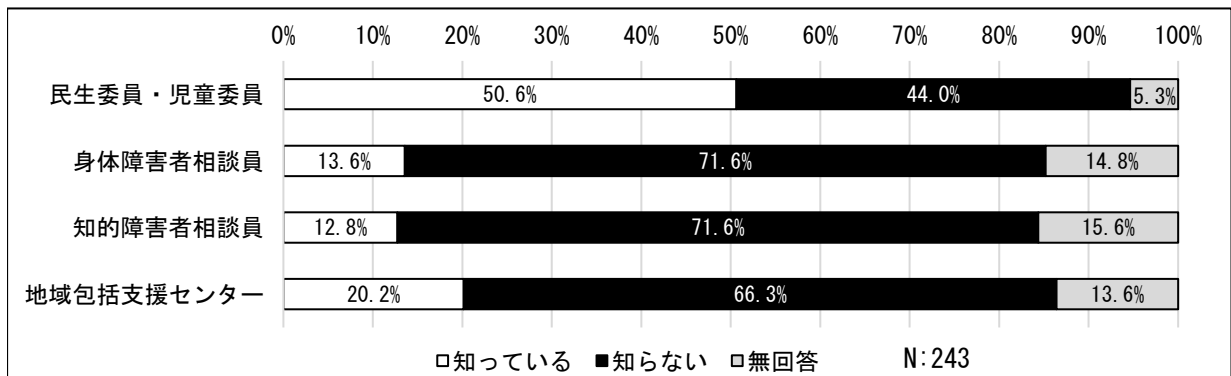
「地域包括支援センター」は「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっている。「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(上十三地域)



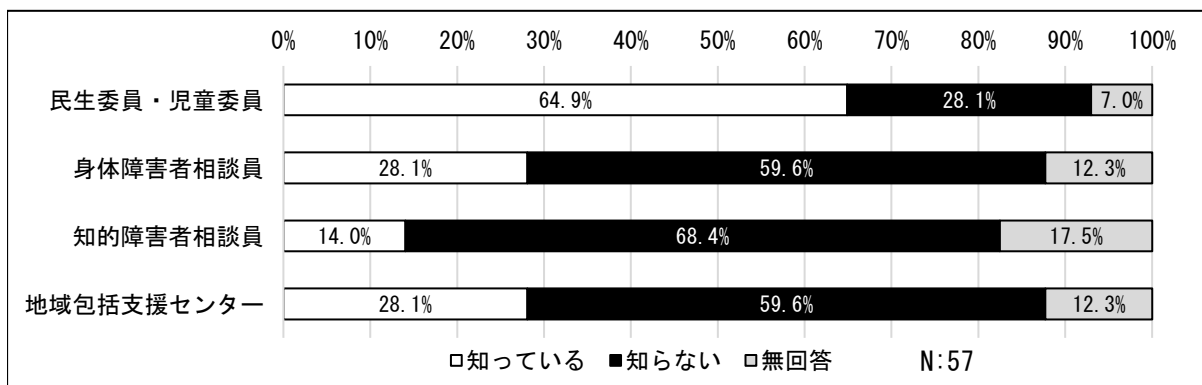
全ての項目で、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(八戸地域)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

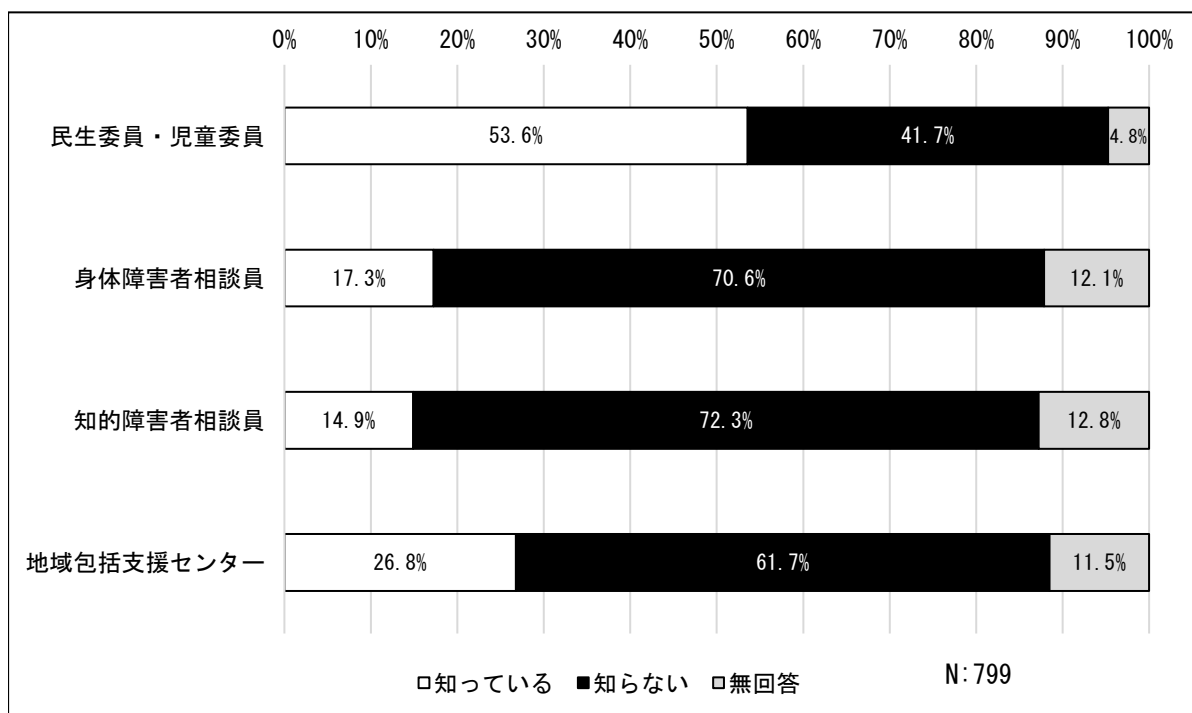
(下北地域)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

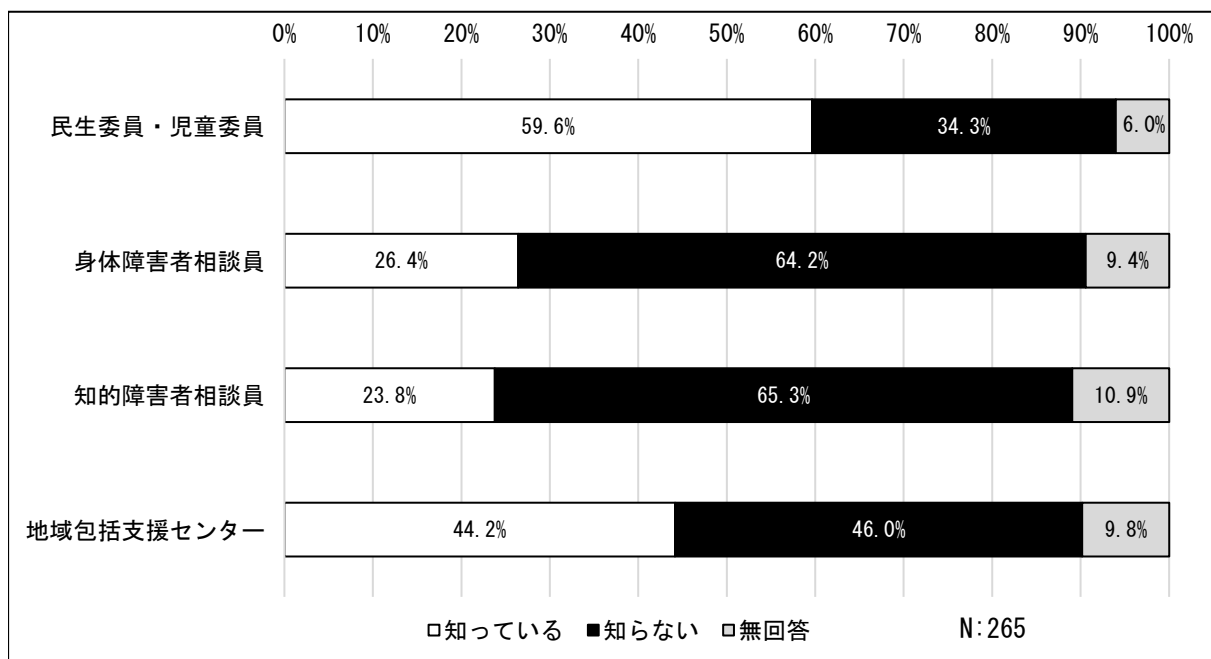
【市部・郡部別】

(市部)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

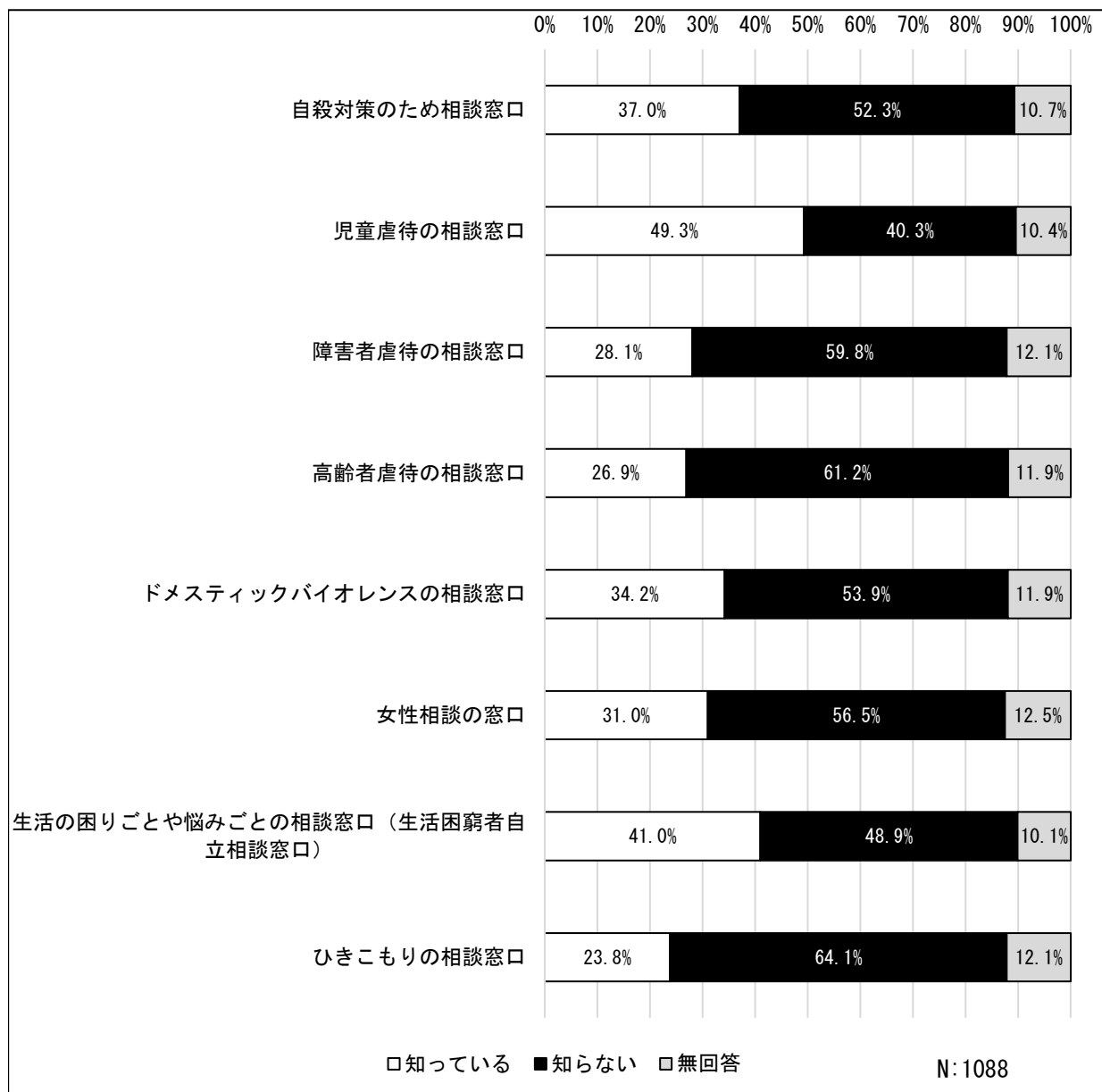
(郡部)



「民生委員・児童委員」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。「地域包括支援センター」は、「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっている。「身体障害者相談員」、「知的障害者相談員」は、「知らない」が「知っている」を上回っている。

問 15. 県内に、次の相談窓口があることを知っていますか。（1から8についてそれぞれ1つ）

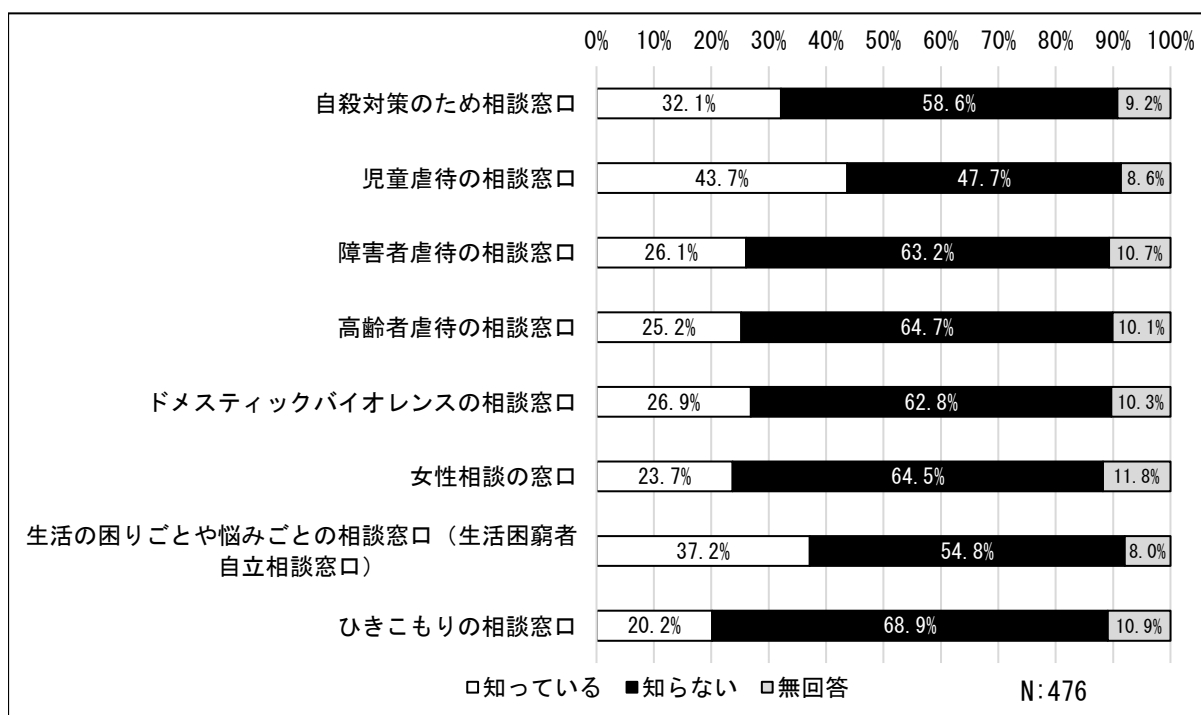
・各種相談窓口の認知度



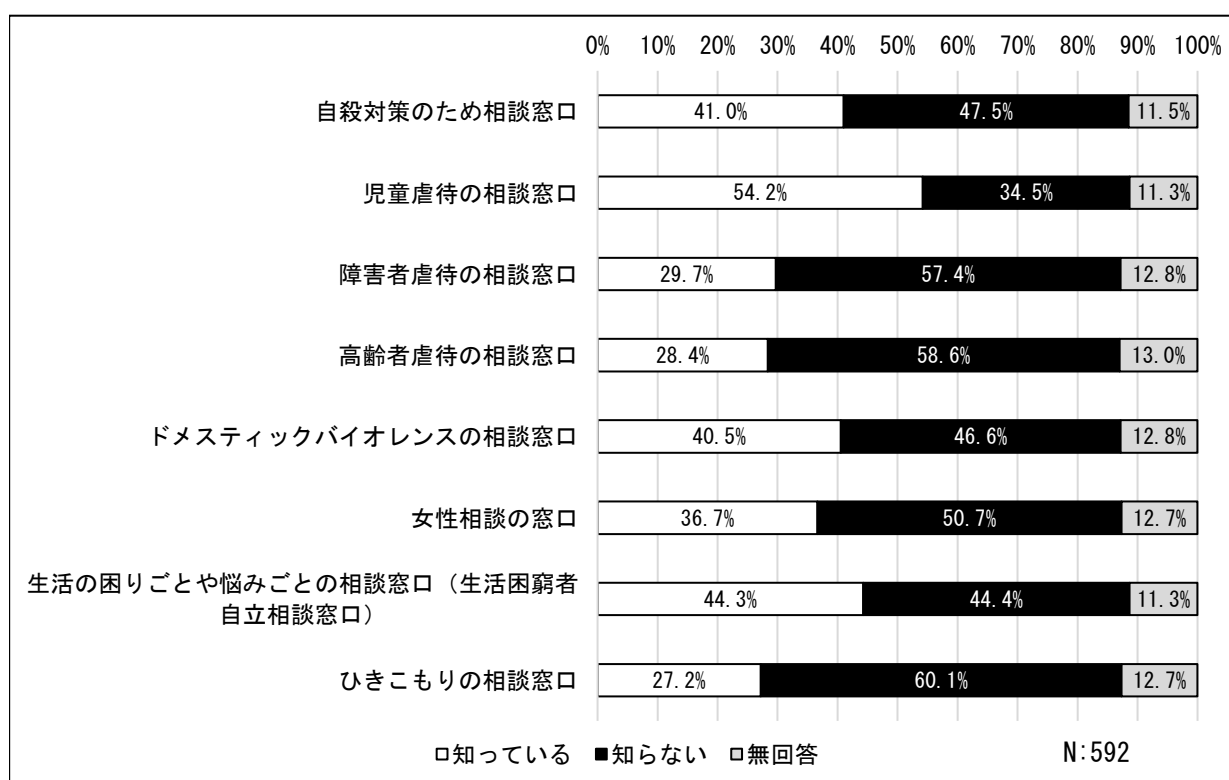
「知っている」は、「児童虐待の相談窓口」が49%と最も大きく、次いで「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」、「自殺対策のための相談窓口」の順となっている。一方「知らない」は、「ひきこもりの相談窓口」が64%と最も大きく、次いで「高齢者虐待の相談窓口」、「障害者虐待の相談窓口」の順となっている。

【男女別】

(男性)



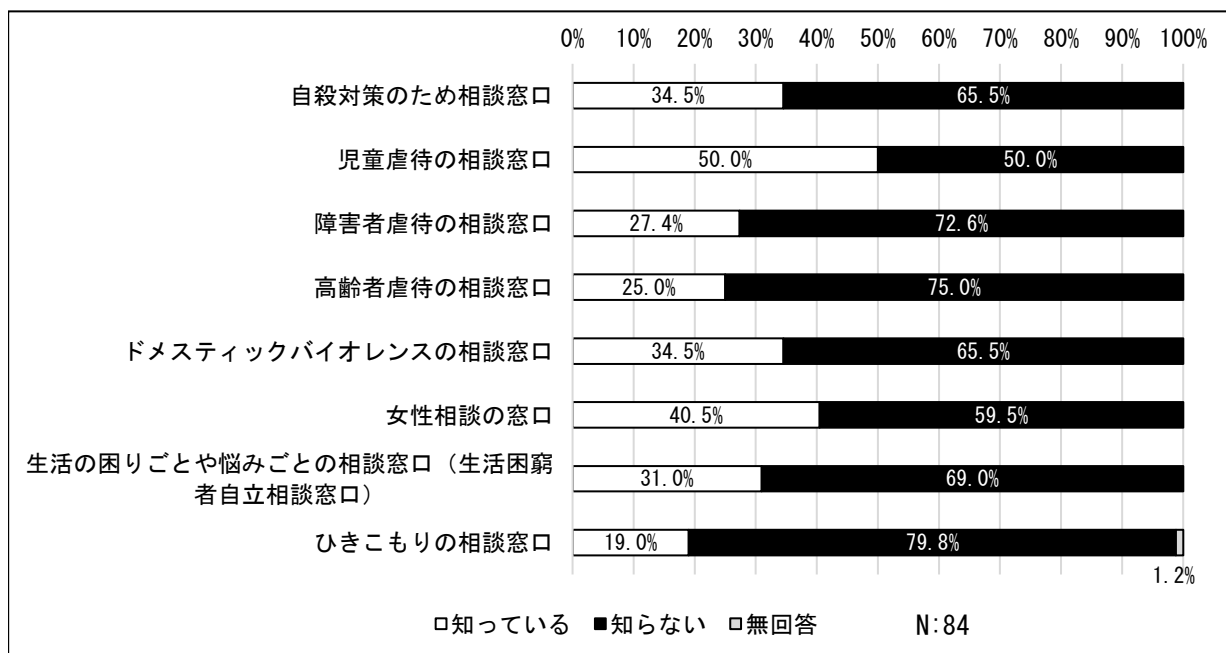
(女性)



男性では、全ての項目で「知らない」が「知っている」を上回っている。女性では、「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回り、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっており、その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

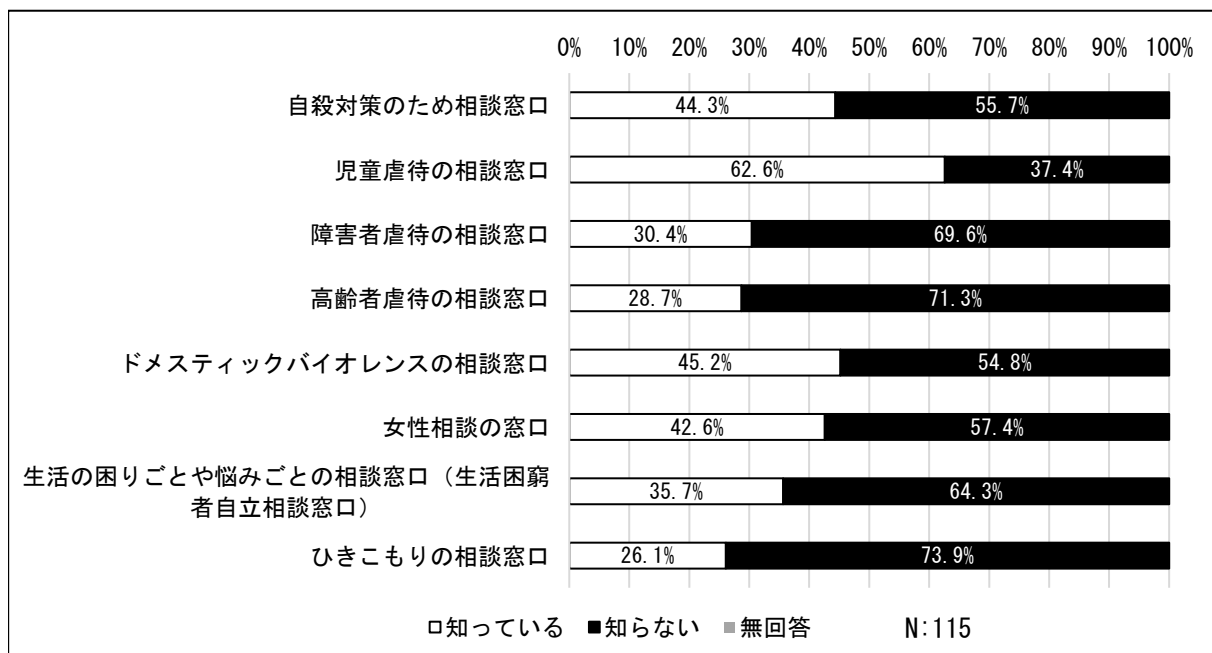
【年代別】

(20-29 歳)



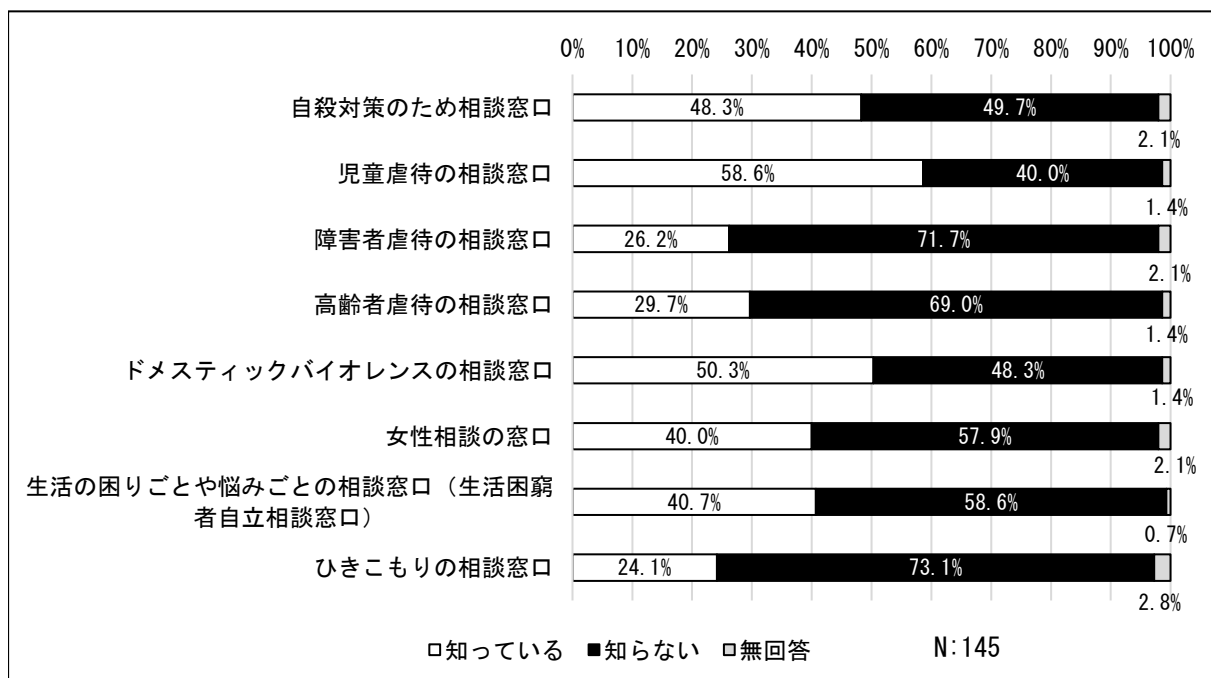
「児童虐待の相談窓口」は「知っている」、「知らない」が同率となっている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(30-39 歳)



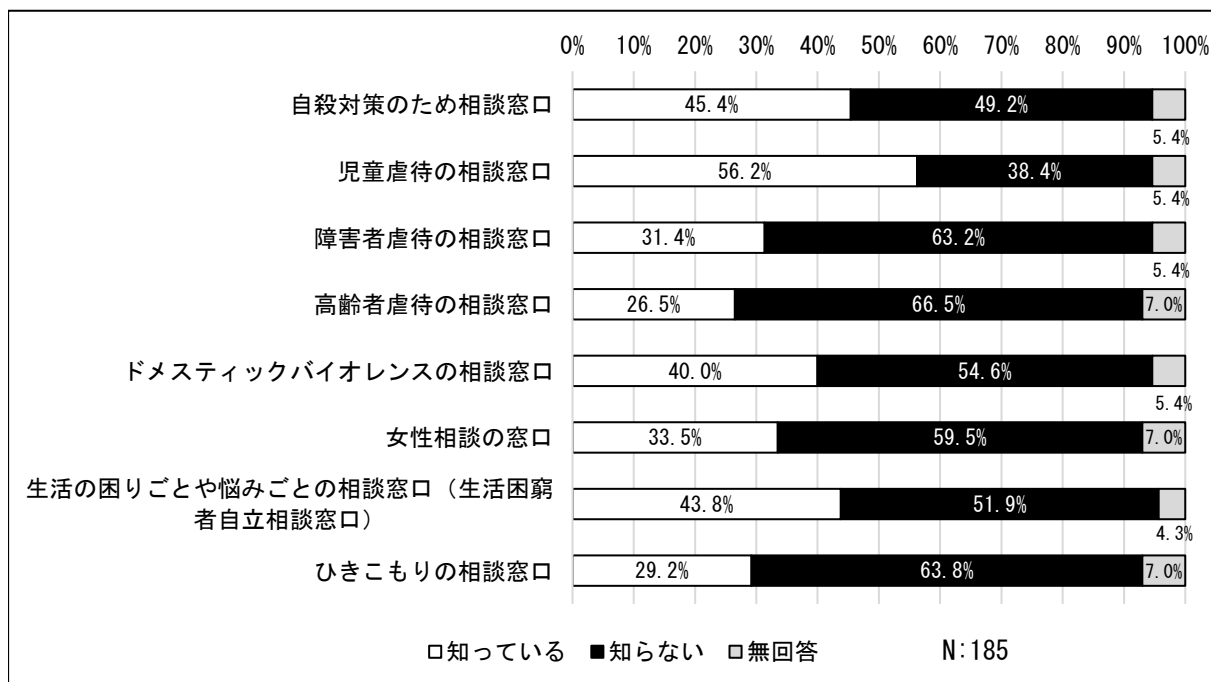
「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(40-49 歳)



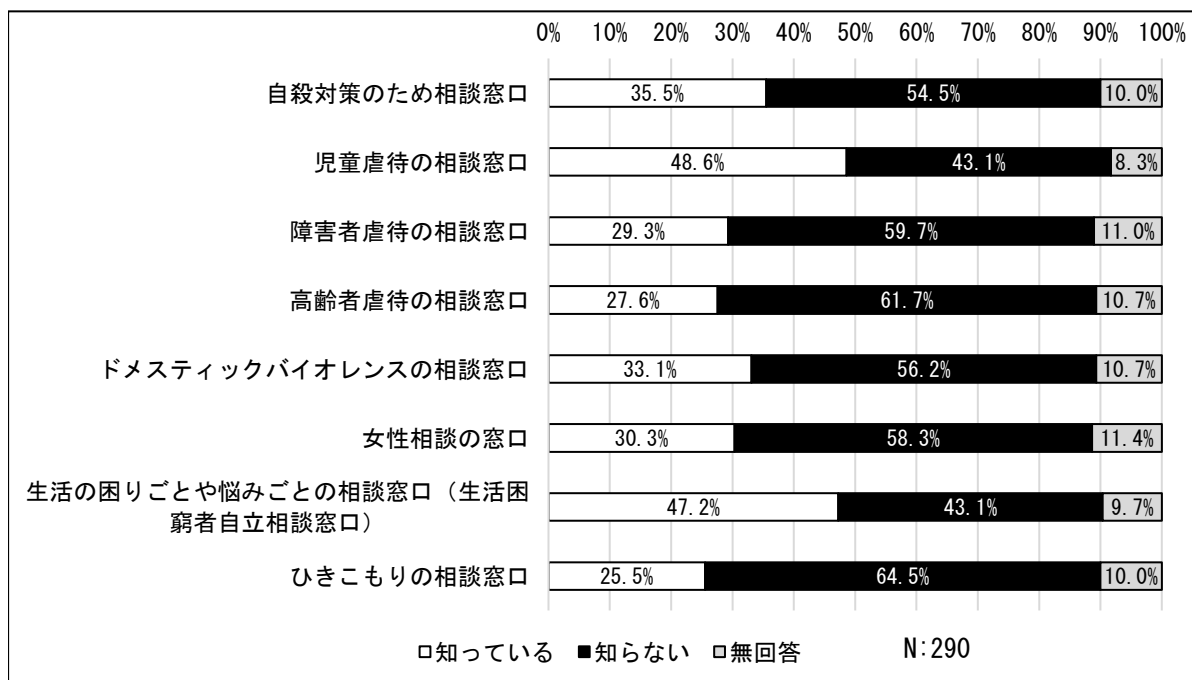
「児童虐待の相談窓口」、「ドメスティックバイオレンスの相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。「自殺対策のための相談窓口」は「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(50-59 歳)



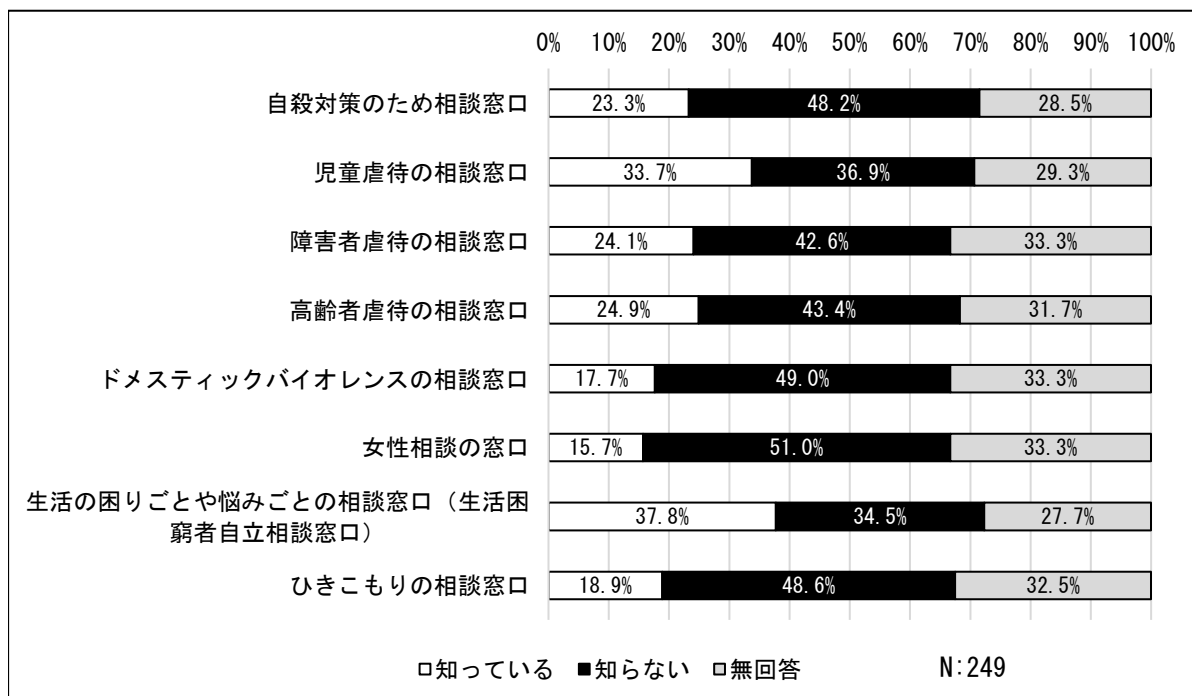
「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(60-69 歳)



「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

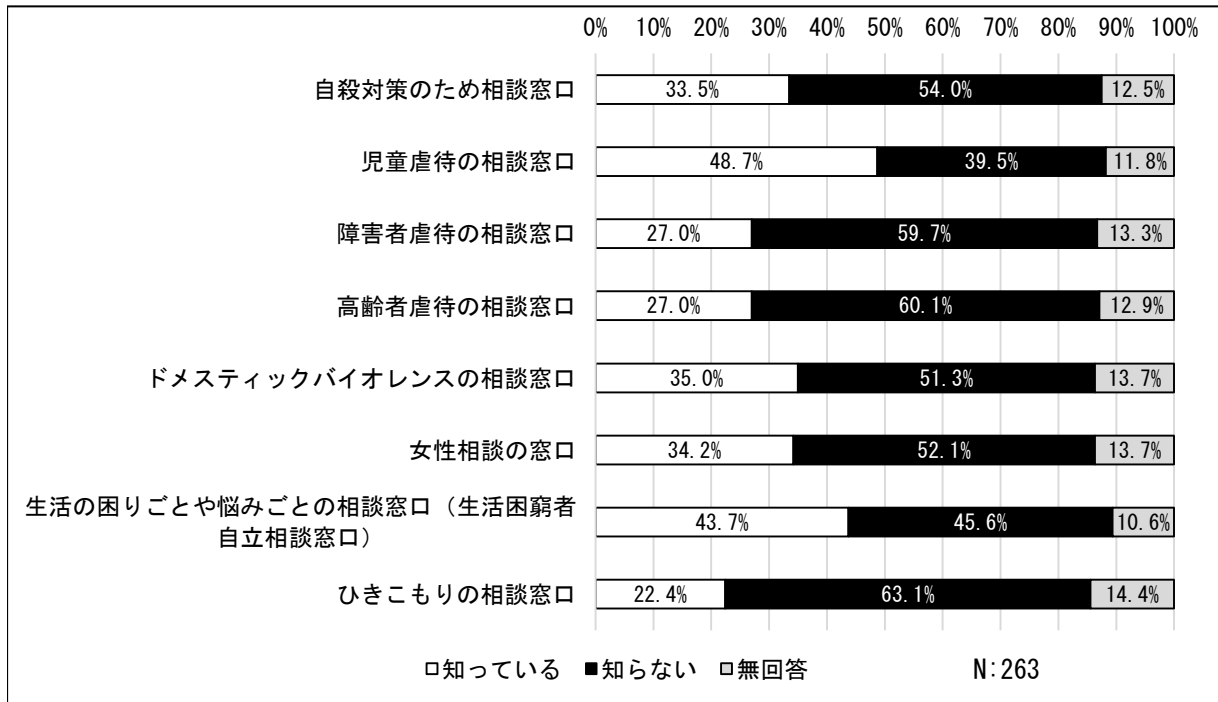
(70 歳以上)



「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

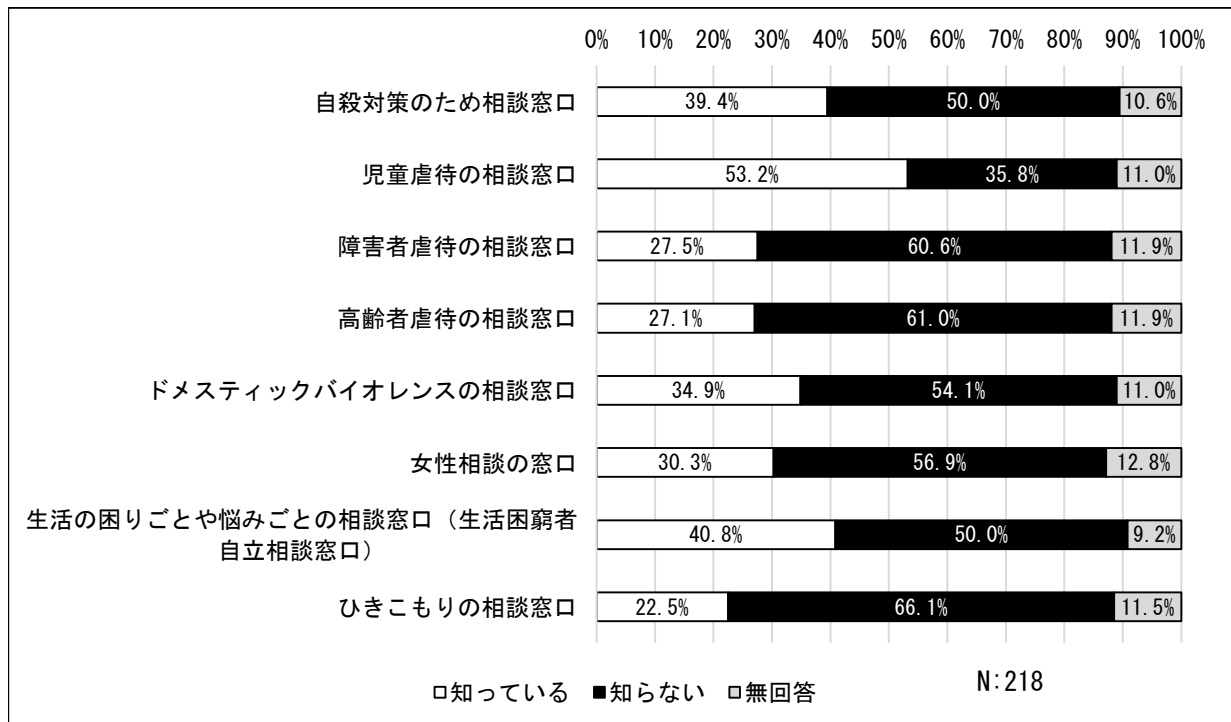
【地域別】

(青森地域)



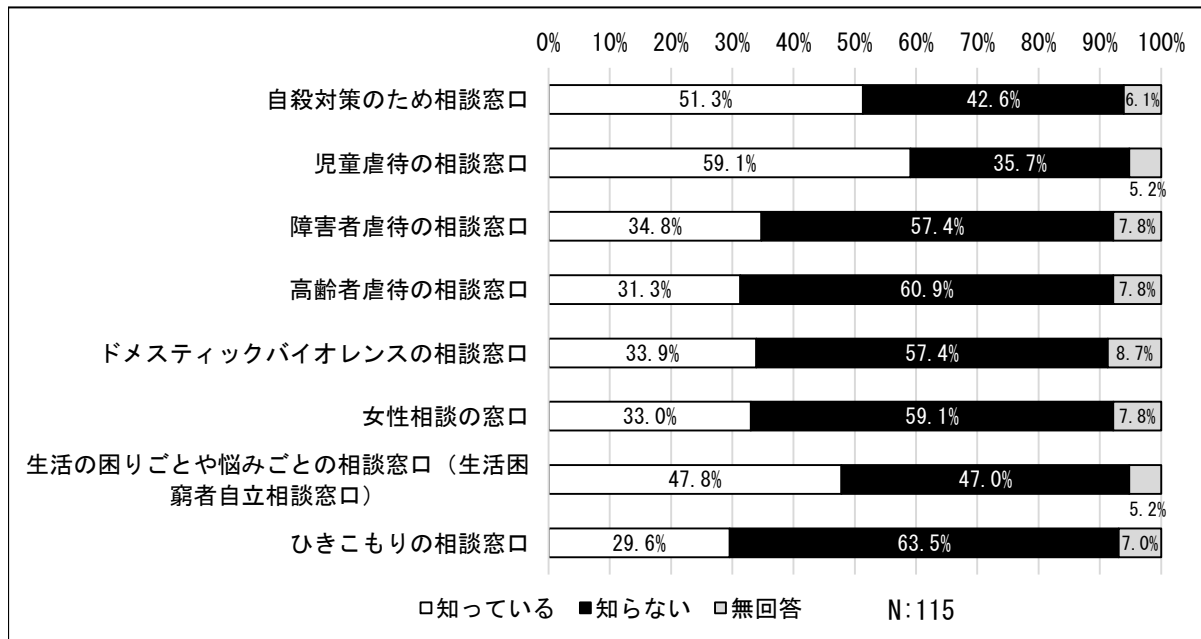
「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(津軽地域)



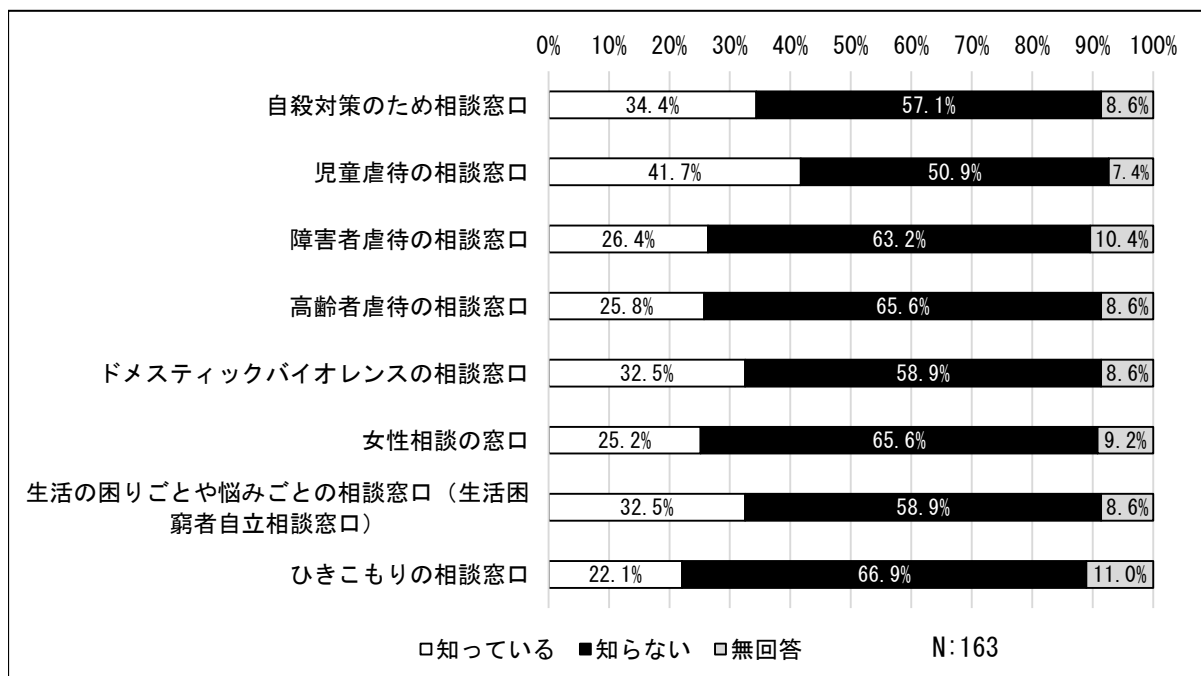
「児童虐待の相談窓口」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(西北五地域)



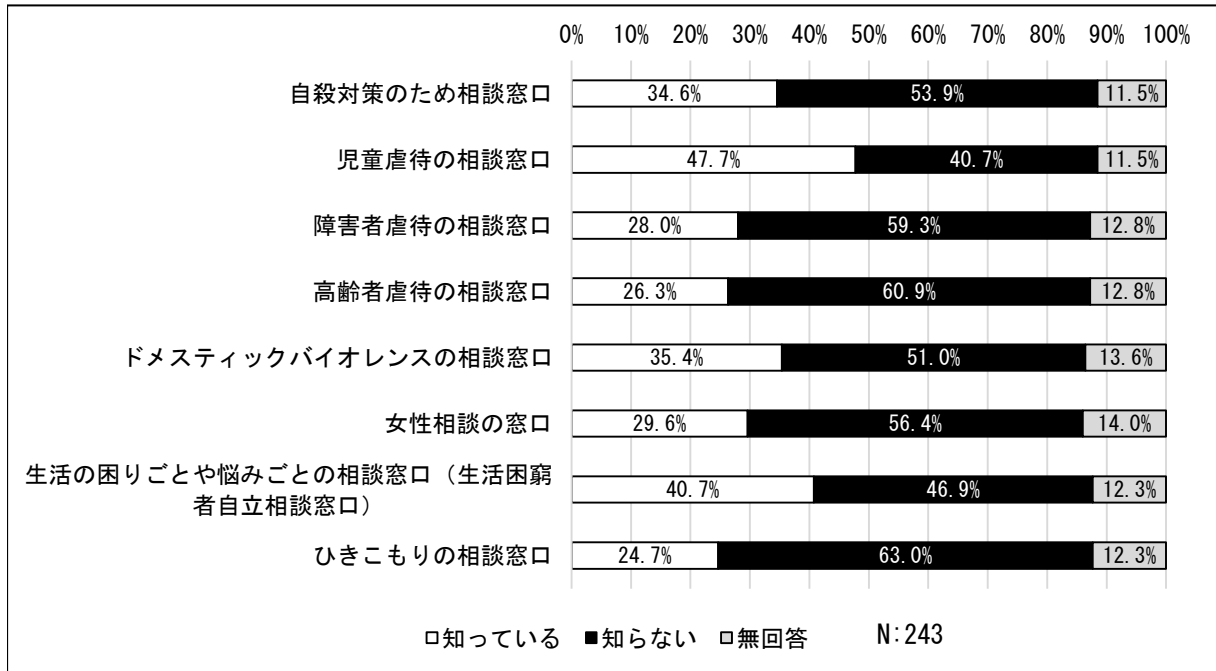
「自殺対策のための相談窓口」、「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口 (生活困窮者自立相談窓口)」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(上十三地域)



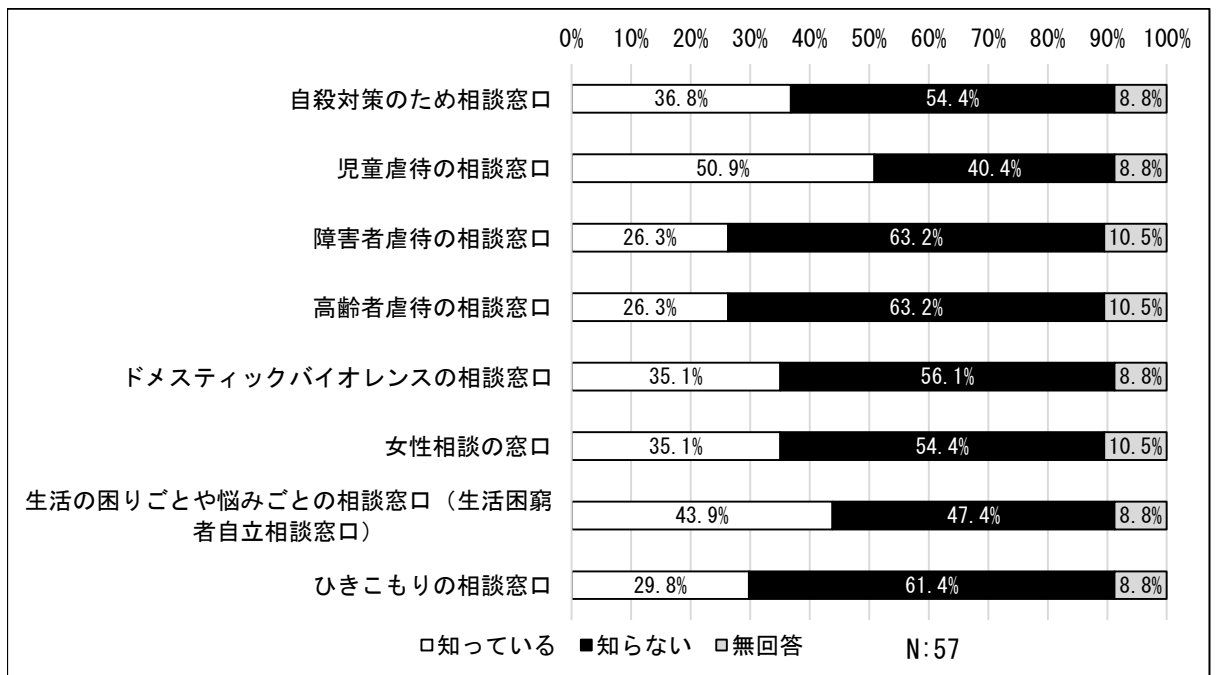
全ての項目で、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(八戸地域)



「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

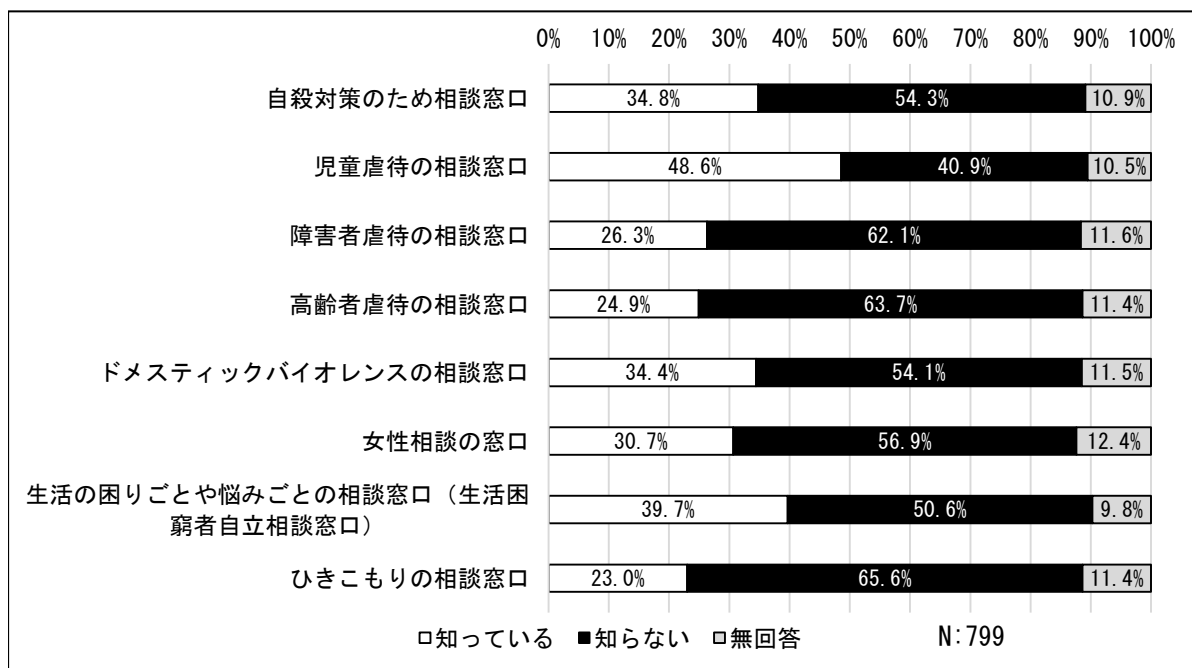
(下北地域)



「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

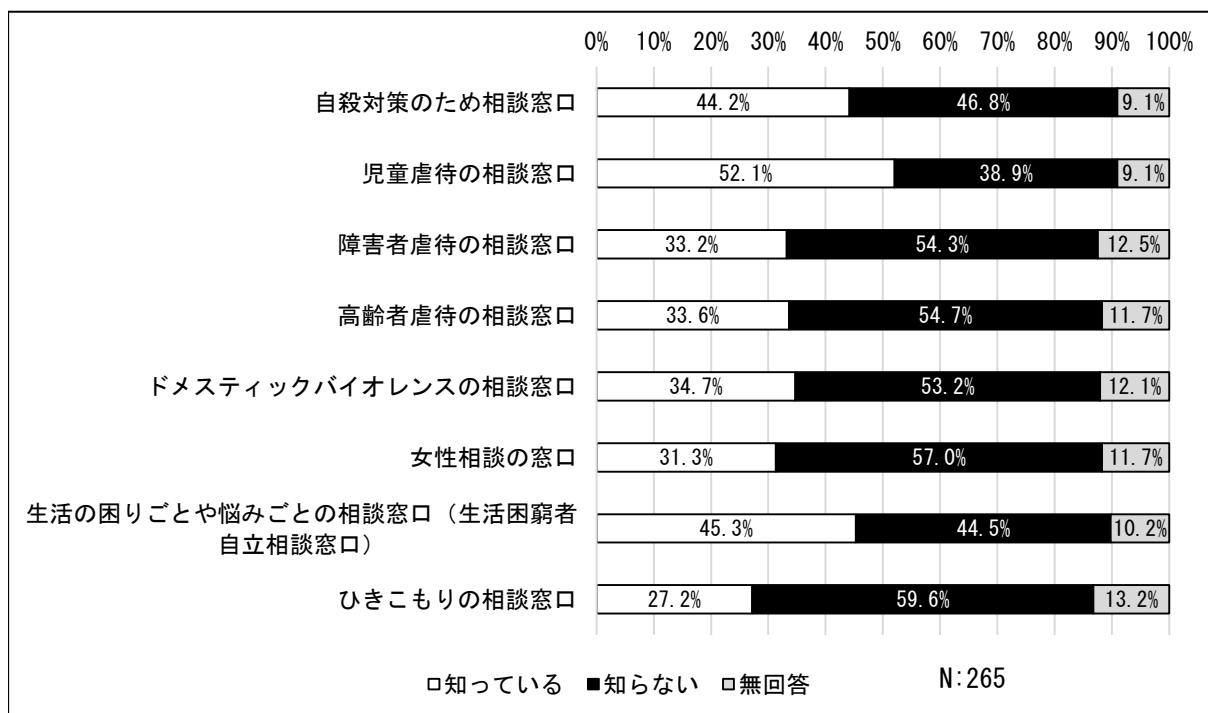
【市部・郡部別】

(市部)



「児童虐待の相談窓口」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

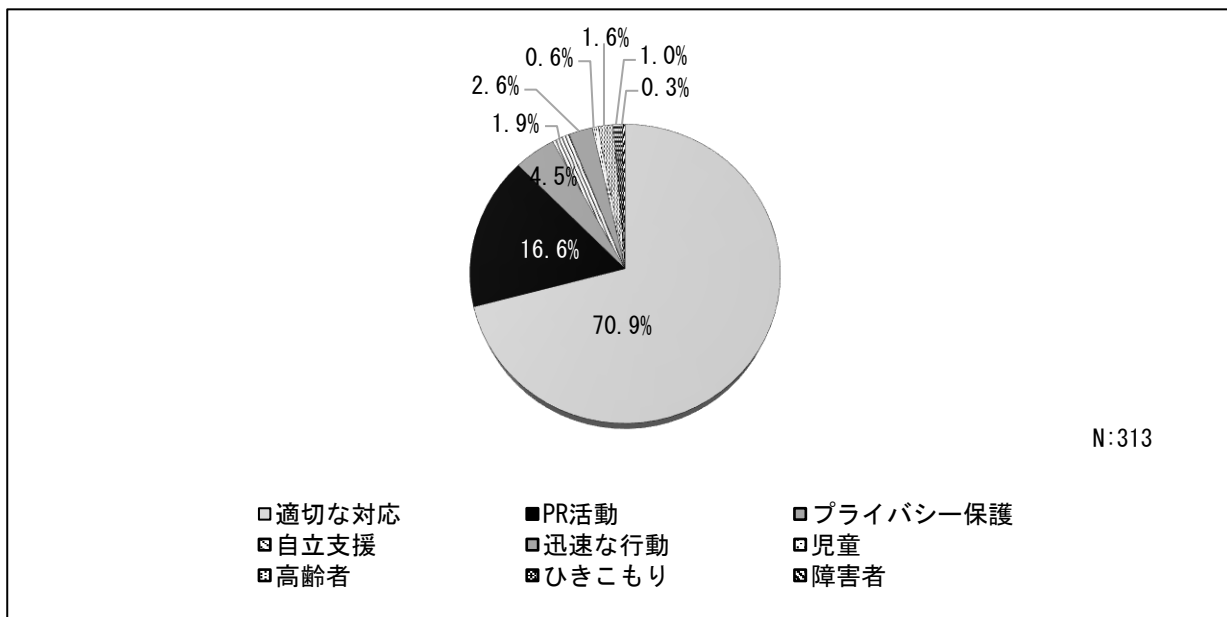
(郡部)



「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は「知っている」が「知らない」を上回っている。その他は「知らない」が「知っている」を上回っている。

問 16. あなたが、様々な相談窓口に期待することは何ですか。

・様々な相談窓口への期待

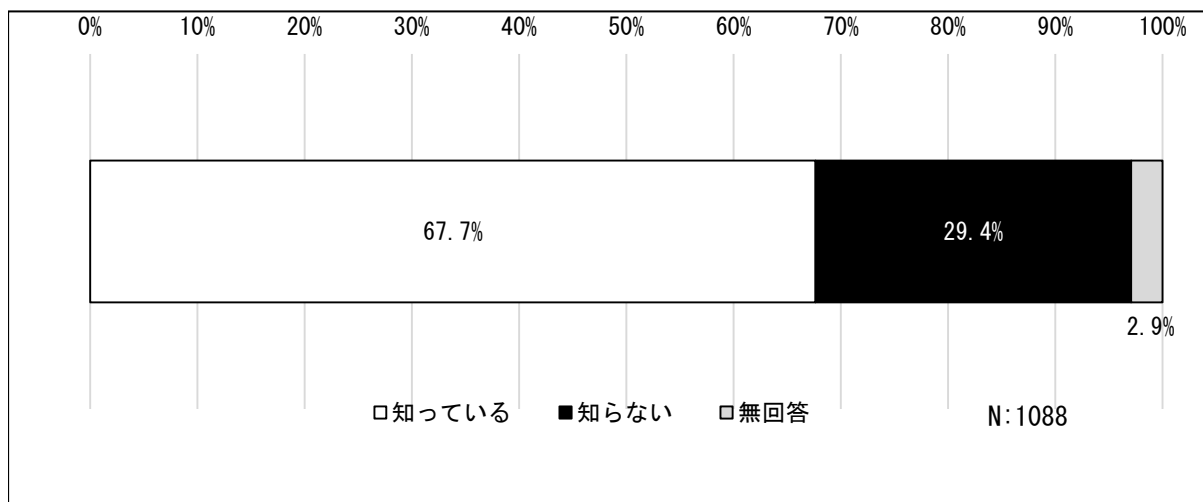


313人から回答があり、「適切な対応」が最も多く、次いで「PR活動」、「プライバシー保護」の順となっている。

主な回答内容は、245ページに掲載している。

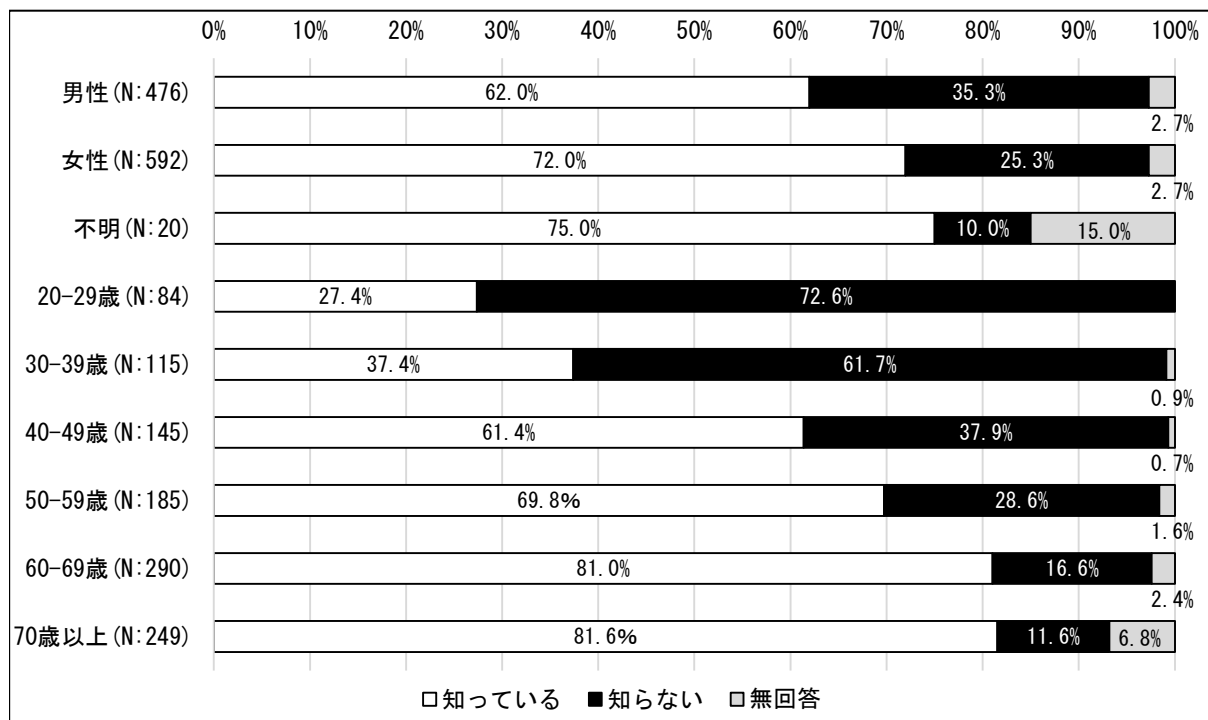
問 17. お住まいの地域に民生委員・児童委員がいることを知っていますか。（1つ）

・ 民生委員・児童委員の認知度



「知っている」が68%、「知らない」が29%となっている。

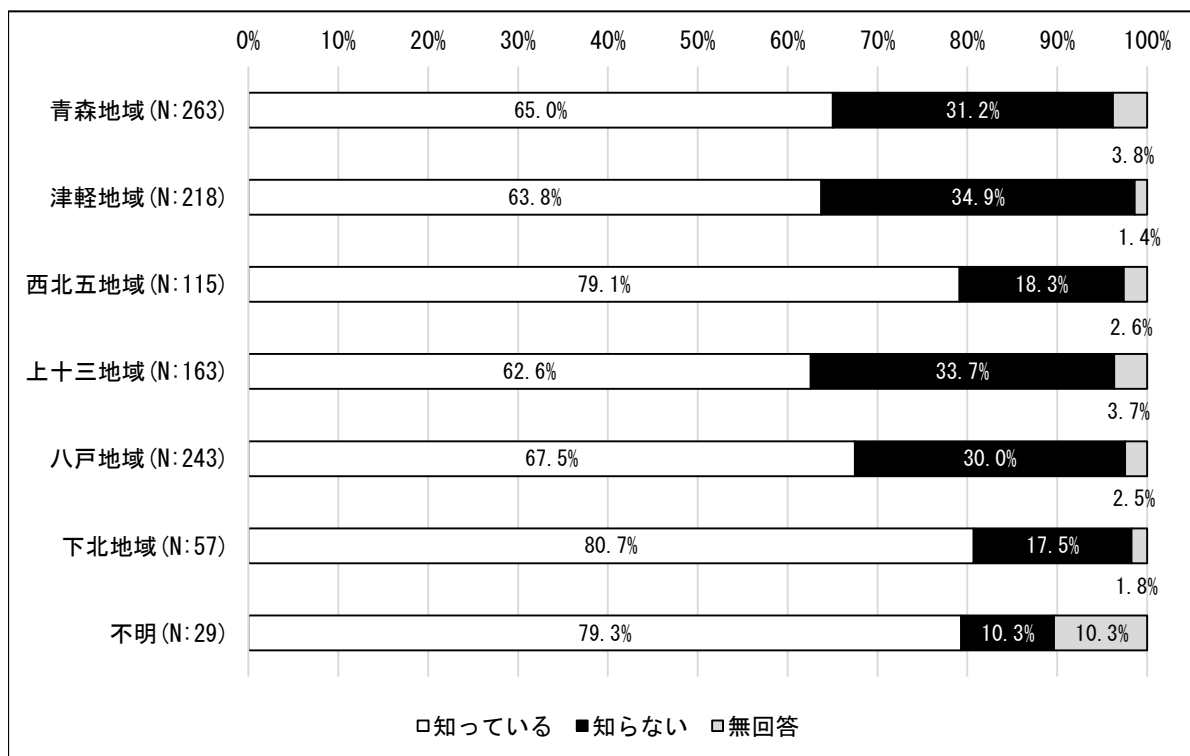
【男女別・年代別】



男女とも、「知っている」が「知らない」を上回っており、特に「知っている」は女性が男性より大きくなっている。

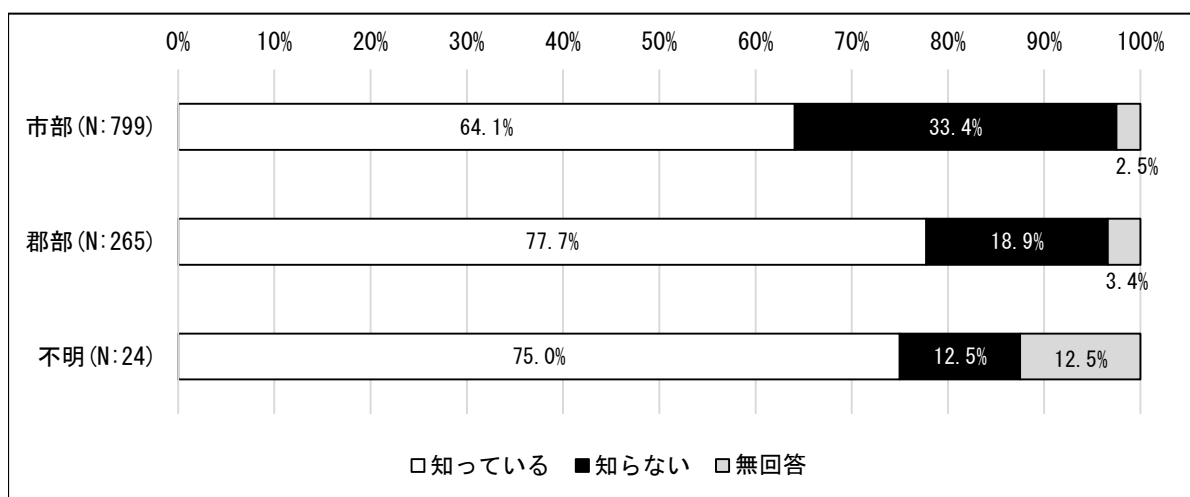
年代別に見ると、30歳代以下では「知らない」が「知っている」を上回り、「知らない」の割合は、年代が下がるにつれて大きくなっている。40歳代以上では「知っている」が「知らない」を上回り、「知っている」の割合は、年代が上がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「知っている」が「知らない」を上回っている。「知っている」は、下北地域が最も大きく、次いで西北五地域、八戸地域の順となっている。一方「知らない」は、津軽地域が最も大きく、次いで上十三地域、青森地域の順となっている。

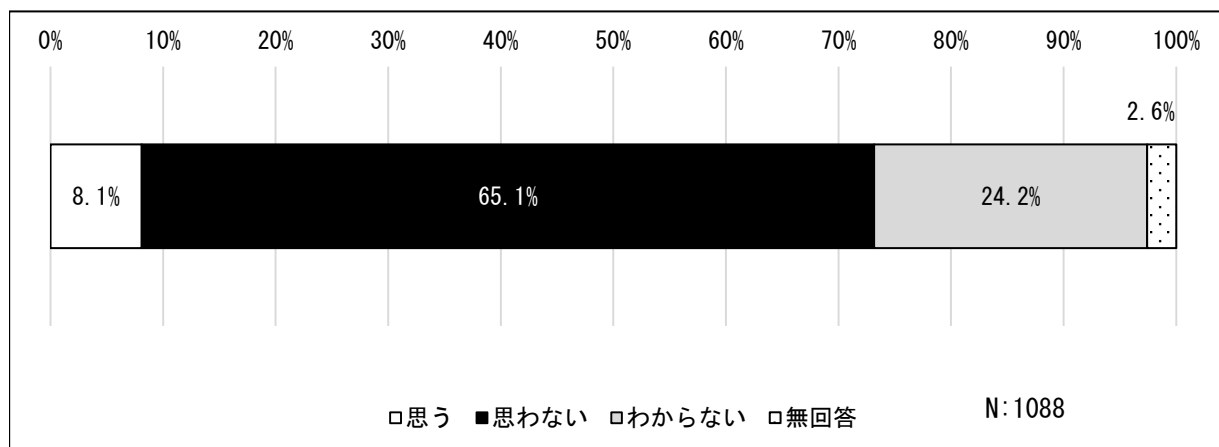
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「知っている」が「知らない」を上回っている。「知っている」は、郡部が市部より大きくなっている。一方、「知らない」は、市部が郡部より大きくなっている。

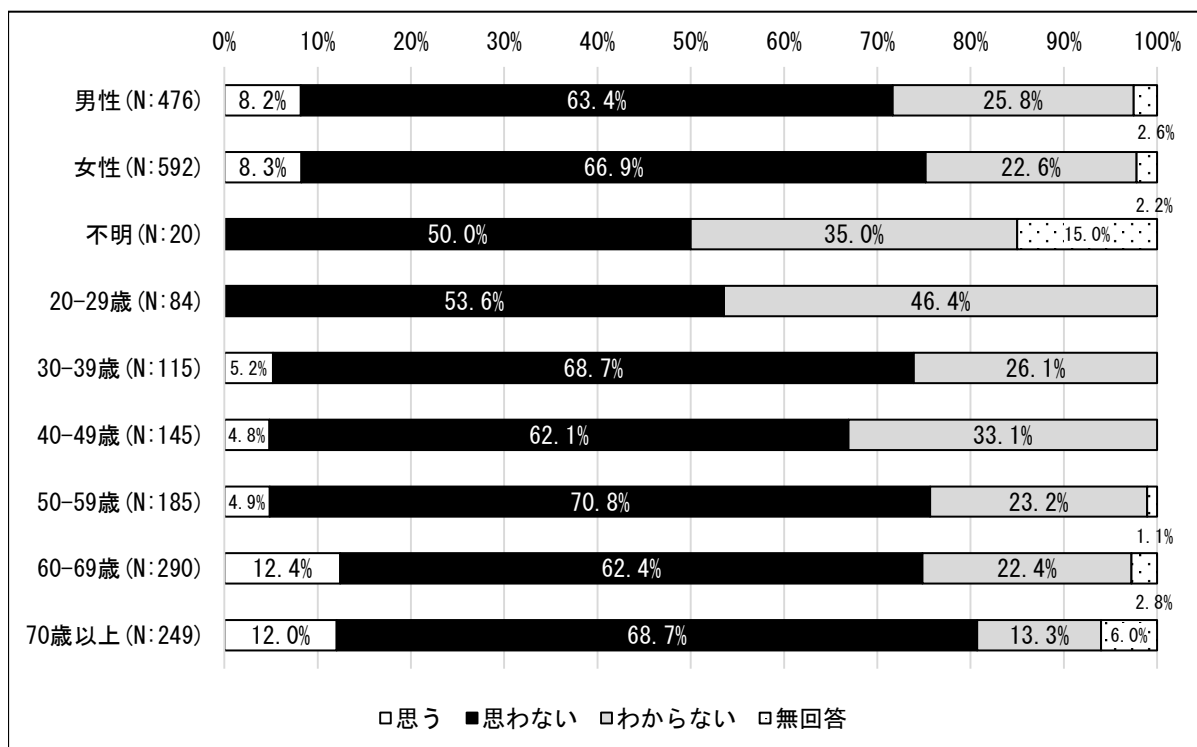
問 18. 民生委員・児童委員をやってみたいと思いますか。(1つ)

・ 民生委員・児童委員をやってみたいか



「思う」が8%、「思わない」が65%、「わからない」が24%となっている。

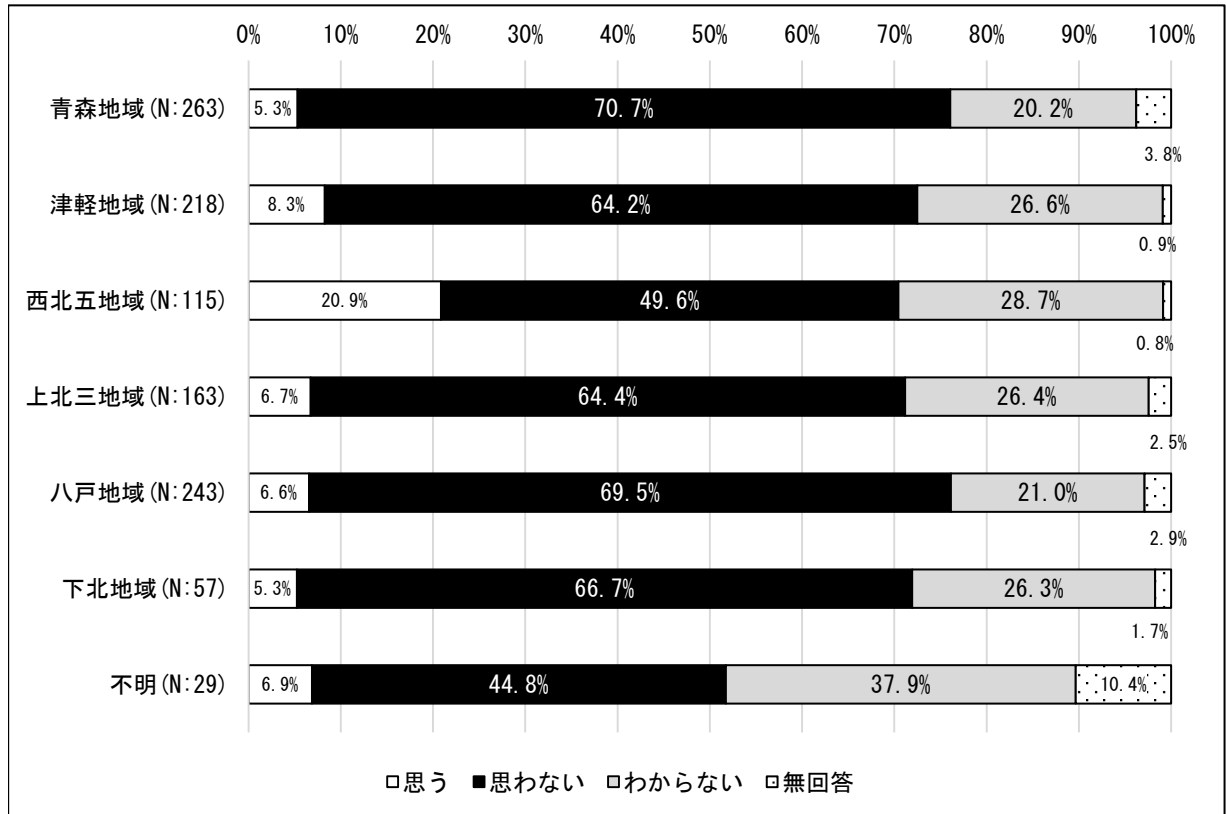
【男女別・年代別】



男女ともに「思わない」が「思う」を大きく上回っている。

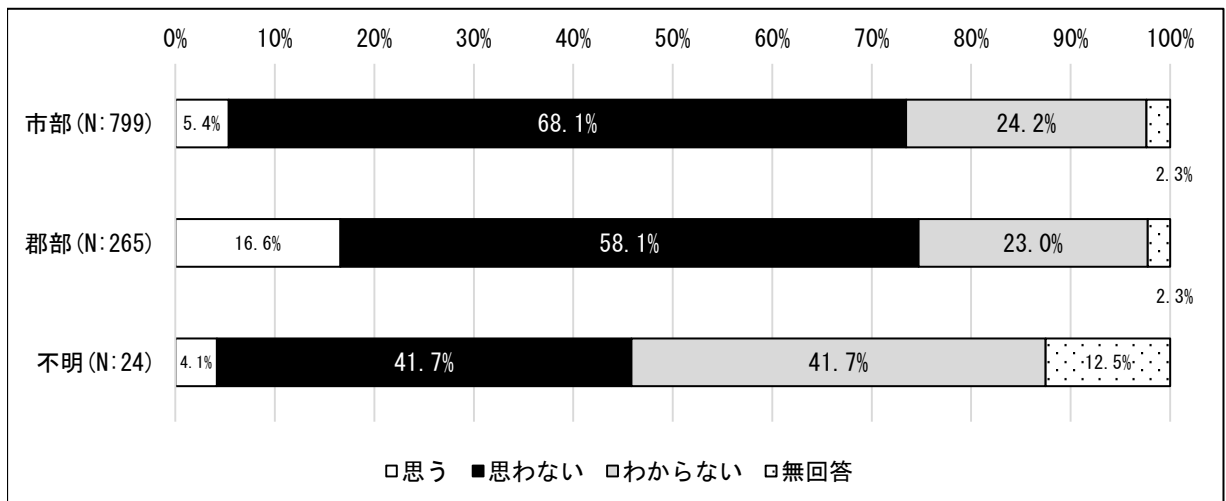
年代別に見ると、全ての年代で「思わない」が「思う」を大きく上回っている中で、「思う」は、60歳以上が他の年代より大きくなっている。また、20歳代では「わからない」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「思わない」が「思う」を大きく上回っている中で、西北五地域では「思う」が他の地域より大きくなっている。

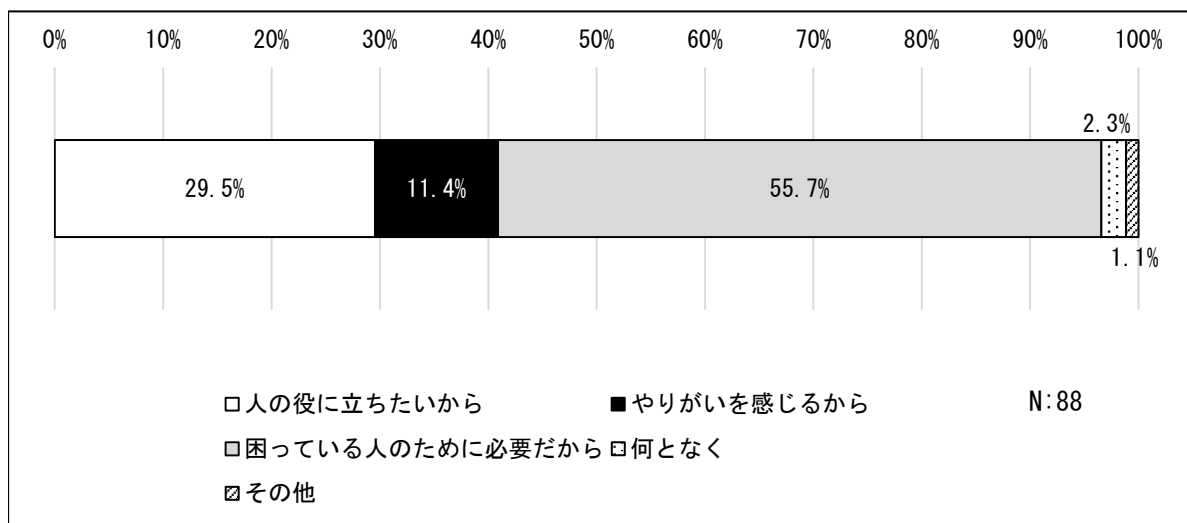
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「思わない」が「思う」を大きく上回っている。郡部では、「思う」が市部より大きくなっている。

問 18-1. 問 18 で「① 思う」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。（1つ）

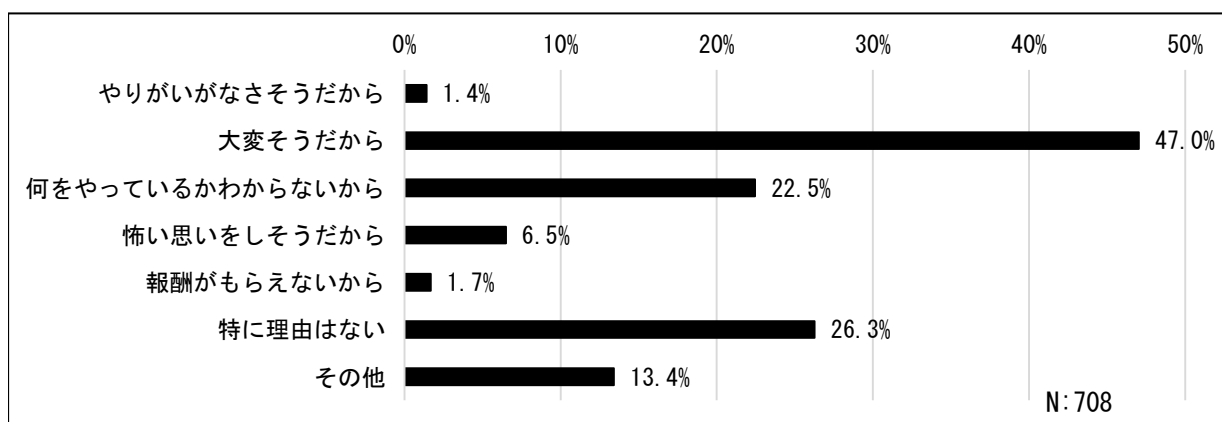
・ 民生委員・児童委員をやってみたいと思う理由



「困っている人のために必要だから」が56%、「人の役に立ちたいから」が30%、「やりがいを感じるから」が11%となっている。

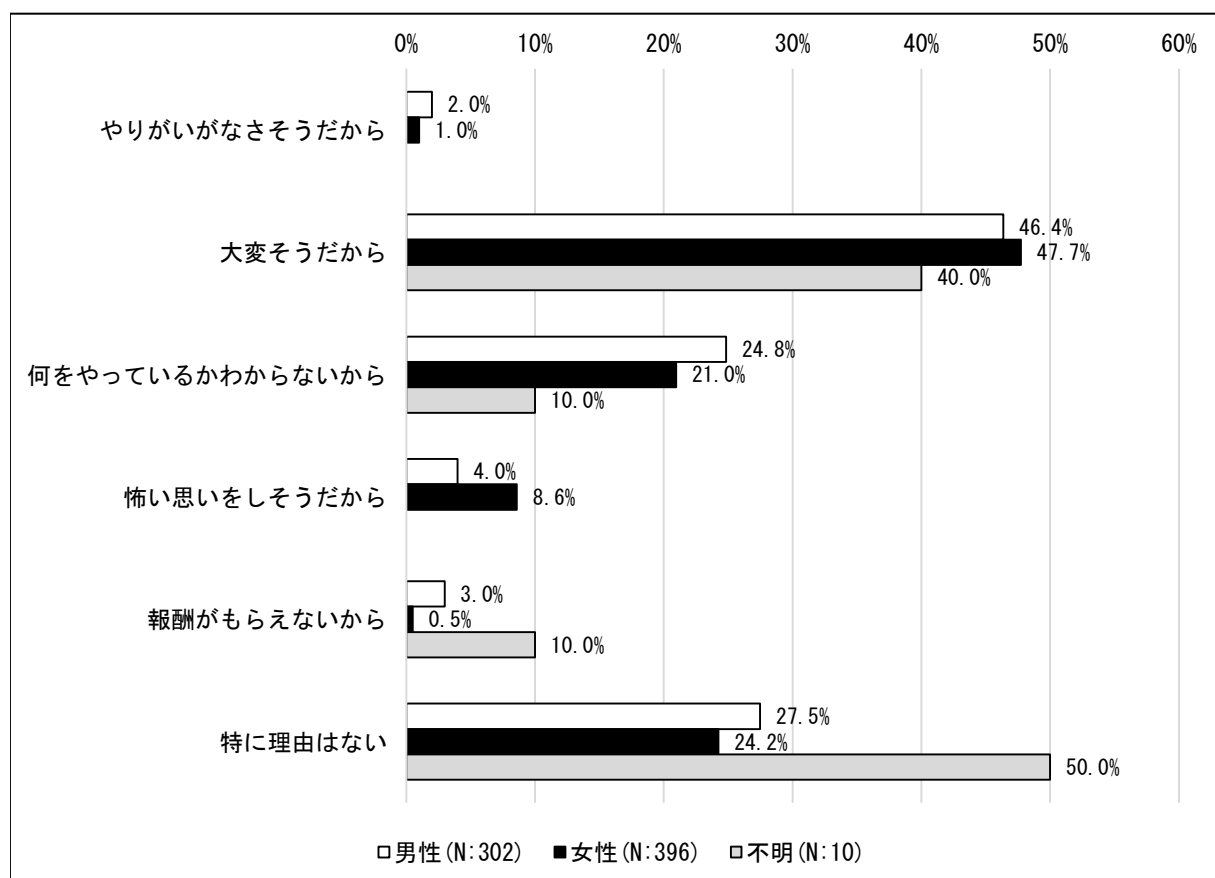
問 18-2. 問 18 で「② 思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。（2 つま
で）

・ 民生委員・児童委員をやらない理由



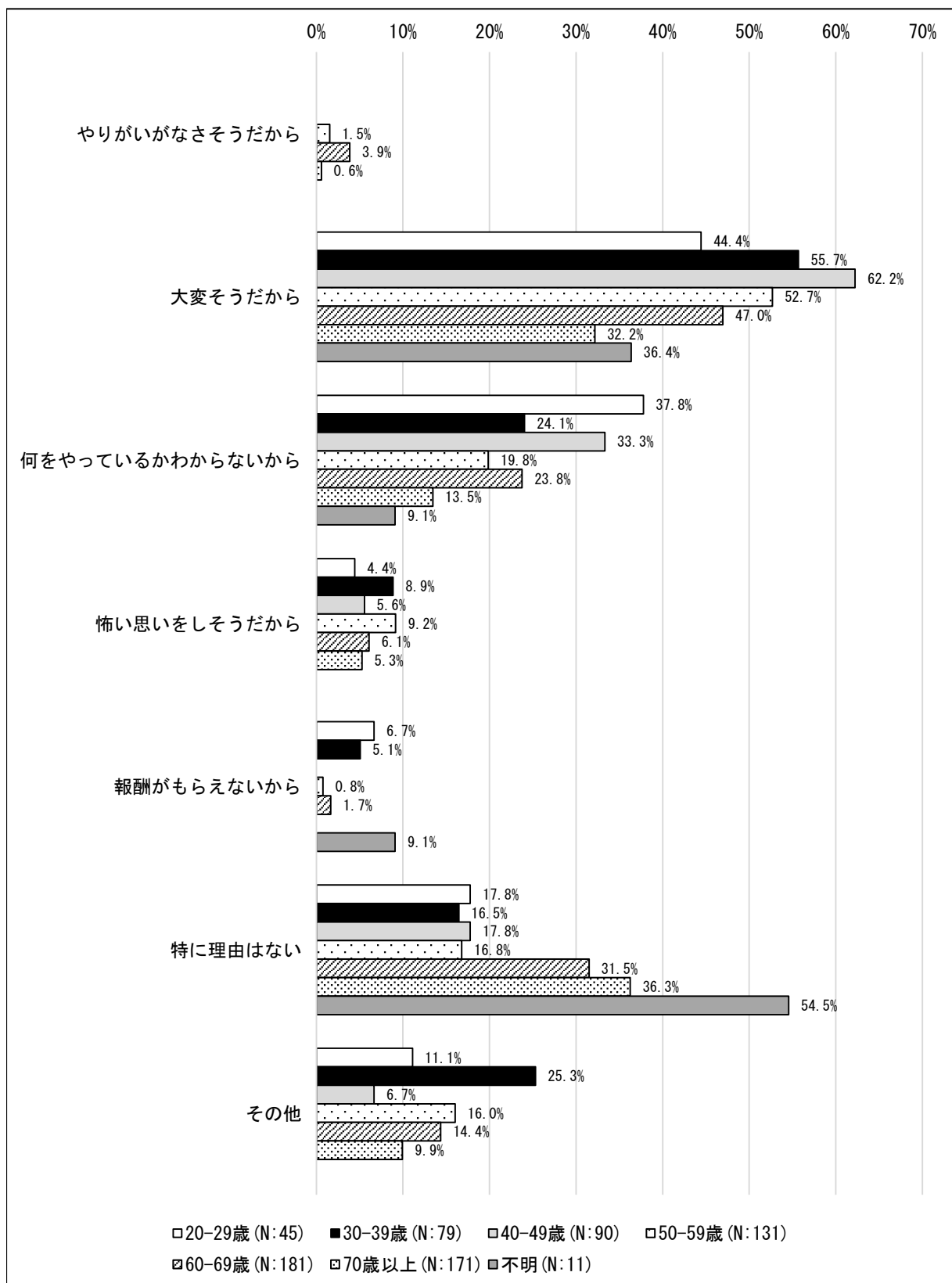
「大変そうだから」が47%、「特に理由はない」が26%、「何をやっているかわからないから」が23%となっている。

【男女別】



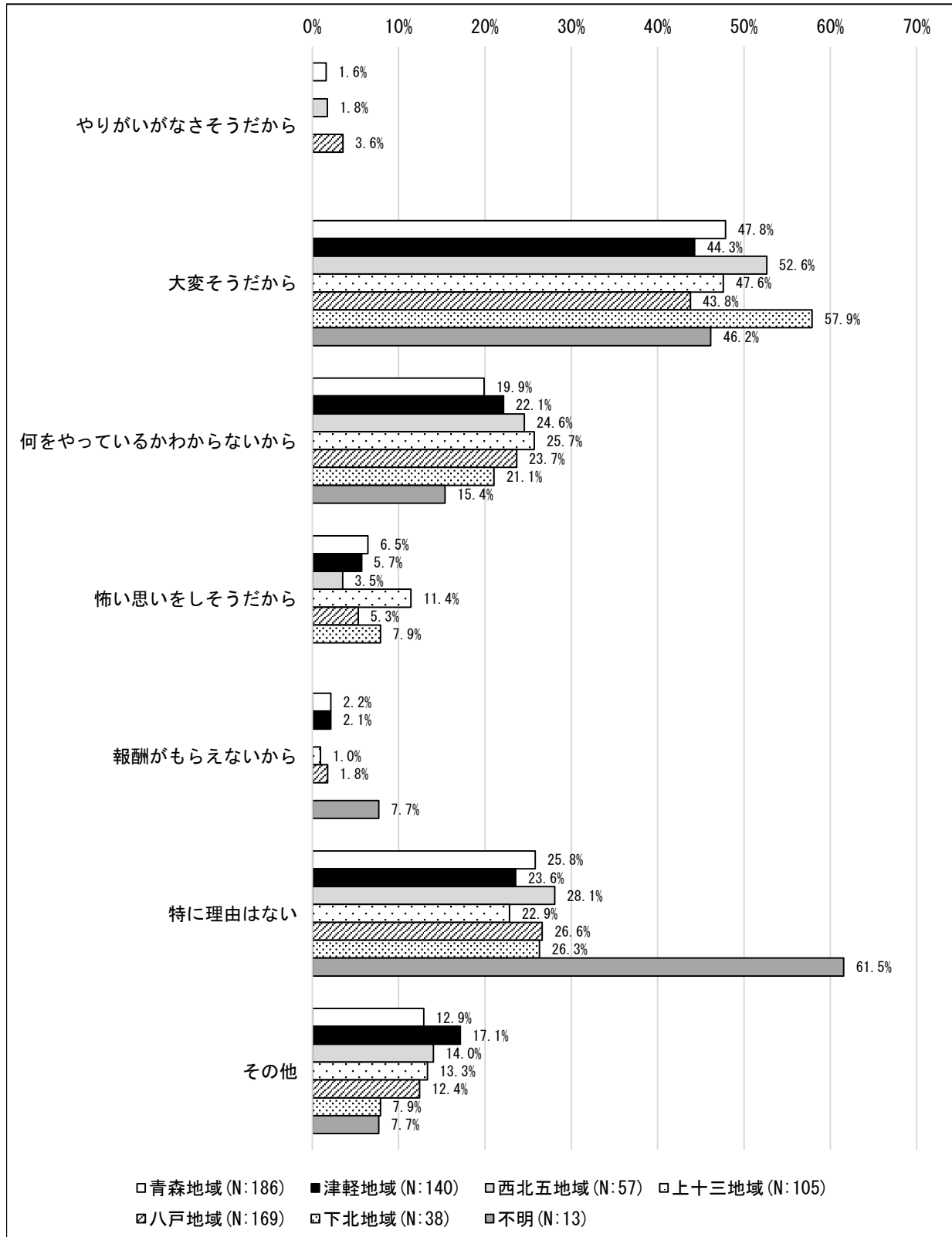
男女ともに、「大変そうだから」が最も大きく、次いで「特に理由はない」、「何をやっているかわからないから」の順となっている。

【年代別】



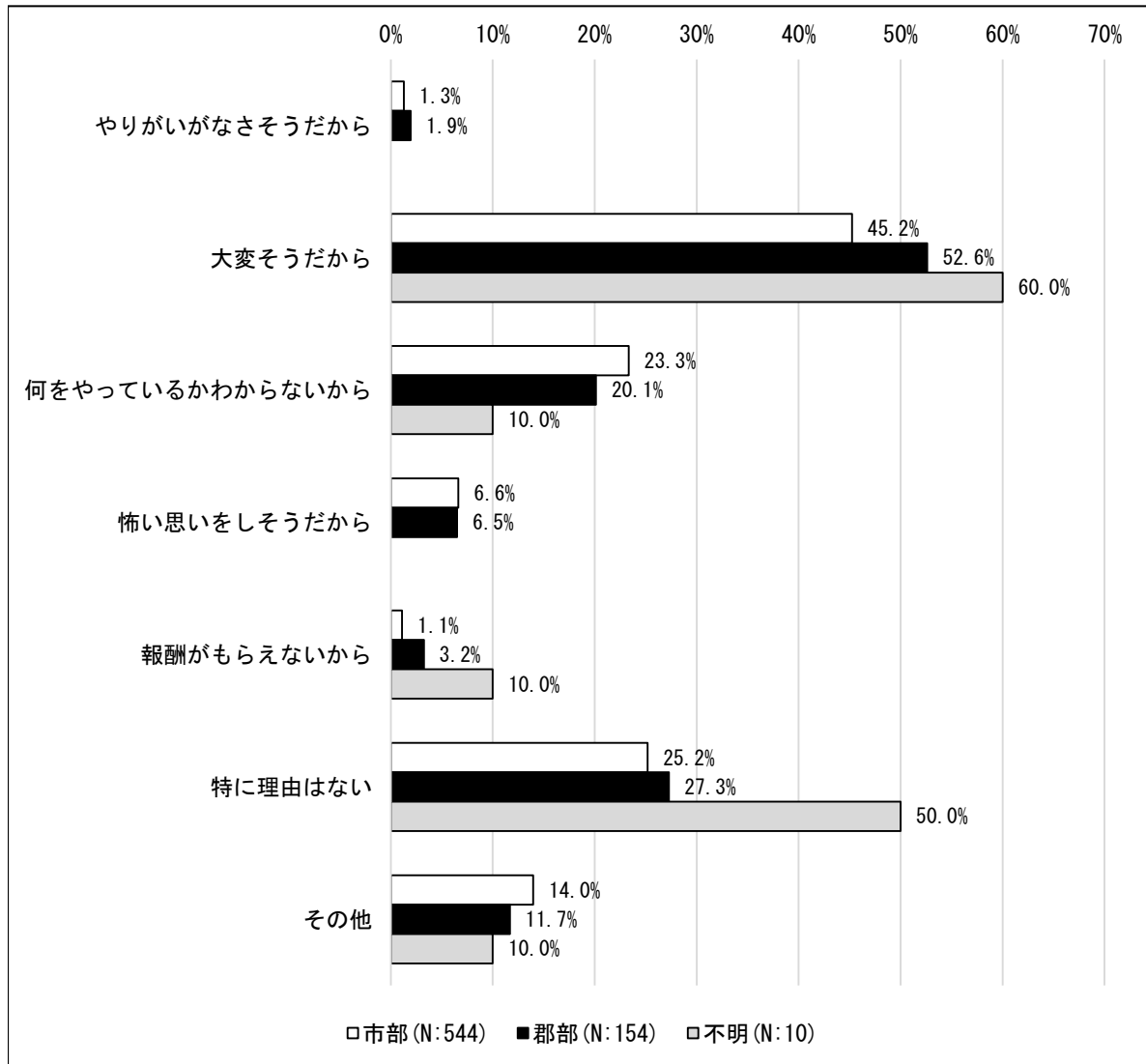
60歳代以下では「大変そうだから」が最も大きく、次いで50歳代以下では「何をやっているかわからないから」、60歳代は「特に理由はない」の順となっている。70歳以上では、「特に理由はない」が最も大きく、次いで「大変そうだから」となっている。

【地域別】



全ての地域で「大変そうだから」が最も大きく、次いで上十三地域では「何をやっているかわからないから」、他の地域では「特に理由はない」となっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「大変そうだから」が最も大きく、次いで「特に理由はない」、「何をやっているかわからないから」の順になっている。

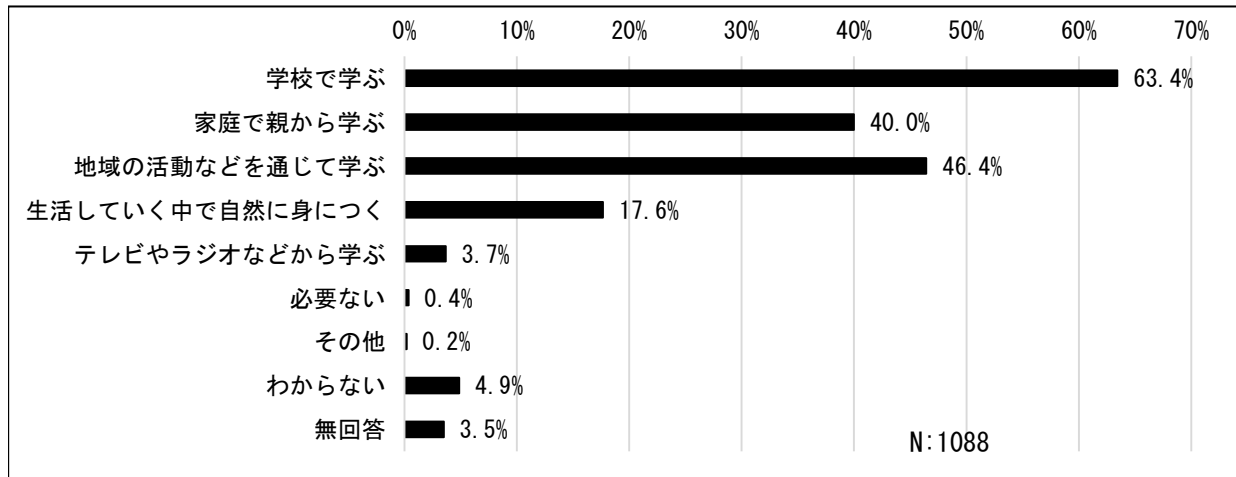
【自由回答より】

- ・今の生活に時間的な余裕がないため
- ・仕事をしながらだと活動を十分にできないと思う
- ・自分には荷が重すぎる

< 5 > 福祉教育に関するあなたのお考えについて

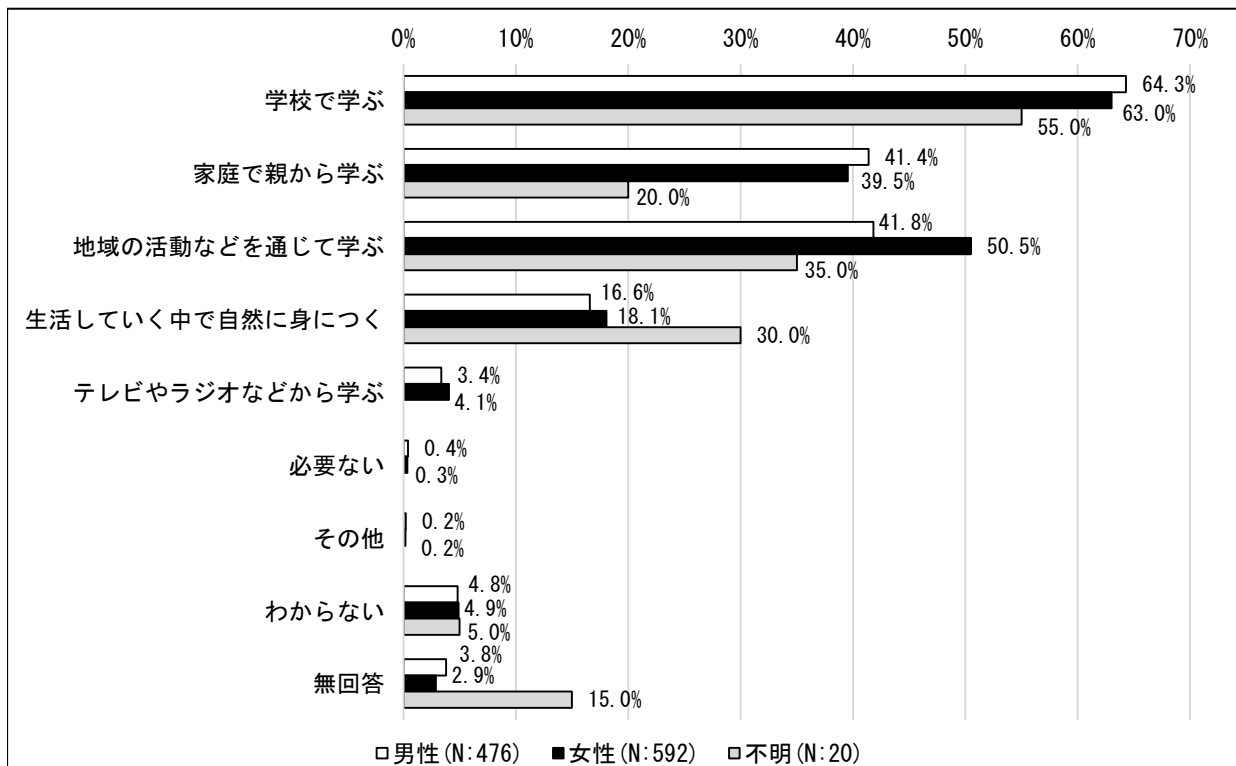
問 19. 子どもたちに対する福祉教育（福祉への理解と参加の心を育てる教育）についてどのように行うべきだと考えますか。（2つまで）

・子どもたちに対する福祉教育



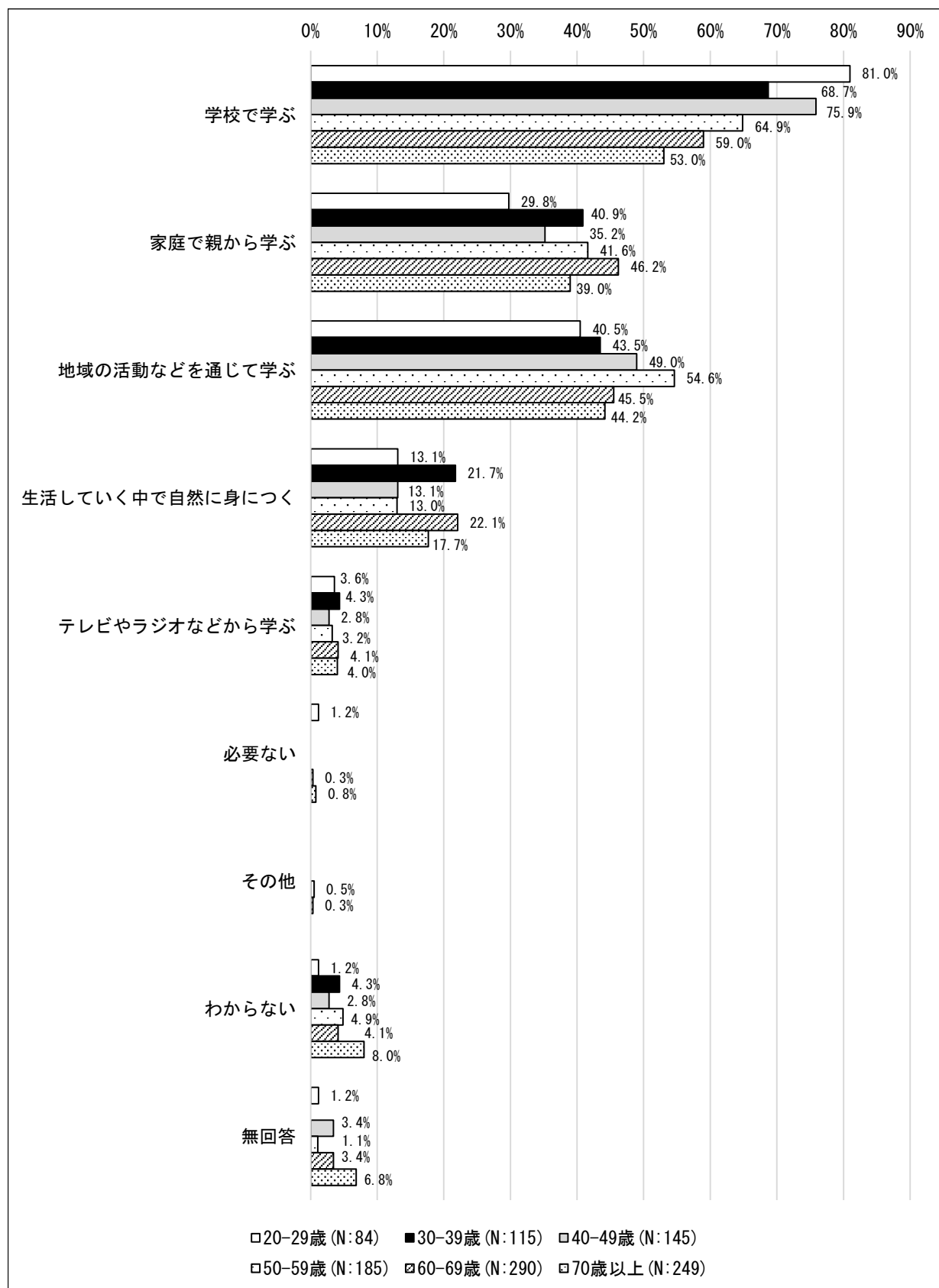
「学校で学ぶ」が63%、「地域の活動などを通じて学ぶ」が46%、「家庭で親から学ぶ」が40%となっている。

【男女別】



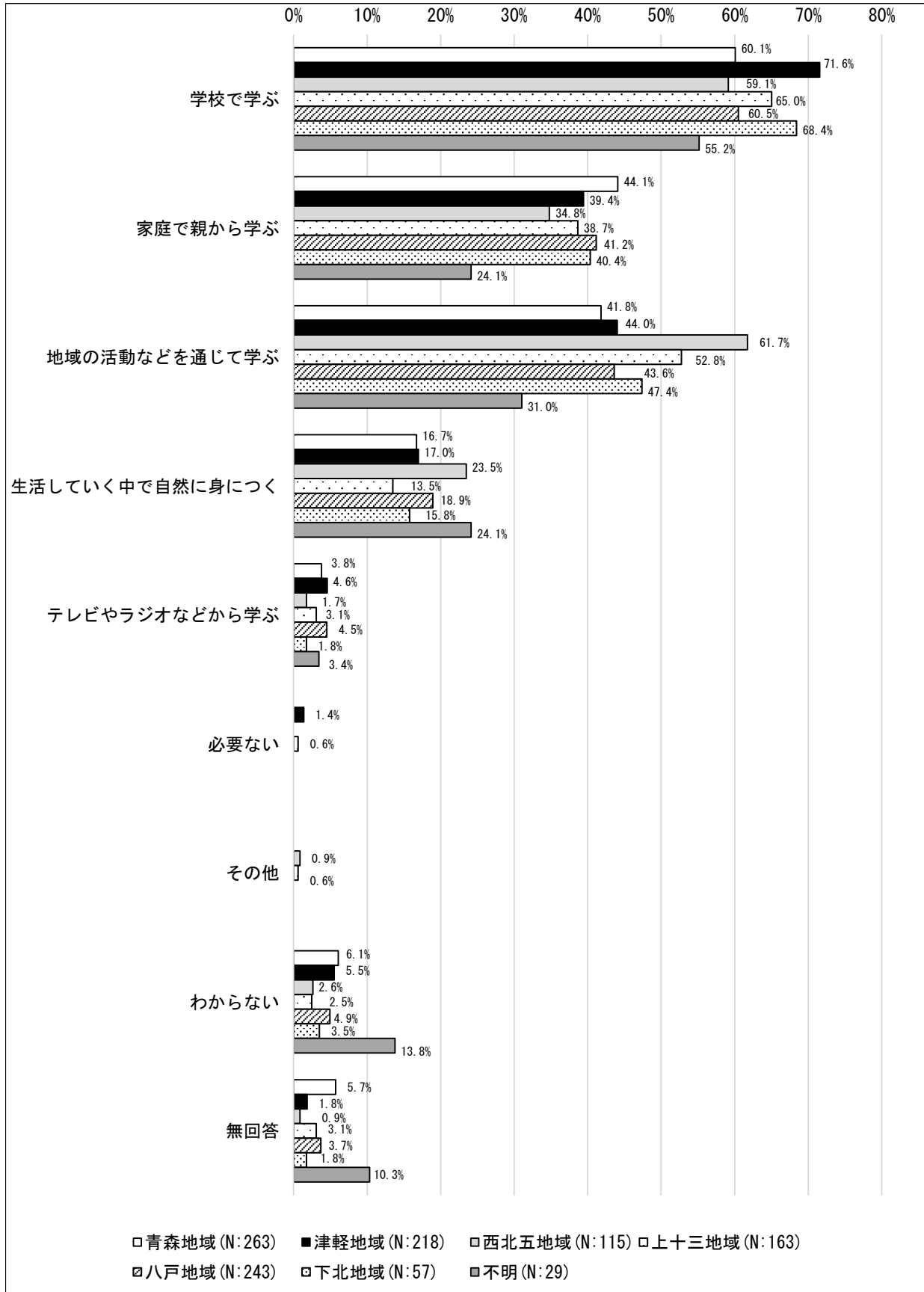
男女ともに「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」、「家庭で親から学ぶ」の順となっている。

【年代別】



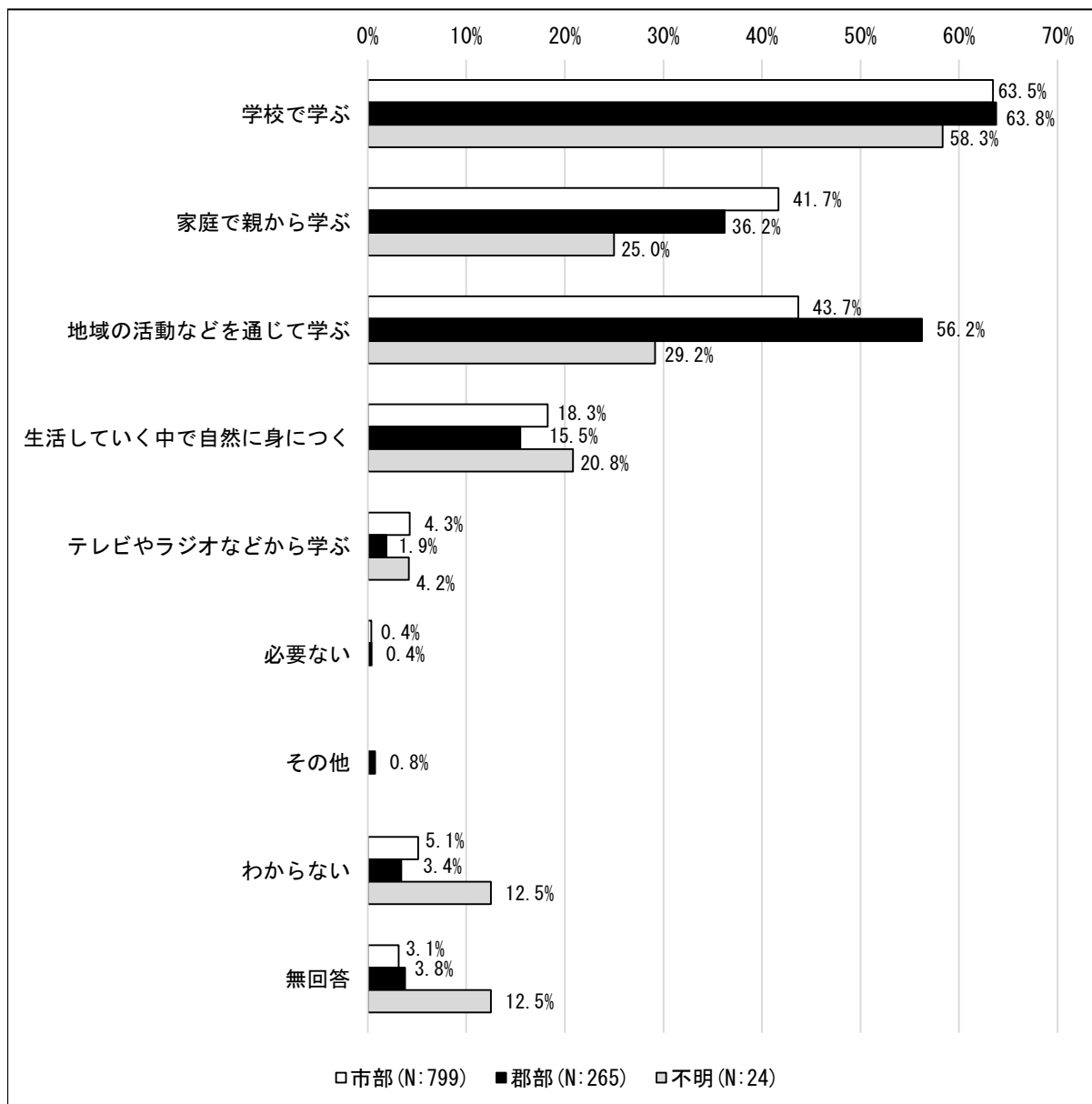
全ての年代で「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで60歳代では「家庭で親から学ぶ」、他の年代では「地域の活動などを通じて学ぶ」となっている。

【地域別】



西北五地域では「地域の活動などを通じて学ぶ」が最も大きくなっている。他の地域では「学校で学ぶ」が最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



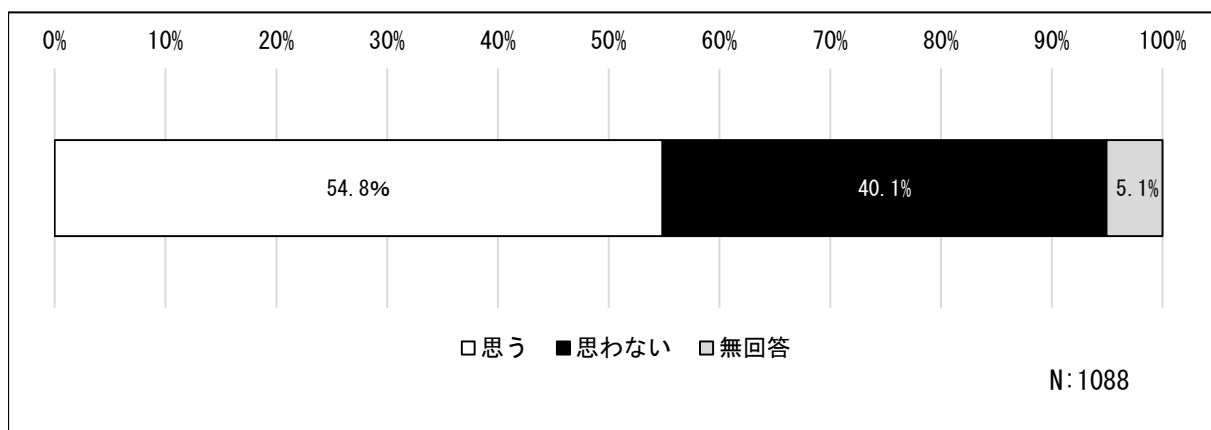
市部・郡部ともに「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」、「家庭で親から学ぶ」の順となっている。

【自由回答より】

- ・地域の経験者に講師をしてもらう
- ・福祉教育を必要としている人々と福祉との接触が必要と思う。自身に近付けて考えられれば何をすべきか自然に考え身につくと思う

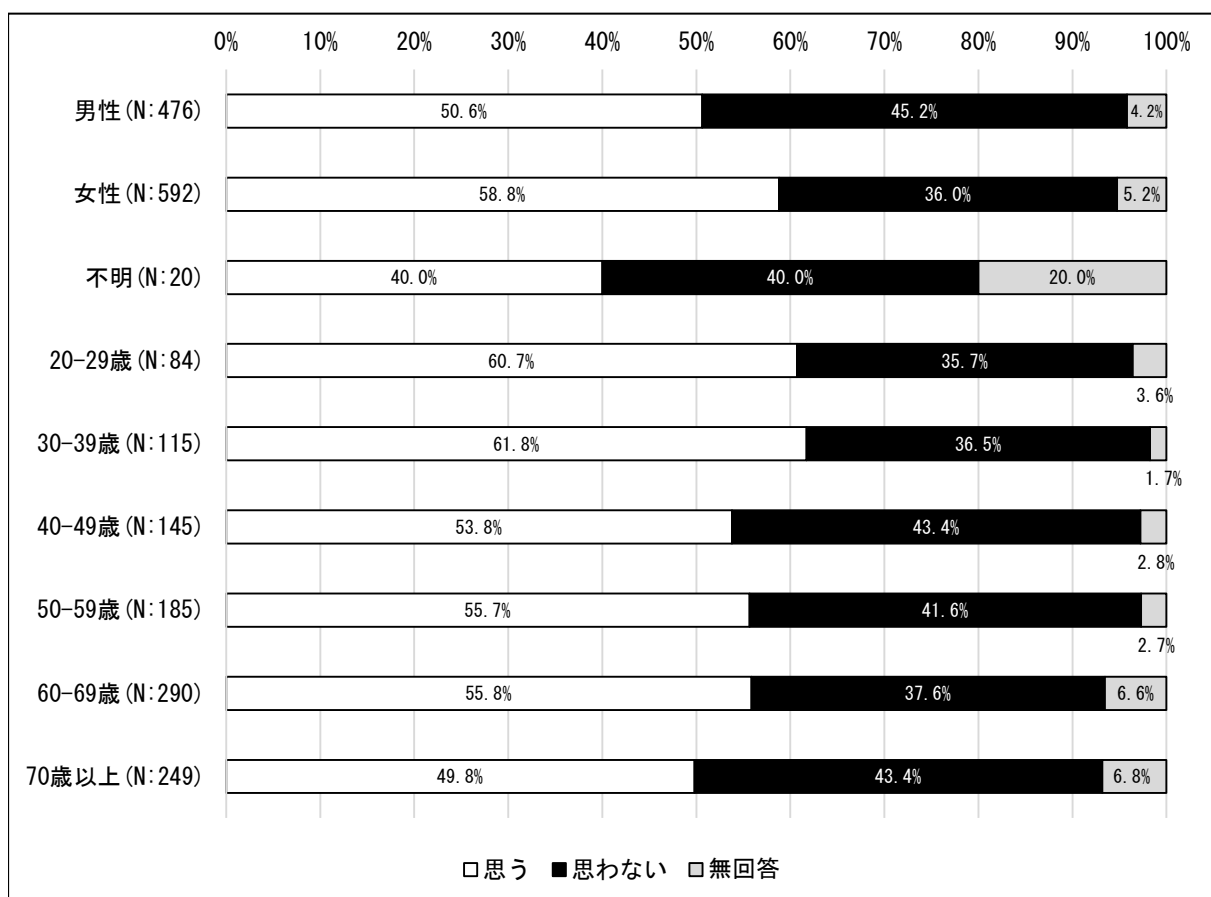
問 20. 高齢者、障害者、子ども等の福祉について学びたいと思いますか。（1つ）

・ 高齢者、障害者、子ども等の福祉



学びたいと「思う」が55%、「思わない」が40%となっている。

【男女別・年代別】

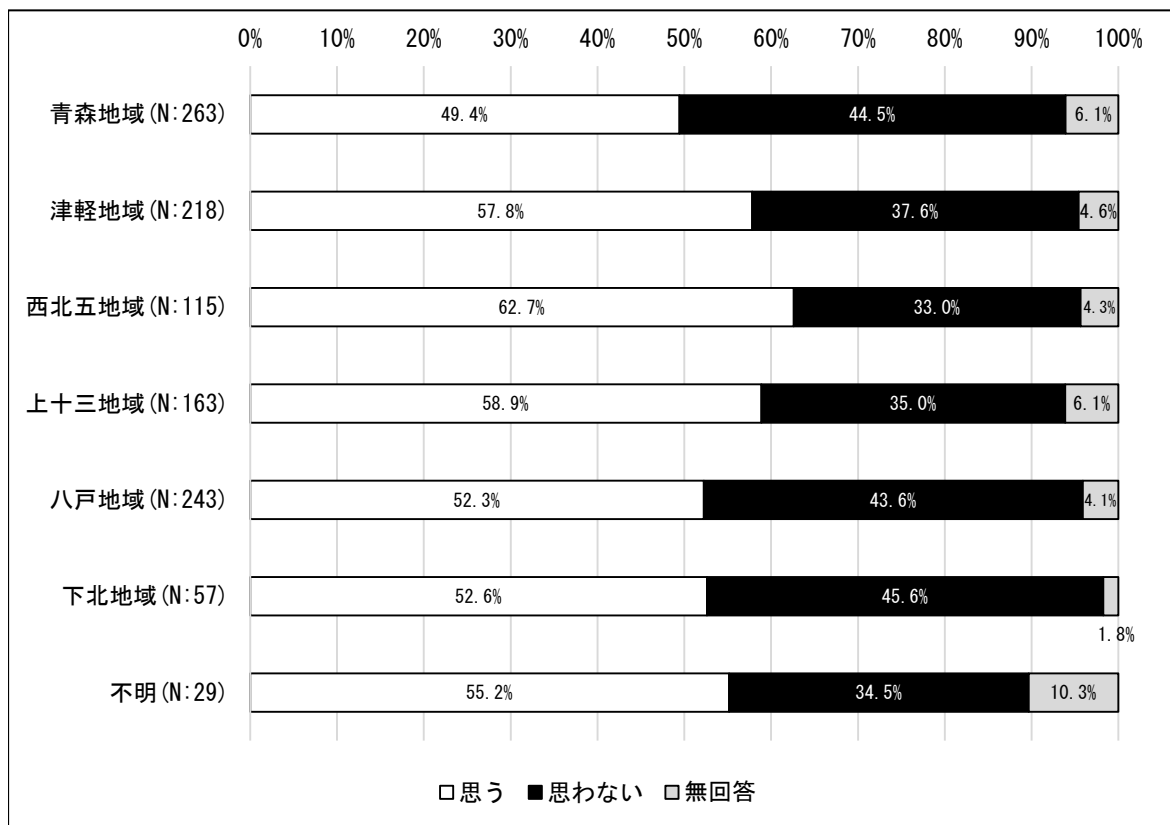


性別・年齢を問わず、「思う」が「思わない」を上回っている。

男女別に見ると、「思う」は女性が男性より大きくなっている。

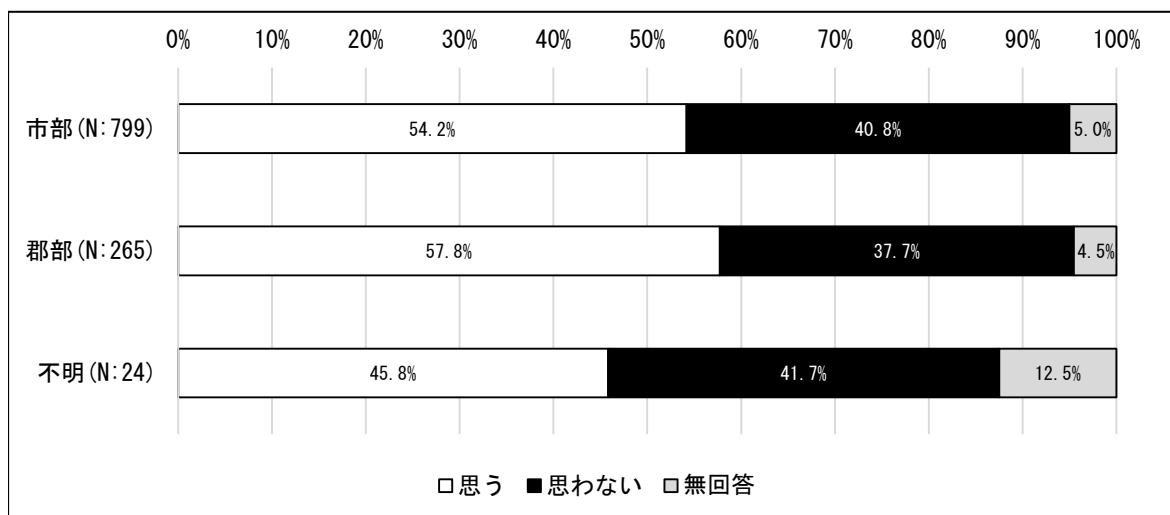
年代別に見ると、「思う」は20歳代、30歳代が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「思う」が「思わない」を上回っており、「思う」は西北五地域が他の地域より大きくなっている。

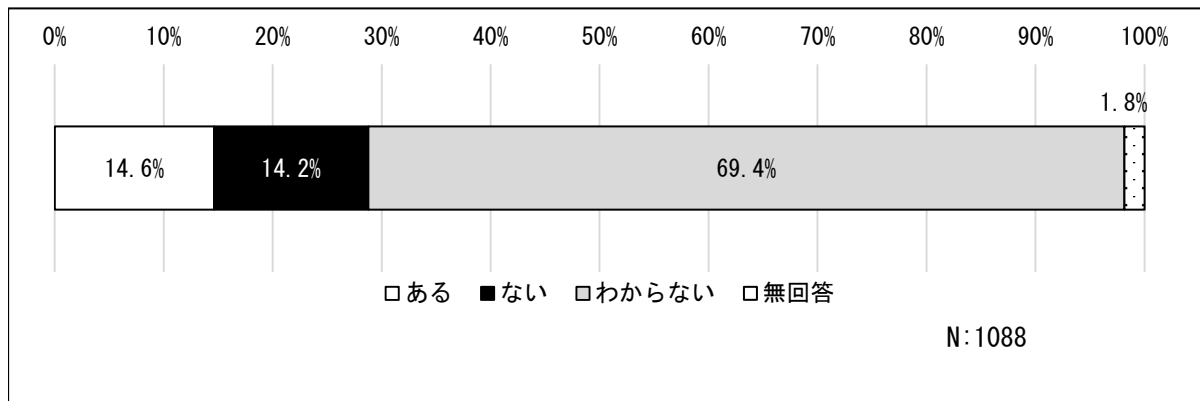
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「思う」が「思わない」を上回っており、「思う」は郡部が市部より大きくなっている。

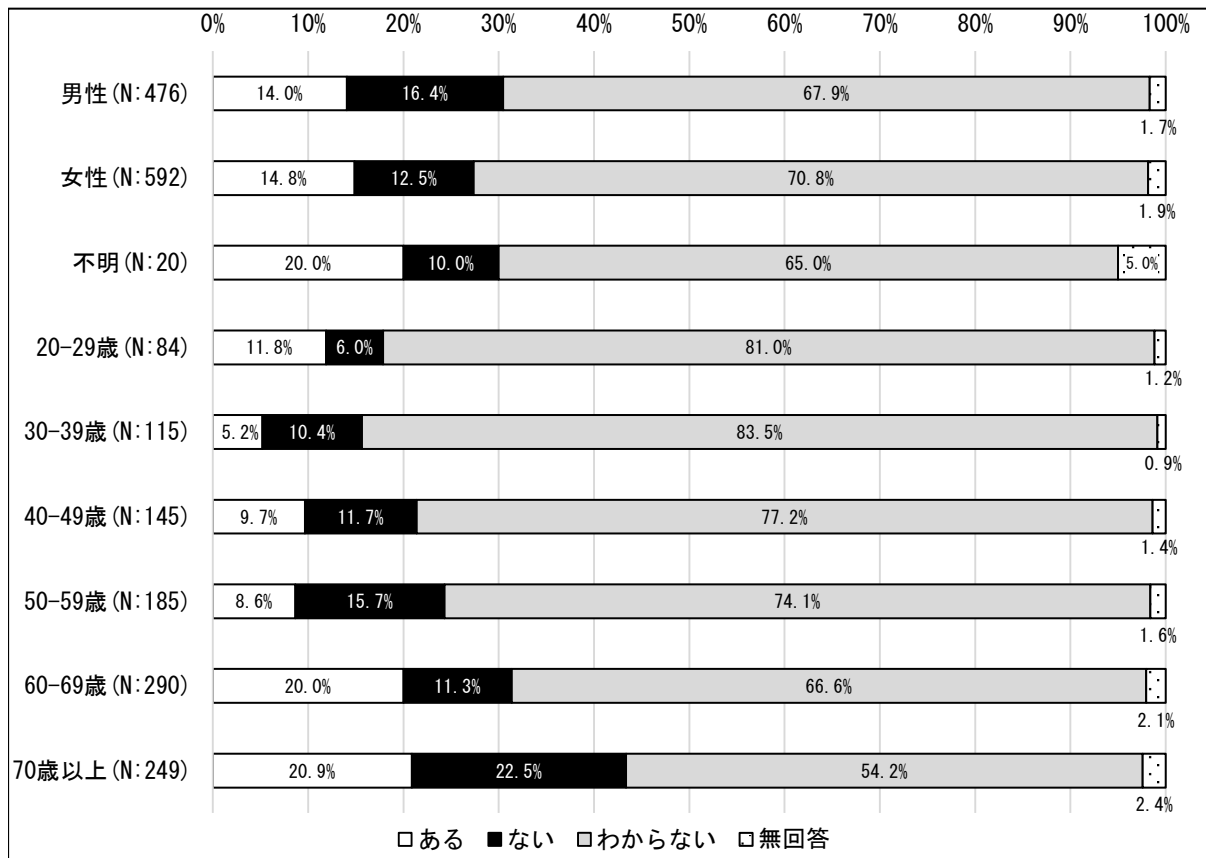
問 21. あなたのお住まいの地域に、福祉について学ぶ場はありますか。（1つ）

・福祉を学ぶ場



学ぶ場が「ある」が15%、「ない」が14%でほぼ同率となっており、「わからない」が69%となっている。

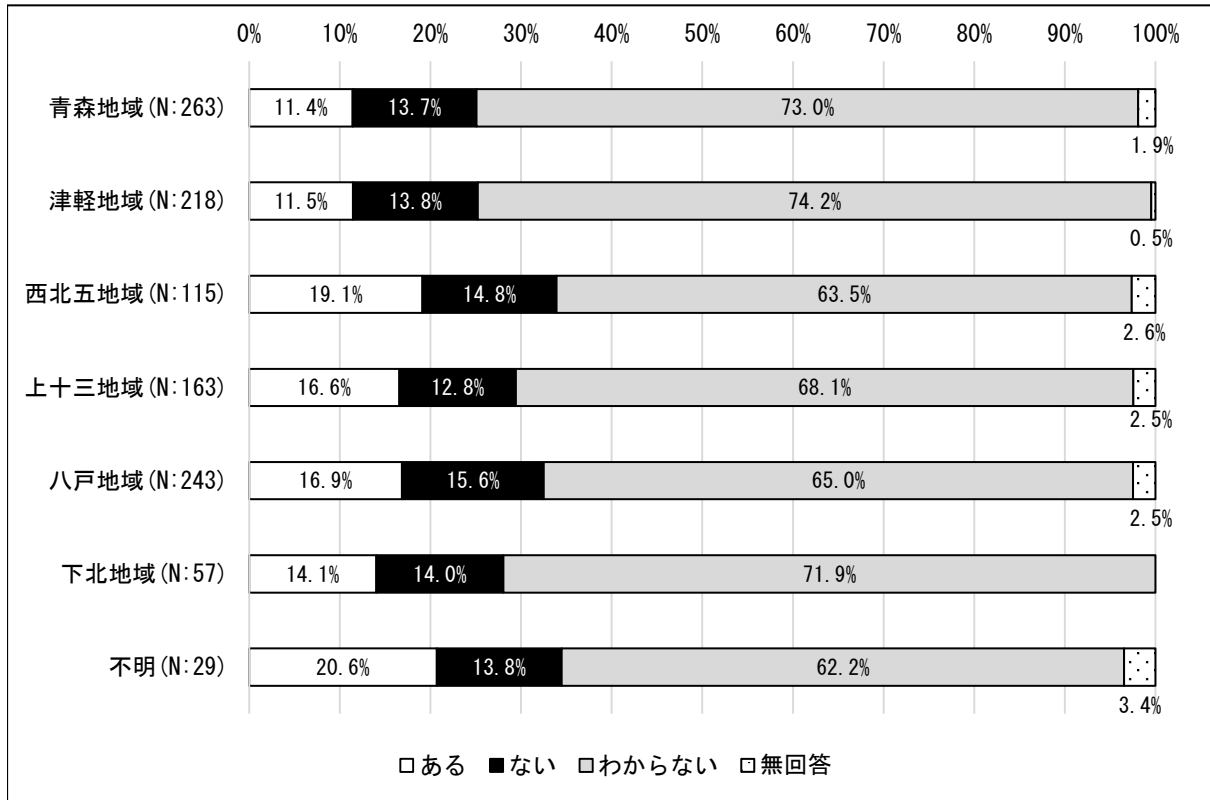
【男女別・年代別】



性別、年齢を問わず、「わからない」が最も大きくなっている。

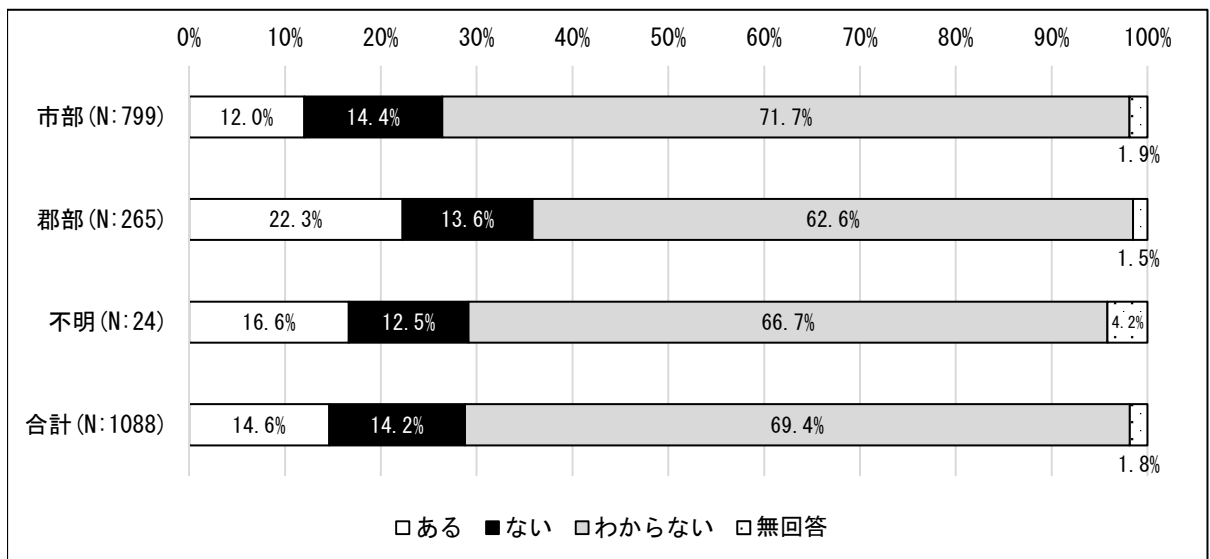
年代別に見ると、「ある」は60歳代以上が他の年代より大きくなっている。また、概ね若年ほど「わからない」が大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「わからない」が最も大きくなっている。「ある」は西北五地域が他の地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】

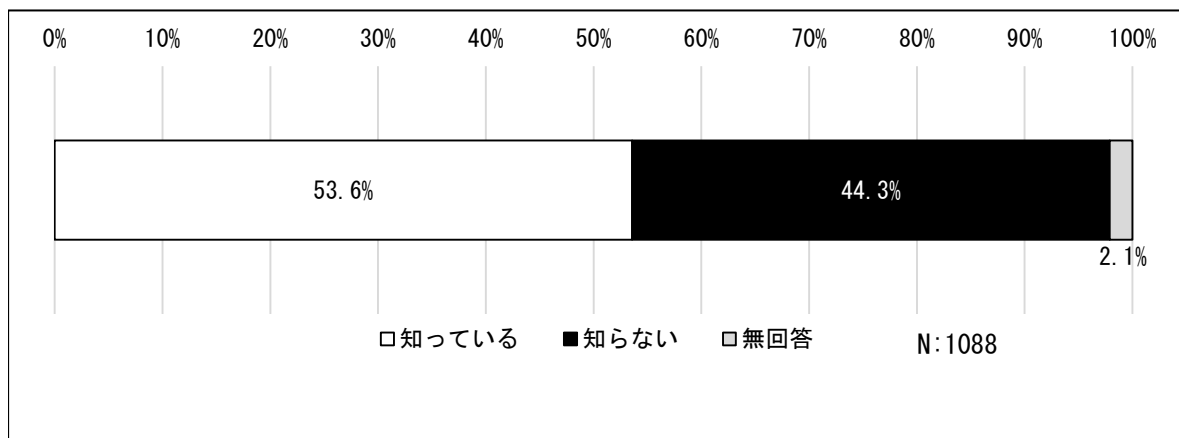


市部・郡部ともに「わからない」が最も大きくなっている。「ある」は郡部が市部より大きくなっている。

< 6 > 社会福祉法人や社会福祉協議会との関わりについて

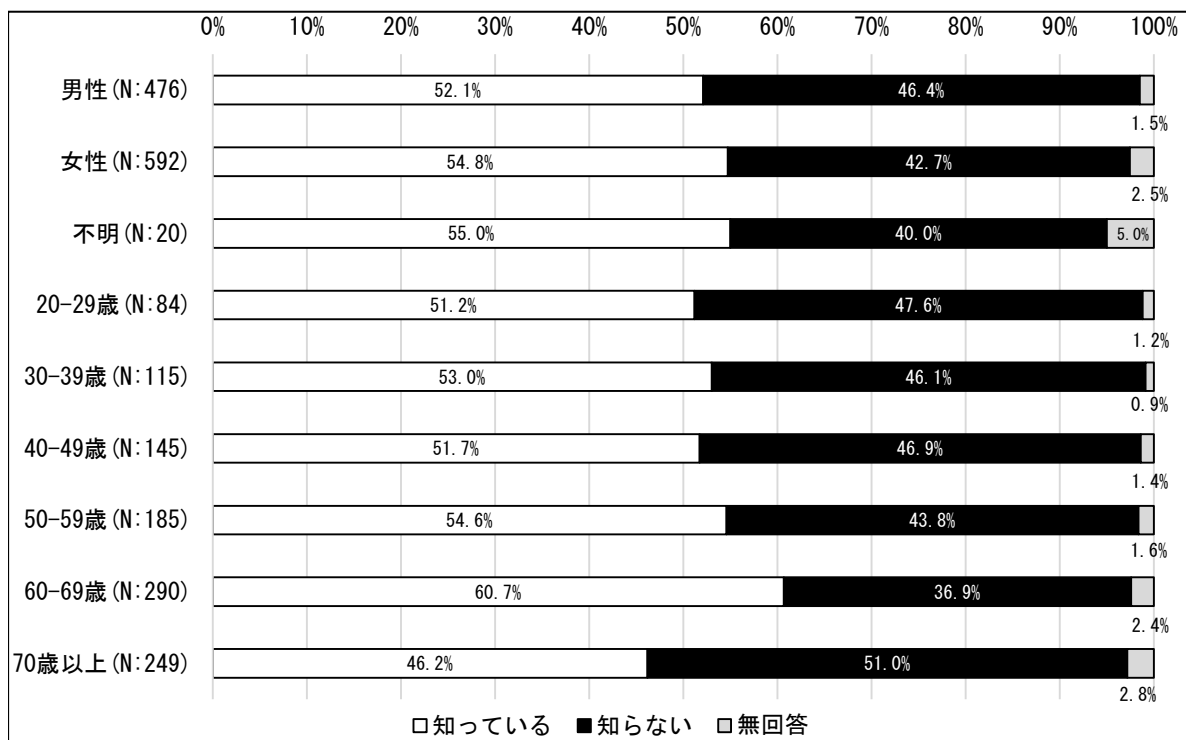
問 22. あなたは、社会福祉法人のことを知っていますか。（1つ）

・社会福祉法人の認知度



「知っている」が54%、「知らない」が44%となっている。

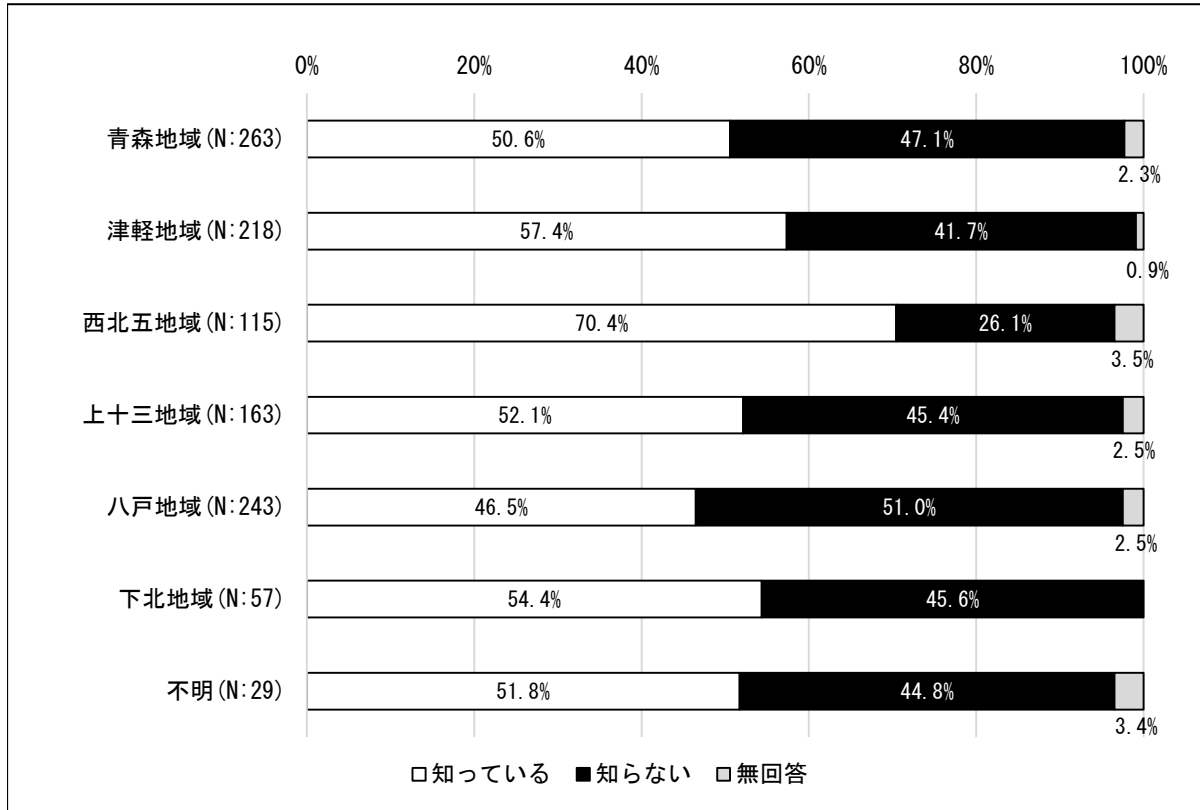
【男女別・年代別】



男女とも、「知っている」が「知らない」を上回っている。

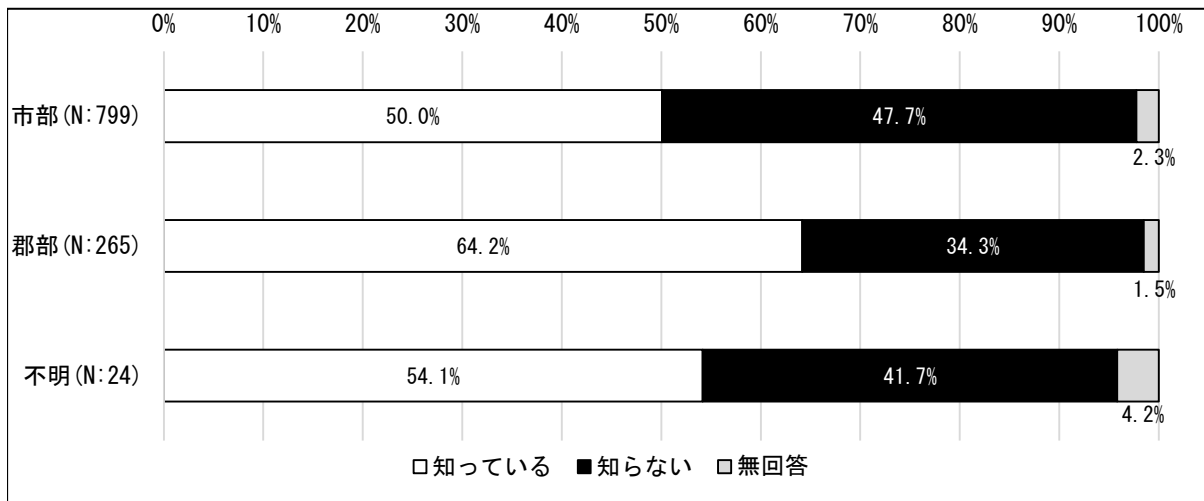
年代別に見ると、60歳代以下は「知っている」が「知らない」を上回り、70歳代以上は「知らない」が「知っている」を上回っている。「知っている」は60歳代が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



八戸地域は「知らない」が「知っている」を上回り、他の地域は「知っている」が「知らない」を上回っている。「知っている」は西北五地域が他の地域より大きくなっている。

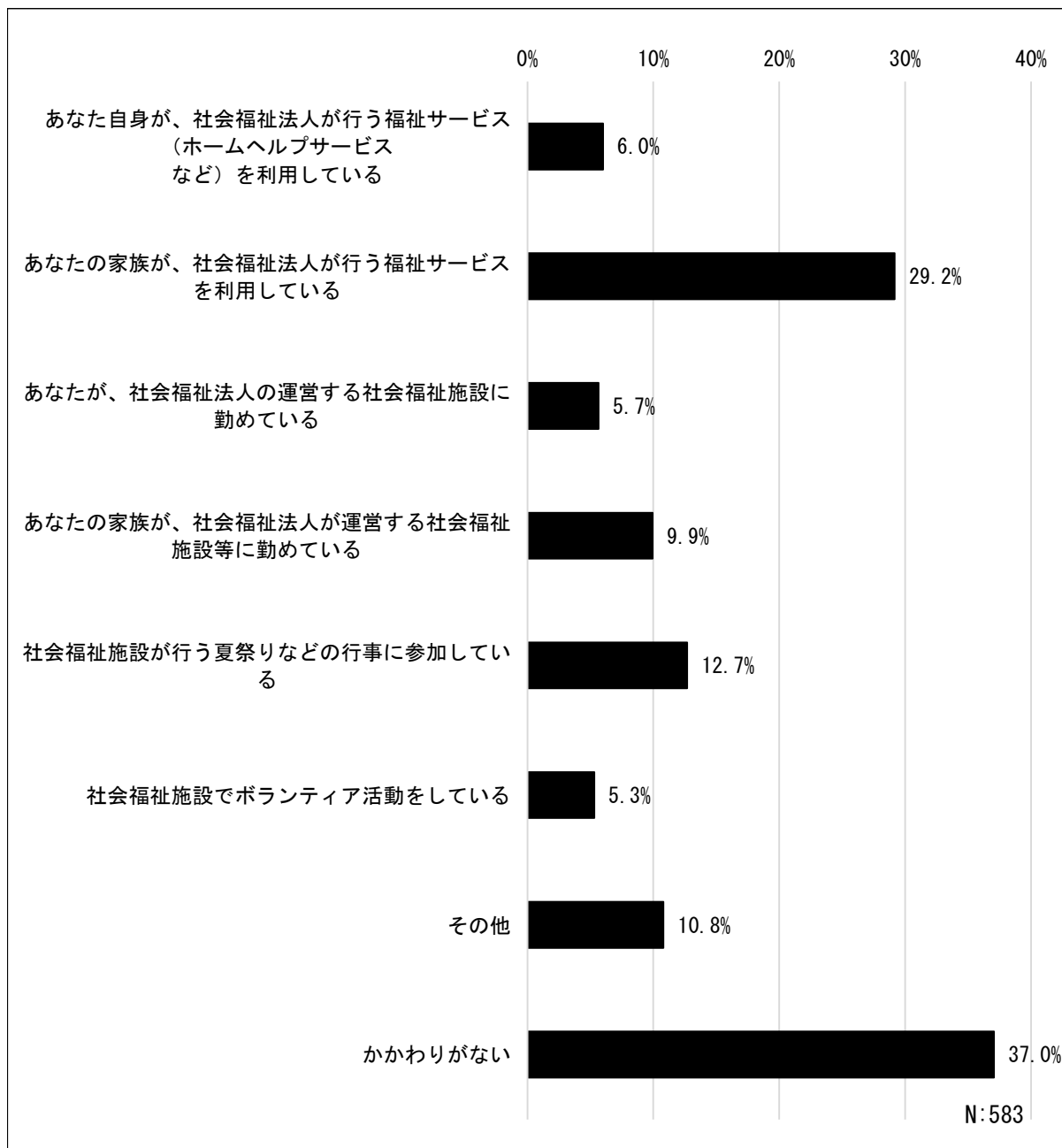
【市部・郡部別】



市部、郡部ともに「知っている」が「知らない」を上回っている。「知っている」は郡部が市部より大きくなっている。

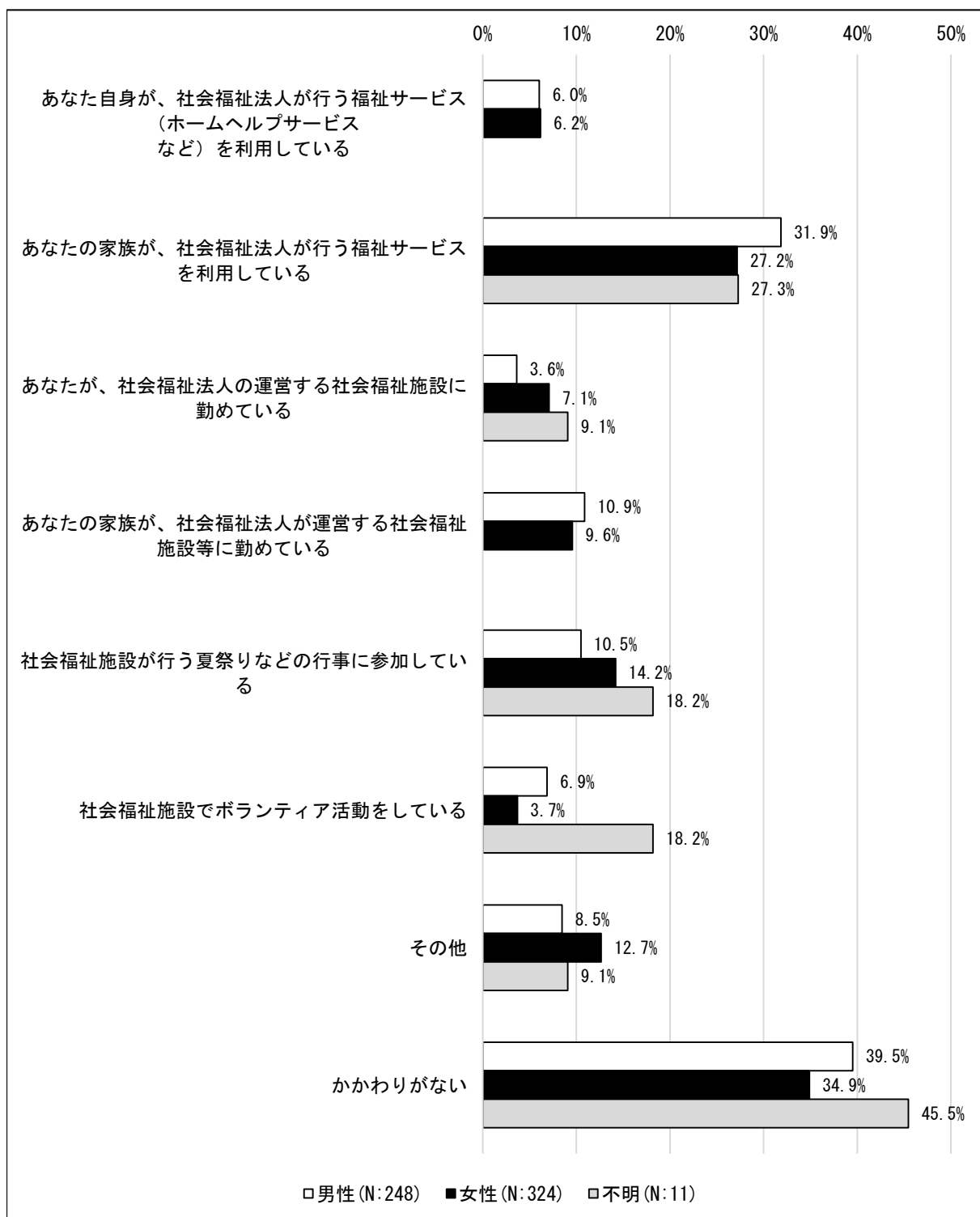
問 22-1. 問 22 で「① 知っている」を選んだ方におうかがいします。普段、あなたが地域の社会福祉法人とかかわりがあるのは、次のどれですか。（当てはまるもの全て）

・ 社会福祉法人とのかかわり



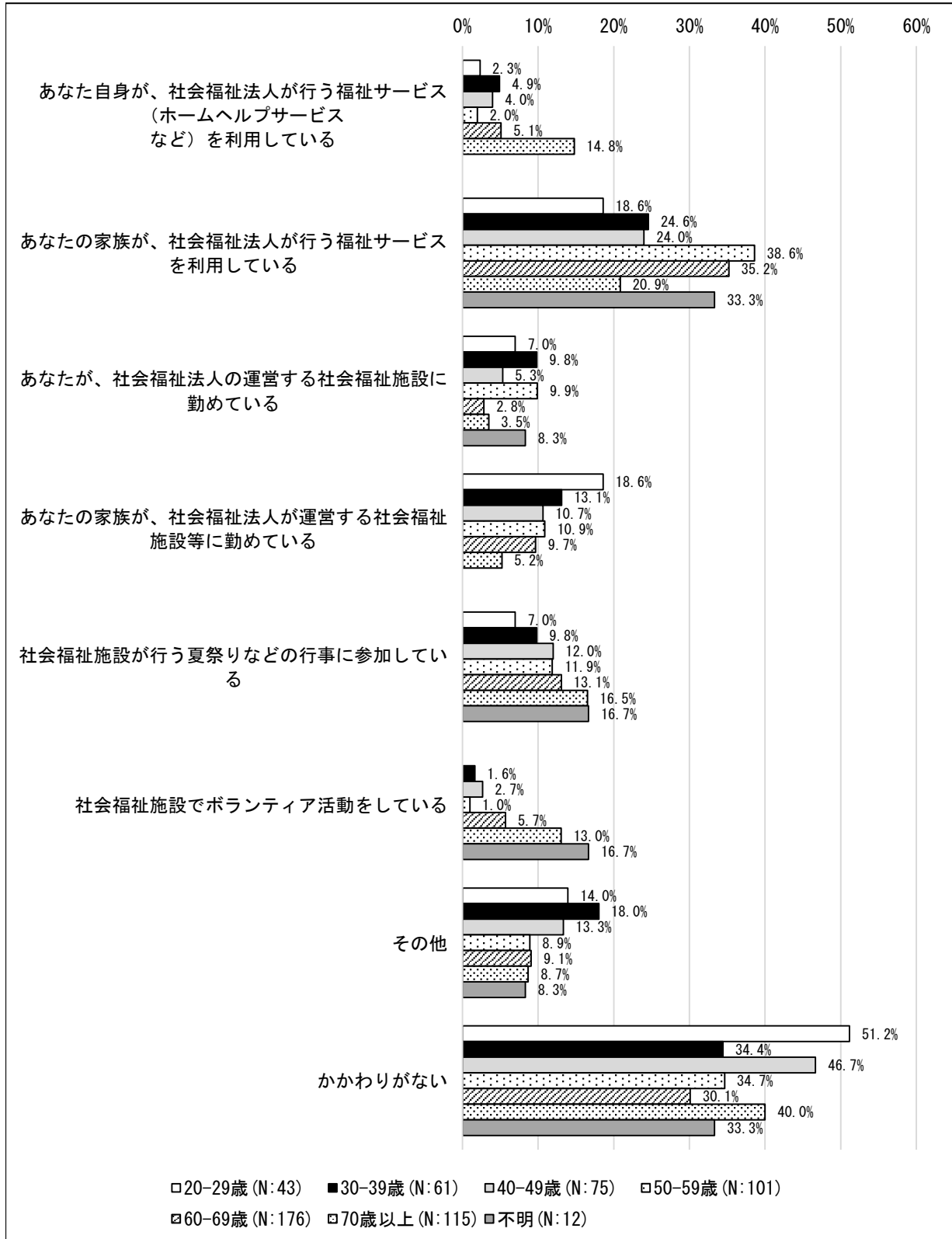
「かかわりがない」が37%、「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」が29%、「社会福祉法人が行う夏祭りなどの行事に参加している」が13%となっている。

【男女別】



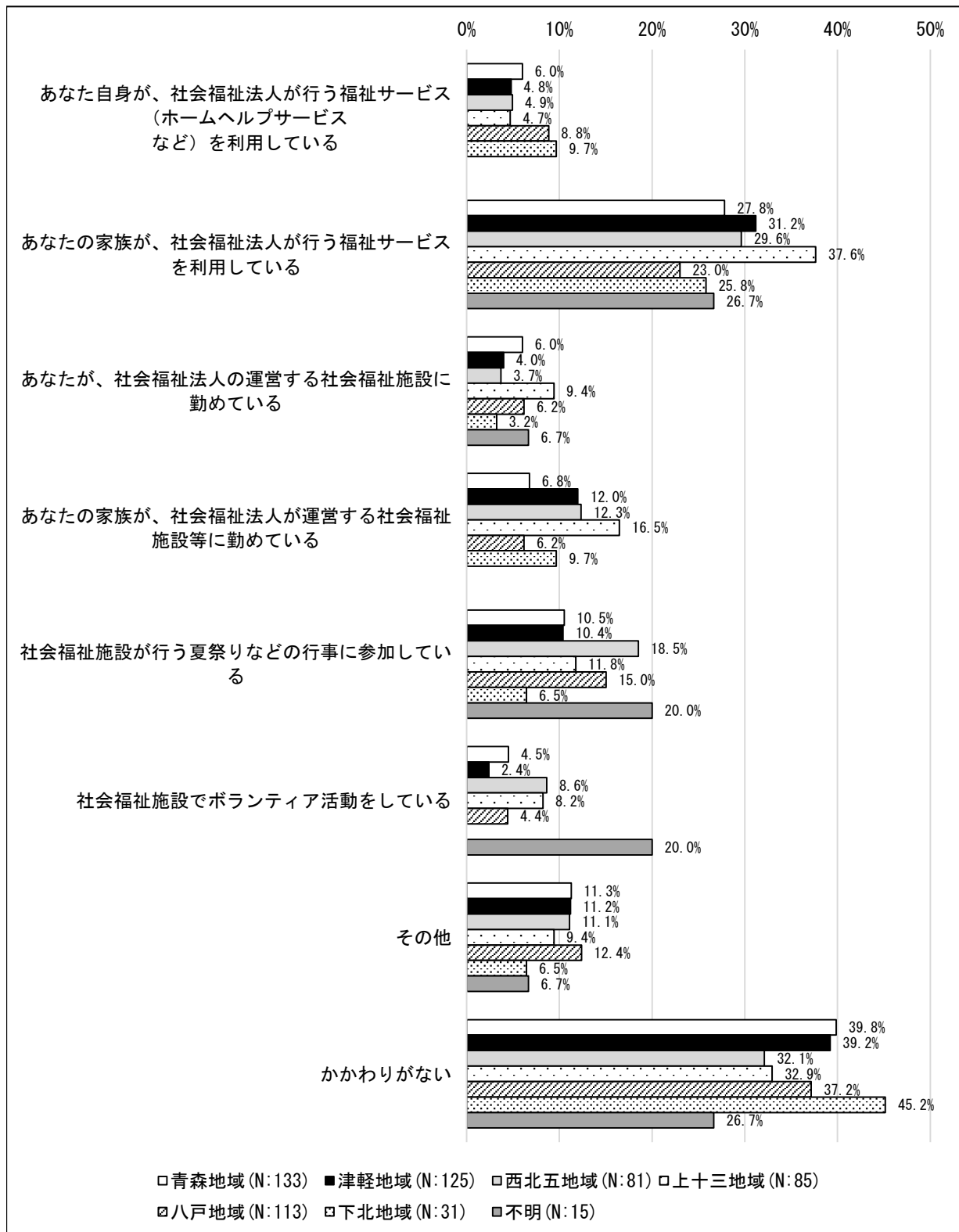
男女ともに「かかわりがない」、「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」の順に大きく、次いで男性では「あなたの家族が、社会福祉法人が運営する社会福祉施設等に勤めている」の順に、女性では「社会福祉法人が行う夏祭りなどの行事に参加している」の順になっている。

【年代別】



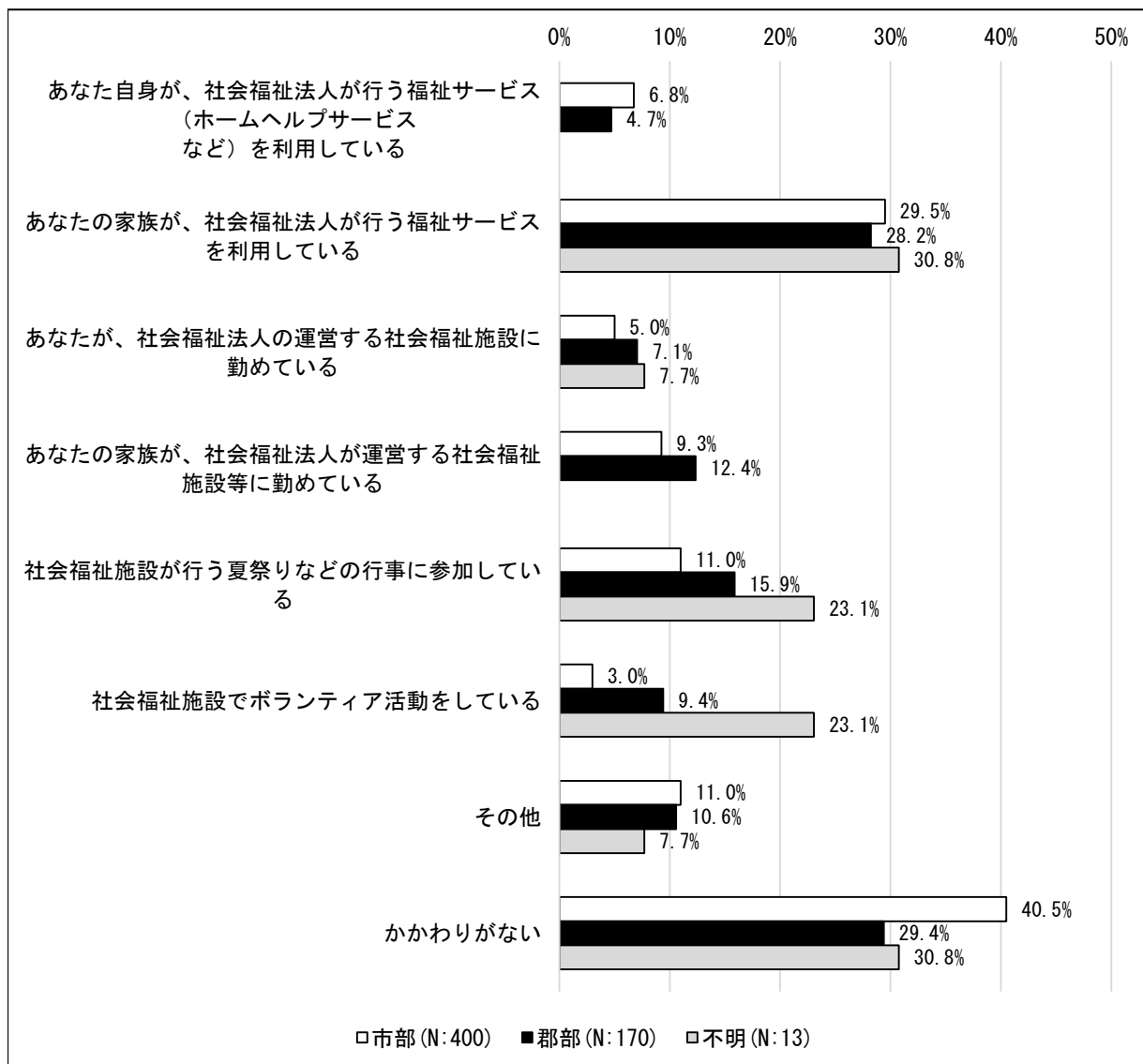
50歳代、60歳代では「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」が、他の年代では「かわりがない」がそれぞれ最も大きくなっている。「社会福祉法人が行う夏祭りなどの行事に参加している」は概ね年代が上がるにつれて大きくなっている。「あなたの家族が、社会福祉法人が運営する社会福祉施設等に勤めている」は概ね年代が下がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



上十三地域では「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」が、その他の地域では「かわりがない」がそれぞれ最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



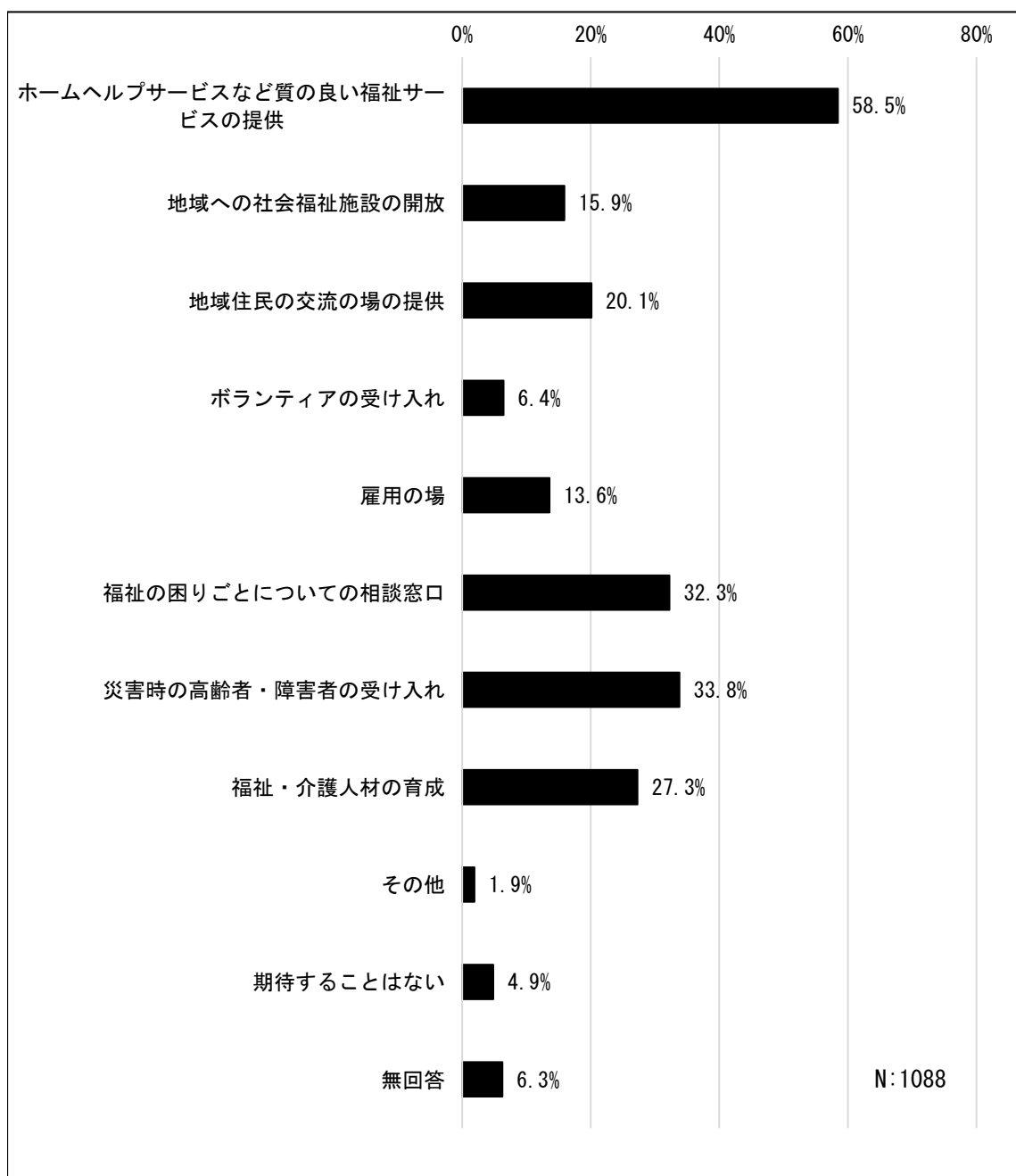
市部・郡部ともに「かかわりがない」が最も大きく、次いで「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」、「社会福祉法人が行う夏祭りなどの行事に参加している」の順となっている。

【自由回答より】

- ・以前社会福祉法人の運営する施設に勤めていたことがある
- ・仕事上の付き合い
- ・民生委員、児童委員としてかかわっている

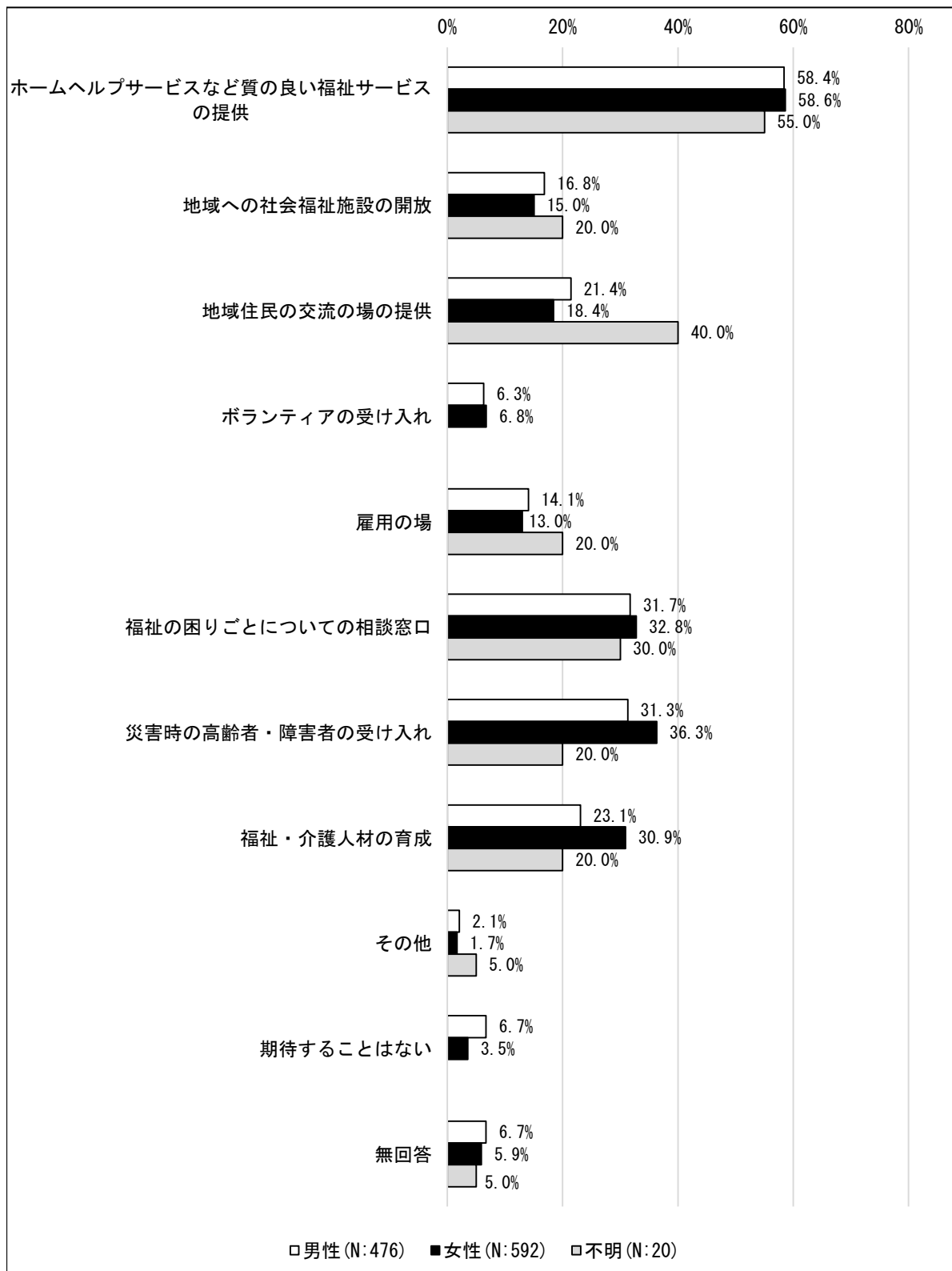
問 23. あなたが、地域の社会福祉法人に期待することは何ですか。（3つまで）

・地域の社会福祉法人への期待



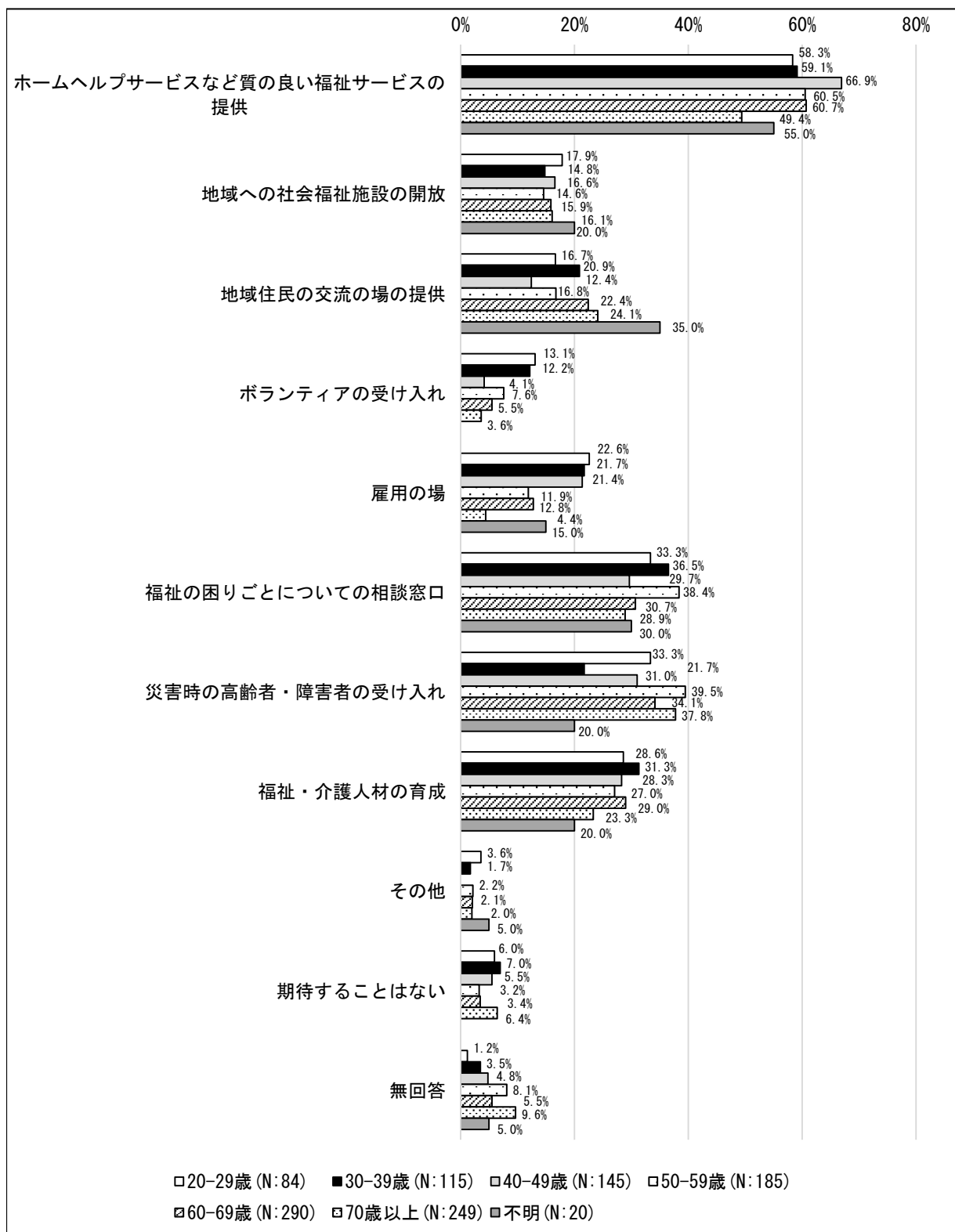
「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が59%、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」が34%、「福祉の困りごとについての相談窓口」が32%となっている。

【男女別】



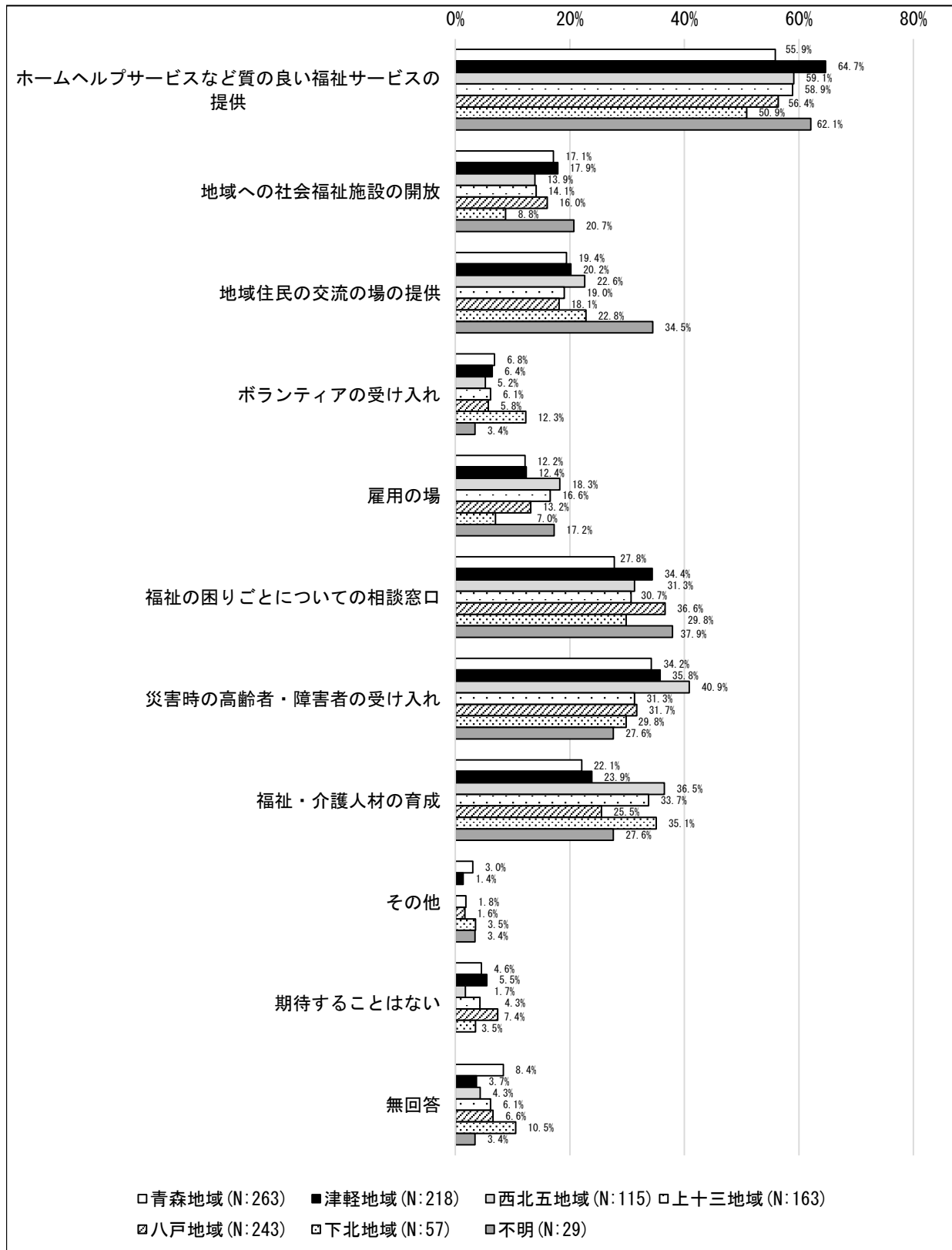
男女ともに「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きく、次いで男性では「福祉の困りごとについての相談窓口」、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順に、女性では、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」、「福祉の困りごとについての相談窓口」の順になっている。

【年代別】



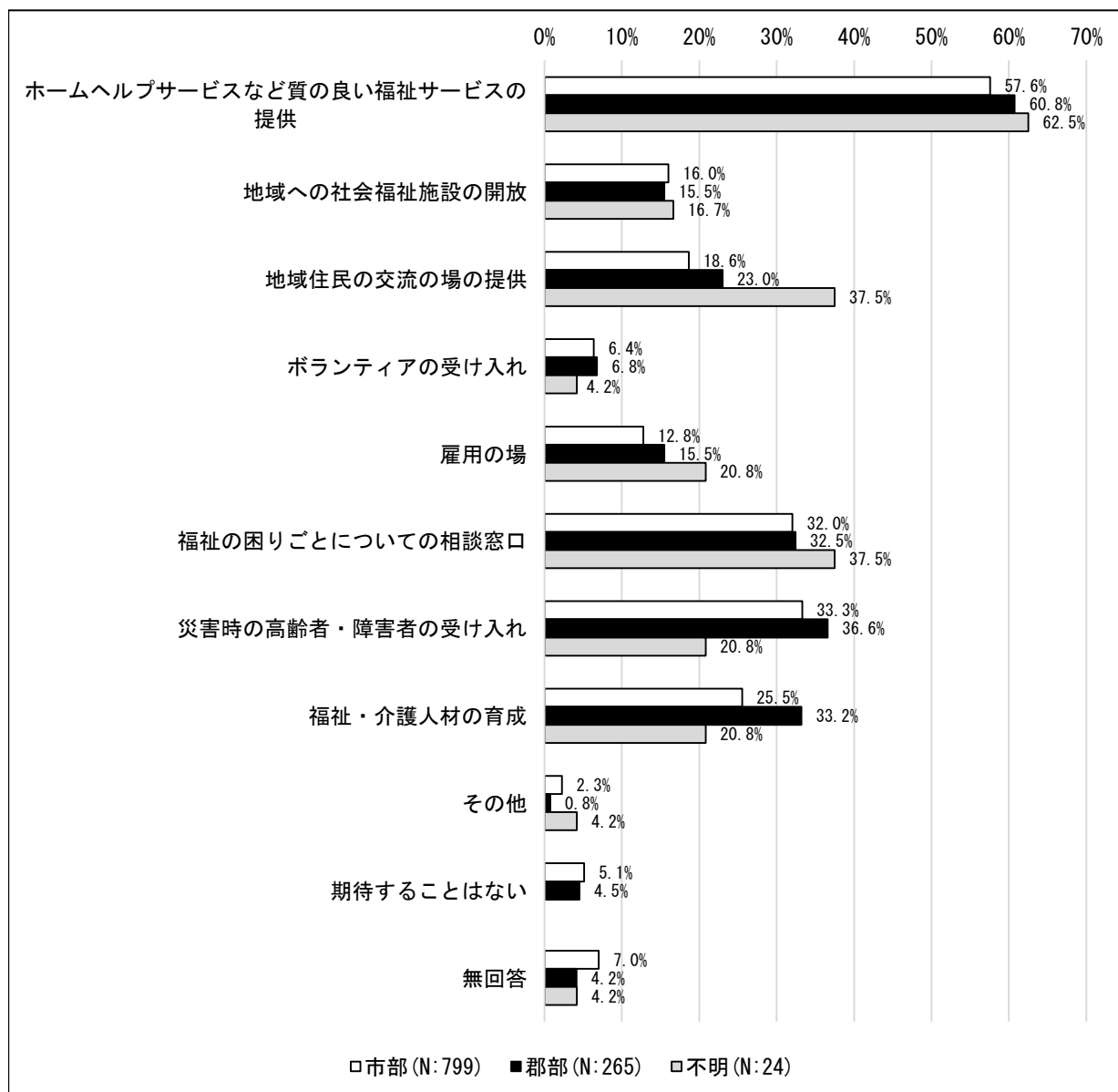
全ての年代で「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きく、次いで20歳代では「福祉の困りごとについての相談窓口」、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」が同率、30歳代では「福祉の困りごとについての相談窓口」、40歳代以上では「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順となっている。「雇用の場」は20歳代から40歳代が、「ボランティアの受け入れ」は20歳代、30歳代が、それぞれ他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きく、次いで八戸地域では「福祉の困りごとについての相談窓口」、上十三地域、下北地域では「福祉・介護人材の育成」、その他の地域では「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順となっている。

【市部・郡部別】



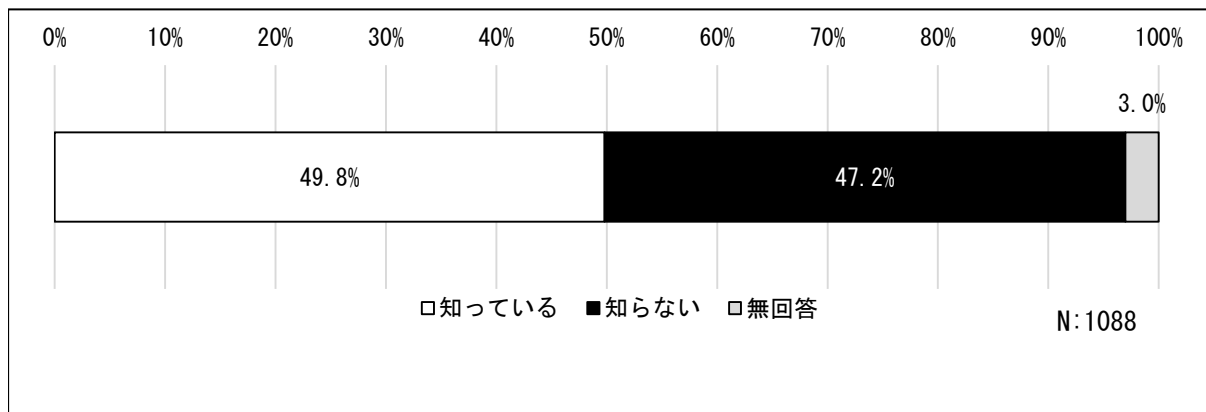
市部・郡部ともに「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順に大きく、次いで市部では「福祉の困りごとについての相談窓口」、郡部では「福祉・介護人材の育成」の順となっている。

【自由回答より】

- ・施設スタッフの充実
- ・保育所の充実
- ・問題のない職場環境づくり

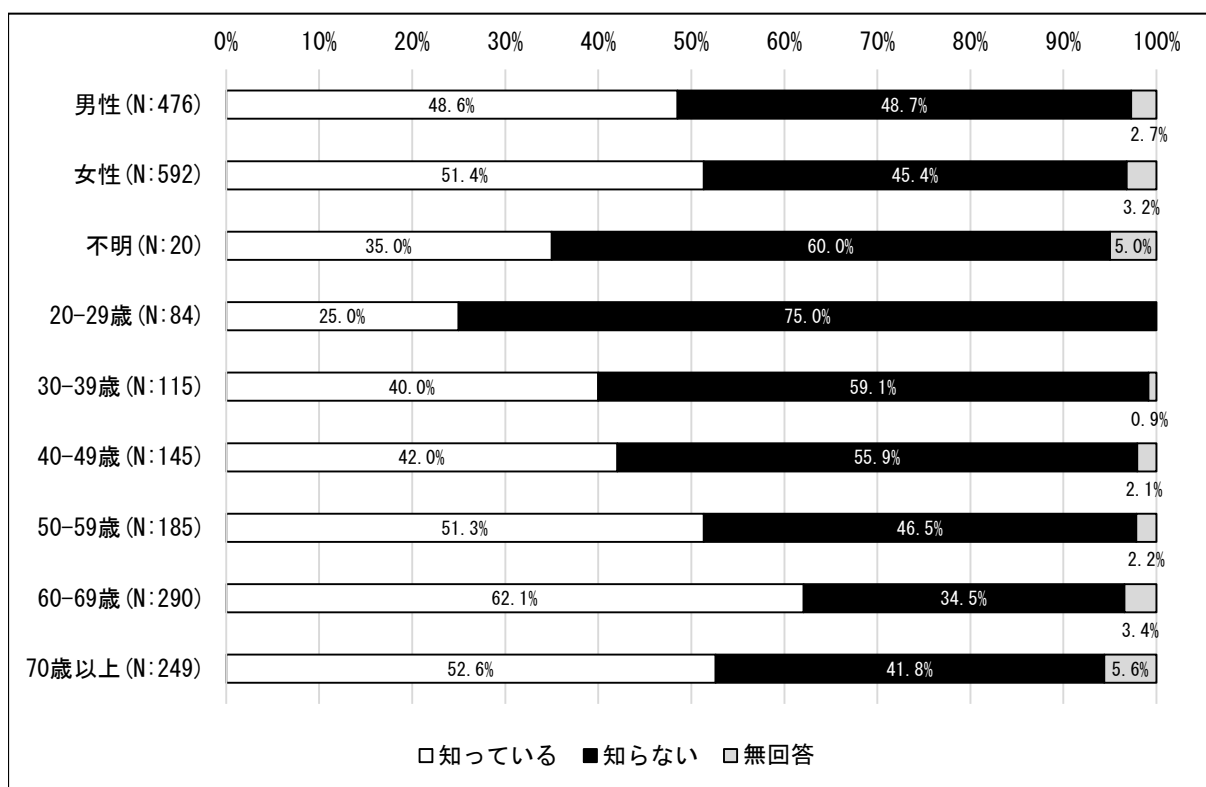
問 24. あなたは、社会福祉協議会のことを知っていますか。（1つ）

・社会福祉協議会



「知っている」が50%、「知らない」が47%となっている。

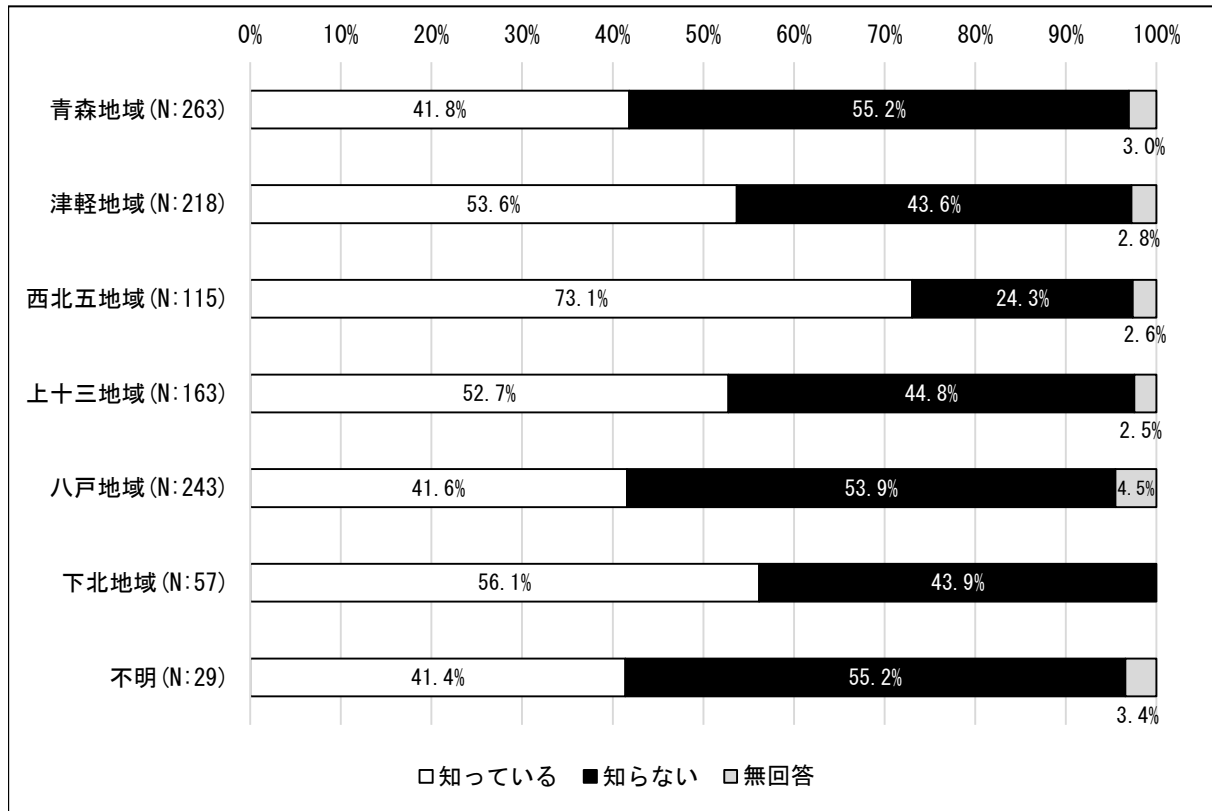
【男女別・年代別】



男性では「知っている」「知らない」がほぼ同率である。一方、女性では「知っている」が「知らない」を上回っている。

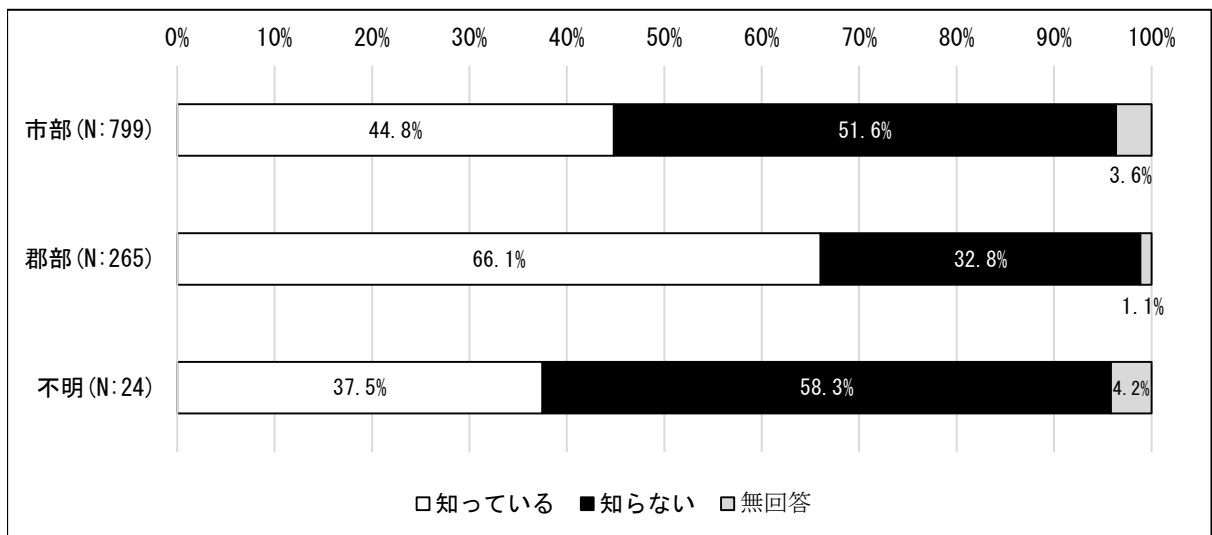
年代別に見ると、40歳代以下では「知らない」が「知っている」を上回っており、20歳代では「知らない」が7割を超えている。一方、50歳代以上では「知っている」が「知らない」を上回っている。

【地域別】



津軽地域、西北五地域、上十三地域、下北地域では、「知っている」が「知らない」を上回っており、「知っている」は西北五地域が他の地域より大きくなっている。青森地域、八戸地域では、「知らない」が「知っている」を上回っている。

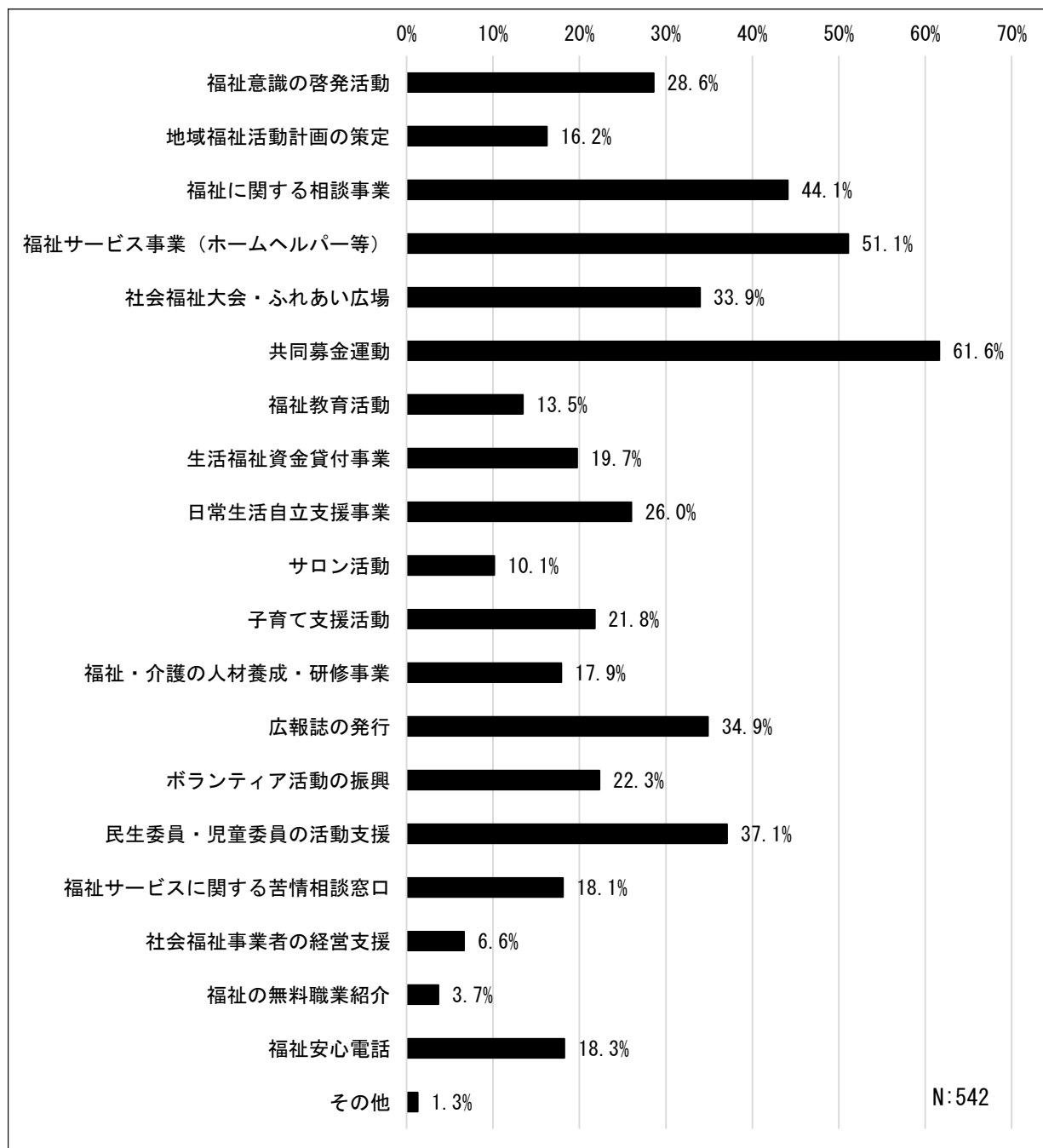
【市部・郡部別】



郡部では「知っている」が「知らない」を上回っており、市部では「知らない」が「知っている」を上回っている。

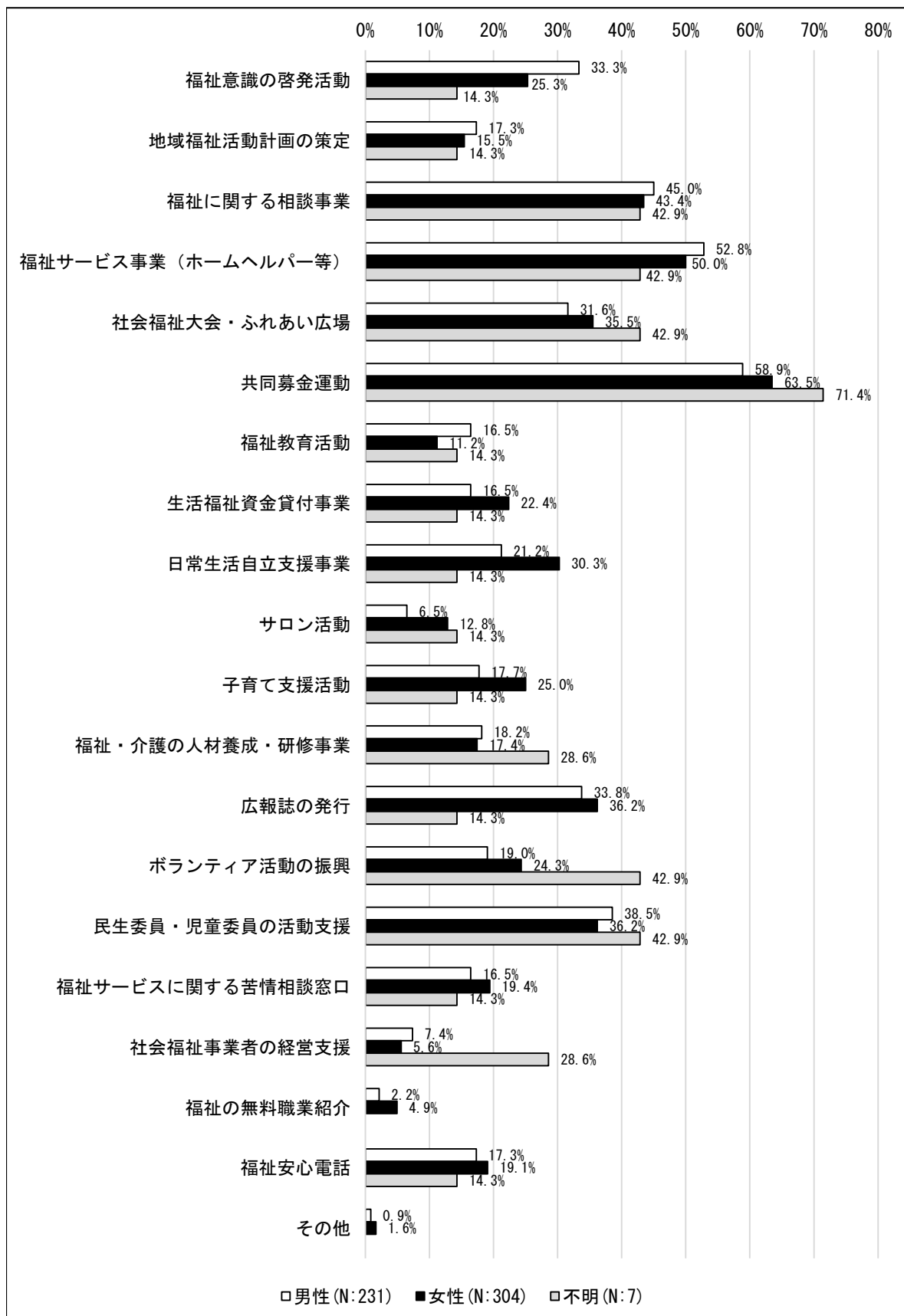
問 24-1. 問 24 で「① 知っている」を選んだ方におうかがいします。あなたが知っている社会福祉協議会の活動は何ですか。（当てはまるものすべて）

・社会福祉協議会の活動



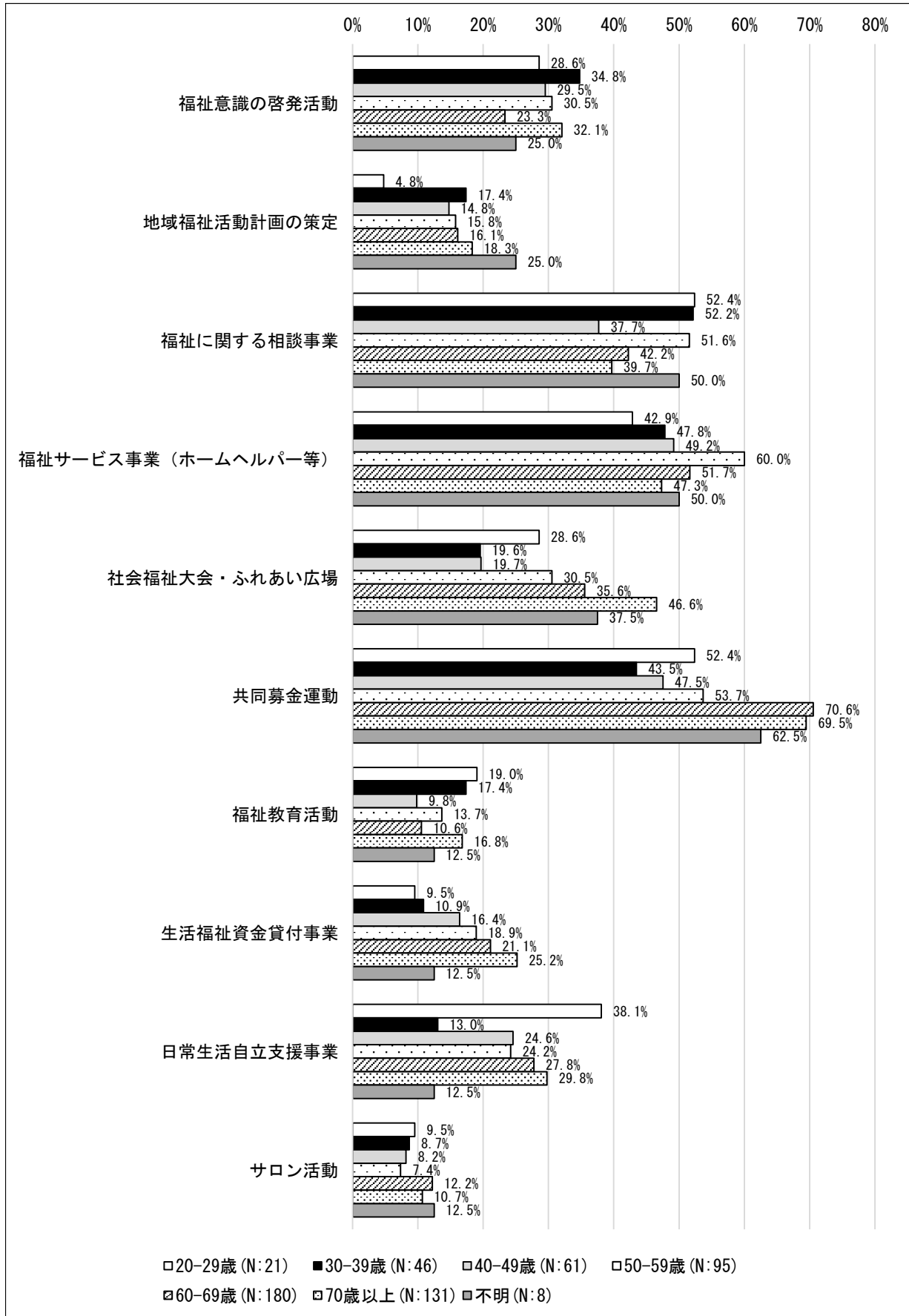
「共同募金運動」が62%、「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」が51%、「福祉に関する相談事業」が44%、「民生委員・児童委員の活動支援」が37%となっている。

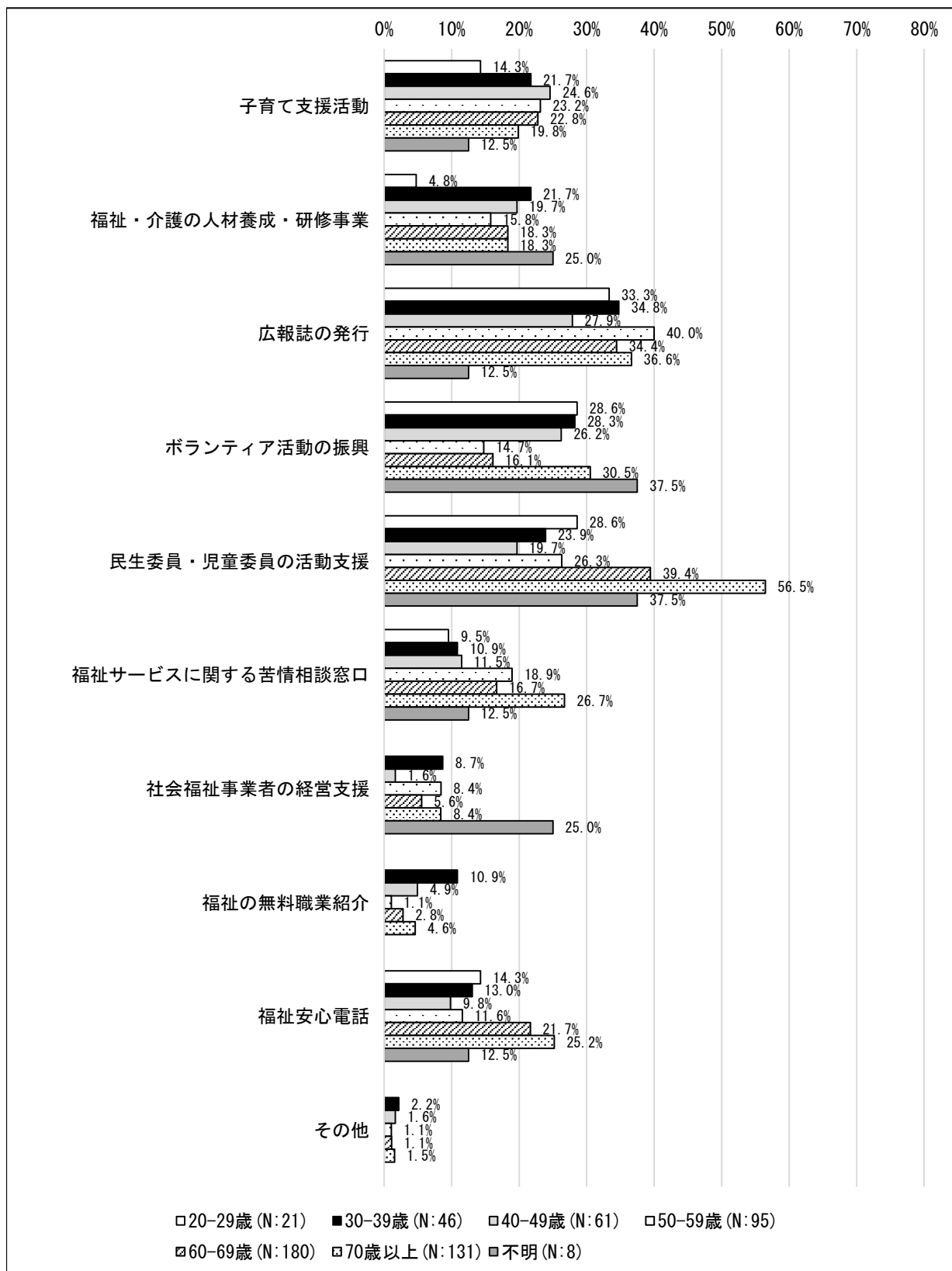
【男女別】



男女ともに「共同募金運動」が最も大きく、次いで「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」、「福祉に関する相談事業」の順となっている。

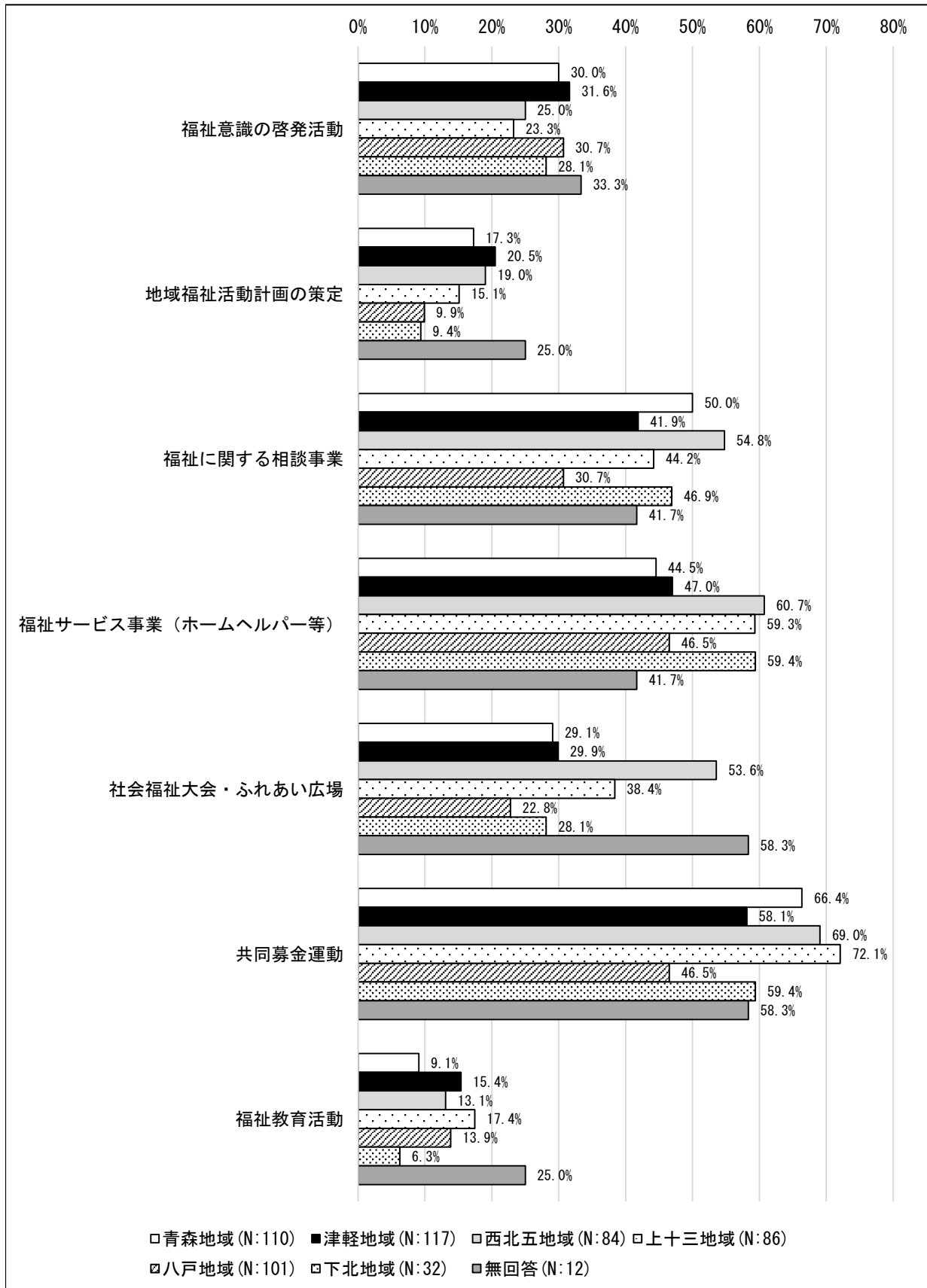
【年代別】

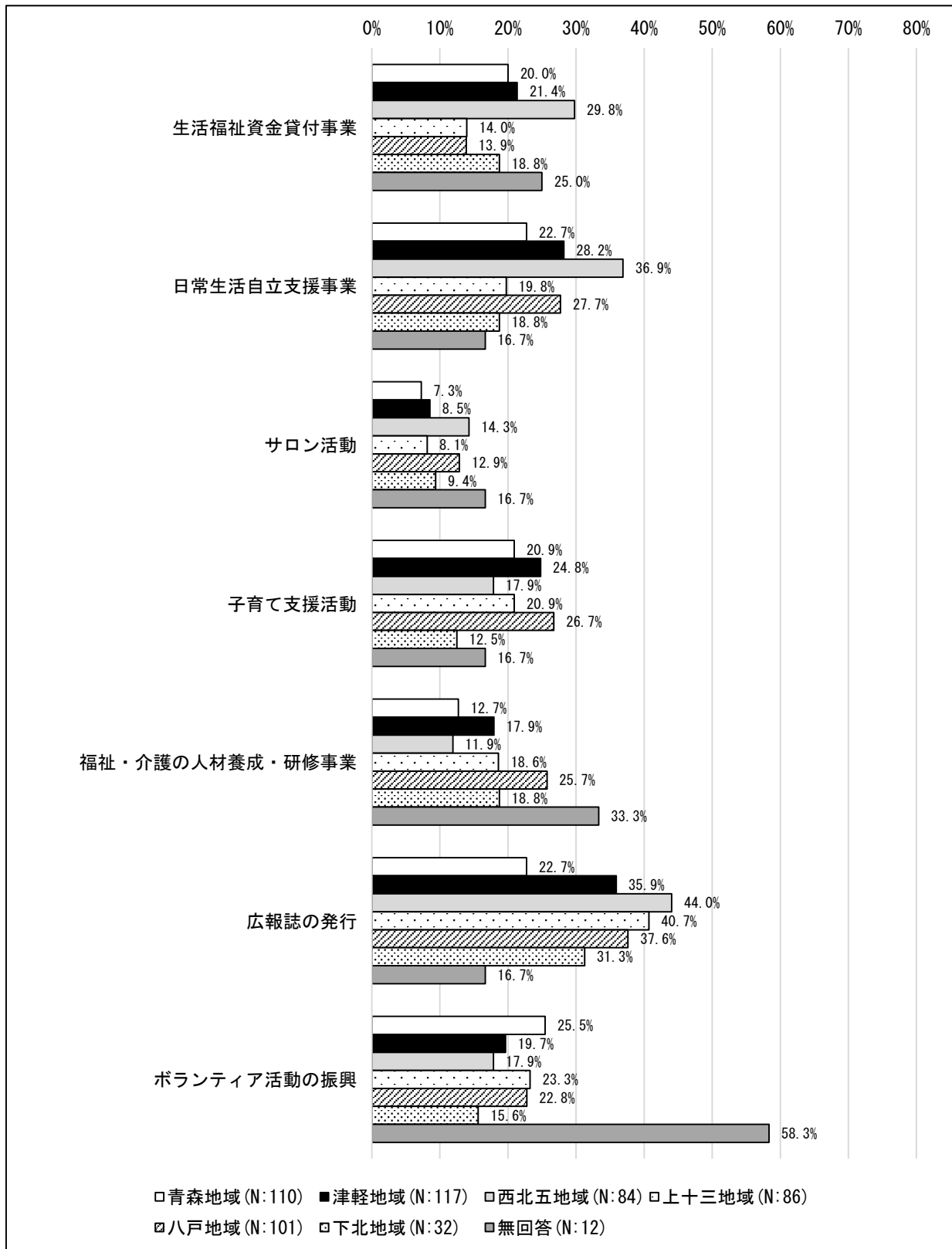


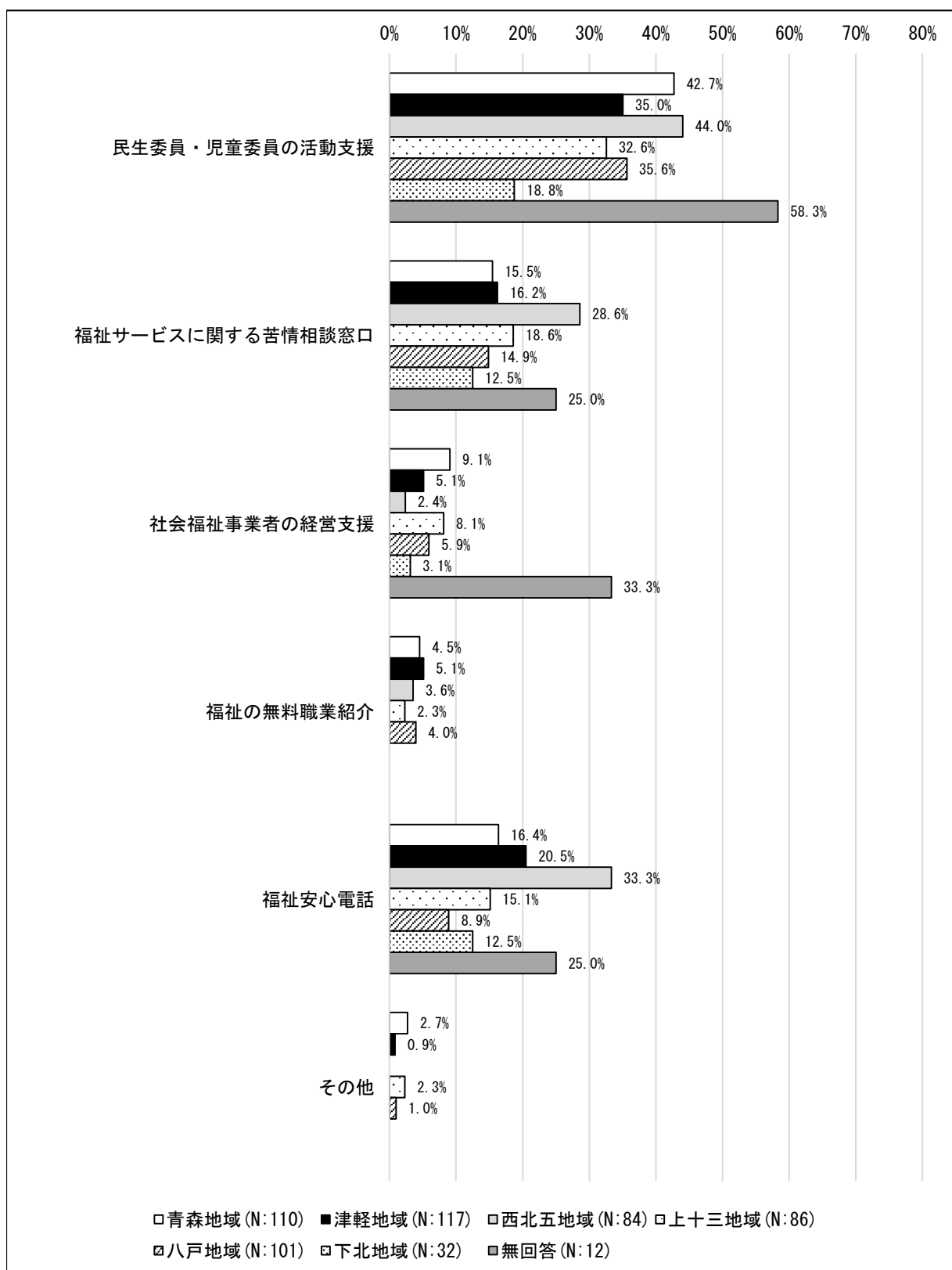


30歳代では「福祉に関する相談事業」が、40歳代、50歳代では「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」が、60歳代以上では「共同募金運動」がそれぞれ最も大きくなっている。20歳代では「共同募金運動」、「福祉に関する相談事業」が同率で最も大きくなっている。70歳以上では「民生委員・児童委員の活動支援」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】

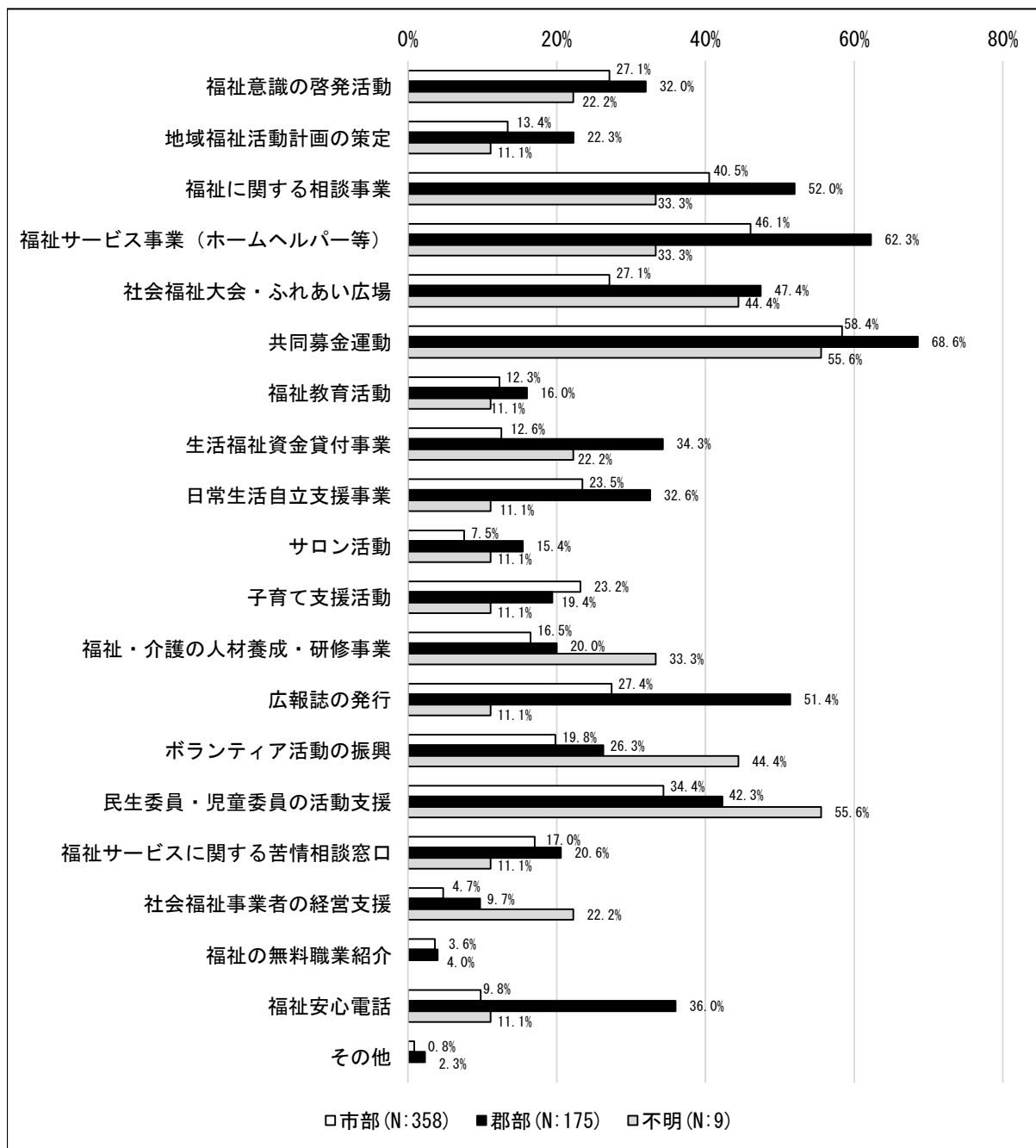






八戸地域、下北地域では「共同募金運動」、「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」が同率で最も大きくなっている。他の地域では「共同募金運動」が最も大きく、次いで青森地域では「福祉に関する相談事業」、津軽地域、西北五地域、上十三地域では「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」となっている。

【市部・郡部別】



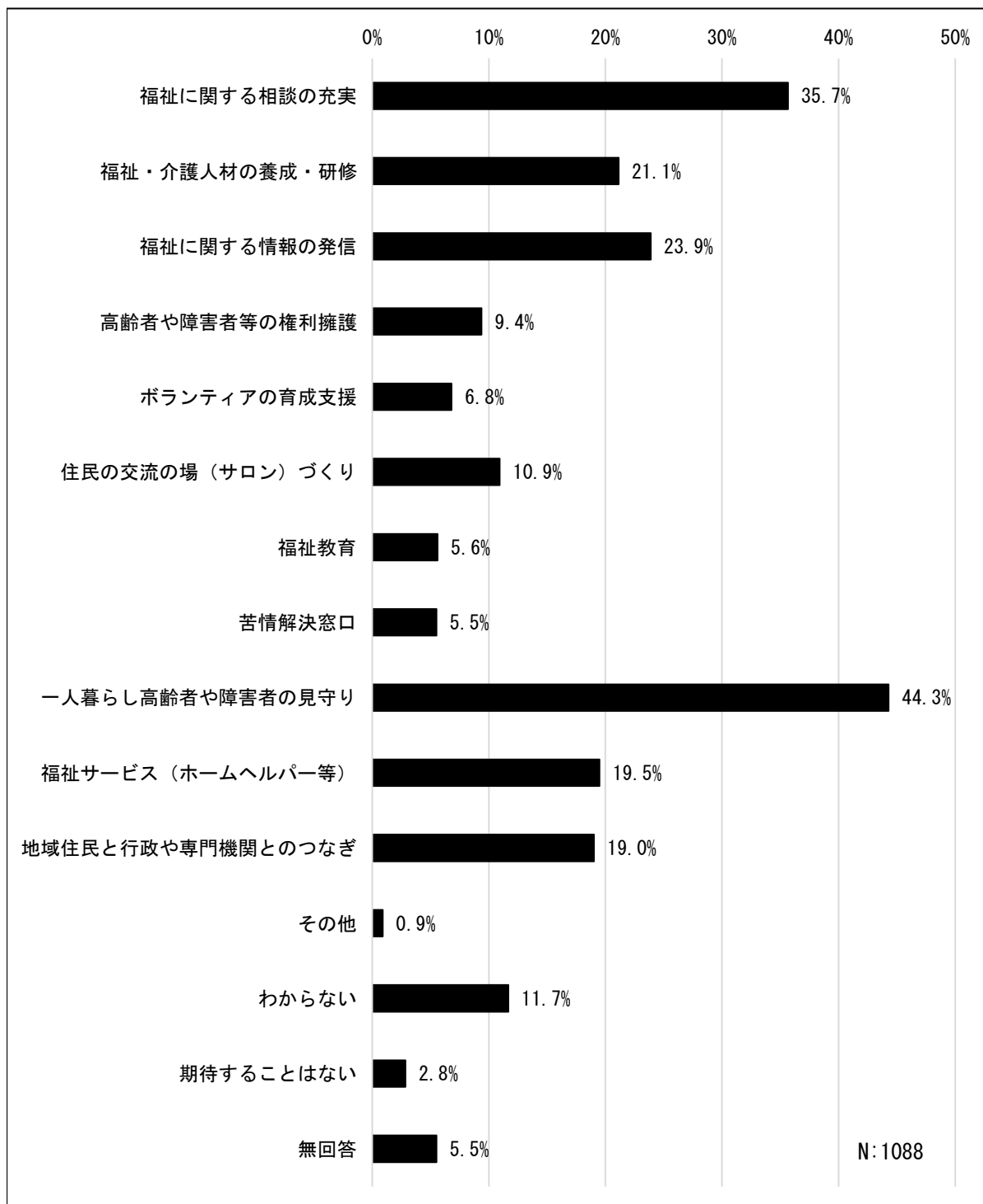
市部・郡部ともに「共同募金運動」が最も大きく、次いで「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」、「福祉に関する相談事業」の順となっている。

【自由回答より】

- ・チャリティー活動
- ・敬老会
- ・民生委員、児童委員による社会福祉協議会の活動支援

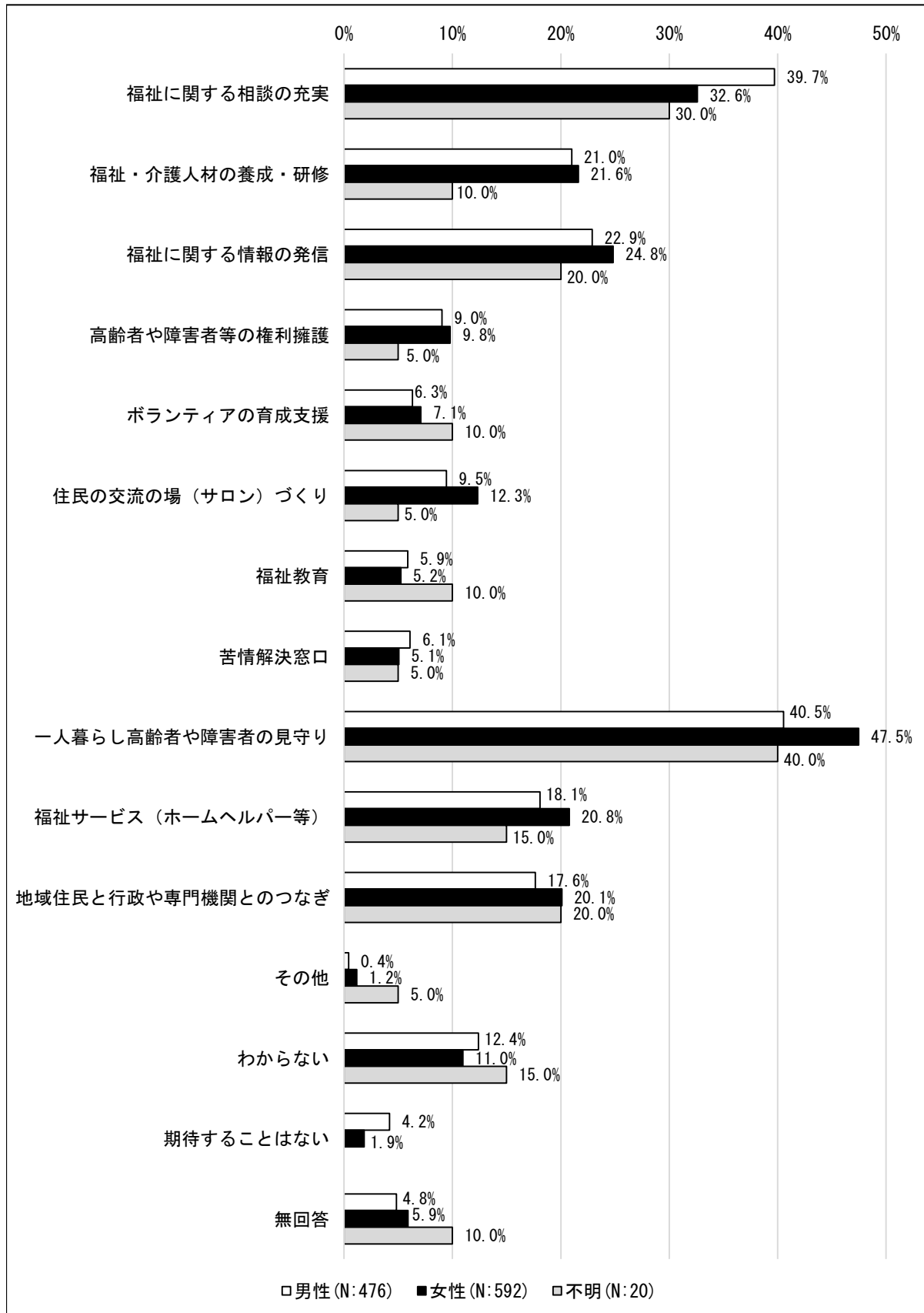
問 25. あなたは、今後、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。（3つまで）

・社会福祉協議会への期待



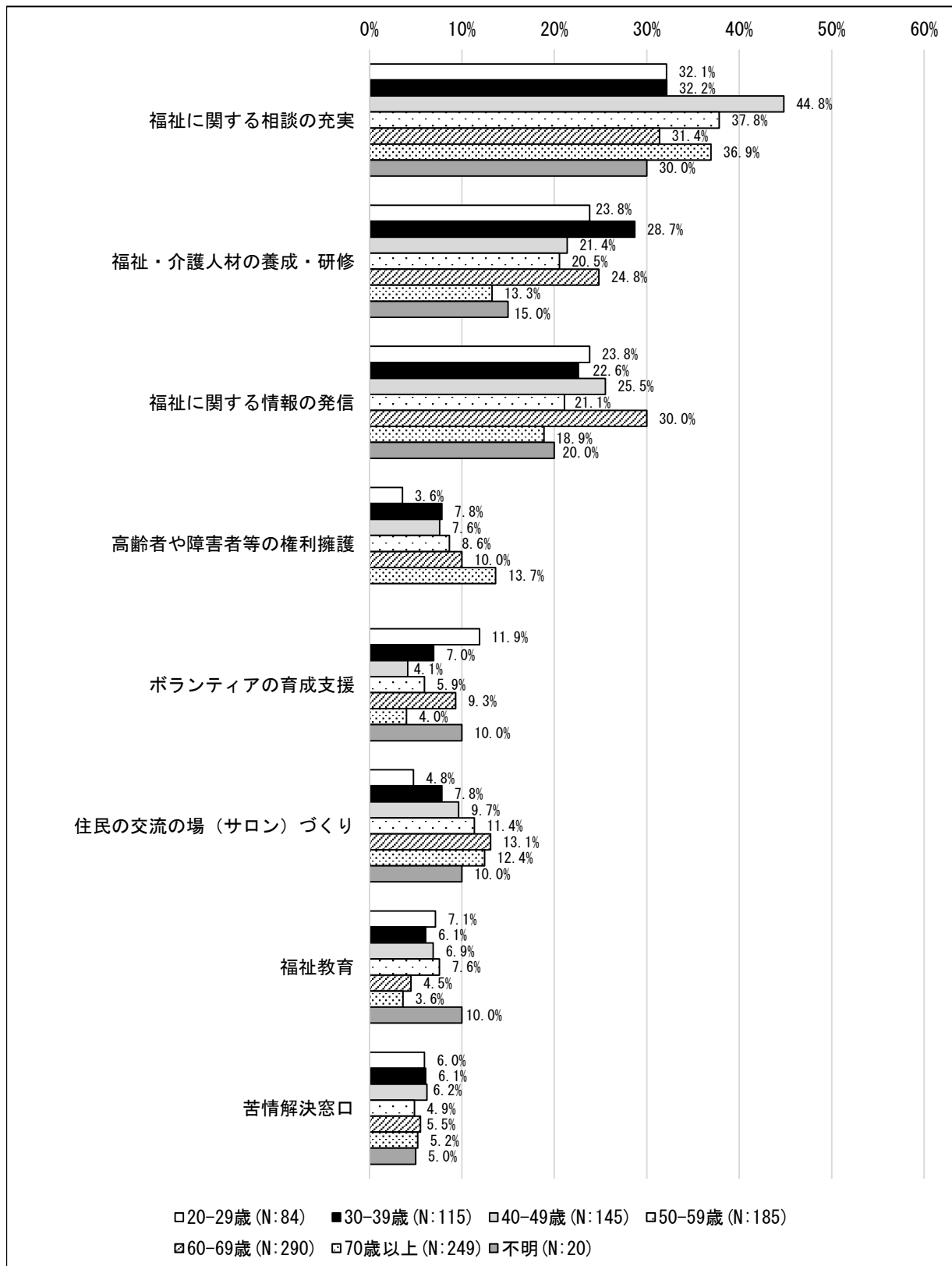
「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が44%、「福祉に関する相談の充実」が36%、「福祉に関する情報の発信」が24%となっている。

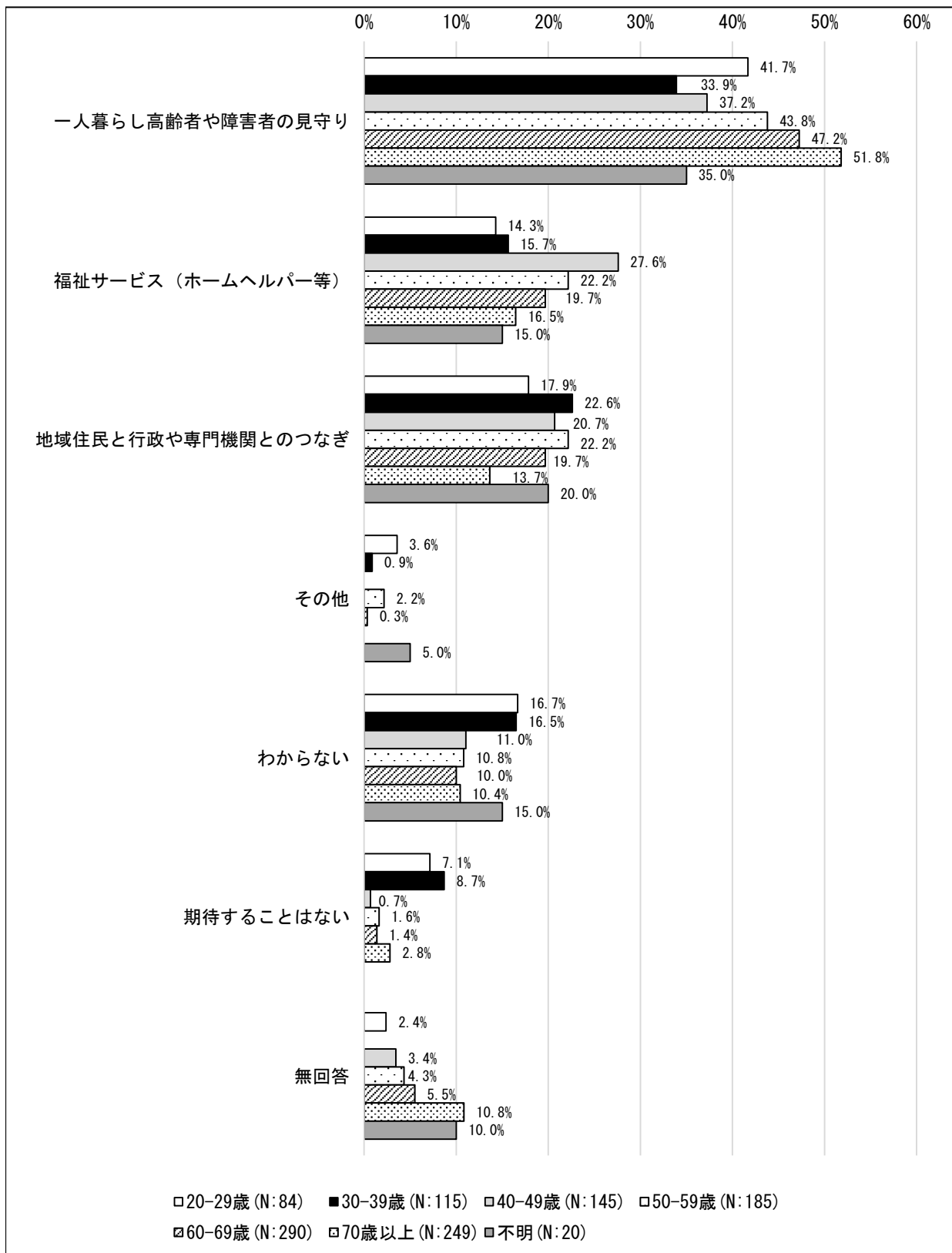
【男女別】



男女ともに「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が最も大きく、次いで「福祉に関する相談の充実」、「福祉に関する情報の発信」の順となっている。

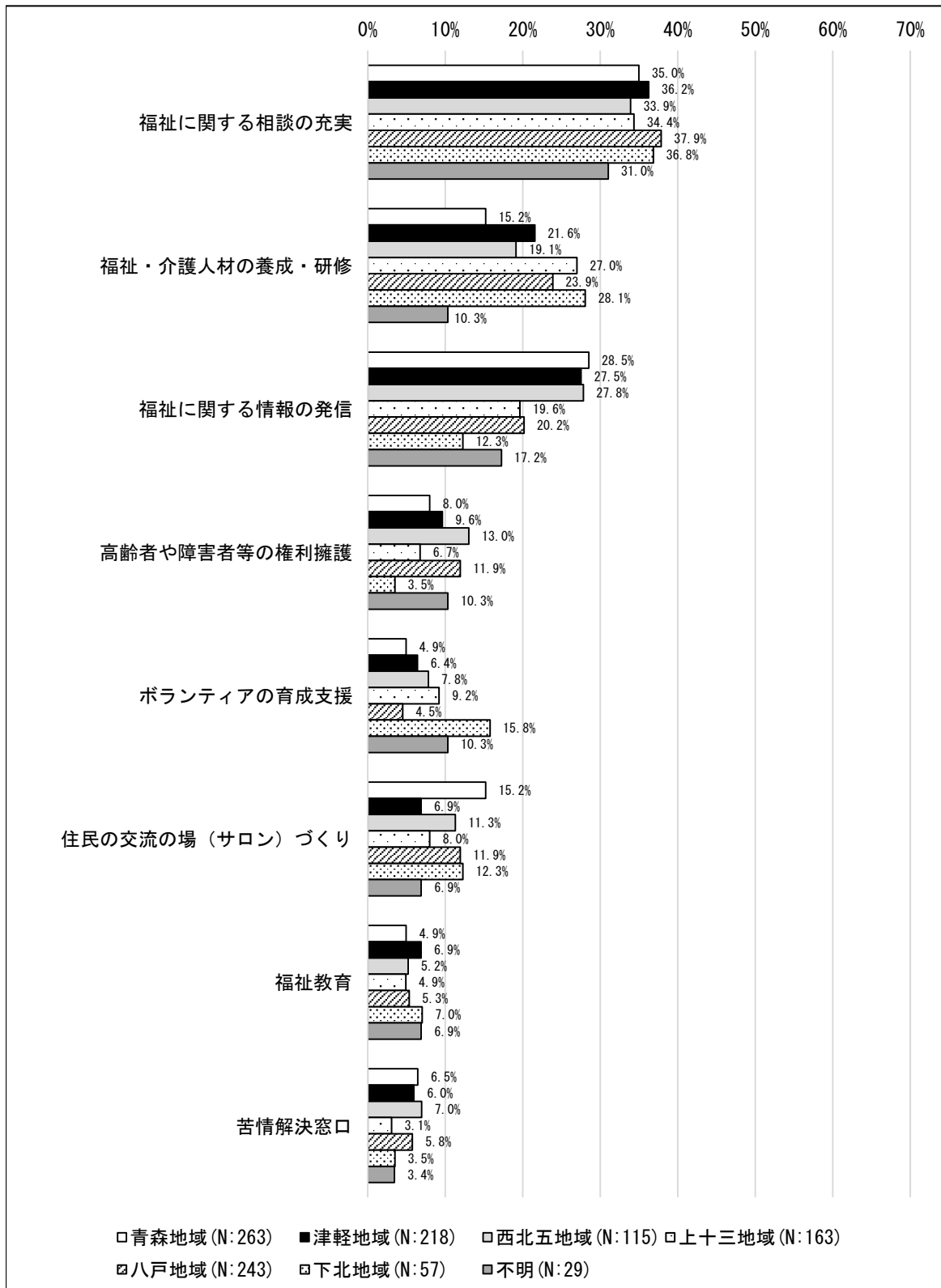
【年代別】

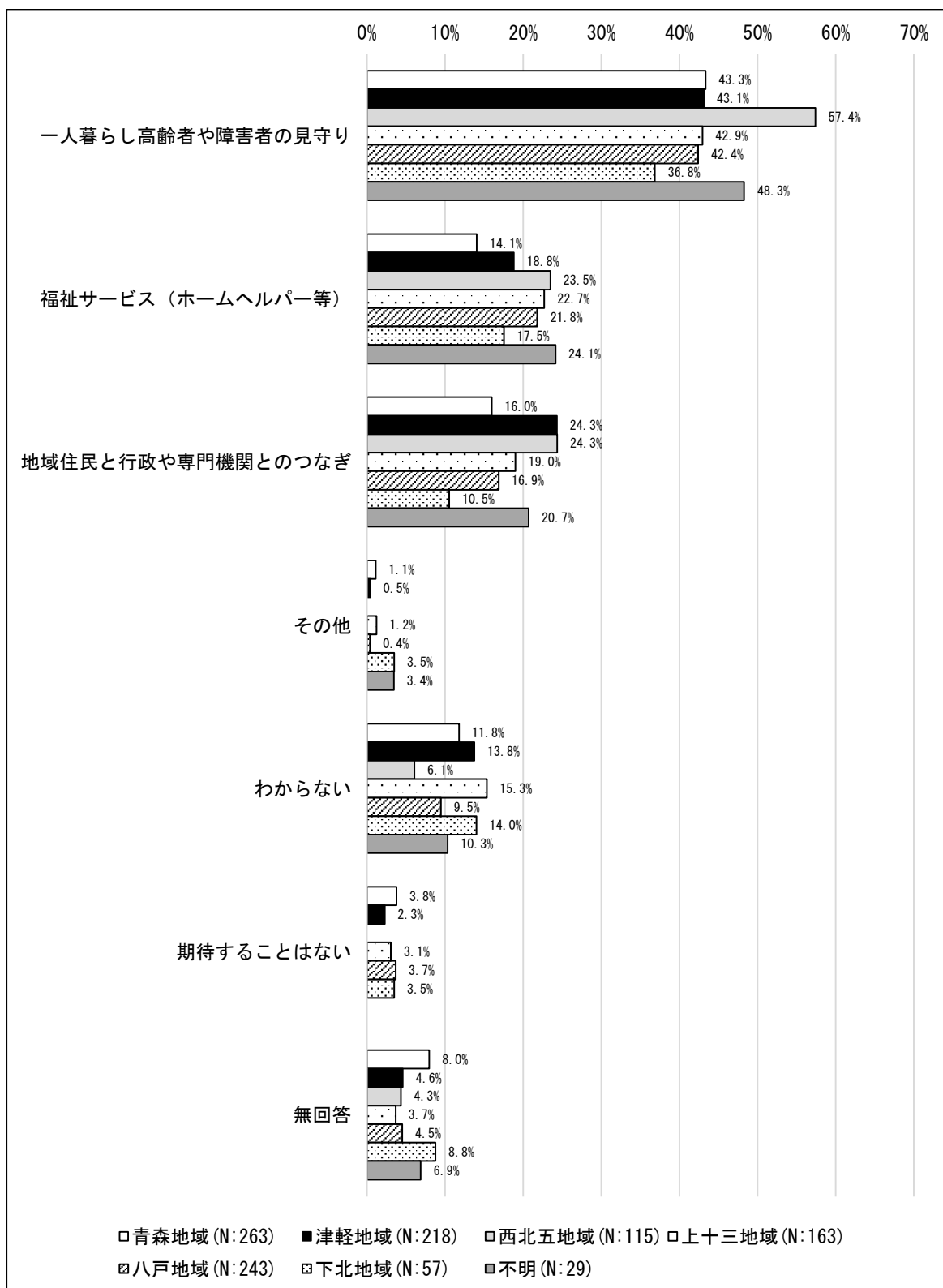




全ての年代で「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が最も大きく、次いで「福祉に関する相談の充実」の順となっている。

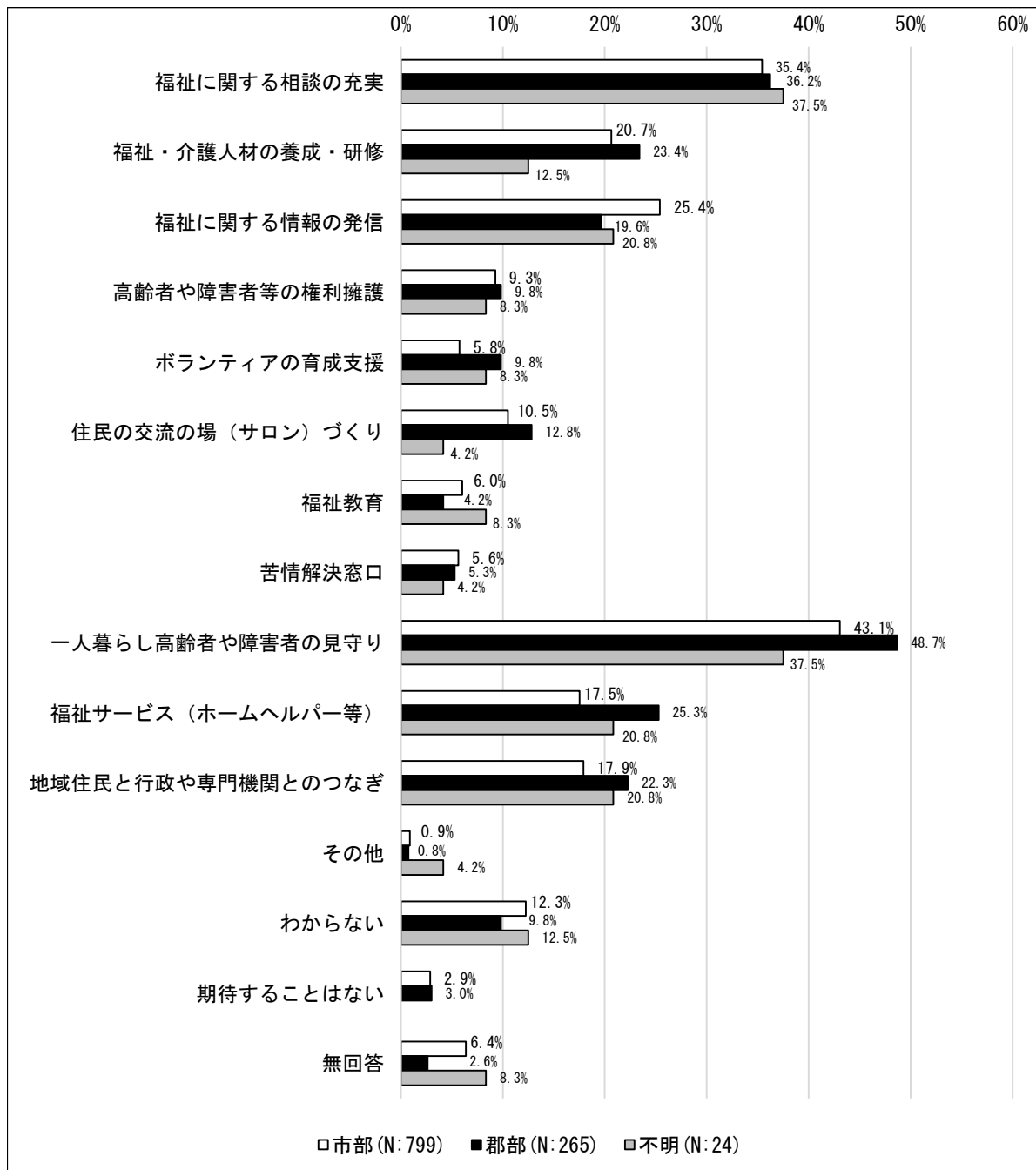
【地域別】





全ての地域で「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が最も大きく、次いで「福祉に関する相談の充実」となっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」、「福祉に関する相談の充実」の順に大きく、次いで市部では「福祉に関する情報の発信」、郡部では「福祉サービス(ホームヘルパー等)」となっている。

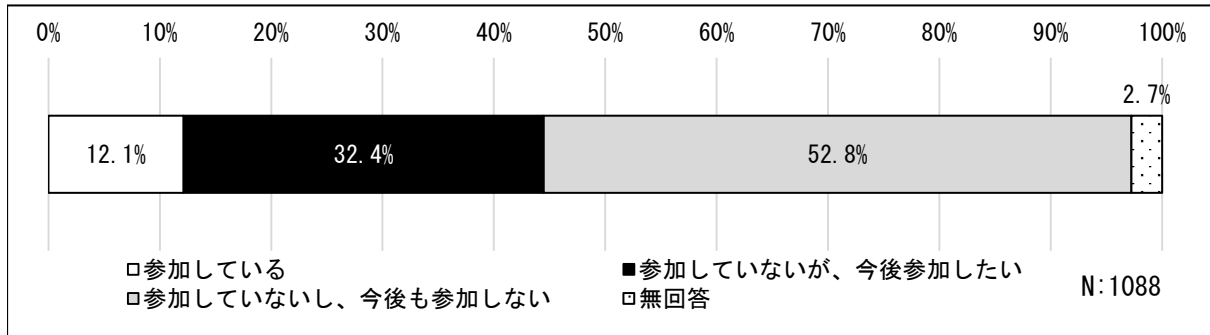
【自由回答より】

- ・もっと事業内容の透明化
- ・職員の質の向上
- ・適正な労働条件が望める雇用の場

<7> ボランティア活動について

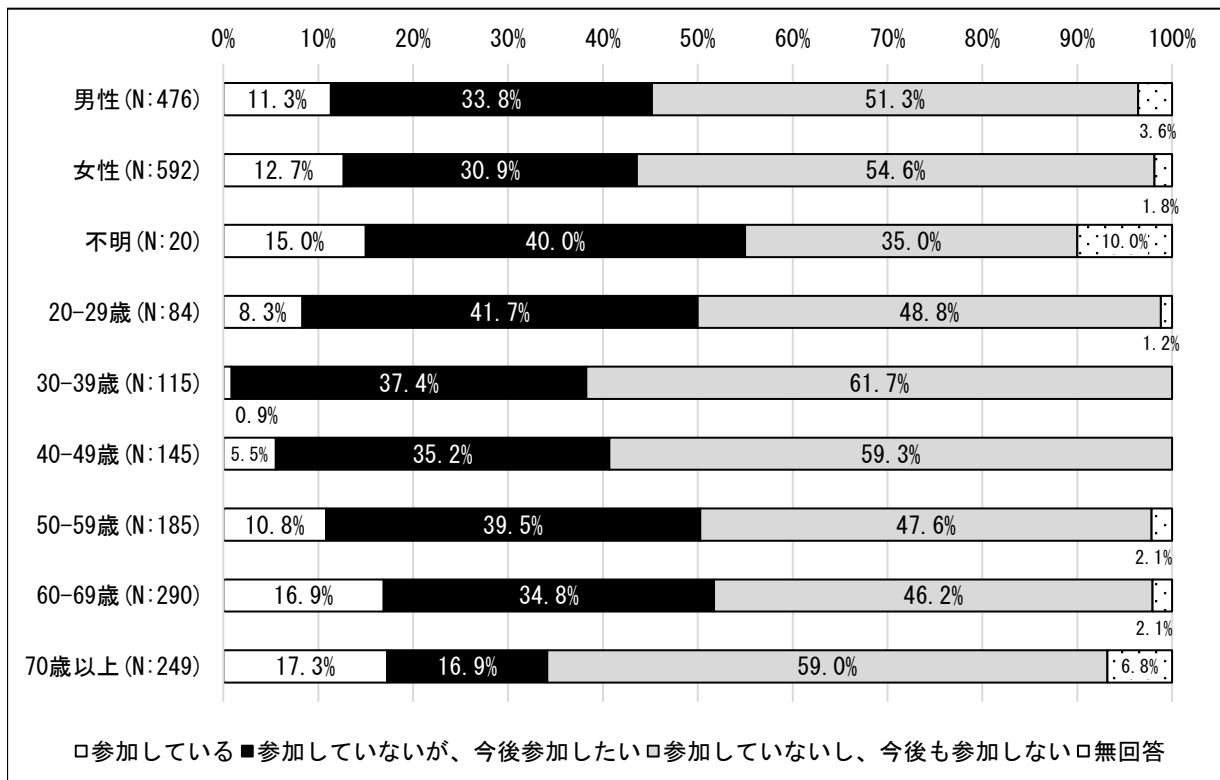
問 26. ボランティアへ参加していますか。（1つ）

・ ボランティアへの参加



「参加している」が12%、「参加していないが、今後参加したい」が32%、「参加していないし、今後も参加しない」が53%となっている。

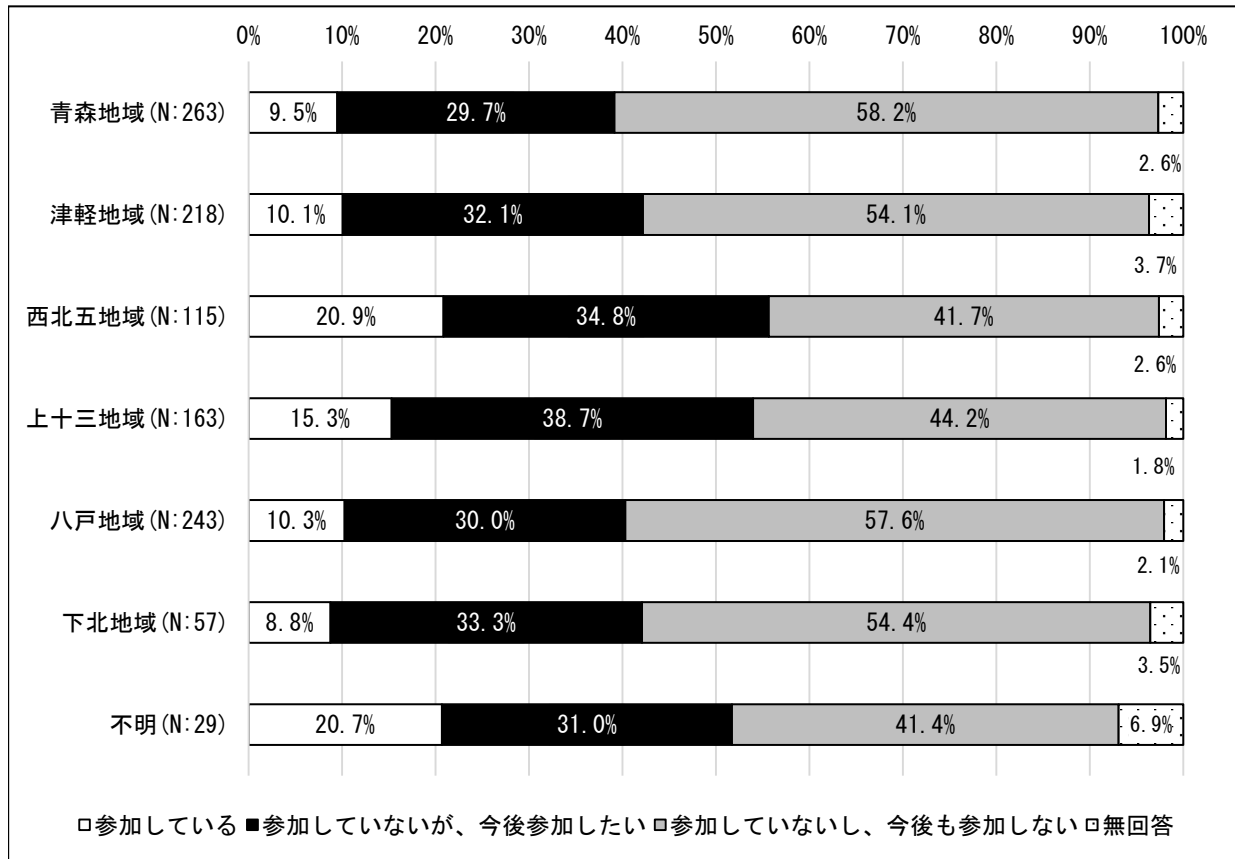
【男女別・年代別】



男女ともに、「参加していないし、今後も参加しない」が「参加している」「参加していないが、今後参加したい」の合計を上回っている。

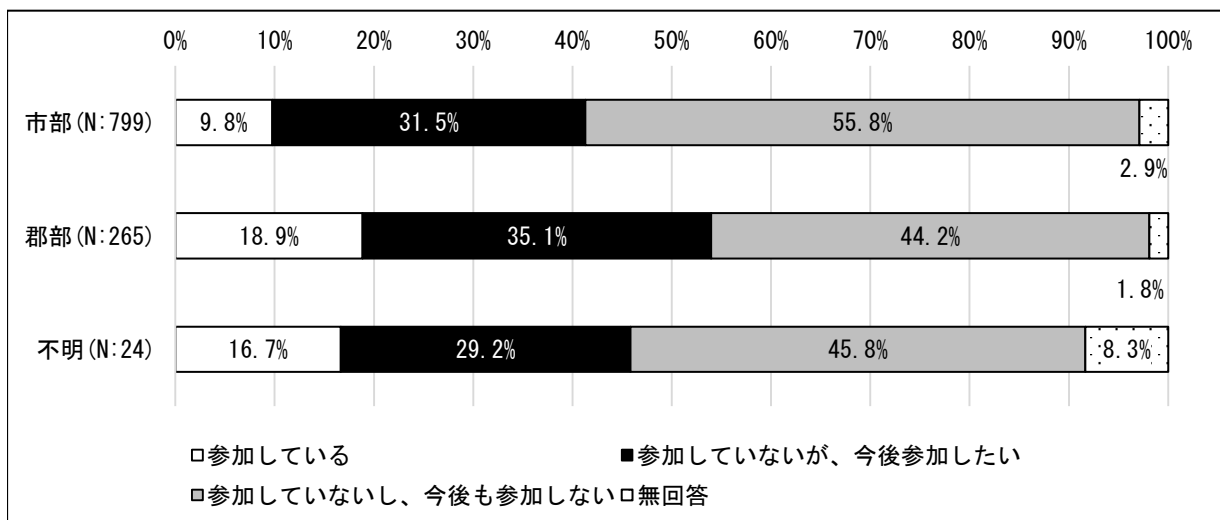
年代別に「参加している」「参加していないが、今後参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、20歳代、50歳代、60歳代では前者が、30歳代、40歳代、70歳以上では後者が、それぞれ大きくなっている。

【地域別】



地域別に「参加している」「参加していないが、参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、西北五地域、上十三地域では前者が、青森地域、津軽地域、八戸地域、下北地域では後者が、それぞれ大きくなっている。

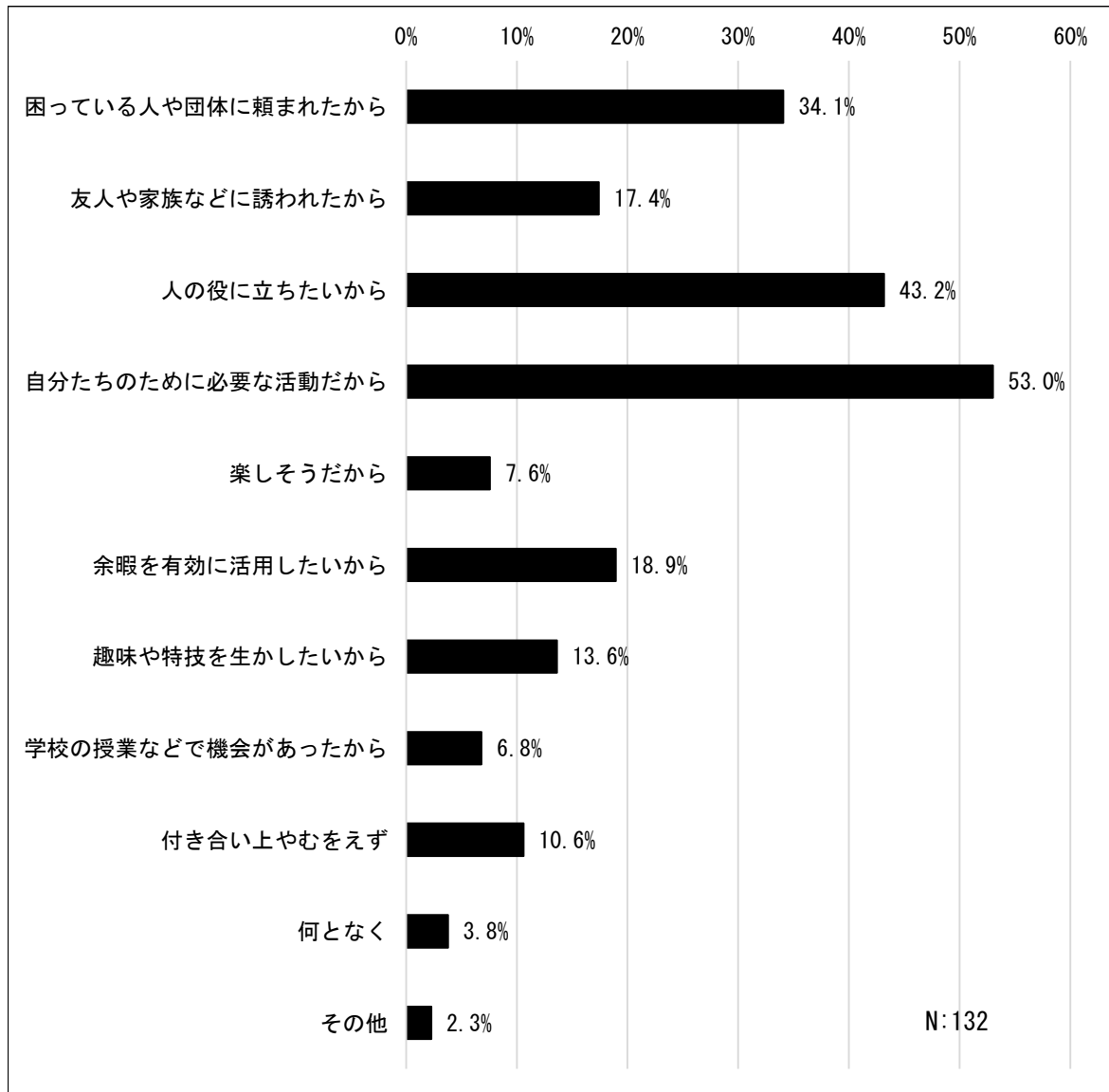
【市部・郡部別】



市部・郡部で「参加している」「参加していないが、参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、郡部では前者が、市部では後者がそれぞれ大きくなっている。

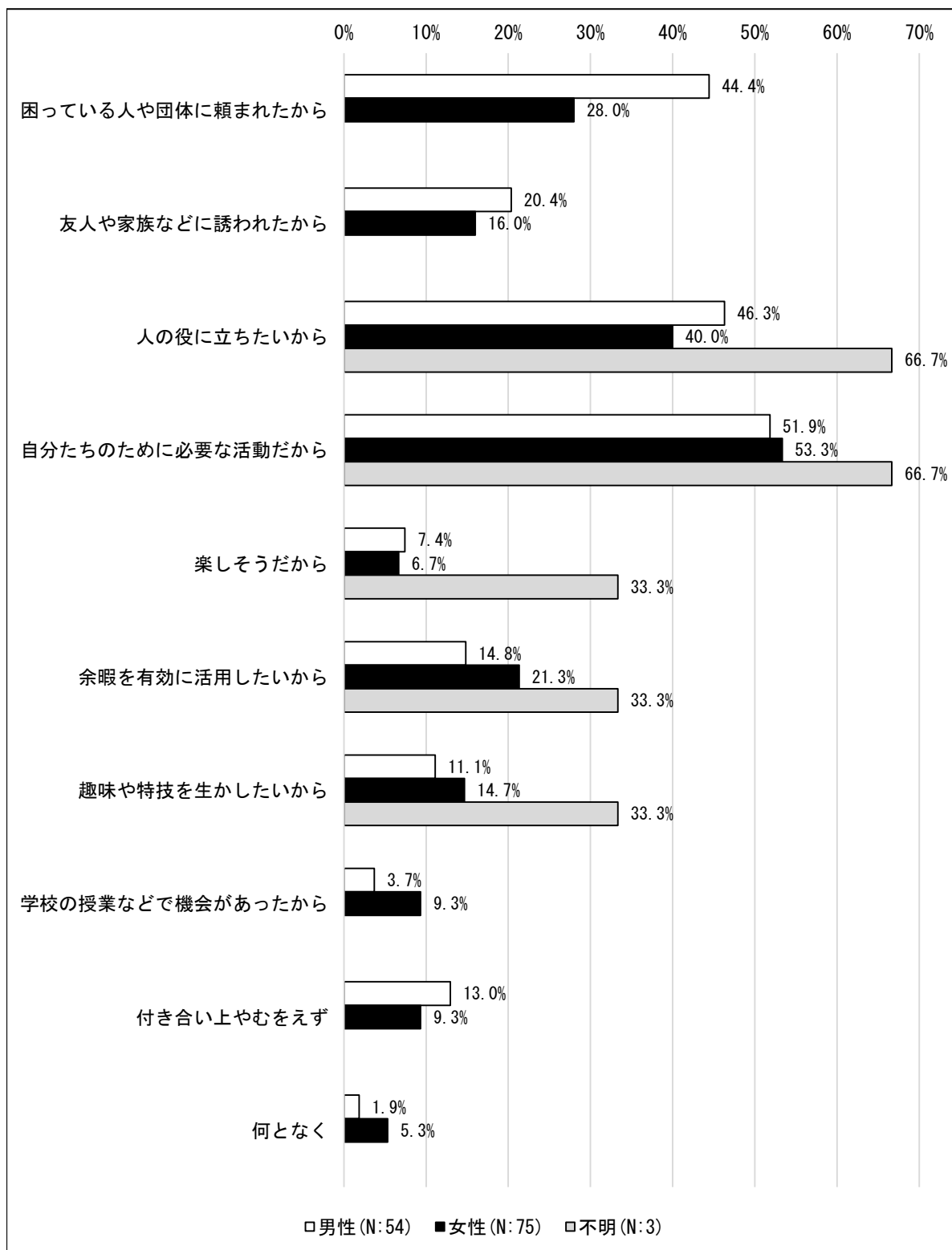
問 26-1. 問 26 で「① 参加している」を選んだ方にお聞きします。参加したきっかけは何ですか。（3つまで）

・ ボランティアへの参加



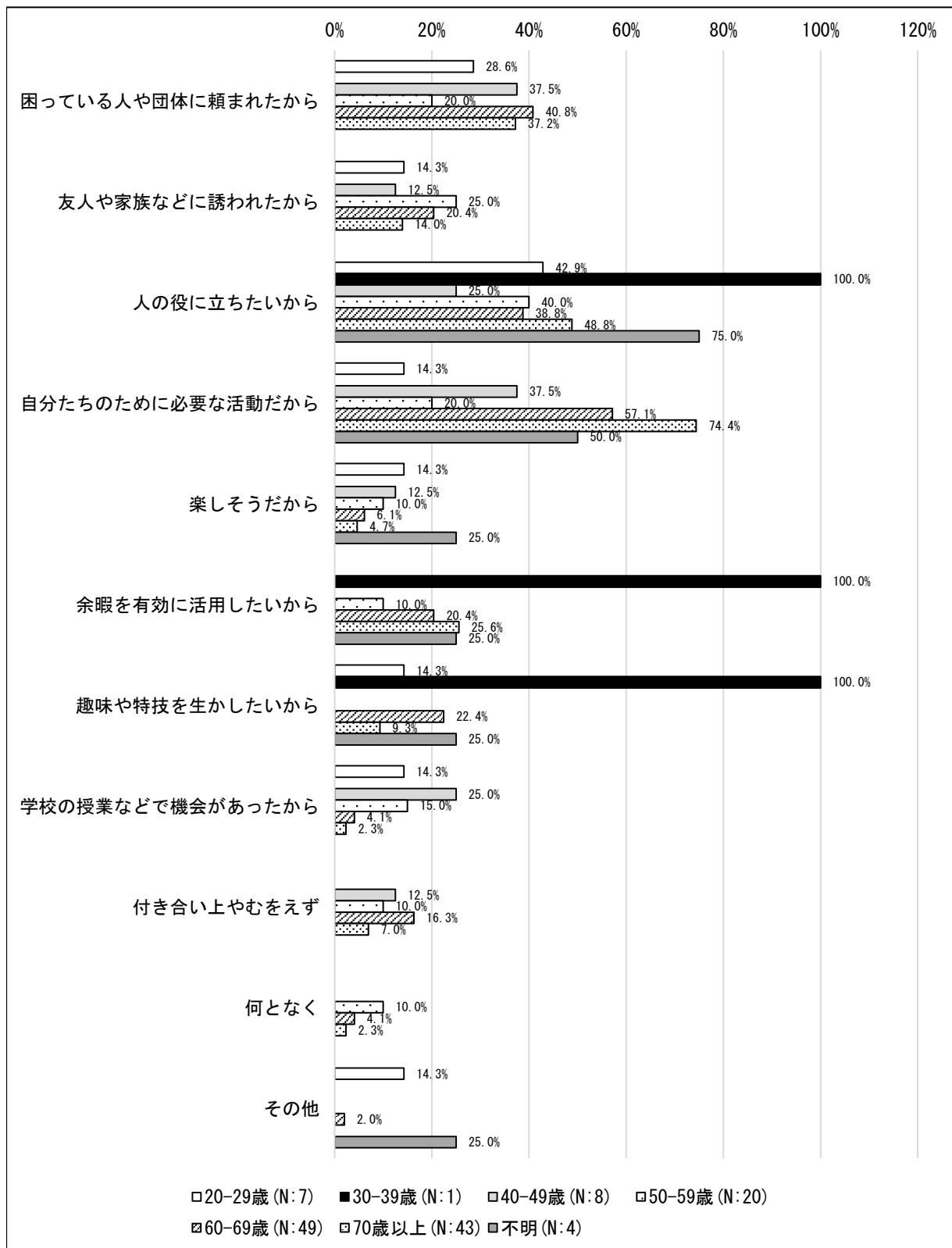
「自分たちのために必要な活動だから」が53%、「人の役に立ちたいから」が43%、「困っている人や団体に頼まれたから」が34%となっている。

【男女別】



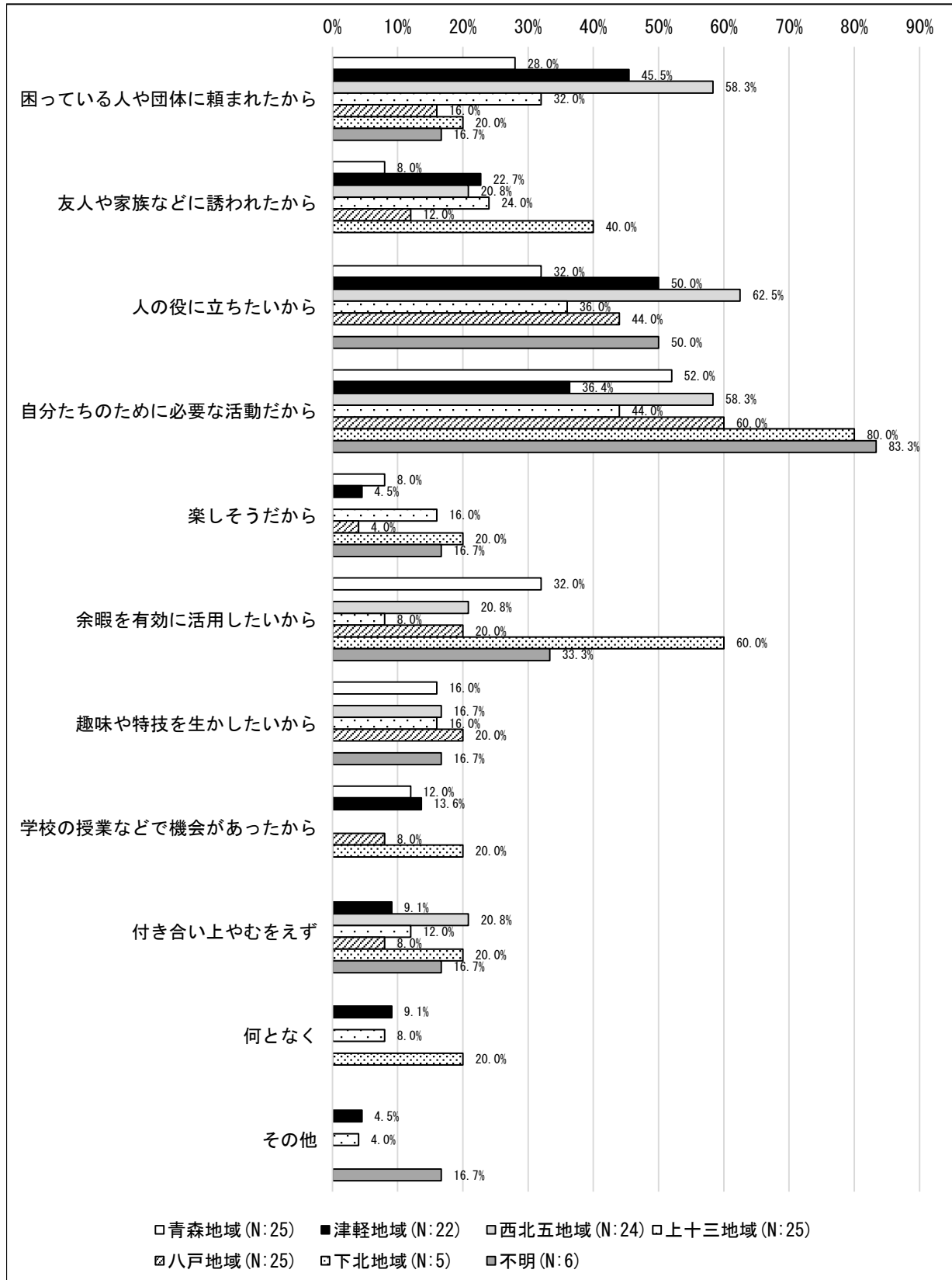
男女ともに「自分たちのために必要な活動だから」が最も大きく、次いで「人の役に立ちたいから」、「困っている人や団体に頼まれたから」の順となっている。

【年代別】



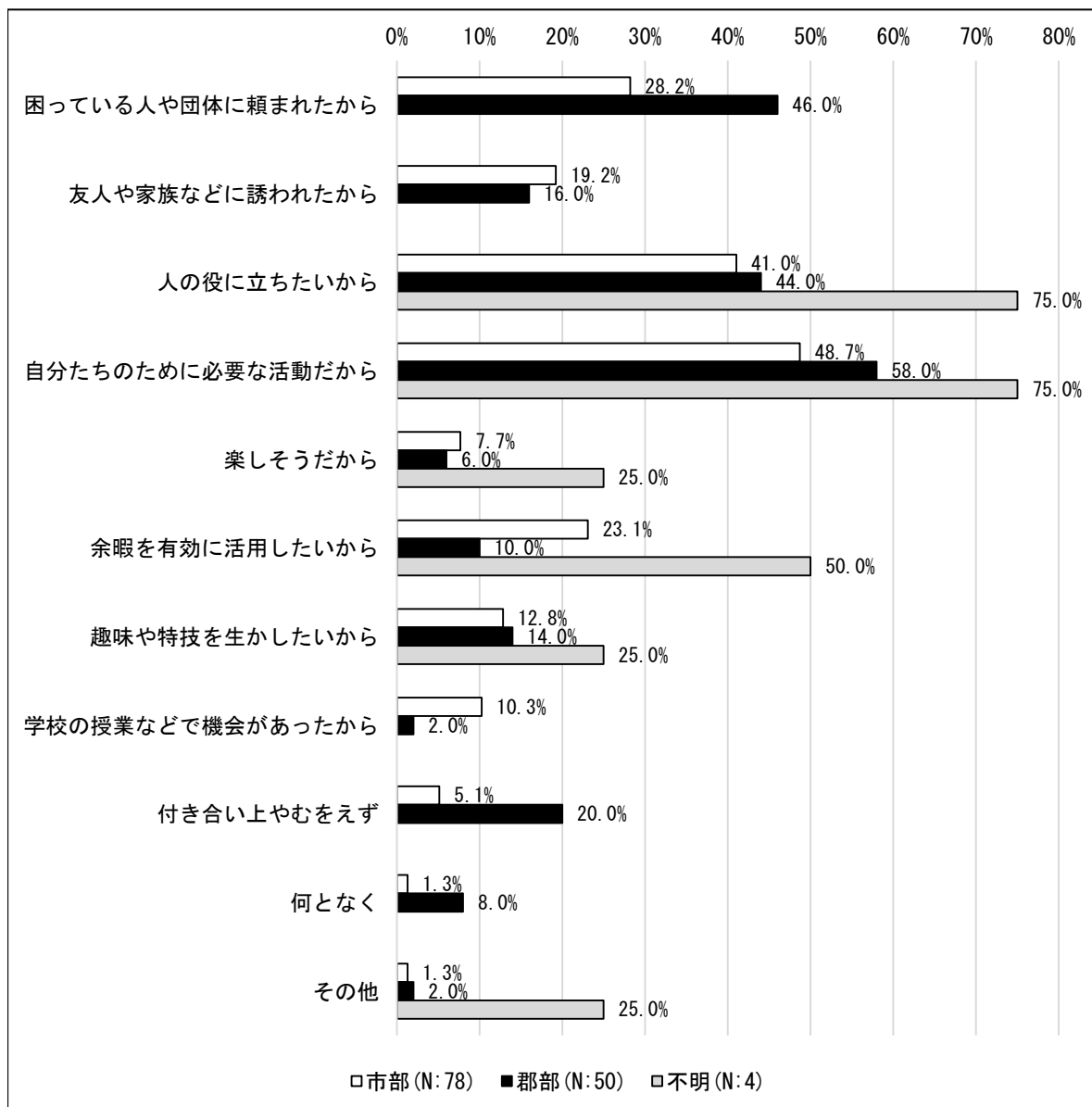
20歳代、50歳代では「人の役に立ちたいから」が、60歳代以上では「自分たちのために必要な活動だから」がそれぞれ最も大きくなっている。30歳代では「人の役に立ちたいから」、「余暇を有効に活用したいから」、「趣味や特技を生かしたいから」が、40歳代では「困っている人や団体に頼まれたから」、「自分たちのために必要な活動だから」がそれぞれ同率で最も大きくなっている。

【地域別】



津軽地域、西北五地域では「人の役に立ちたいから」が、他の地域では「自分たちのために必要な活動だから」がそれぞれ最も大きくなっている。

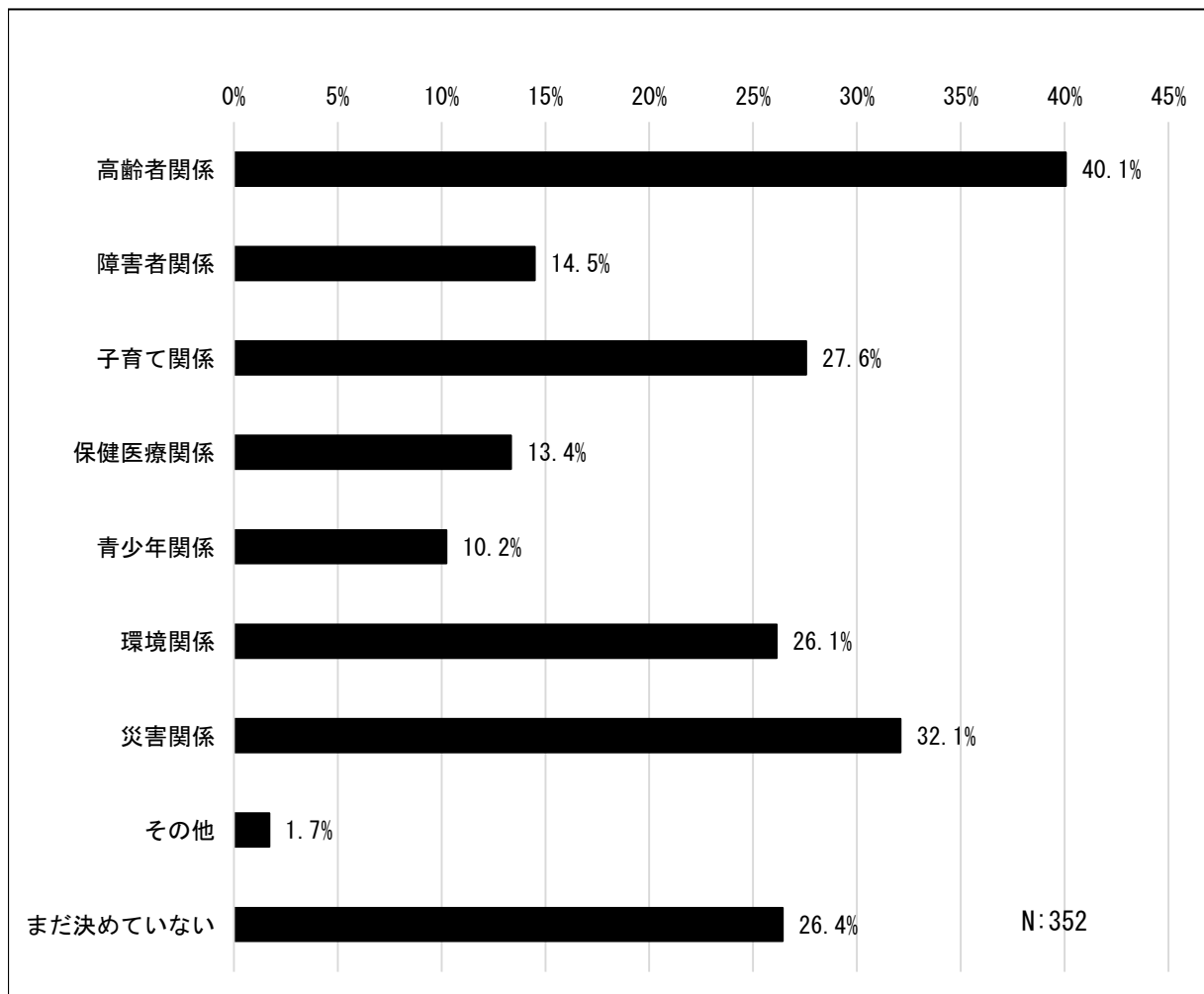
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「自分たちのために必要な活動だから」が最も大きく、次いで市部では「人の役に立ちたいから」、「困っている人や団体に頼まれたから」の順に、郡部では「困っている人や団体に頼まれたから」、「人の役に立ちたいから」の順になっている。

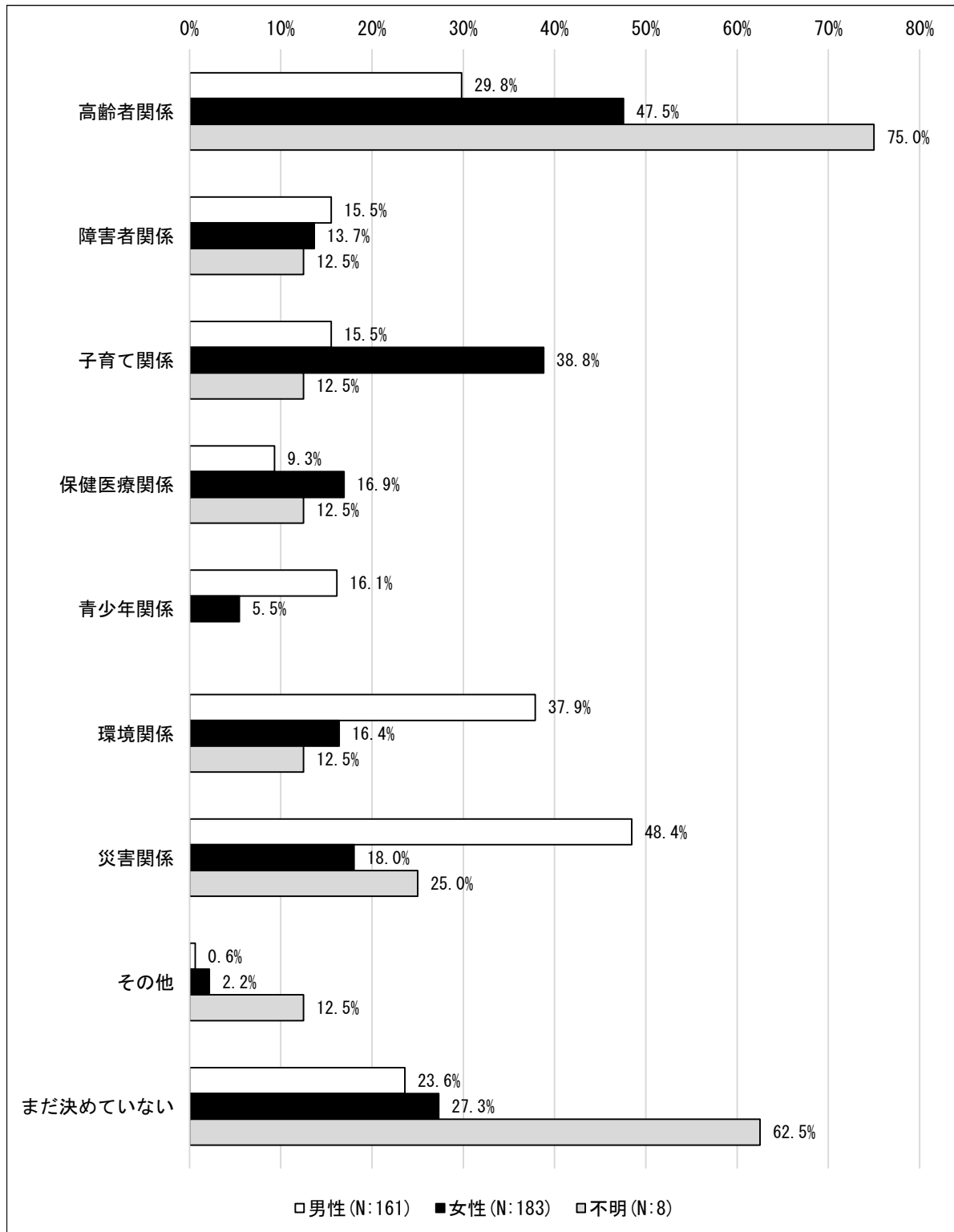
問 26-2. 問 26 で「① 参加している」「② 参加していないが、今後参加したい」を選んだ方にお聞きします。どのような分野のボランティアに参加していますか。あるいは今後参加したいですか。（2つまで）

・ ボランティアへの参加、または今後の参加



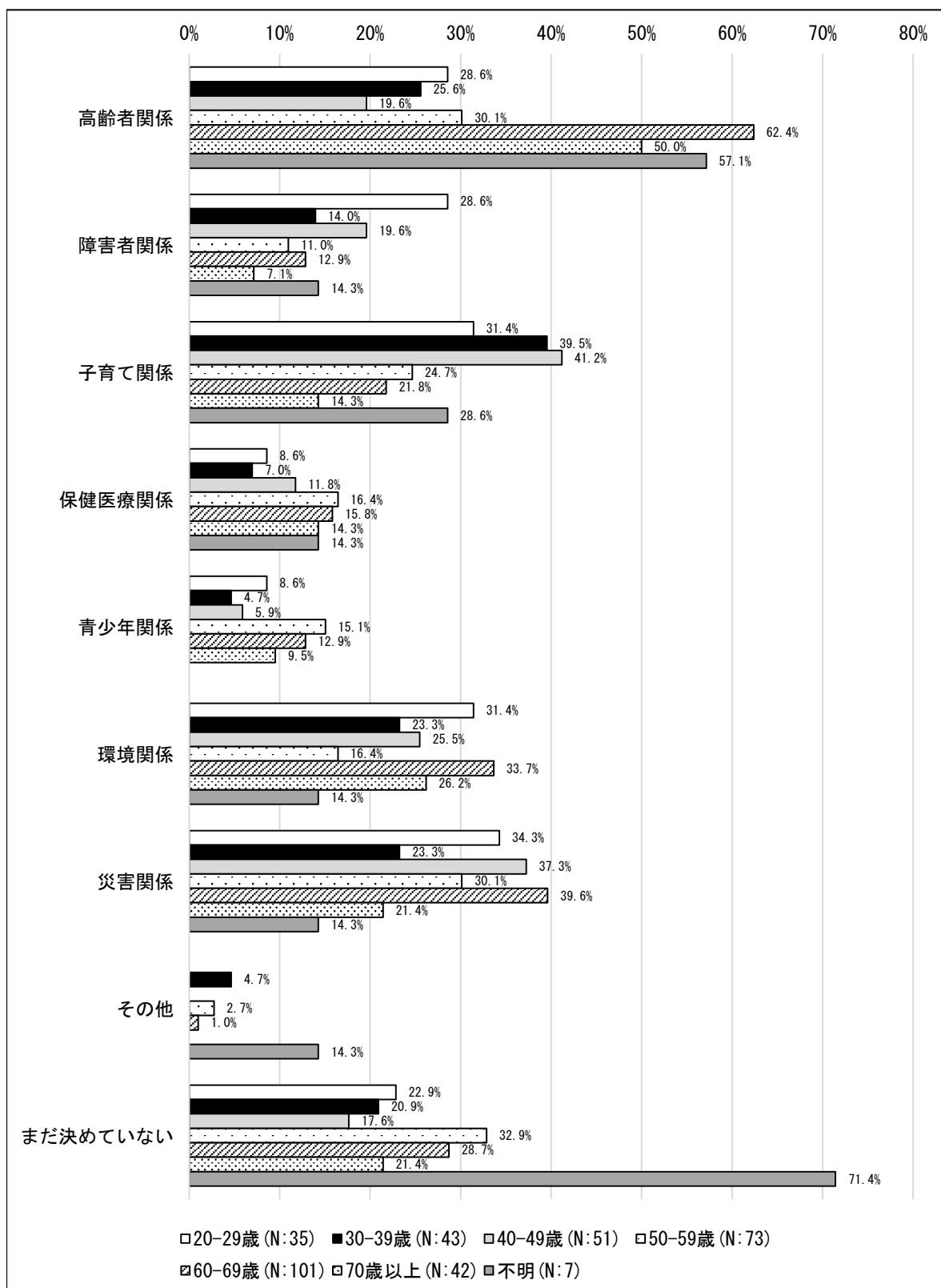
「高齢者関係」が最も大きく、次いで「災害関係」「子育て関係」「環境関係」の順となっている。

【男女別】



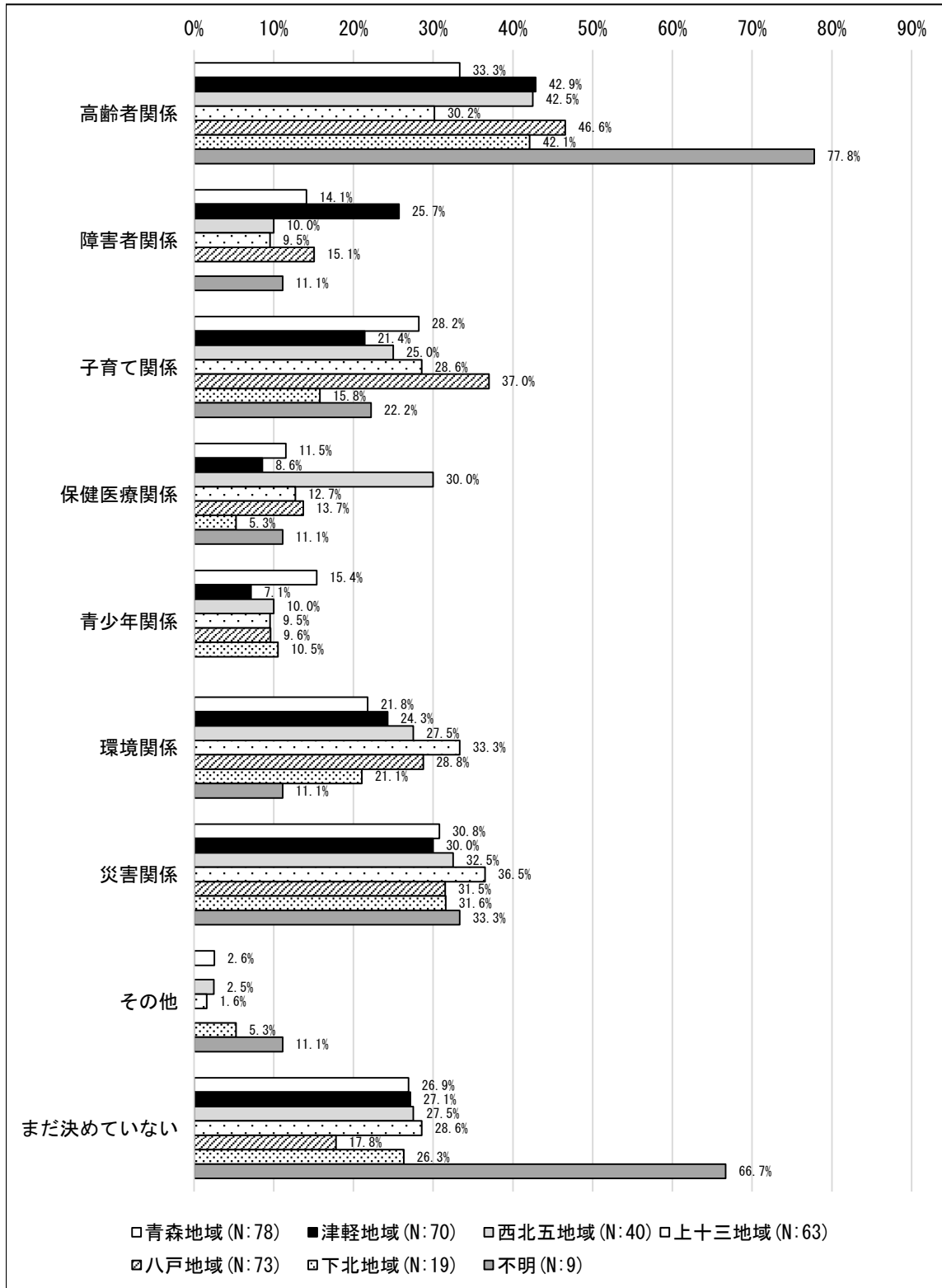
男性では、「災害関係」が最も大きく、次いで「環境関係」、「高齢者関係」の順となっている。女性では、「高齢者関係」が最も大きく、次いで「子育て関係」、「まだ決めていない」の順となっている。

【年代別】



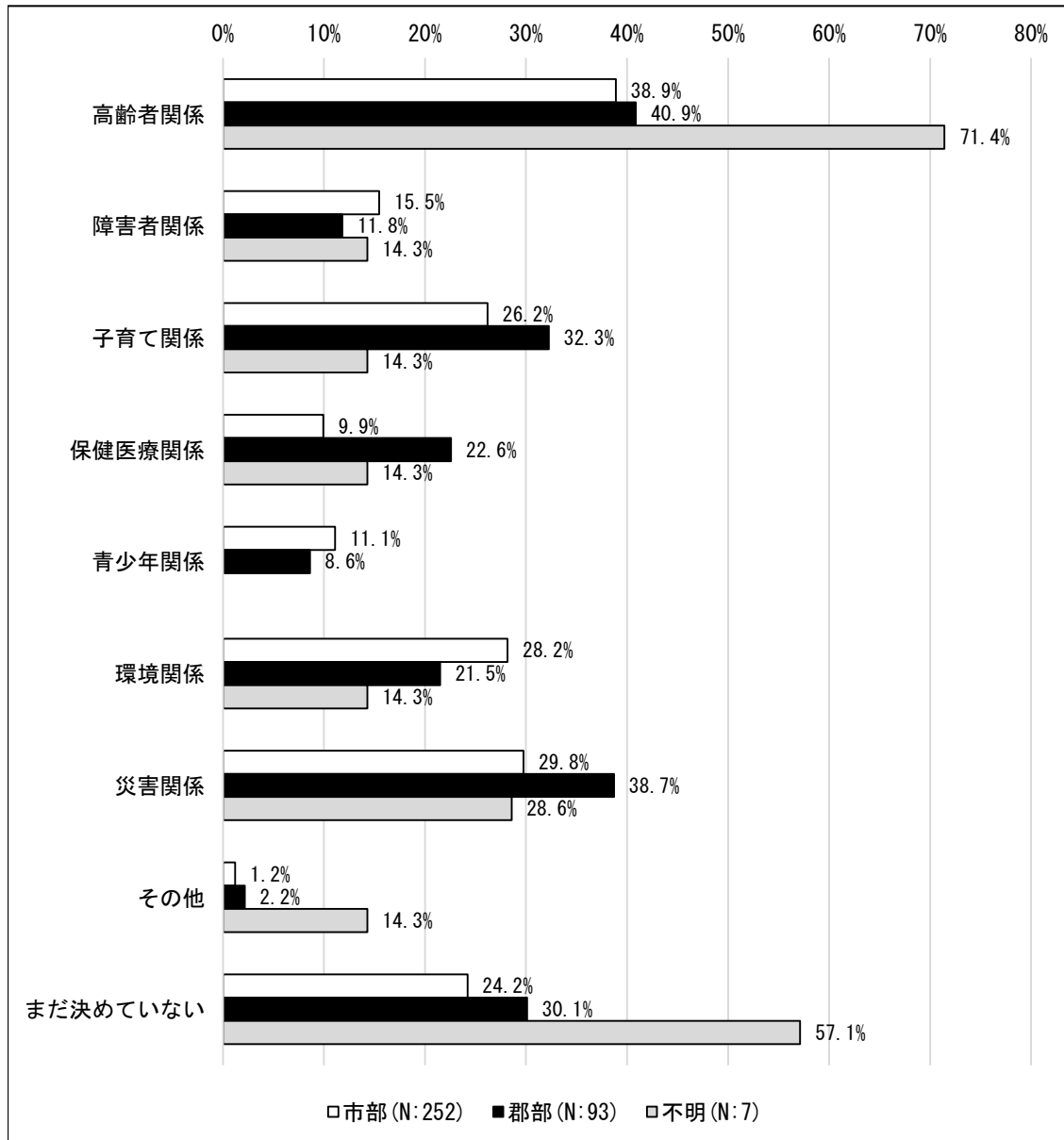
20歳代では「災害関係」が、30歳代、40歳代では「子育て関係」が、50歳代では「まだ決めていない」が、60歳代以上では「高齢者関係」がそれぞれ最も大きくなっている。

【地域別】



上十三地域では「災害関係」が、他の地域では「高齢者関係」が最も大きくなっている。津軽地域では「障害者関係」が、西北五地域では「保健医療関係」の割合が、それぞれ他の地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



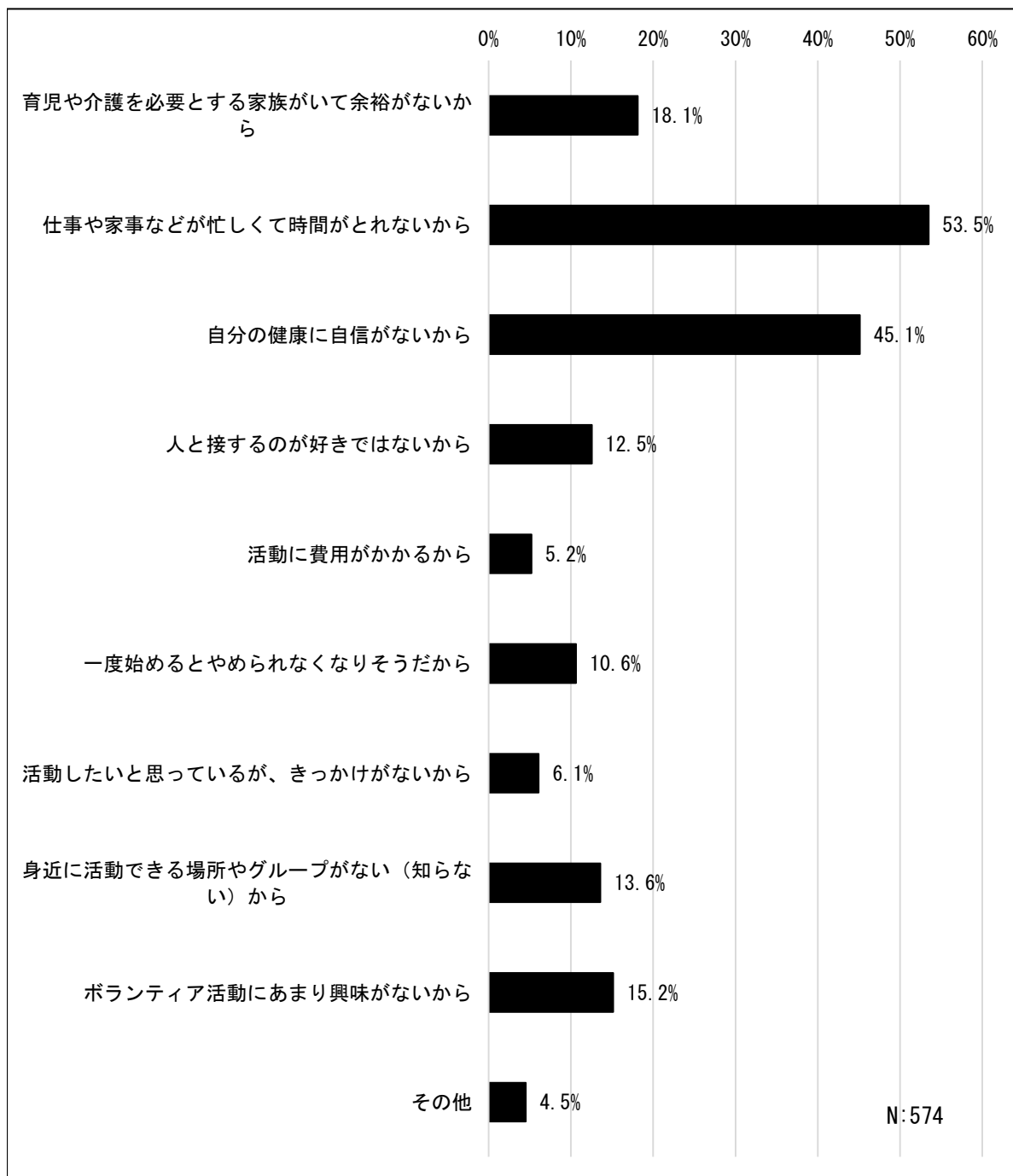
市部・郡部ともに、「高齢者関係」、「災害関係」の順に大きく、次いで市部では「環境関係」、郡部では「子育て関係」となっている。

【自由回答より】

- ・国際交流
- ・学校の部活動

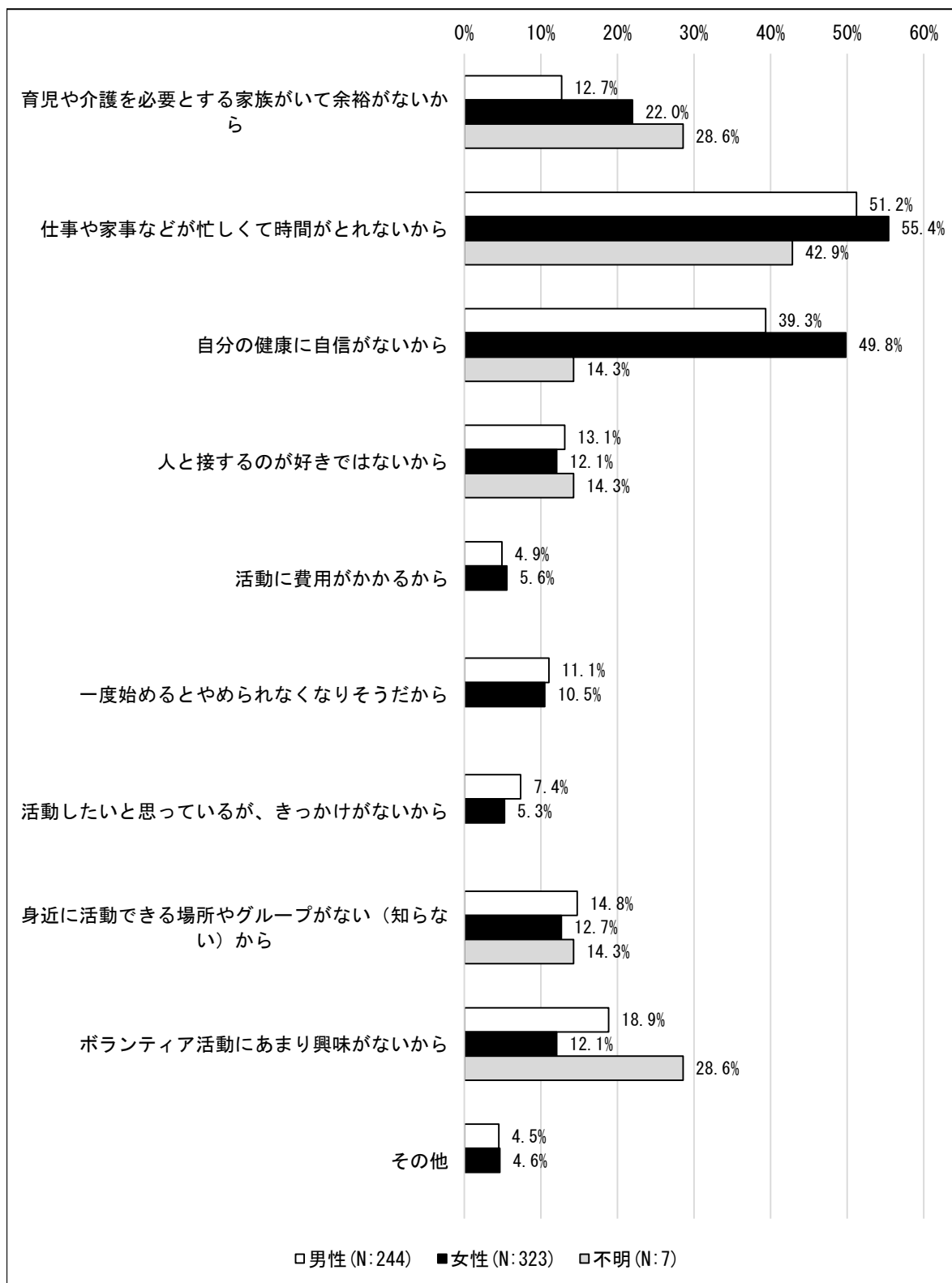
問 26-3. 問 26 で「③ 参加していないし、今後も参加しない」を選んだ方にお聞きします。それはなぜですか。（3つまで。）

・ ボランティアに参加しない理由



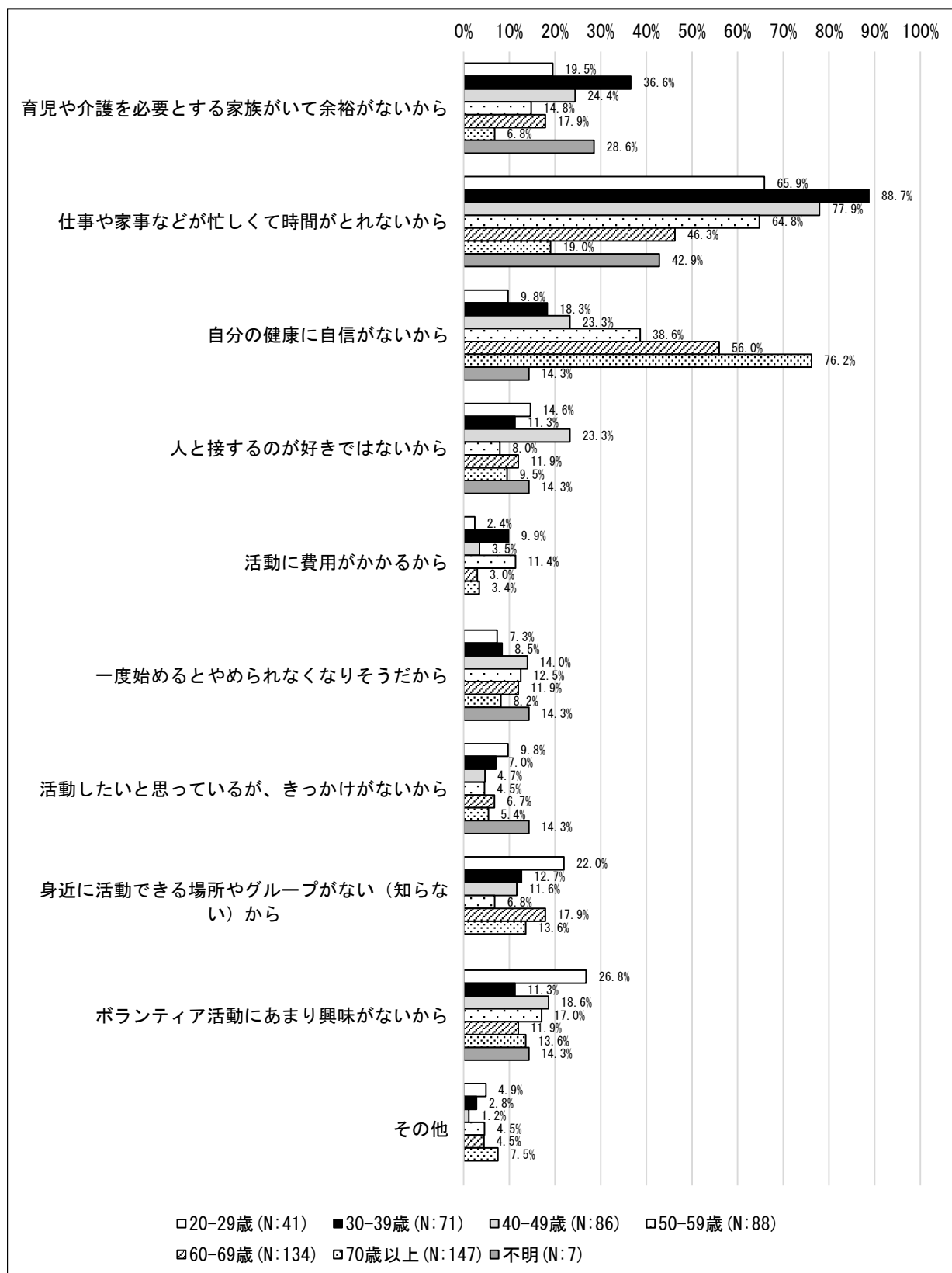
「仕事や家事などが忙しくて時間がとれないから」が 54%、「自分の健康に自信がないから」が 45%、「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」が 18%となっている。

【男女別】



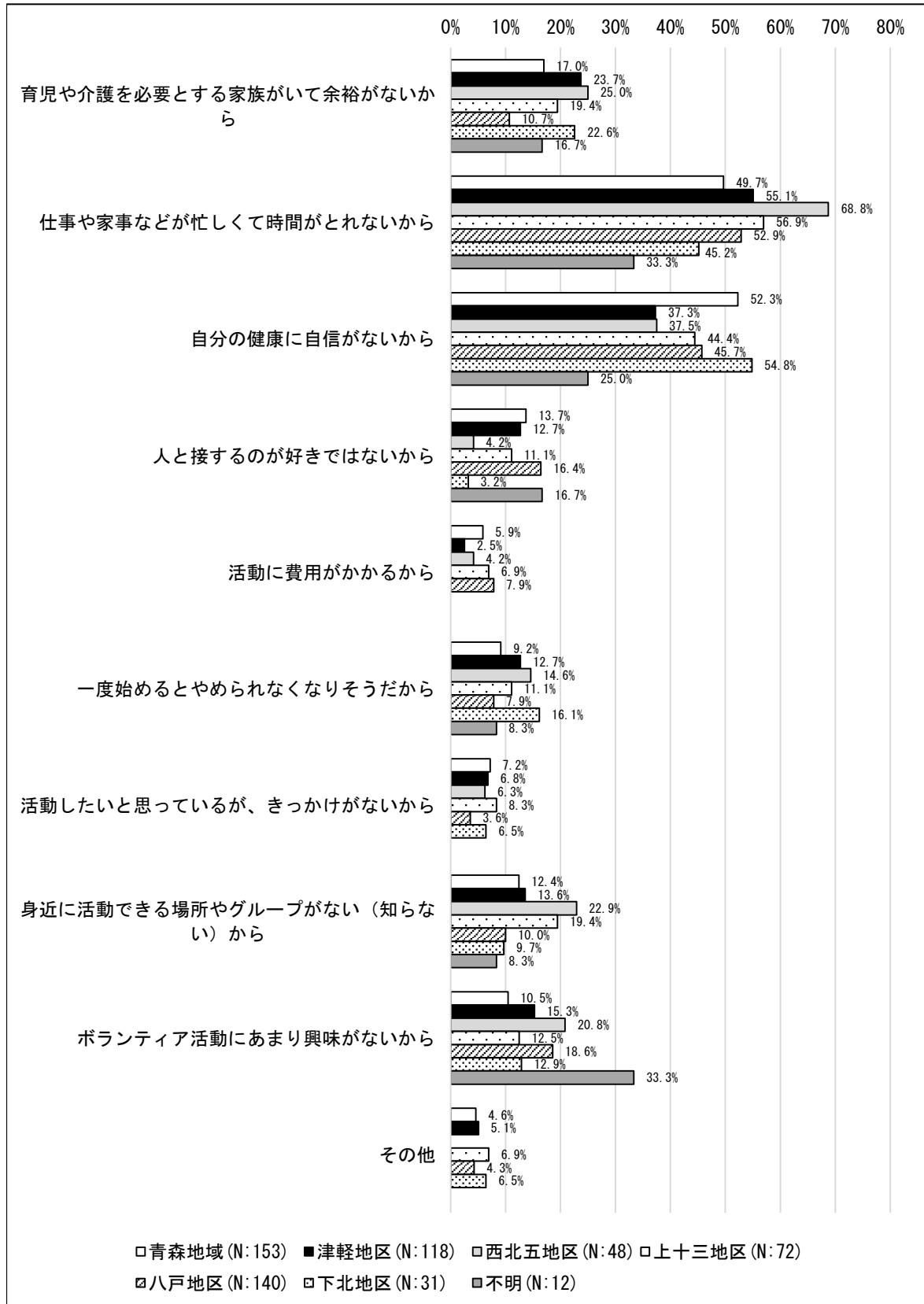
男女ともに「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」、「自分の健康に自信がないから」の順に大きく、次いで男性では「ボランティア活動にあまり興味がないから」、女性では「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」となっている。

【年代別】



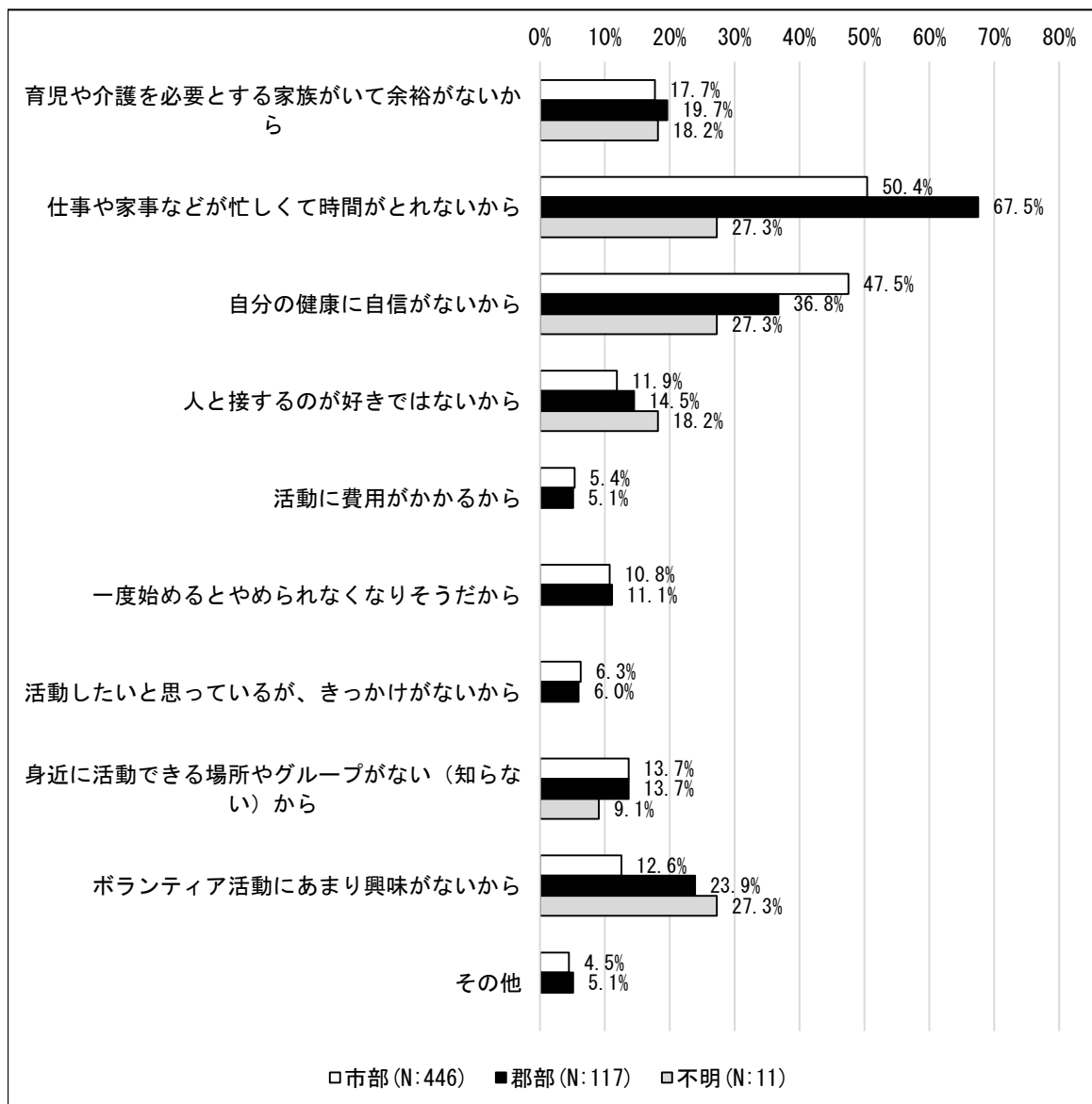
50歳代以下では「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」が、60歳代以上では「自分の健康に自信がないから」がそれぞれ最も大きくなっている。30歳代では「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



青森地域、下北地域では「自分の健康に自信がないから」が、他の地域では「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」がそれぞれ最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



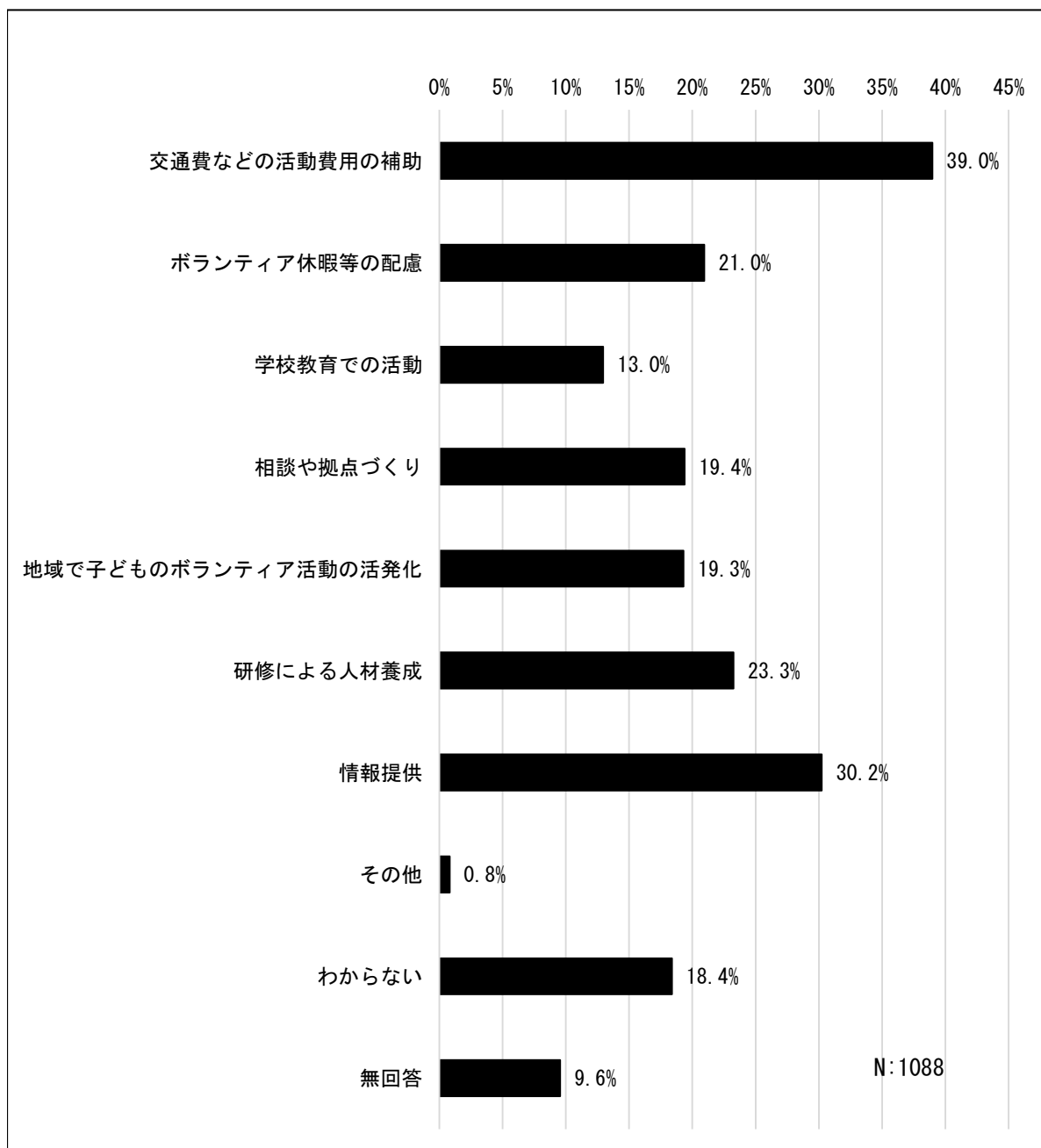
市部・郡部ともに「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」、「自分の健康に自信がないから」の順に大きく、次いで市部では「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」、郡部では「ボランティア活動にあまり興味がないから」となっている。

【自由回答より】

- ・職場で高齢者に対する支援のような活動をやっているため
- ・地域のことをあまり知らないので自信がない

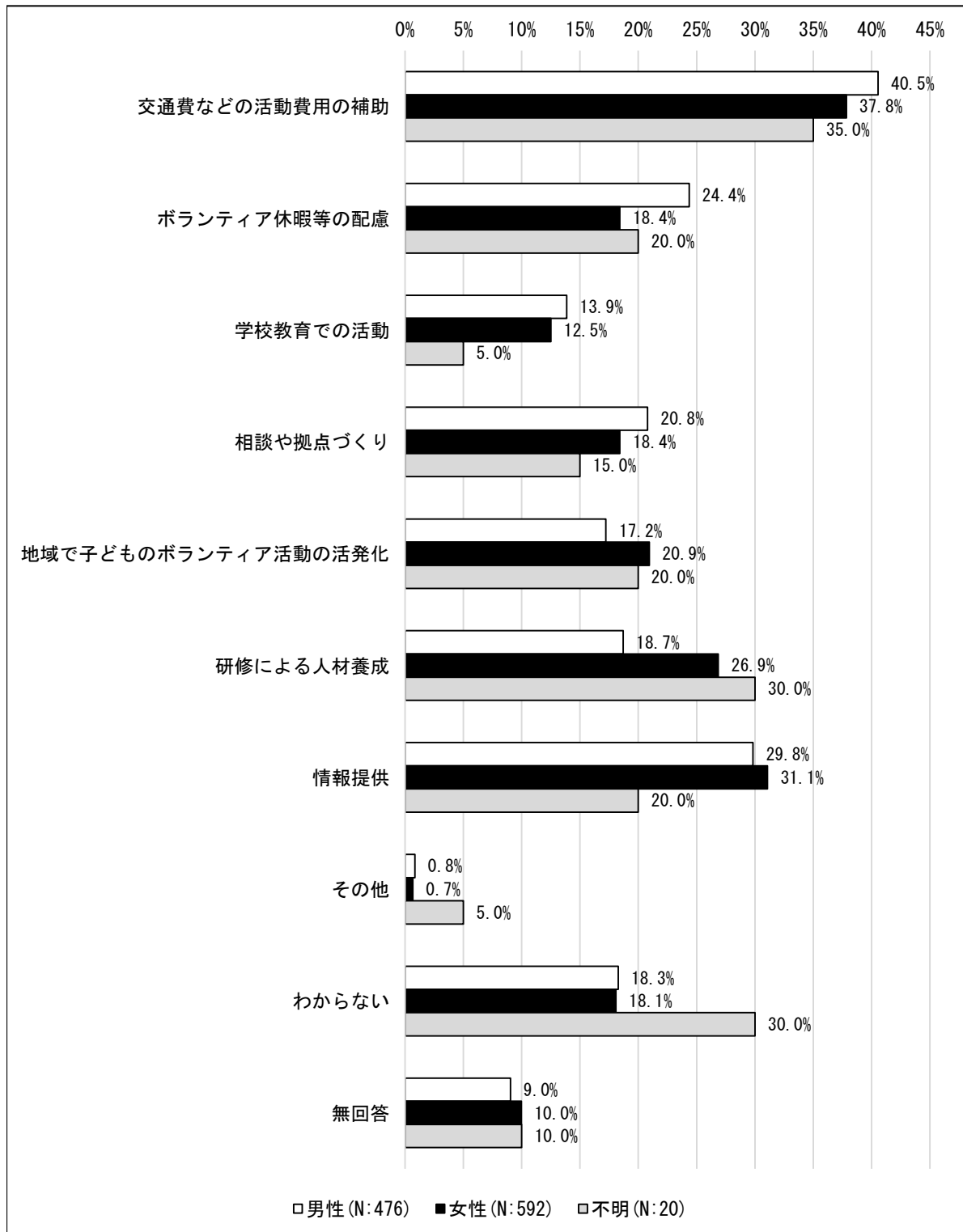
問 27. ボランティアに取り組むために必要なことを選んでください。(3つまで)

・ボランティアへの取り組み



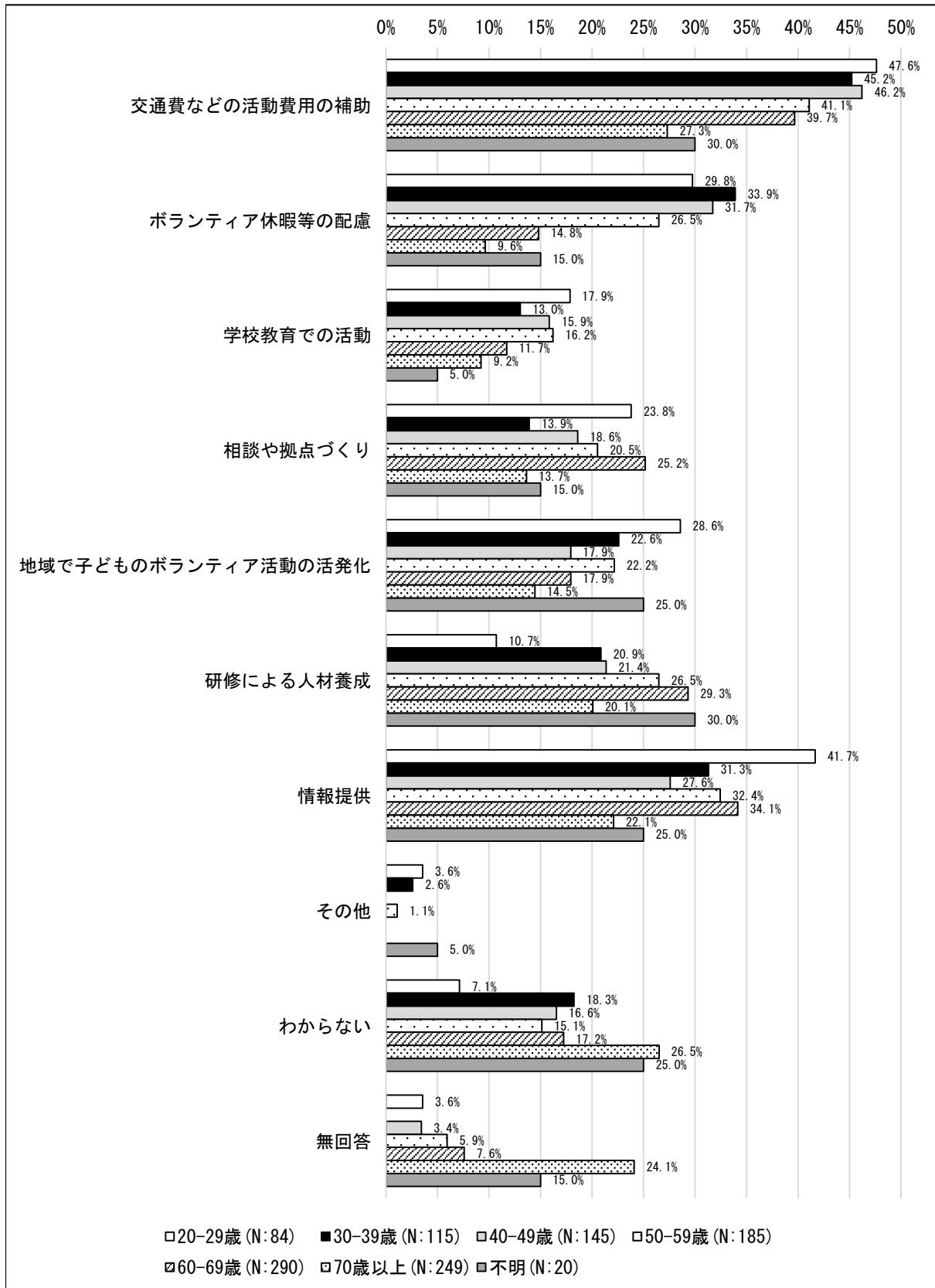
「交通費などの活動費用の補助」が39%、「情報提供」が30%、「研修による人材養成」が23%となっている。

【男女別】



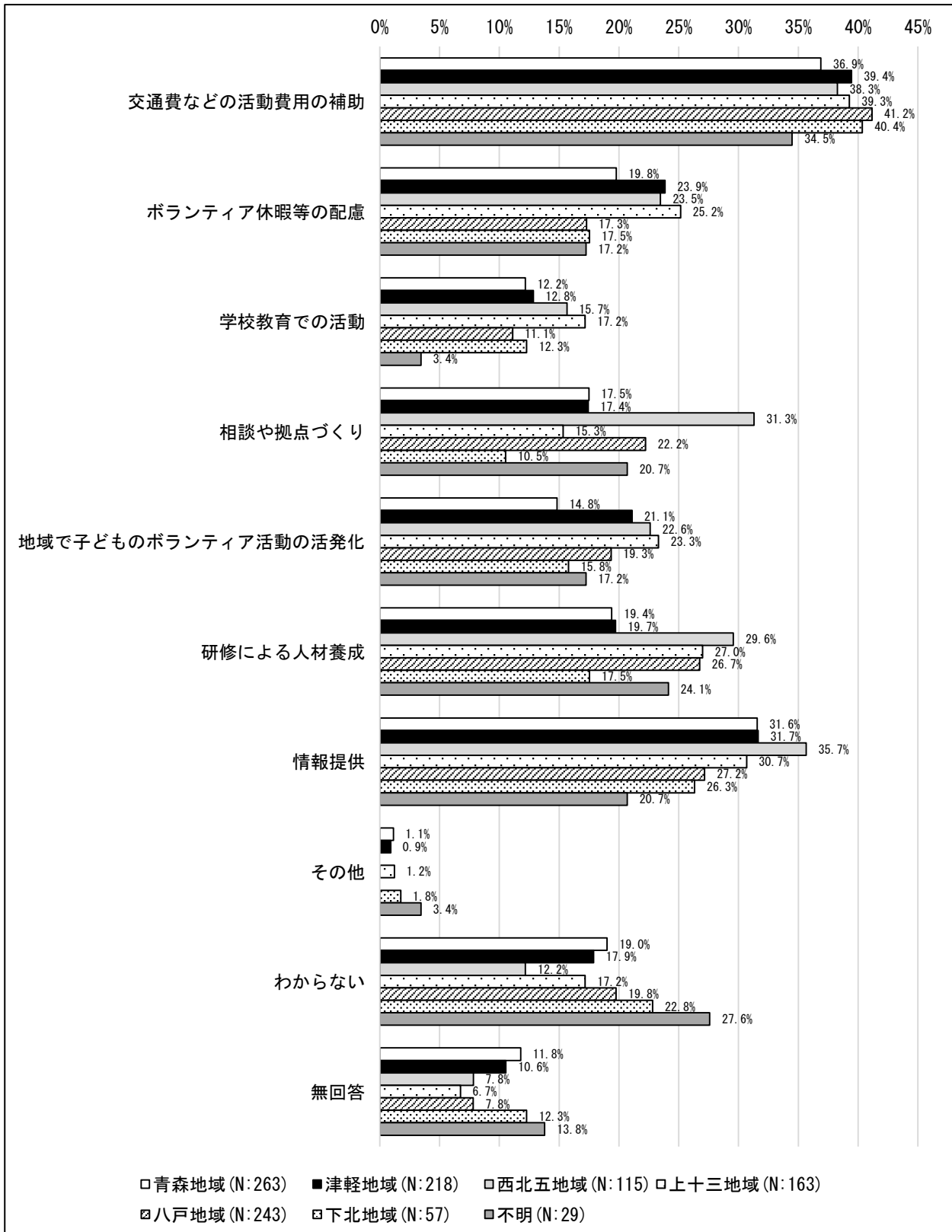
男女ともに「交通費などの活動費用の補助」、「情報提供」の順に大きく、次いで男性では「ボランティア休暇等の配慮」、女性では「研修による人材育成」となっている。

【年代別】



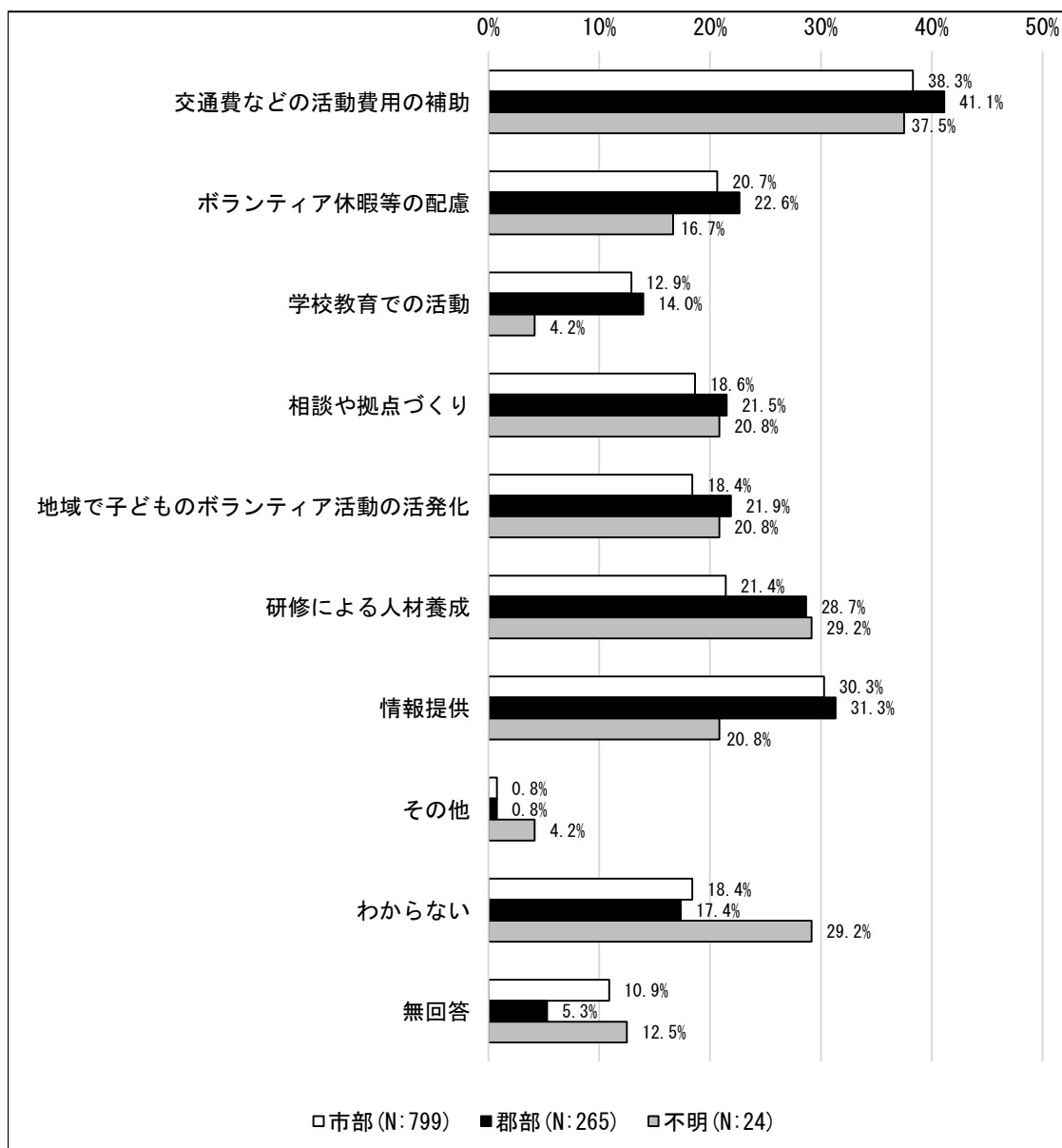
全ての年代で「交通費などの活動費用の補助」が最も大きく、次いで20歳代、50歳代以上では「情報提供」、30歳代、40歳代では「ボランティア休暇等の配慮」の順となっている。

【地域別】



全ての地域で「交通費などの活動費用の補助」、「情報提供」の順に大きく、次いで青森地域、津軽地域では「ボランティア休暇等の配慮」、西北五地域では「相談や拠点づくり」、上十三地域、八戸地域では「研修による人材育成」となっており、下北地域では「ボランティア休暇等の配慮」、「研修による人材育成」が同率となっている。

【市部・郡部別】



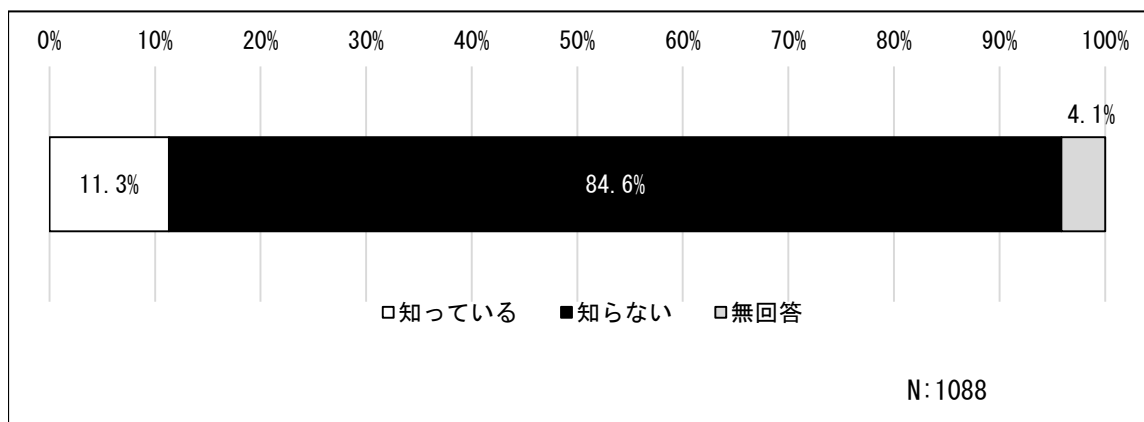
市部・郡部ともに「交通費などの活動費用の補助」が最も大きく、次いで「情報提供」、「研修による人材養成」の順となっている。

【自由回答より】

- ・家庭に余裕があり経済的にも余裕のある人がするものだと思っている
- ・明確な動機が必要だと思う

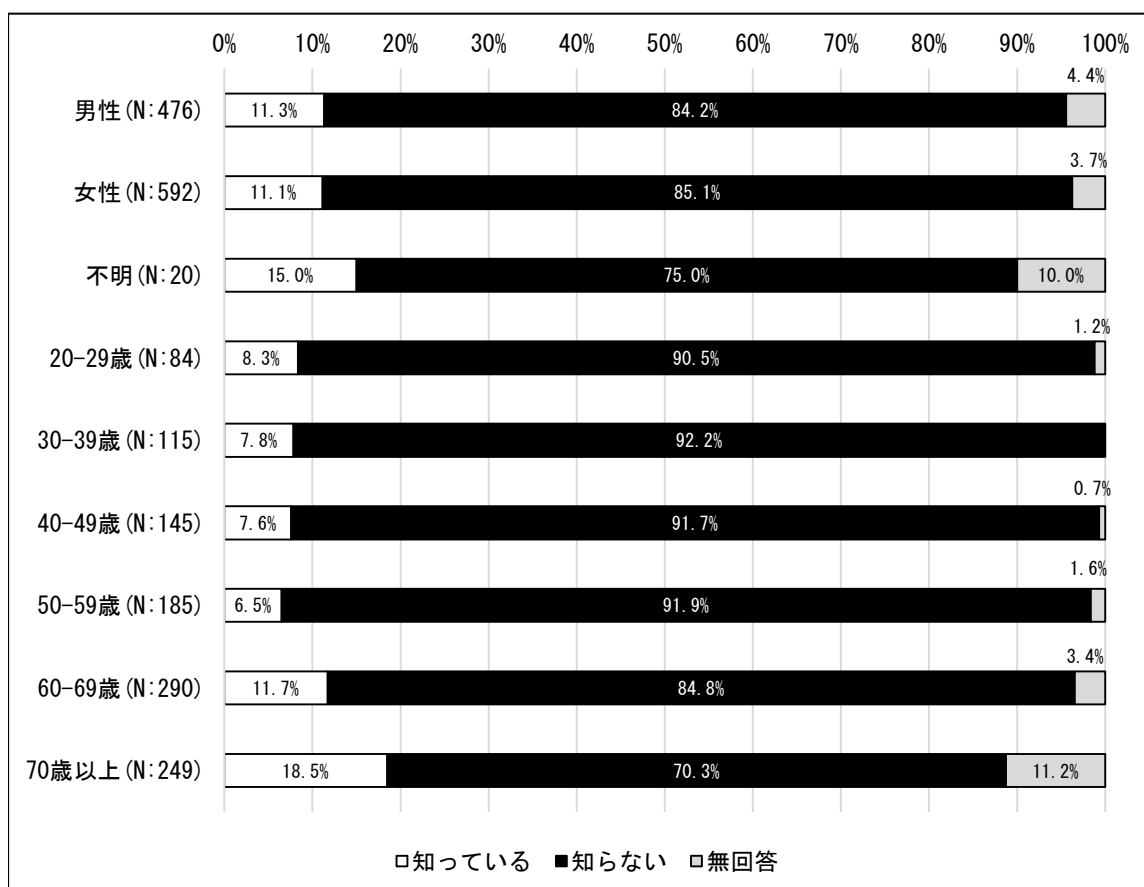
問 28. 各市町村にあるボランティアセンターのを知っていますか。(1つ)

・市町村にあるボランティアセンター



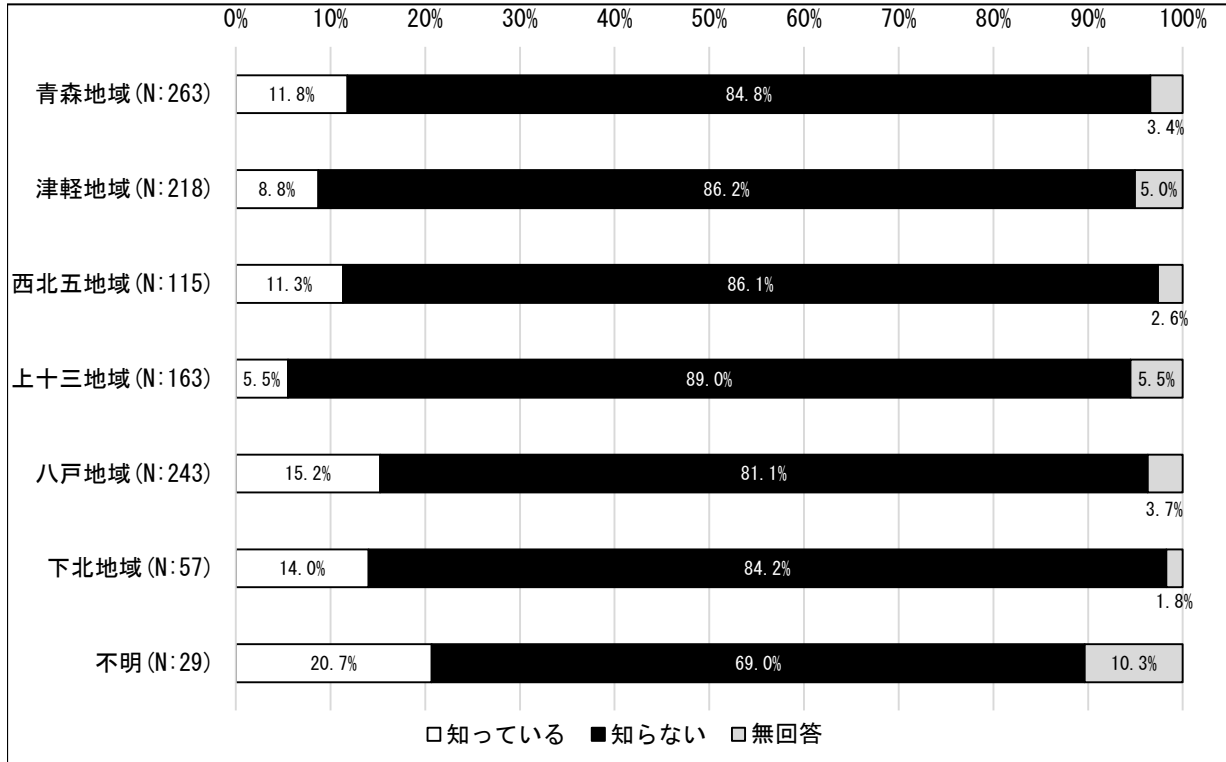
「知っている」が11%、「知らない」が85%となっている。

【男女別・年代別】



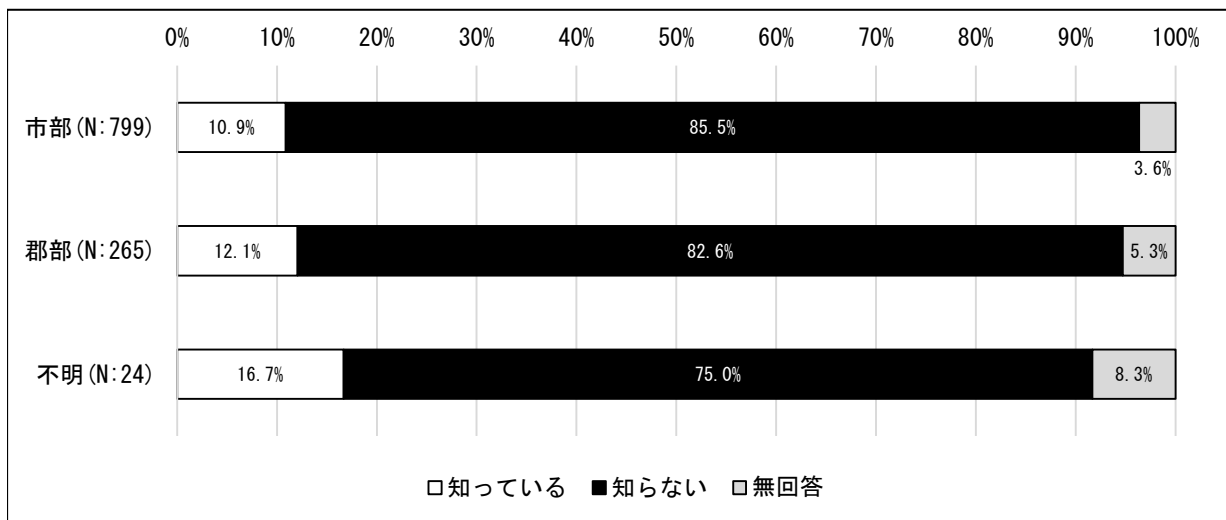
性別、年齢を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。
年代別に見ると、70歳以上では「知っている」が他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。八戸地域、下北地域では「知っている」が他の地域より大きくなっている。

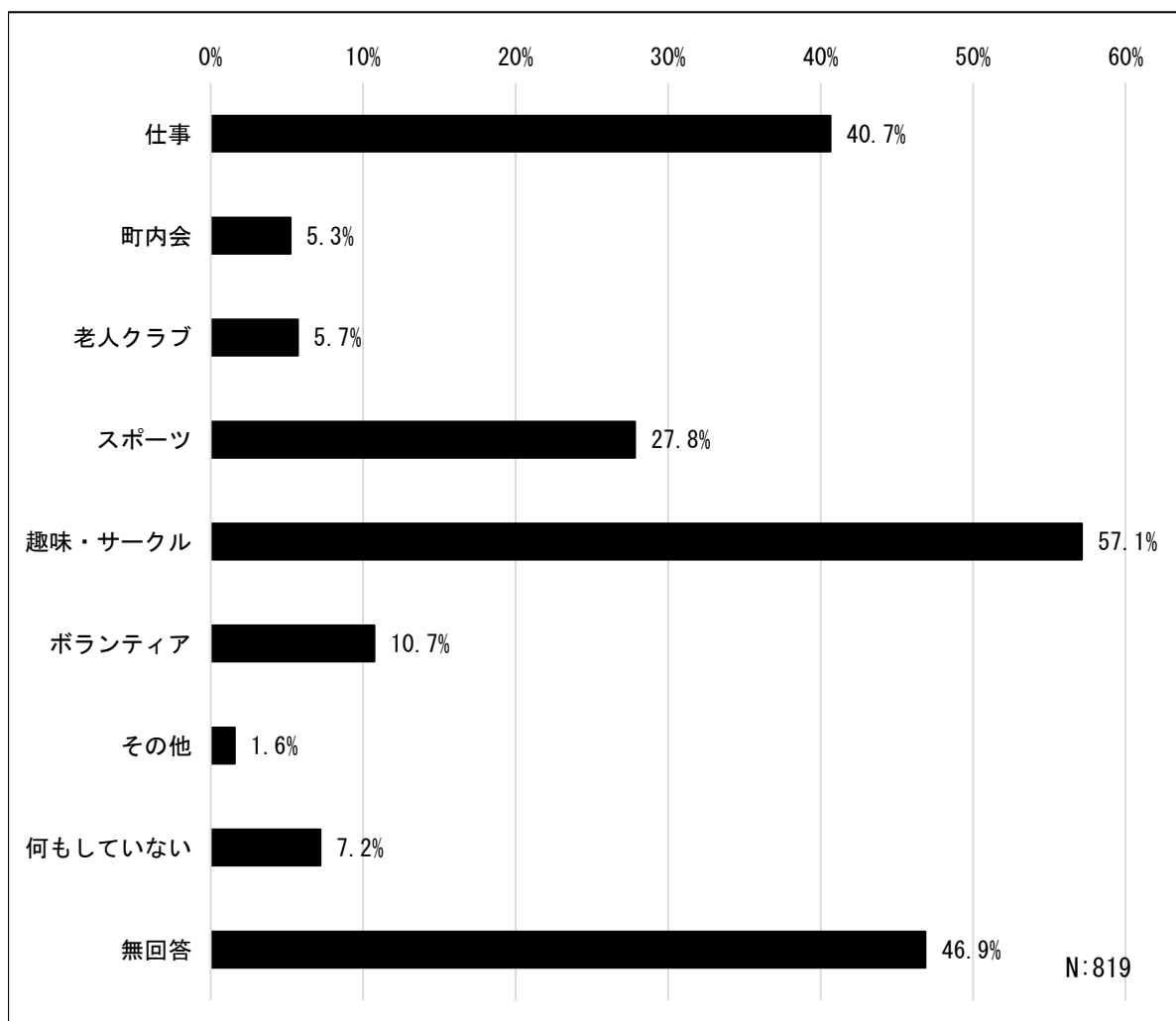
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

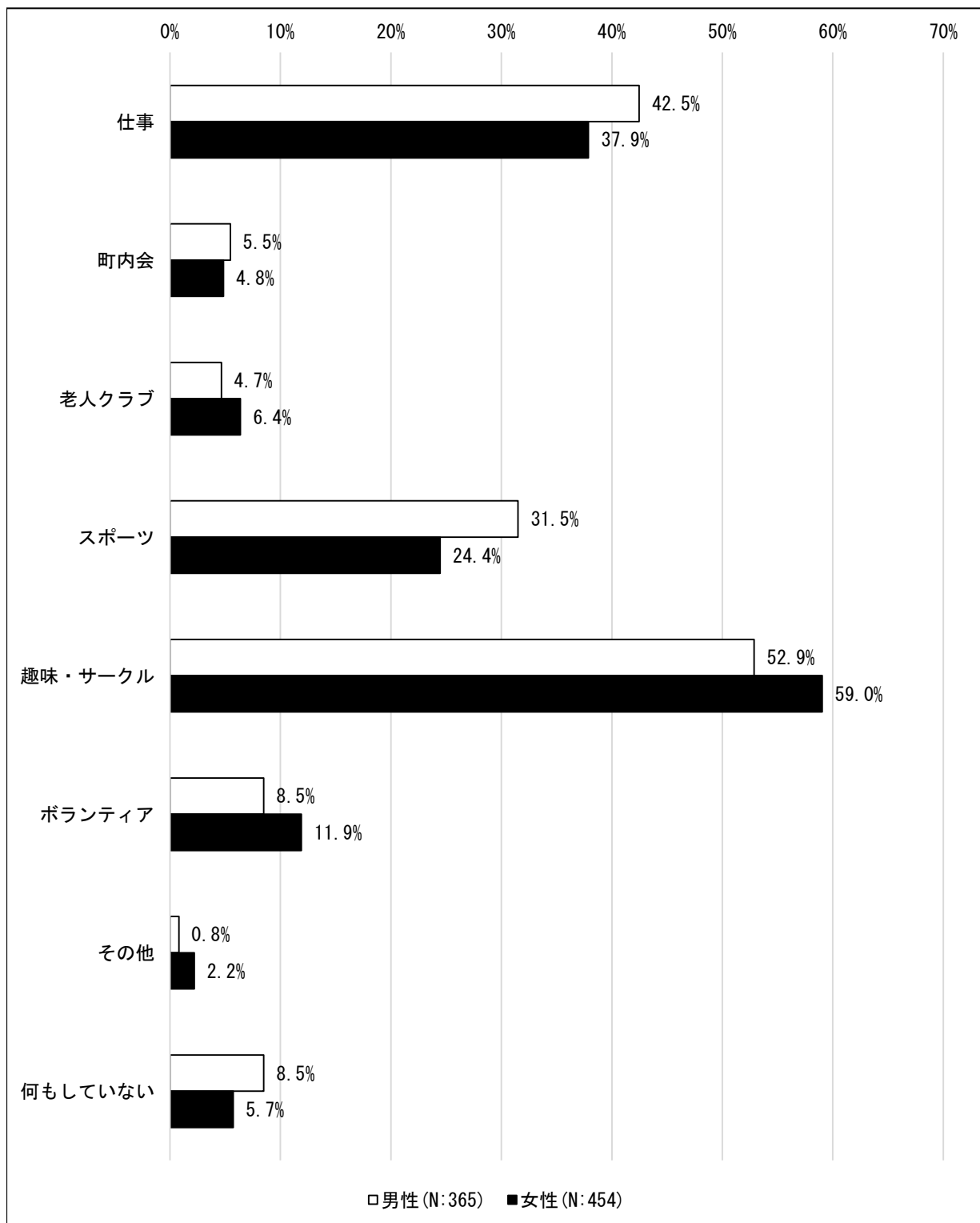
問 29. 65歳未満の方におうかがいします。あなたが高齢になってもやりたいことは何ですか。
(当てはまるものすべて)

・65歳未満で、高齢になってもやりたいこと



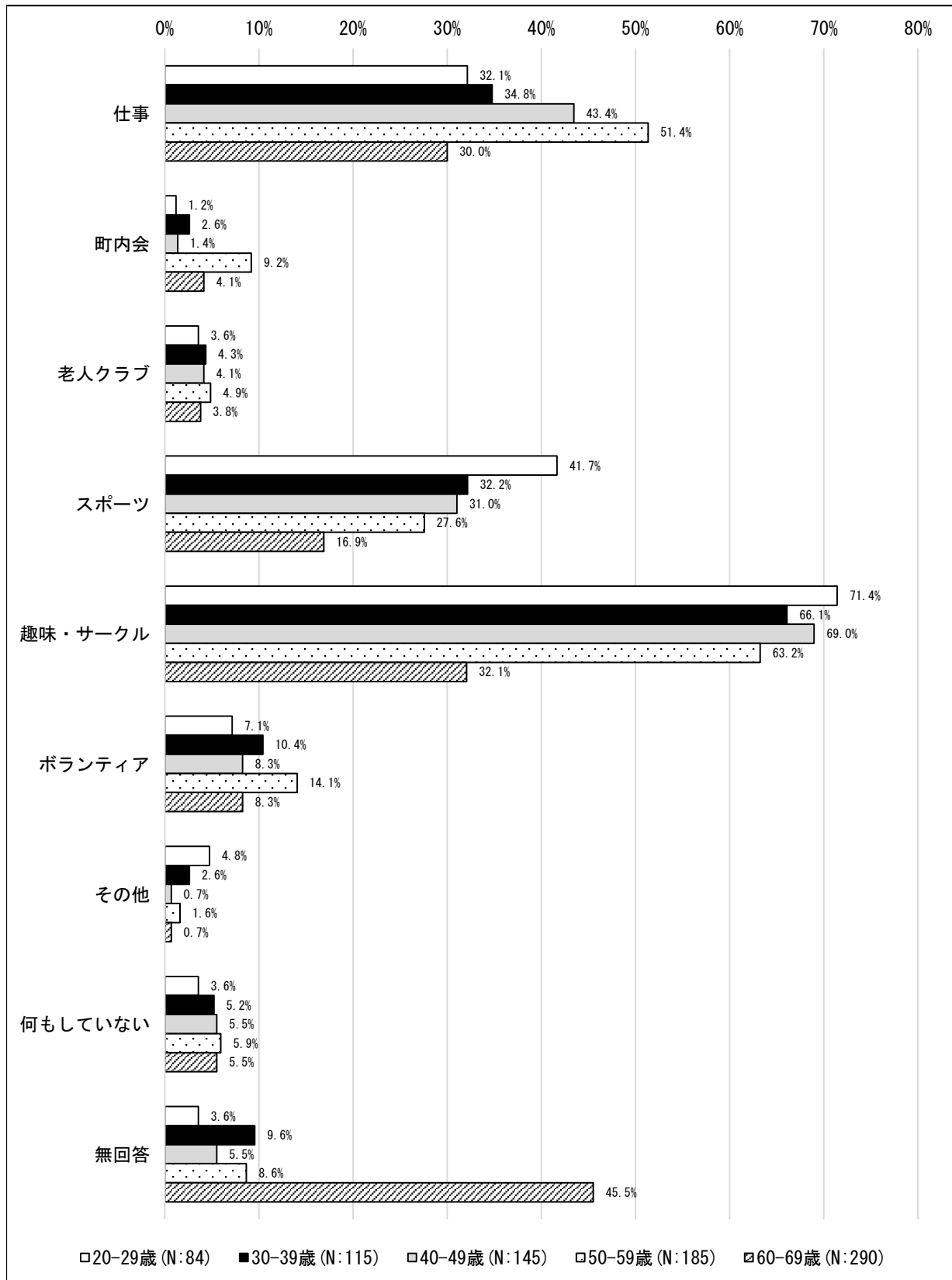
「趣味・サークル」が57%、「仕事」が41%、「スポーツ」が28%となっている。

【男女別】



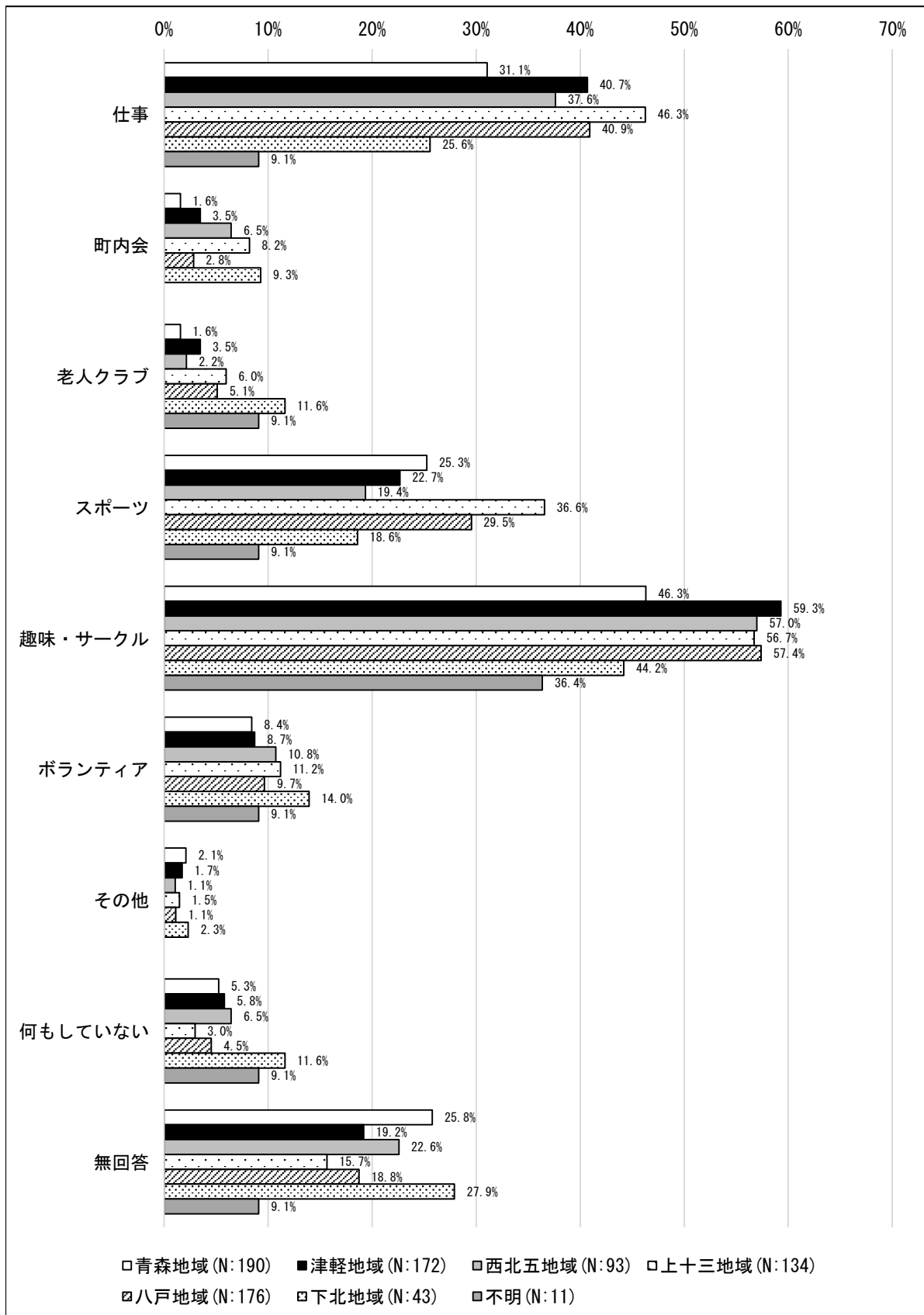
男女ともに「趣味・サークル」が最も大きく、次いで「仕事」、「スポーツ」の順となっている。

【年代別】



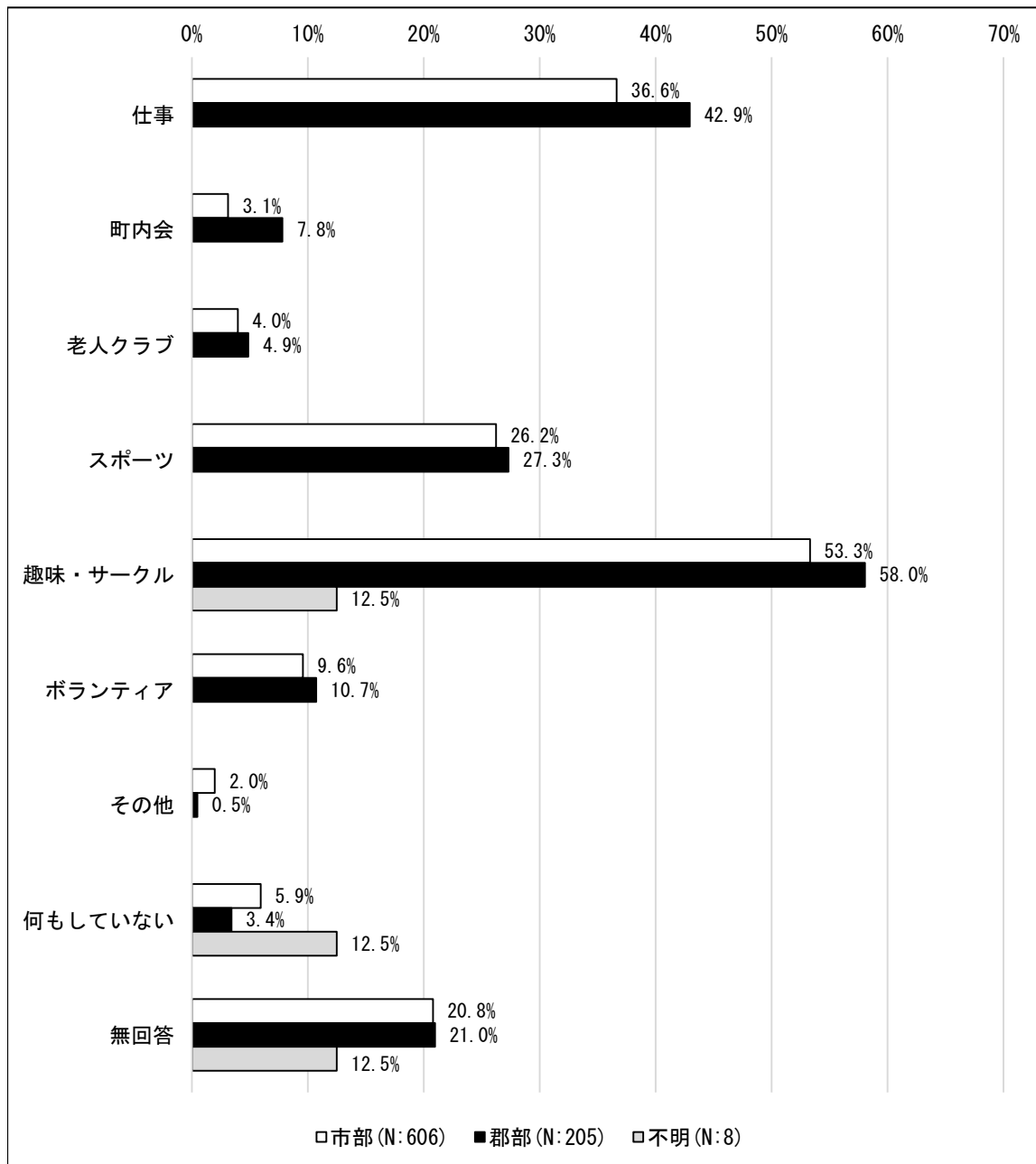
全ての年代で「趣味・サークル」が最も大きく、次いで20歳代では「スポーツ」、30歳以上では「仕事」の順になっている。

【地域別】



全ての地域で「趣味・サークル」が最も大きく、次いで「仕事」、「スポーツ」の順となっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「趣味・サークル」が最も大きく、次いで「仕事」、「スポーツ」の順となっている。

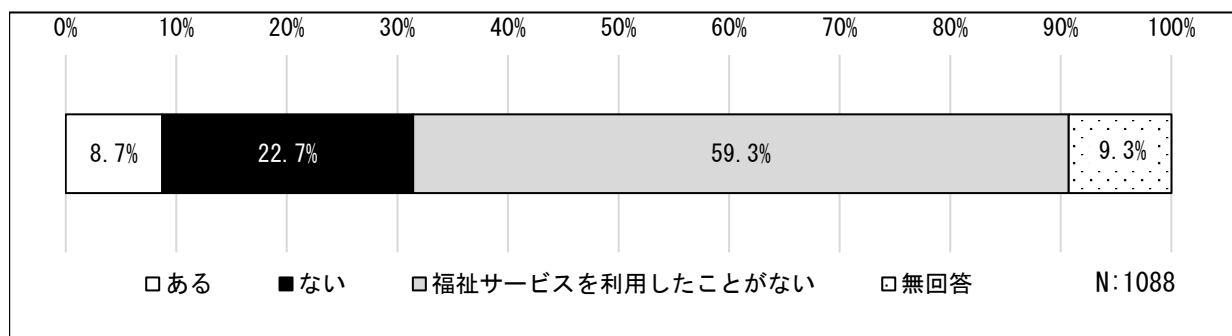
【自由回答より】

- ・家事を続ける
- ・学びたい
- ・定年する年齢になって、時間に余裕が出来たら、子育て真最中の家庭を助きたい。

< 8 > 福祉サービスにおける権利擁護について

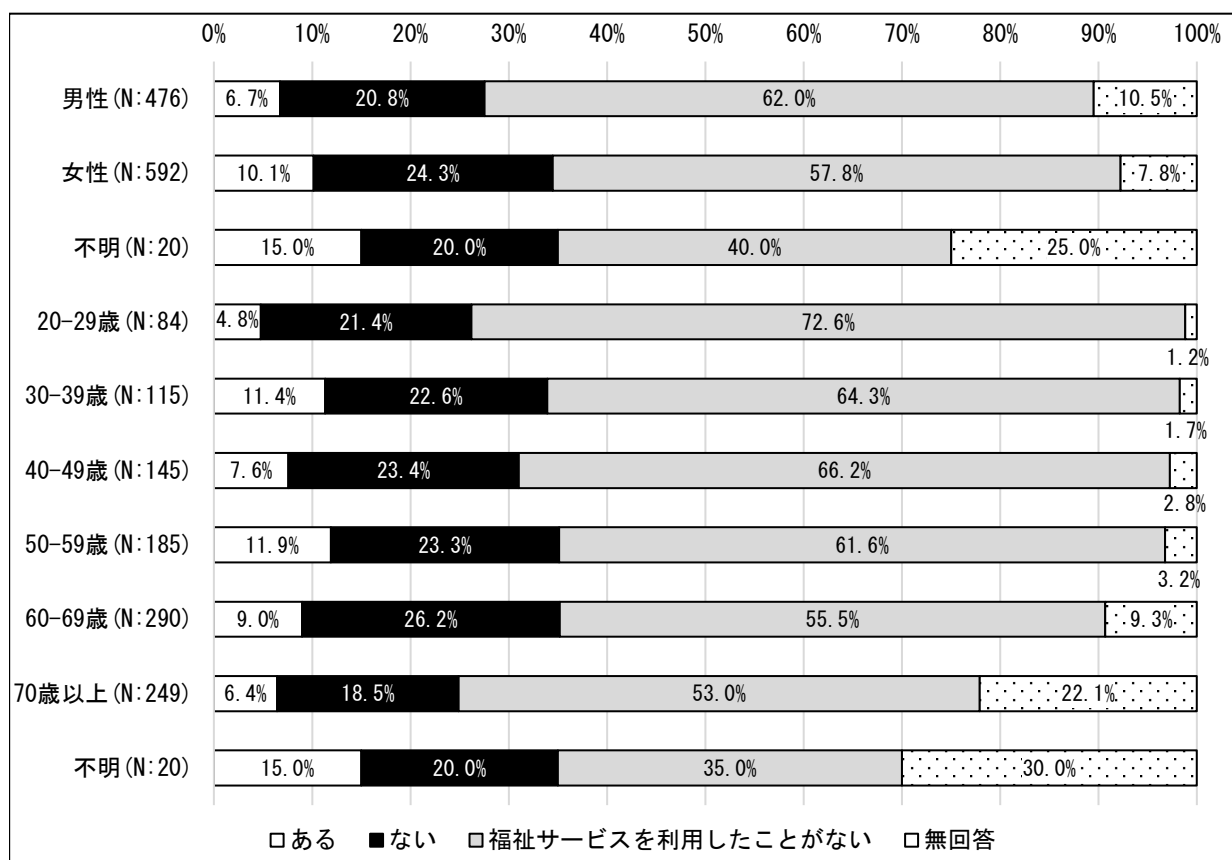
問 30. あなたが子育てや高齢者・障害者の介護などに関する福祉サービスを利用したときに、あらかじめ説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたりしたことがありますか。(1つ)

・福祉サービスを利用した際の不満や疑問



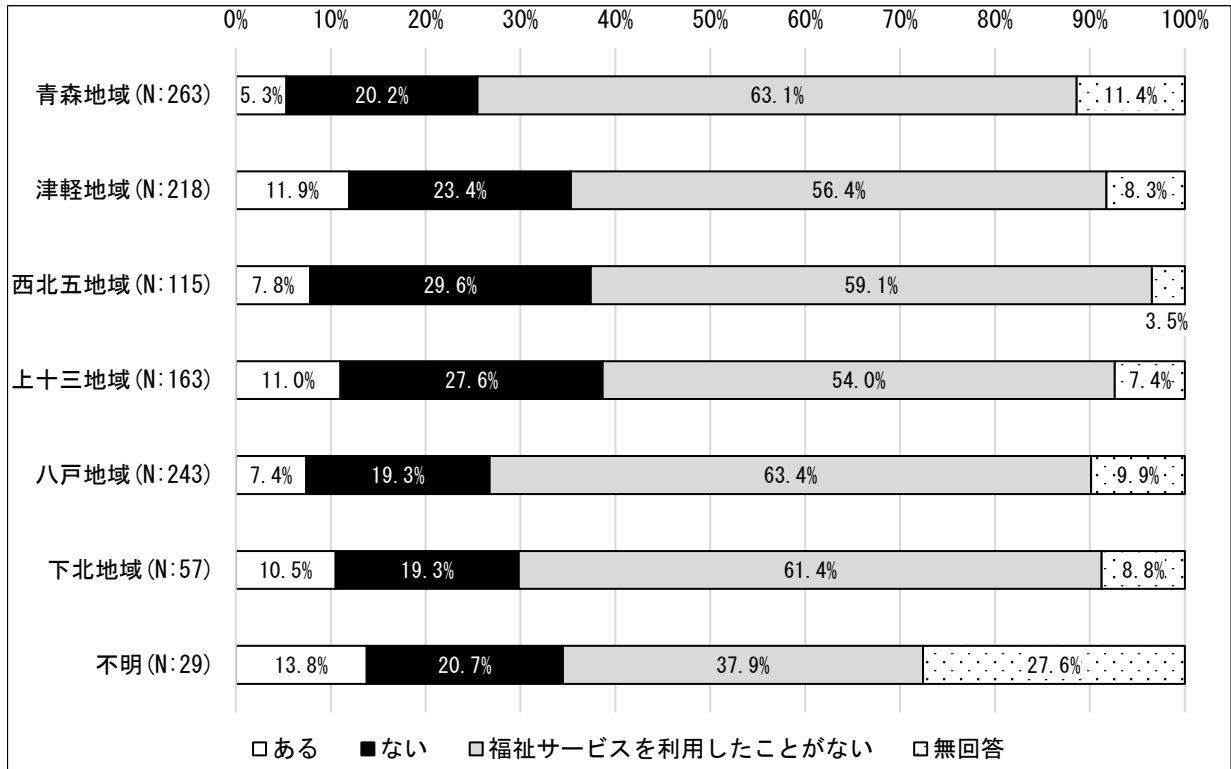
「ある」が9%、「ない」が23%、「福祉サービスを利用したことがない」が59%となっている。

【男女別・年代別】



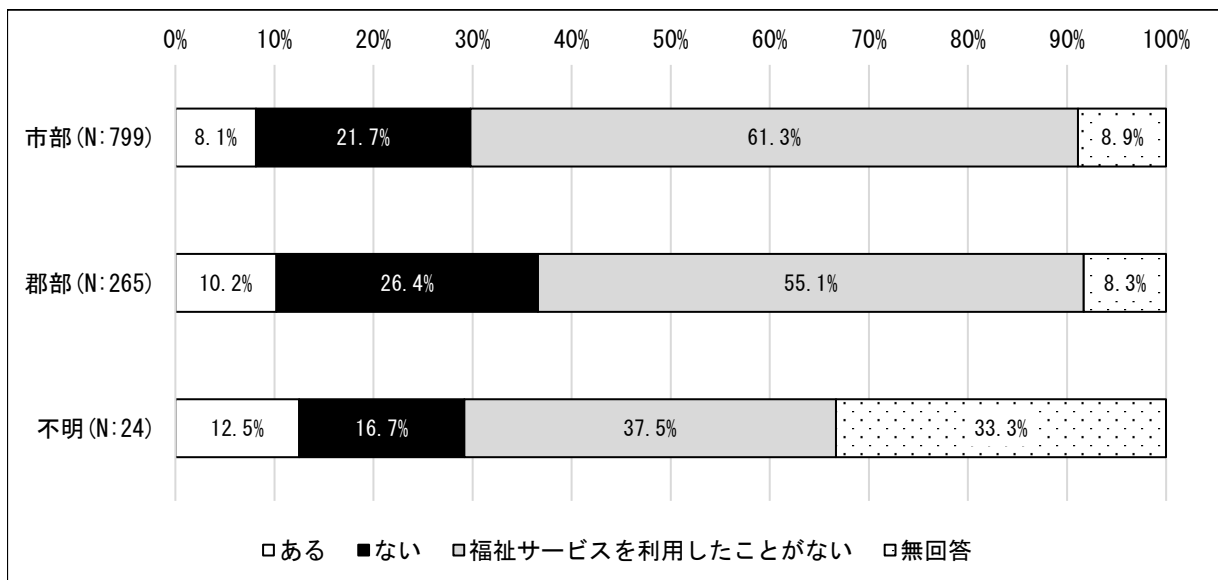
性別、年齢を問わず、「ない」が「ある」を上回っている。

【地域別】



全ての地域で「ない」が「ある」を上回っている。

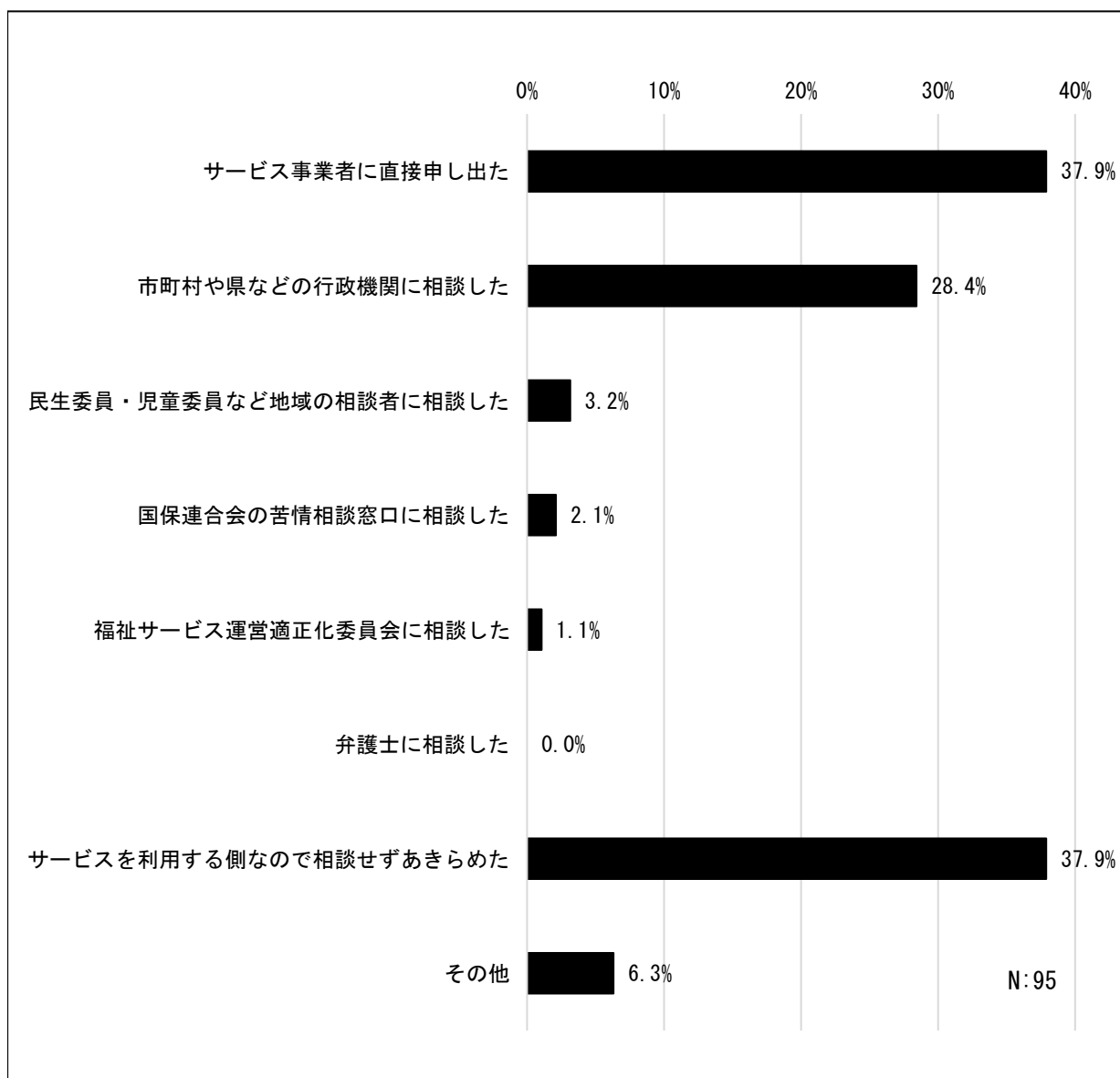
【市部・郡部別】



市部、郡部ともに「ない」が「ある」を上回っている。

問 30-1. 問 30 で「① ある」を選んだ方におうかがいします。その後どのようにしましたか。
(当てはまるものすべて)

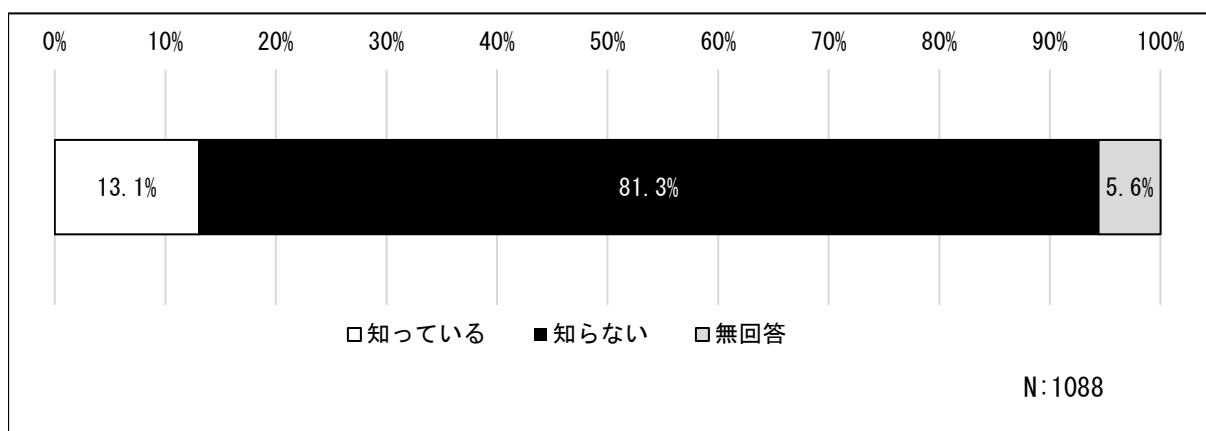
・福祉サービスを利用した際の不満や疑問



「サービス事業者に直接申し出た」、「サービスを利用する側なので相談せずあきらめた」がともに 38%、「市町村や県などの行政機関に相談した」が 28%となっている。

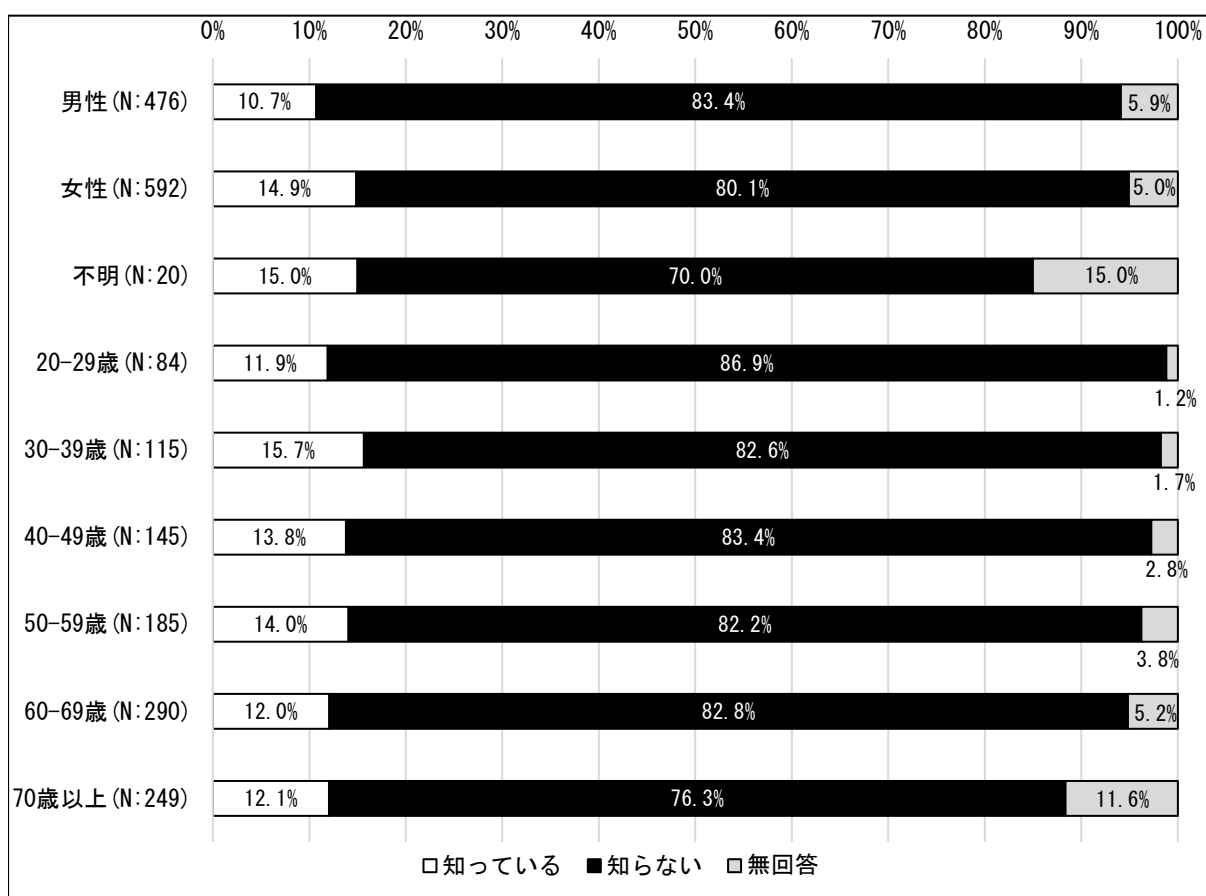
問 31. 福祉サービス事業者は、苦情を解決するための組織として第三者委員会を設置していることを知っていますか。(1つ)

・福祉サービス事業者が、苦情を解決するための第三者委員会の設置



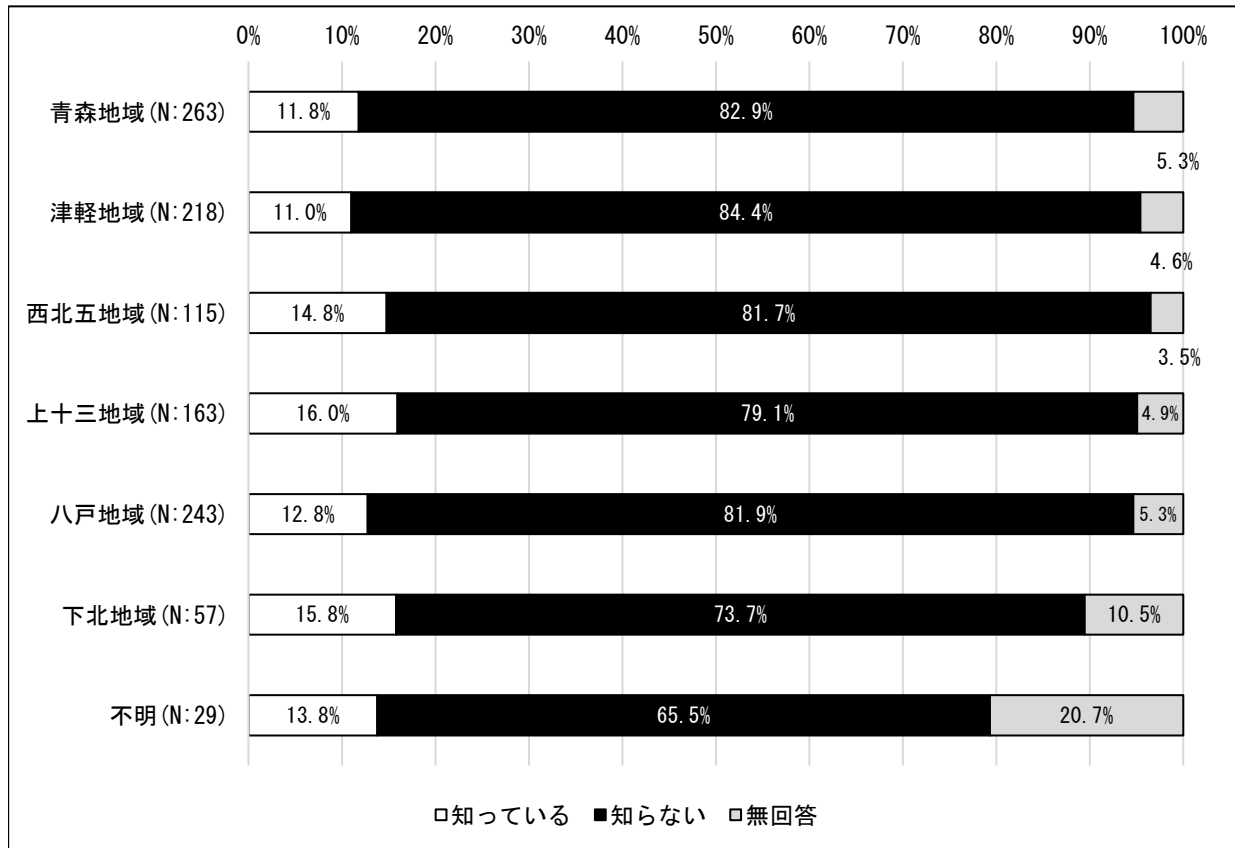
「知っている」が13%、「知らない」が81%となっている。

【男女別・年代別】



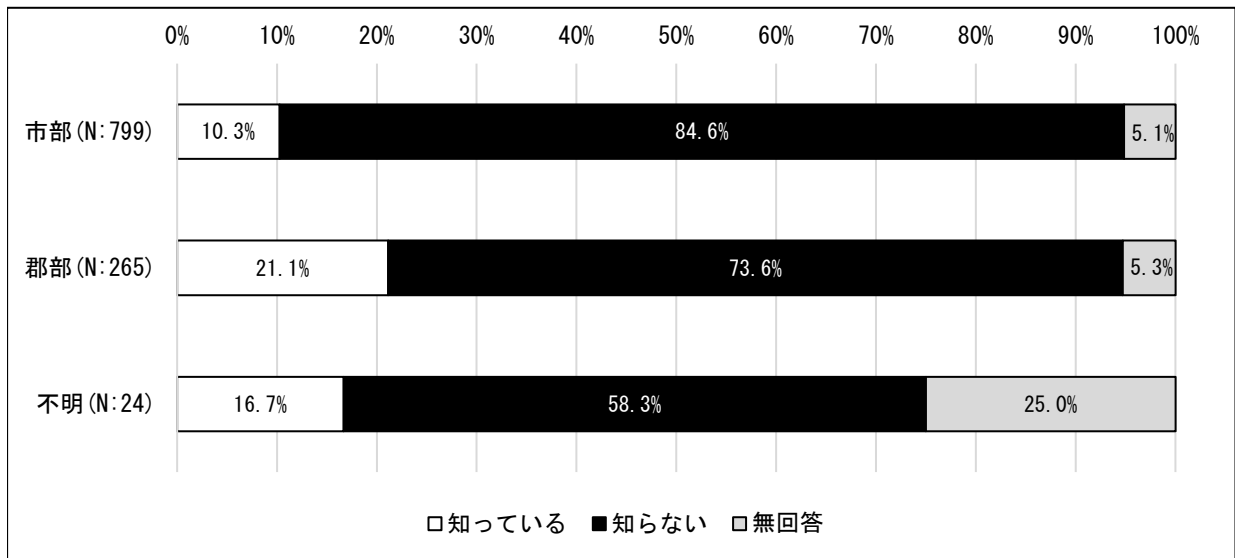
性別、年齢を問わず「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。男女別に見ると、「知っている」は女性が男性より大きくなっている。年代別に見ると、「知っている」は30歳代が最も大きく、次いで50歳代、40歳代となっている。

【地域別】



全ての地域で「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は上十三地域が最も大きく、次いで下北地域、西北五地域となっている。

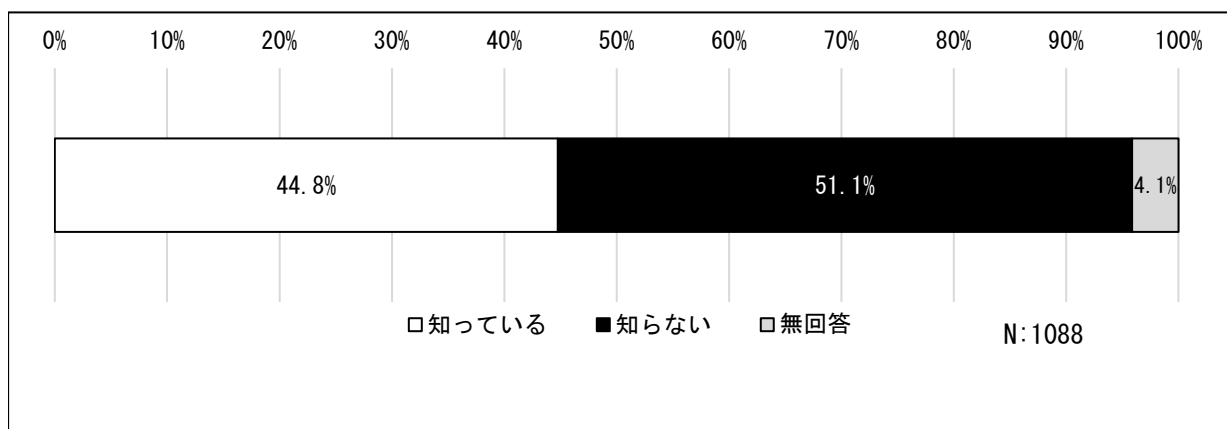
【市部・郡部別】



市部、郡部ともに「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は郡部が市部より大きくなっている。

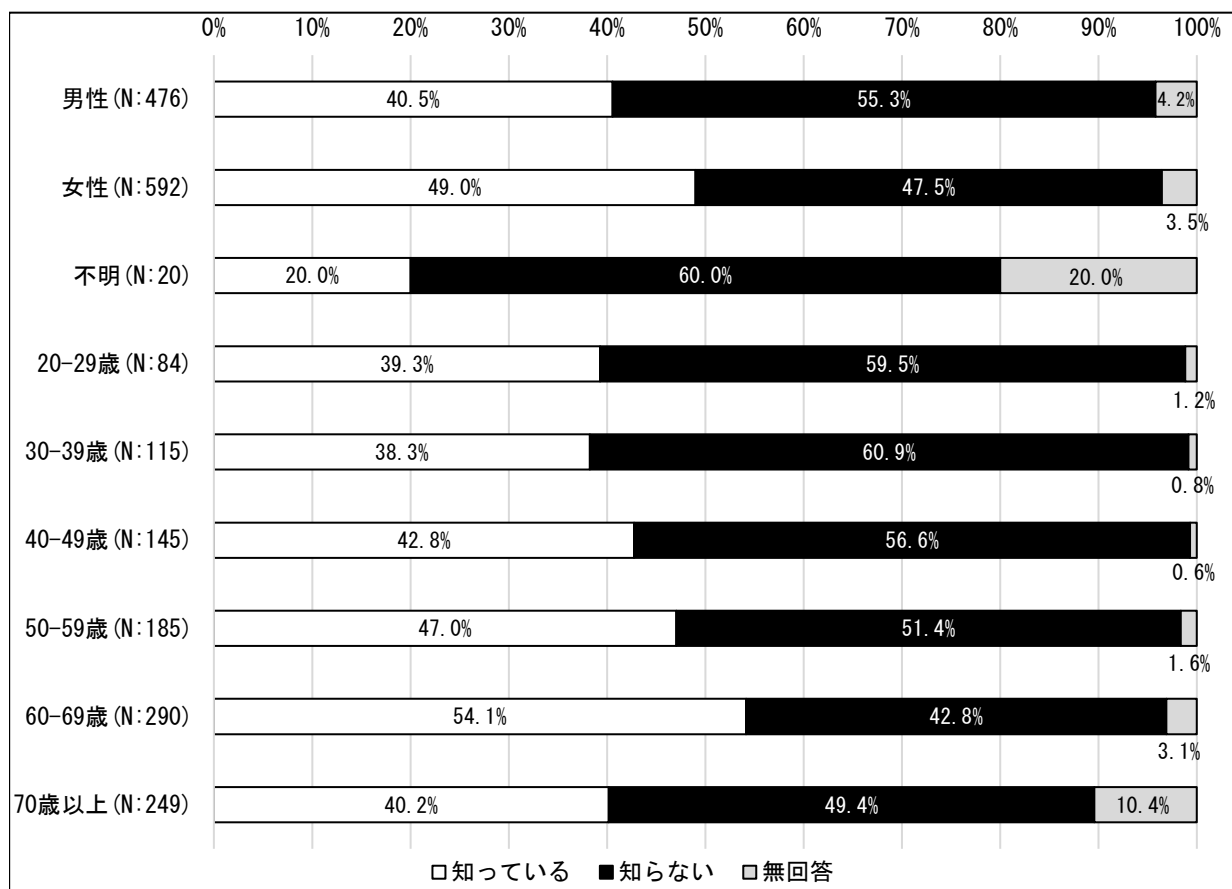
問 32. 成年後見制度を知っていますか。(1つ)

・ 成年後見制度



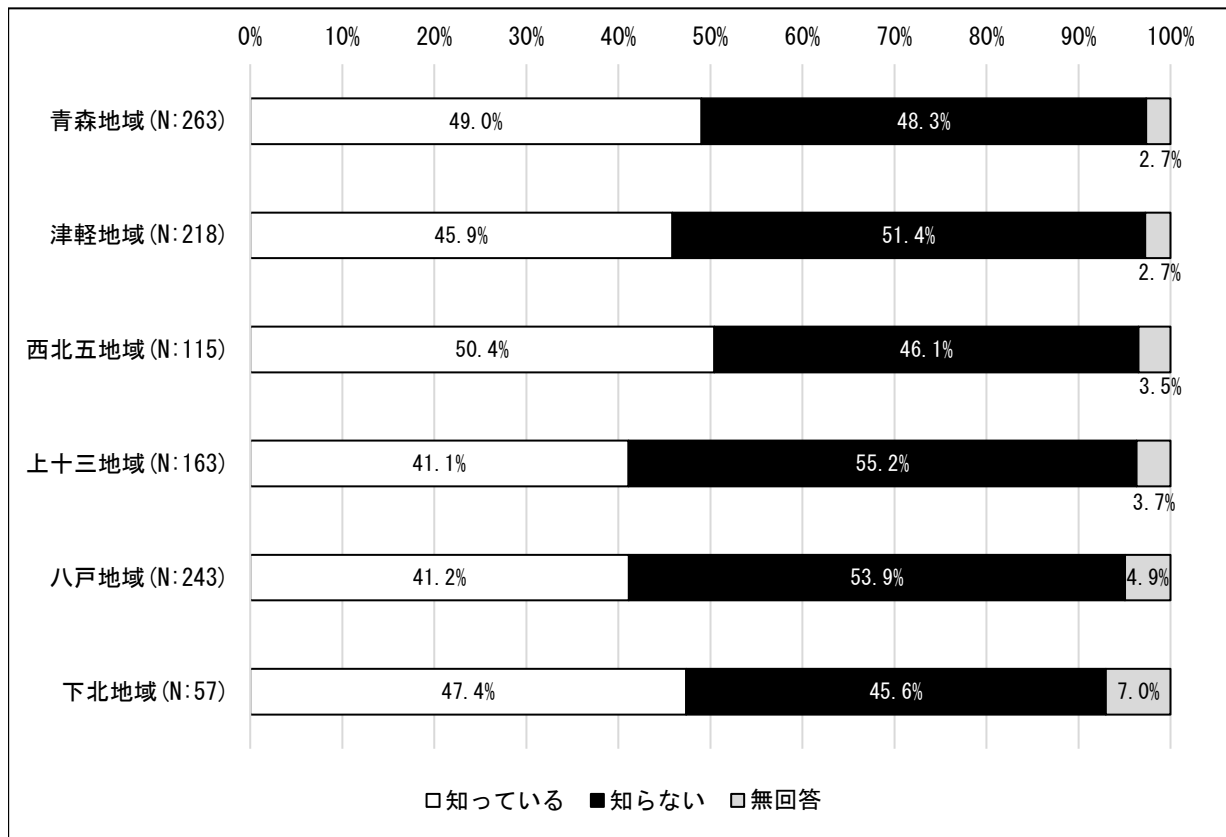
「知っている」が45%、「知らない」が51%となっている。

【男女別・年代別】



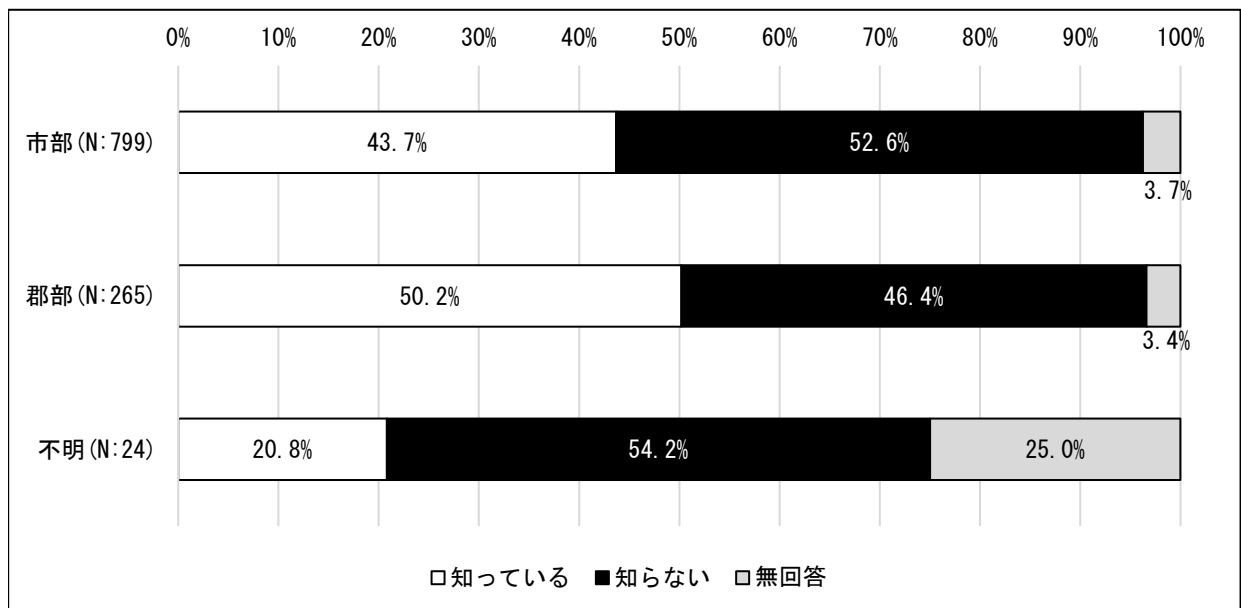
女性は「知っている」が「知らない」を、男性は「知らない」が「知っている」を上回っている。
 年代別で見ると、60歳代では「知っている」が「知らない」を、他の年代では「知らない」が「知っている」をそれぞれ上回っている。

【地域別】



青森地域、西北五地域、下北地域では「知っている」が「知らない」を、津軽地域、上十三地域、八戸地域では「知らない」が「知っている」をそれぞれ上回っている。

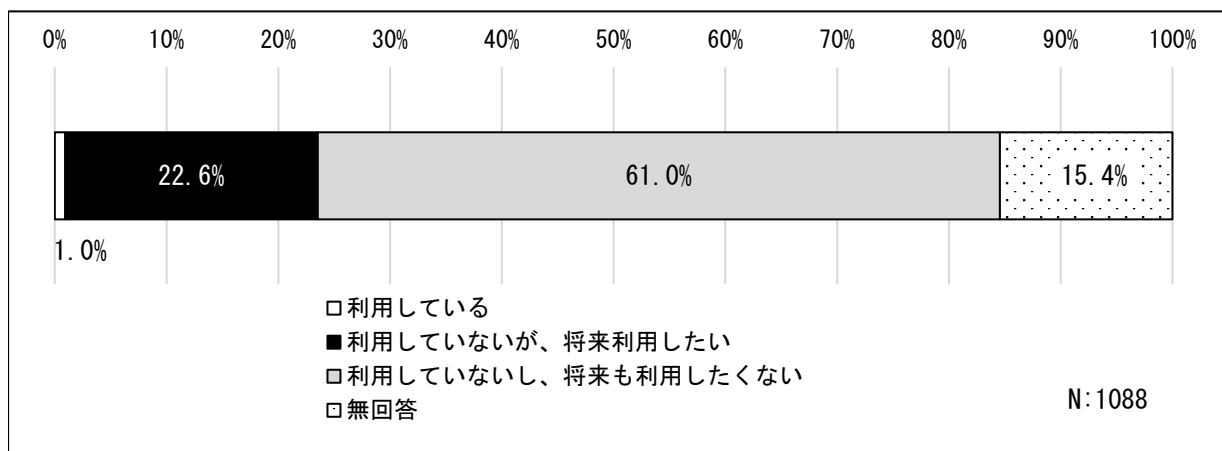
【市部・郡部別】



市部では「知らない」が「知っている」を、郡部では「知っている」が「知らない」をそれぞれ上回っている。

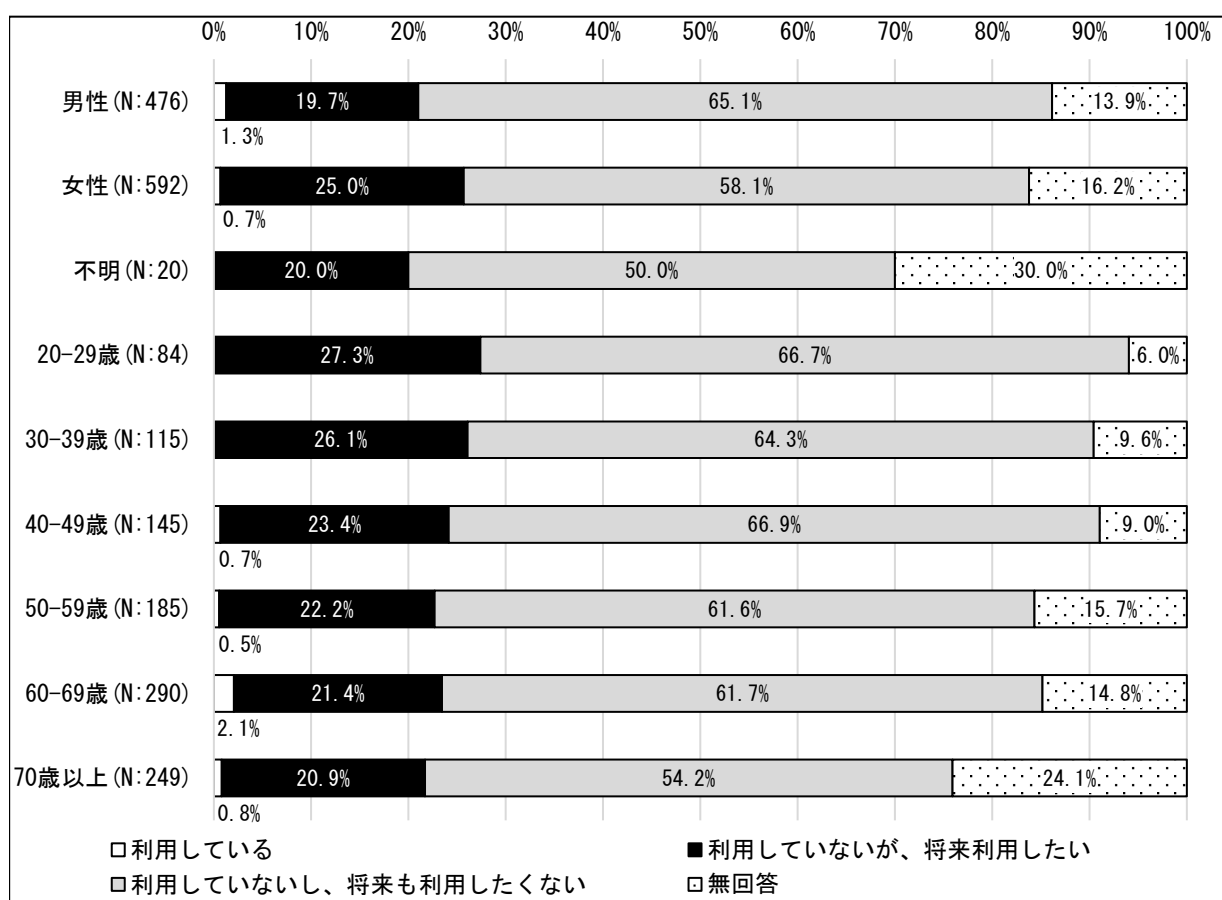
問 33. 成年後見制度を利用していますか。あるいは将来利用したいと思いますか。（1つ）

・成年後見制度の利用、または将来の利用



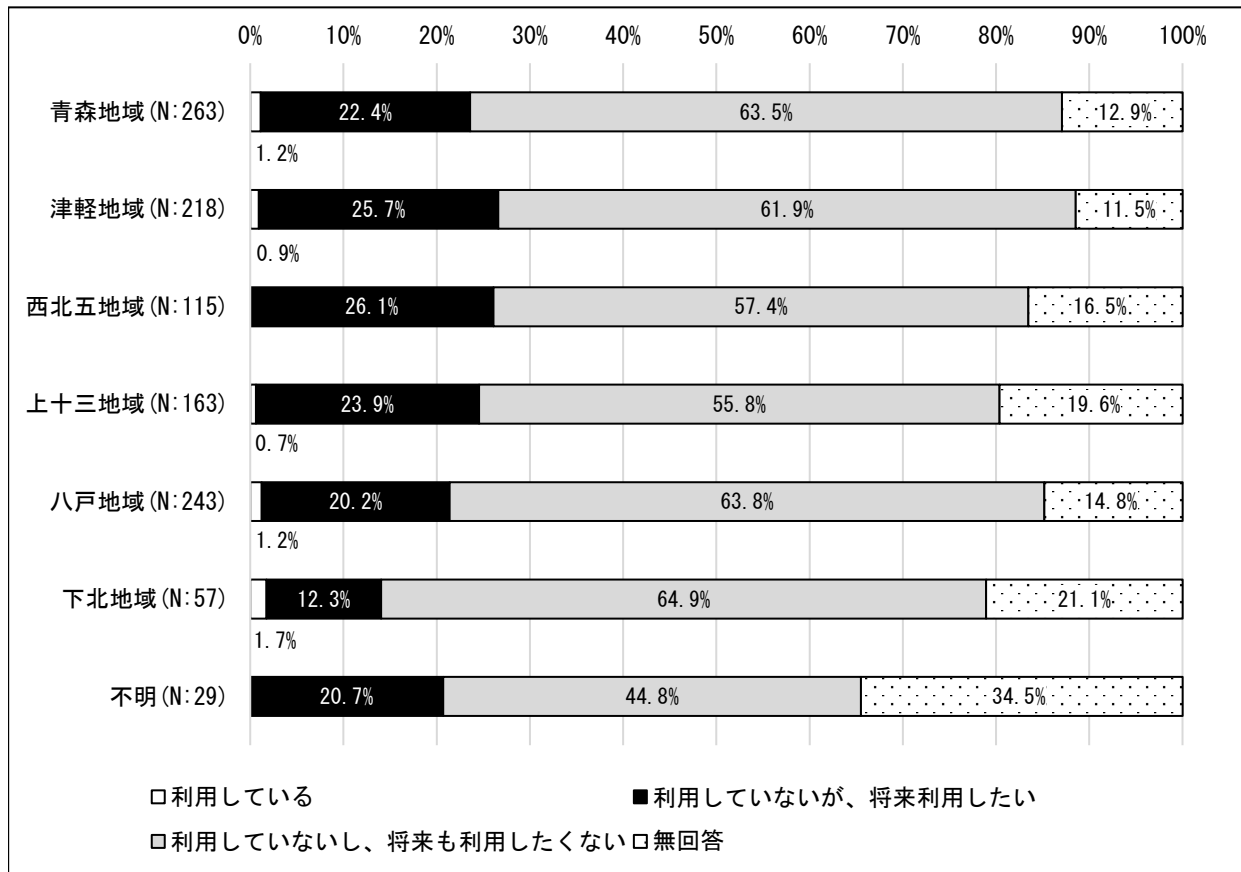
「利用していないし、将来も利用したくない」が61%、「利用していないが、将来利用したい」が23%、「利用している」が1%となっている。

【男女別・年代別】



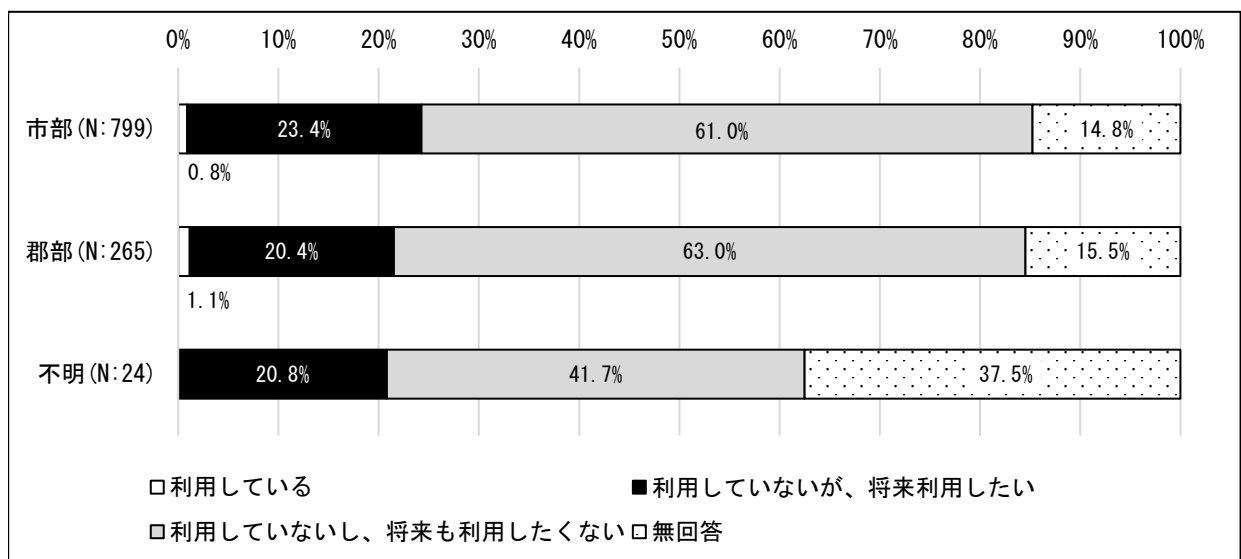
性別、年齢を問わず「利用していないし、将来も利用したくない」が最も大きくなっている。「利用していないが、将来利用したい」は、男女別に見ると、女性が男性より大きくなっており、年代別に見ると、年代が下がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「利用していないし、将来も利用したくない」が最も大きくなっている。「利用していないが、将来利用したい」は西北五地域が最も大きく、次いで津軽地域、上十三地域となっている。

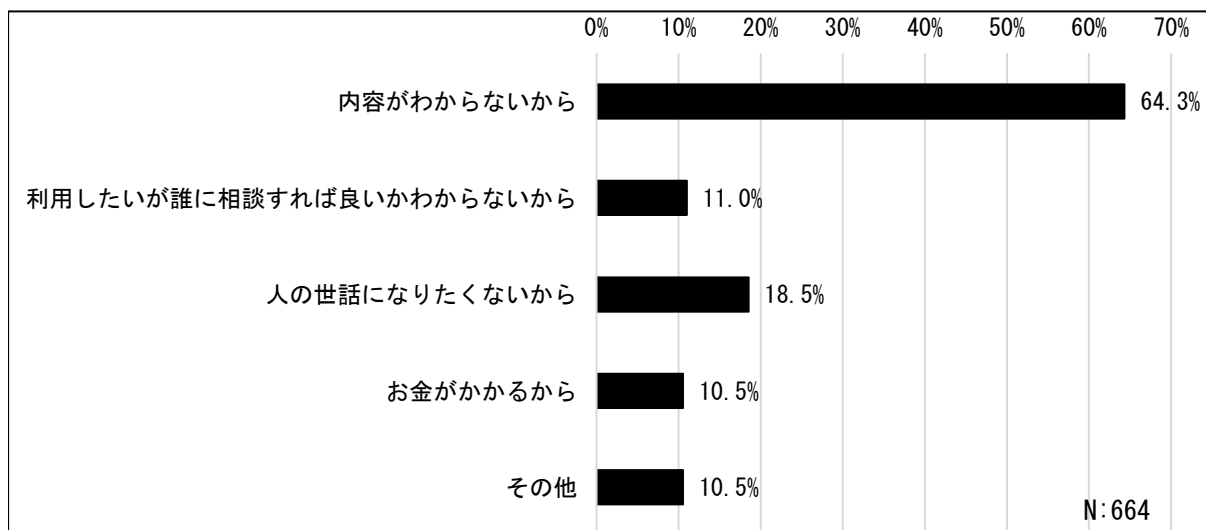
【市部・郡部別】



市部、郡部ともに利用していないし、将来も利用したくない」が最も大きくなっている。「利用していないが、将来利用したい」は市部が郡部より大きくなっている。

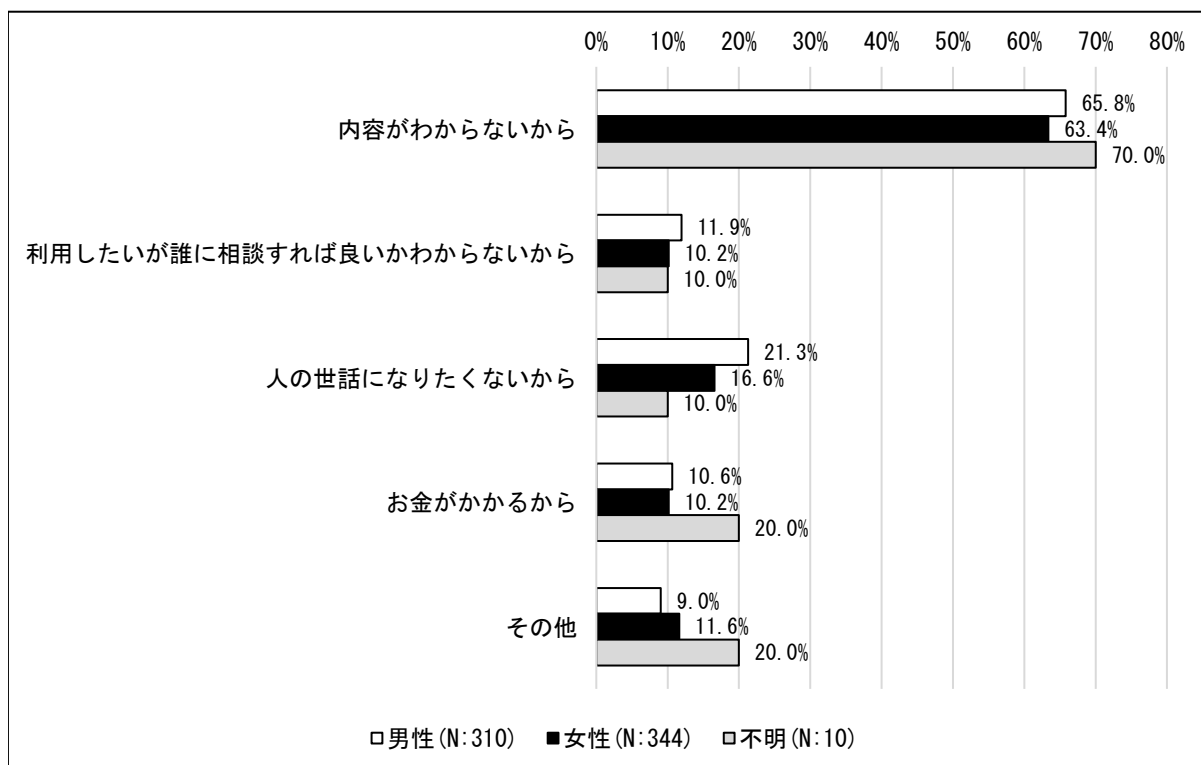
問 33-1. 問 33 で「③ 利用していないし、将来も利用したくない」を選んだ方にお聞きします。
それはなぜですか。（2 つまで）

・ 成年後見制度を利用しない理由



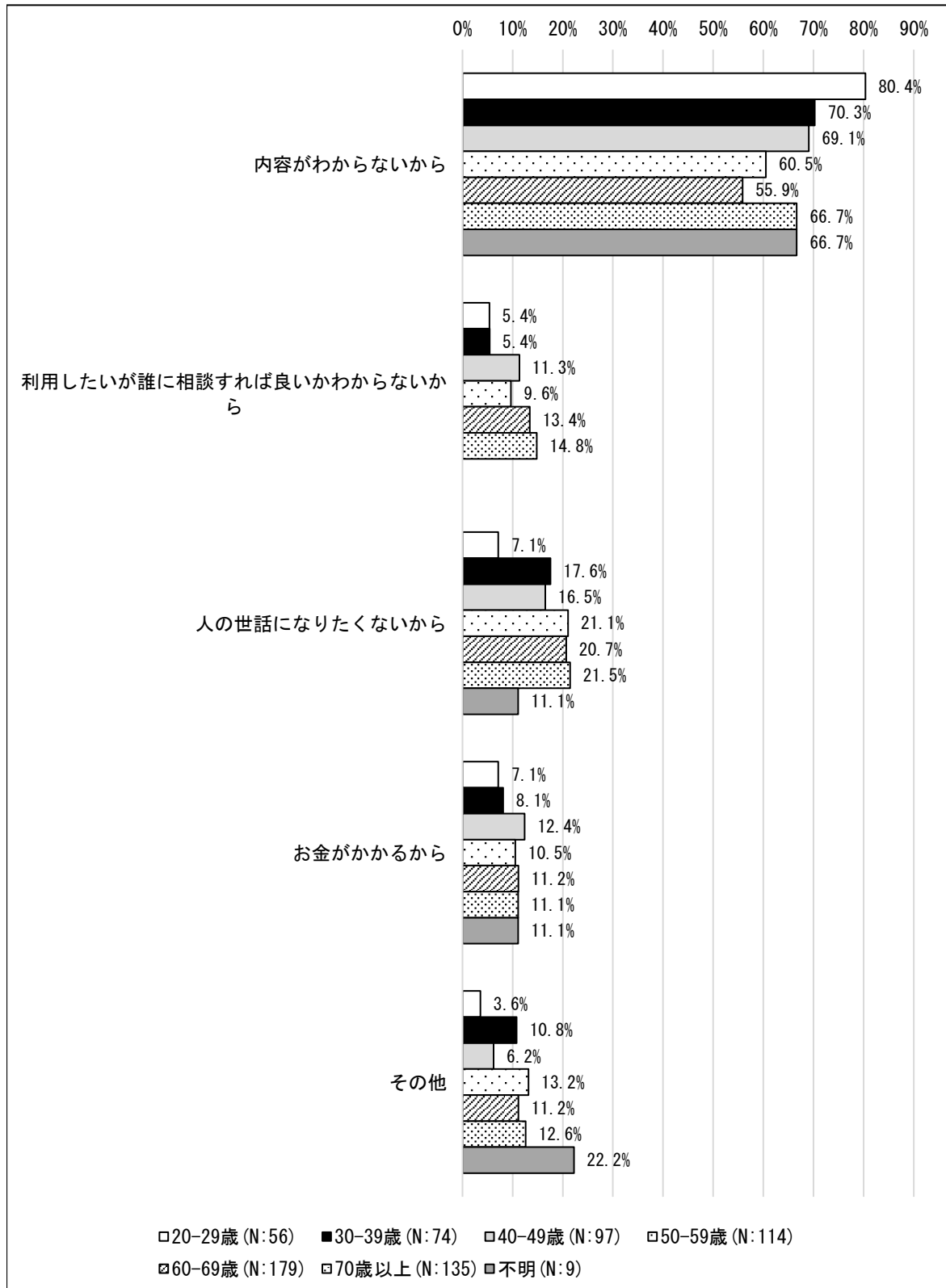
「内容がわからないから」が 64%、「人の世話になりたくないから」が 19%、「利用したいが誰に相談すれば良いかわからないから」、「お金がかかるから」がともに 11%となっている。

【男女別】



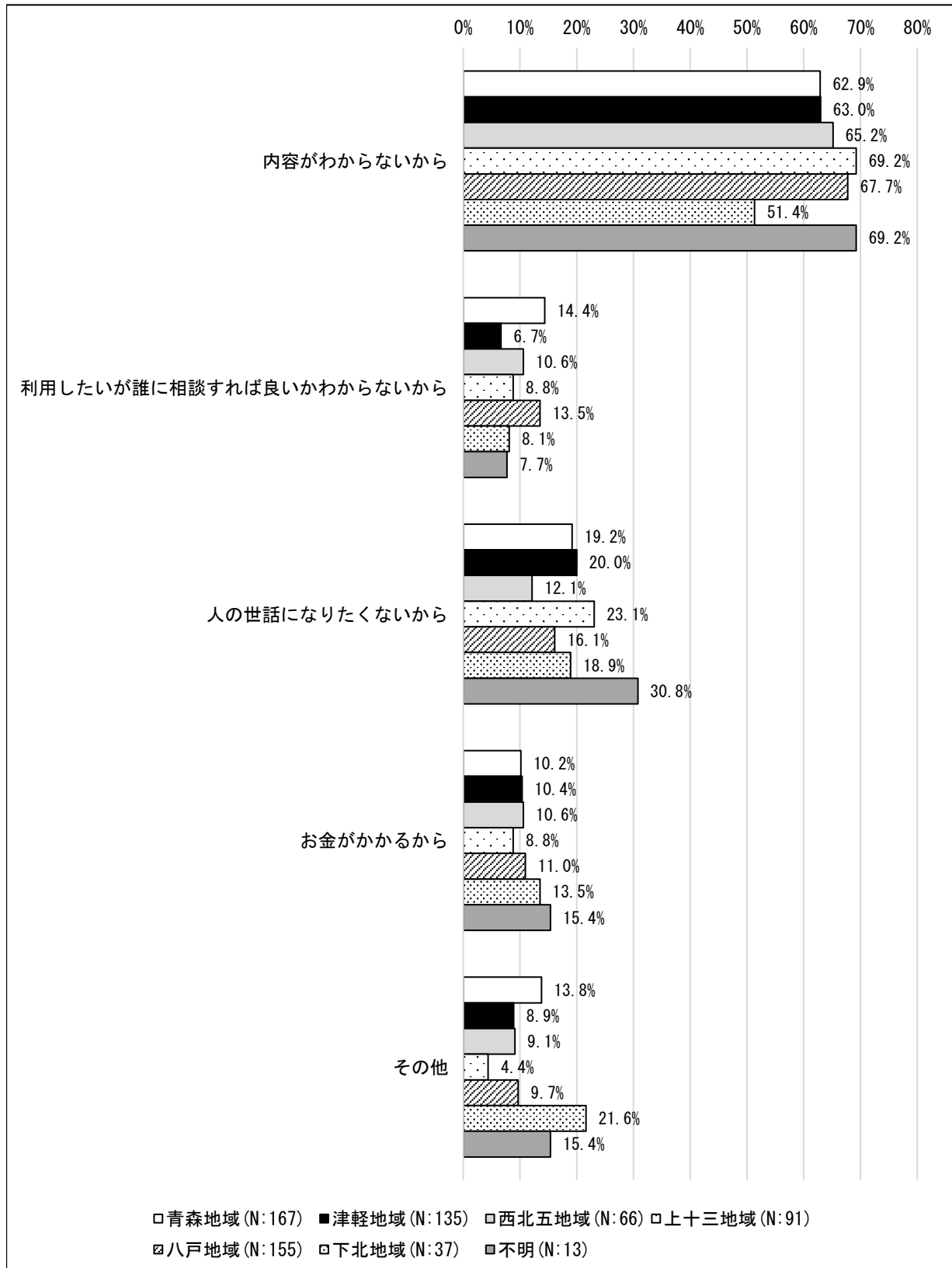
男女ともに「内容がわからないから」、「人の世話になりたくないから」の順に大きく、次いで男性では「利用したいが誰に相談すれば良いかわからないから」、女性では「利用したいが誰に相談すれば良いかわからないから」「お金がかかるから」が同率となっている。

【年代別】



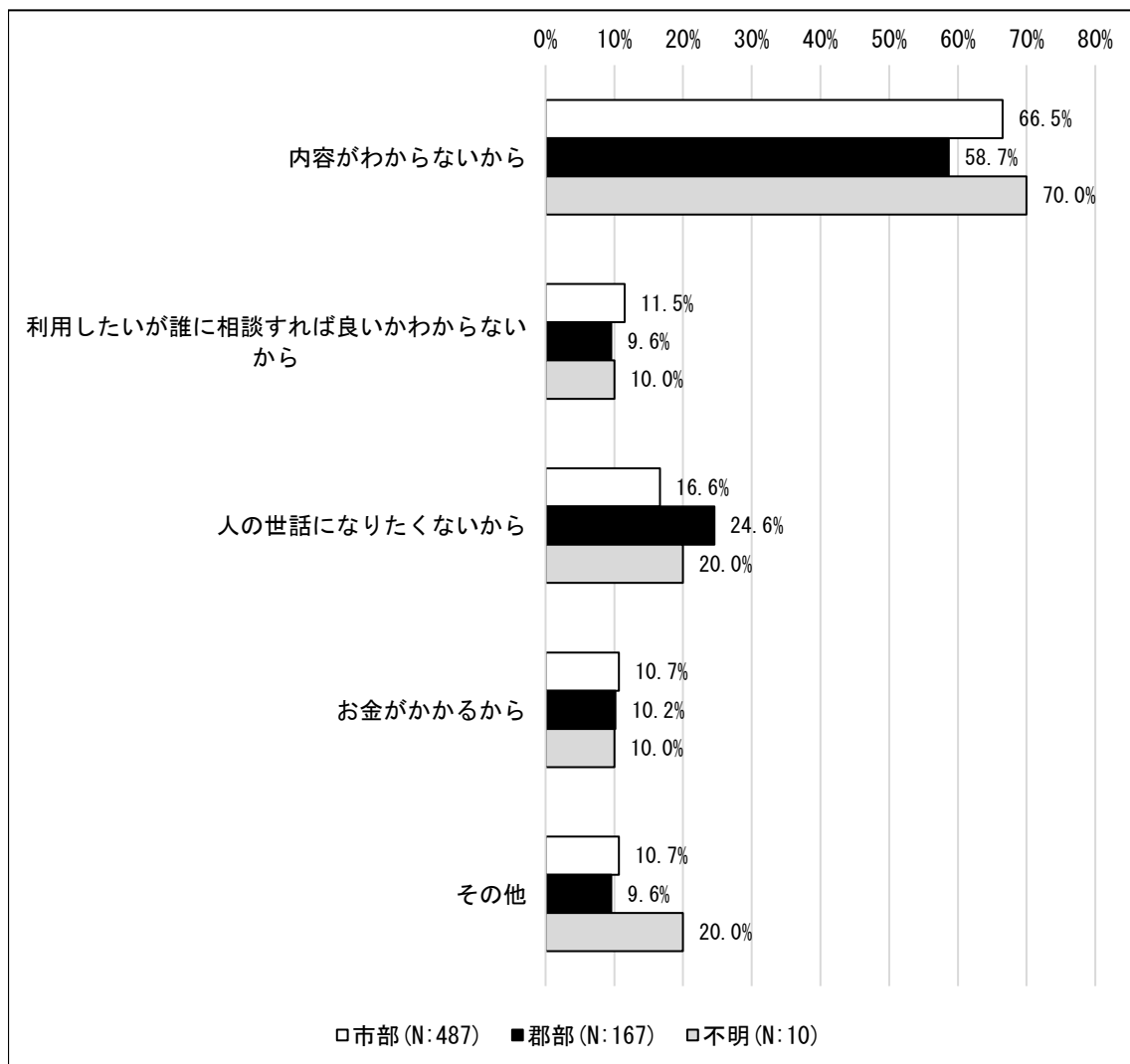
全ての年代で「内容がわからないから」が最も大きく、次いで30歳代以上では「人の世話になりたくないから」、20歳代では「人の世話になりたくないから」「お金がかかるから」が同率となっている。

【地域別】



すべての地域で「内容がわからないから」が最も大きく、次いで「人の世話になりたくないから」の順となっている。

【市部・郡部別】



市部、郡部ともに「内容がわからないから」、「人の世話になりたくないから」の順に大きく、次いで市部では「利用したいが誰に相談すれば良いかわからないから」、郡部では「お金がかかるから」となっている。

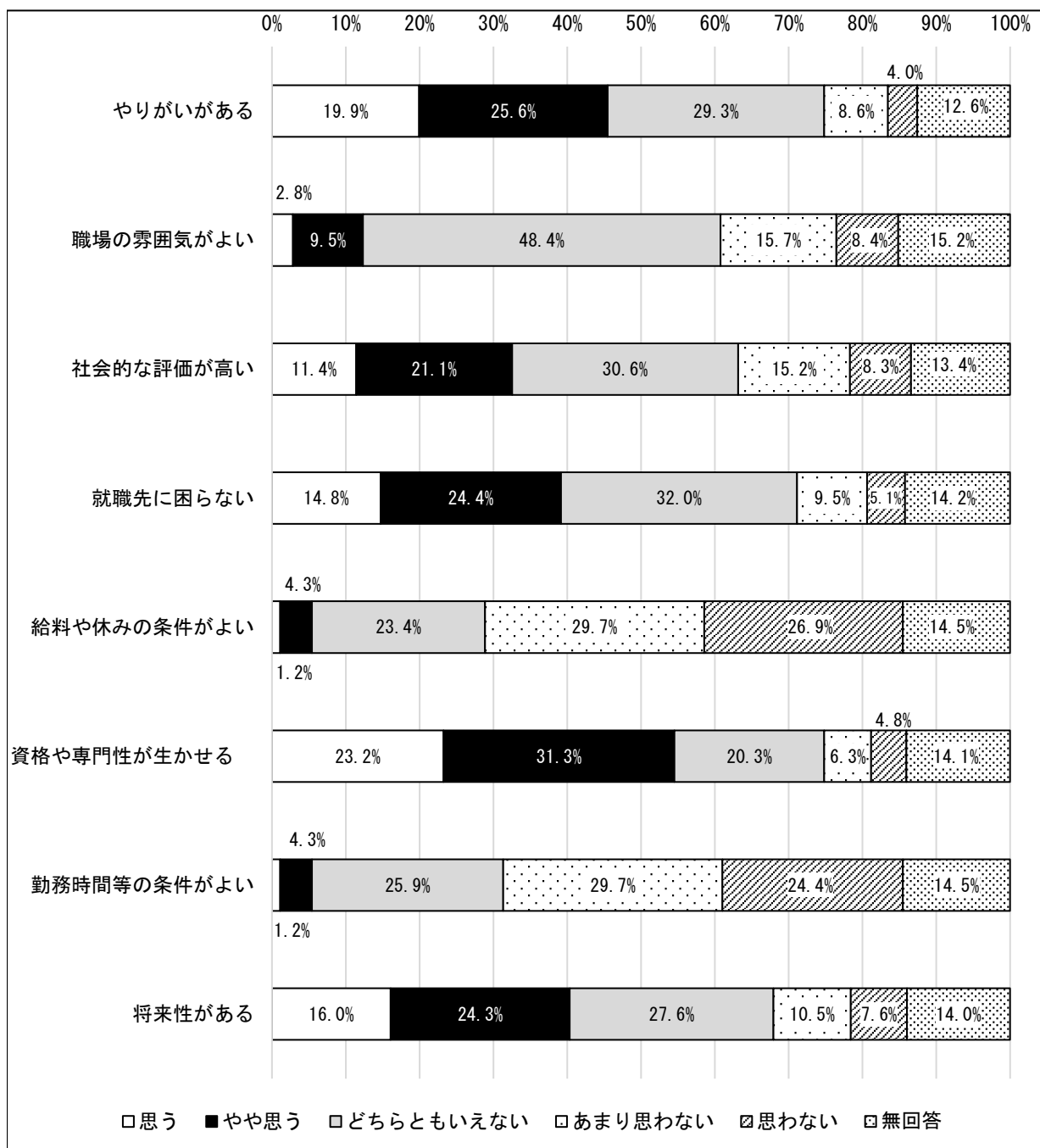
【自由回答より】

- ・子供がいるから後見制度は利用しなくてもいいと考える
- ・見ず知らずの人が裁判所のあっせんで選任されるのが不満である
- ・利用しなくても大丈夫だと思っている

< 9 > 福祉・介護人材の確保育成について

問 34. 福祉や介護の仕事と聞いてどのように思いますか。（1から8についてそれぞれ1つずつ）

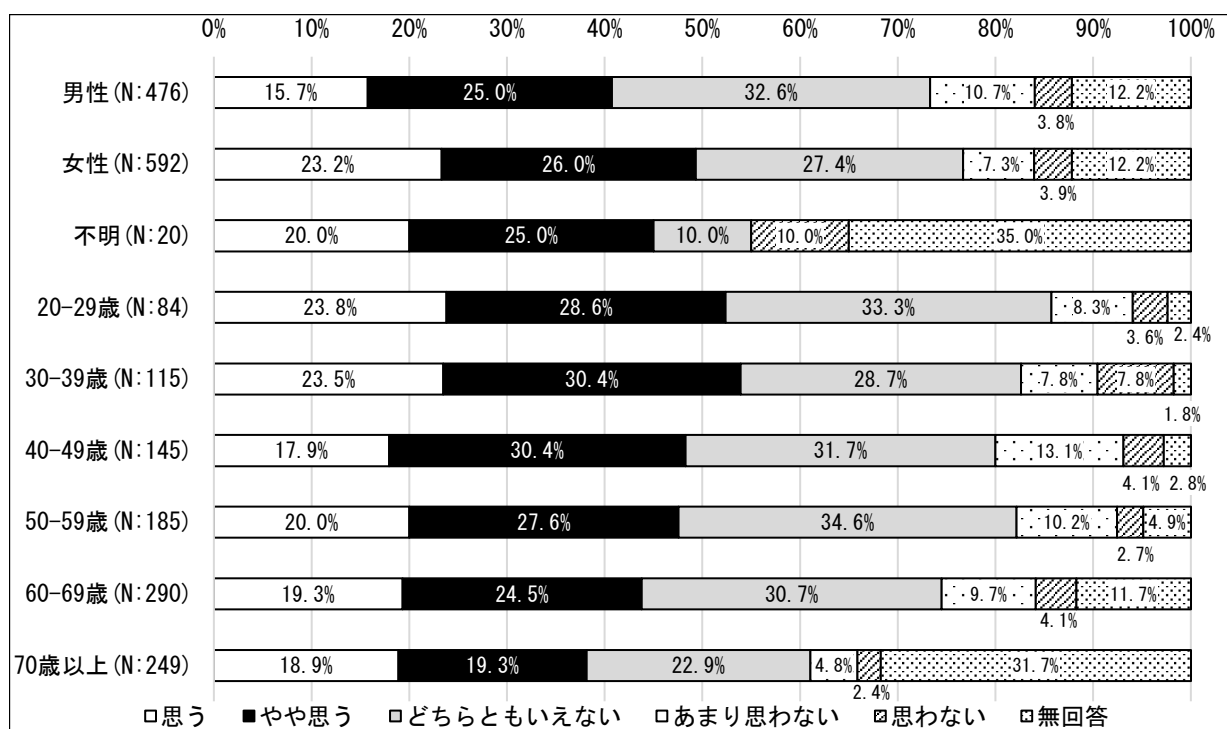
・福祉や介護の仕事



「思う」「やや思う」の合計は、「資格や専門性が生かせる」が最も大きく、次いで「やりがいがある」、「将来性がある」となっている。「あまり思わない」「思わない」の合計は、「給料や休みの条件がよい」が最も大きく、次いで「勤務時間等の条件がよい」、「職場の雰囲気がよい」となっている。

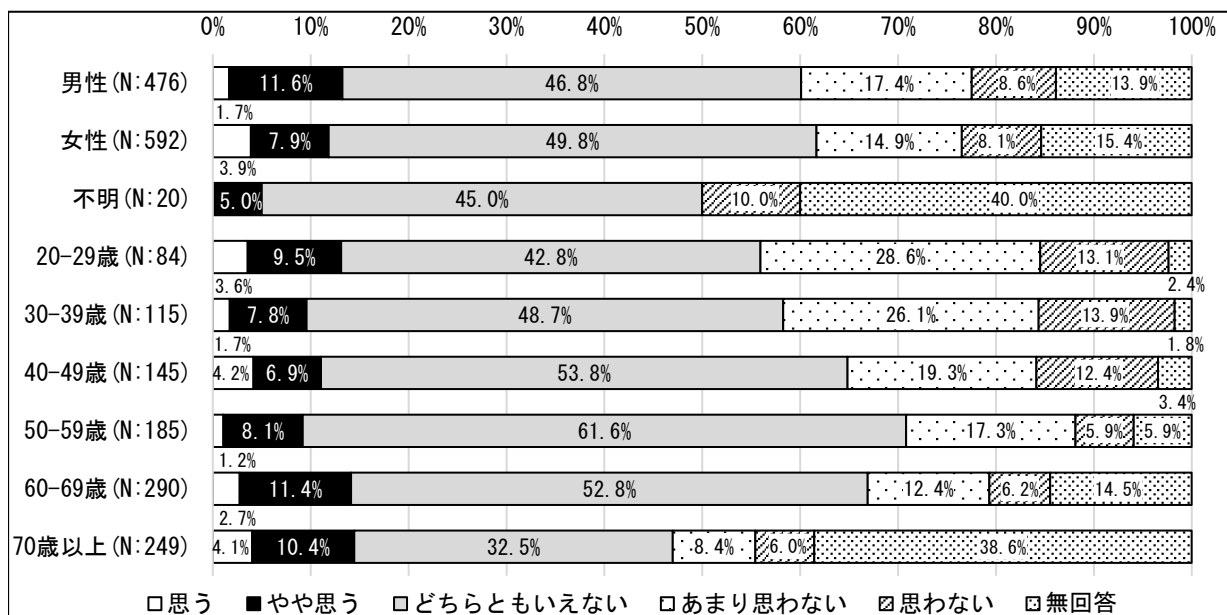
【男女別・年代別】

(やりがいがある)



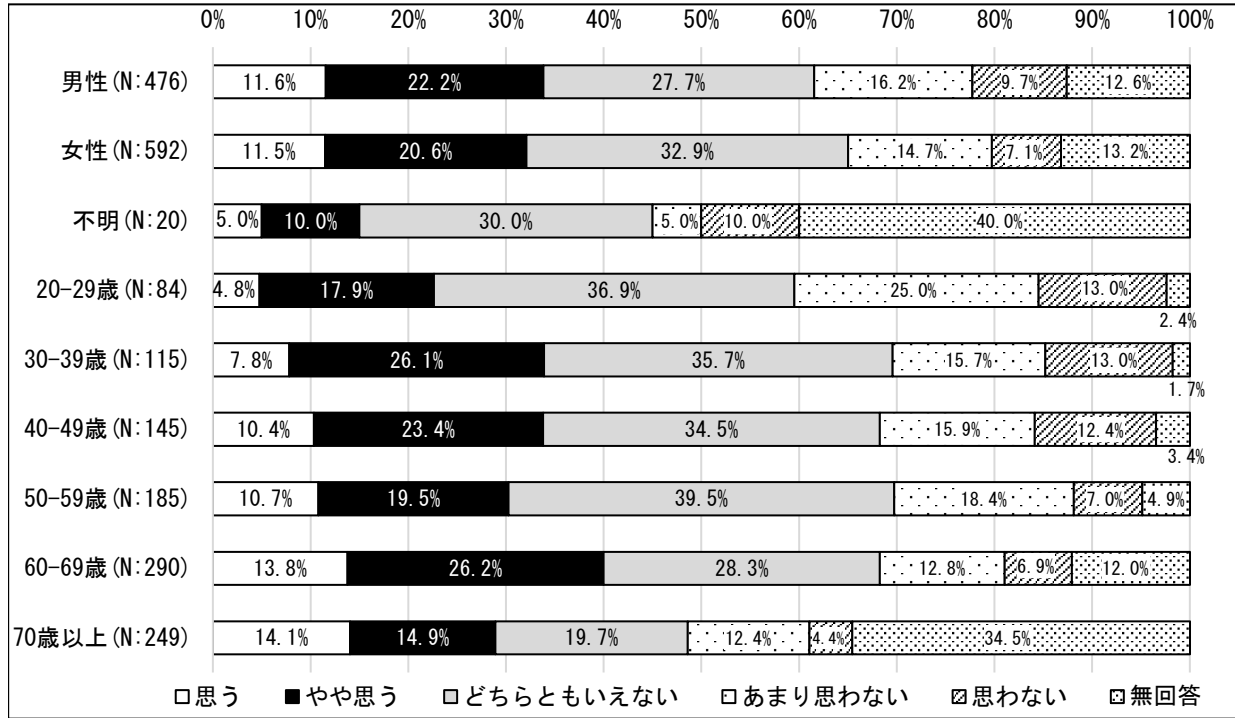
性別、年齢を問わず、「思う」「やや思う」の合計が、「あまり思わない」「思わない」の合計を大きく上回っている。

(職場の雰囲気がい)



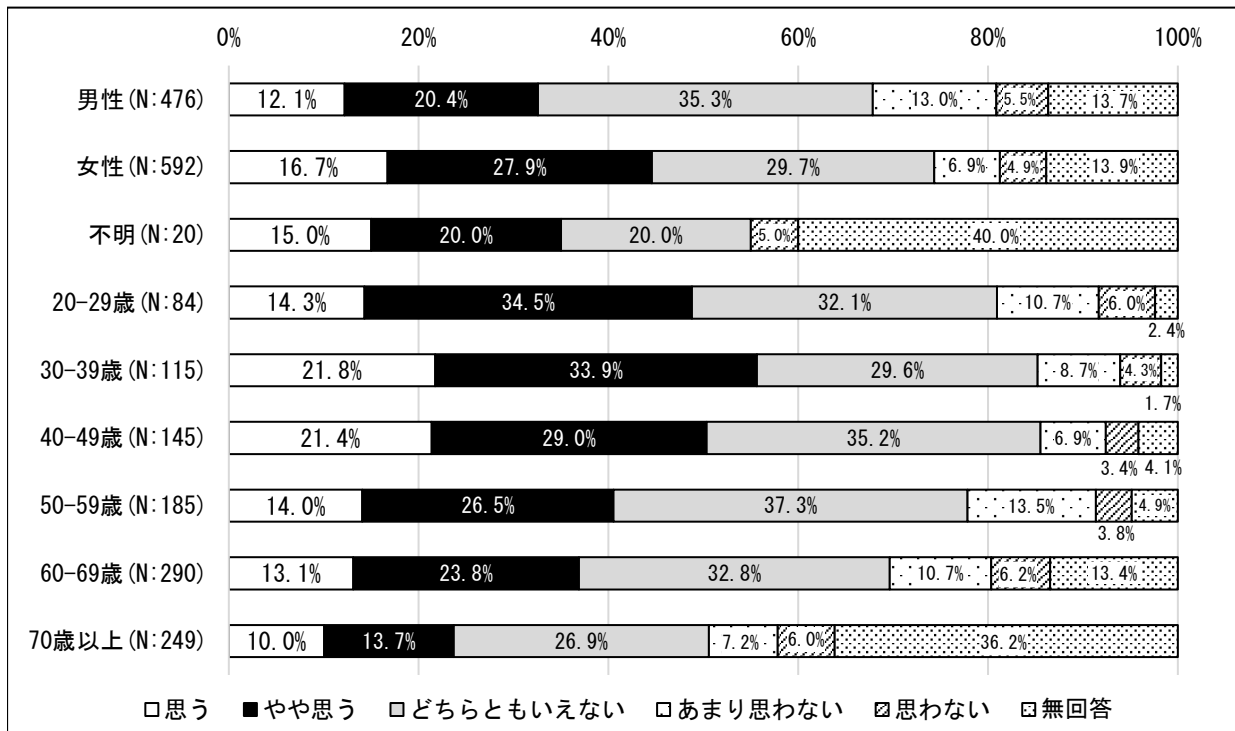
性別、年齢を問わず、「どちらともいえない」が最も大きく、かつ「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を上回っている。また、年代が下がるにつれて「あまり思わない」「思わない」の合計が大きくなっている。

(社会的な評価が高い)



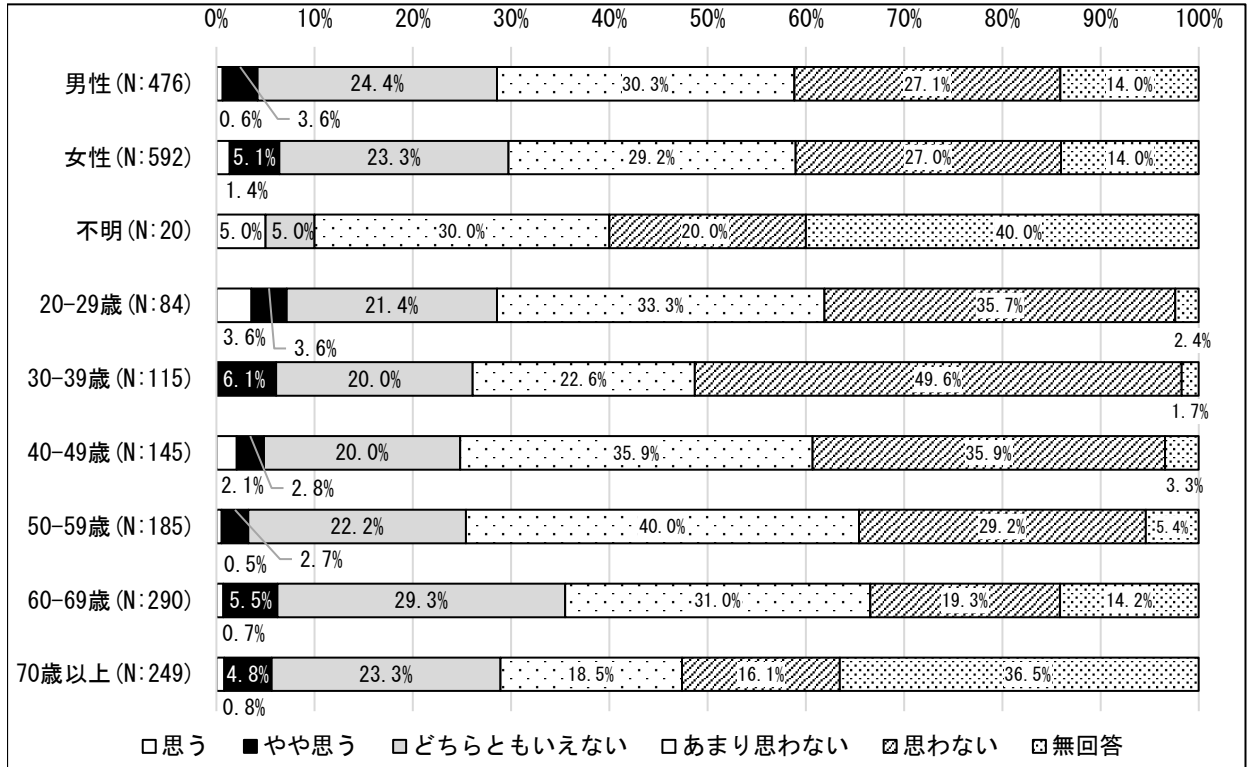
男女ともに、また30歳代以上で、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。20歳代では、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を上回っている。

(就職先に困らない)



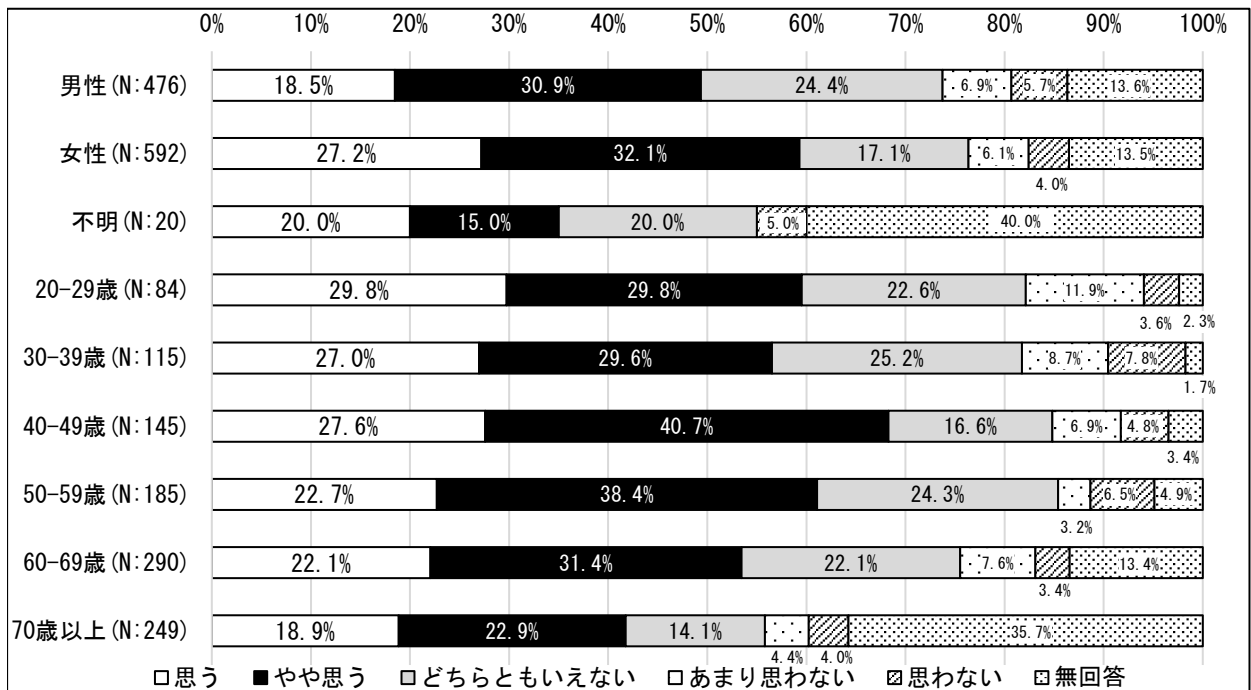
性別、年代を問わず、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っており、その割合は、男性より女性が、また概ね年代が下がるほど大きくなっている。

(給料や休みの条件がよい)



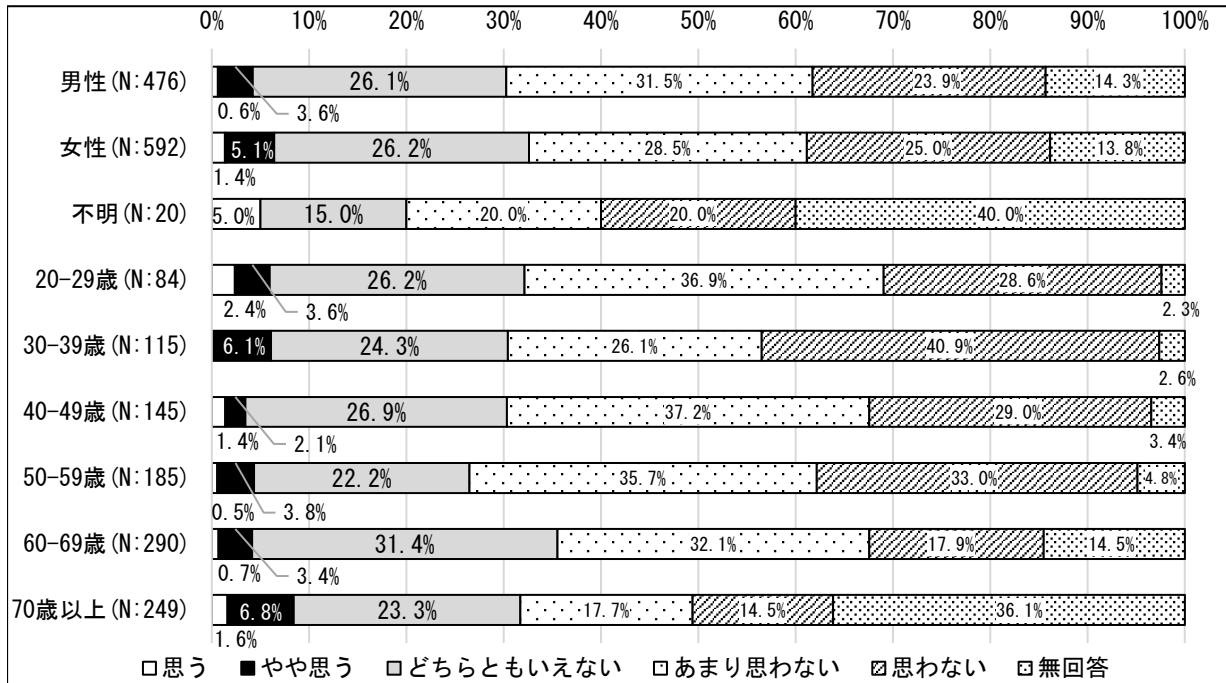
性別、年代を問わず、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(資格や専門性が生かせる)



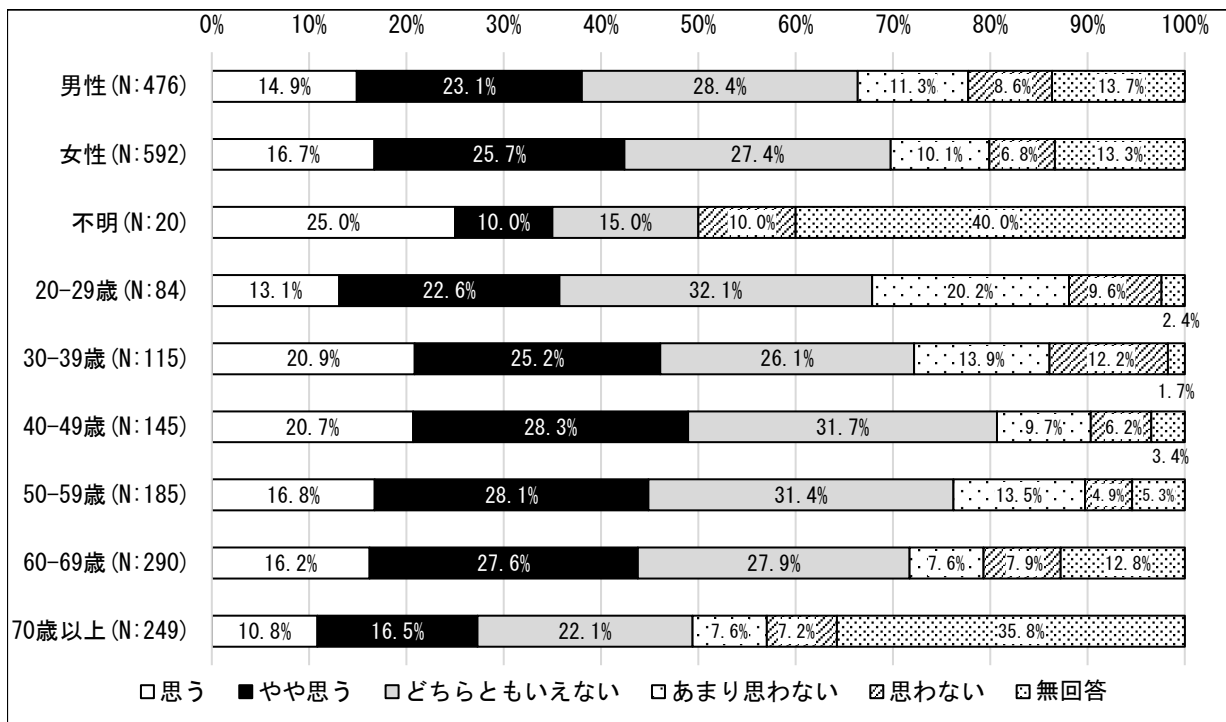
性別、年代を問わず、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っており、性別で見ると、男性より女性が大きくなっている。また、「思う」の割合は年代が下がるほど大きくなっている。

(勤務時間等の条件がよい)



性別、年代を問わず、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を大きく上回っている。また、30歳代では「思わない」が他の年代より大きくなっている。

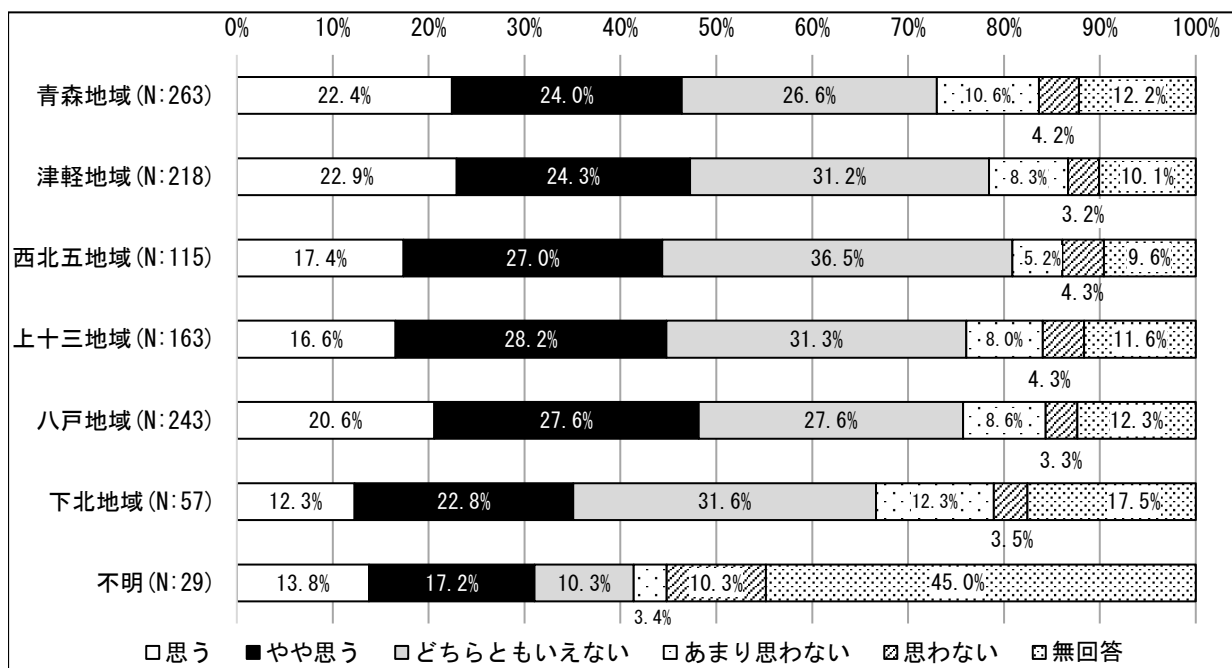
(将来性がある)



性別、年代を問わず、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

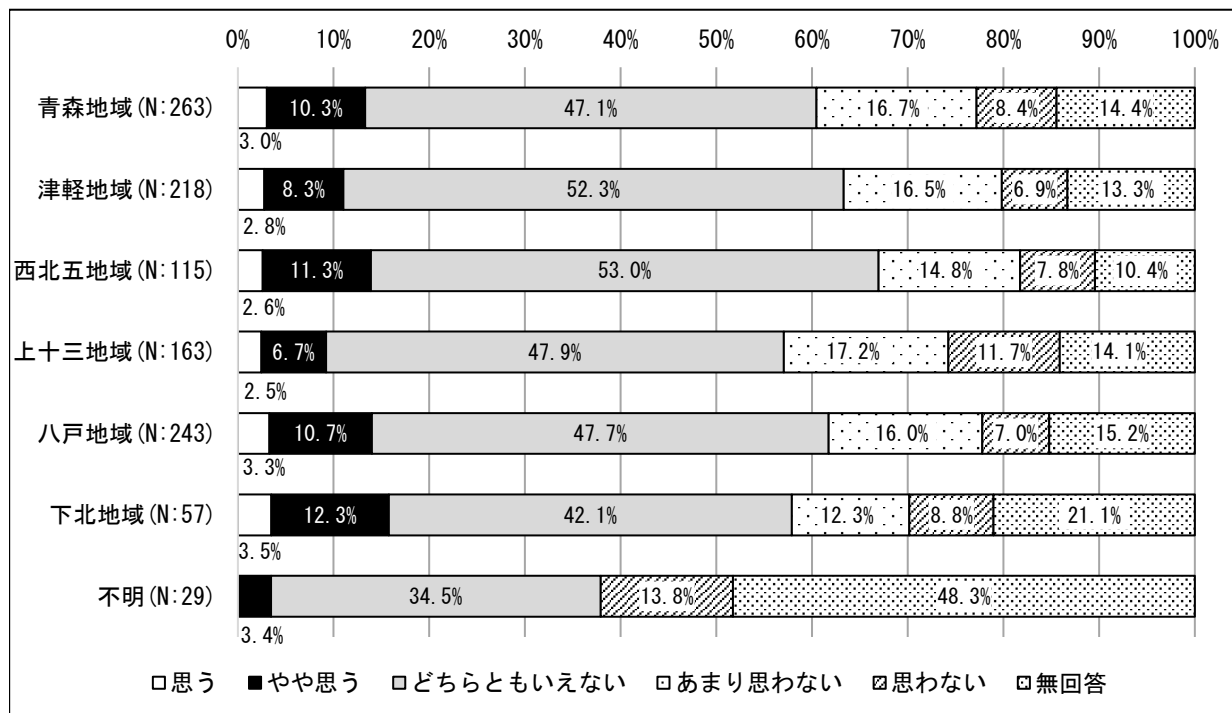
【地域別】

(やりがいがある)



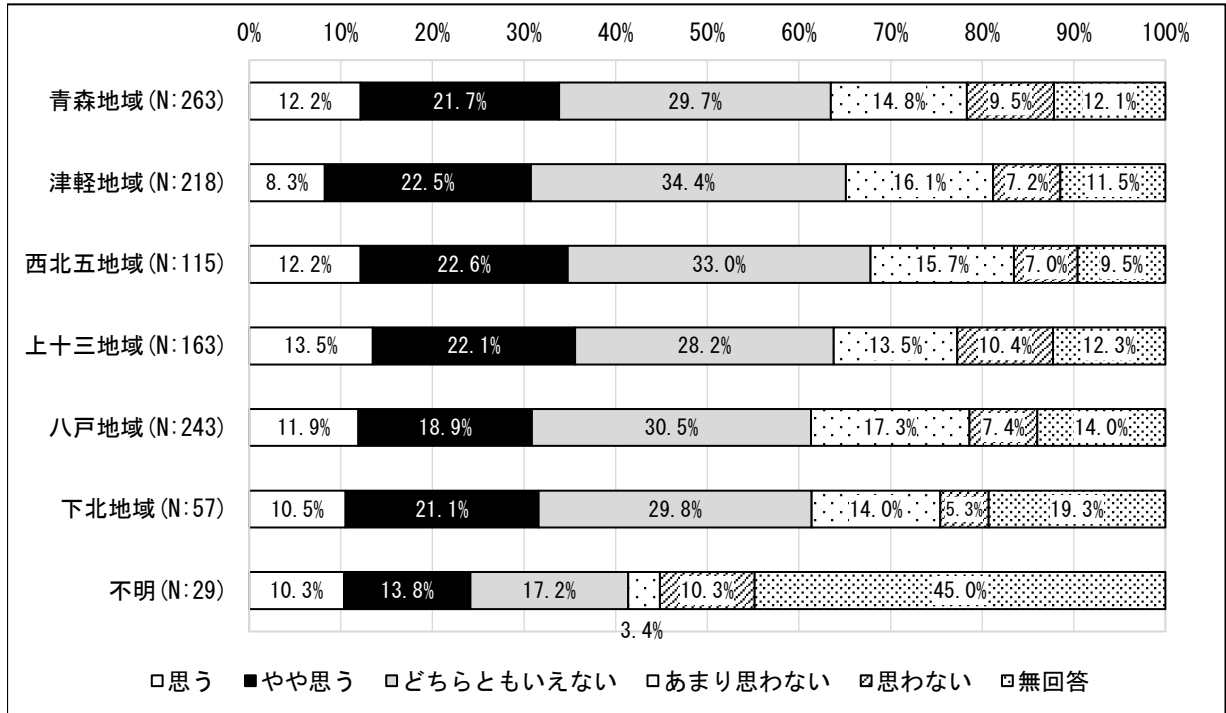
全ての地域で、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。特に「八戸地域」では、「思う」「やや思う」の合計が他の地域より大きくなっている。

(職場の雰囲気がい)



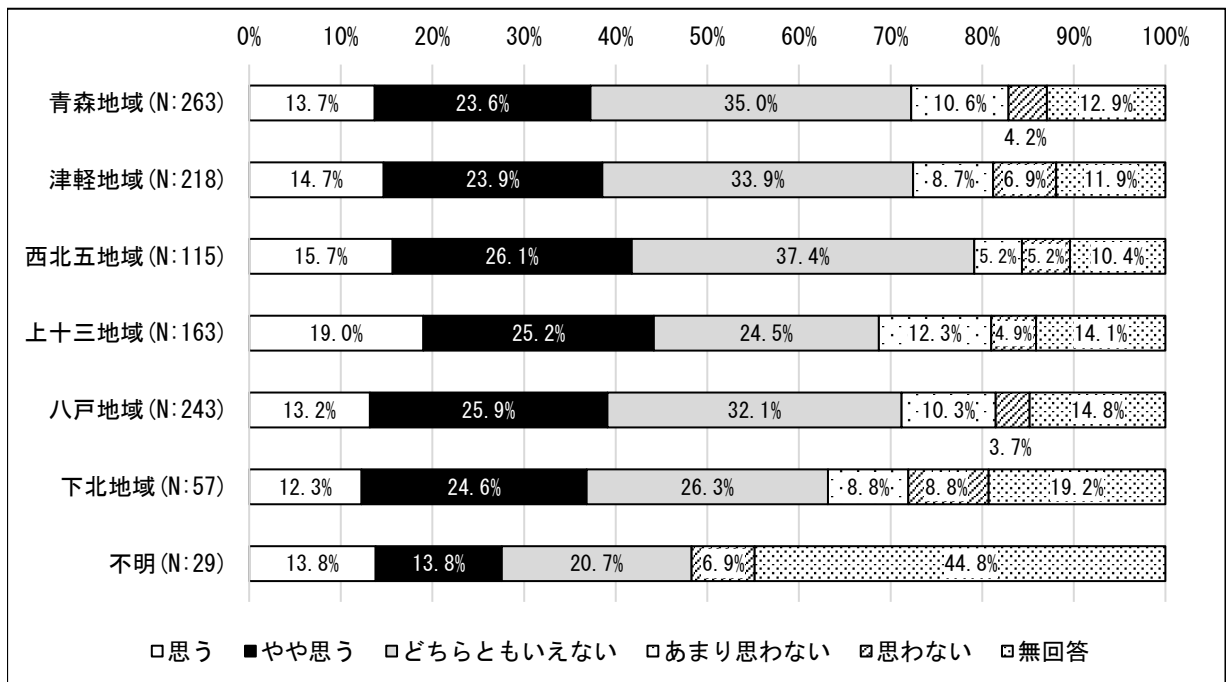
全ての地域で「どちらともいえない」が最も大きく、かつ「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を上回っている。

(社会的な評価が高い)



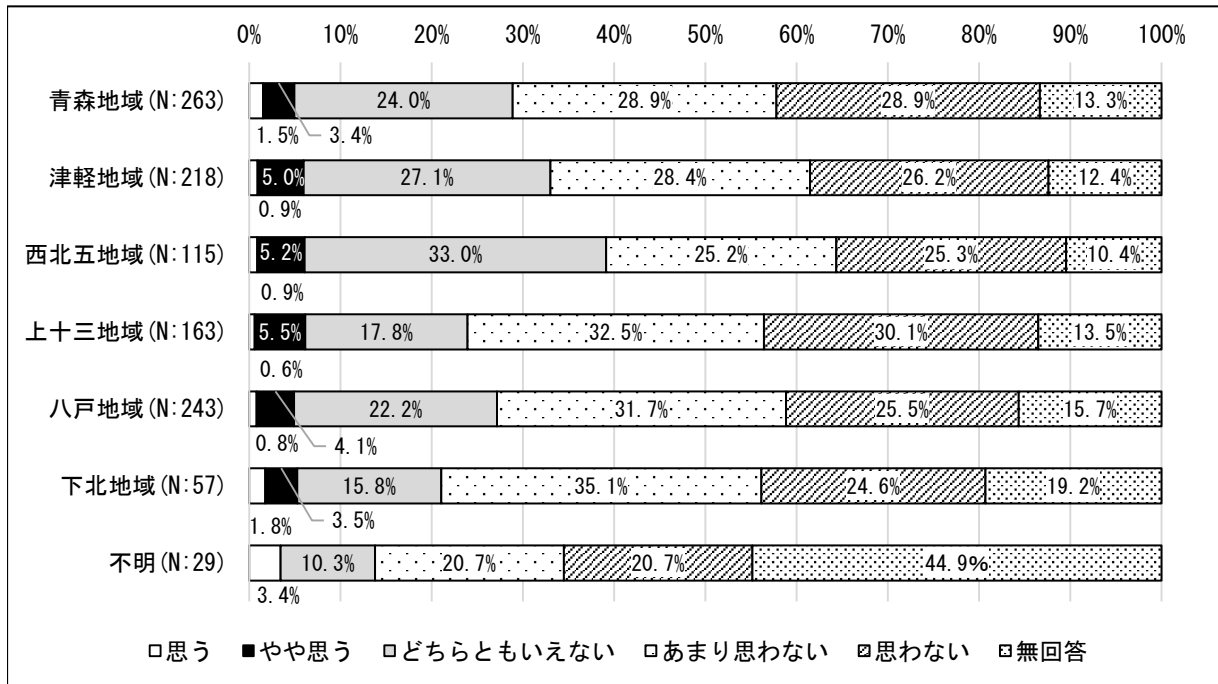
全ての地域で、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

(就職先に困らない)



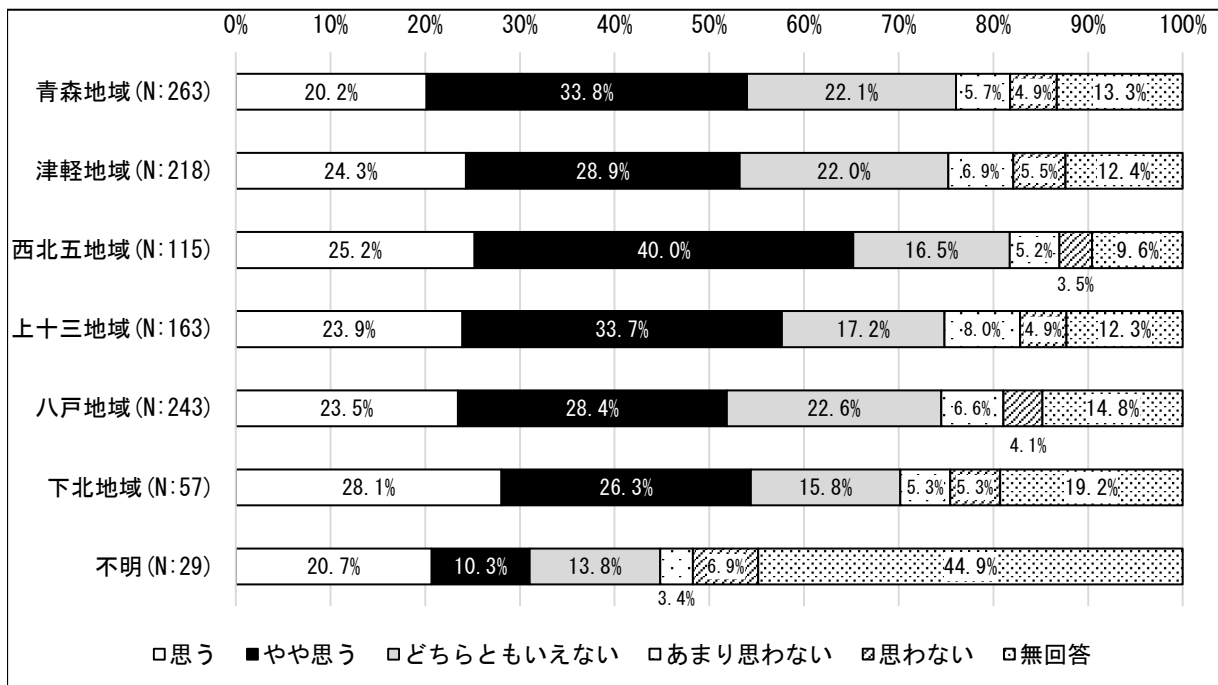
全ての地域で、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

(給料や休みの条件がよい)



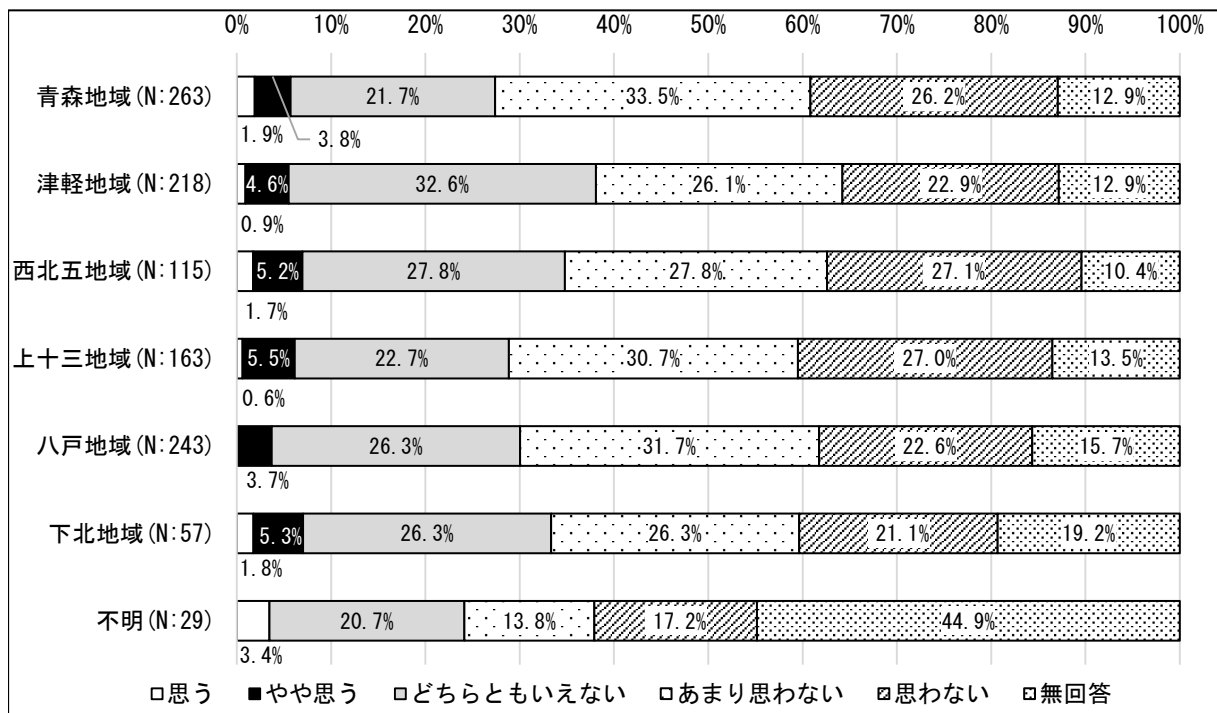
全ての地域で、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(資格や専門性が生かせる)



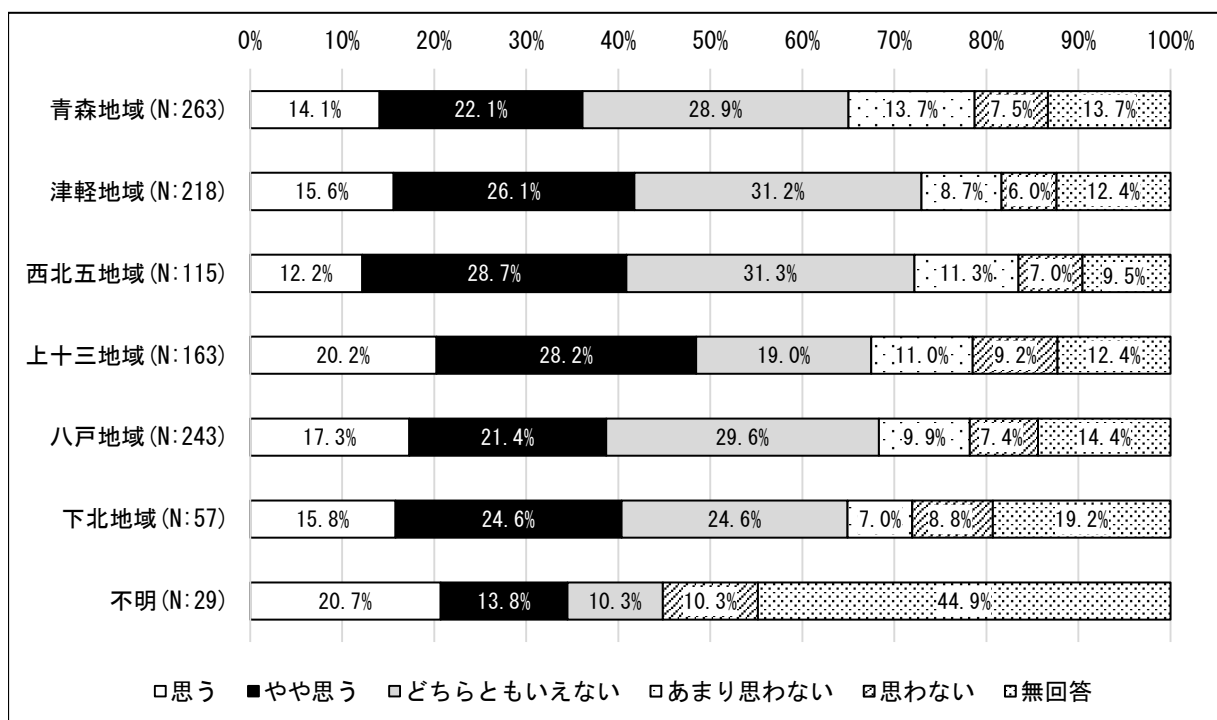
全ての地域で、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を大きく上回っている。

(勤務時間等の条件がよい)



全ての地域で、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を大きく上回っている。

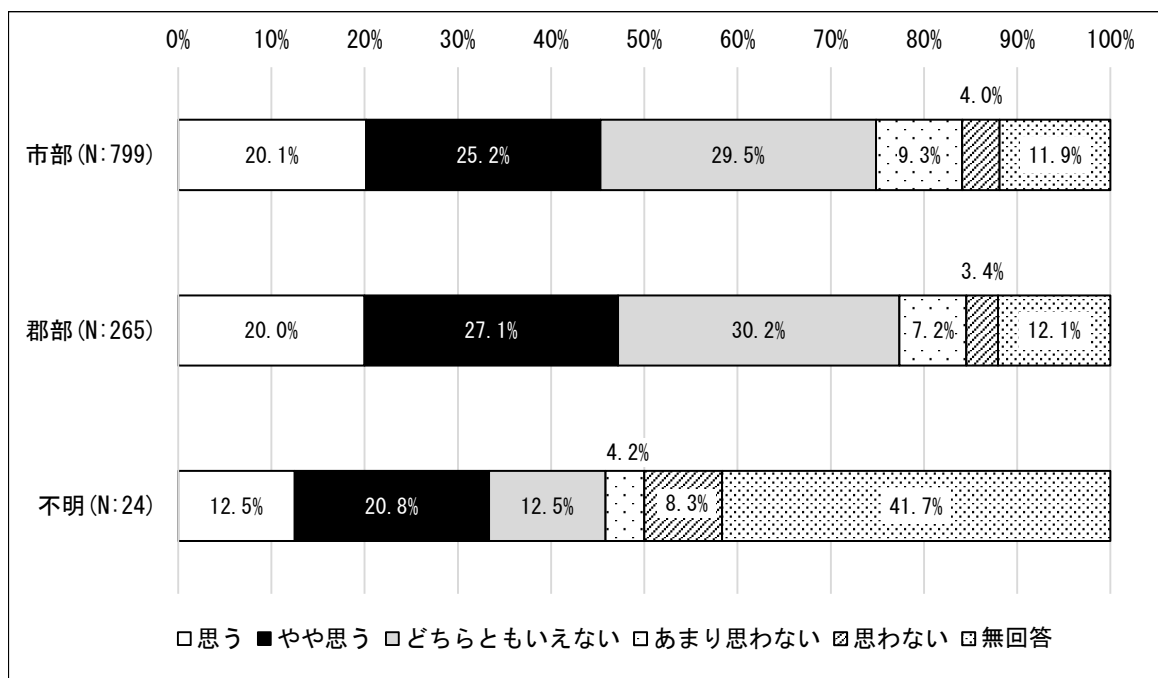
(将来性がある)



全ての地域で、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

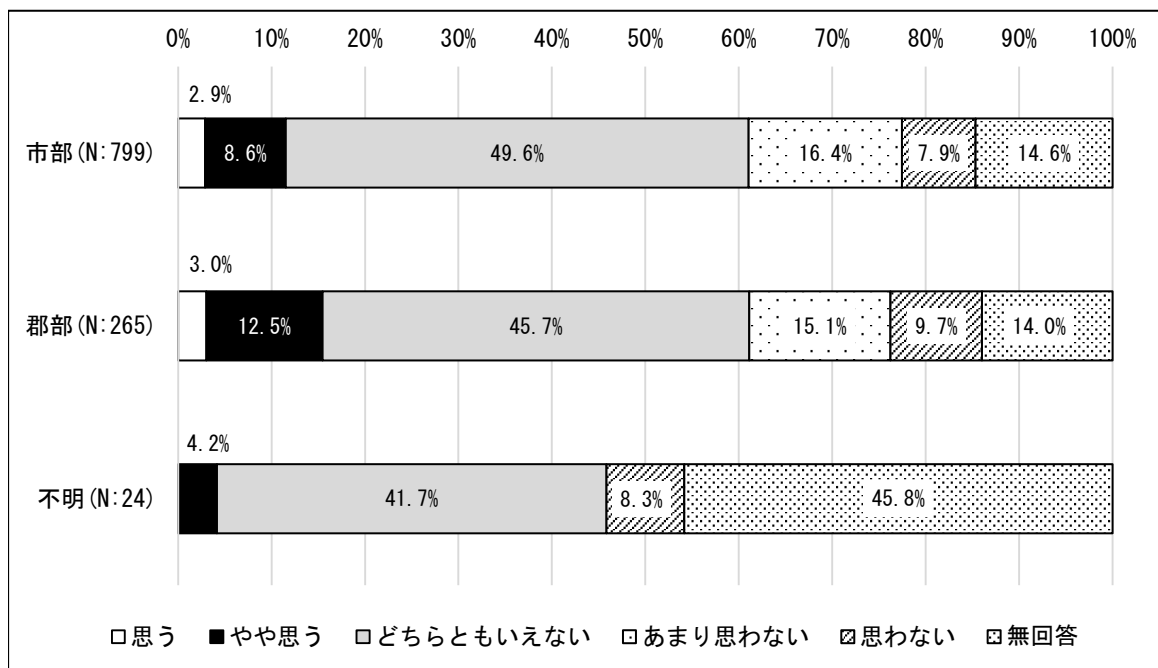
【市部・郡部別】

(やりがいがある)



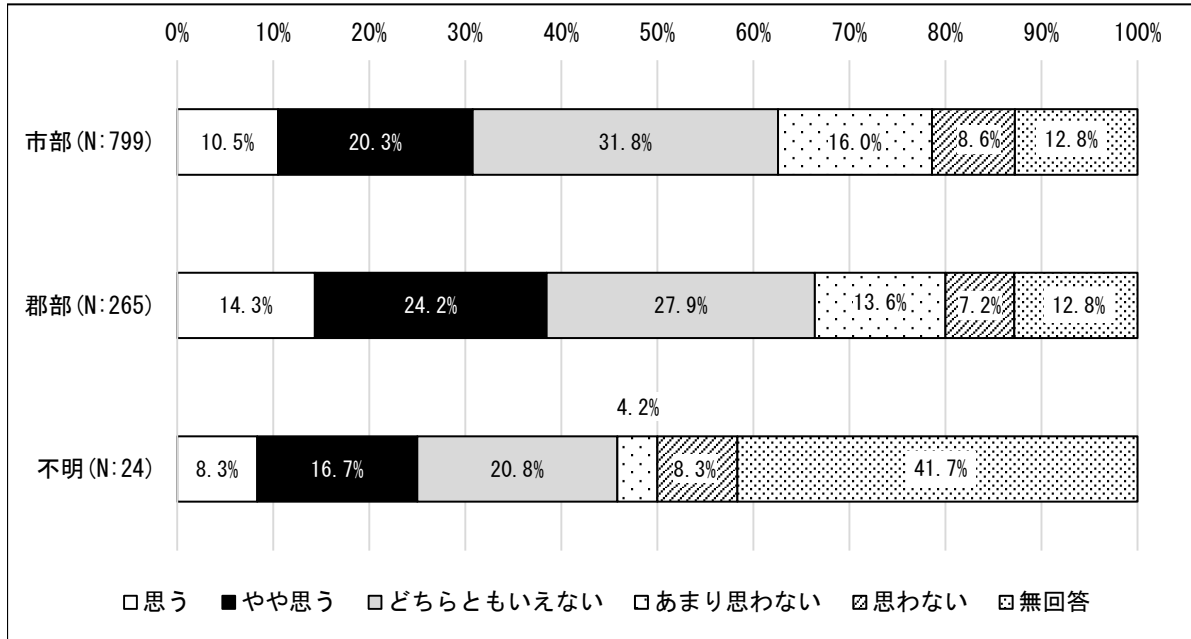
市部・郡部ともに、「思う」「やや思う」の合計が、「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

(職場の雰囲気がよい)



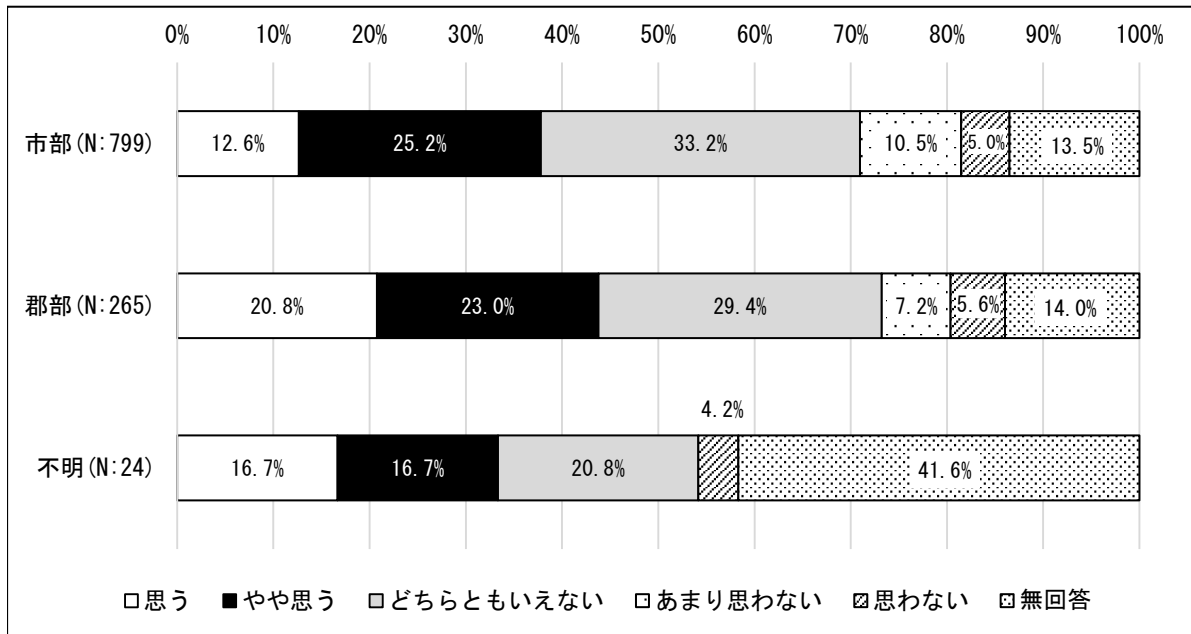
市部・郡部ともに、「どちらともいえない」が最も大きく、かつ「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を上回っている。

(社会的な評価が高い)



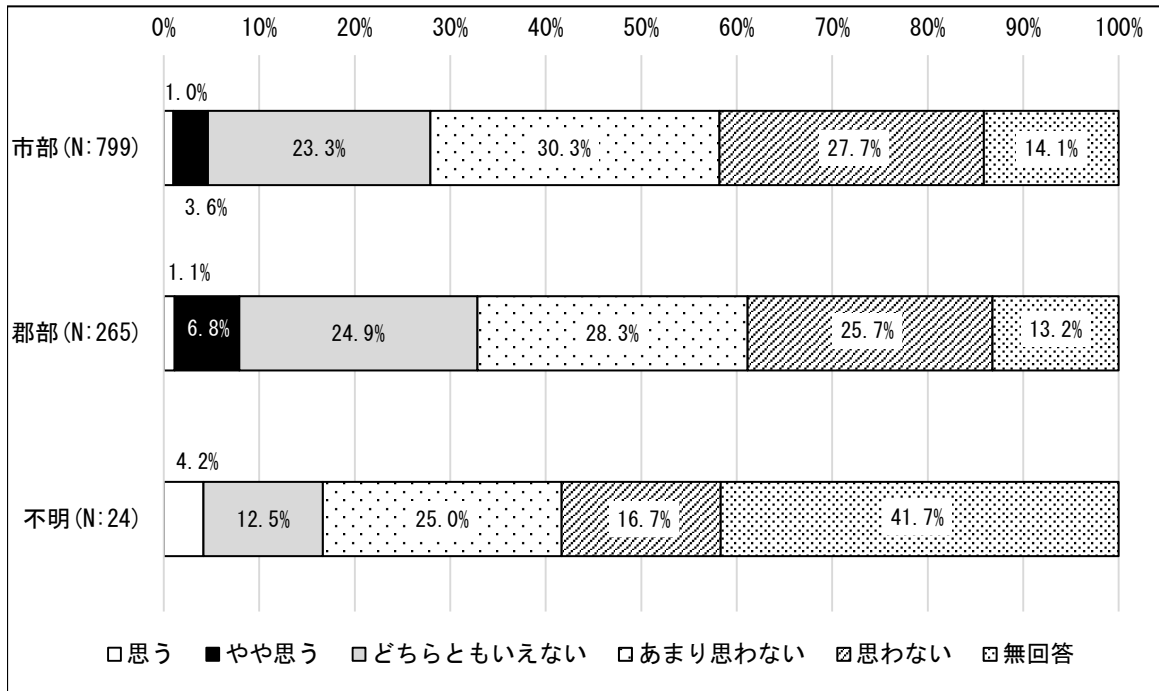
市部・郡部ともに、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

(就職先に困らない)



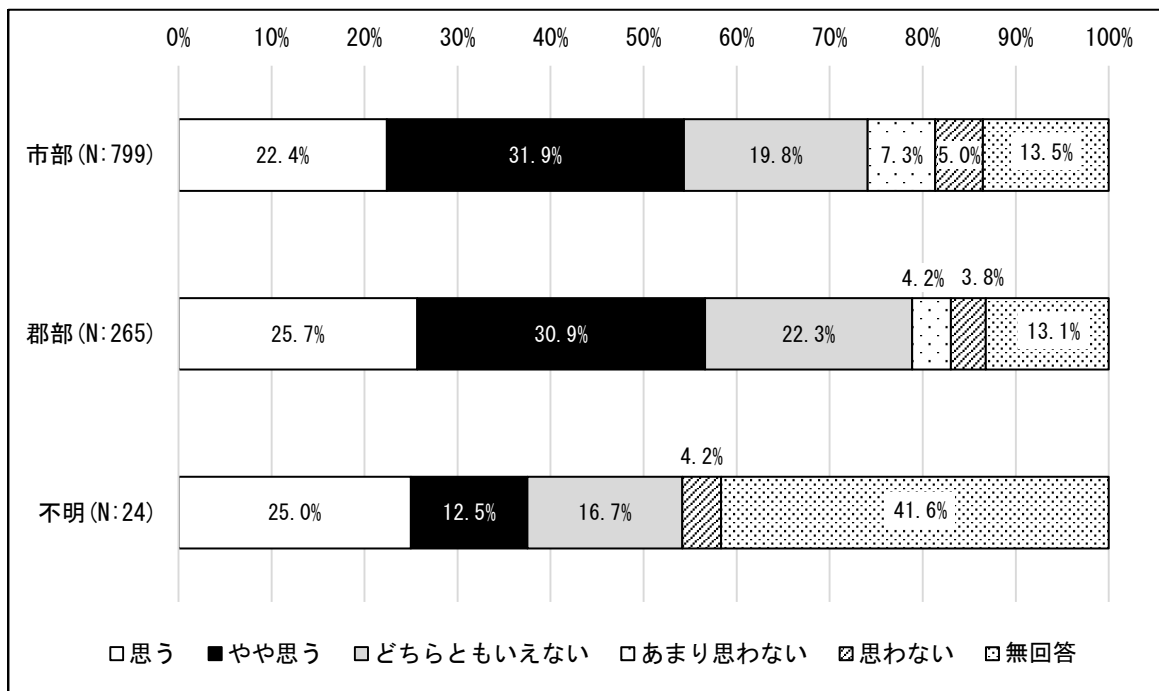
市部・郡部ともに、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を上回っている。

(給料や休みの条件がよい)



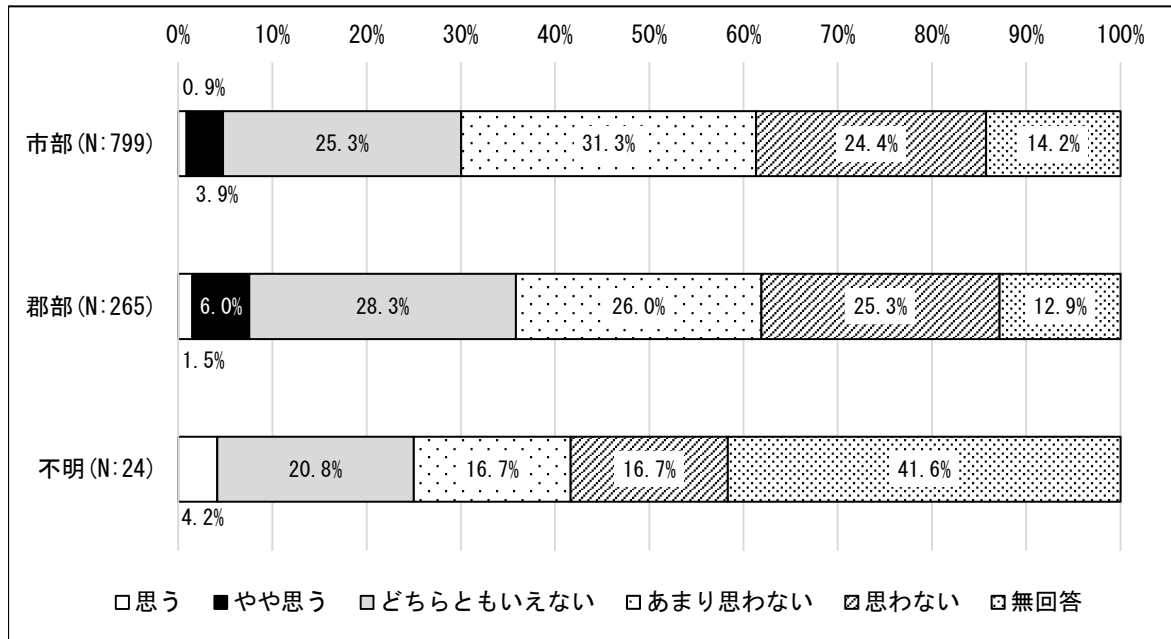
市部・郡部ともに、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(資格や専門性が生かせる)



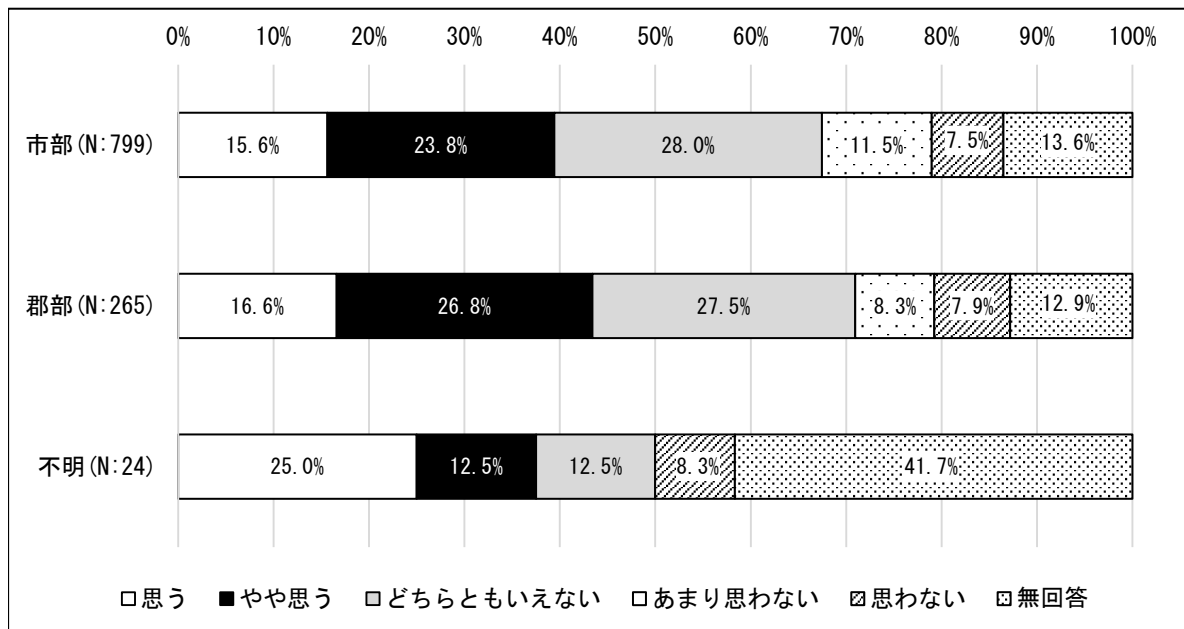
市部・郡部ともに、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を大きく上回っている。

(勤務時間等の条件がよい)



市部・郡部ともに、「あまり思わない」「思わない」の合計が「思う」「やや思う」の合計を大きく上回っている。

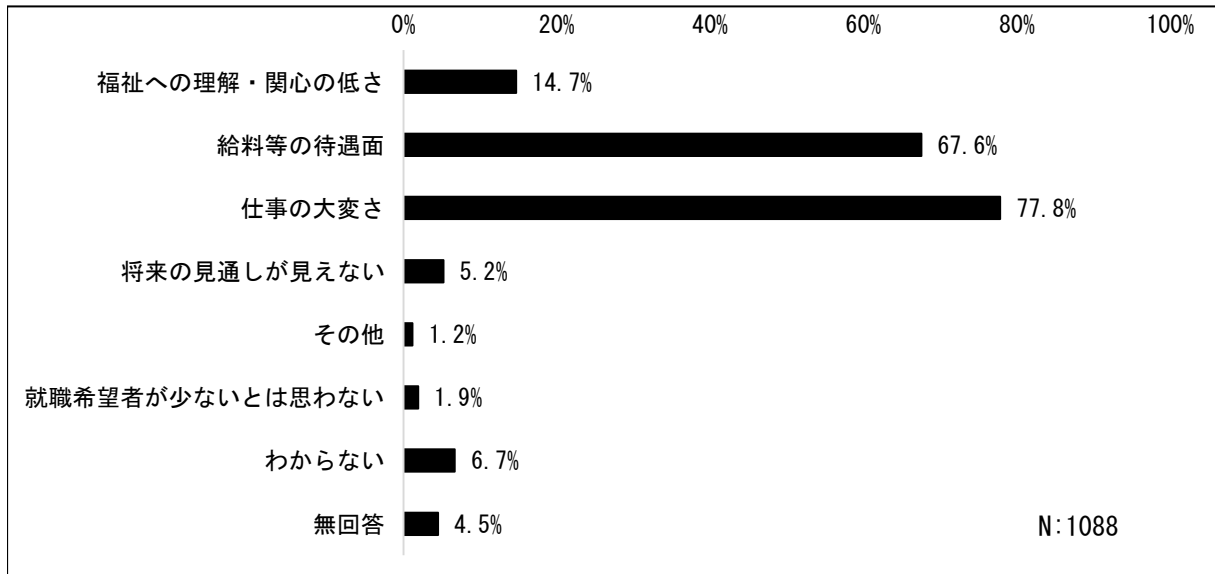
(将来性がある)



市部・郡部ともに、「思う」「やや思う」の合計が「あまり思わない」「思わない」の合計を大きく上回っている。

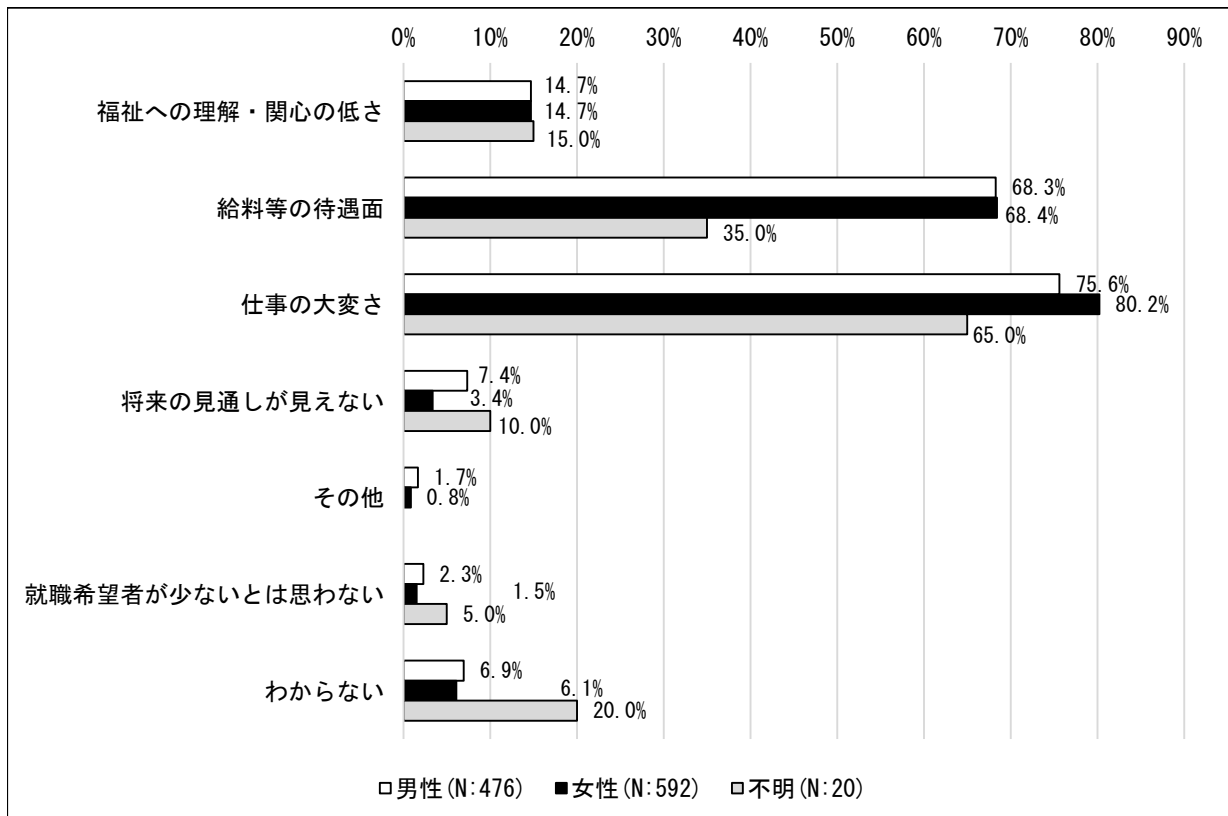
問 35. 福祉関係への就職希望者が少ない傾向にあります、その理由としてどのようなことが考えられますか。（2つまで）

・福祉関係への就職希望者が少ない理由



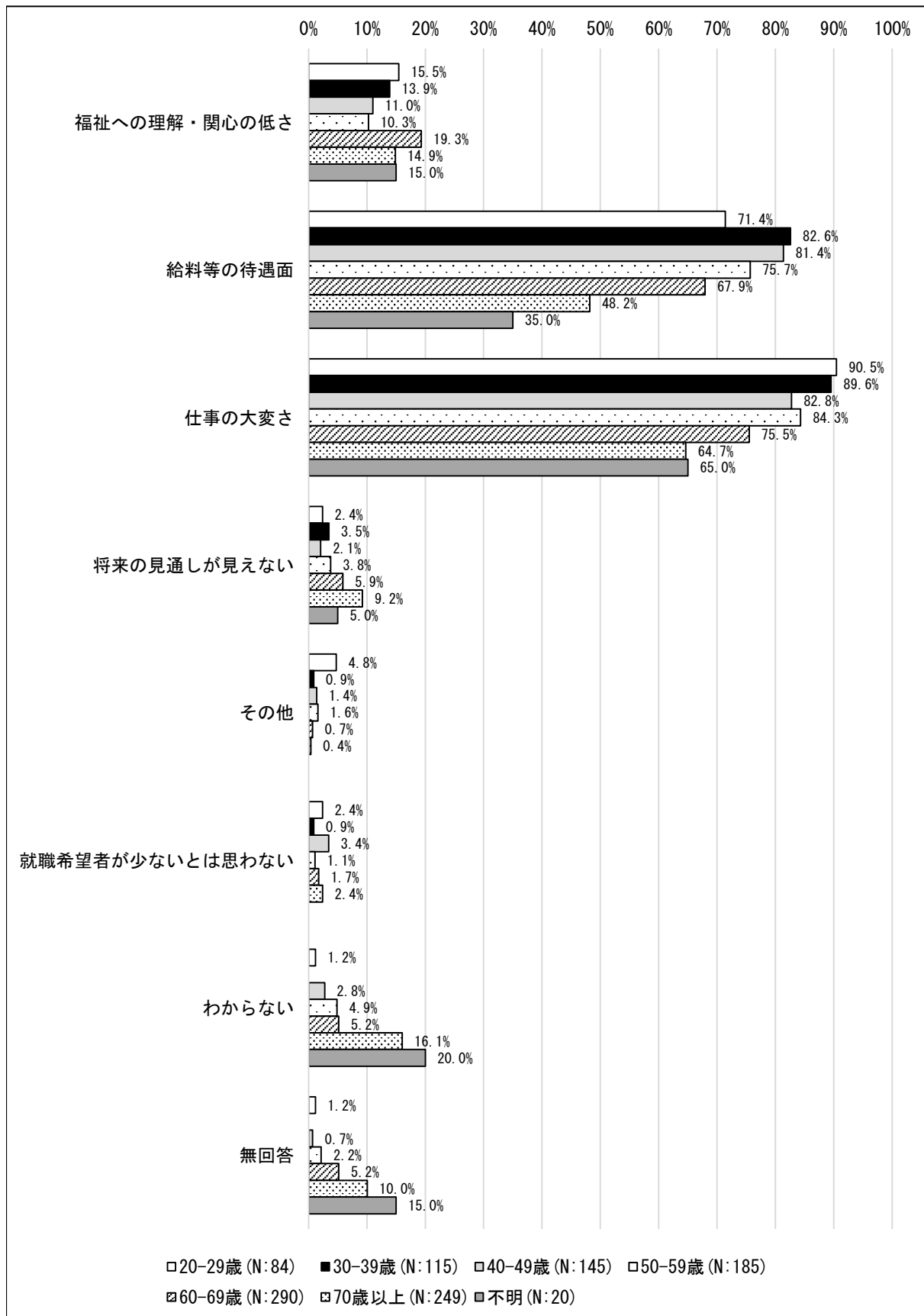
「仕事の大変さ」が78%、「給料等の待遇面」が68%、「福祉への理解・関心の低さ」が15%となっている。

【男女別】



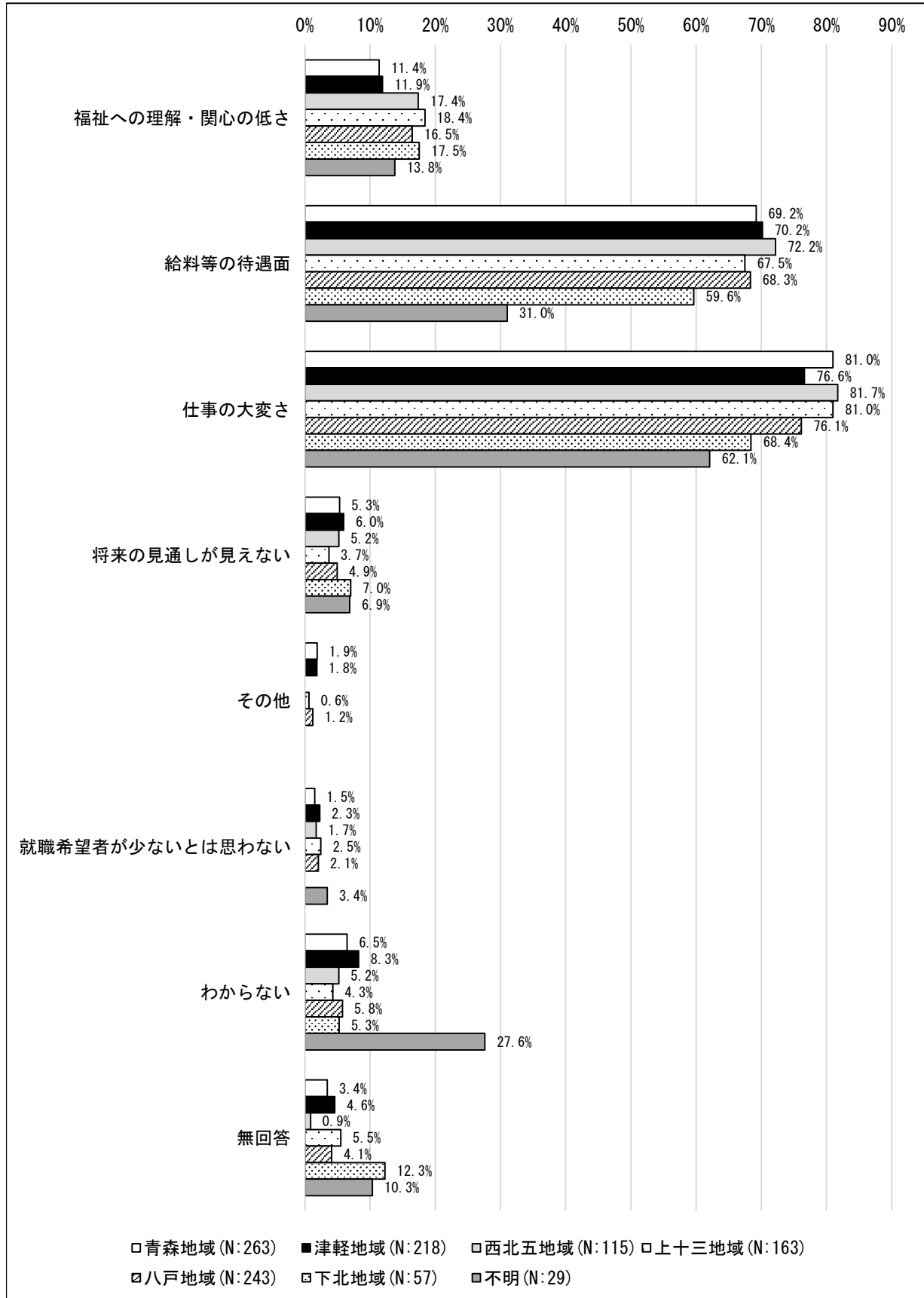
男女ともに「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料などの待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」の順となっている。

【年代別】



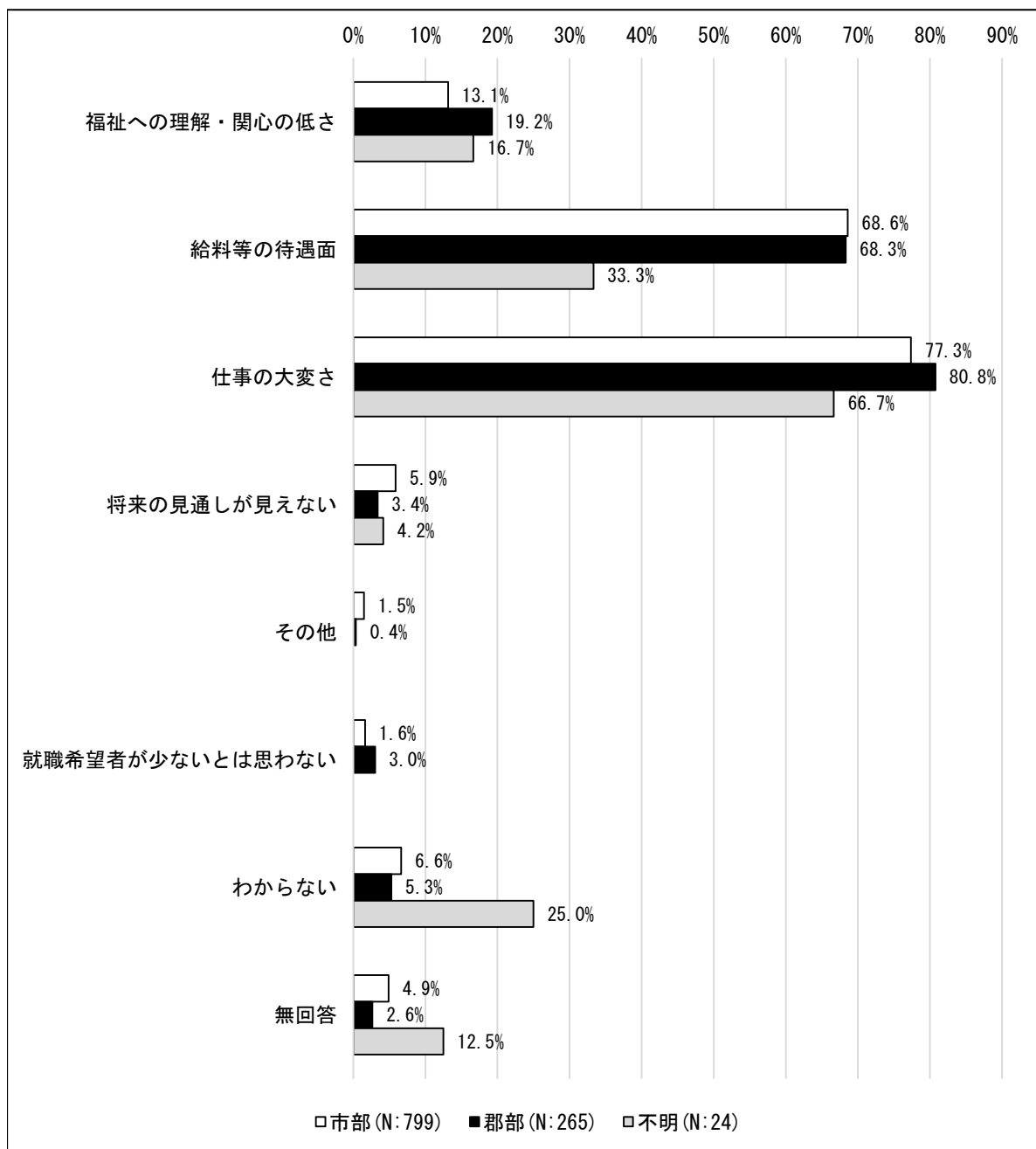
全ての年代で「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料等の待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」となっている。

【地域別】



全ての地域で「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料等の待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」の順となっている。

【市部・郡部別】



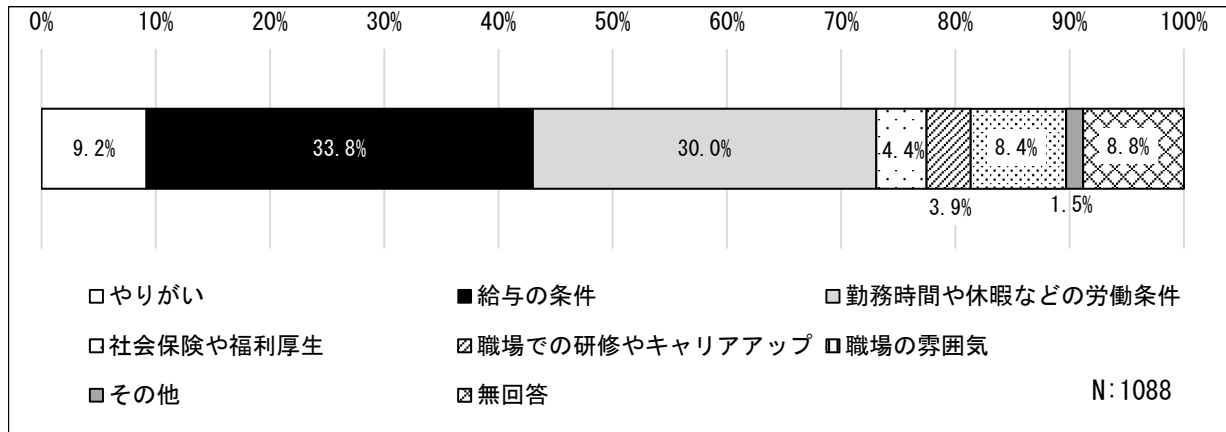
市部・郡部ともに「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料などの待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」の順となっている。

【自由回答より】

- ・職場の人間関係の悪さ、職種差別など（資格等）
- ・体力面でハードの割には給料面等安いイメージ。けれど、今後の世は、年配者が増えると思うので、いつか役に立ちたいと思っている

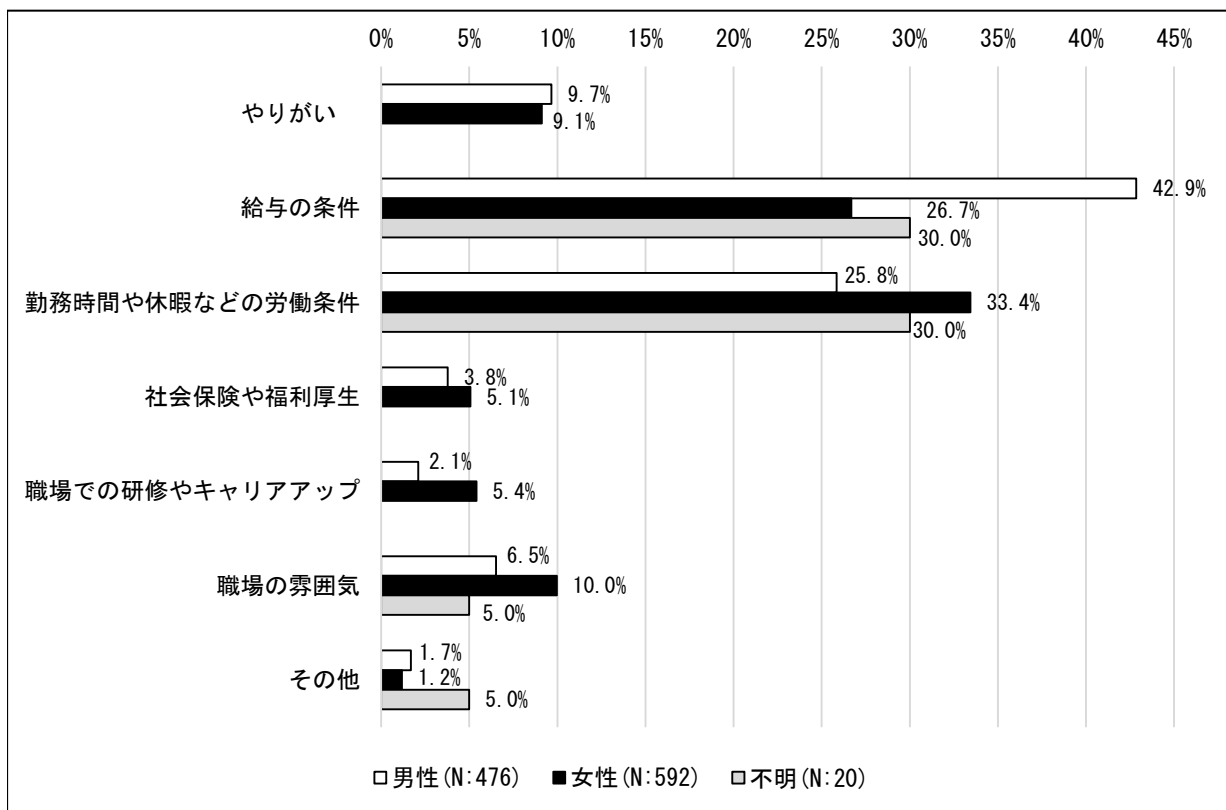
問 36. 福祉や介護の仕事を選ぶ時に、どのような情報が必要ですか。（1つ）

・福祉や介護の仕事を選ぶときに必要な情報



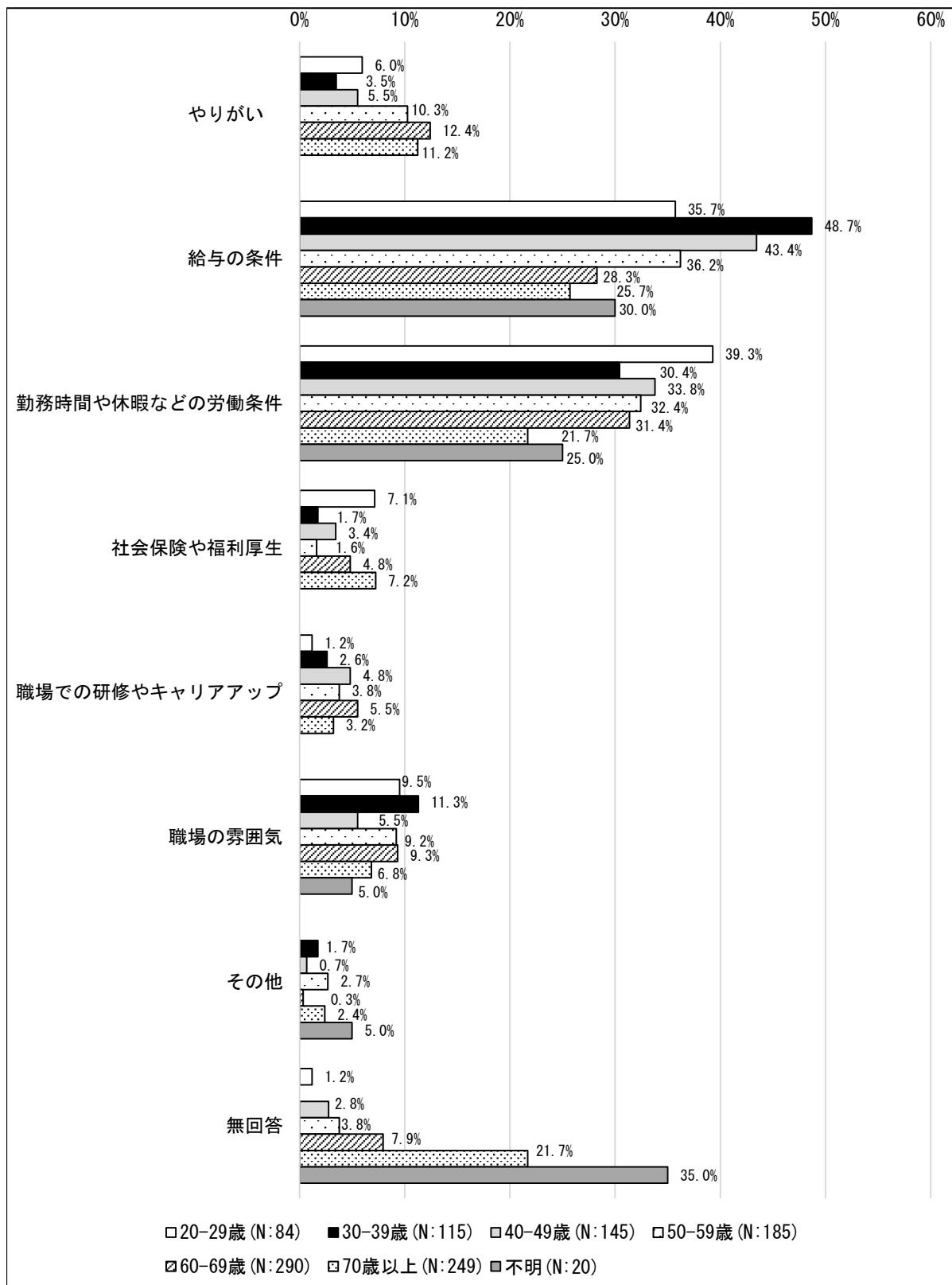
「給与の条件」が34%、「勤務時間や休暇などの労働条件」が30%、「やりがい」が9%となっている。

【男女別】



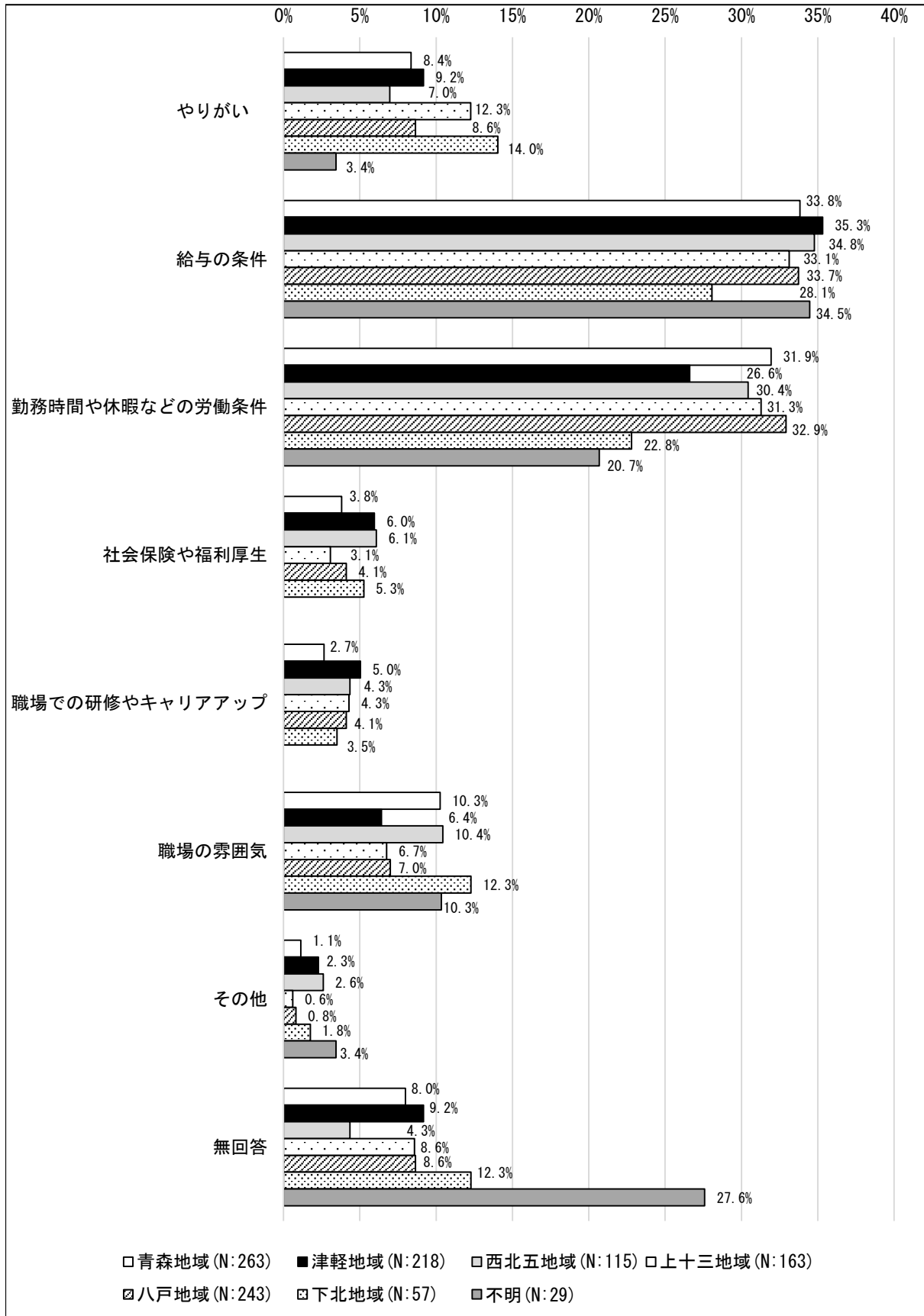
男性では、「給与の条件」が最も大きく、次いで「勤務時間や休暇などの労働条件」、「やりがい」となっている。女性では、「勤務時間や休暇などの労働条件」が最も大きく、次いで「給与の条件」、「職場の雰囲気」となっている。

【年代別】



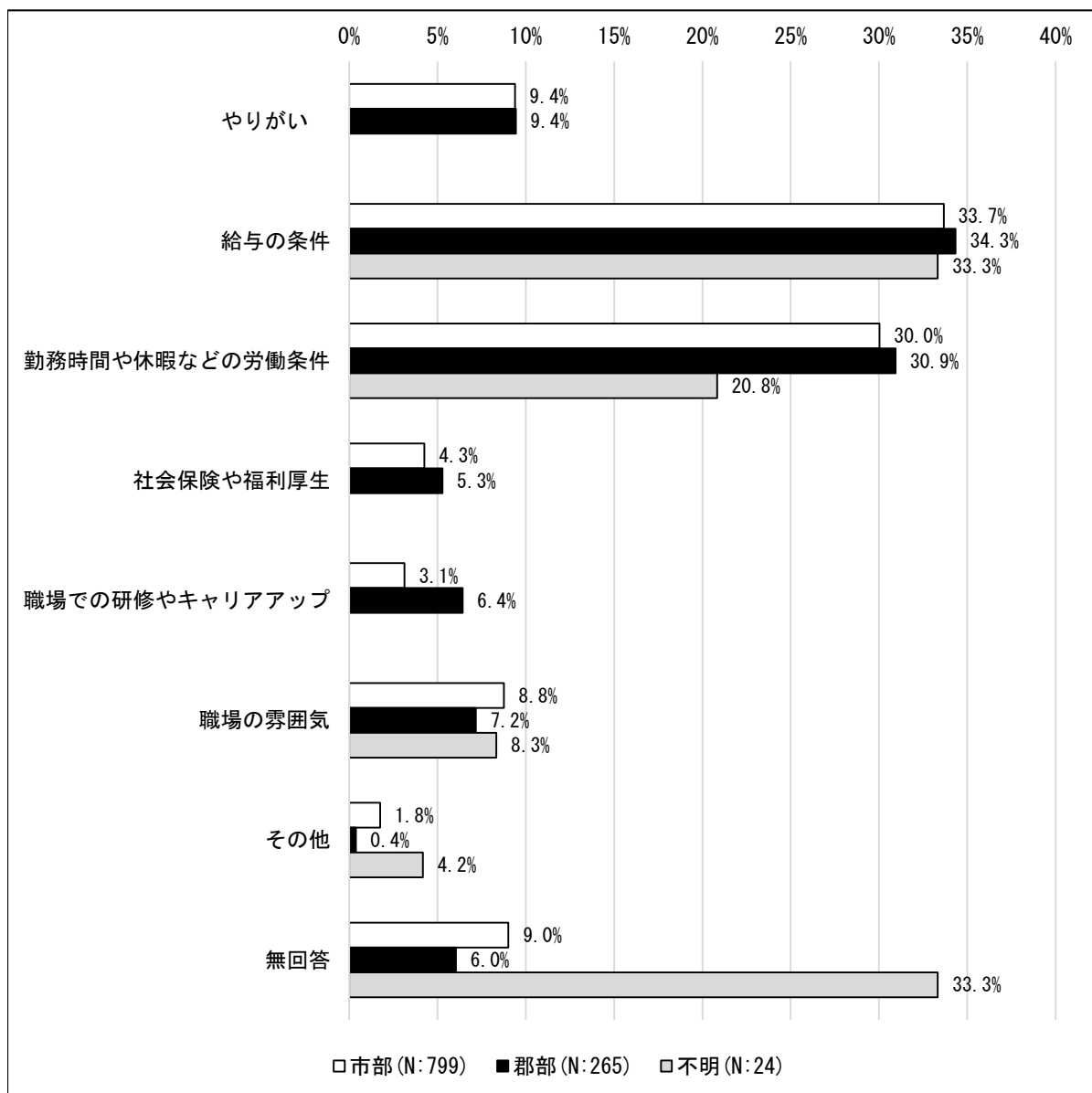
20歳代、60歳代では「勤務時間や休暇などの労働条件」、その他の年代では「給与の条件」が最も大きくなっている。20歳代では「勤務時間や休暇などの労働条件」の割合が、30歳代では「給与の条件」がそれぞれ他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「給与の条件」、「勤務時間や休暇などの労働条件」の順に大きくなっており、次いで青森地域、西北五地域では「職場の雰囲気」、他の地域では「やりがい」となっている。

【市部・郡部別】



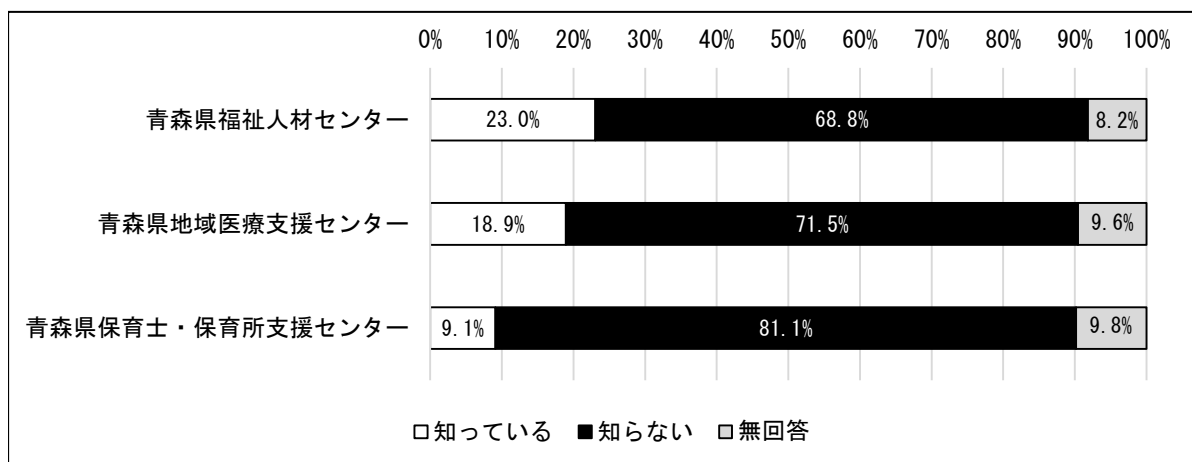
市部・郡部ともに「給与の条件」が最も大きく、次いで「勤務時間や休暇などの労働条件」、「やりがい」の順となっている。

【自由回答より】

- ・勤務時間、休暇、給与、危険性、精神的負担軽減への職場での取り組み
- ・①～⑥全てだと思うが、あえて言うなら事業者の考え方、理念

問 37. 福祉・介護人材の就労支援や育成などに取り組む専門機関として、次のセンターのことを知っていますか。（1から3についてそれぞれ1つ）

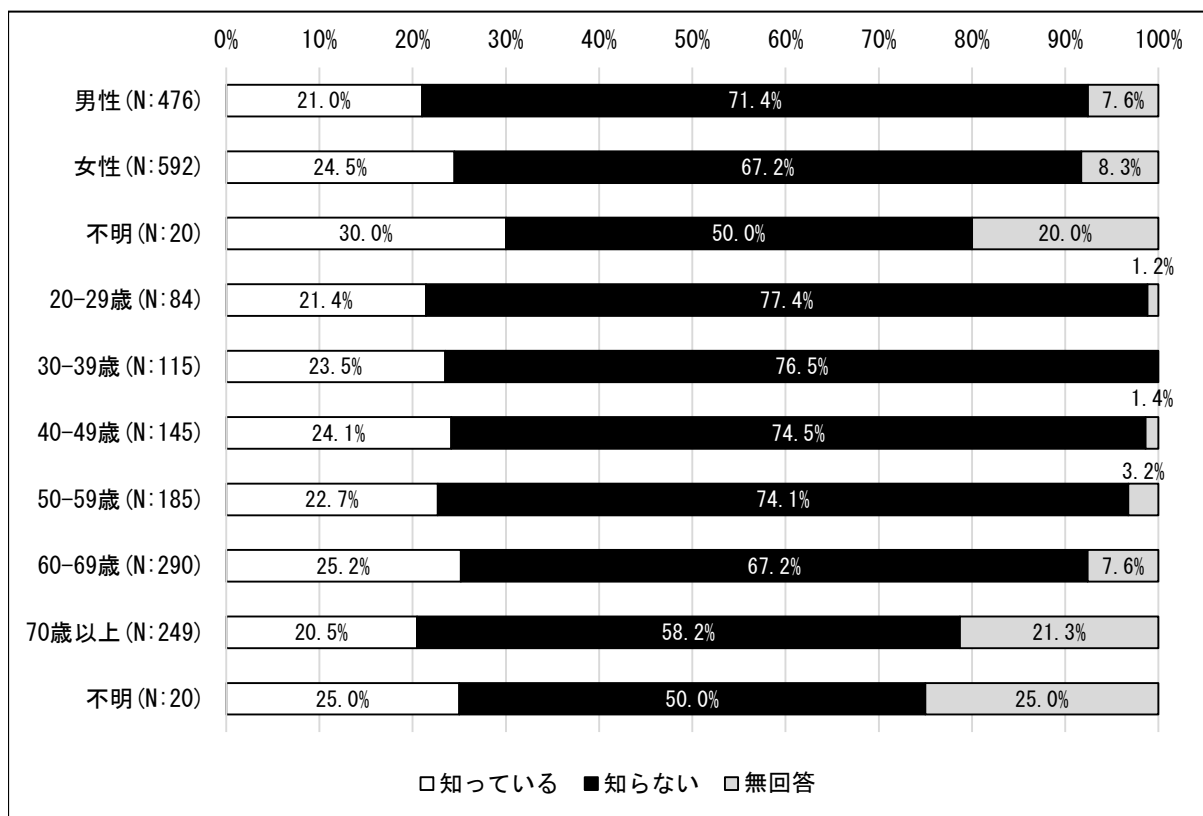
・福祉・介護人材の就労支援や育成などの専門機関



全ての項目で、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は、「青森県福祉人材センター」が23%、「青森県地域医療支援センター」が19%、「青森県保育士・保育所支援センター」が9%となっている。

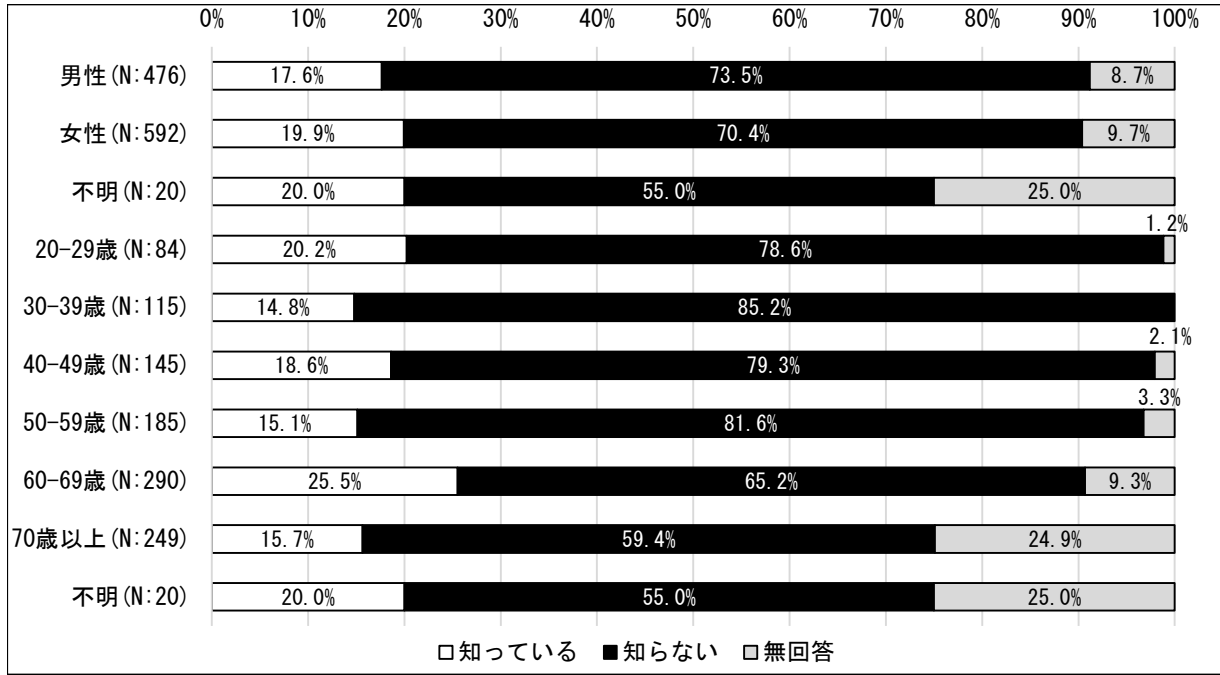
【男女別・年代別】

（青森県福祉人材センター）



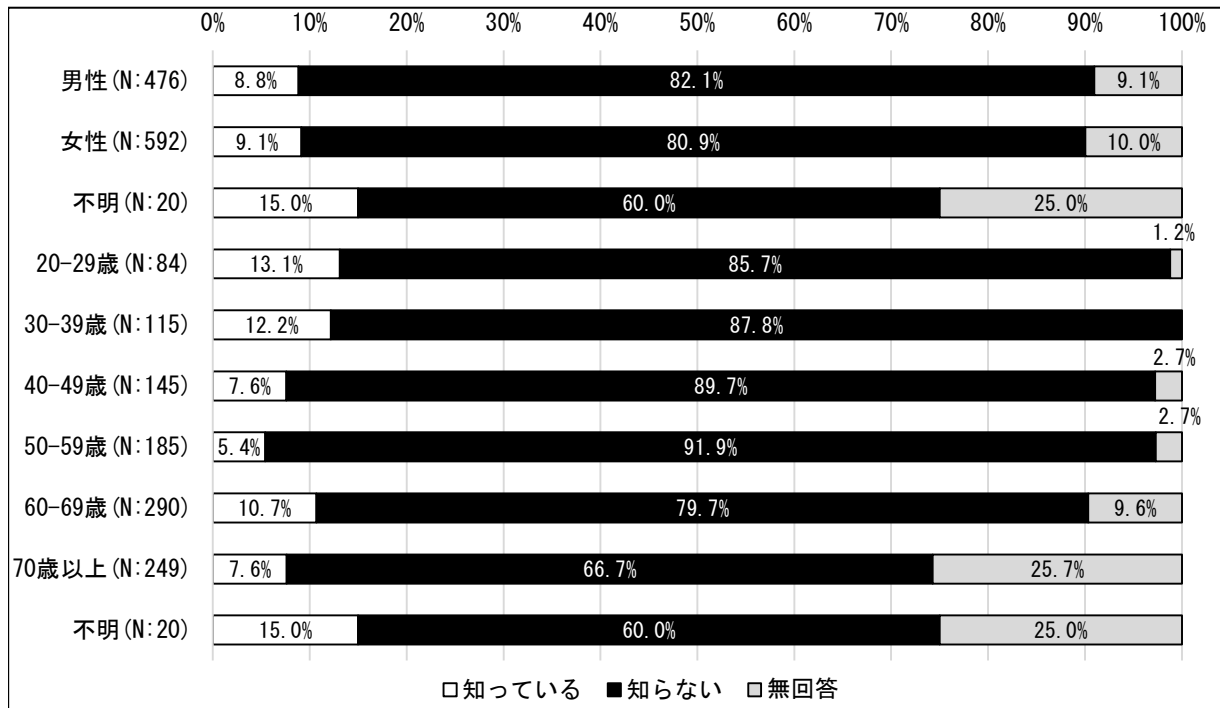
性別、年代を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

(青森県地域医療支援センター)



性別、年代を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。年代別に見ると、「知っている」は60歳代が他の年代より大きくなっている。

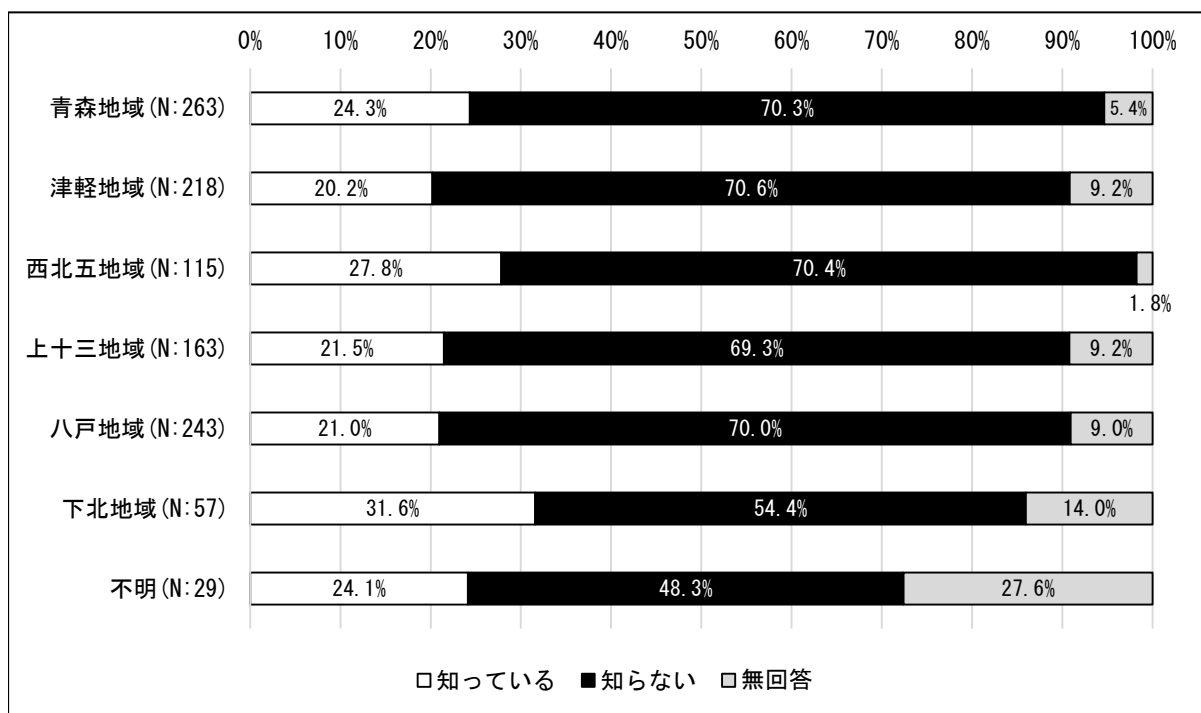
(青森県保育士・保育所支援センター)



性別、年代を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。年代別に見ると、「知っている」は20歳代、30歳代が他の年代より大きくなっている。

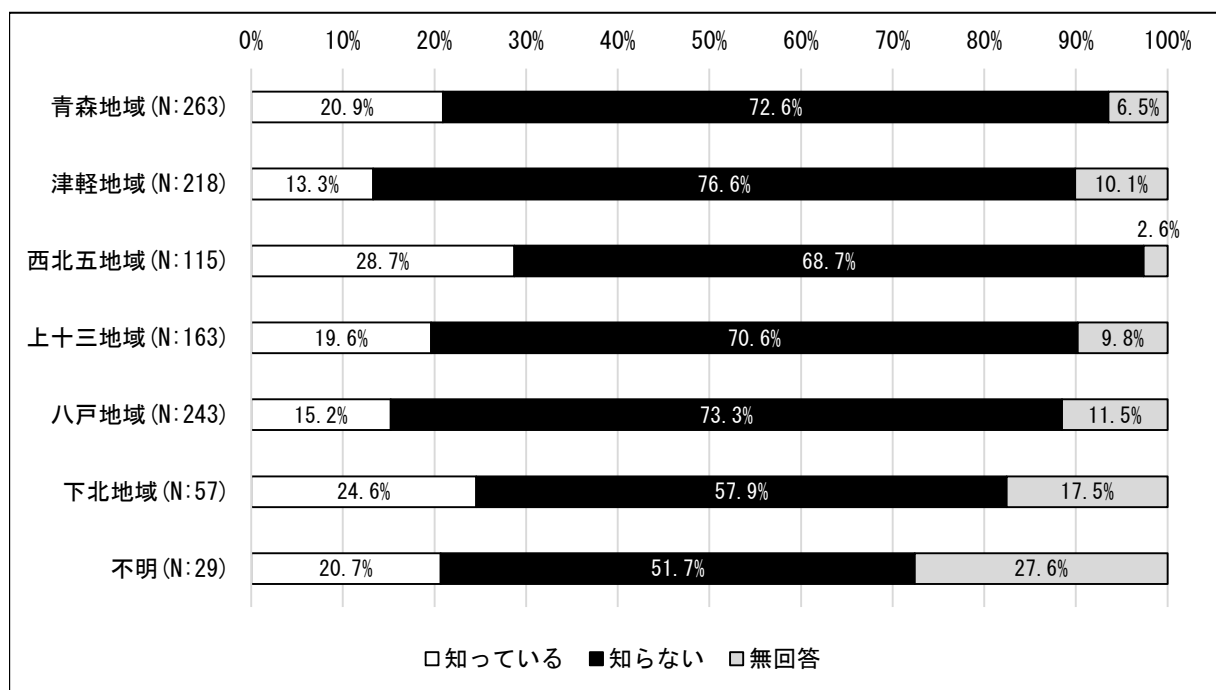
【地域別】

(青森県福祉人材センター)



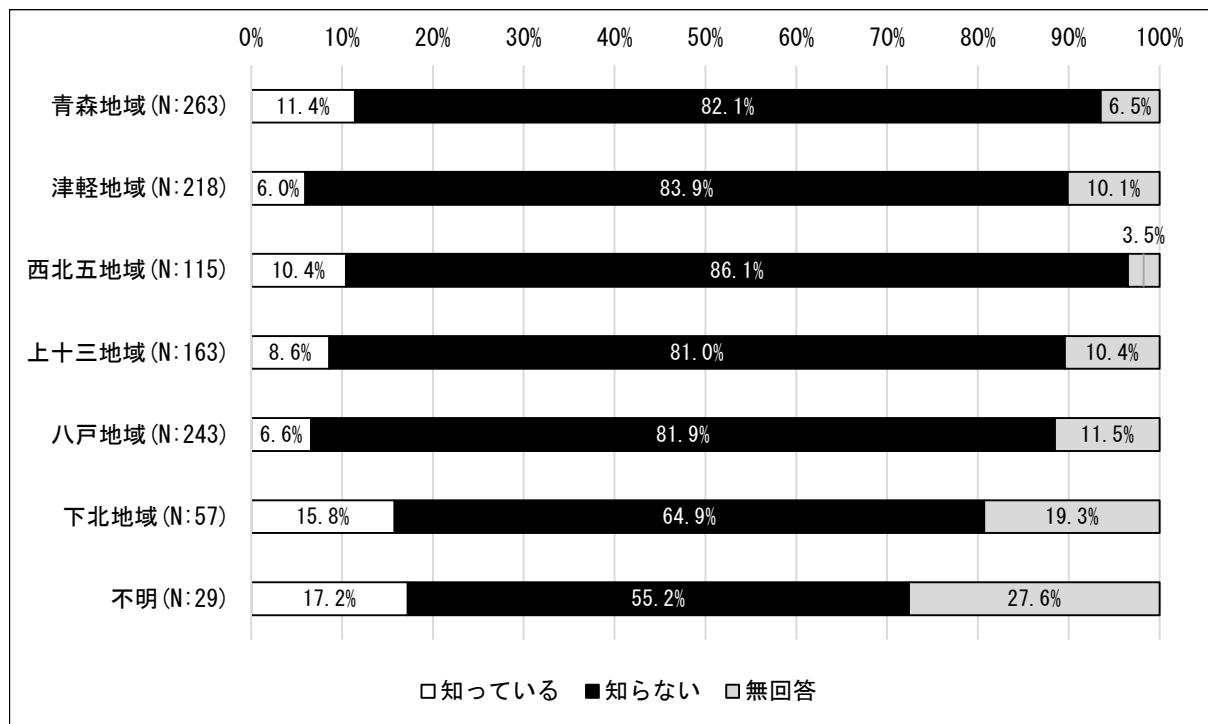
性別、年齢を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。下北地域では、「知っている」が他の地域より大きくなっている。

(青森県地域医療支援センター)



全ての地域で、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。西北五地域、下北地域では、「知っている」が他の地域より大きくなっている。

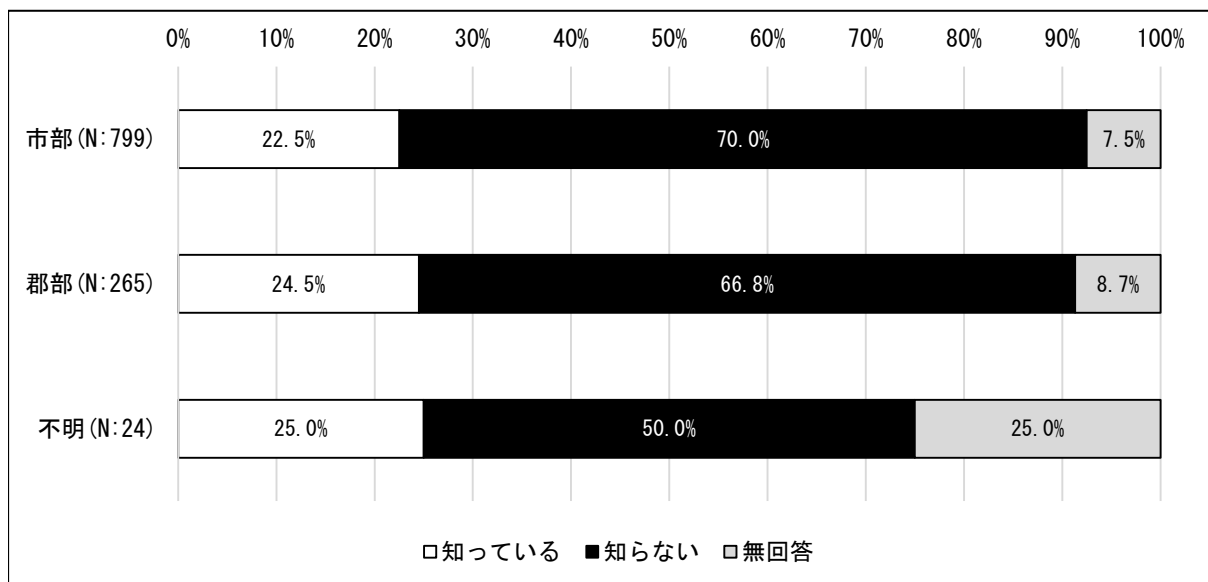
(青森県保育士・保育所支援センター)



全ての地域で、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。下北地域では、「知っている」が他の地域より大きくなっている。

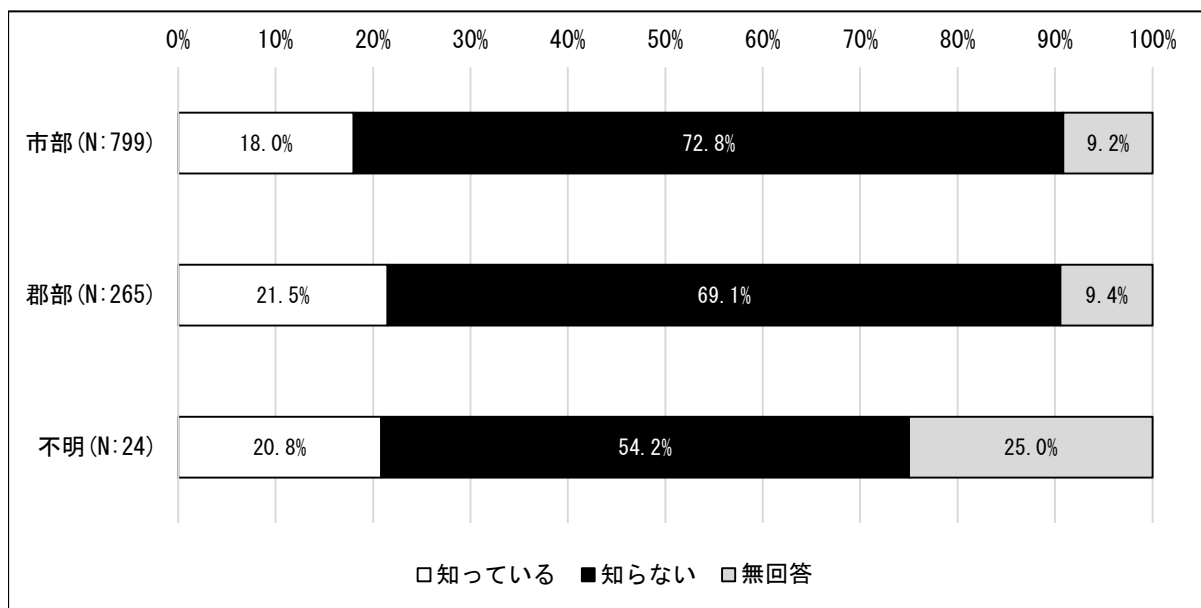
【市部・郡部別】

(青森県福祉人材センター)



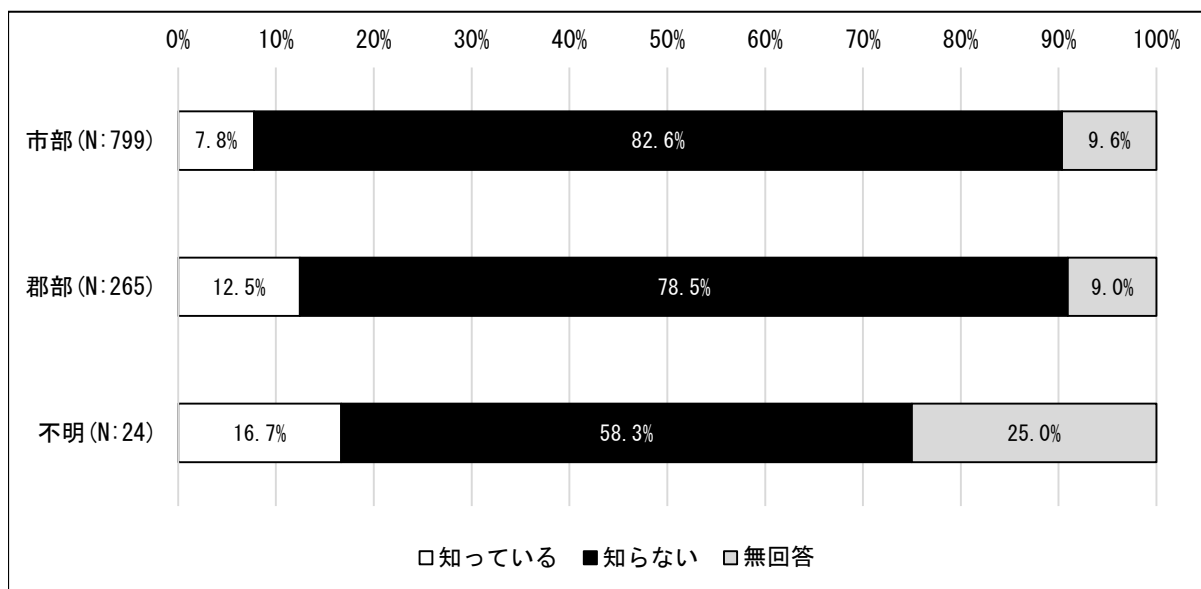
市部・郡部ともに、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

(青森県地域医療支援センター)



市部・郡部ともに、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

(青森県保育士・保育所支援センター)

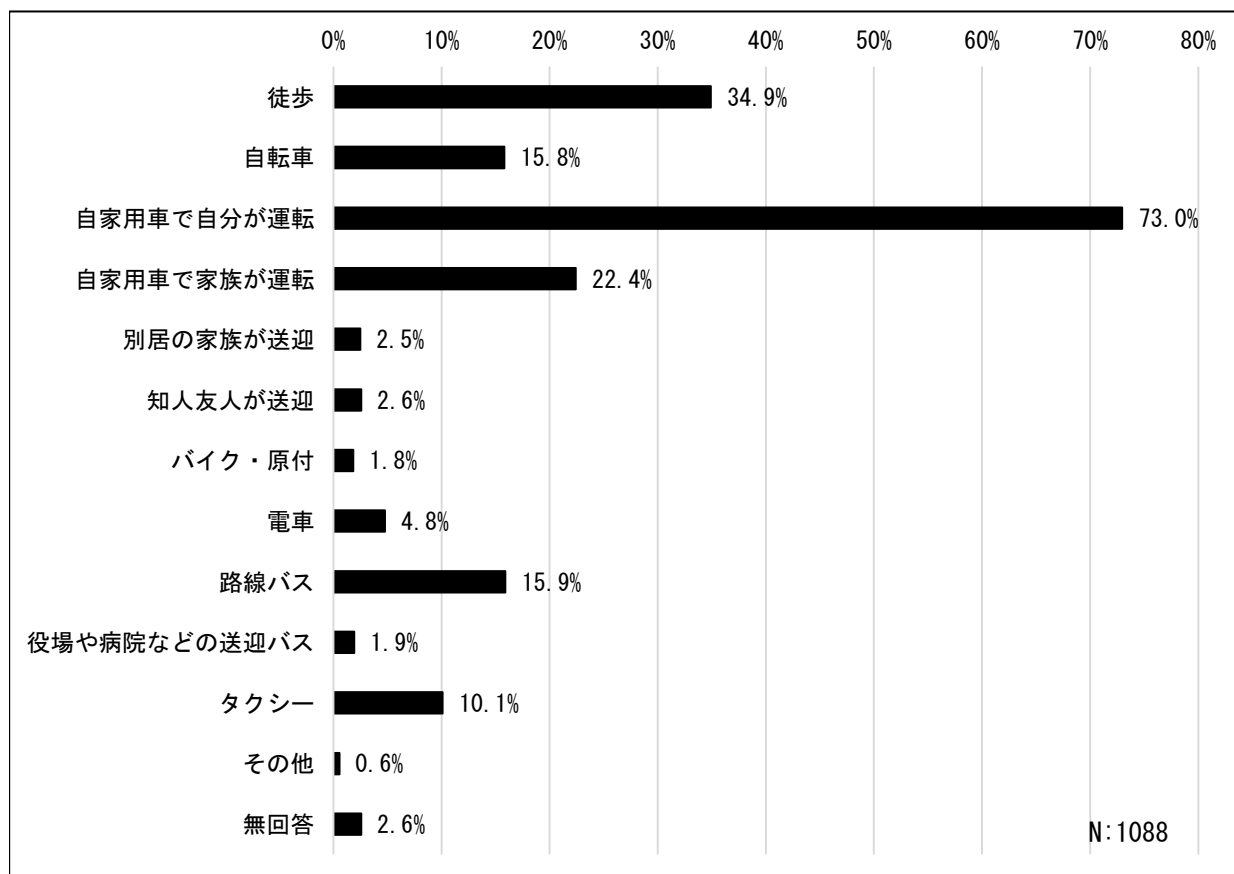


市部・郡部ともに、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は郡部が市部より大きくなっている。

<10> 外出するときの手段について

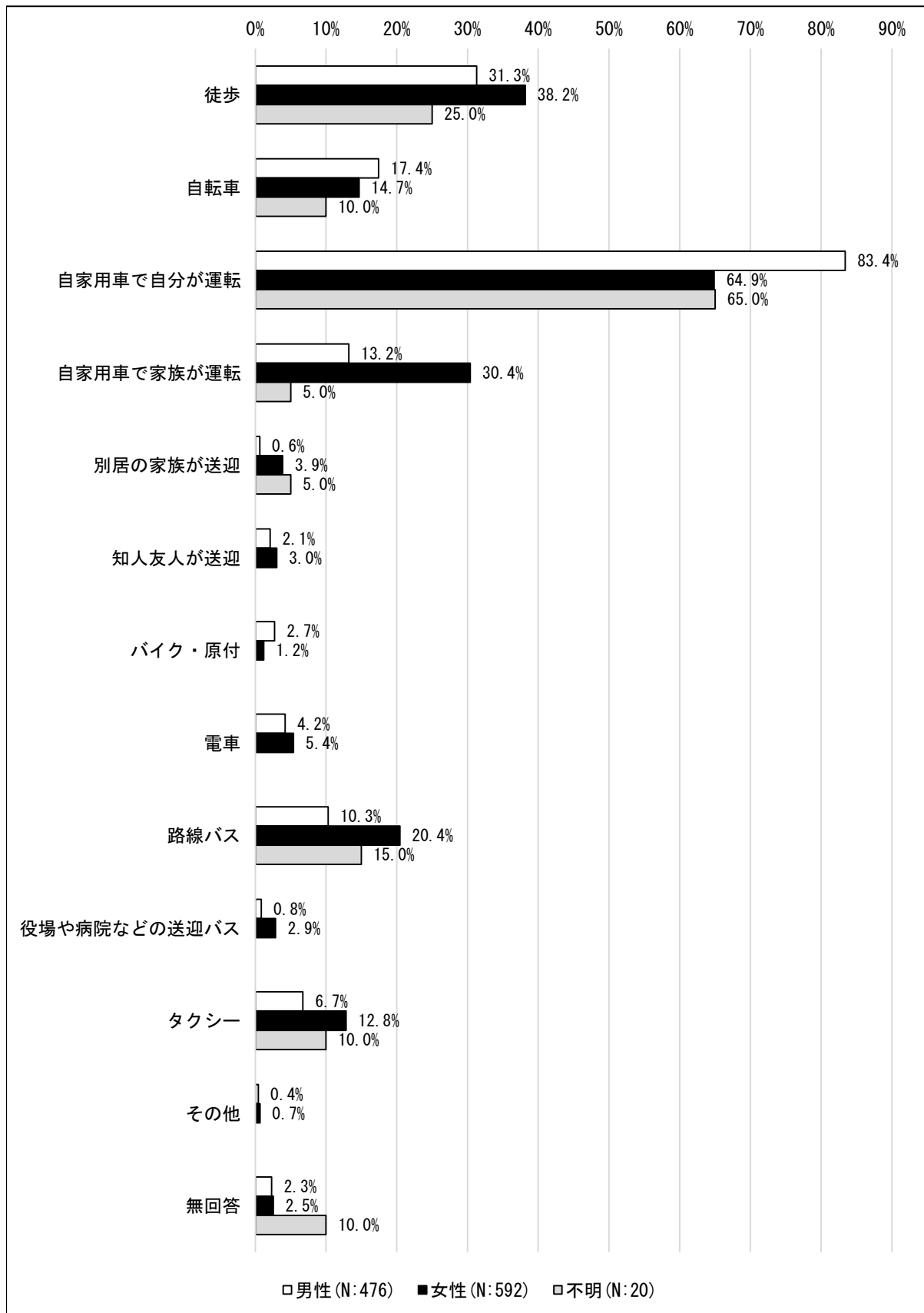
問 38. あなたは、通院、買物、役場や銀行への外出をどのように行っていますか。（あてはまるものすべて）

・通院、買物、役場や銀行への外出手段



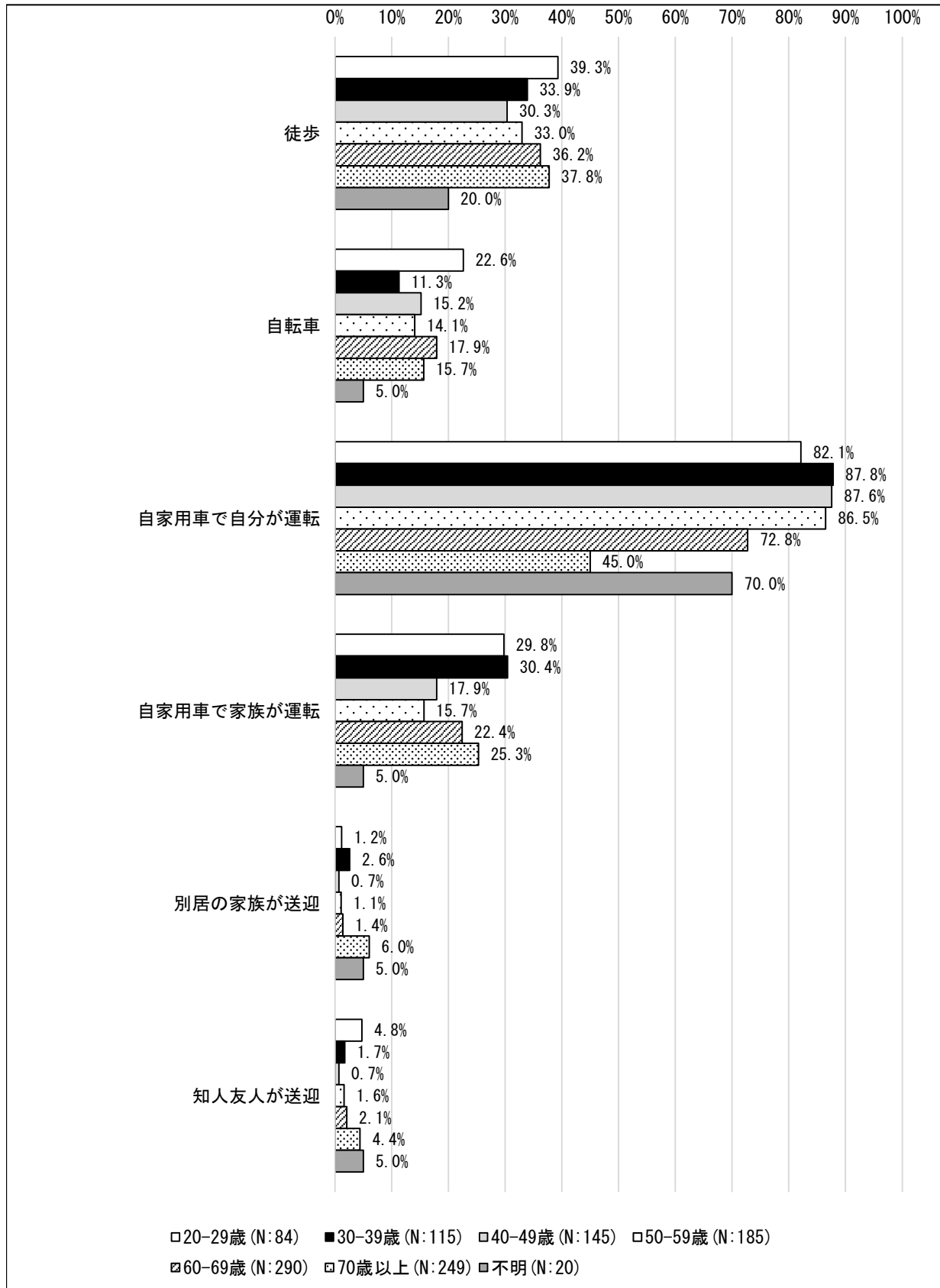
「自家用車で自分が運転」が73%、「徒歩」が35%、「自家用車で家族が運転」が22%となっている。

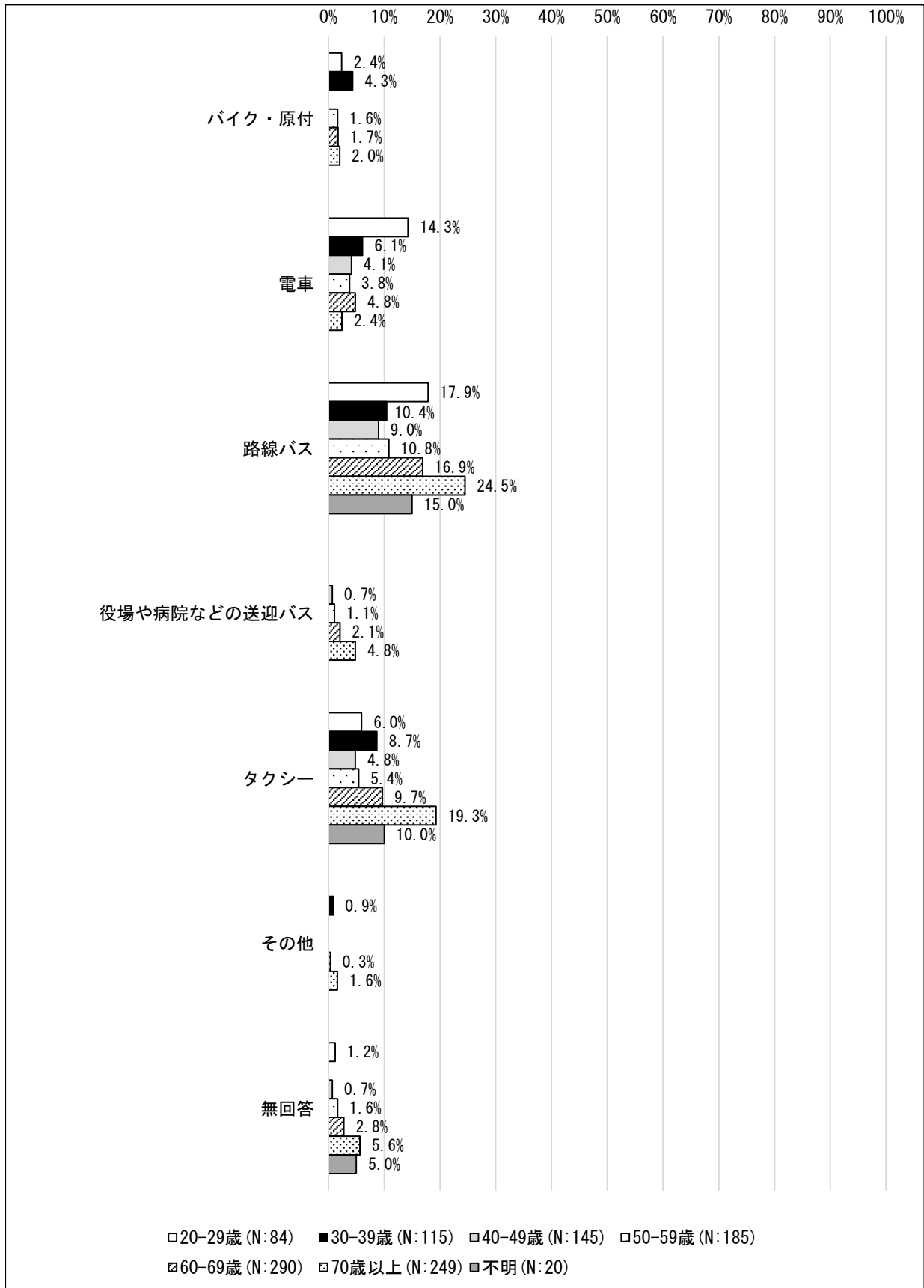
【男女別】



男女ともに「自家用車で自分が運転」、「徒歩」の順に大きく、次いで、女性では「自家用車で家族が運転」、男性では「自転車」の順となっている。

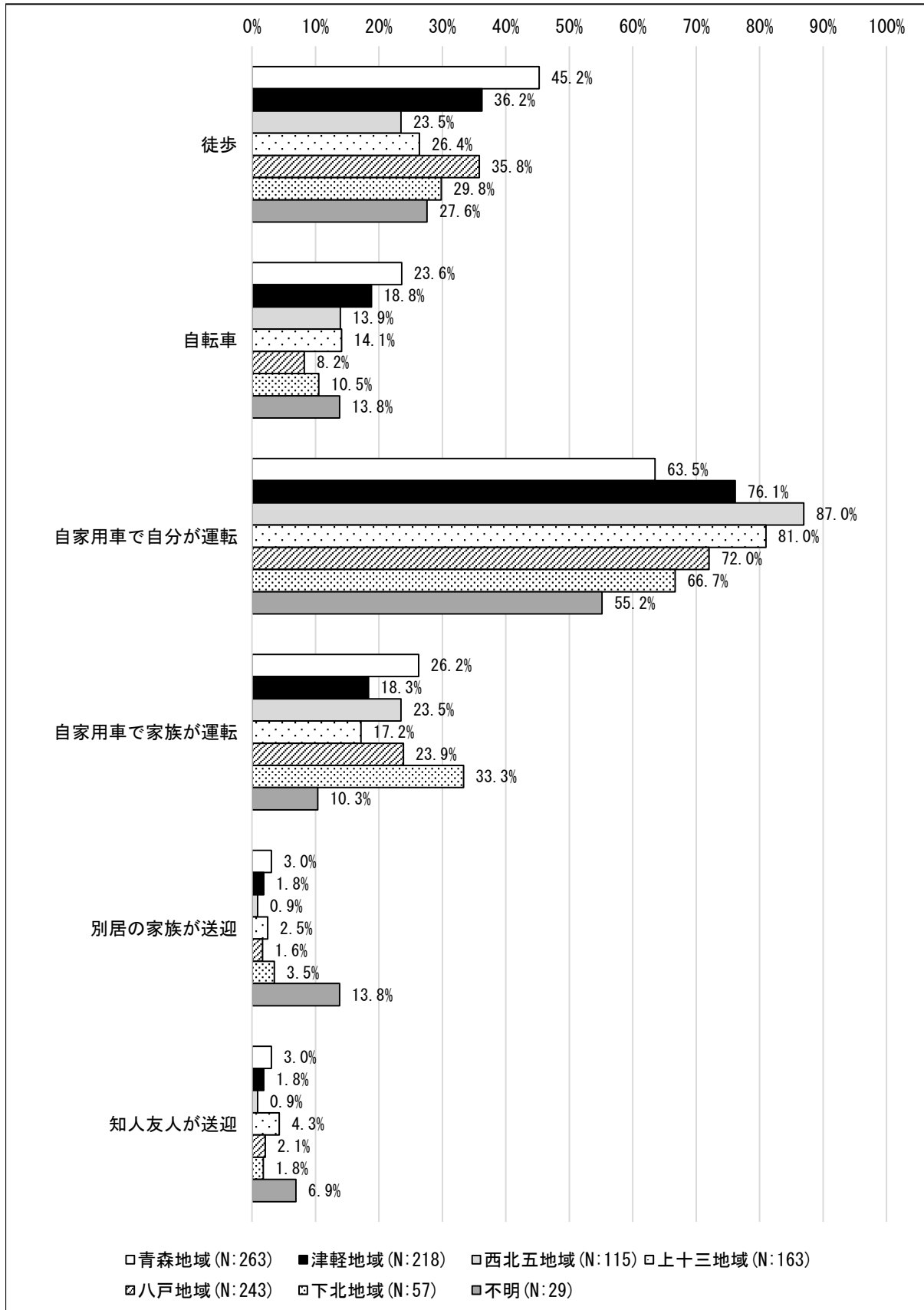
【年代別】

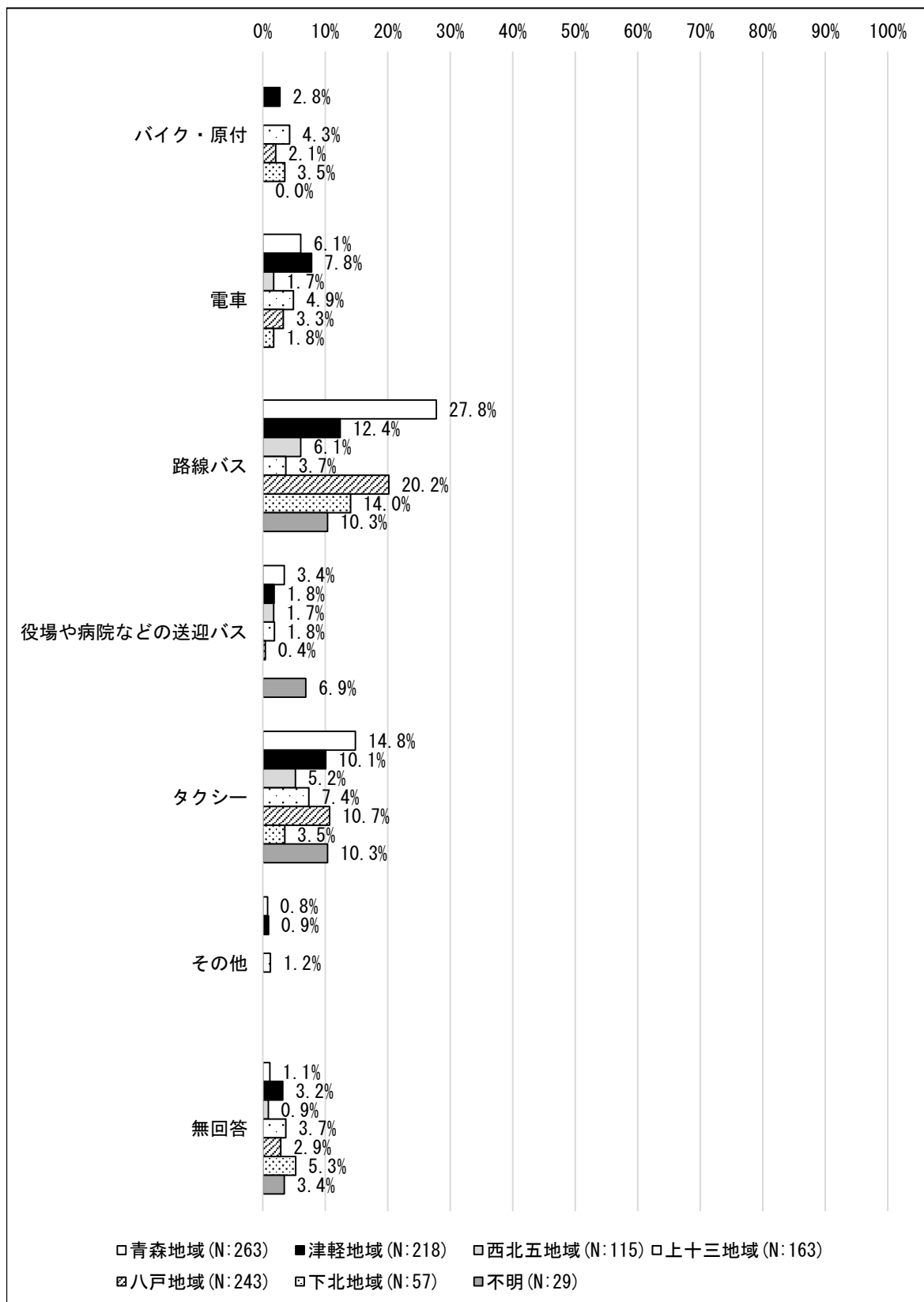




全ての年代で「自家用車で自分が運転」「徒歩」の順に大きくなっている。また、「自転車」「電車」は20歳代が、「路線バス」、「タクシー」は70歳以上がそれぞれ他の年代より大きくなっている。

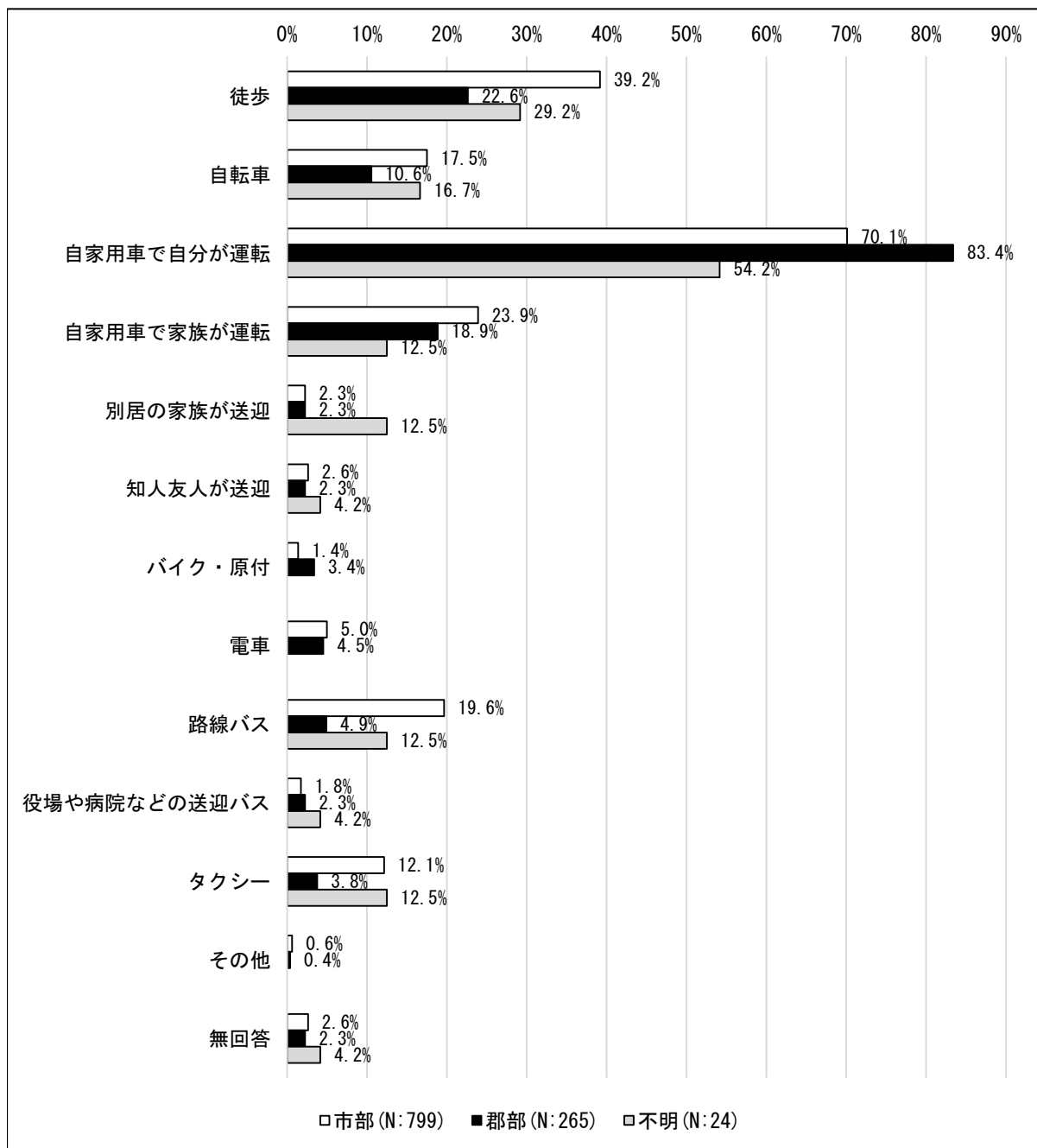
【地域別】





全ての地域で「自家用車で自分が運転」の割合が最も大きくなっており、次いで下北地域では「自家用車で家族が運転」、他の地域では「徒歩」の順となっている。

【市部・郡部別】



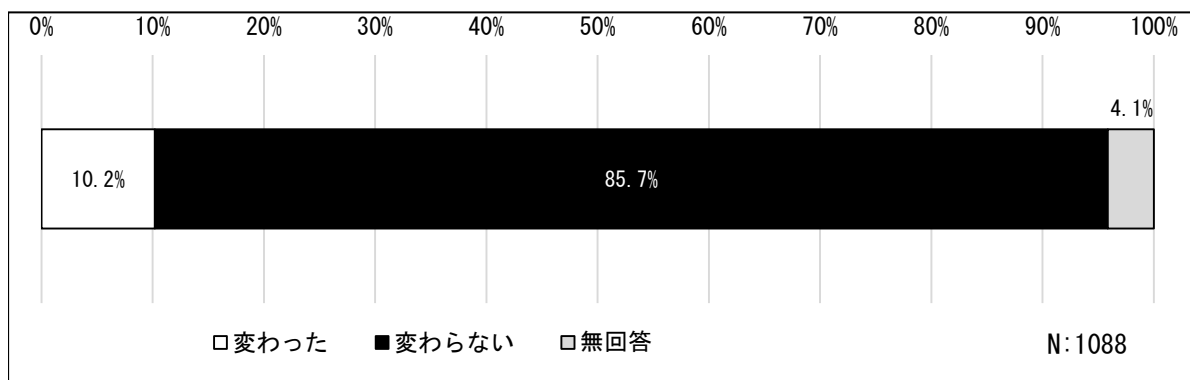
市部・郡部ともに「自家用車で自分が運転」が最も大きく、次いで「徒歩」「自家用車で家族が運転」の順となっている。「自家用車で自分が運転」は郡部が市部より、「徒歩」、「自転車」、「路線バス」、「タクシー」は市部が郡部よりそれぞれ大きくなっている。

【自由回答より】

- ・施設の車の送迎で通院
- ・介護タクシー

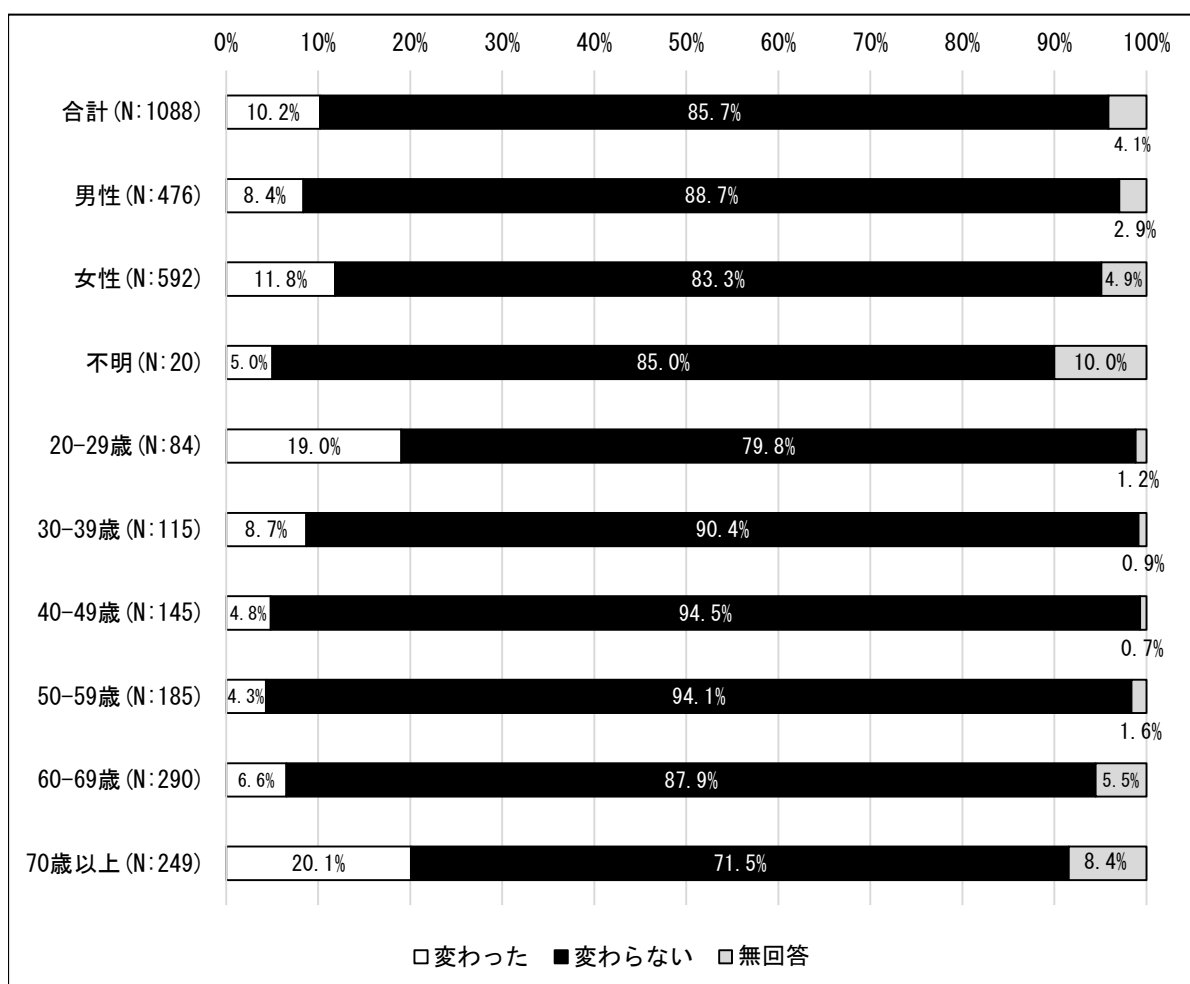
問 39. 以前と比べて、あなたが外出するときの手段が変わりましたか。(1つ)

・ 外出手段の変化



「変わった」が10%、「変わらない」が86%となっている。

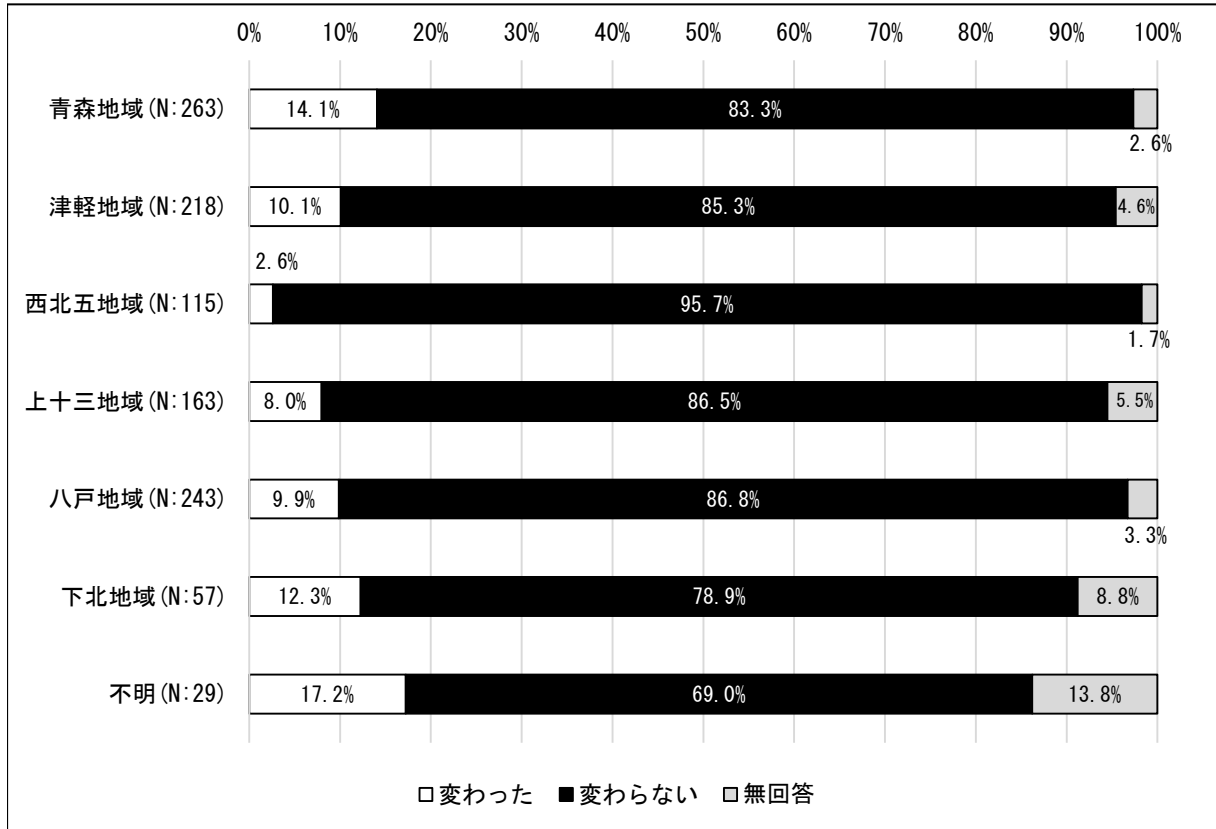
【男女別・年代別】



性別、年齢を問わず、「変わらない」が「変わった」を大きく上回っている。

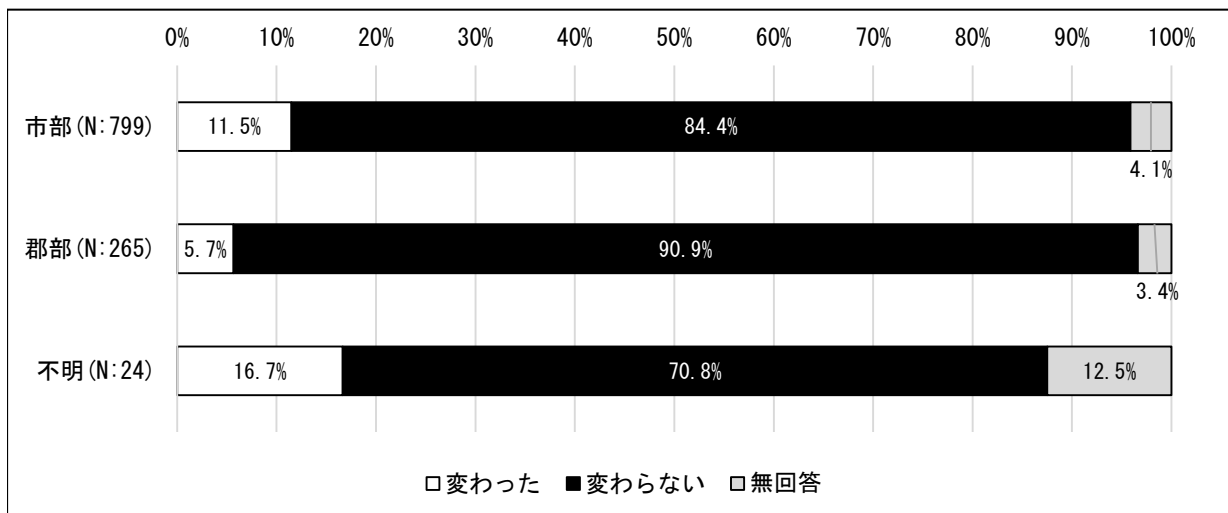
年代別に見ると、「変わった」は20歳代、70歳以上他の年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で、「変わらない」が「変わった」を大きく上回っている。「変わった」は青森地域が最も大きく、次いで下北地域、津軽地域となっている。

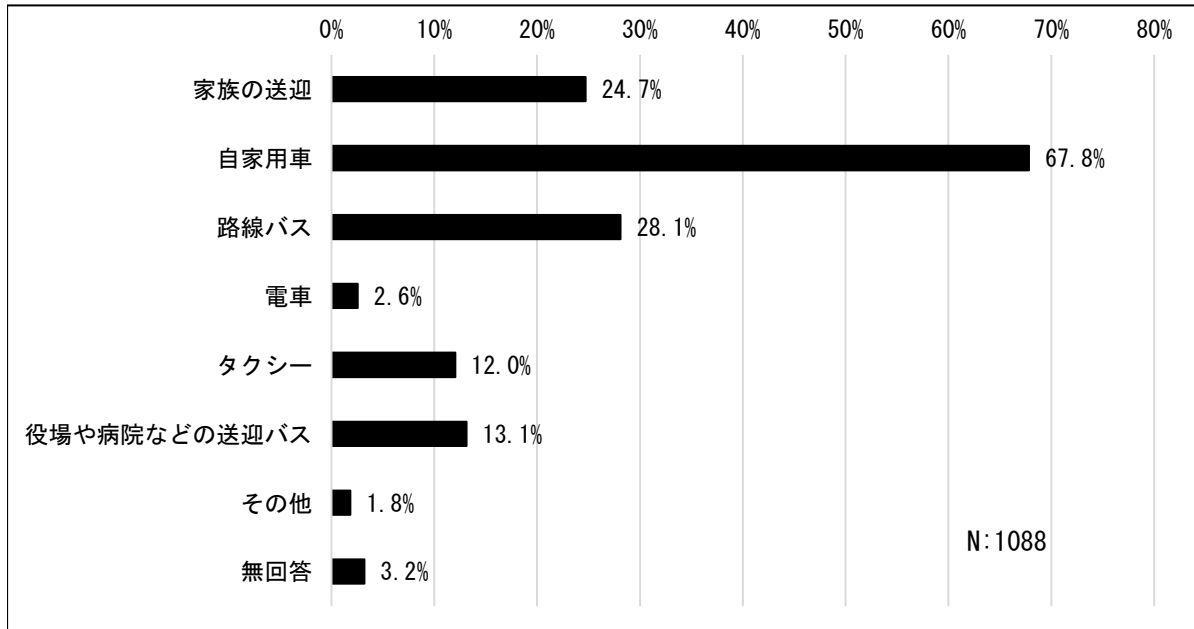
【市部・郡部別】



市部・郡部ともに、「変わらない」が「変わった」を大きく上回っている。「変わった」は市部では郡部より大きくなっている。

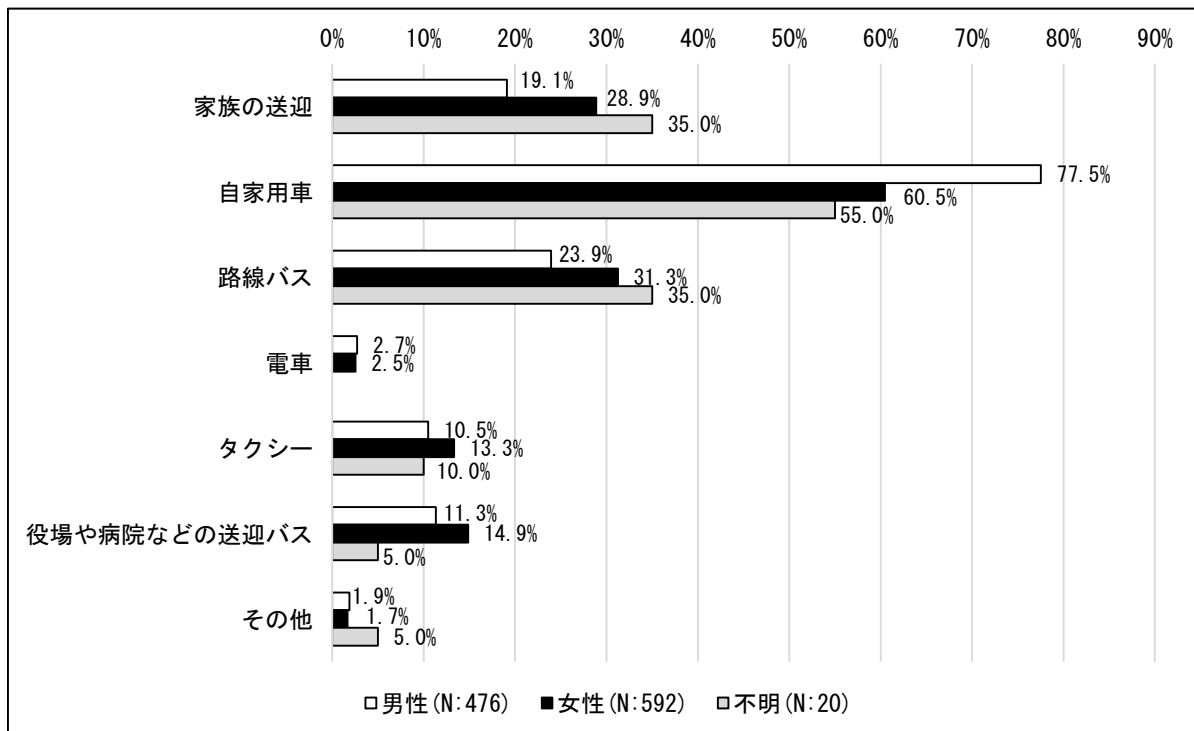
問 40. 通院、買物、役場や銀行へ外出する上で、あなたが必要と思う交通手段は何ですか。（2つまで）

・外出する際の交通手段



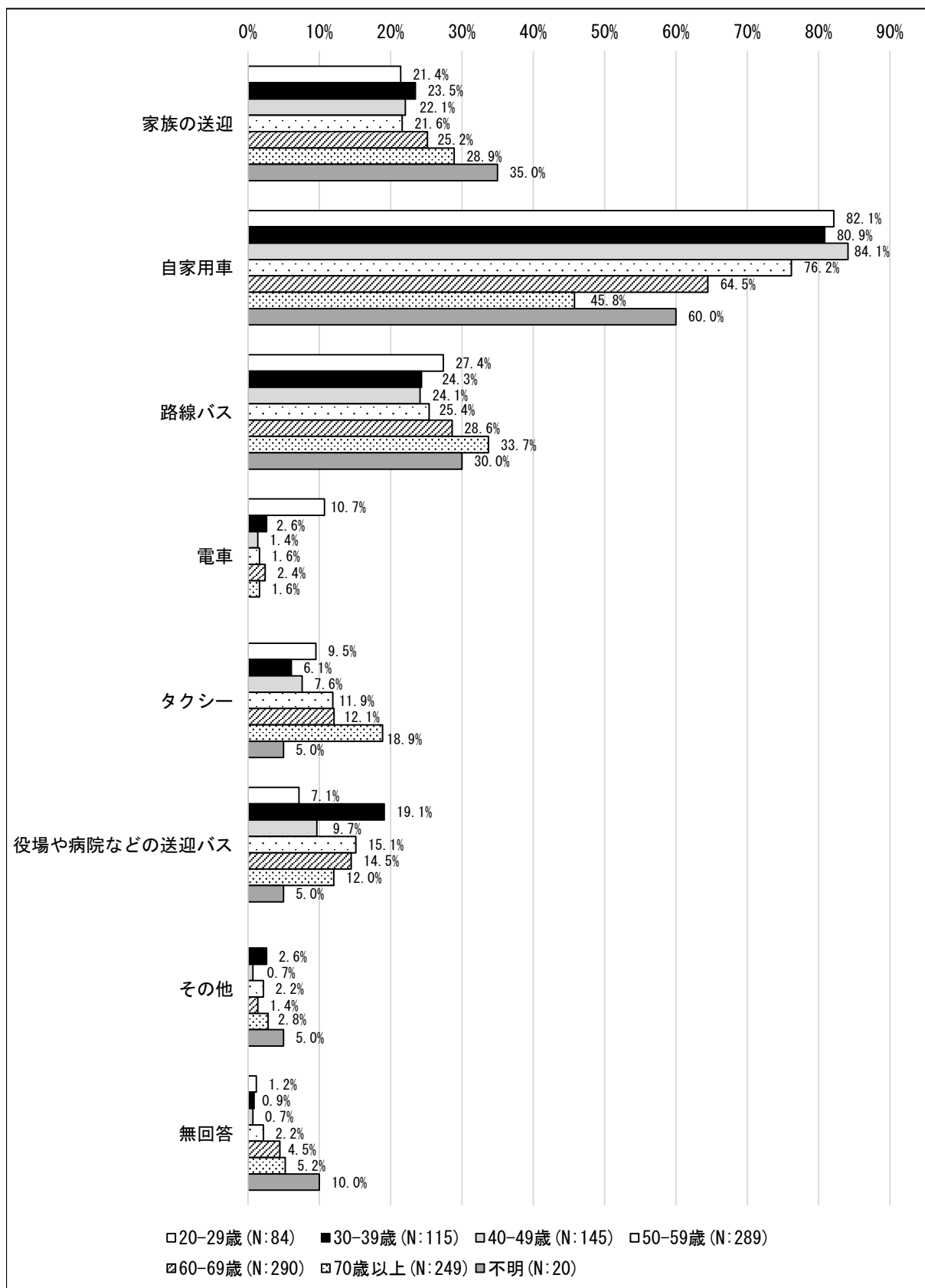
「自家用車」が68%、「路線バス」が28%、「家族の送迎」が25%となっている。

【男女別】



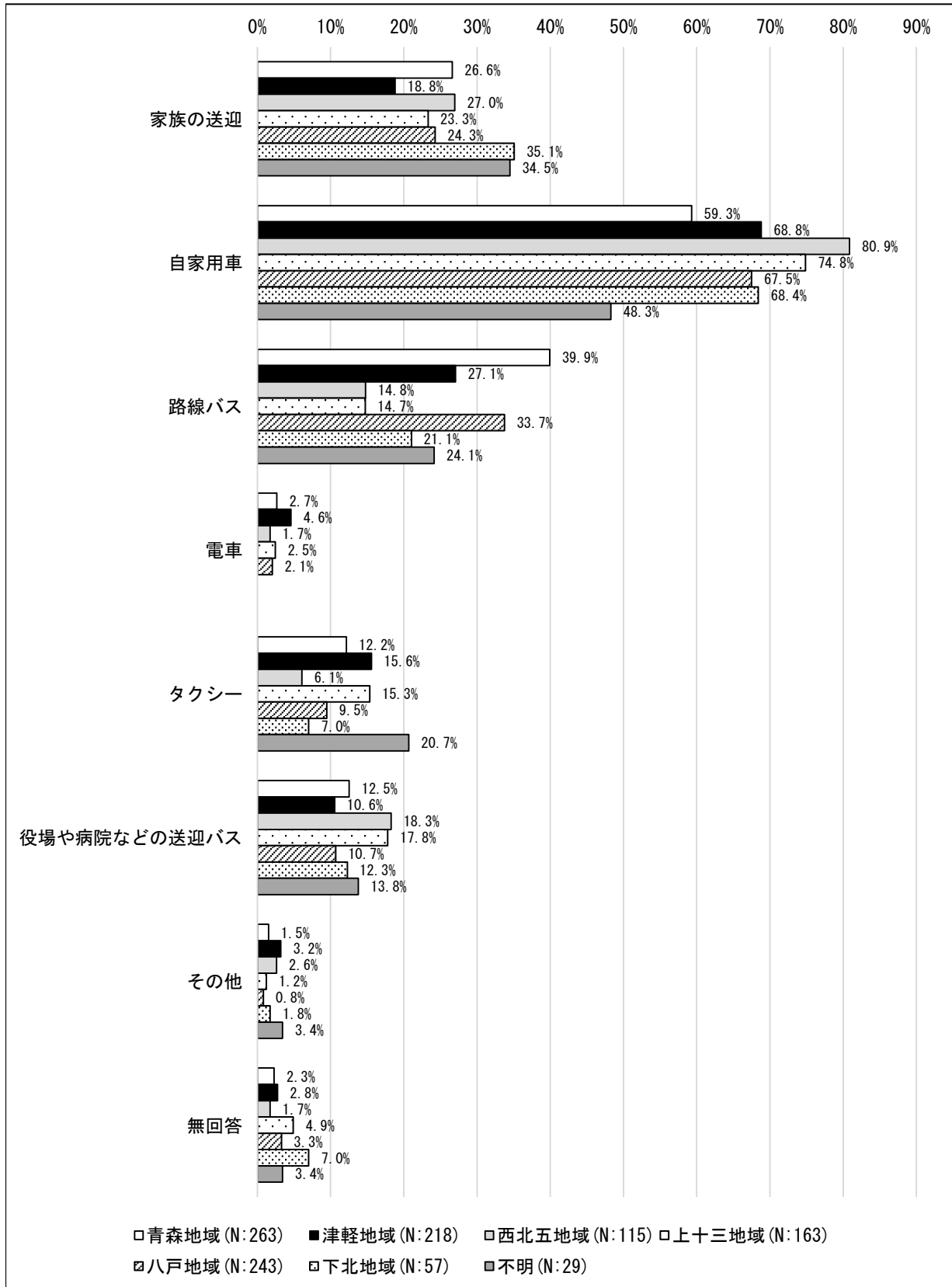
男女ともに「自家用車」が最も大きく、次いで「路線バス」、「家族の送迎」の順となっている。

【年代別】



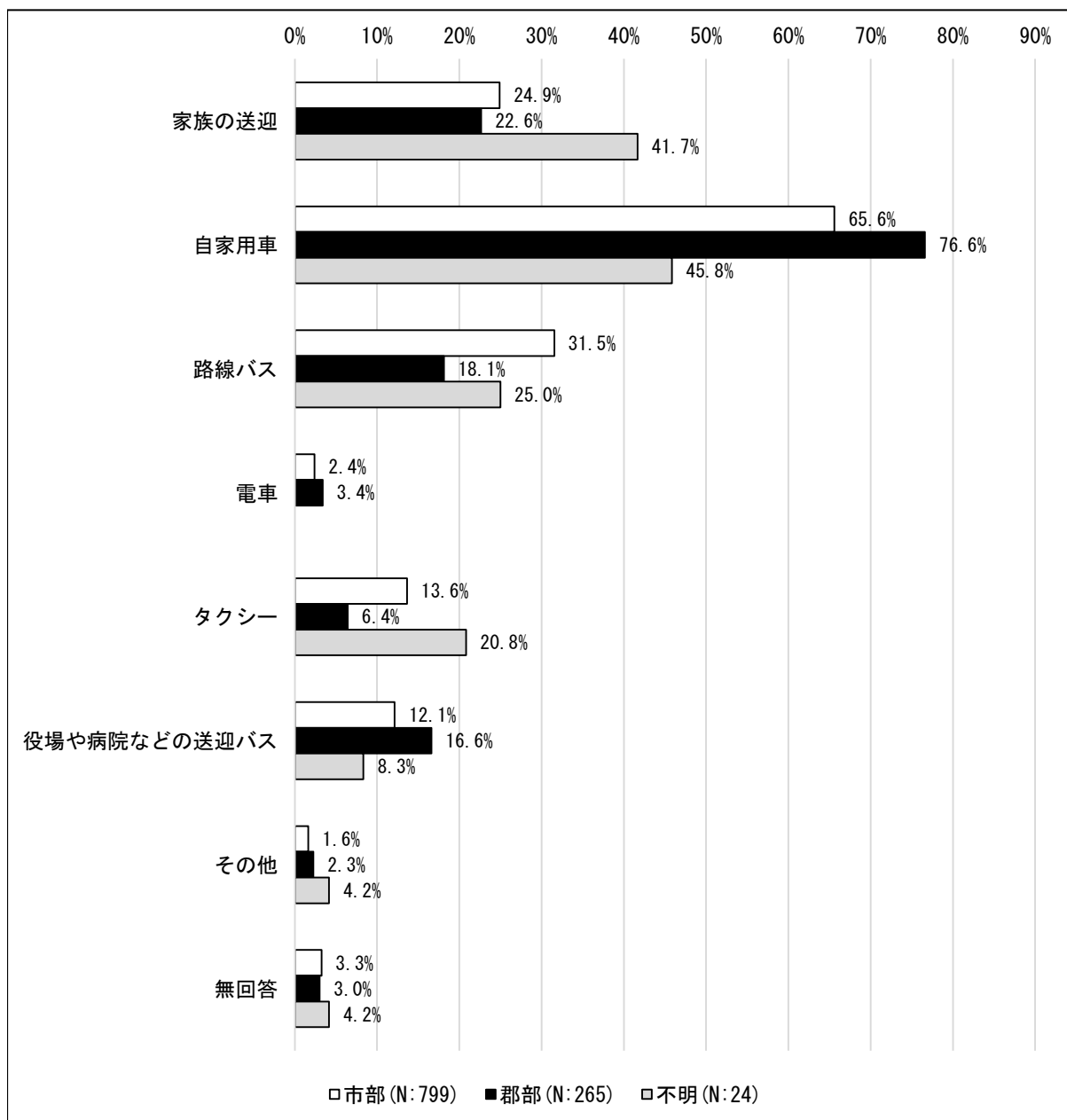
全ての年代で「自家用車」「路線バス」「家族の送迎」の順に大きくなっている。70歳以上では「自家用車」が他の年代より小さくなっている。

【地域別】



全ての地域で「自家用車」が最も大きく、次いで西北五地域、上十三地域、下北地域では「家族の送迎」、青森地域、津軽地域、八戸地域では「路線バス」となっている。

【市部・郡部別】



市部・郡部ともに「自家用車」が最も大きく、次いで「家族の送迎」、「路線バス」の順となっている。「路線バス」「タクシー」は市部が郡部より大きくなっている。「自家用車」「役場や病院などの送迎バス」は郡部が市部より大きくなっている。

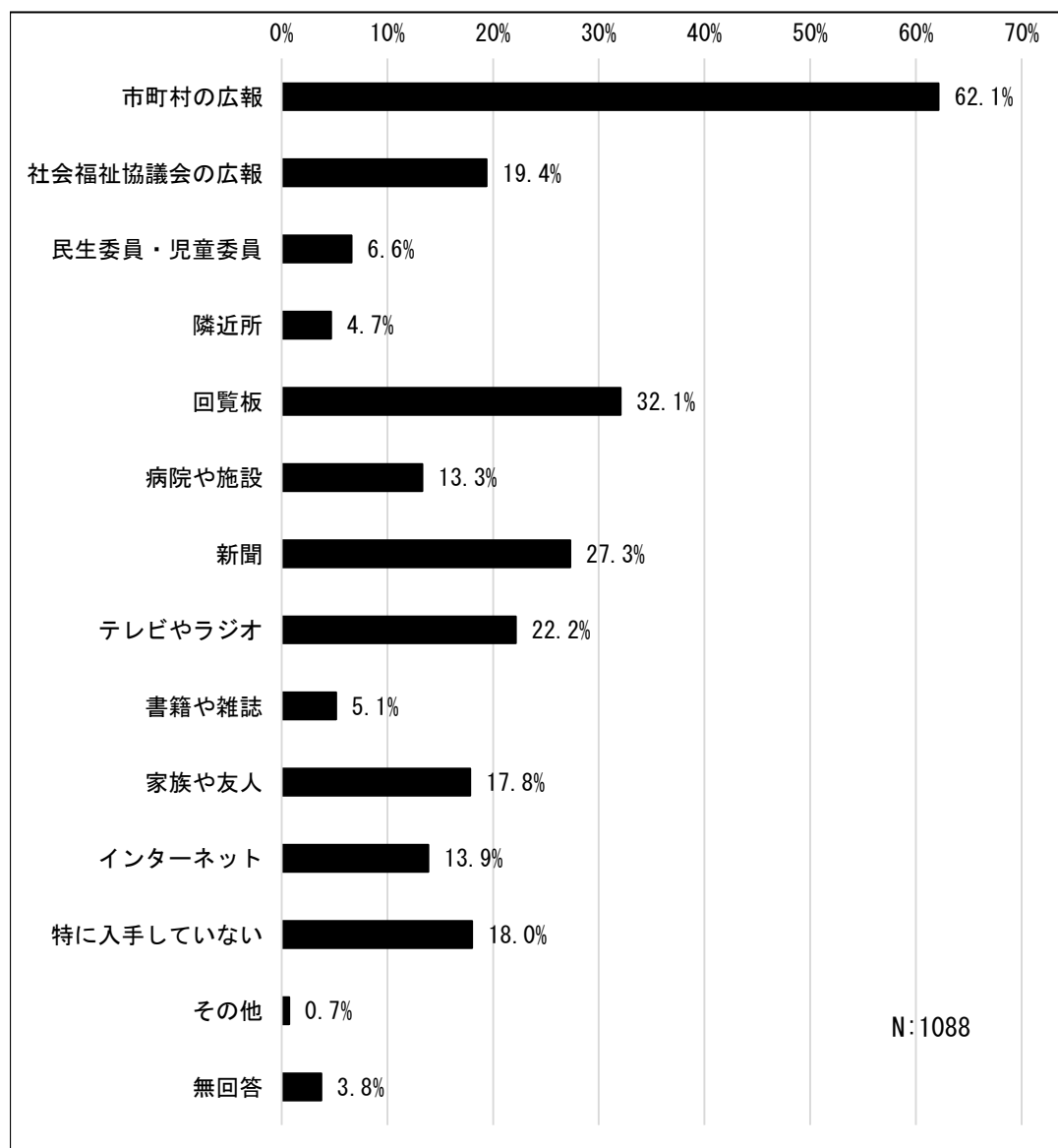
【自由回答より】

- ・自転車
- ・バイク

< 1 1 > 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方について

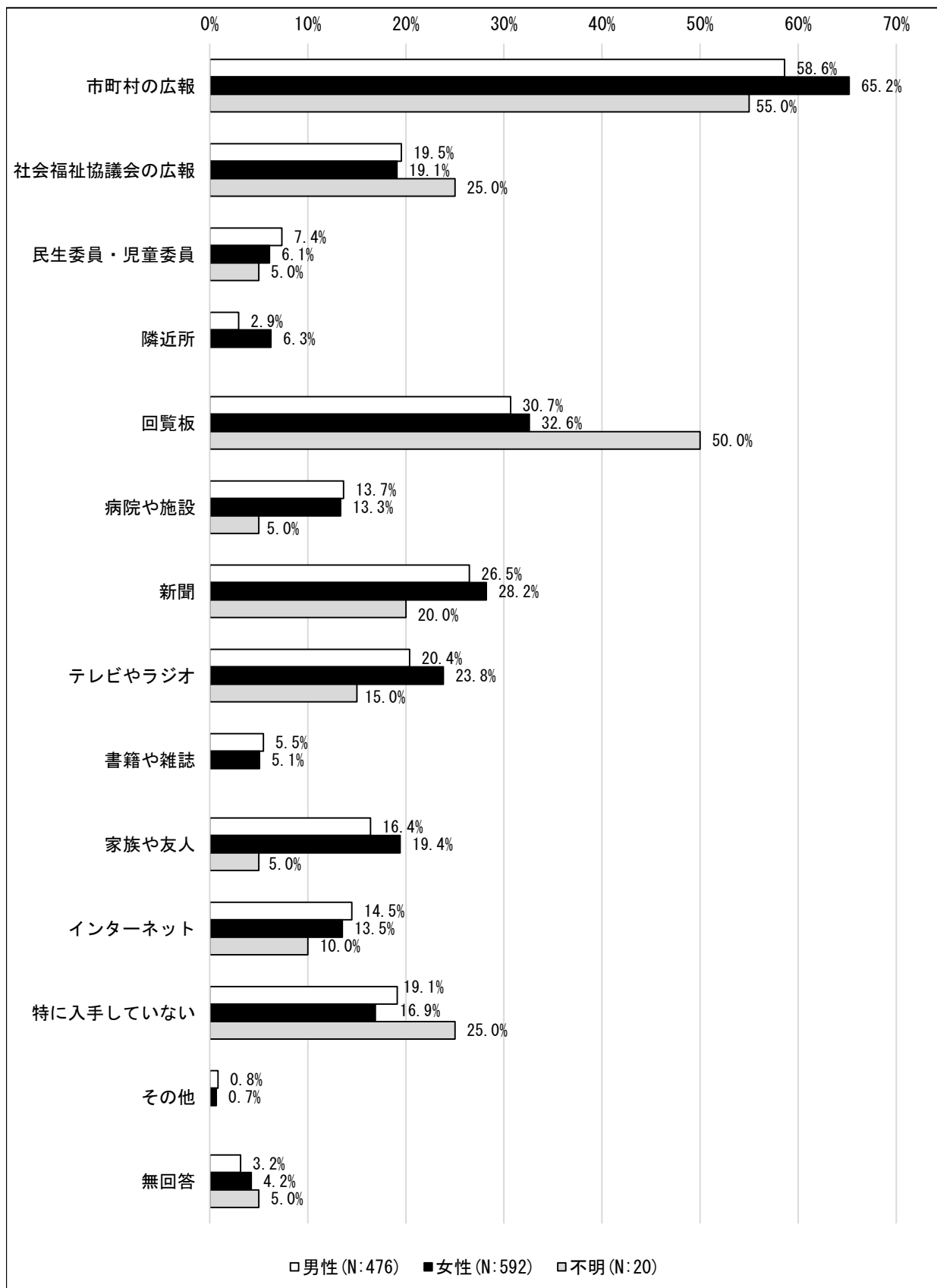
問 41. あなたは、福祉に関する情報を何から入手していますか。（あてはまるもの全て）

・福祉に関する情報の入手方法



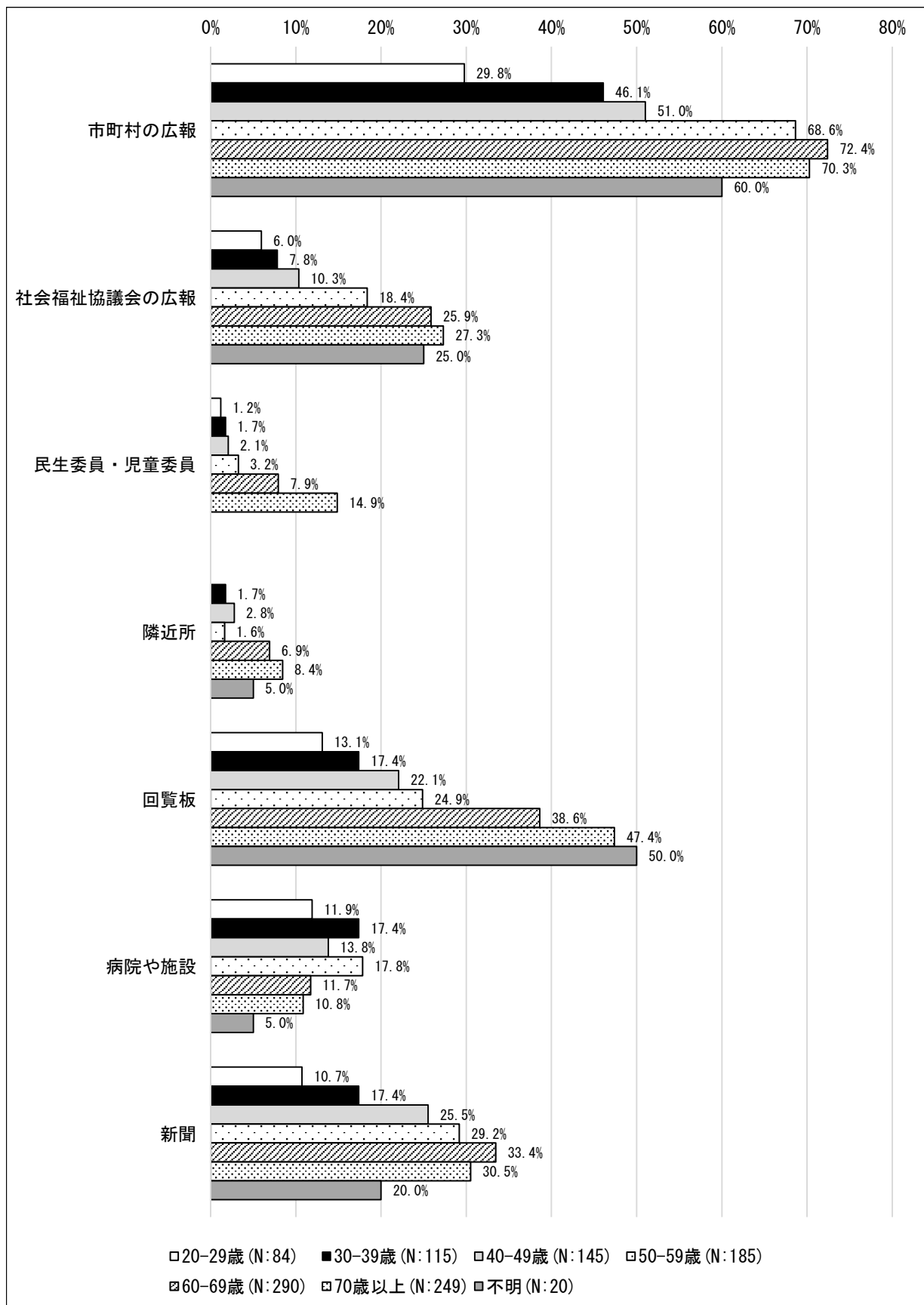
「市町村の広報」が62%、「回覧板」が32%、「新聞」が27%となっている。

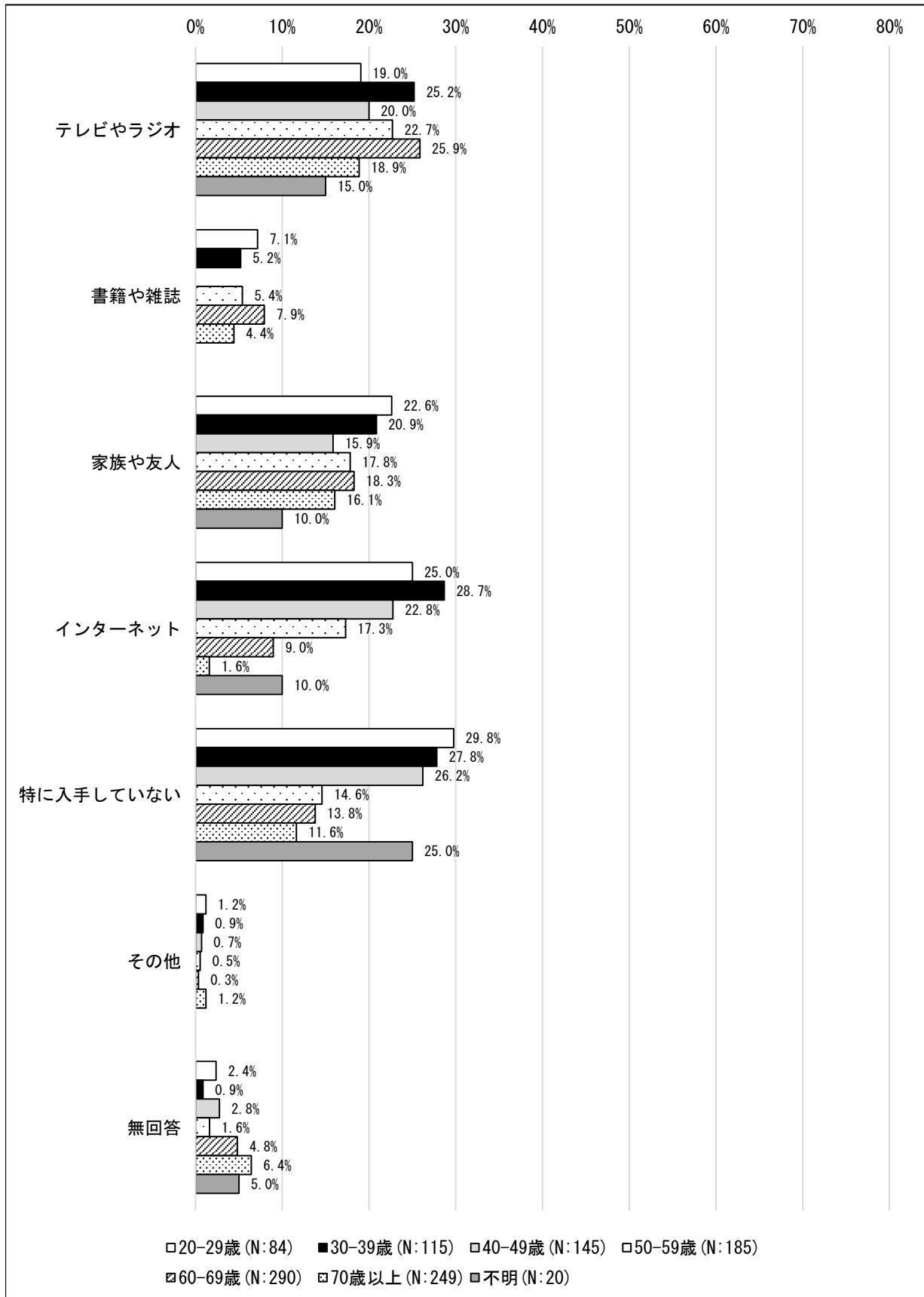
【男女別】



男女ともに「市町村の広報」が最も大きく、次いで「回覧板」、「新聞」の順となっている。

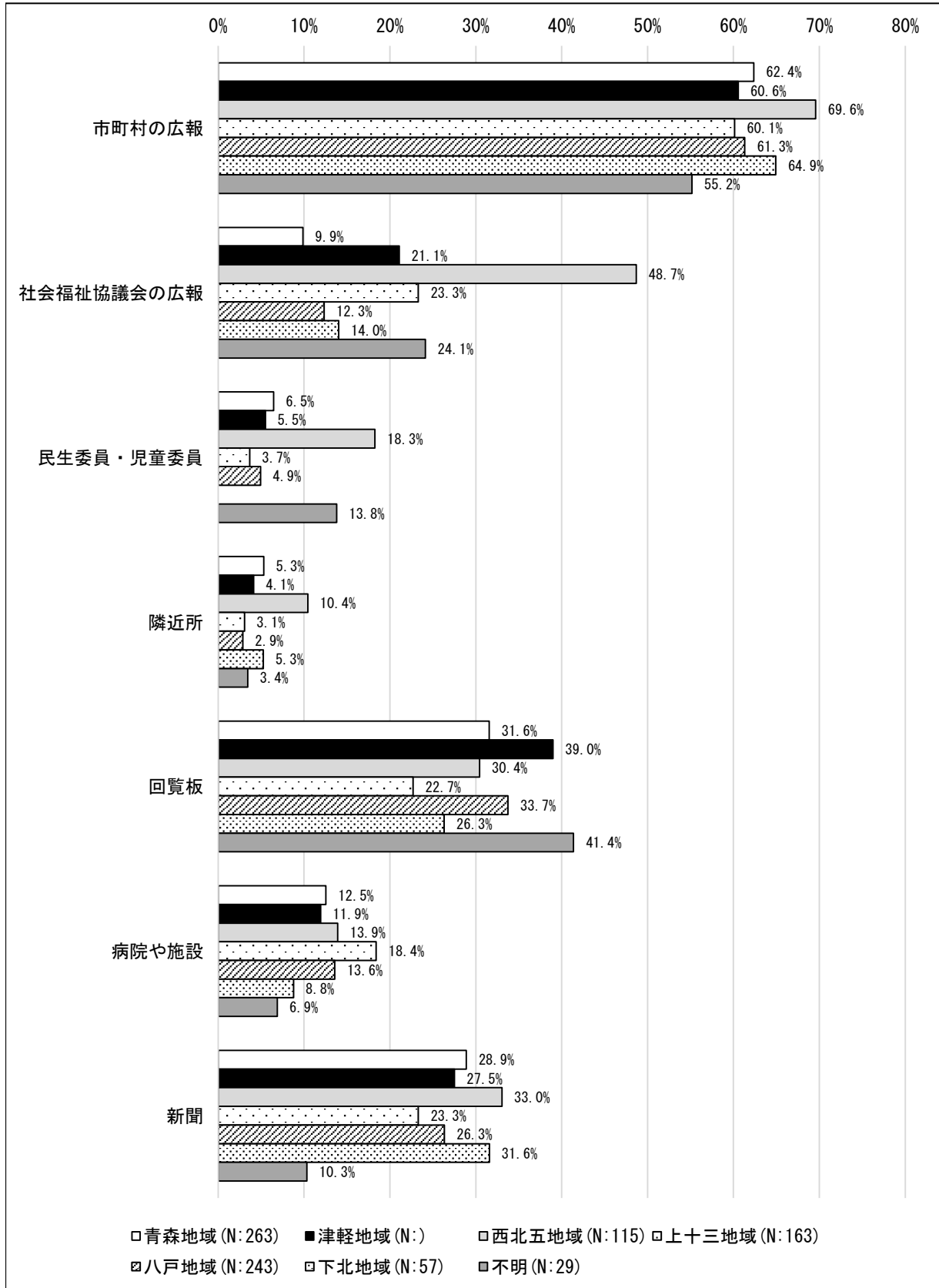
【年代別】

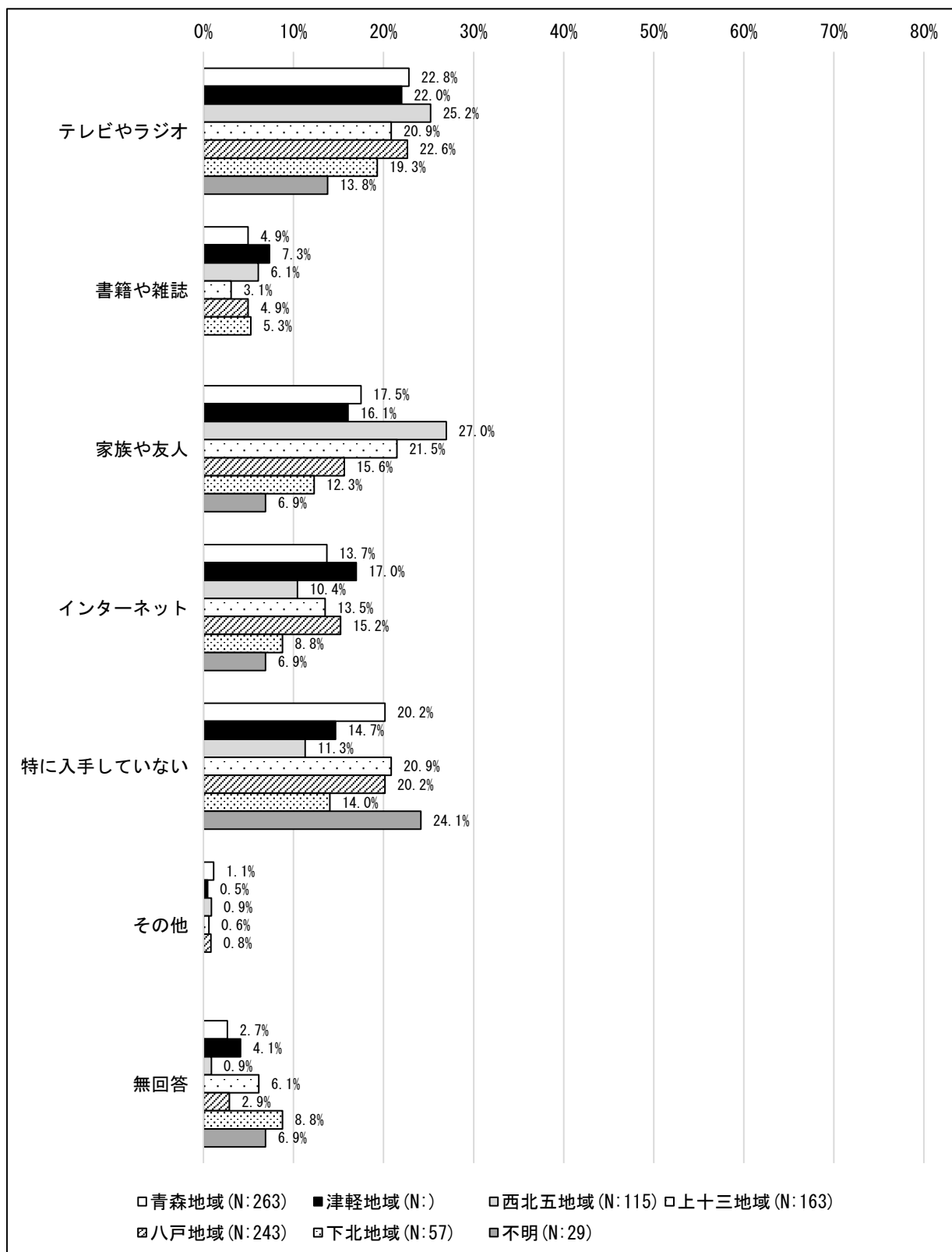




全ての年代で「市町村の広報」が最も大きくなっている。「回覧板」、「新聞」、「社会福祉協議会の広報」は概ね年代が上がるにつれて大きくなっている。「インターネット」、「特に入手していない、」は年代が下がるにつれて大きくなっている。

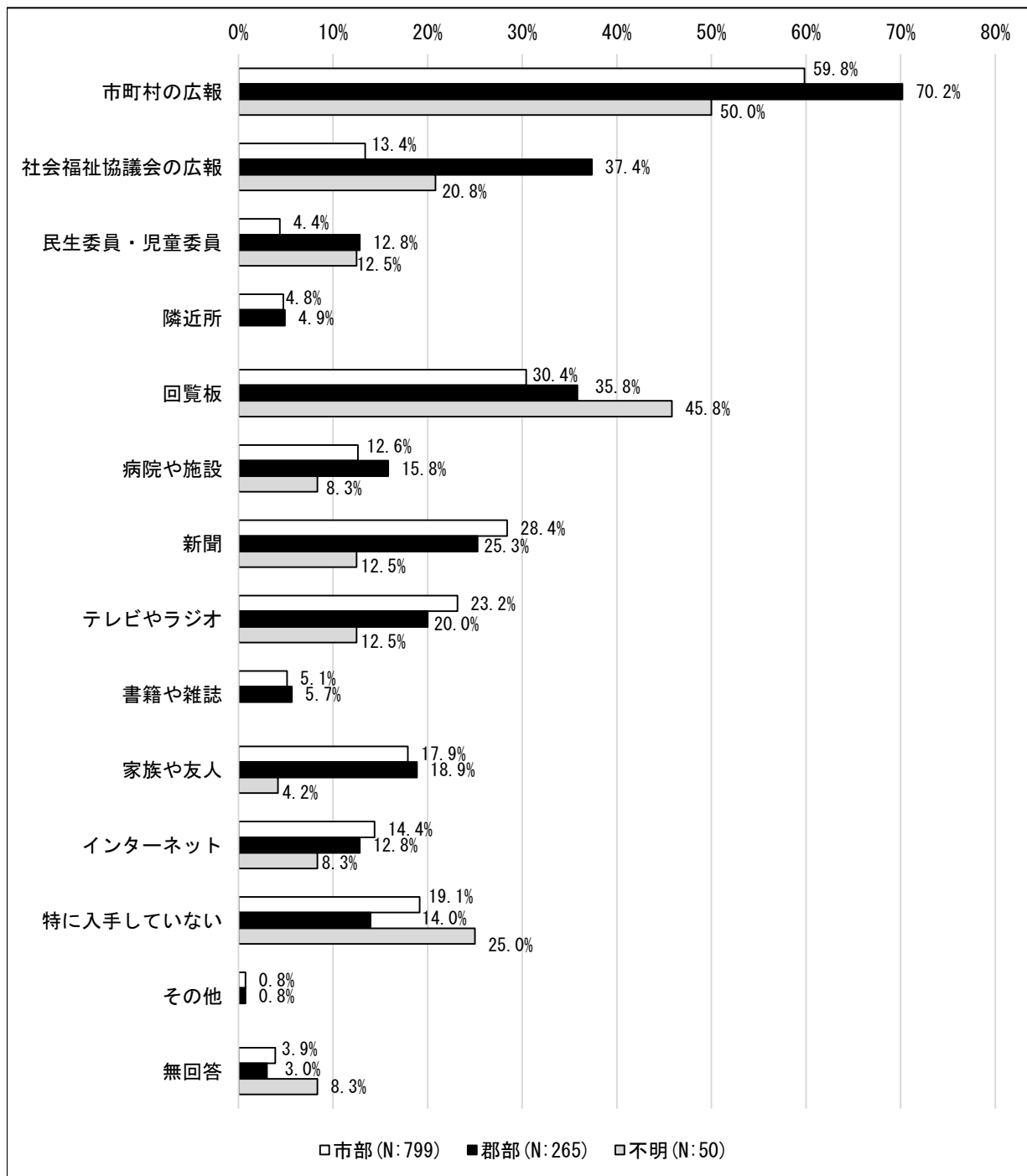
【地域別】





全ての地域で「市町村の広報」が最も大きくなっている。西北五地域では「社会福祉協議会の広報」、「民生委員・児童委員」が他の地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



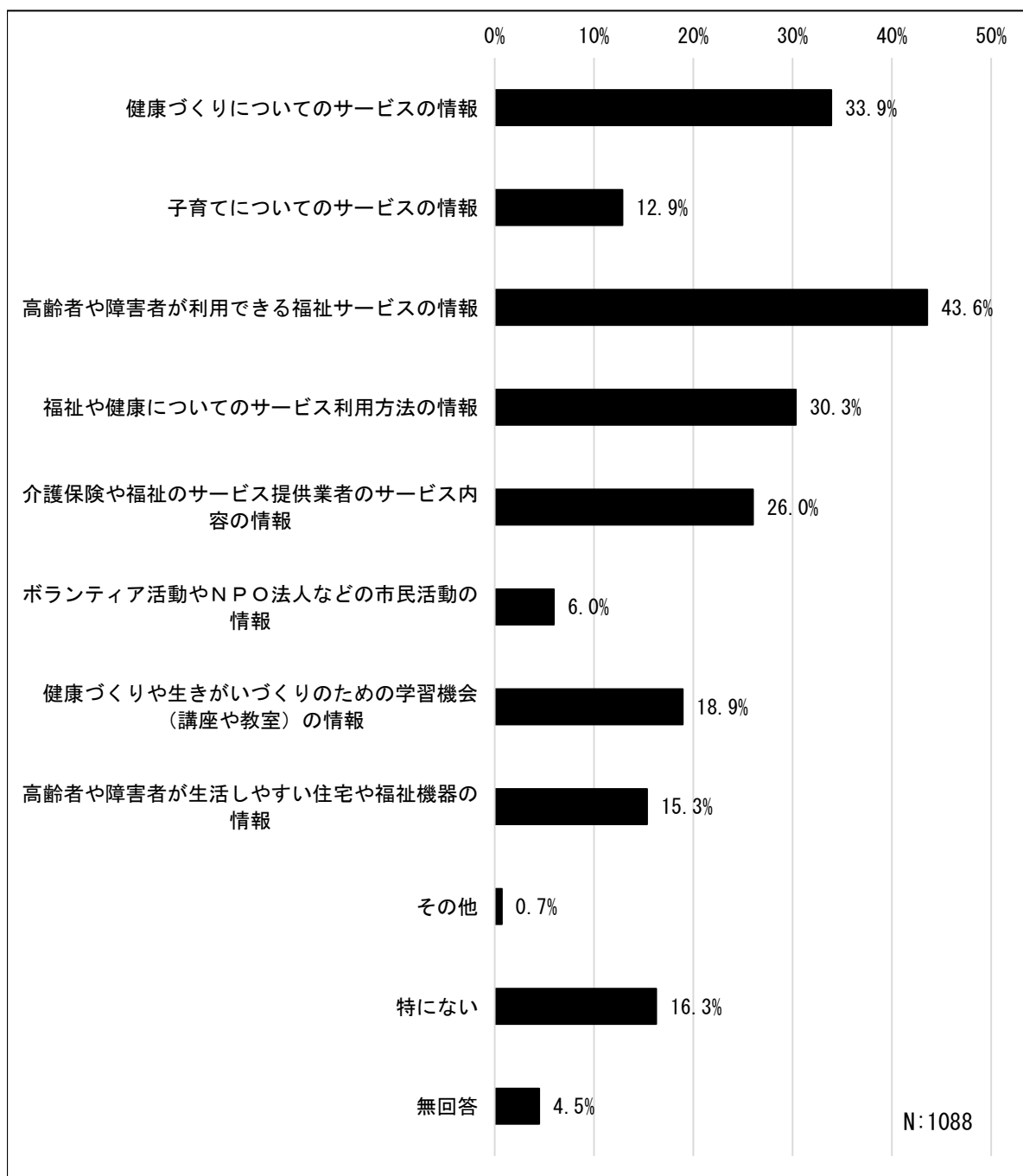
市部・郡部ともに「市町村の広報」が最も大きく、次いで市部では「回覧板」、「新聞」の順に、郡部では「社会福祉協議会の広報」、「回覧板」の順になっている。「社会福祉協議会の広報」は郡部が市部より大きくなっている。

【自由回答より】

- ・ 職場
- ・ 障害当事者団体のお知らせや研修会

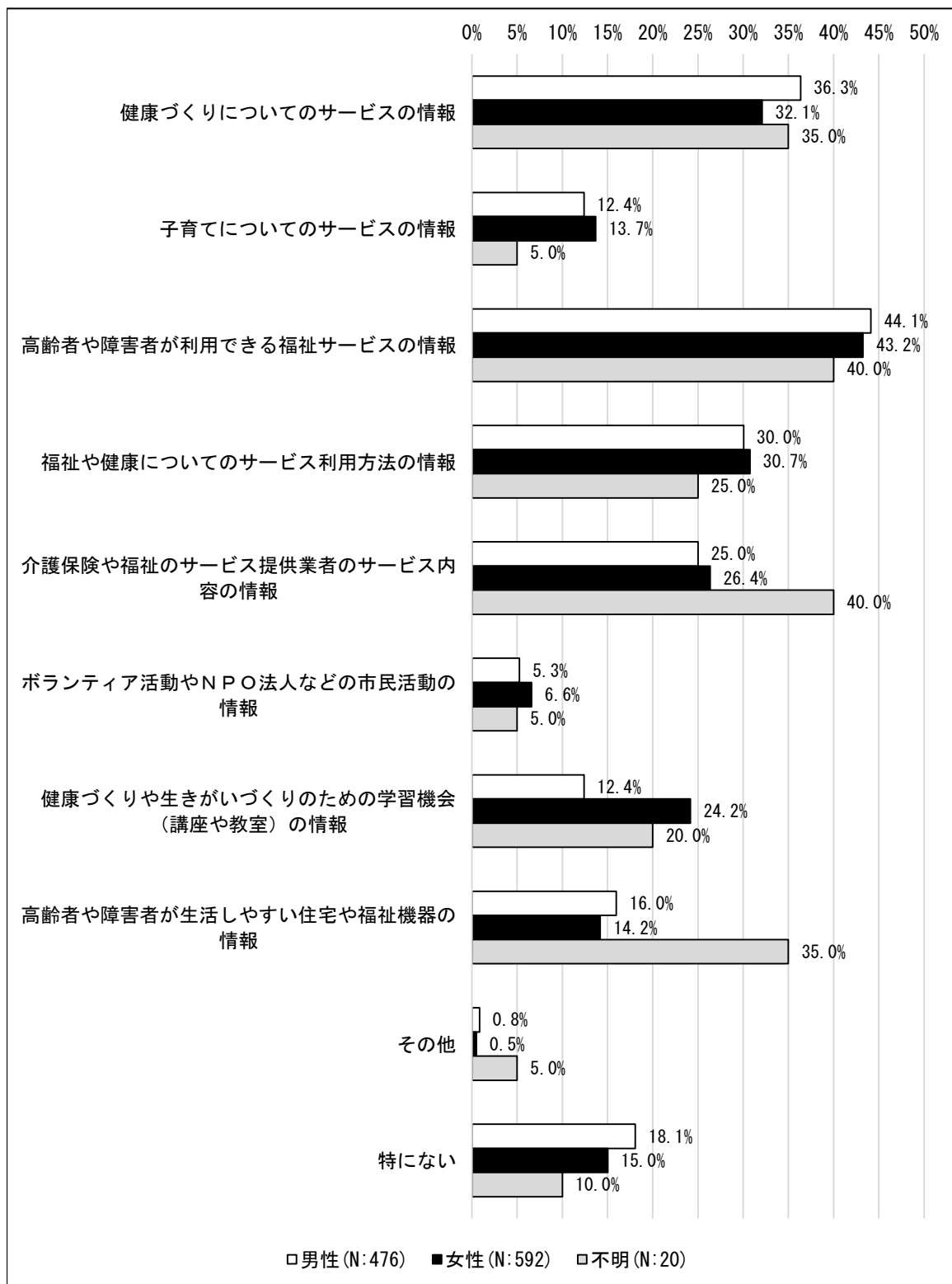
問 42. あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。（3つまで）

・福祉や健康についての情報



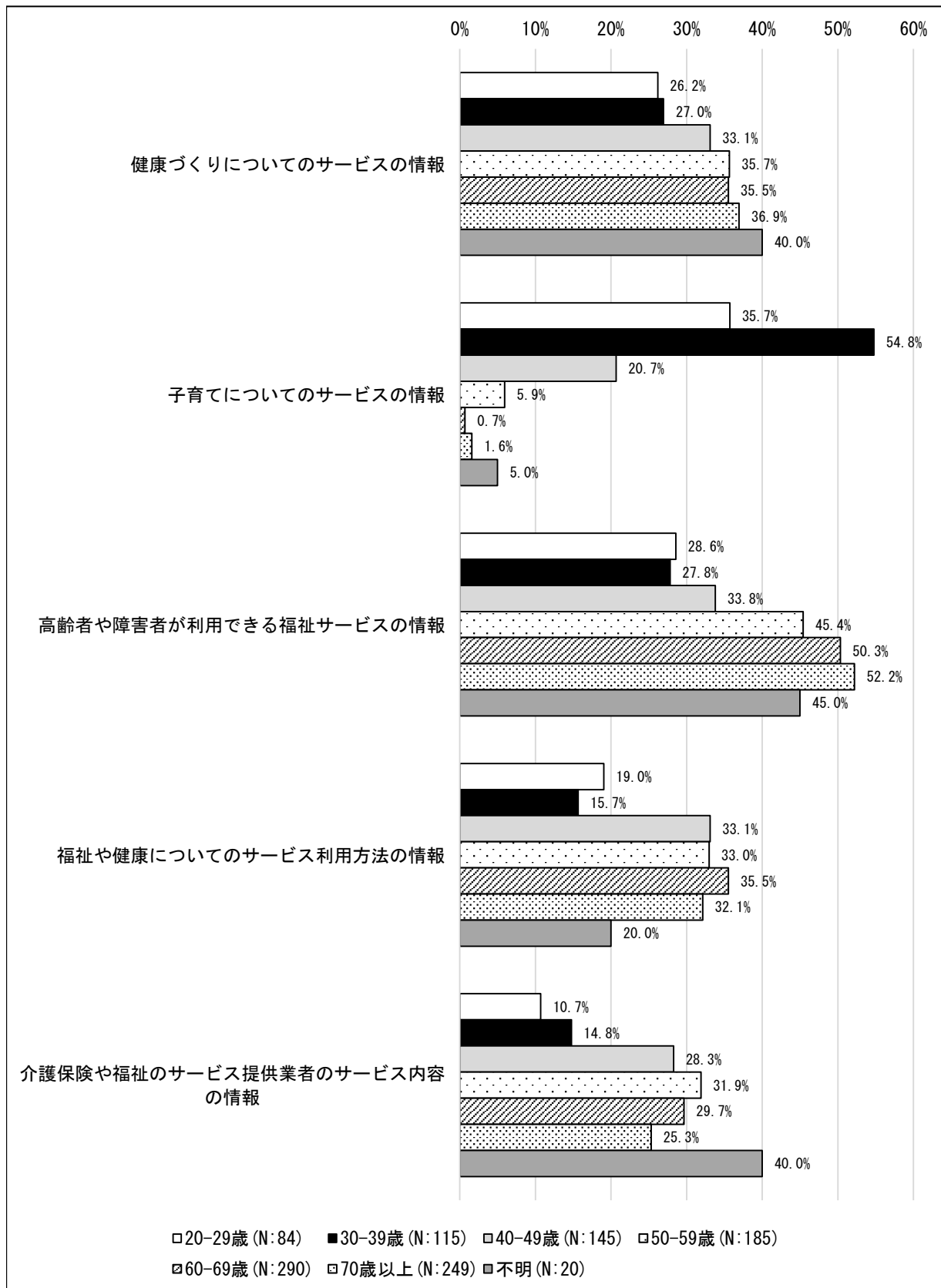
「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」が44%、「健康づくりについてのサービスの情報」が34%、「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」が30%となっている。

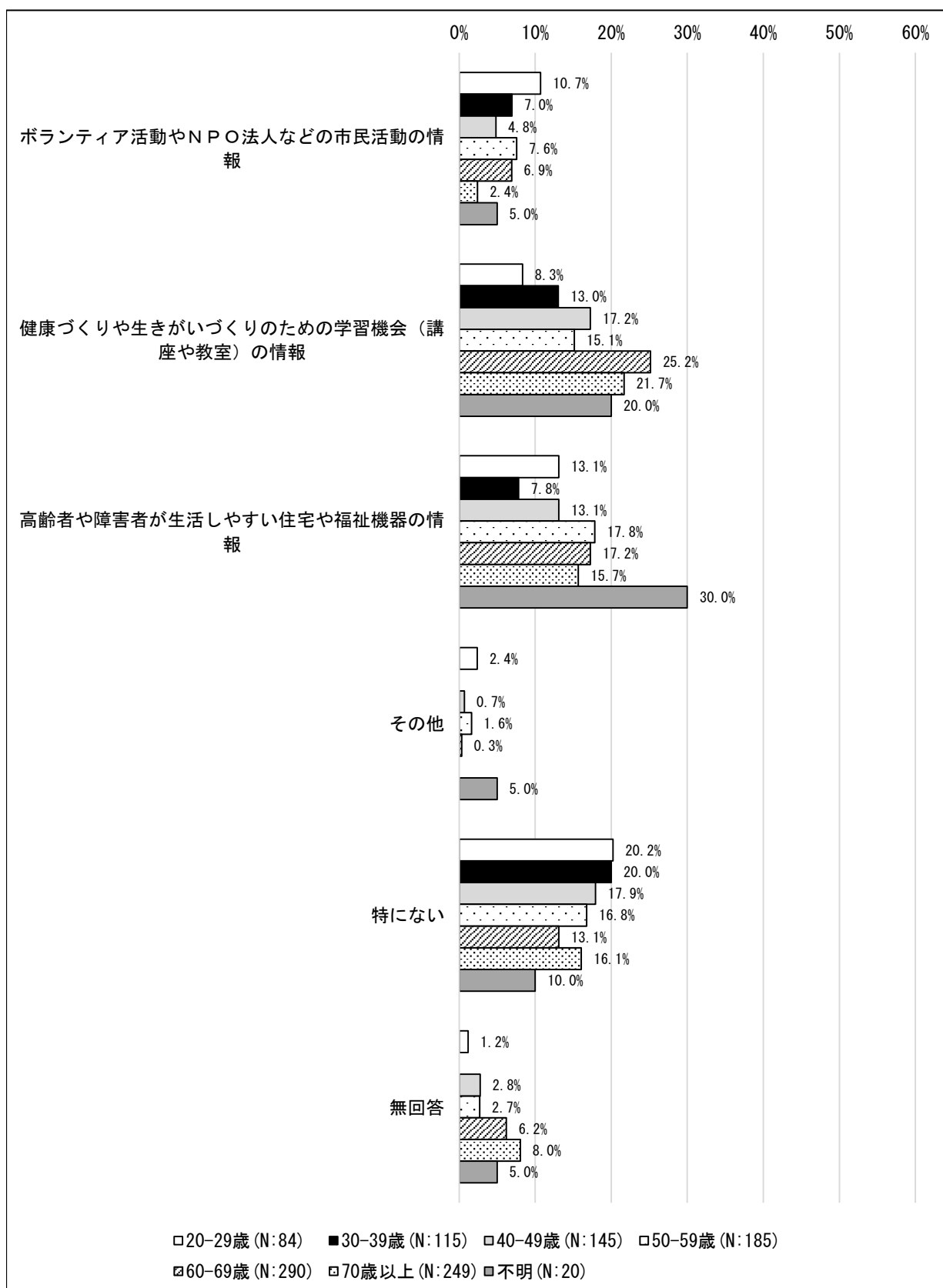
【男女別】



男女ともに「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」が最も大きく、次いで「健康づくりについてのサービスの情報」、「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」の順となっている。

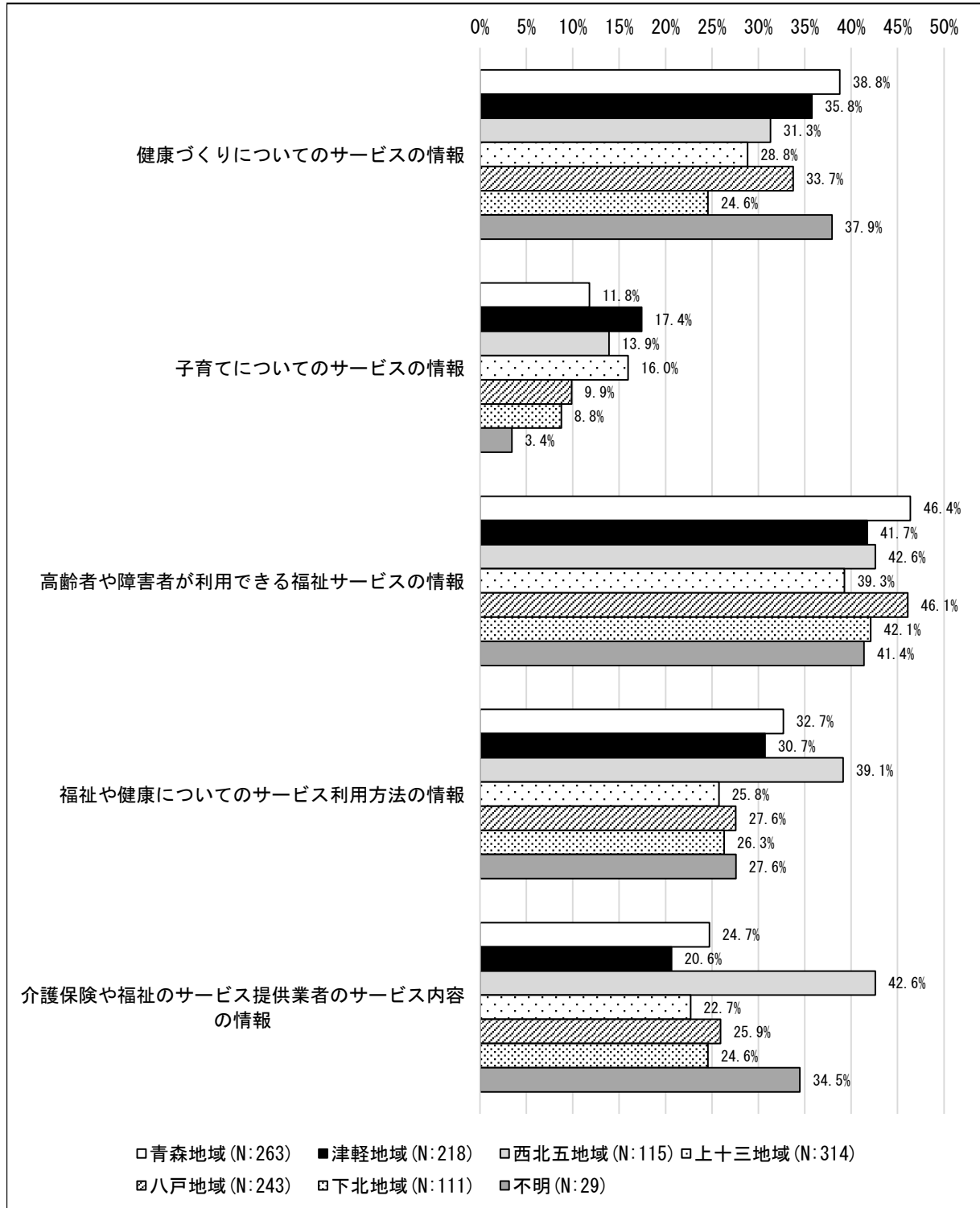
【年代別】

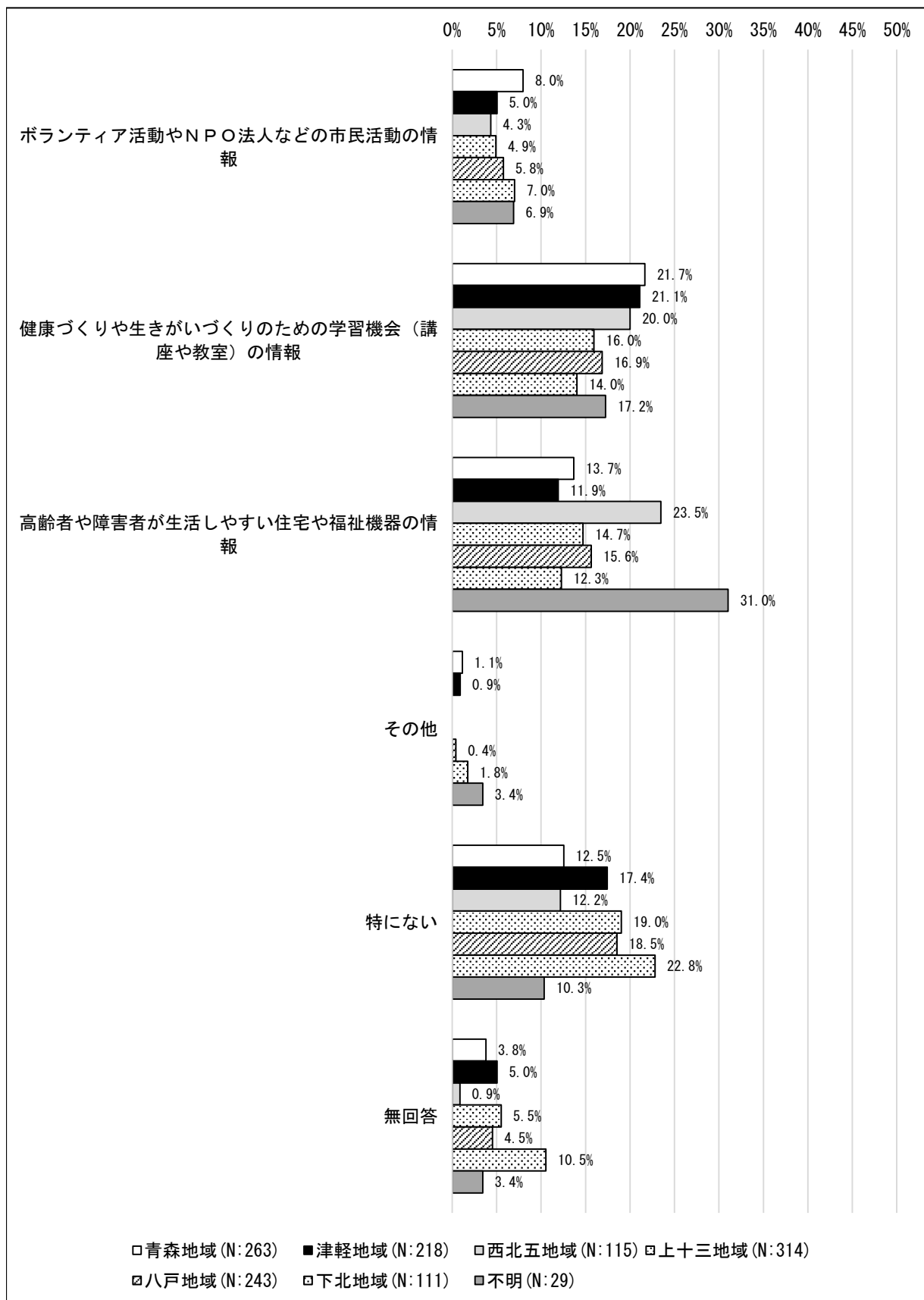




20歳代、30歳代では「子育てについてのサービスの情報」が、40歳代以上では「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」がそれぞれ最も大きくなっている。「健康づくりについてのサービスの情報」については年代が上がるにつれて大きくなっている。

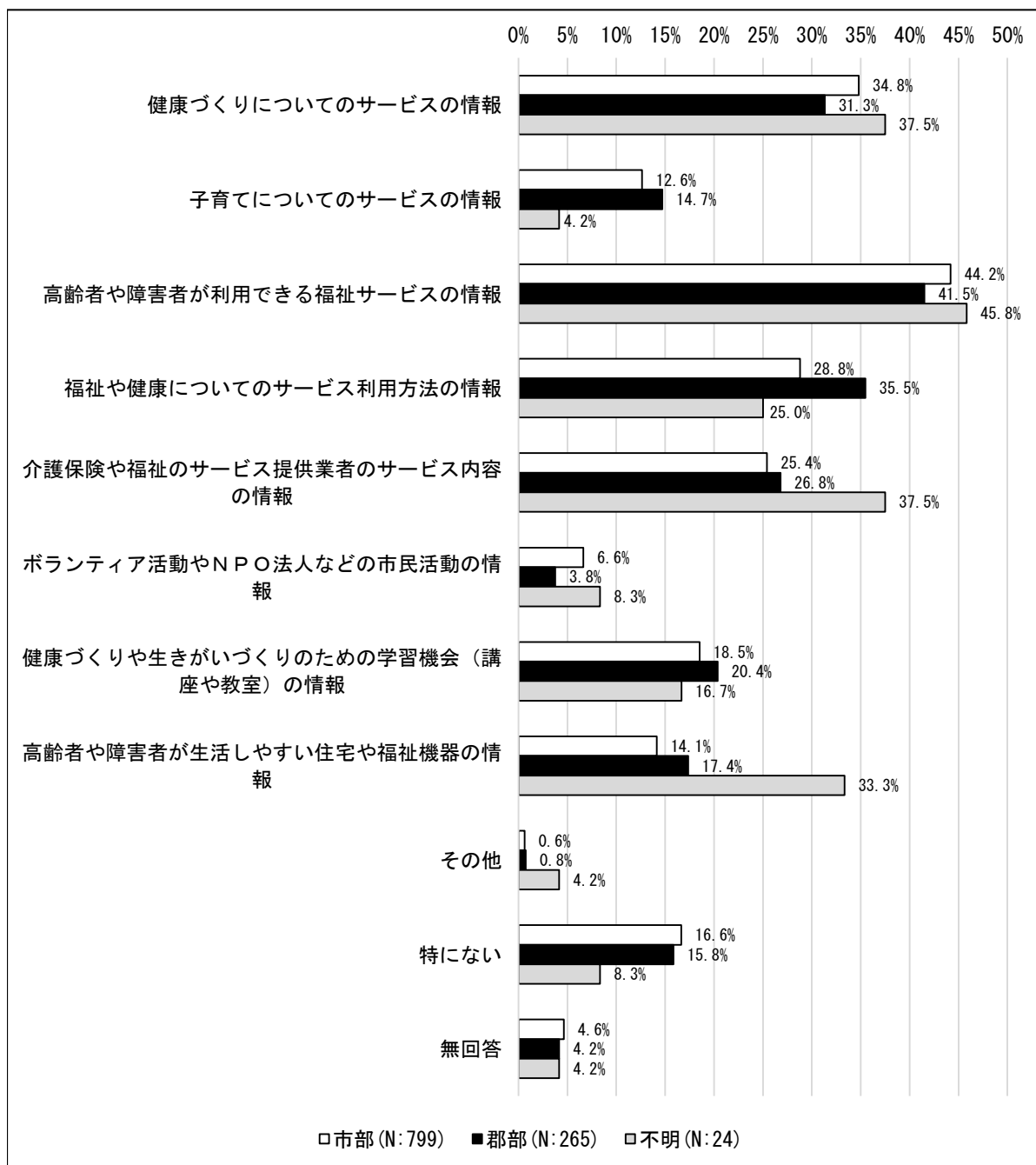
【地域別】





全ての地域で「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」が最も大きくなっている。西北五地域では「介護保険や福祉のサービス提供業者のサービス内容の情報」、「高齢者や障害者が生活しやすい住宅や福祉機器の情報」が他の地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



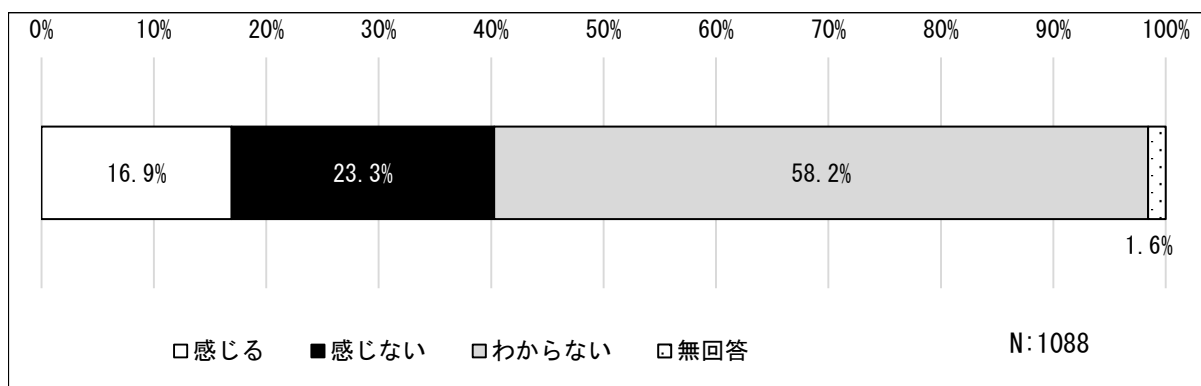
市部・郡部ともに「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」が最も大きく、次いで市部では、「健康づくりについてのサービスの情報」、「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」の順に、郡部では、「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」、「健康づくりについてのサービスの情報」の順になっている。

【自由回答より】

- ・高齢者なので無料で参加できる催しの情報がほしい
- ・市町村などで何をしているかわからないので、具体的な活動報告をしてほしい

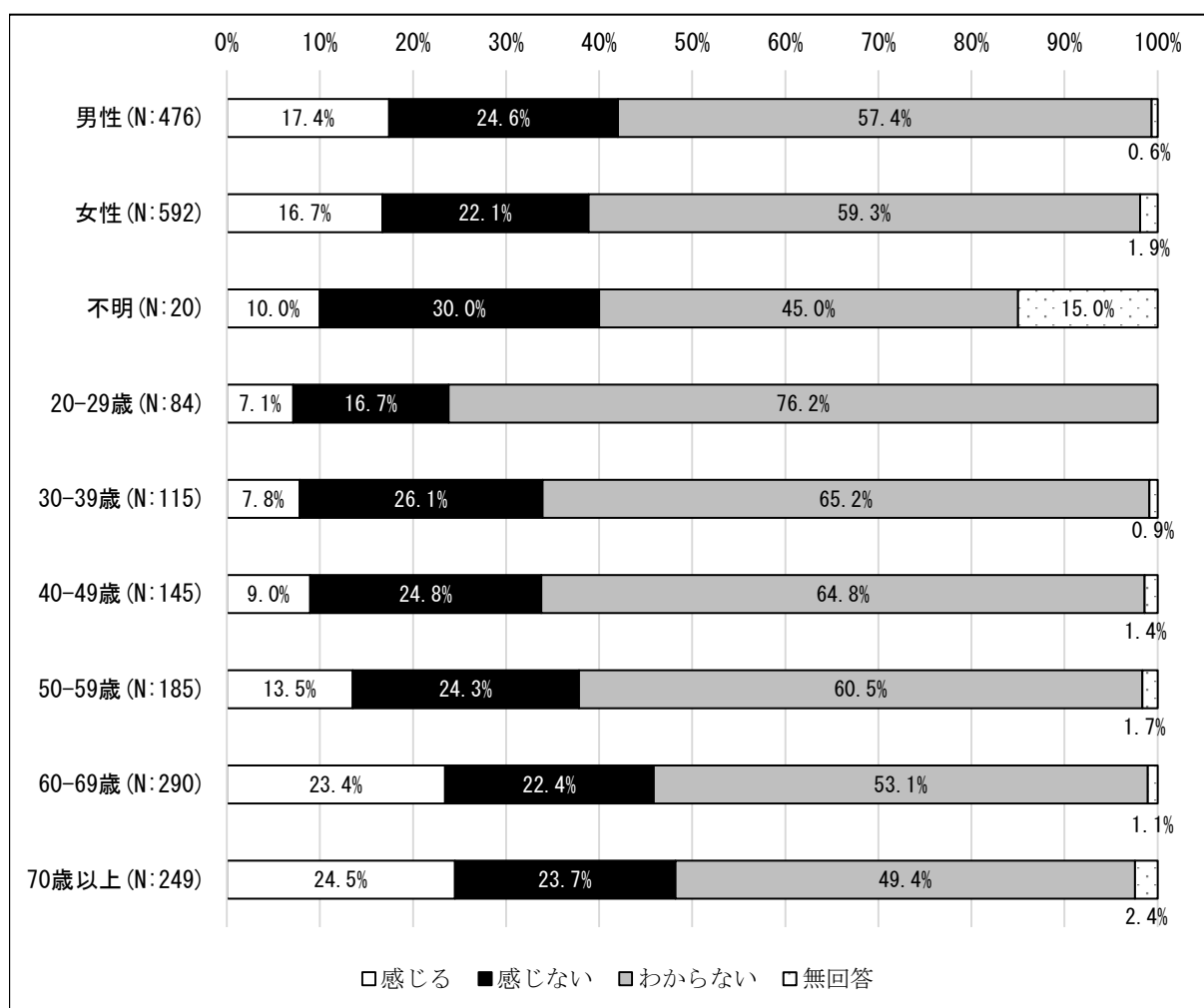
問 43. お住まいの地域では、必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制が整っていると感じますか。（1つ）

・必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制



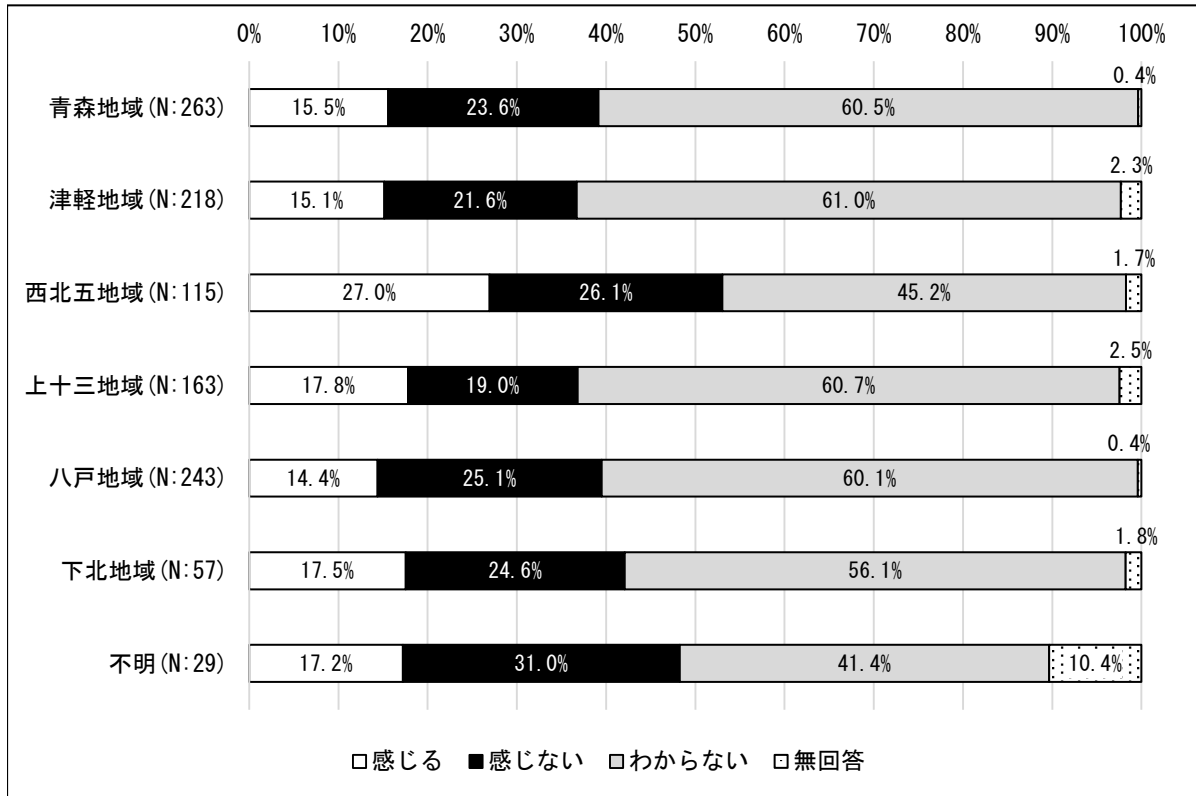
「感じる」が17%、「感じない」が23%、「わからない」が58%となっている。

【男女別・年代別】



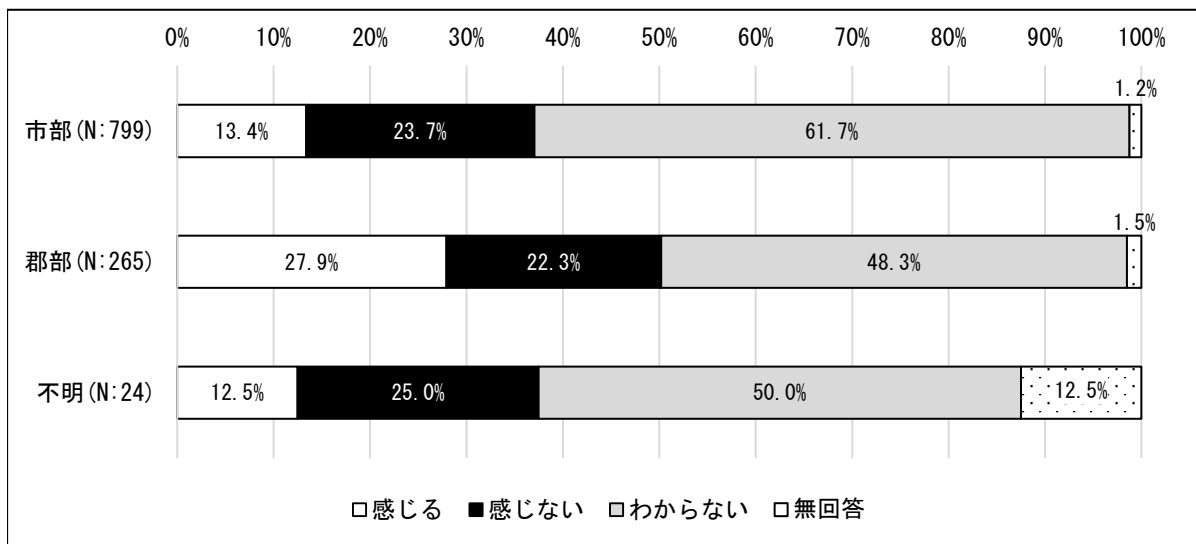
性別、年齢を問わず、「感じない」が「感じる」を上回っている。
年代別に見ると、「感じる」は年代が上がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



西北五地域では「感じる」が「感じない」を上回っている。他の地域では「感じない」が「感じる」を上回っている。

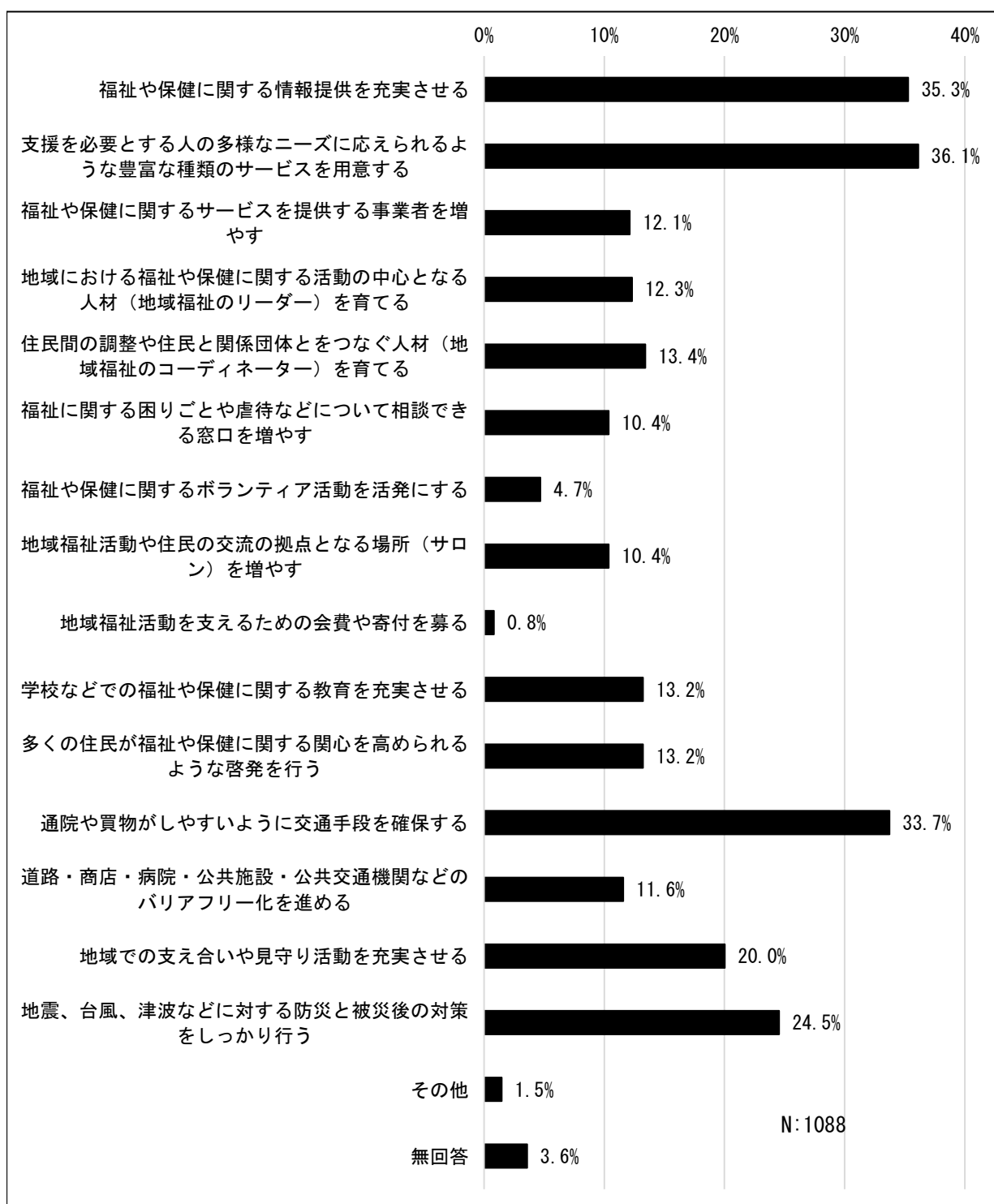
【市部・郡部別】



市部では「感じない」が「感じる」を上回っている。郡部では「感じる」が「感じない」を上回っている。

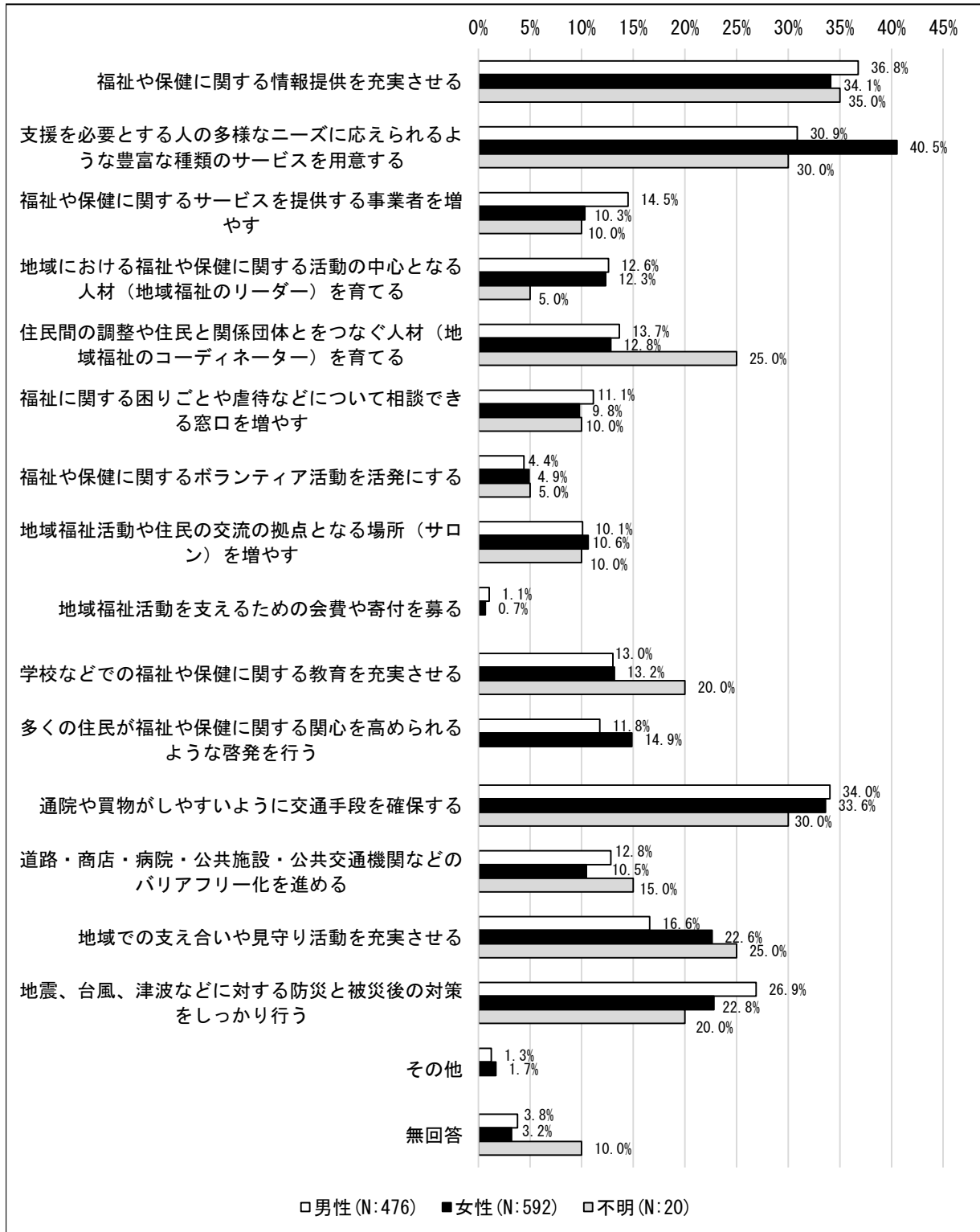
問 44. 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

・安心な生活に必要なこと



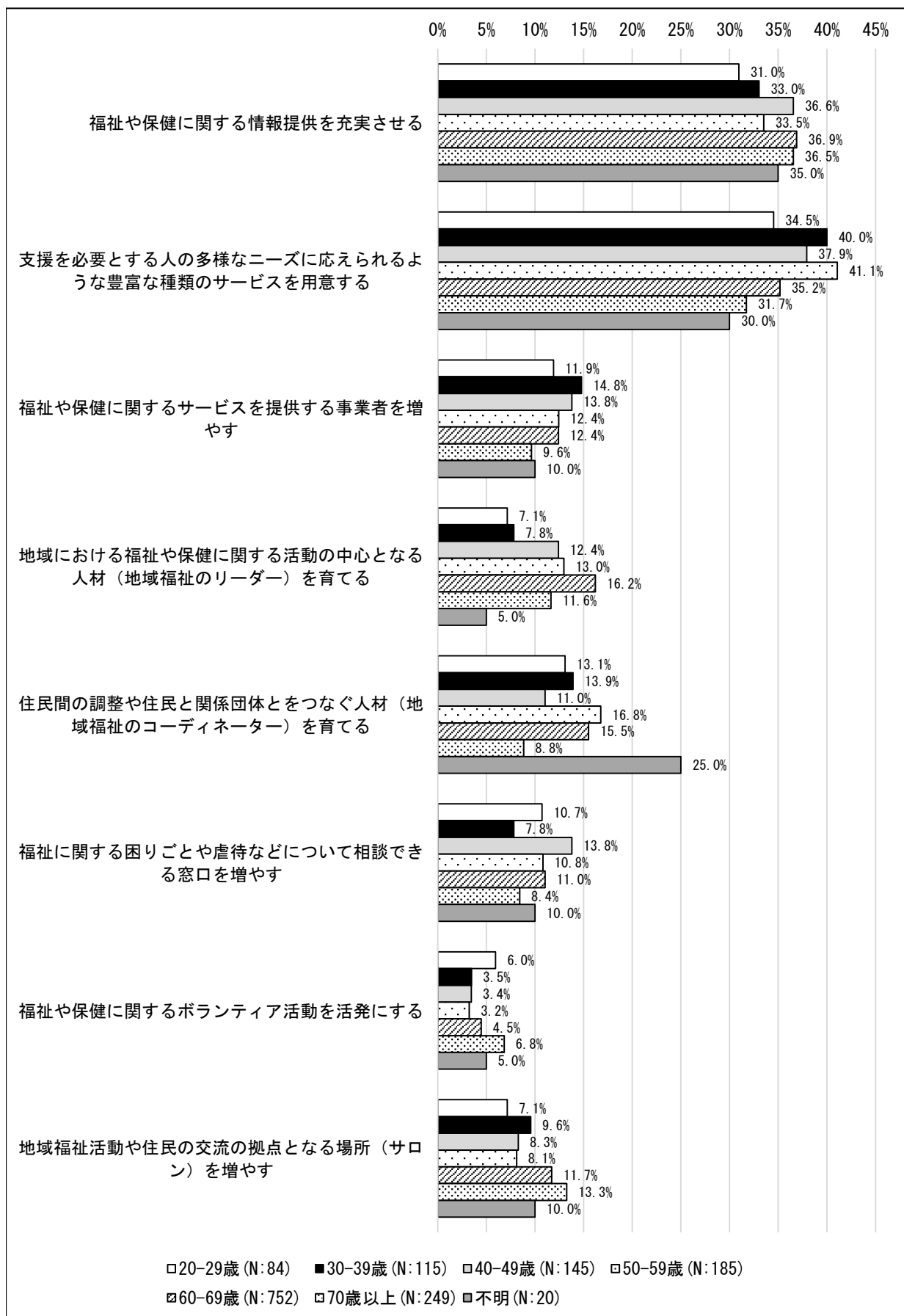
「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が36%、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が35%、「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」が34%となっている。

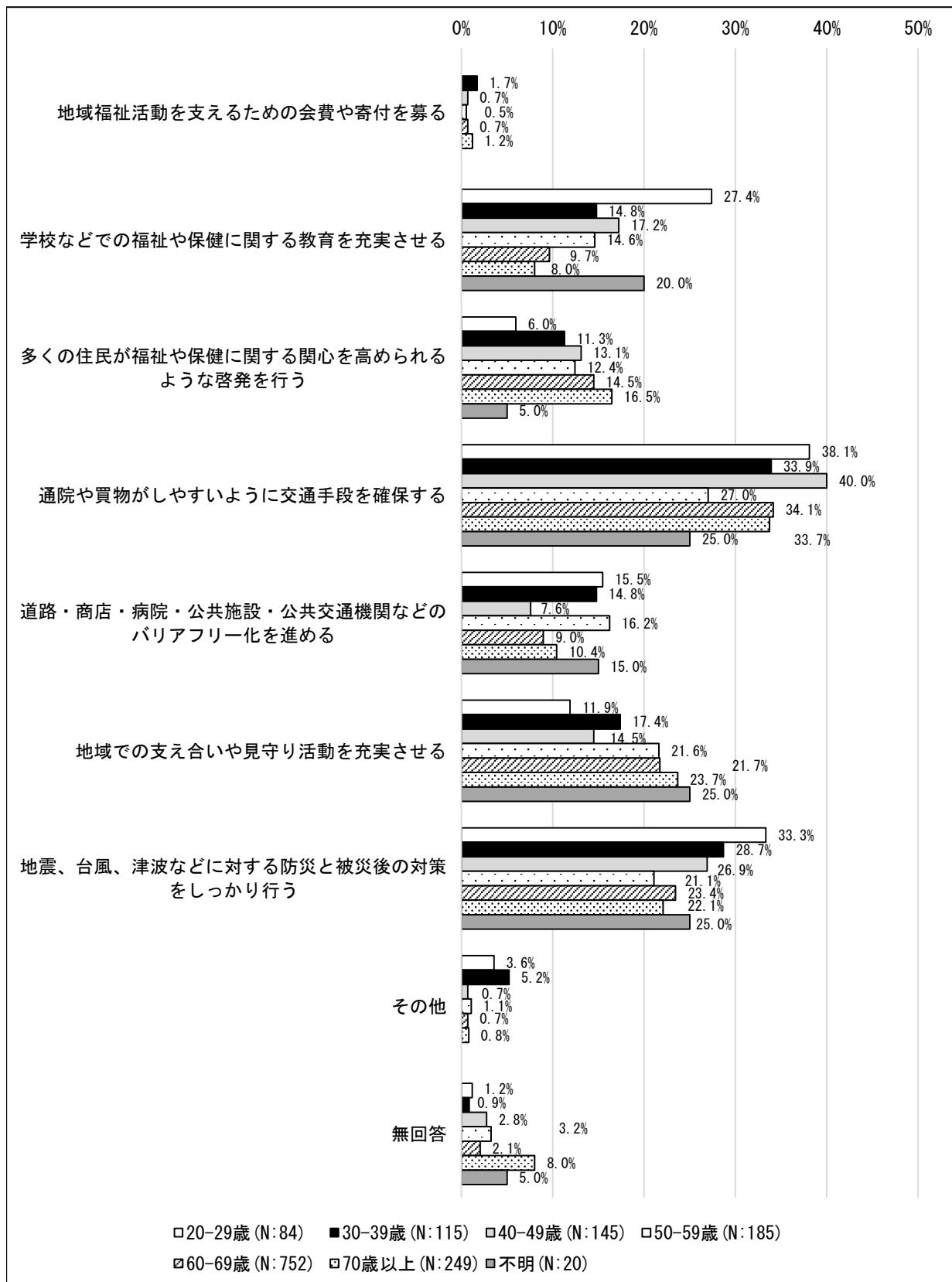
【男女別】



男性では「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も大きく、次いで「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」の順となっている。女性では「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が最も大きく、次いで「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」、「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」の順となっている。

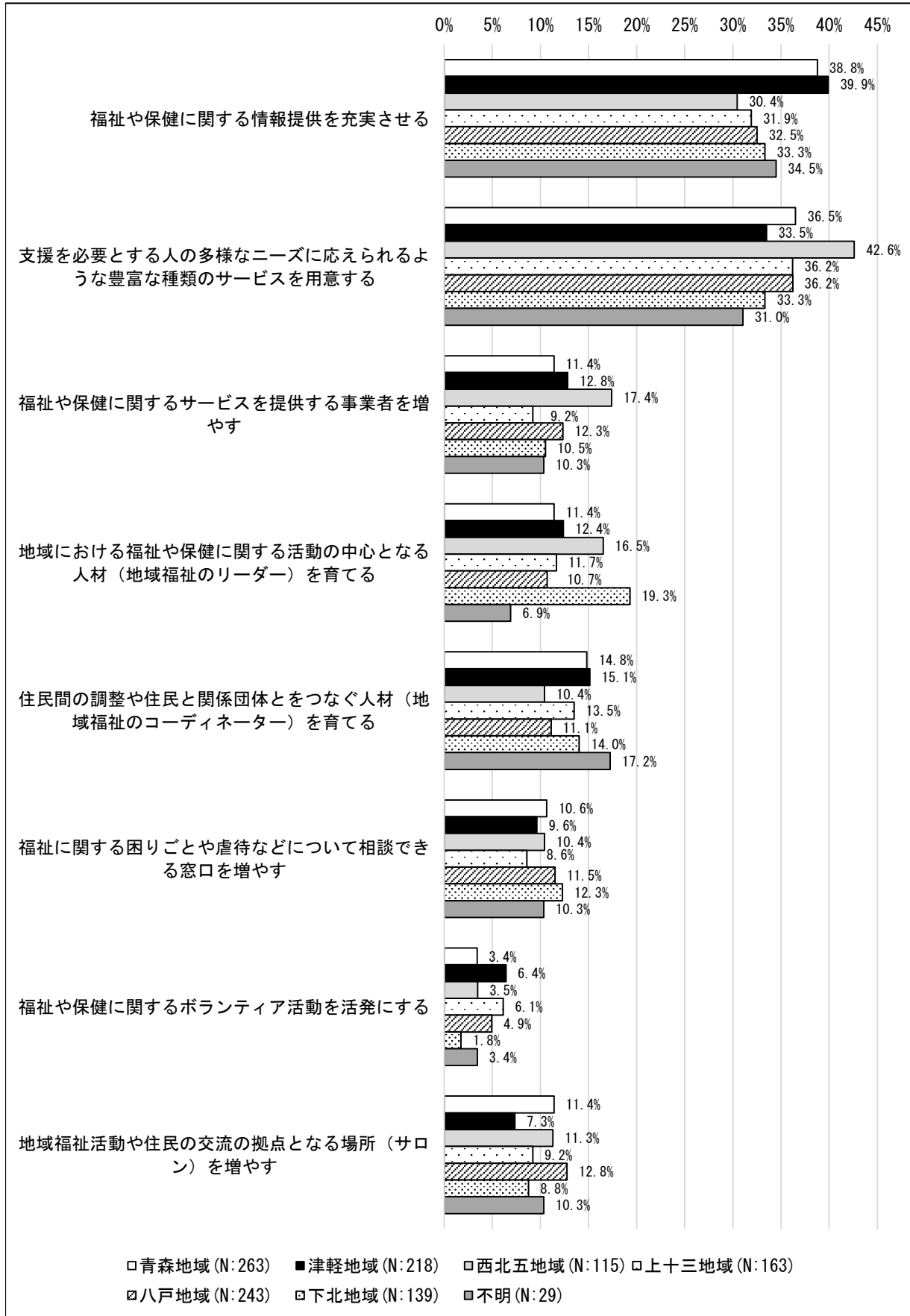
【年代別】

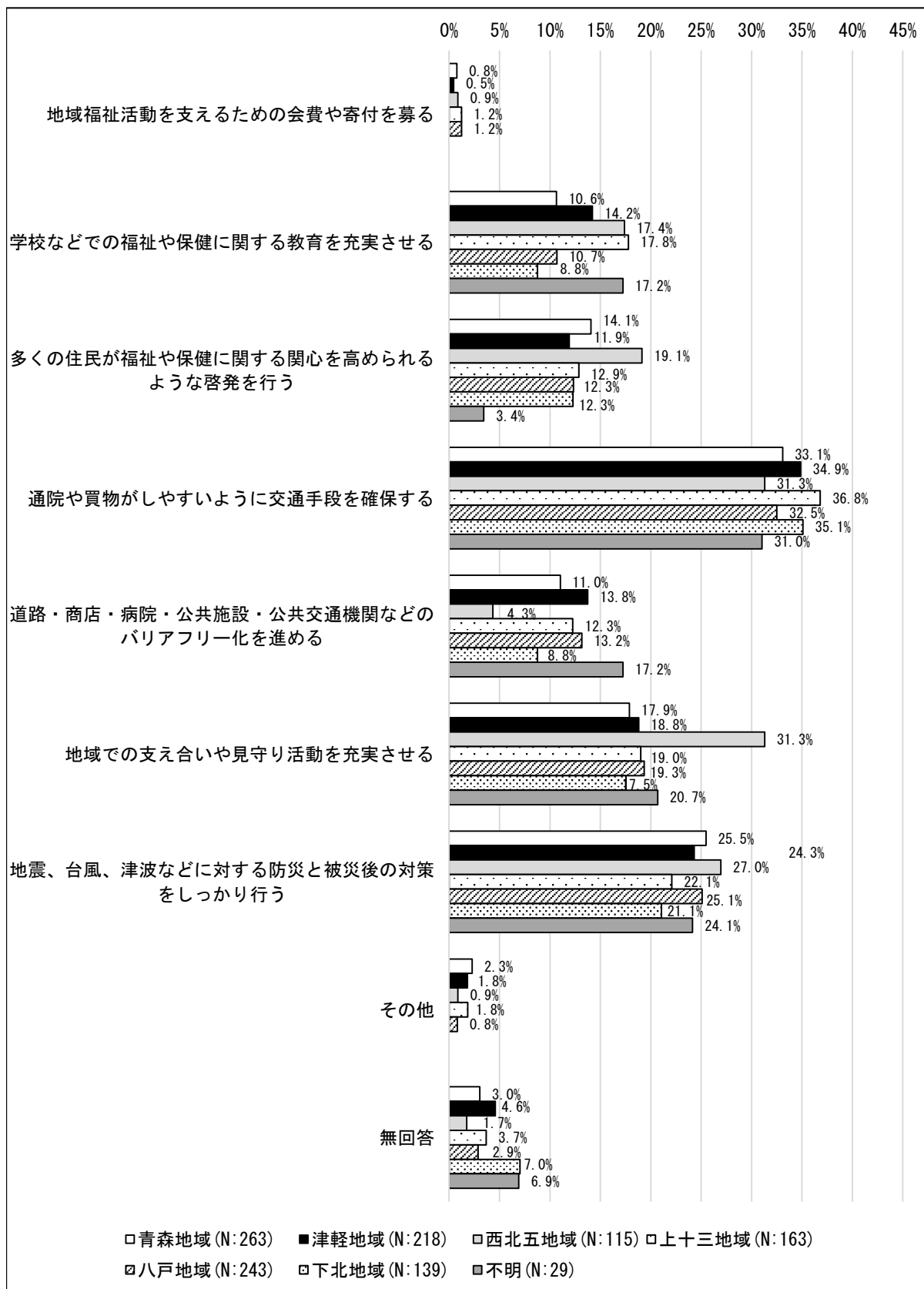




60歳代以上では「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が、20歳代、40歳代では「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」が、30歳代、50歳代では「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」がそれぞれ最も大きくなっている。

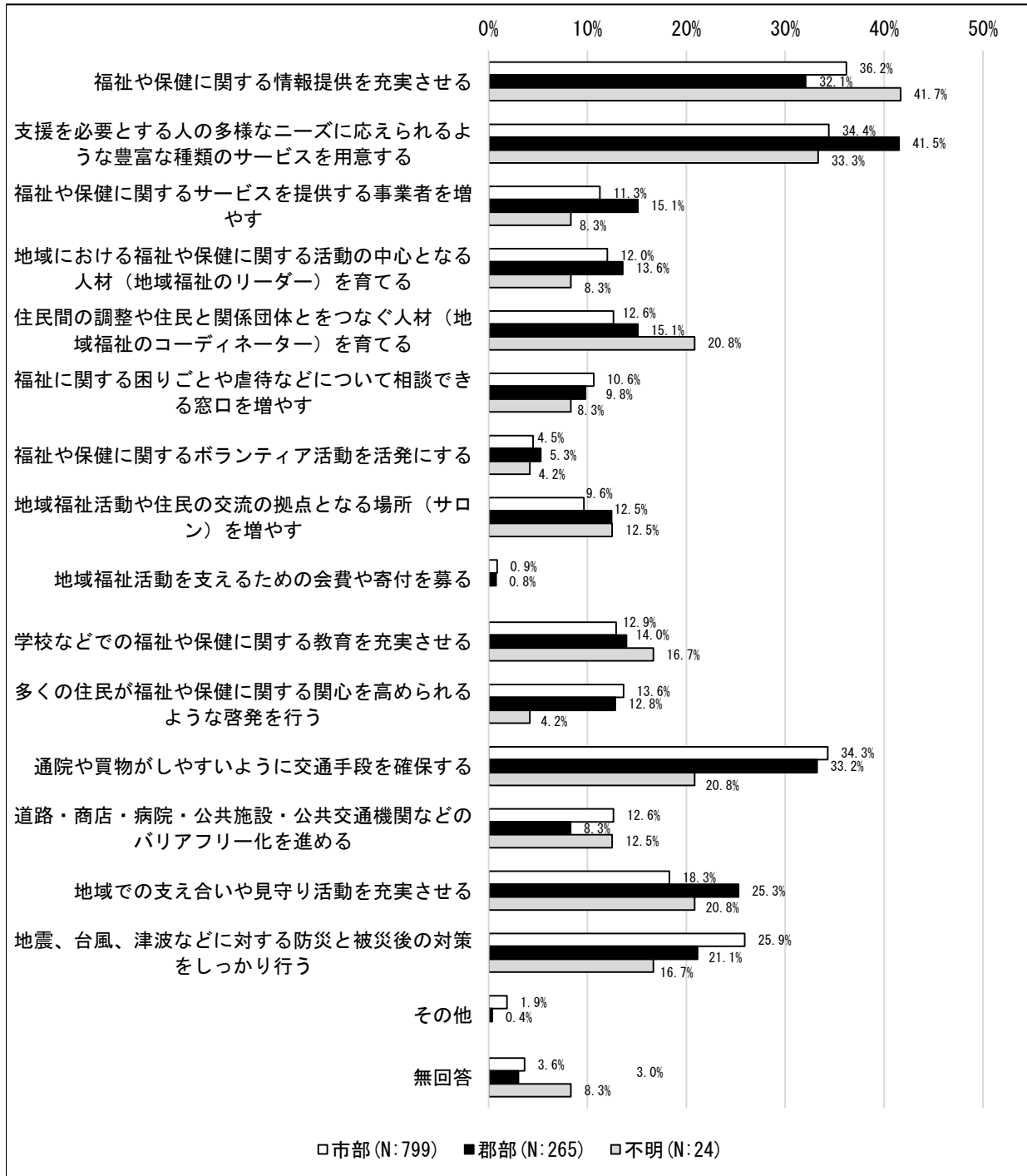
【地域別】





青森地域、津軽地域では「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が、上十三地域、下北地域では「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」が、西北五地域、八戸地域では「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」がそれぞれ最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



市部では「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も大きく、次いで「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」、「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」となっている。郡部では、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が最も大きく、次いで「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」となっている。

【自由回答より】

- ・主要道路や歩道を融雪路にしてほしい。とにかく雪のことを考える
- ・相談窓口があることを周知する
- ・地域でイベントや交流会を開催し、人と人のつながりを作る

問 16 相談窓口に期待すること
自由回答のまとめ
(主な回答内容)

【適切な対応】

主な回答内容
ネグレスト等の虐待の発見通報をしやすい環境作りが必要。各種相談も相談しやすいように配慮されればよい。それと、どんな小さな悩みでも当事者にとっては、深刻な問題だと思うので、相談を受ける側の指導も必要。
話を聞くだけでなく、具体的対応をする。資金がないと前に進めない、ボランティアも金がかかる。(窓口等は実際の現場体験をした方がよい。)
とにかく話を聞いてあげて、解決策を導いてあげる事・少しでも気持ちを軽くしてあげる事。
親身になって相談を受ける。
たらい回しのない相談窓口。
やさしい声がけと適切なアドバイス。
相談窓口は知っていても、世間の目があって行きづらい、電話しづらい。そんな人が多い。実際勇気を出し、相談へ行っても解決に至ることはまれでほとんどがはげましや話を聞いてほしい、受け止めてほしいだけだと思う。文通やネットなど人に知られず心の内をさらけ出せる場があればと思う。
相談窓口を利用したことがないが、話を聞いてほしい。その人それぞれの事情や状況を理解して、それから一緒に考えてもらいたい。
的確なアドバイス、迅速な対応。
アドバイスするだけでなく、その後の結果を聞き解決するまで一緒に取り組んでほしい。
金銭の援助だけでなく、自立できるような指導、訓練を通じた支援活動。
口下手の人もいると思うので、相談相手側が、一体何を言いたいのかどうしてほしいのか、理解力が大切。
困っている人が、次の解決につながるような、身の安全をすぐに感じられて、安心できるような窓口であってほしい。次まで様子を見ましようなど放っておかれないような窓口。
困っている人が、心から「相談してよかった」と思えるような対応をしてほしい。
困り事にはいろいろな要因があり、多岐にわたるので、一つの窓口で対応できるような場所が望ましい。(例)大病院の総合診療科のような(問診をして必要な診療科へ依頼してくれる)
相談された方へ助言だけでなくその後のフォローアップまでする。ファイルしておいて見届けるシステムになればよいと思う。
時々上から目線で話しかける人がいる。
丁寧で真剣な対応、必要なことを見抜く力を持ってほしい。
役所内での連携を確立してほしい。
早期に、円満な解決。
相談に行っても内容が管轄外だった場合、そこで終わりではなく、他の窓口を勧めたり、いろいろな窓口と連携をとって案内してほしい。

主な回答内容
誰でも自由に相談できる場所、仕組み、話しやすい環境を作ってほしい。
担当者により対応に差があり過ぎも見られる。従って、経験のある一般の方や民生委員に担当してもらう方が相談する方としては安心する。
本当に相手の立場に立って相手の話をしっかり聞いてあげる。
命を落とすような相談の場合、確実にストップをかける事ができる対応。
直接的な解決策の提示より、当人が何に対して悩んでいるかを聞いてほしい。
いざという時に助けてくれること。
マニュアルの通りにやらないでほしい。
よき相談者として受け入れを大切にしてほしい。
義務的な態度でなく、真剣な応援。
分かりやすい言葉での説明。
気軽に簡単にすぐに相談できること。
利用のしやすさ。
事務的ではなく、ひとりひとりに寄り添った対応。窓口に限らず、役場などの対応にも同様なことが求められると思う。
各窓口の相談員の方々は常にプロ意識を持って対応していると思うが、相談者が安心できるように心がけてほしい。
災害時の避難場所の周知。
情報共有のための持続的継続的な情報発信。
民生委員の不足。
県民の50%以上の方が協力しなければ何事も難しいと思う。
相談だけで終わらず、その後の経過や状態等、解決に向けての行動ができるようにしていければよい。
相談事が発生しても、自力で解決する。
相談しやすい雰囲気づくり、例えば女性の方が相談内容によって、男性の相談員に話づらいことがあると思う。
カウンセリング技術をしっかりと持った人がいる事。人の話にしっかりと耳を傾けられる人がいること。

【PR 活動】

主な回答内容
障害等様々な状況にある相談者に対してでも、解決しようとする姿勢と豊富な知識
様々な相談窓口があることは知っているが、日ごろどのような仕事をしているのか身近に感じるケースが無いので（新聞、雑誌、テレビニュースで聞く程度）講演などで具体的なことを知りたい。
期待することよりも、まず一番大切なのは相談窓口があるということを若い県民に知ってもらうこと。
知らない窓口が多いのでもう少しアピールしてほしい。

主な回答内容
各々の相談窓口の場所や活動内容を周知してほしい。土、日、夜の相談窓口の開催。
相談窓口の電話番号や相談方法を全戸に配布してほしい。(全員への周知)
私自身があまり知らないのかもしれないが、どんな所に行くと相談できるかもっとわかりやすい相談窓口を教えてください。
周知徹底、コストがかかろうが、毎月チラシを出すくらい、CMを流すくらいのことを行わないと、わかってもらえない。若い世代は働くことでいっぱい。
振り込めサギ同様、もっとテレビCMを使うべき。普段からこういう窓口があることを知らせるべき。
様々な相談に対処できて当然であり窓口も必要。人員を増やし、どういう人たちに役に立つのかもっとアピールしたらよいと思う。
制度の周知、相談者に対応できる関係行政機関との連携。
各自治体のHP等に相談窓口の検索が容易にできるようになっていること。
制度の周知、相談者に対応できる関係行政機関との連携。
さまざまな窓口があることを認識し、各家庭に置いておける窓口の連絡先を書いたステッカーなどがあつたら、もっと広く利用できると思う。
今まで会社勤務のため、地域への参加が無い。まして、相談窓口のことはよくわからない。
自分が相談する立場になっていないからわからない。
どこに何の相談窓口があるのかもっと周知を徹底してほしい。気軽に相談に行ける雰囲気と、プライバシーを守る体制・些細な悩みでも耳を傾け、相手の立場になって真剣に考える姿勢・親切、丁寧な対応等。
きちんと対応してもらえるか心配。優しく相談に乗ってくれるかとか、窓口があるということを知らなかった。
場所が分からない。
相談窓口の名称は聞いたことはあるが、具体的な内容とか設置場所かが分からない。
相談窓口の存在を知らなかったので、相談窓口の広報活動・相談者の問題解決。
目が不自由なので相談窓口が分からない。
相談窓口の一覧表と電話番号がすばやく見えるもの。

【プライバシー保護】

主な回答内容
相談窓口を設けることはよいのですが、狭い街の中なので話を迎れば皆親戚で、街を歩いていてもいつも行き逢う状態である。しっかりとした回答が出せる知識のある、守秘義務の確実なものを窓口に求める。
個人情報漏れることなく、順守されること。また、速やかに解決されること。
守秘義務の徹底と確実な解決策または納得がいく説明。

主な回答内容
相談内容やプライバシーを守ってほしい。
きめ細かく、スピード感のある対応。相談者に寄り添うやさしい対応。
迅速な対応。（役所の対応はたらい回しにされたりしそうな印象があるため）
早い対応、手続きの簡素化、24時間365日体制。
迅速、適切なアドバイス。相談相手の身になって、考え指導してくれること。
生活の困り事や悩みごとの相談窓口。
特に生活の困りごと、生活困窮者の自立相談に力を入れてもらいたい。
自立支援や近所トラブル解決相談等。

【児童・高齢者・障害者・ひきこもり】

主な回答内容
小中高校生のいじめをなくする相談窓口があればよい。
児童虐待の相談窓口。
高齢者になってからの相談窓口。
障害者を住みやすい地域づくり。
ひきこもりの方の相談窓口。

「地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査」について

日頃から、青森県の地域福祉推進にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

青森県では、各市町村地域福祉計画の推進を支援するため、青森県地域福祉支援計画を策定しています。

この計画を着実に進めるため、県民の皆さんが地域福祉についてどのように感じておられるのかをお聞かせいただき、計画推進の基礎資料とさせていただきます。また、「地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査」を実施することとしました。

今回、市町村から計2,000名を無作為にお選びしました結果、あなた様にご協力をお願いすることになりました。お忙しい中大変恐縮ですが、別紙アンケート項目にご回答いただきますようお願いいたします。

なお、アンケートは無記名です。ご記入いただいた内容につきましては、全て統計的に処理するもので、回答者が特定されることはありません。また、集計結果につきましては、後日、青森県のホームページ等で公表いたしますので、あらかじめご了承ください。

平成29年12月

青森県健康福祉部健康福祉政策課

【質問事項】

- I あなた自身のことについて
(問1～問4)
- II あなたと地域との関わりについて
(問5～問7)
- III 地域に支え合いに関するあなたのお考えについて(問8～問13)
- IV 様々な相談窓口について
(問14～問18-2)
- V 福祉教育に関するあなたのお考えについて
(問19～問21)
- VI 社会福祉法人や社会福祉協議会とのかかわりについて(問22～問25)
- VII ボランティア活動について
(問26～問29)
- VIII 福祉サービスにおける権利擁護について
(問30～問33-1)
- IX 福祉・介護人材の確保育成について
(問34～問37)
- X 外出するときの手段について
(問38～問40)
- XI 福祉に関する情報と今後の福祉のありかたについて(問41～問44)

【回答に当たってのお願い】

◆ 調査票

- 同封の「地域福祉推進に向けた青森県民意識に関するアンケート調査票」をご使用ください。

◆ 調査票の記入方法

- この調査は、個人の方を対象に実施しています。あなた自身のお考えでお答えください。
- 回答は、該当する数字を○で囲んでください。なお、○の数は質問によって異なります。また、「その他」を選んだ場合は()内に記入してください。

◆ 回収方法

- 同封の返信用封筒にご記入いただいた調査票を入れ、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。**投函は12月28日(木)までをお願いします。**
- 返信用封筒に記載しているバーコードは県が郵便料金を支払うためのもので、あなた様個人を特定するものではありません。

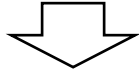
ご回答いただく上で不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いします。

青森県健康福祉部健康福祉政策課 地域福祉推進グループ

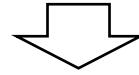
電話 017-734-9281

問6 あなたは地域活動に参加していますか。(1つ)

① 参加している



② 参加していない



問6-1 参加している地域活動
(あてはまるものすべて
選んでください。)

- ① 一斉清掃
- ② 祭り
- ③ 地区運動会・スポーツ大会
- ④ 資源回収
- ⑤ 小中学校行事
- ⑥ 子ども会行事
- ⑦ 青年会活動
- ⑧ 老人クラブ活動
- ⑨ 女性団体活動
- ⑩ 防災活動
- ⑪ 育児支援活動
- ⑫ その他()

問6-2 参加していない理由
(3つまで)

- ① 仕事を持っているので時間がない
- ② どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない
- ③ 興味を持てる活動が見つからない
- ④ 健康や体力に自信がない
- ⑤ 家事・育児に忙しくて時間がない
- ⑥ 家族等の介護などで時間がない
- ⑦ 地域活動をする上での経済的な負担が大きい
- ⑧ 家族の理解がない
- ⑨ 地域にあまり関わりたくない
- ⑩ 地域活動の必要性を感じない
- ⑪ その他()

問7 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどうしますか。(1つ)

- ① 積極的に参加したい
- ② 内容によっては参加したい
- ③ 当番制なら参加する
- ④ おそらく断る
- ⑤ その他()
- ⑥ わからない

《Ⅲ 地域の支え合いに関するあなたのお考えについておうかがいします》

問8 困っていることや不安なことがあるとき、あなたは誰に相談しますか。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① 家族 | ② 親戚 |
| ③ 知人・友人 | ④ 近所の人 |
| ⑤ 市役所や役場 | ⑥ 民生委員・児童委員 |
| ⑦ かかりつけの医者や看護師 | ⑧ 福祉サービス事業者 |
| ⑨ 社会福祉協議会 | ⑩ ボランティア団体 |
| ⑪ その他(わからないを含む) | ⑫ 相談できる人はいない |
| ⑬ 相談しない | |

問8-1 問8で「⑬ 相談しない」を選んだ方におうかがいします。その理由は何ですか。(1つ)

- ① 自分でぎりぎりまでがんばりたいから
- ② 自分や家族で何とかやっているから
- ③ 誰に相談すればいいかわからないから
- ④ 気軽に相談できる人がいないから
- ⑤ 自分や家族のことを他人に知られたくないから
- ⑥ その他 ()

問10-1 問10で「⑤ 特に何もしない」を選んだ方におうかがいします。何もしない理由は何ですか。(1つ)

- ① 恥ずかしいから
- ② お節介になるような気がするから
- ③ どのようにしてよいかわからない
- ④ 忙しくて面倒だから
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 特に理由はない

問11 日常生活で困ったことが起きた場合、手助けは誰が行うべきだと思いますか。(3つまで)

- ① その人の家族
- ② 地域の住民
- ③ 行政機関(市役所や役場)
- ④ 社会福祉協議会
- ⑤ 福祉のサービスを提供する施設・事業者
- ⑥ ボランティア団体
- ⑦ 民生委員・児童委員
- ⑧ 町内会・自治会
- ⑨ その他 ()
- ⑩ わからない

問12 お住まいの地域に、次のような交流の場がありますか。(当てはまるものすべて)

- ① 高齢者
- ② 認知症の方や家族向け
- ③ 子育て中の親子
- ④ 障害者
- ⑤ 誰でも集まれる場
- ⑥ 交流の場はない・わからない

問13 災害時に住民が支え合う地域づくりには何が必要だと思いますか。(3つまで)

- ① 自主防災組織づくり(地域住民で結成する防災隊)
- ② 地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成
- ③ 地域での定期的な避難訓練
- ④ 災害、防災や避難についての勉強会
- ⑤ 福祉サービスを提供する施設や事業者との連携
- ⑥ その他 ()
- ⑦ わからない

《IV 様々な相談窓口についておうかがいします》

問14 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員、地域包括支援センターの活動内容を知っていますか。（1から4についてそれぞれ1つ）

項目	知っている	知らない
1. 民生委員・児童委員	①	②
2. 身体障害者相談員	①	②
3. 知的障害者相談員	①	②
4. 地域包括支援センター	①	②

問15 県内に、次の相談窓口があることを知っていますか。（1から8についてそれぞれ1つ）

項目	知っている	知らない
1. 自殺対策のため相談窓口	①	②
2. 児童虐待の相談窓口	①	②
3. 障害者虐待の相談窓口	①	②
4. 高齢者虐待の相談窓口	①	②
5. ドメスティックバイオレンスの相談窓口	①	②
6. 女性相談の窓口	①	②
7. 生活の困りごとや悩みごとの相談窓口 (生活困窮者自立相談窓口)	①	②
8. ひきこもりの相談窓口	①	②

問16 あなたが、様々な相談窓口に期待することは何ですか。（自由に記入してください。）

問20 高齢者、障害者、子ども等の福祉について学びたいと思いますか。(1つ)

- ① 思う ② 思わない

問21 あなたのお住まいの地域に、福祉について学ぶ場はありますか。(1つ)

- ① ある ② ない ③ わからない

《VI 社会福祉法人や社会福祉協議会との関わりについておうかがいします》

問22 あなたは、社会福祉法人のことを知っていますか。(1つ)

- ① 知っている ② 知らない

(※) 社会福祉法人とは、高齢者や障害者向けの福祉サービスや保育所の経営などの社会福祉事業を行うことを目的として設立される民間の法人のことです。

問22-1 問22で「① 知っている」を選んだ方におうかがいします。普段、あなたが地域の社会福祉法人とかかわりがあるのは、次のどれですか。
(当てはまるもの全て)

- ① あなた自身が、社会福祉法人が行う福祉サービス（ホームヘルプサービスなど）を利用している
② あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している
③ あなたが、社会福祉法人の運営する社会福祉施設に勤めている
④ あなたの家族が、社会福祉法人が運営する社会福祉施設等に勤めている
⑤ 社会福祉施設が行う夏祭りなどの行事に参加している
⑥ 社会福祉施設でボランティア活動をしている
⑦ その他 ()
⑧ かかわりがない

問 2 3 あなたが、地域の社会福祉法人に期待することは何ですか。（3つまで）

- ① ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供
- ② 地域への社会福祉施設の開放
- ③ 地域住民の交流の場の提供
- ④ ボランティアの受け入れ
- ⑤ 雇用の場
- ⑥ 福祉の困りごとについての相談窓口
- ⑦ 災害時の高齢者・障害者の受け入れ
- ⑧ 福祉・介護人材の育成
- ⑨ その他（)
- ⑩ 期待することはない

問 2 4 あなたは、社会福祉協議会のことを知っていますか。（1つ）

- ① 知っている
- ② 知らない

(※) 社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動の推進を目的として市町村及び県に設置されており、各種福祉サービスや相談活動、ボランティアの支援、共同募金運動への協力などを行っています。

問 2 4 - 1 問 2 4 で「① 知っている」を選んだ方におうかがいします。あなたが知っている社会福祉協議会の活動は何ですか。（当てはまるものすべて）

- ① 福祉意識の啓発活動
- ② 地域福祉活動計画の策定
- ③ 福祉に関する相談事業
- ④ 福祉サービス事業（ホームヘルパー等）
- ⑤ 社会福祉大会・ふれあい広場
- ⑥ 共同募金運動
- ⑦ 福祉教育活動
- ⑧ 生活福祉資金貸付事業
- ⑨ 日常生活自立支援事業
- ⑩ サロン活動
- ⑪ 子育て支援活動
- ⑫ 福祉・介護の人材養成・研修事業
- ⑬ 広報誌の発行
- ⑭ ボランティア活動の振興
- ⑮ 民生委員・児童委員の活動支援
- ⑯ 福祉サービスに関する苦情相談窓口
- ⑰ 社会福祉事業者の経営支援
- ⑱ 福祉の無料職業紹介
- ⑲ 福祉安心電話
- ⑳ その他（)

問25 あなたは、今後、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。(3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ① 福祉に関する相談の充実 | ② 福祉・介護人材の養成・研修 |
| ③ 福祉に関する情報の発信 | ④ 高齢者や障害者等の権利擁護 |
| ⑤ ボランティアの育成支援 | ⑥ 住民の交流の場(サロン)づくり |
| ⑦ 福祉教育 | ⑧ 苦情解決窓口 |
| ⑨ 一人暮らし高齢者や障害者の見守り | |
| ⑩ 福祉サービス(ホームヘルパー等) | |
| ⑪ 地域住民と行政や専門機関とのつながり | |
| ⑫ その他() | |
| ⑬ わからない | ⑭ 期待することはない |

《Ⅶ ボランティア活動についておうかがいします》

問26 ボランティアへ参加していますか。(1つ)

- ① 参加している
- ② 参加していないが、今後参加したい
- ③ 参加していないし、今後も参加しない

問26-1 問26で「① 参加している」を選んだ方にお聞きします。参加したきっかけは何ですか。(3つまで)

- ① 困っている人や団体に頼まれたから
- ② 友人や家族などに誘われたから
- ③ 人の役に立ちたいから
- ④ 自分たちのために必要な活動だから
- ⑤ 楽しそうだから
- ⑥ 余暇を有効に活用したいから
- ⑦ 趣味や特技を生かしたいから
- ⑧ 学校の授業などで機会があったから
- ⑨ 付き合い上やむをえず
- ⑩ 何となく
- ⑪ その他()

問26-2 問26で「① 参加している」「② 参加していないが、今後参加したい」を選んだ方にお聞きします。どのような分野のボランティアに参加していますか。あるいは今後参加したいですか。（2つまで）

- ① 高齢者関係 ② 障害者関係 ③ 子育て関係
- ④ 保健医療関係 ⑤ 青少年関係 ⑥ 環境関係
- ⑦ 災害関係 ⑧ その他（ ）
- ⑨ まだ決めていない

問26-3 問26で「③ 参加していないし、今後も参加しない」を選んだ方にお聞きします。それはなぜですか。（3つまで。）

- ① 育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから
- ② 仕事や家事などが忙しくて時間がとれないから
- ③ 自分の健康に自信がないから
- ④ 人と接するのが好きではないから
- ⑤ 活動に費用がかかるから
- ⑥ 一度始めるとやめられなくなりそうだから
- ⑦ 活動したいと思っているが、きっかけがないから
- ⑧ 身近に活動できる場所やグループがない（知らない）から
- ⑨ ボランティア活動にあまり興味がないから
- ⑩ その他（ ）

問27 ボランティアに取り組むために必要なことを選んでください。（3つまで）

- ① 交通費などの活動費用の補助 ② ボランティア休暇等の配慮
- ③ 学校教育での活動 ④ 相談や拠点づくり
- ⑤ 地域で子どものボランティア活動の活発化
- ⑥ 研修による人材養成 ⑦ 情報提供
- ⑧ その他（ ）
- ⑨ わからない

問28 各市町村にあるボランティアセンターのことを知っていますか。（1つ）

- ① 知っている ② 知らない

問29 65歳未満の方におうかがいします。あなたが高齢になってもやりたいことは何ですか。（当てはまるものすべて）

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| ① 仕事 | ② 町内会 | ③ 老人クラブ |
| ④ スポーツ | ⑤ 趣味・サークル | ⑥ ボランティア |
| ⑦ その他（ | ） | ⑧ 何もしていない |

《Ⅷ 福祉サービスにおける権利擁護についておうかがいします》

問30 あなたが子育てや高齢者・障害者の介護などに関する福祉サービスを利用したときに、あらかじめ説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたりしたことがありますか。（1つ）

- ① ある
- ② ない
- ③ 福祉サービスを利用したことがない

問30-1 問30で「① ある」を選んだ方におうかがいします。その後どのようにしましたか。（当てはまるものすべて）

- ① サービス事業者に直接申し出た
- ② 市町村や県などの行政機関に相談した
- ③ 民生委員・児童委員など地域の相談者に相談した
- ④ 国保連合会の苦情相談窓口で相談した
- ⑤ 福祉サービス運営適正化委員会に相談した
- ⑥ 弁護士に相談した
- ⑦ サービスを利用する側なので相談せずあきらめた
- ⑧ その他（

問31 福祉サービス事業者は、苦情を解決するための組織として第三者委員会を設置していることを知っていますか。（1つ）

- ① 知っている
- ② 知らない

問35 福祉関係への就職希望者が少ない傾向にあります。その理由としてどのようなことが考えられますか。(2つまで)

- ① 福祉への理解・関心の低さ
- ② 給料等の待遇面
- ③ 仕事の大変さ
- ④ 将来の見通しが見えない
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 就職希望者が少ないとは思わない
- ⑦ わからない

問36 福祉や介護の仕事を選ぶ時に、どのような情報が必要ですか。(1つ)

- ① やりがい
- ② 給与の条件
- ③ 勤務時間や休暇などの労働条件
- ④ 社会保険や福利厚生
- ⑤ 職場での研修やキャリアアップ
- ⑥ 職場の雰囲気
- ⑦ その他 ()

問37 福祉・介護人材の就労支援や育成などに取り組む専門機関として、次のセンターのことを知っていますか。(1から3についてそれぞれ1つ)

項目	知っている	知らない
1. 青森県福祉人材センター	①	②
2. 青森県地域医療支援センター	①	②
3. 青森県保育士・保育所支援センター	①	②

《X 外出するときの手段についておうかがいします》

問38 あなたは、通院、買物、役場や銀行への外出をどのように行っていますか。(あてはまるものすべて)

- ① 徒歩
- ② 自転車
- ③ 自家用車で自分が運転
- ④ 自家用車で家族が運転
- ⑤ 別居の家族が送迎
- ⑥ 知人友人が送迎
- ⑦ バイク・原付
- ⑧ 電車
- ⑨ 路線バス
- ⑩ 役場や病院などの送迎バス
- ⑪ タクシー
- ⑫ その他 ()

